

研究業績集録の刊行にあたって

この度、令和2年度版の「研究業績集録」を発行することになりました。この1年間に各研究者がまとめ上げた書籍、学術論文、学会等の研究業績がこの中に掲載されています。世界主要国の科学技術活動を体系的に分析した「科学技術指標」の2021年版が公表されました。主な指標のうち、日本の1年当たりの論文数は世界第4位で昨年と同位でした。しかし、注目度の高い論文数は昨年の9位から10位に順位を落としています。日本の研究活動の国際的地位向上が喫緊の重要課題であることを示しました。

この研究業績集録には若手を指導しながら症例報告を書かせた論文や大学院の4年間に苦勞して仕上げた原著論文、世界に初めて認められた英文論文等、大学人としての努力の結晶が集約されています。1年間あたりの論文数は中国が約35万本で第1位、米国が28万本で第2位、ドイツの6万8100本が第3位、日本は6万5700本で第4位となりました。この研究業績集録を眺めて気がつくことは毎日手術や急患が多く、忙しい診療科でも多くの論文を輩出していることです。これは指導者の努力の賜だと思えます。本学は特定機能病院であり、医療が日進月歩している恩恵を患者さんにフィードバックする義務があります。

教育、臨床、研究業務で忙しい中、多くの業績を作られた先生方が1年を振り返る資料になることを願っています。

令和4年3月

聖マリアンナ医科大学

学長 北川博昭

～本学の「研究成果・業績」の社会還元に向けて～

我が国の学校教育法第 83 条（第 2 項）ならびに 99 条にあるように、『大学は、その目的を実現するための教育研究を行い、その成果を広く社会に提供することにより、社会の発展に寄与するもの』とされ、大学院には『学術の理論及び応用を教授研究し、その深奥をきわめ、又は高度の専門性が求められる職業を担うための深い学識及び卓越した能力を培い、文化の進展に寄与すること』を目的とし、研究成果・業績の社会還元が求められております。加えて、本学の建学の精神と大学院のポリシーを今一度確認し、新たな着眼点から研究を行い、その成果を学内外に発信して頂くことが必要です。

本学では令和元年度より、URA(大学雇用の研究支援の専門家)による科研費計画書の作成支援、財団法人等公募の各種助成金申請書の作成支援の制度を構築しました。令和 3 年度からは、URA を増員しましたので、これまでよりも更に充実した支援が出来るかと思えます。今後は、これらの制度を活用して、研究費の獲得や良質な研究成果の発表を期待します。

また、近年の臨床研究の環境においては、「臨床研究法(平成 30 年 4 月 1 日施行)」や「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針(令和 3 年 6 月 30 日施行)」が策定され、本邦で行われる医学研究においては、世界標準での質の保障や管理が求められるようになりました。

これらの研究実施に際して適用される関連指針や関連法規等による規制を遵守し、学会発表、学術論文、書籍などの研究成果の創出に向け更に精進していきましょう。

令和 4 年 3 月

聖マリアンナ医科大学

大学院医学研究科長 遊道 和雄

目 次

解剖学(人体構造)	1
解剖学(機能組織)	2
解剖学(生物学)	4
生理学(細胞・器官生理)	5
生理学(統合生理)	7
生理学(物理学)	8
生化学(生化学・化学)	9
微生物学	11
薬理学	15
免疫学・病害動物学	24
病理学(診断病理・分子病理)	26
予防医学(環境保健)	33
予防医学(健康増進・疫学)	34
法医学	36
スポーツ医学	38
臨床検査医学	40
内科学(総合診療内科)	43
内科学(呼吸器内科)	48
内科学(循環器内科)	57
内科学(消化器・肝臓内科)	84
内科学(腎臓・高血圧内科)	96
内科学(代謝・内分泌内科)	110
内科学(脳神経内科)	120
内科学(血液・腫瘍内科)	134
内科学(リウマチ・膠原病・アレルギー内科)	137
神経精神科学	146
小児科学(小児科・新生児)	154
外科学(消化器・一般外科)	165
外科学(心臓血管外科)	178
外科学(呼吸器外科)	182
外科学(小児外科)	187
外科学(乳腺・内分泌外科)	190
脳神経外科学	197
整形外科学	208
形成外科学	229
皮膚科学	233
腎泌尿器外科学	237

産婦人科学（産科・婦人科）	248
眼 科 学	270
耳鼻咽喉科学	276
放射線医学	281
麻 酔 学	292
救 急 医 学	296
臨 床 腫 瘍 学	307
リハビリテーション医学	316
感 染 症 学	318
医学教育文化部門（語学系）	325
医学教育文化部門（人文・社会科学）	326
医学教育文化部門（医学情報学）	327
医学教育文化部門（医学教育研究）	329
難病治療研究センター	331
アイソトープ研究施設	342
実験動物飼育管理研究施設	345
先端医学研究施設	347
応用分子腫瘍学	348
難治性疾患病態制御学	350
臨床再生組織工学	352
疾患バイオマーカー・標的分子制御学	354
医療情報処理技術応用研究	355
分子神経科学	357
形成外科・再生医療学寄附講座	359
先端生体画像情報研究講座	361
医療情報実用化マネジメント学寄附研究部門	362

本文中の表記について

・氏名欄の先頭がファースト・オーサー（代表者）です。

解剖学(人体構造)

学術論文[和文]

① 原著

- 1) 水嶋崇一郎, 平田和明. 胎生期から思春期にわたる縄文時代人と現代日本人の四肢分節間プロポーションの比較解析. *Anthropological Science (Japanese Series)*, 2020;128(1):21-37.

学術論文[英文]

① 原著

- 1) Takashi Gakuhari, Shigeki Nakagome, Simon Rasmussen, Morten E. Allentoft, Takehiro Sato, Thorfinn Korneliussen, Blánaid Ní Chuinneagáin, Hiromi Matsumae, Kae Koganebuchi, Ryan Schmidt, Souichiro Mizushima, Osamu Kondo, Nobuo Shigehara, Minoru Yoneda, Ryosuke Kimura, Hajime Ishida, Tadayuki Masuyama, Yasuhiro Yamada, Atsushi Tajima, Hiroki Shibata, Atsushi Toyoda, Toshiyuki Tsurumoto, Tetsuaki Wakebe, Hiromi Shitara, Tsunehiko Hanihara, Eske Willerslev, Martin Sikora, Hiroki Oota. Ancient Jomon genome sequence analysis sheds light on migration patterns of early East Asian populations. *Communications Biology*, 2020;3(1) : 437.
- 2) Masakazu Tazaki, Takaaki Hirano, Yui Akiyama, Hiroyuki Mitsui, Kazuaki Hirata, Hisateru Niki. Anatomical Study of the Cuboid and Its Ligamentous Attachments and Its Implications for a Cuboid Osteotomy. *American Orthopaedic Foot and Ankle Society*, 2020;5(4):1-8.

学会発表

① 国内学会

- 1) 長岡朋人, 星野敬吾, 中村なな, 平田和明. 鎌倉由比ガ浜中世集団墓地遺跡 (No.372) 由比ガ浜二丁目 1014 番 15 地点から出土した人骨の形態学的・古病理学的研究. 第 74 回日本人類学会大会(Web 開催), 2020.

		和文	英文
著書			
論文	原著	1	2
	解説又は総説		
	症例報告		
	その他		
学会発表	国内学会	1	
	国際学会		
	その他		

解剖学(機能組織)

著書

- 1) 池森敦子, 菅谷健, 木村健二郎. 尿中 L 型脂肪酸結合蛋白(L-FABP) 臨床検査データブック 2021-2022 2021;(1):735-736.

学術論文[英文]

① 原著

- 1) Junko Igarashi-Migitaka, Azusa Seki, Mika Ikegame, Masato Honda, Toshio Sekiguchi, Hiroyuki Mishima, Nobuaki Shimizu, Hajime Matsubara, Ajai K Srivastav, Jun Hirayama, Yusuke Maruyama, Atsuko Kamijo-Ikemori, Kazuaki Hirata, Atsuhiko Hattori, Nobuo Suzuki. Oral administration of melatonin contained in drinking water increased bone strength in naturally aged mice. *Acta histochemica.*, 2020;122(6):151596.
- 2) Shu Ushimaru, Mitsumi Arito, Atsuhiko Tsutiya, Toshiyuki Sato, Kazuki Omoteyama, Masaaki Sato, Naoya Suematsu, Manae S. Kurokawa, Atsuko Kamijo-Ikemori, Yugo Shibagaki, and Tomohiro Kato. Roles of Layilin in Regulation of Low-Density Lipoprotein Receptor in Malignant Glioma Cells. *Journal of St. Marianna University*, 2020;11:53-59.
- 3) Fujita Y, Ichikawa D, Sugaya T, Ohata K, Tanabe J, Inoue K, Hoshino S, Togo T, Watanabe M, Kimura K, Shibagaki Y, Kamijo-Ikemori A. Angiotensin II type 1a receptor loss ameliorates chronic tubulointerstitial damage after renal ischemia reperfusion. *Scientific reports*, 2021;11(1): 982.
- 4) Kawaguchi M, Okazawa Y, Imafuku A, Nakano Y, Shimizu R, Ishizuka R, Jiang T, Nagasawa T, Hiroi J, Yasumasu S. Pactacin is a novel digestive enzyme in teleosts. *Scientific Reports*, 2021;11 : 7230.

学会発表

① 国内学会

- 1) 竹下章, 右高潤子, 荻久保明香, 辰島啓太, 福原紀章, 岡田満夫, 西岡宏, 井下尚子, 山田正三, 竹内靖博. クッシング病下垂体腺腫における CYP3A4 発現と POMC 発現の関連性. 第 93 回日本内分泌学会学術総会, 2020.
- 2) 藤田陽子, 菅谷健, 大畑敬一, 市川大介, 井上一步, 星野誠子, 木村健二郎, 柴垣有吾, 池森敦子. 腎 L 型脂肪酸結合蛋白発現(L-FABP)および Ang II 受容体(AT1a)欠損は、腎虚血再灌流後の慢性腎障害を抑制する. 第 63 回日本腎臓学会学術総会, 2020.
- 3) 藤田陽子, 菅谷健, 大畑敬一, 市川大介, 井上一步, 星野誠子, 木村健二郎, 柴垣有吾, 池森敦子. アンジオテンシン II type 1a 受容体 (AT1a) 欠損は、腎虚血再灌流後の慢性腎障害を抑制する. 第 63 回日本腎臓学会学術総会, 2020.
- 4) 田邊淳, 小野弓絵, 中林実輝絵, 菅谷健, 大畑敬一, 市川大介, 星野誠子, 木村健二郎, 柴垣有吾, 池森敦子. 腎低酸素バイオマーカーとしての尿中 L 型脂肪酸結合タンパク(L-FABP)の可能性. 第 63 回

日本腎臓学会学術総会, 2020.

- 5) 山田将平, 田邊淳, 小倉裕司, 菅谷健, 大畑敬一, 永井義夫, 市川大介, 星野誠子, 木村健二郎, 柴垣有吾, 池森敦子. GLP-1 受容体作動薬による糖尿病性腎臓病の腎保護効果とサルコペニア抑制効果の検討. 第 63 回日本腎臓学会学術総会, 2020.
- 6) 山田将平, 田邊淳, 小倉裕司, 菅谷健, 永井義夫, 渡邊詩香, 市川大介, 木村健二郎, 柴垣有吾, 池森敦子. 糖尿病性腎臓病を伴う 2 型糖尿病における GLP-1 受容体作動薬のサルコペニア抑制効果の検討. 第 11 回日本腎臓リハビリテーション学会学術集会, 2021.
- 7) 小竹徹, 山田将平, 小倉裕司, 渡邊詩香, 市川大介, 田邊淳, 永井義夫, 菅谷健, 木村健二郎, 柴垣有吾, 池森敦子. 2 型糖尿病における習慣的走運動のサルコペニアおよび腎疾患抑制効果の検証. 第 11 回日本腎臓リハビリテーション学会学術集会, 2021.
- 8) Inoue K, Yamada S, Hosino S, Shibagaki Y, Ikemori A. Effect of Glucagon-like peptide-1, receptor agonist, liraglutide, against diabetic retinal edema in spontaneously diabetic tori fatty rats. 第 126 回日本解剖学会総会・全国学術集会・第 98 回日本生理学会大会 合同大会, 2021.

② 国際学会

- 1) Fujita Y, Sugaya T, Ichikawa D, Tanabe J, Kimura K, Shibagaki Y, Ikemori A. Angiotensin II type 1a receptor loss ameliorates chronic tubulointerstitial damage after renal ischemia reperfusion. ASN Kidney Week 2020, 2020.
- 2) Yamada S, Tanabe J, Sugaya T, Ichikawa D, Kimura K, Shibagaki Y, Ikemori A. Renoprotective effect of GLP-1 receptor agonist, liraglutide, in early phase of diabetic kidney disease in spontaneously diabetic tori fatty rats. ASN Kidney Week 2020, 2020.
- 3) Fujita Y, Sugaya T, Ichikawa D, Tanabe J, Kimura K, Shibagaki Y, Ikemori A. Renal expression of L-type fatty acid binding protein in addition to angiotensin II Type 1a receptor loss ameliorates chronic tubulointerstitial damage after renal ischemia reperfusion. ASN Kidney Week 2020, 2020.

③ その他

- 1) 池森敦子. 2 型糖尿病における SGLT2 阻害薬の有用性—腎臓内科医の視点から. 第 34 回川崎多摩地区腎臓高血圧セミナー, 2020.

		和文	英文
著 書		1	
論 文	原著		4
	解説又は総説		
	症例報告		
	その他		
学会発表	国内学会	7	1
	国際学会		3
	その他	1	

解剖学(生物学)

学術論文[和文]

① 原著

- 1) 望月篤, 田嶋ティナ宏子, 東郷建, 信岡祐彦, 伊野美幸. 聖マリアンナ医科大学における入学時宿泊研修の初年次教育への導入効果. 聖マリアンナ医科大学雑誌, 2020;48(1):31-36.

学術論文[英文]

① 原著

- 1) Fujita Y, Ichikawa D, Sugaya T, Ohata K, Tanabe J, Inoue K, Hoshino S, Togo T, Watanabe M, Kimura K, Shibagaki Y, Kamijo-Ikemori A. Angiotensin II type 1a receptor loss ameliorates chronic tubulointerstitial damage after renal ischemia reperfusion. Scientific reports, 2021;11(1): 982.

		和文	英文
著 書			
論 文	原著	1	1
	解説又は総説		
	症例報告		
	その他		
学会発表	国内学会		
	国際学会		
	その他		

生理学(細胞・器官生理)

学術論文[英文]

① 原著

- 1) Ogura Y., Kakehashi C., Yoshihara T., Kurosaka M., Kakigi R., Higashida K., Fujiwara S.E., Akema T., Funabashi T. Ketogenic diet feeding improves aerobic metabolism property in extensor digitorum longus muscle of sedentary male rats. *PloS One*, 2020;15(10): e0241382.
- 2) Kakehi S., Tamura Y., Takeno K., Ikeda S., Ogura Y., Saga N., Miyatsuka T., Naito H., Kawamori R., Watada H. Endurance runners with intramyocellular lipid accumulation and high insulin sensitivity have enhanced expression of genes related to lipid metabolism in muscle. *Journal of Clinical Medicine*, 2020;9(12):3951.

学会発表

① 国内学会

- 1) ◎小林哲士, 植原健二, 木城智, 皆川直毅, 鈴木智裕, 小倉裕司, 黒坂光寿, 後藤勝正, 仁木久照. ACL 断裂症例の早期スポーツ復帰に向けて(第 7 報)-筋線維タイプからみた男女別の至適な手術日-. 第 93 回日本整形外科学会学術総会, 2020.
- 2) 山田将平, 田邊淳, 小倉裕司, 菅谷健, 大畑敬一, 永井義夫, 市川大介, 星野誠子, 木村健二郎, 柴垣有吾, 池森敦子. GLP-1 受容体作動薬による糖尿病性腎臓病の腎保護効果とサルコペニア抑制効果の検討. 第 63 回日本腎臓学会学術総会, 2020.
- 3) ◎小林哲士, 植原健二, 木城智, 皆川直毅, 鈴木智裕, 小倉裕司, 黒坂光寿, 後藤勝正, 仁木久照. ACL 断裂症例の早期スポーツ復帰に向けて (第 8 報)-筋線維タイプの違いによる筋力回復の特徴-. 第 35 回日本整形外科学会基礎学術集会, 2020.
- 4) 山田将平, 田邊淳, 小倉裕司, 菅谷健, 永井義夫, 渡邊詩香, 市川大介, 木村健二郎, 柴垣有吾, 池森敦子. 糖尿病性腎臓病を伴う 2 型糖尿病における GLP-1 受容体作動薬のサルコペニア抑制効果の検討. 第 11 回日本腎臓リハビリテーション学会学術集会, 2021.
- 5) 小竹徹, 山田将平, 小倉裕司, 渡邊詩香, 市川大介, 田邊淳, 永井義夫, 菅谷健, 木村健二郎, 柴垣有吾, 池森敦子. 2 型糖尿病における習慣的走運動のサルコペニアおよび腎疾患抑制効果の検証. 第 11 回日本腎臓リハビリテーション学会学術集会, 2021.

② 国際学会

- 1) Ogura T., Yoshihara T., Kurosaka M., Kakigi R., Fujiwara S.E., Kakehashi C., Higashida K., Funabashi T. Four-week ketogenic diet improves aerobic metabolic capacity in extensor digitorum longus muscle of sedentary male rats. *Experimental Biology 2020 Meeting*, 2020.
- 2) ◎Yongue R.T., Walker E.R., Ogura Y., and Sato S.. Increased sensitivity to systemic inflammation leads to elevated MMP-9 expression in mouse cachectic muscle. *Virtual Cancer Cachexia Conference 2020*, 2020.

		和文	英文
著 書			
論 文	原著		2
	解説又は総説		
	症例報告		
	その他		
学会発表	国内学会	5	
	国際学会		2
	その他		

生理学(統合生理)

学術論文[英文]

① 原著

- 1) Mito Nakamura, Arao Fuanse, Sei-etsu Fujiwara, Ichi Takumi. Brief 12-18 Hz oscillation during LIGHT sleep after virtual spatial explore task. Proceedings of the SICE Annual Conference 2020, 2020;:985-986.
- 2) Ogura Y., Kakehashi C., Yoshihara T., Kurosaka M., Kakigi R., Higashida K., Fujiwara S.E., Akema T., Funabashi T. Ketogenic diet feeding improves aerobic metabolism property in extensor digitorum longus muscle of sedentary male rats. PloS One, 2020;15(10): e0241382.

学会発表

① 国内学会

- 1) 平松芳章, 船瀬新王, 三木俊太郎, 内匠逸, 藤原清悦, 平田豊. 9種類の周波数を用いた点滅視覚刺激の呈示時における金魚の視蓋神経細胞の追随性についての検討. 2020年度日本生体医工学会東海支部大会, 2020.

② 国際学会

- 1) Ogura T., Yoshihara T., Kurosaka M., Kakigi R., Fujiwara S.E., Kakehashi C., Higashida K., Funabashi T. Four-week ketogenic diet improves aerobic metabolic capacity in extensor digitorum longus muscle of sedentary male rats. Experimental Biology 2020 Meeting, 2020.

		和文	英文
著書			
論文	原著		2
	解説又は総説		
	症例報告		
	その他		
学会発表	国内学会	1	
	国際学会		1
	その他		

生理学(物理学)

学術論文[和文]

① 原著

- 1) 高須雄一. 大学1年生を対象とした「理数アンケート」の分析(異なる学科間に焦点をあてて). 日本科学教育学会論文集 44, 2020;44:91-94.

② その他

- 1) 高須雄一. コロナ禍の一年を振り返って. 大学の物理教育, 2021;27(1):70-70.

学会発表

① 国内学会

- 1) 高須雄一. 大学1年生を対象とした「理数アンケート」の分析(異なる学科間に焦点をあてて). 日本科学教育学会, 2020.

		和文	英文
著書			
論文	原著	1	
	解説又は総説		
	症例報告		
	その他	1	
学会発表	国内学会	1	
	国際学会		
	その他		

生化学（生化学・化学）

学術論文[英文]

① 原著

- 1) Kazuki Omoteyama, Toshiyuki Sato, Masaaki Sato, Atsuhiko Tsutiya, Mitsumi Arito, Naoya Suematsu, Manae S. Kurokawa, Tomohiro Kato. Identification of novel substrates of a disintegrin and metalloprotease 17 by specific labeling of surface proteins. *Heliyon*, 2020;6(12): e05804.
- 2) Shu Ushimaru, Mitsumi Arito, Atsuhiko Tsutiya, Toshiyuki Sato, Kazuki Omoteyama, Masaaki Sato, Naoya Suematsu, Manae S. Kurokawa, Atsuko Kamijo-Ikemori, Yugo Shibagaki, and Tomohiro Kato. Roles of Layilin in Regulation of Low-Density Lipoprotein Receptor in Malignant Glioma Cells. *Journal of St. Marianna University*, 2020;11:53-59.
- 3) Nobuho Tanaka, Hirotaka Tsuno, Satoru Ohashi, Mitsuyasu Iwasawa, Hiroshi Furukawa, Tomohiro Kato, Naoshi Fukui. The attenuation of insulin-like growth factor signaling may be responsible for relative reduction in matrix synthesis in degenerated areas of osteoarthritic cartilage. *BioMed Central musculoskeletal disorders Musculoskeletal disorders*, 2021;22(1):231.

学会発表

① 国内学会

- 1) ◎黒川真奈絵, 佐藤政秋, 佐藤利行, 高桑由希子, 永渕裕子, 有戸光美, 末松直也, 大岡正道, 川畑仁人, 加藤智啓. 顕微鏡的多発血管炎の新規血清バイオマーカー候補 AC13 定量系の開発. 第 64 回日本リウマチ学会総会・学術集会, 2020.
- 2) ◎佐藤利行, 佐藤政秋, 高桑由希子, 有戸光美, 大岡正道, 末松直也, 川畑仁人, 加藤智啓, 黒川真奈絵. 再発性多発軟骨炎における血清ペプチドの網羅的解析. 第 64 回日本リウマチ学会総会・学術集会, 2020.
- 3) ◎塩野鈴佳, 土屋貴大, 大谷・金子律子. 野生型仔マウスと自閉症モデル (Collapsin Response Mediator Protein4 欠損) 仔マウス間で見られた超音波発声パターンの違い. 日本動物学会第 91 回大会, 2020.
- 4) ◎佐藤利行, 佐藤政秋, 表山和樹, 土屋貴大, 有戸光美, 末松直也, 加藤智啓, 黒川真奈絵. 再発性多発軟骨炎における血清ペプチドプロファイルの解析. 第 93 回日本生化学会大会, 2020.
- 5) ◎嶋崎孝輔, 有戸光美, 黒川真奈絵, 佐藤政秋, 表山和樹, 佐藤利行, 末松直也, 加藤智啓, 仁木久照. プロテオミクス法を用いた、ヒト滑膜線維芽細胞株におけるライリンの機能解析. 第 35 回日本整形外科学会基礎学術集会, 2020.
- 6) 川口拓哉, 有戸光美, 土屋貴大, 加藤智啓, 北川博昭. 神経芽腫及び神経膠腫細胞におけるがん幹細胞性へのライリンの影響. 第 57 回日本小児外科学会学術集会, 2020.
- 7) ◎梶友紘, 有戸光美, 佐瀬泰玄, 小野寺英孝, 田中雄一郎. ライリンは SNAI1 シグナルを介して悪性神経膠腫細胞の浸潤能を高める. 一般社団法人日本脳神経外科学会 第 79 回学術総会, 2020.
- 8) ◎黒川真奈絵, 佐藤利行, 佐藤政秋, 土屋貴大, 表山和樹, 有戸光美, 末松直也, 加藤智啓. 再発性多発軟骨炎のバイオマーカー候補となる血清ペプチドの検出. 第 71 回日本電気泳動学会総会, 2020.

② 国際学会

- 1) Kawaguchi Takuya, Arito Mitsumi, Tsutiya Atsuhiko, Kato Tomohiro, Kitagawa Hiroaki. The effect of layilin on cancer stemness of neuroblastoma and malignant glioma. The 53rd Annual Meeting of the Pacific Association of Pediatric Surgeons, 2020.

		和文	英文
著 書			
論 文	原著		3
	解説又は総説		
	症例報告		
	その他		
学会発表	国内学会	8	
	国際学会		1
	その他		

微生物学

学術論文[和文]

① 原著

1) 史 海霞, 福地邦彦, 浅井大輔, 寺久保繁美, 竹村 弘, 坂上 宏. 漢方製剤の抗腫瘍活性, 抗ウイルス活性, 神経保護作用の定量化. *New Food Industry*, 2020;62(8):599-607.

② 総説又は症例解説

1) 坂上 宏, 福地邦彦, 浅井大輔, 寺久保繁美, 竹村 弘, 堀内美咲, 藤澤知弘, 勝呂まどか, 戸枝一喜, 安井利一, 大泉浩史, 大泉高明. クマ笹葉アルカリ抽出液(ササヘルス®)は, 瞬間的にウイルスを不活化する. *New Food Industry*, 2020;62(11):785-790.

2) 大神田 敬. カルバペネム耐性腸内細菌目細菌およびカルバペネマーゼ産生腸内細菌目細菌に対する *in vitro* 相加相乗効果の評価～抗菌薬併用療法における治療指針の確立に向けた検討～. *The Japanese Journal of Antibiotics*, 2021;74(1):96-106.

学術論文[英文]

① 原著

1) Mahmoud Elafify, Hazim O. Khalifa, Maha Al-Ashmawy, Mohammed Elsherbini, Amara Abd El Latif, Takashi Okanda, Tetsuya Matsumoto, Shige Koseki, Adel Abdelkhalek. Prevalence and antimicrobial resistance of Shiga toxin-producing *Escherichia coli* in milk and dairy products in Egypt. *Journal of Environmental Science and Health, Part B*, 2020;55(3):265-272.

2) Takashi Okanda, Tetsuya Matsumoto. *In vitro* effect of an antimicrobial combination therapy without colistin and tigecycline for CPE and non-CPE. *Journal of Infection and Chemotherapy*, 2020;26(4):322-330.

3) Bai Mingxue, Bai Chaolumen, Daisuke Asai, Hiromu Takemura, Kensuke Miyazaki, Takashi Yoshida. Role of a long-chain alkyl group in sulfated alkyl oligosaccharides with high anti-HIV activity revealed by SPR and DLS. *Carbohydrate Polymers*, 2020;245:116518.

4) Song Weiyue, Li Ying, Taisei Kanamoto, Daisuke Asai, Hiromu Takemura, Hideki Nakashima, Kensuke Miyazaki, Takashi Yoshida. Elucidation of anti-HIV mechanism of sulfated cellobiose-polylysine dendrimers. *Carbohydrate Research*, 2020;495:108084.

5) Takaaki Ryujin, Taro Shimizu, Ryo Miyahara, Daisuke Asai, Rena Shimazui, Takuma Yoshikawa, Akihiro Kishimura, Takeshi Mori, Tatsuhiro Ishida, Yoshiki Katayama. Blood retention and antigenicity of polycarboxybetaine-modified liposomes. *International Journal of Pharmaceutics*, 2020;586:119521.

6) Hazim O Khalifa, Takashi Okanda, Amer Ali Abd El-Hafeez, Amara Abd El Latif, Ahmed G K Habib, Hisakazu Yano, Yasuyuki Kato, Tetsuya Matsumoto. Comparative evaluation of five assays for detection of carbapenemases with a proposed scheme for their precise application. *The Journal of Molecular Diagnostics : JMD*, 2020;22(9):1129-1138.

7) Takashi Okanda, Hiroshi Mitsutake, Ryoko Aso, Ryuichi Sekizawa, Hiromu Takemura, Tetsuya

Matsumoto, Shigeki Nakamura. Rapid detection assay of toxigenic *Clostridioides difficile* through PathOC RightGene, a novel high-speed polymerase chain reaction device. *Diagnostic Microbiology and Infectious Disease*, 2020;99(2):115247.

- 8) Kunihiro Fukuchi, Hiroshi Sakagami, Yoshiaki Sugita, Koichi Takao, Daisuke Asai, Shigemi Terakubo, Hiromu Takemura, Hirokazu Ohno, Misaki Horiuchi, Madoka Suguro, Tomohiro Fujisawa, Kazuki Toeda, Hiroshi Oizumi, Toshikazu Yasui, Takaaki Oizumi. Quantification of the ability of natural products to prevent herpes virus infection. *Medicines*, 2020;7: e64.
- 9) Satta Yusuke, Yamashita Masaki, Matsuo Yasumasa, Kiyokawa Hirohumi, Sato Yoshinori, Takemura Hiromu, Kunishima Hiroyuki, Yasuda Hiroshi, Itoh Fumio.
Non-tuberculous Mycobacterial Pseudo-outbreak of an Intestinal Culture Specimen Caused by a Water Tap in an Endoscopy Unit. *Internal Medicine*, 2020;59(22):2811-2815.
- 10) Hazim O Khalifa, Atef F Oreiby, Amer Ali Abd El-Hafeez, Takashi Okanda, Anwarul Haque, Kazi S Anwar, Masaki Tanaka, Keisuke Miyako, Shoji Tsuji, Yasuyuki Kato, Tetsuya Matsumoto. First report of multidrug-resistant carbapenemase-producing bacteria cohabiting mcr-9 associated with respiratory disease complex in pets: potential of animal-human transmission. *Antimicrobial Agents and Chemotherapy*, 2020;16(65):DOI-10.1128/AAC.01890-20.
- 11) Yamasaki Yukitaka, Ooka Seido, Tsuchida Tomoya, Nakamura Yuta, Hagiwara Yuta, Naitou Yoshiyuki, Ishibashi Yuki, Ikeda Hiroki, Sakurada Tsutomu, Handa Hiroshi, Nishine Hiroki, Takita Mumon, Morikawa Daiki, Yoshida Hideki, Fujii Shuichi, Morisawa Kenichiro, Takemura Hiromu, Fujitani Shigeki, Kunishima Hiroyuki. The peripheral lymphocyte count as a predictor of severe COVID-19 and the effect of treatment with ciclesonide. *Virus Research*, 2020;290 : 198089.
- 12) Takashi Okanda, Anwarul Haque, Takuro Koshikawa, Amirul Islam, Qumrul Huda, Hiromu Takemura, Tetsuya Matsumoto, Shigeki Nakamura. Characteristics of carbapenemase-producing *Klebsiella pneumoniae* isolated in the intensive care unit of the largest tertiary hospital in Bangladesh. *Frontiers in Microbiology*, 2021;DOI:10.3389/fmicb.2020.612020.
- 13) Qi Lu, Takashi Okanda, Yu Yang, Hazim O. Khalifa, Anwarul Haque, Hiromu Takemura, Tetsuya Matsumoto. High-Speed Quenching Probe-Polymerase Chain Reaction Assay for the Rapid Detection of Carbapenemase-Producing Gene Using GENECUBE: A Fully Automatic Gene Analyzer. *Molecular Diagnosis & Therapy*, 2021;DOI:10.1007/s40291-020-00511-5.
- 14) Hazim O. Khalifa, Atef F. Oreiby, Takashi Okanda, Yasuyuki Kato, Tetsuya Matsumoto. High β -lactam resistance in Gram-negative bacteria associated with kennel cough and cat flu in Egypt. *Scientific Reports*, 2021;11(1):3347.

② 総説又は症例解説

- 1) Jeong-Hun Kang, Riki Toita, Takahito Kawano, Masaharu Murata, Daisuke Asai. Design of substrates and inhibitors of G protein-coupled receptor kinase 2 (GRK2) based on its phosphorylation reaction. *Amino Acids*, 2020;52:863-870.

学会発表

① 国内学会

- 1) ◎大神田 敬, 松本哲哉, 竹村 弘. 本邦で見落とされがちなカルバペネマーゼ産生腸内細菌目細菌の特徴. 第 88 回神奈川県感染症医学会, 2020.
- 2) ◎越川拓郎, 大神田 敬, 眞野容子, 古谷信彦, 竹村 弘. *Neisseria gonorrhoeae* の分子学的解析. 第 88 回神奈川県感染症医学会, 2020.
- 3) ◎龍神堯昌, 清水太郎, 宮原涼, 島居伶奈, 芳川拓真, 浅井大輔, 岸村顕広, 森健, 石田竜弘, 片山佳樹. ポリカルボキシペタイン修飾リポソームに対する抗体産生の誘導. 第 14 回バイオ関連化学シンポジウム 2020, 2020.
- 4) ◎竹村 弘, 寺久保繁美, 山崎行敬, 竹内 萌, 國島広之. 当院におけるカルバペネム耐性腸内細菌科細菌の分離状況. 第 68 回日本化学療法学会総会, 2020.
- 5) ◎大神田 敬, アノアルルハーク, 宮崎治子, 松本哲哉, 竹村 弘, 中村茂樹. XDR および PDR カルバペネマーゼ産生 *Klebsiella pneumoniae* に対する *in vitro* 併用効果. 第 68 回日本化学療法学会総会, 2020.
- 6) ◎楊旭, 大神田 敬, アノアルルハーク, 松崎茂展, 松本哲哉, 中村茂樹. 緑膿菌性肺炎マウスモデルにおけるファージ療法の *in vivo* 治療効果. 第 68 回日本化学療法学会総会, 2020.
- 7) ◎Hazim O. Khalifa, Takashi Okanda, Yasuyuki Kato, Tetsuya Matsumoto. High β -lactam resistance in Gram-negative bacteria from pets in Egypt. 第 67 回日本感染症学会東日本地方海学術集会・第 65 回日本化学療法学会東日本支部総会, 2020.
- 8) ◎星野泰隆, 壇百合香, 阿部雅広, 名木稔, 上野圭吾, 中山靖子, 小川伸子, 福山まり, 橋本ゆき, 福島深雪, 越川拓郎, 岡本圭祐, 宮澤拳, 高塚翔吾, 梅山隆, 山越智, 石川淳, 宮崎義継. 病原真菌の培養検査における現状. 真菌症フォーラム 2020 学術集会, 2020.
- 9) ◎壇辻百合香, 星野泰隆, 阿部雅広, 名木稔, 上野圭吾, 中山靖子, 橋本ゆき, 福島深雪, 越川拓郎, 宮澤拳, 高塚翔吾, 梅山隆, 山越智, 石川淳, 宮崎義継. 病原真菌の培養検査における培養条件に関する検討. 第 32 回日本臨床微生物学会総会, 2021.
- 10) ◎大神田敬, 光武宏, 麻生涼子, 関澤隆一, 竹村弘, 松本哲哉. 新規高速 PCR 装置パソック RightGene による毒素産生 *Clostridioides difficile* 迅速検出法の基礎的な評価. 第 32 回日本臨床微生物学会総会, 2021.

		和文	英文
著 書			
論 文	原著	1	14
	解説又は総説	2	1
	症例報告		
	その他		
学会発表	国内学会	10	
	国際学会		
	その他		

薬理学

著書

- 1) 木田圭亮, 足利光平. 心不全治療に心臓リハビリテーション・チーム医療・緩和ケアを組合わせた精密医療 実験医学別冊もっとよくわかる! 循環器学と精密医療 2020;:188-196.
- 2) 木田圭亮. 第3章 これだけは知っておきたい治療薬の特徴と使い方 7 硝酸薬・KATP チャネル開口薬・ANP 製剤 循環器診療がわかる現場の教科書 診るロジックと薬の使い方 2020;:335-350.
- 3) 松本直樹. 第3章 これだけは知っておきたい治療薬の特徴と使い方 1 ジヒドロピリジン系 Ca 拮抗薬 循環器診療がわかる現場の教科書 診るロジックと薬の使い方 2020;:228-240.
- 4) 木田圭亮, 石橋祐記. II.心不全 慢性心不全-LVEF の低下した心不全(HFrEF) 最新ガイドラインに基づく 循環器疾患 診療指針 2021-'22 2020;(1):46-52.
- 5) 木田圭亮, 明石嘉浩. 8章 腫瘍循環器診療における連携のコツと工夫 5 腫瘍循環器リハビリテーション (CORE) 腫瘍循環器診療ハンドブック 2020;(1):185-187.

学術論文[和文]

① 原著

- 1) 渡辺実, 田中政巳, 武半優子, 太田有紀, 大滝正訓, 小林司, 松本直樹. 新しい小人症モデル動物, CCI ラットにおける骨化異常と遺伝子発現の解析. 聖マリアンナ医科大学雑誌, 2020;48(1):15-30.
- 2) 笠川彰, 高野誠, 中山由衣, 山田麻里可, 佐々木憲一, 松田央郎, 宮崎秀和, 松本直樹, 原田智雄, 明石嘉浩. 僧帽弁輪旋回心房頻拍に対して僧帽弁輪峡部の線状通電では停止せず、epicardial endocardial breakthrough site でアブレーションに成功した1例. 心臓, 2020;52(1):12-19.
- 3) 島田和典, 代田浩之, 横山美帆, 牛島明子, 木田圭亮, 河野裕治, 坂田泰彦, 長山雅俊, 古川裕, 福岡長知, 朔啓二郎, 三浦伸一郎, 大屋祐輔, 後藤葉一, 牧田茂, 日本心臓リハビリテーション学会レジストリー. 日本心臓リハビリテーション学会レジストリー: レジストリー構築と中間解析結果. 心臓リハビリテーション, 2020;26(3/4):349-356.

② 総説又は症例解説

- 1) 鈴木規雄, 木田圭亮, 明石嘉浩. 【心疾患診療に活かす心臓リハビリテーション:まとめエッセンス】 包括的心臓リハビリテーションの実際 心不全治療と栄養. 診断と治療, 2020;108(6):747-753.
- 2) 木田圭亮, 武市尚也, 渡辺敏. 【心疾患診療に活かす心臓リハビリテーション:まとめエッセンス】 心臓リハビリテーションの基礎知識 心不全に対する心臓リハビリテーション. 診断と治療, 2020;108(6):713-719.
- 3) 足利光平, 木田圭亮. 【ステージ A から D まで病期に沿って学ぶ!心不全はじめの一步】 じっくり理解! ステージ B~C 弁膜症から慢性心不全にいたった患者さんを看る. ハートナーシング, 2020;33(7):668-674.
- 4) 星野俊, 萩原悠太, 清水高弘, 小倉英, 鷹尾直誠, 土橋瑤子, 佐々木梨衣, 伊佐早健司, 佐藤如雄, 足利光平, 木田圭亮, 明石嘉浩, 長谷川泰弘. 経胸壁超音波胸骨上窩長軸断面像による大動脈弓部病変の評価. Neurosonology, 2020;33(2):41-44.
- 5) 木田圭亮, 鈴木規雄, 佐瀬一洋. 特集: 腫瘍循環器学 IV.特論 腫瘍循環器リハビリテーション. 日

本臨床, 2020;78(9):1570-1576.

- 6) 木田圭亮, 土井駿一, 鈴木規雄. 【悪液質-内部障害のリハビリテーション栄養】悪液質に対する薬物療法. リハビリテーション栄養, 2020;4(2):147-152.
 - 7) 木田圭亮, 土岐真路, 土井駿一, 鈴木規雄. 【高齢者における循環器診療】高齢者における代表的循環器疾患とその治療 心不全. 内科, 2020;126(5):869-873.
 - 8) 木田圭亮. 田村論文に対する Editorial Comment. 心臓, 2020;52(11):1253.
 - 9) 木田圭亮. 国内の学会の動向, 海外の心リハの推奨, 心リハ学会のアンケートの結果. 心臓リハビリテーション, 2020;26(3/4):315-320.
 - 10) 木田圭亮, 鈴木規雄. 【ここに注意!薬剤性の転倒・転落】病態・ステージ別の薬剤と転倒予防 循環器疾患における薬剤. 薬事, 2021;63(2):31-36.
- ③ その他
- 1) 木田圭亮. 【心不全パンデミック】遠隔医療による心不全の診療支援. 日本医学会雑誌, 2020;149(3):528.
 - 2) 木田圭亮, 中村祐太, 鈴木規雄. 【糖尿病患者の心血管病罹患リスクにどう立ち向かうか】治す 糖尿病患者の心不全をどう治療する?. Heart View, 2020;24(7):632-637.
 - 3) 木田圭亮. 【特集:心不全治療のこれから】 新しい心不全治療薬 適切な症例とは ARNI. メディカル・ビューポイント, 2020;141(7):5-6.
 - 4) 木田圭亮, 木村穰, 牧田茂. 【新型コロナに日本循環器連合はどう立ち向かうのか】日本心臓リハビリテーション学会の COVID-19 への対応. 心臓, 2020;52(9):968-970.
 - 5) 木田圭亮. 50 の?が!に変わる 急性期~慢性期 ずっと看るための心不全 完全ガイド 第2部 ステージごとの患者さんの病態・治療・ケアを知ろう! 第2章【ステージB】器質的な心疾患がある! 患者さんへの治療 (Q15) 心筋症の患者さんが心不全に移行しないためには?. ハートナーシング, 2020;秋季増刊(通巻 451):80-85.
 - 6) 木田圭亮. 50 の?が!に変わる 急性期~慢性期 ずっと看るための心不全 完全ガイド 第2部 ステージごとの患者さんの病態・治療・ケアを知ろう! 第2章【ステージB】器質的な心疾患がある! 患者さんへの治療 (Q12)心筋梗塞後の患者さんが心不全に移行しないためには?. ハートナーシング, 2020;秋季増刊(通巻 451):64-68.
 - 7) 木田圭亮, 土岐真路, 土井駿一, 鈴木規雄. 高齢者における代表的循環器疾患とその治療 心不全. 内科 臨床雑誌, 2020;126(5):869-873.
 - 8) 木田圭亮, 松本直樹, 志茂新, 小島康幸, 小徳暁生, 出雲昌樹, 明石嘉浩. 各論:がん化学療法による臓器障害の機序と対応 5)HER2 阻害薬による心筋障害. 腎臓内科, 2020;12(6):644-653.
 - 9) 木田圭亮, 土井駿一, 鈴木規雄. 【エキスパートに学ぶ-最新の循環器治療薬の使い方】知っておくべき 10 種類の循環器治療薬と治療法 高カリウム血症に対する新規治療薬 ロケルマ. Medicina, 2021;58(1):54-57.
 - 10) 木田圭亮. もっと知りたい!フカボリ!循環器のくすり 抗血栓薬(抗凝固薬・直接経口抗凝固薬;DOAC). ハートナーシング, 2021;34(1):68-70.
 - 11) 木田圭亮. 循環器のくすり生態ファイル▶抗血栓薬(抗凝固薬・直接経口凝固薬;DOAC). ハートナーシング, 2021;34(1):1.

- 12) 木田圭亮. 質疑応答 Pro⇔Pro [臨床各科の専門家同士が日常診療の疑問点を検証] ■循環器内科 高齢心不全患者の栄養療法について【今までのように塩分やカロリーを一律に制限した栄養管理は不要】. 日本医事新報, 2021;5049(1月5週):42-43.
- 13) 木田圭亮. もっと知りたい フカボリ! 循環器のくすり 抗血小板薬(アスピリン). ハートナーシング, 2021;34(2):72-73.
- 14) 木田圭亮. 循環器のくすり生態ファイル▶抗血小板薬. ハートナーシング, 2021;34(2):1.
- 15) 木田圭亮. もっと知りたい フカボリ! 循環器のくすり 脂質異常症治療薬(スタチン・PCSK9阻害薬). ハートナーシング, 2021;34(3):80-81.
- 16) 木田圭亮. 循環器のくすり生態ファイル▶脂質異常症治療薬. ハートナーシング, 2021;34(3):1.

学術論文[英文]

① 原著

- 1) Kitai Takeshi, Xanthopoulos Andrew, W.H.W Tang, Kaji Shuichiro, Furukawa Yutaka, Oishi Shogo, Akiyama Eiichi, Suzuki Satoshi, Yamamoto Masayoshi, Kida Keisuke, Okumura Takahiro, Skoularigis John, Triposkiadis Filippou, Matsue Yuya. Validation of the larissa heart failure risk score for risk stratification in acute heart failure. *International Journal of Cardiology*, 2020;307(15):119-124.
- 2) Yoshioka Kenji, Matsue Yuya, Okumura Takahiro, Kida Keisuke, Oishi Shogo, Akiyama Eiichi, Suzuki Satoshi, Yamamoto Masayoshi, Mizukami Akira, Kuroda Shunsuke, Kagiya Nobuyuki, Yamaguchi Tetsuo, Sasano Tetsuo, Matsumura Akihiko, Kitani Takeshi. Impact of brain natriuretic peptide reduction on the worsening renal function in patients with acute heart failure. *PLoS One*, 2020;15(6): e0235493.
- 3) Hirota Naomi, Suzuki Shinya, Yamasaki Masao, Matsumoto Naoki, Ajiki Kousuke, Kasao Masashi, Hiroi Yukio, Takizawa Masataka, Mitani Haruo, Fukatsu Tohru, Hayami Noriyuki, Yamashita Takeshi. Analysis of bioMARKer distribution and individual reproducibility under rivaroxaban treatment in Japanese patients with non-valvular atrial fibrillation (R-MARK Study, CVI ARO2). *International Heart Journal*, 2020;61(4):695-704.
- 4) Doi Shunichi, Ashikaga Kohei, Kida Keisuke, Watanabe Mika, Yoneyama Kihei, Suzuki Norio, Kuwata Shingo, Kaihara Toshiki, Koga Masashi, Okuyama Kazuaki, Kamijima Ryo, Tanabe Yasuhiro, Takeichi Naoya, Watanabe Satoshi, Izumo Masaki, Ishibashi Yuki and Akashi J Yoshihiro. Prognostic value of mini nutritional assessment-short form with aortic valve stenosis following transcatheter aortic valve implantation. *ESC Heart Failure*, 2020;7(6):4024-4031.
- 5) Matsue Yuya, Kagiya Nobuyuki, Yamaguchi Tetsuo, Kuroda Shunsuke, Okumura Takahiro, Kida Keisuke, Mizuno Atsushi, Oishi Shogo, Inuzuka Yasutaka, Akiyama Eiichi, Matsukawa Ryuichi, Kato Kota, Suzuki Satoshi, Naruke Takashi, Yoshioka Kenji, Yoshida Kazuki, Kitai Takeshi. Clinical and prognostic values of ALBI score in patients with acute heart failure. *Heart, Lung and Circulation*, 2020;29(9):1328-1337.
- 6) Matsumoto Shingo, Nakazawa Gaku, Ohno Yohei, Ishihara Mai, Sakai Katsuaki, Nakamura

- Norihito, Murakami Tsutomu, Natsumeda Makoto, Kabuki Takayuki, Shibata Atsushi, Kida Keisuke, Konishi Masaaki, Ishii Shunsuke, Ikeda Takanori, Ikari Yuji. Efficacy of exogenous atrial natriuretic peptide in patients with heart failure with preserved ejection fraction: deficiency of atrial natriuretic peptide and replacement therapy. *ESC Heart Failure*, 2020;7(6):4172-4181.
- 7) Nishitani-Yokoyama Miho, Daida Hiroyuki, Shimada Kazunori, Ushijima Akiko, Kida Keisuke, Kono Yuji, Sakata Yasuhiko, Nagayama Masanori, Furukawa Yutaka, Fukuma Nagaharu, Saku Keiji, Miura Shin-ichiro, Ohya Yusuke, Goto Youichi, Makita Shigeru, for the Japanese Association of Cardiac Rehabilitation (JACR) Registration Committee. Effects of Phase II comprehensive cardiac rehabilitation on risk factor modification and exercise capacity in patients with acute coronary syndrome - Results from the JACR Registry -. *Circulation Reports*, 2020; 2(12):715-721.
- 8) Nakamura Yuki, Takeba Yuko, Kobayashi Tsukasa, Ootaki Masanori, Ohta Yuki, Kida Keisuke, Sakurai Kenzo, Gen Keishi, Watanabe Minoru, Iiri Taroh, Matsumoto Naoki. Yap contributes to cardiomyocyte proliferation in the fetal rat heart epicardium with antenatal glucocorticoid administration. *Journal of St. Marianna University*, 2020;11(2):109-122.
- 9) Nabeta Takeru, Kida Keisuke, Ishida Miwa, Shiono Takaaki, Suzuki Norio, Doi Shunichi, Tsukahara Maya, Ohta Yuki, Kimura Tetsuya, Yamaguchi Keita, Takita Atsushi, Matsumoto Naoki, Akashi J. Yoshihiro, Ako Junya, Inomata Takayuki. Plasma concentration and pharmacodynamics of Edoxaban in patients with nonvalvular atrial fibrillation and acute heart failure. *Clinical pharmacokinetics*, 2021;:10.1007/s40262-021-00999-y.
- 10) Hayasaka Kazuto, Matsue Yuya, Kitai Takeshi, Okumura Takahiro, Kida Keisuke, Oishi Shogo, Akiyama Eiichi, Suzuki Satoshi, Yamamoto Masayoshi, Mizukami Akira, Yoshioka Kenji, Kuroda Shunsuke, Kagiya Nobuyuki, Yamaguchi Tetsuo, Sasano Tetsuo. Tricuspid regurgitation pressure gradient identifies prognostically relevant worsening renal function in acute heart failure. *European Heart Journal - Cardiovascular Imaging*, 2021;22(2):203-209.
- ② 総説又は症例解説
- 1) Kida Keisuke, Doi Shunichi, Suzuki Norio. Palliative care in patients with advanced heart failure. *Heart Failure Clinics*, 2020;16(2):243-254.
- 2) Makita Noriko, Manaka Katsunori, Sato Junichiro, Iiri Taroh. Chapter Four - V2 vasopressin receptor mutations. *Vitamins and Hormones*, 2020;113:79-99.
- 3) Sugimoto Tadafumi, Mizuno Atsushi, Kishi Takuya, Ito Naoya, Matsumoto Chisa, Fukuda Memori, Kagiya Nobuyuki, Shibata Tatsuhiko, Ohmori Takashi, Oishi Shogo, Fuse Jun, Kida Keiske, Kawai Fujimi, Ishida Mari, Sanada Shoji, Komuro Issei, Node Koichi. Coronavirus disease 2019 (COVID-19) information for cardiologists - systematic literature review and additional analysis -. *Circulation Journal*, 2020;84(6):1039-1043.
- 4) Sase Kazuhiro, Kida Keisuke, Furukawa Yutaka. Cardio-Oncology rehabilitation- challenges and opportunities to improve cardiovascular outcomes in cancer patients and survivors. *Journal of Cardiology*, 2020;76(6):559-567.

③ その他

- 1) Kida Keisuke. Novel strategies reflect the paradigm shift in the treatment of heart failure with reduced ejection fraction. *Internal Medicine*, 2021;Doi: 10.2169/internalmedicine.7288-21:1.

学会発表

① 国内学会

- 1) ◎太田有紀, 小林司, 大滝正訓, 武半優子, 木田圭亮, 渡辺実, 飯利太朗, 松本直樹, 武永美津子. 下肢筋委縮モデルに対する脂肪組織由来幹細胞エクソソーム投与の効果. 第 19 回日本再生医療学会総会, 2020.
- 2) ◎笠原西介, 井澤和夫, 渡辺敏, 武市尚也, 吉沢和也, 渡邊紗都, 根本慎司, 赤尾圭吾, 鈴木規雄, 木田圭亮, 長田尚彦, 大宮一人, 明石嘉浩. 心不全患者における日常生活の困難感の改善は回復期 QOL 向上の規定因子である. 第 26 回日本心臓リハビリテーション学会学術集会-オンライン学術集会-, 2020.
- 3) ◎武市尚也, 吉沢和也, 渡邊紗都, 根本慎司, 赤尾圭吾, 桑村雄偉, 小岩雄大, 藤村健, 藤田侑里, 笠原西介, 渡辺敏, 足利光平, 木田圭亮, 明石嘉浩. 心不全患者における入院中の身体活動量と退院後予後との関連. 第 26 回日本心臓リハビリテーション学会学術集会-オンライン学術集会-, 2020.
- 4) ◎吉沢和也, 武市尚也, 笠原西介, 渡邊紗都, 根本慎司, 赤尾圭吾, 小岩雄大, 桑村雄偉, 藤村健, 藤田侑里, 渡辺敏, 足利光平, 木田圭亮, 明石嘉浩. 入院期心不全患者における栄養指標と心臓関連再入院との関連—多施設研究での検討—. 第 26 回日本心臓リハビリテーション学会学術集会-オンライン学術集会-, 2020.
- 5) ◎木田圭亮, 土井駿一, 足利光平, 明石嘉浩. MitraClip 後のリハビリテーション. 第 26 回日本心臓リハビリテーション学会学術集会-オンライン学術集会-, 2020.
- 6) ◎桑村雄偉, 吉沢和也, 武市尚也, 渡邊紗都, 根本慎司, 赤尾圭吾, 小岩雄大, 藤村健, 藤田侑里, 笠原西介, 渡辺敏, 足利光平, 木田圭亮, 明石嘉浩. 回復期高齢心不全患者における下肢筋力変化量について—サルコペニアの有無での検討—. 第 26 回日本心臓リハビリテーション学会学術集会-オンライン学術集会-, 2020.
- 7) ◎木田圭亮. 国内の学会の動向、海外の心リハの推奨、心リハ学会のアンケート結果. 第 26 回日本心臓リハビリテーション学会学術集会—オンライン学術集会-, 2020.
- 8) ◎木田圭亮. 心臓リハビリテーションに必要な心不全治療薬の最前線. 第 26 回日本心臓リハビリテーション学会学術集会—オンライン学術集会-, 2020.
- 9) ◎土岐真路, 武市尚也, 石阪光央, 木田圭亮. シンプルに理解する慢性心不全の治療薬. 第 26 回日本心臓リハビリテーション学会学術集会—オンライン学術集会-, 2020.
- 10) ◎鈴木規雄, 木田圭亮, 明石嘉浩. 心不全の栄養管理における今後の課題. 第 35 回日本臨床栄養代謝学会学術集会特別大会, 2020.
- 11) ◎鈴木規雄, 木田圭亮, 明石嘉浩. 重症患者の栄養療法. 第 26 回日本心臓リハビリテーション学会学術集会-オンライン学術集会-, 2020.
- 12) ◎島田和典, 代田浩之, 福岡長知, 大屋祐輔, 三浦伸一郎, 牛島明子, 木田圭亮, 河野裕治, 坂田泰彦, 長山雅俊, 古川裕, 牧田茂. 日本心臓リハビリテーション学会レジストリー研究の現状と運用上

の課題. 第 26 回日本心臓リハビリテーション学会学術集会「オンライン学術集会」, 2020.

- 13) ◎木田圭亮. CORE : がん患者における心臓リハビリテーション. 第 256 回日本循環器学会関東甲信越地方会, 2020.
- 14) ◎木田圭亮. 今、変わる 心不全患者の臨床栄養 心臓悪液質の病態と治療 心臓悪液質は改善できるか?. 第 84 回日本循環器学会学術集会, 2020.
- 15) ◎榎田紀子, 間中勝則, 佐藤潤一郎, 中井一貴, 竹内牧, 三谷康二, 南学正臣, 飯利太朗. 先天性腎性尿崩症の原因となる変異 V2 受容体をターゲットとした特異的治療法の開発. 第 93 回日本内分泌学会学術集会, 2020.
- 16) ◎榎田紀子, 間中勝則, 佐藤潤一郎, 竹内牧, 飯利太朗. マルチキナーゼ阻害薬 (TKI) による甲状腺機能障害—メカニズムと対策. 第 93 回日本内分泌学会学術集会, 2020.
- 17) ◎土井駿一, 明石嘉浩, 原田智雄, 石橋祐記, 鈴木規雄, 木田圭亮. 再入院を短期で繰り返した高齢者心不全に何をすべきかを考える一例. 第 257 回日本循環器学会関東甲信越地方会, 2020.
- 18) ◎木田圭亮. 心不全治療における RASi. 第 24 回日本心不全学会学術集会, 2020.
- 19) ◎鈴木規雄, 木田圭亮, 明石嘉浩. 心不全患者の栄養評価の重要性. 第 24 回日本心不全学会学術集会, 2020.
- 20) ◎木田圭亮. 心臓 MRI を活用した心筋症の治療戦略. 第 24 回日本心不全学会学術集会, 2020.
- 21) ◎中村悠城, 武半優子, 桜井研三, 松本直樹. 出生前グルココルチコイド投与によるラット胎仔心臓の YAP の検討. 第 56 回日本小児循環器学会総会・学術集会, 2020.
- 22) ◎榎田紀子, 間中勝則, 佐藤潤一郎, 竹内牧, 飯利太朗. 専門医教育セミナー2 免疫チェックポイント阻害薬による内分泌 irAE. 第 63 回日本甲状腺学会学術集会, 2020.
- 23) ◎武半優子, 中村悠城, 小林司, 大滝正訓, 太田有紀, 木田圭亮, 桜井研三, 長田洋資, 渡辺実, 飯利太朗, 松本直樹. 出生前グルココルチコイド投与におけるラット心外膜の心筋細胞増殖に関わる Yap の役割. 第 41 回日本臨床薬理学会学術総会, 2020.
- 24) ◎小林司, 武半優子, 太田有紀, 大滝正訓, 渡辺実, 桜井研三, 元圭史, 中村悠城, 木田圭亮, 飯利太朗, 松本直樹. 出生前グルココルチコイド投与におけるラット胎仔肝臓の成熟並びに細胞増殖への影響. 第 41 回日本臨床薬理学会学術総会, 2020.
- 25) ◎木田圭亮, 土井駿一, 鈴木規雄, 太田有紀, 明石嘉浩, 松本直樹. 心不全新規治療薬イバブラジンの治験参加の経験と今後の展望. 第 41 回日本臨床薬理学会学術総会, 2020.
- 26) ◎太田有紀, 渡部一宏, 廣原正宜, 浜本知之, 宮崎美子, 塚本都子, 山本君子, 竹元仁美, 上谷いつ子, 望月篤, 信岡祐彦, 松本直樹. 医・薬・看護科大学相互協力による多職種連携教育の検討. 第 41 回日本臨床薬理学会学術総会, 2020.
- 27) ◎大滝正訓, 太田有紀, 武半優子, 渡辺実, 小林司, 中村悠城, 木田圭亮, 飯利太朗, 松本直樹. CYP2C19 の活性化における分子動力学・量子化学計算を用いた検討. 第 41 回日本臨床薬理学会学術総会, 2020.
- 28) ◎Takeba Yuko, Kobayashi Tsukasa, Ootaki Masanori, Ohta Yuki, Kida Keisuke, Watanabe Minoru, Iiri Taroh, Matsumoto Naoki. Prenatal glucocorticoid administration accelerates glomeruli and renal tubules development in the fetal rats. 第 94 回日本薬理学会年会, 2021.
- 29) ◎Kobayashi Tsukasa, Takeba Yuko, Ootaki Masanori, Kida Keisuke, Watanabe Minoru, Iiri

Taroh, Matsumoto Naoki. Expression of the growth -related factors in the liver of fetal rats. 第 94 回日本薬理学会年会, 2021.

- 30) ◎Ohta Yuki, Kobayashi Tsukasa, Takeba Yuko, Ootaki Masanori, Kida Keisuke, Watanabe Minoru, Iiri Taroh, Takenaga Mitsuko, Matsumoto Naoki. Effect of adipose tissue-derived stem/stromal cells on muscle atrophy. 第 94 回日本薬理学会年会, 2021.
- 31) ◎太田有紀, 小林司, 武半優子, 大滝正訓, 木田圭亮, 渡辺実, 飯利太朗, 武永美津子, 松本直樹. 座骨神経障害誘発萎縮筋組織に対する脂肪組織由来幹細胞の効果. 第 20 回日本再生医療学会総会, 2021.
- 32) ◎小林司, 武半優子, 太田有紀, 大滝正訓, 元圭史, 中村悠城, 渡辺実, 木田圭亮, 飯利太朗, 松本直樹. 出生前デキサメタゾンが胎仔ラット肝臓並びに正常肝 RLN-B2 細胞の増殖と成熟因子に及ぼす影響. 聖マリアンナ医科大学 医学会 第 79 回学術集会 (オンライン) , 2021.
- 33) ◎木田 圭亮. トピック 15 新型コロナウイルス感染と循環器疾患 心臓リハビリテーションと COVID-19. 第 85 回日本循環器学会学術集会, 2021.
- 34) ◎Ootaki Masanori, Hiroi Tomoko, Ohta Yuki, Takeba Yuko, Kida Keisuke, Matsui Hiroaki, Naoki Matsumoto. Structure prediction of the N-terminal regulatory domain of the human tryptophan hydroxylase 2. 第 94 回日本薬理学会年会, 2021.

② 国際学会

- 1) ◎Doi Shunichi, Ashikaga Kohei, Nishikawa Haruka, Suzuki Tomomi, Suzuki Norio, Kuwata Shingo, Okuyama Kazuaki, Kaihara Toshiki, Koga Masashi, Kamijima Ryo, Watanabe Mika, Izumo Masaki, Ishibashi Yuki, Tanabe Yasuhiro, Kida Keisuke, Harada Tomoo, Akashi Yoshihiro. The nutrition screening and assessment as predictor of prognosis in patients undergoing transcatheter aortic valve implantation. 第 84 回日本循環器学会学術集会, 2020.
- 2) ◎Nabeta Takeru, Kida Keisuke, Ishida Miwa, Shiono Takaaki, Suzuki Norio, Doi Shunichi, Tsukahara Maya, Akashi Yoshihiro, Ako Junya, Inomata Takayuki. Multicenter pharmacokinetic and pharmacodynamic study of oral factor Xa inhibitor edoxaban in non-valvular atrial fibrillation patients with acute heart failure. 第 85 回日本循環器学会学術集会, 2021.

③ その他

- 1) ◎木田圭亮. 腎機能を意識した心不全治療. Scientific Exchange Meeting in Niigata 電解質管理の重要性～CKD 患者の予後改善に向けて～, 2020.
- 2) ◎木田圭亮. 心不全治療の新展開. COVID-19 と心臓病の関係性を考える会, 2020.
- 3) ◎木田圭亮. 電解質管理シフトで臨む心不全治療 2020. 循環器リモートカンファレンス, 2020.
- 4) ◎木田圭亮. 心拍数に注目! 心不全治療の新たな道しるべ. Heart Failure Symposium, 2020.
- 5) ◎木田圭亮. 多職種連携の心不全チーム医療の実際について. HF Team Channel, 2020.
- 6) ◎木田圭亮. これからの心不全治療薬を考える. Ishikawa Heart Failure Conference, 2020.
- 7) ◎木田圭亮. 心不全を合併した 2 型糖尿病の最新治療. 川崎中部 Area Conference, 2020.
- 8) ◎木田圭亮. 心不全を合併した糖尿病治療の最前線 ～JDS、JCS 合同ステートメントを踏まえて～. Diabetes WEB 講演会, 2020.
- 9) ◎木田圭亮. 心臓リハビリテーションに必要な心不全治療薬の最前線. 心不全多職種 WEB Seminar,

2020.

- 10) ◎木田圭亮. 心不全ステージ A/B における 2 型糖尿病治療のパラダイムシフト. DM Live Symposium, 2020.
- 11) ◎木田圭亮. 心拍数に注目！心不全治療の新たな道しるべ. Diabetes Web 講演会 & Heart disease seminar 2020, 2020.
- 12) ◎木田圭亮. 心不全薬物治療 Up To Date 2020. 心不全カンファレンス～WEB Meeting～, 2020.
- 13) ◎木田圭亮. 心不全治療の新展開 2020. 心不全 SEMINAR in SAITAMA (WEB 開催), 2020.
- 14) ◎木田圭亮. 新たな心不全治療戦略 2020. 第 628 回八戸胸部疾患懇話会, 2020.
- 15) ◎木田圭亮. 心不全治療薬における新たな治療戦略. ARNI Web Live Symposium, 2020.
- 16) ◎木田圭亮. 心拍数に注目！心不全治療の新たな道しるべ. chronic heart failure Table Discussion Meeting ～心拍管理意義を考える～, 2020.
- 17) ◎木田圭亮. 心不全合併糖尿病診療における clinical inertia. 川崎横浜 循環器疾患連携 KY セミナー, 2020.
- 18) ◎木田圭亮. 次世代の心不全治療戦略 2020. HEART BEAT WEB Heart Failure Meeting By Next Generations, 2020.
- 19) ◎木田圭亮. 心不全チーム医療 2020. 川崎北部心不全チーム連携を考える会, 2020.
- 20) ◎木田圭亮. 心不全治療薬における新たな治療戦略. Chiba Expert Meeting, 2020.
- 21) ◎木田圭亮. 心不全治療薬における新たな治療戦略. Meet the Medical Experts, 2020.
- 22) ◎木田圭亮. 次世代の心不全治療戦略 2020. 心不全緩和ケアセミナー, 2020.
- 23) ◎木田圭亮. 心不全を合併した糖尿病の新たな治療戦略. Diabetes Area Meeting in IWAKI, 2020.
- 24) ◎木田圭亮. 慢性心不全の外来管理における ARNI の役割. 横浜内科学会 第 227 回循環器研究会, 2020.
- 25) ◎木田圭亮. T1 mapping によるファブリー病のスクリーニングと治療効果判定. Conference of Fabry disease in Kanagawa, 2020.
- 26) ◎木田圭亮. 慢性心不全の外来治療の在り方. 慢性心不全 外来治療カンファレンス online, 2020.
- 27) ◎木田圭亮. 心不全治療薬における新たな治療戦略. Meet the Medical Experts, 2020.
- 28) ◎木田圭亮. 循環器医が考える心不全合併 2 型糖尿病患者の全身管理. 令和 2 年度 第 1 回横浜川崎地区研修会 (神奈川県病院薬剤師会研修会), 2021.
- 29) ◎木田圭亮. 変わりゆく心不全治療戦略の現状と課題. 第 11 回心不全のトータルマネジメントを考える会, 2021.
- 30) ◎木田圭亮. 心不全の新たな治療戦略 2021. 第 1 回 OCU Heart Failure Web Meeting, 2021.
- 31) ◎松本直樹. 治験審査委員の役割を勉強して臨床研究を知る. 臨床研究の倫理に関する研修会, 2021.
- 32) ◎木田圭亮. 心不全患者における電解質管理の実態. Scientific Exchange Meeting in Gunma, 2021.
- 33) ◎村松和樹, 土井駿一, 亀島はる香, 栗田真吾, 上嶋亮, 出雲昌樹, 木田圭亮, 樋熊拓未, 原田智雄, 石橋祐記, 明石嘉浩. 新しい循環保護デバイスの可能性. 第 32 回神奈川心不全研究会, 2021.
- 34) ◎村田理沙子, 亀島はる香, 土井駿一, 栗田真吾, 上嶋亮, 出雲昌樹, 木田圭亮, 樋熊拓未, 原田智雄, 石橋祐記, 明石嘉浩. 心室細動、心不全を併発した新京成食思不振症の 1 例. 第 32 回神奈川心不

全研究会, 2021.

35) ◎高木宗兵, 栗田真吾, 土井駿一, 亀島はる香, 上嶋亮, 出雲昌樹, 木田圭亮, 樋熊拓未, 原田智雄, 石橋祐記, 明石嘉浩. Torsdes de Pointes で発症したたこつぼ型心筋症の 1 例. 第 32 回神奈川心不全研究会, 2021.

36) ◎木田圭亮. 心不全の電解質管理と新たな治療戦略. Heart Failure Forum in Fukuoka, 2021.

37) ◎木田圭亮. 心不全におけるカリウム管理の重要性. 第 85 回日本循環器学会学術集会 共催セミナー42, 2021.

		和文	英文
著 書		5	
論 文	原著	3	10
	解説又は総説	10	4
	症例報告		
	その他	16	1
学会発表	国内学会	33	1
	国際学会		2
	その他	37	

免疫学・病害動物学

学術論文[英文]

① 原著

- 1) Murayama MA, His-Hua Chi, Iwakura Y. The elucidation of functional role of CTRP6 in the development of osteoarthritis. *Experimental Animals*, 2020;69:s221.
- 2) Murayama MA, Iwakura Y. C1q/TNF-related protein 3 regulates chondrogenic cell proliferation via adiponectin receptor 2 (progestin and adipoQ receptor 2). *Translational and Regulatory Science*, 2020;2(1):19-23.
- 3) Masubuchi N, Araki M, Yang Y, Hayashi E, Imai M, Edahiro Y, Hironaka Y, Mizukami Y, Kihara Y, Takei H, Nudejima M, Koike M, Ohsaka A, Komatsu N. Mutant calreticulin interacts with MPL in the secretion pathway for activation on the cell surface. *Leukemia*, 2020;34:499-509.
- 4) Shimizu J, Yamano Y, Kawahata K, Suzuki N. Elucidation of predictors of disease progression in patients with relapsing polychondritis at the onset: potential impact on patient monitoring. *BMC rheumatology*, 2020;4(41):doi: 10.1186/s41927-020-00141-8.
- 5) Narimatsu A, Hattori T, Usui Y, Ueno H, Funaki T, Komatsu H, Nakagawa H, Akiba H, Goto H. Blockade of costimulatory CD27/CD70 pathway promotes corneal allograft survival. *Experimental Eye Research*, 2020;199:108190.
- 6) Yabe R, Chung SH, Murayama MA, Kubo S, Shimizu K, Akahori Y, Maruhashi T, Seno A, Kaifu T, Saijo S, Iwakura Y. TARM1 contributes to development of arthritis by activating dendritic cells through recognition of collagens. *Nature Communications*, 2021;12:95.

② 総説又は症例解説

- 1) Murayama MA. The development of Alzheimer's disease models. *BIO Clinica*, 2020;35(10):375-377.

学会発表

① 国内学会

- 1) 友近顕, 赤澤努, 梅原亮, 飯沼雅央, 仁木久照, 有光なぎさ, 廣津千恵子, 高井憲治, 村山正承, 清水潤, 鈴木登. 全切断脊髄損傷モデルへの人工神経導管併用神経幹細胞移植の治療効果. 第35回日本整形外科学会基礎学術集会, 2020.

② 国際学会

- 1) Shimizu J, Yamano Y, Kawahara K, Suzuki N. Comparison of nation-wide epidemical study on 2009 and that on 2019 revealed that improvement of disease severity and mortality rate may come from progress of proficient management in patients with relapsing polychondritis in Japan. *American College of Rheumatologys Annual Meeting 2020*, 2020.

		和文	英文
著 書			
論 文	原著		6
	解説又は総説		1
	症例報告		
	その他		
学会発表	国内学会	1	
	国際学会		1
	その他		

病理学(診断病理・分子病理)

学術論文[和文]

① 原著

1) 渡辺温子, 太田充彦, 藤原節, 飛田和えりか, 秋岡祐子, 小池淳樹, 田中竜平. 抗悪性腫瘍薬による薬剤性慢性腎障害を呈した思春期悪性固形腫瘍の腎病理組織像. 癌と化学療法, 2020;47(7):1129-1131.

② 総説又は症例解説

1) 小池淳樹, 服部元史. 移植腎生検の病理. 診断病理, 2020;37(3):179-189.

2) 郷田敦史, 呉文文, 太田智彦. BRCA 遺伝子変異による臓器特異的な発がん. 医学のあゆみ, 2020;274(12):1194-1198.

3) 堀井理絵. 乳癌術前薬物療法の病理学的治療効果判定. 病理と臨床, 2021;39(2):200-203.

4) 小池淳樹, 堀田茂, 種田積子. M 蛋白に関連する腎病変—MGUS から MGRS へ—. 病理と臨床, 2021;39(2):148-154.

③ 症例報告

1) 加藤宗次郎, 宮澤知行, 酒井寛貴, 木村祐之, 丸島秀樹, 小島宏司, 佐治久, 土居正知, 小池淳樹, 高木正之. 同時性多発肺腺癌における PD-L1 発現の検討. 肺癌, 2020;60(2):135-136.

2) 早川智絵, 干川晶弘, 井村穰二, 宇杉美由紀, 半田留美子, 上野隆彦, 有泉泰, 小池淳樹. EUS-FNA におけるコンタミ細胞の特徴像と臍病変との鑑別. 日本臨床細胞学会雑誌, 2020;59(Suppl.1):225.

3) ◎吉江玲子, 白英, 川本久紀, 福田護, 岡田幸法, 小池淳樹. 化学療法と定位放射線治療併用中に腫瘍内出血を認めた乳癌脳転移の 1 例. 日本臨床外科学会雑誌, 2020;81(8):1482-1488.

4) 高田女里, 関征央, 相原正記, 梶川明義, 西本寛志, 斎藤善光, 宮本康裕, 成木佐瑛子. 頬部皮下腫瘍として触知された上顎洞血腫の 1 例. 聖マリアンナ医科大学雑誌, 2020;Vol.48:123-128.

5) 大槻拓矢, 家研也, 奥瀬千晃, 榎渕滯, 相原茉里, 高野知憲, 黒須絵莉, 本橋伊織, 酒井翼, 薩田洋輔, 中野弘康, 石郷岡晋也, 田中拓, 有泉泰, 松田隆秀. 先行して顕性化した結節性紅斑により診断された潰瘍性大腸炎の 1 例. 日本病院総合診療医学会雑誌, 2020;16(6):437-443.

6) 小野龍宣, 古畑智久, 臼井創大, 野田顕義, 佐々木貴浩, 小泉宏隆, 宮島伸宜, 大坪毅人. 直腸癌に併発し転移性肝癌との鑑別が困難であった肝硬化性血管腫の 1 例. 聖マリアンナ医科大学雑誌, 2020;48(3):117-122.

7) 天野優希, 小林慎二郎, 井田圭亮, 土橋篤仁, 小泉哲, 前田一郎, 藤野節, 遠藤陽, 高木正之, 森田亮, 路川陽介, 中原一有, 大坪毅人. 十二指腸乳頭部原発 Mixed neuroendocrine non-neuroendocrine neoplasm(MiNEN)の 1 例. 聖マリアンナ医科大学雑誌, 2020;48(3):109-116.

8) 西山和宏, 古屋直樹, 鶴岡一, 阿座上真哉, 柿沼一隆, 井上健男, 遠藤陽, 峯下昌道, 元井紀子. PCR 陰性であったが NGS で診断し得た EGFR 遺伝子変異 Exon19 deletion 陽性肺腺癌の 1 例. 肺癌, 2020;2021(61):143-144.

9) 中村歩希, 川口公悠樹, 小野寺英孝, 榊原陽太郎, 柳澤信之. Multiple inflammatory pseudotumor の 1 例. 脊髄外科, 2020;34(2):302-306.

10) 樋渡正樹, 小泉哲, 小倉佑太, 土橋篤仁, 片山真史, 小林慎二郎, 長宗我部基弘, 小池淳樹, 大坪毅人. SVR 後 10 年で発見された肝細胞癌の 1 切除. Liver Cancer, 2021;26(1):7-11.

④ その他

- 1) 森川慶, 木田博隆, 半田寛, 甲田英里子, 角田哲人, 鶴岡一, 大山バク, 松澤慎, 大谷真理子, 古屋直樹, 西根広樹, 井上健男, 佐治久, 小池淳樹, 峯下昌道. 肺末梢病変に対する EBUS 併用凍結生検の有用性. 気管支学, 2020;42(Suppl.):S215.
- 2) 中島久弥, 高木正之, 長宗我部基弘, 松下和彦, 小池淳樹, 仁木久照. 臨床画像上、足指良性小嚢腫性病変と診断された滑膜肉腫の 1 例 画像診断報告書に頼り過ぎてはいけない. 日本整形外科学会雑誌, 2020;94(6):S1516.
- 3) 田島信哉, 前田一郎, 土居正知, 成木佐瑛子, 遠藤陽, 長宗我部基弘, 岸本佳子, 津川浩一郎, 高木正之, 小池淳樹. 細胞外粘液産生を伴った浸潤性小葉癌の一例. 神奈川医学会雑誌, 2020;47(2):221-221.

学術論文[英文]

① 原著

- 1) Nishimura Toshihide, Nakamura Haruhiko, Yachie Ayako, Hase Takeshi, Fujii Kiyonaga, Koizumi Hiroataka, Naruki Saeko, Takagi Masayuki, Matsuoka Yukiko, Furuya Naoki, Kato Harubumi, Saji Hisashi. Disease-related cellular protein networks differentially affected under different EGFR mutations in lung adenocarcinoma. SCIENTIFIC REPORTS, 2020;(10):1-16.
- 2) Nishimura Toshihide, Nakamura Haruhiko, Kien Thiam Tan, Fujii Kiyonaga, Koizumi Hiroataka, Naruki Saeko, Takagi Masayuki, Furuya Naoki, Kato Yasufumi, Shu-Jen Chen, Kato Harubumi, Saji Hisashi. A proteogenomic profile of early lung adenocarcinomas by protein co-expression network and genomic alteration analysis. SCIENTIFIC REPORTS, 2020;10(1):13604.

② 症例報告

- 1) Akiko Uchino, Makiko Nagai, Naomi Kanazawa, Masaaki Ichinoe, Nobuyuki Yanagisawa, Kaori Adachi, Eiji Nanba, Hiroyuki Ishiura, Jun Mitsui, Shoji Tsuji, Kinuko Suzuki, Shigeo Murayama, Kazutoshi Nishiyama. An autopsy case of GM1 gangliosidosis type II in a patient who survived a long duration with artificial respiratory support. Neuropathology, 2020;40(4):379-388.
- 2) Sasaki Takahiro, Furuhata Tomohisa, Nishimura Masashige, Ono Tatsunori, Noda Akiyoshi, Koizumi Hiroataka, Miyajima Nobuyoshi, Otsubo Takehito.
An extremely rare case of neuromuscular and vascular hemartoma of the appendix. Surgical Case Reports, 2020;:DOI-10.1186/s40792020009702.
- 3) Hasegawa M, Uehara A, Suzuki T, Sekine R, Yazawa M, Ichikawa D, Koike J, Shibagaki Y. Nintedanib-induced glomerular microangiopathy: a case report. CEN Case Reports, 2020;9(4) : 295-300.
- 4) Reiko Suzuki, Hiraku Endo, Takamichi Sasaki, Takayoshi Nakamura, Hiroyuki Yamanaka, Shinji Hosonuma, Shiho Kuji, Imari Deura, Tatsuru Ohara, Haruhiro Kondo, Motohiro Chosokabe, Junki Koike, Hiroshi Kadono, Junichi Hasegawa, Nao Suzuki. Primary malignant melanoma of uterine cervix treated with pembrolizumab as adjuvant immunotherapy. International Cancer Conference Journal, 2021;:DOI-10.1007/s13691-021-00477-z.

- 5) Shiho Kuji, Haruhiro Kondo, Tatsuru Ohara, Imari Deura, Akiko Tozawa-Ono, Ohsuke Migita, Hisanori Kawamoto, Koichiro Tsugawa, Motohiro Chosokabe, Junki Koike, Ichiro Maeda, Nao Suzuki. Value of adjuvant chemotherapy and informed microscopic examination for occult gynecologic cancer detected upon risk-reducing salpingo-oophorectomy after chemotherapy for BRCA 1/2-associated breast cancer: a case report. Japanese Journal of Clinical Oncology, 2021; 51(3):492-497.
- 6) Hiroko Tagawa, Takayuki Yamada, Takashi Miyakawa, Yoshida Aida, Zenkichi Sekiguchi. A collision between vascular adrenal cyst and adrenocortical adenoma. Radiology case reports, 2021;16(6):1294-1299.

学会発表

① 国内学会

- 1) ◎早川智絵, 稲山久美子, 干川晶弘, 井村穰二, 宇杉美由紀, 半田留美子, 上野隆彦, 有泉泰, 小池淳樹. EUS-FNA におけるコンタミ細胞の特徴像と膵病変との鑑別. 第 61 回日本臨床細胞学会総会, 2020.
- 2) ◎森本勇樹, 井田圭亮, 酒巻香織, 天野優希, 土橋篤仁, 小林慎二郎, 小泉哲, 小池淳樹, 大坪毅人. EUS-FNA で術前診断し得た十二指腸水平脚原発 GIST の 1 例. 第 857 回外科集談会, 2020.
- 3) ◎森川慶, 木田博隆, 半田寛, 甲田英里子, 角田哲人, 鶴岡一, 大山バク, 松澤慎, 大谷真理子, 古屋直樹, 西根広樹, 井上健男, 佐治久, 小池淳樹, 峯下昌道. 肺末梢病変に対する EBUS 併用凍結生検の有用性. 第 43 回日本呼吸器内視鏡学会学術集会, 2020.
- 4) ◎有泉泰, 土居正知, 小池淳樹. 当院における腸管スピロヘータ症の臨床病理的検討. 第 109 回日本病理学会総会, 2020.
- 5) ◎田島信哉, 前田一郎, 夏木靖典, 遠藤陽, 成木佐瑛子, 土居正知, 長宗我部基弘, 岸本佳子, 津川浩一郎, 小池淳樹. 神経内分泌化を示す Encapsulated papillary carcinoma の一例. 第 109 回日本病理学会総会, 2020.
- 6) ◎清川博史, 安田宏, 近江亮介, 加藤正樹, 佐藤義典, 松尾康正, 山下真幸, 山本博幸, 小池淳樹, 伊東文生. 当院における胃底腺型胃癌 4 例の臨床的および内視鏡的特徴についての検討. 第 106 回日本消化器病学会総会, 2020.
- 7) ◎吉田良仁, 落合康利, 原雅樹, 川島垂貴世, 五十嵐央祥, 黄世揚, 小泉宏隆, 中嶋孝司, 伊東文生. 癌化を伴った十二指腸 Peutz-Jeghers 型ポリープの 1 例. 第 106 回日本消化器病学会総会, 2020.
- 8) 古田繁行, 藤川あつ子, 岡村隆徳, 小池淳樹, 長江秀樹, 大山慧, 北川博昭. 小児虫垂炎において超音波による病理診断まで必要か?. 第 56 回日本小児放射線学会学術集会, 2020.
- 9) ◎梅澤早織, 丸島秀樹, 酒井寛貴, 木村祐之, 宮澤知行, 小島宏司, 小池淳樹, 佐治久. 上皮筋上皮癌に対して気管環状切除術を施行した一例. 第 174 回日本呼吸器内視鏡学会関東支部会, 2020.
- 10) ◎木村祐之, 小島宏司, 酒井寛貴, 宮澤知行, 丸島秀樹, 佐治久, 遠藤陽, 小池淳樹. 左肺下葉原発の Ciliated Muconodular Papillary Tumor の一切除例. 第 174 回日本呼吸器内視鏡学会関東支部会, 2020.
- 11) ◎久保ゆい, 方波見卓行, 松葉怜, 川名部新, 佐藤怜奈, 蜂須賀智, 相田芳夫, 山崎有人, 笹野公伸,

- 中川朋子, 曾根正勝. 巨大後腹膜腫瘤として発見された左側副腎出血と右側原発性アルドステロン症 (PA) を合併した 1 例. 第 24 回日本臨床内分泌病理学会学術総会, 2020.
- 12) ◎丸島秀樹, 酒井寛貴, 木村祐之, 宮澤知行, 小島宏司, 小池淳樹, 佐治久. 当院における気管腫瘍切除例の臨床病理学的特徴. 第 37 回日本呼吸器外科学会学術集会, 2020.
- 13) ◎村橋登, 方波見卓行, 川名部新, 松葉怜, 久保ゆい, 佐藤怜奈, 竹内研人, 蜂須賀智, 相田芳夫, 田中彩夏, 笹野公伸, 斎藤春洋, 曾根正勝. 副腎皮質癌との鑑別が困難であった肺癌片側副腎転移の 1 例. 第 21 回日本内分泌学会関東甲信越支部学術集会, 2020.
- 14) ◎増田哲之, 浜辺太郎, 梅澤早織, 塚本芳嗣, 福岡麻子, 朝野隆之, 牧角良二, 長曾我部基弘, 土居正和, 大坪毅人. 腸重積で緊急手術を施行した腸管嚢胞状気腫症の 1 例. 第 56 回日本腹部救急医学会総会, 2020.
- 15) ◎則武睦未, 印牧義英, 川本久紀, 清水康弘, 福田護, 三村秀文, 津川浩一郎, 小池淳樹. 乳癌転移診断における全身 PET と全身 DWIBS との対比. 第 28 回日本乳癌学会学術総会, 2020.
- 16) ◎大井涼子, 敦賀智子, 土居正知, 印牧義英, 津川浩一郎. Poland 症候群に発生した原発性乳癌の 1 例. 第 28 回日本乳癌学会学術総会, 2020.
- 17) ◎坂本菜央, 本吉愛, 酒巻香織, 喜多島美奈, 瀧下茉莉子, 田雑瑞穂, 中野万理, 黒田貴子, 敦賀智子, 志茂彩華, 志茂新, 小島康幸, 白英, 川本久紀, 福田護, 田島信哉, 小池淳樹, 津川浩一郎. 心筋転移をきたした乳腺扁平上皮癌の一例. 第 28 回日本乳癌学会学術総会, 2020.
- 18) ◎敦賀智子, 瀧下茉莉子, 黒田貴子, 志茂彩華, 白英, 志茂新, 本吉愛, 小島康幸, 川本久紀, 福田護, 印牧義英, 小池淳樹, 津川浩一郎. 術前化学療法における dose-dense EC 療法の治療成績. 第 28 回日本乳癌学会学術総会, 2020.
- 19) ◎小野龍宣, 古畑智久, 臼井創大, 野田顕義, 佐々木貴浩, 小泉宏隆, 宮島伸宜, 大坪毅人. 直腸癌に併発し転移性肝癌との鑑別が困難であった肝硬化性血管腫の 1 例. 第 82 回日本臨床外科学会総会, 2020.
- 20) ◎有福厚孝, 佐々木大祐, 丹波和也, 片山真史, 石井将光, 四万村司, 朝倉武士, 有泉泰, 大坪毅人. 胆嚢癌と鑑別を要した胆嚢内乳頭状腫瘍(ICPN)の 1 例. 第 82 回日本臨床外科学会総会, 2020.
- 21) ◎岩田英明, 宮澤知行, 酒井寛貴, 木村祐之, 丸島秀樹, 小島宏司, 小池淳樹, 佐治久. 気管・気管支原発の上皮筋上皮癌の 2 切除例. 第 61 回日本肺癌学会学術集会, 2020.
- 22) ◎中村歩希, 工藤忠, 小林博雄, 田口芳雄, 高木正之. Solitary synovial osteochondroma の 1 例. 第 35 回日本脊髄外科学会, 2020.
- 23) ◎勝又健太, 大島隆一, 桃原侑利, 菊地悠輔, 久恒靖人, 平良済, 根岸宏行, 田中圭一, 相田芳夫, 國場幸均, 大坪毅人. 当院における大腸悪性リンパ腫切除術 5 例の検討. 第 75 回日本大腸肛門病学会学術集会, 2020.
- 24) ◎細沼信示, 佐々木貴充, 原田賢, 古谷菜摘, 佐藤匠, 岡本美穂, 田村みどり, 草苺宏有, 柳澤信之, 相田芳夫, 大熊克彰, 戸澤晃子, 久慈志保, 大原樹, 鈴木直. 腹腔細胞診が有用であった転移性卵巣腫瘍の一例. 第 59 回日本臨床細胞学会秋期大会, 2020.
- 25) ◎横道憲幸, 戸澤晃子, 遠藤陽, 生澤竜, 竹内淳, 細沼信示, 久慈志保, 出浦伊万里, 大原樹, 大熊克彰, 木口一成, 小池淳樹, 鈴木直. 円錐切除術後の液状検体による子宮頸部細胞診で AGC と診断された 2 症例の検討. 第 59 回日本臨床細胞学会秋期大会, 2020.

- 26) ◎木村祐之, 丸島秀樹, 酒井寛貴, 宮澤知行, 小島宏司, 大林樹真, 有泉泰, 佐治久. 閉塞性肺炎に対し右上葉切除術を行った気管支内異物の1例. 第175回日本呼吸器内視鏡学会関東支部会, 2020.
- 27) ◎古谷菜摘, 長谷川潤一, 土居正知, 本間千夏, 小池淳樹, 鈴木直. 妊娠中の微細超音波ドプラ(SMD)による胎盤の病理所見の予測に関する研究. 日本超音波医学会第93回学術集会, 2020.
- 28) ◎臼井創大, 井田圭亮, 天野優希, 土橋篤仁, 小林慎二郎, 小泉哲, 小池淳樹, 大坪毅人. 結腸浸潤部からの出血による Oncologic emergency にて手術を行った膵尾部腺扁平上皮癌の1例. 日本消化器病学会関東支部第362回例会, 2020.
- 29) ◎勝又健太, 民上真也, 鈴木卓也, 亀井奈津子, 榎本武治, 長宗我部基弘, 小池淳樹, 大坪毅人. G-CSF 産生食道扁平上皮癌に対して手術加療を行なった1例. 第74回日本食道学会学術集会, 2020.
- 30) ◎瀬上航平, 小林慎二郎, 樋渡正樹, 小倉佑太, 土橋篤仁, 片山真史, 長宗我部基弘, 小池淳樹, 小泉哲, 大坪毅人. 十二指腸原発組織球肉腫の1例. 第75回日本消化器外科学会総会, 2020.
- 31) ◎古谷菜摘, 長谷川潤一, 本間千夏, 岩端秀之, 土居正知, 小池淳樹, 鈴木直. 微細超音波ドプラ法による新しい胎盤機能不全の評価に関する検討. 第30回日本産婦人科・新生児血液学会学術集会, 2020.
- 32) ◎久恒靖人, 國場幸均, 勝又健太, 桃原侑利, 菊地悠輔, 平良済, 根岸宏行, 大島隆一, 田中圭一, 相田芳夫, 大坪毅人. 下部消化管に発生した Schwannoma に対して腹腔鏡下手術を施行した2例. 第45回日本外科連合学会学術集会, 2020.
- 33) ◎小倉佑太, 小林慎二郎, 井田圭亮, 土橋篤仁, 小泉哲, 小池淳樹, 大坪毅人. 膵鉤部後面に発生した Paraganglioma の1例. 第51回日本膵臓学会大会, 2021.
- 34) ◎土橋篤仁, 小林慎二郎, 小倉佑太, 片山真史, 小泉哲, 土居正和, 高木正之, 小池淳樹, 大坪毅人. 膵体尾部欠損を伴う膵胆管合流異常症の術後12年で発症した膵頭部癌の1例. 第51回日本膵臓学会大会, 2021.
- 35) ◎横道憲幸, 永澤侑子, 金森玲, 遠藤拓, 西村陽子, 久慈志保, 出浦伊万里, 大原樹, 小泉宏隆, 戸澤晃子, 木口一成, 鈴木直. 子宮鏡手術で診断された子宮内膜異型増殖症の検討. 第62回日本婦人科腫瘍学会学術講演会, 2021.
- 36) ◎久慈志保, 遠藤陽, 久保田学, 渡邊麗子, 三上芳喜, 小池淳樹, 鈴木直. 子宮頸部神経内分泌腫瘍に対する Insulinoma-associated protein 1 (INSM1) 免疫組織化学染色の実用化. 第62回日本婦人科腫瘍学会学術講演会, 2021.
- 37) ◎佐々木貴浩, 古畑智久, 西村正成, 小野龍宣, 野田顕義, 宮島伸宜, 小泉宏隆, 大坪毅人. ESD 後に手術を施行した複合型胃腺神経内分泌癌の1例. 第17回日本消化管学会総会学術集会, 2021.
- 38) ◎増田哲之, 大坪莞爾, 酒井寛貴, 木村祐之, 宮澤知行, 丸島秀樹, 小島宏司, 成木佐瑛子, 小池淳樹, 佐治久. 組織型が異なる異時性多発肺癌の1症例. 第189回日本肺癌学会関東支部学術集会, 2021.
- 39) ◎榎本武治, 民上真也, 津田享志, 高城伸平, 樋渡正樹, 亀井奈津子, 嶋田仁, 長曾我部基弘, 大坪毅人. Stage4 胃癌に対して S-1+CDDP 療法にて pCR を得た1例. 第93回日本胃癌学会総会, 2021.
- 40) 宮川天志, 大島隆一, 相田芳夫, 山田隆之. 肝炎症性偽腫瘍と肝膿瘍を異時性に来し、S状結腸慢性炎症が由来と考えられた1例. 第457回日本医学放射線学会関東地方会定期大会, 2021.

② 国際学会

- 1) © Shinya Tajima, Nobuhiko Matsumoto, Motohiro Chosokabe, Akira Endo, Saeko Naruki, Masatomo Doi, Keiko Kishimoto, Koichiro Tsugawa, Junki Koike. Intraductal nuclear inverse-polarity papillary lesions without bilayer structure: a report of two cases. The 16th International Conference on Surgical Pathology & Cancer Diagnosis, 2020.
- 2) ©Shinya Tajima, Nobuhiko Matsumoto, Saeko Naruki, Masatomo Doi, Akira Endo, Motohiro Chosokabe, Keiko Kishimoto, Koichiro Tsugawa, Junki Koike. Nuclear inverse polarity papillary lesion without myoepithelial cells in the breast Author and Co-author names. Cancer Virtual 2020, 2020.
- 3) © Motohiro Chosokabe, Shinya Tajima, Nobuhiko Matsumoto, Saeki Naruki, Akira Endo, Masatomo Doi, Junki Koike. Low cost diagnosis support system using the remote desktop. 32nd Congress of the European Society of Pathology and XXXIII International Congress of the International Academy of Pathology, 2020.
- 4) ©Shinya Tajima, Nobuhiko Matsumoto, Motohiro Chosokabe, Akira Endo, Saeko Naruki, Doi Masatomo, Keiko Kishimoto, Koichiro Tsugawa, Masayuki Takagi, Junki Koike. Nuclear Inverse Polarity Papillary Lesions with Lack Myoepithelial Cells:A Report of Two Cases. International Congress on Biotechnology and Food Sciences, 2020.
- 5) ©Sasaki Takahiro, Furuhashi Tomohisa, Nishimura Masashige, Ono Tatsunori, Noda Akiyoshi, Koizumi Hiroataka, Miyajima Nobuyoshi, and Otsubo Takehito. An extremely rare case of neuromuscular and vascular hamartoma of the appendix. The 30th Biennial Congress of ISUCRS 2020, 2020.
- 6) ©Ogura Yuta, Kobayashi Shinjiro, Tsuchihashi Atsuhito, Katayama Masafumi, Koizumi Satoshi, Akira Endo, Otsubo Takehito. A Case of Gallbladder Tis Cancer that was not diagnosed until cholecystectomy. The 32nd Meeting of Japanese Society of Hepato-Biliary-Pancreatic Surgery, 2021.

③ その他

- 1) 田中邦英, 古田繁行, 大山慧, 工藤公介, 長江秀樹, 西谷友里, 小池淳樹, 北川博昭. 新生児期に胆道閉鎖症の診断に苦慮した遷延性黄疸の2例. 第47回日本胆道閉鎖症研究会, 2020.

		和文	英文
著 書			
論 文	原著	1	2
	解説又は総説	4	
	症例報告	10	6
	その他	3	
学会発表	国内学会	40	
	国際学会		6
	その他	1	

予防医学(環境保健)

著書

- 1) 山内博, 高田礼子. 金属および金属化合物の取り扱いー有害金属と生体影響, 健康管理 産業医ガイド 基本管理業務からメンタルヘルスまで 2020;(3):190-198.

学術論文[英文]

① 原著

- 1) Nagasaka M, Yamagishi M, Yagishita N, Araya N, Kobayashi S, Makiyama J, Kubokawa M, Yamauchi J, Hasegawa D, Coler-Reilly ALG, Tsutsumi S, Uemura Y, Arai A, Takata A, Inoue E, Hasegawa Y, Watanabe T, Suzuki Y, Uchimaruru K, Sato T, Yamano Y. Mortality and risk of progression to adult T-cell leukemia/lymphoma in HTLV-1-associated myelopathy/tropical spastic paraparesis. Proceedings of the National Academy of Sciences of the United States of America, 2020;117(21):11685-11691.
- 2) Yamakawa N, Yagishita N, Matsuo T, Yamauchi J, Ueno T, Inoue E, Takata A, Nagasaka M, Araya N, Hasegawa D, Coler-Reilly A, Tsutsumi S, Sato T, Araujo A, Casseb J, Gotuzzo E, Jacobson S, Martin F, Puccioni-Sohler M, Taylor GP, Yamano Y: Japan Clinical Research Group on HAM/TSP. Creation and validation of a bladder dysfunction symptom score for HTLV-1-associated myelopathy/tropical spastic paraparesis. Orphanet J Rare Dis, 2020;15(1):175.
- 3) Yamauchi H, Takata A. Arsenic metabolism differs between child and adult patients during acute arsenic poisoning. Toxicology and applied pharmacology, 2021;410:115352.

学会発表

① 国内学会

- 1) ◎高田礼子. 企業における両立支援の取組の課題～嘱託産業医の立場から. 第93回日本産業衛生学会, 2020.

		和文	英文
著書		1	
論文	原著		3
	解説又は総説		
	症例報告		
	その他		
学会発表	国内学会	1	
	国際学会		
	その他		

予防医学(健康増進・疫学)

著書

- 1) 本橋隆子, 金沢奈津子, 永田修. リハビリテーション診療報酬&介護報酬マニュアル 2020;:124-271.

学術論文[和文]

① 原著

- 1) 木村美也子, 尾島俊之. 未就学児を養育する母親の受援力尺度の信頼性と妥当性. 社会医学研究, 2021;38(1):41-53.

② 総説又は症例解説

- 1) 木村美也子, 尾島俊之, 近藤克則. 新型コロナウイルス感染症流行下での高齢者の生活への示唆 : JAGES 研究の知見から. 日本健康開発雑誌, 2020;41:3-13.

学術論文[英文]

① 原著

- 1) Kimura M. Negative social interactions and coping behaviors: experiences of Japanese mothers caring for children with special needs in disaster areas. BMC Research Notes, 2020;:DOI-<https://doi.org/10.1186/s13104-020-05087-1>.
- 2) Endo T, Yoshida T, Shinozaki T, Motohashi T, Hsiang-Chin H, Fukuda S, Tsukuda J, Naito T, Morisawa K, Shimozawa N, Taira Y, Fujitani S. Efficacy of prehospital National Early Warning Score to predict outpatient disposition at an emergency department of a Japanese tertiary hospital: a retrospective study. BMJ Open, 2020;10(6):DOI-10.1136/bmjopen-2019-034602.
- 3) Kimura M, Kimura K, Ojima T. Relationships between changes due to COVID-19 pandemic and the depressive and anxiety symptoms among mothers of infants and/or preschoolers: a prospective follow-up study from preCOVID-19 Japan. BMJ Open, 2021;:DOI-10.1136/bmjopen-2020-044826.

② その他

- 1) Kimura M, Ojima T, Ide K, Kondo K.
llaying post-COVID19 negative health impacts among older people: The "need to do something with others"-Lessons from the Japan Gerontological Evaluation Study.Asia Pacific Journal of Public Health, 2020; : DOI-org/10.1177/1010539520951396.

学会発表

① 国内学会

- 1) ◎木村美也子, 山崎喜比古. 子育て期の親が遭遇するネガティブサポート一障がいある児と共に被災した親の体験から一. 第46回日本保健医療社会学会大会, 2020.
- 2) ◎木村美也子, 山崎喜比古. 新型コロナウイルス感染症流行時に生じたネガティブサポートと母親の精神健康への影響. 第79回日本公衆衛生学会, 2020.

② 国際学会

- 1) ©Kimura M, Yamazaki Y. Effect of negative support on the dynamics between health experts and mothers of young children. International Conference on Communication in Healthcare, 2020.
- 2) ©Kimura M. Communication with obstetric providers: Experience of mothers of children with special needs. International Conference on Communication in Healthcare, 2020.
- 3) ©Kimura M, Kimura K, Ojima T. How COVID-19 impacts Maternal Mental Health in Japan? A follow-up study. 2020 WPA Thematic Congress on Intersectional Collaboration, 2020.
- 4) ©Kimura M, Kimura K, Yamazaki Y. Negative Social Support During COVID-19 Pandemic: Experiences Among Mothers of Babies and/or Young Children in Japan. 2020 WPA Thematic Congress on Intersectional Collaboration, 2020.

		和文	英文
著 書		1	
論 文	原著	1	3
	解説又は総説	1	
	症例報告		
	その他		1
学会発表	国内学会	2	
	国際学会		4
	その他		

法医学

学術論文[和文]

① 原著

- 1) 千葉正悦, 呂彩子, 向井敏二, 林南帆, 鉄堅, 飯酒盃勇, 磯部英二, 内ヶ崎西作, 奥田貴久, 向井敏二. 口腔内液(唾液)中 DNA に関する研究(第1報). DNA 多型, 2020;28(1):60-63.
- 2) 呂彩子, 景山則正, 向井敏二. がん関連静脈血栓塞栓症による突然死の臨床病理学的特徴. 日本静脈学会, 2020;31(3):123-129.

学術論文[英文]

① 原著

- 1) Shuichi Hara, Masamune Kobayashi, Fumi Kuriwa, Hajime Mizukami, Toshiji Mukai. Blockade of the renin-angiotensin system suppresses hydroxyl radical production in the rat striatum during carbon monoxide poisoning. SCIENTIFIC REPORTS, 2020;10(1):2602.
- 2) Shoetsu Chiba, Ayako Ro, Toru Ikawa, Yukino Oide, Toshiji Mukai. Interactions of human organic anion transporters 1-4 and human organic cation transporters 1-3 with the stimulant drug methamphetamine and amphetamine. Legal medicine, 2020;44:101689.

学会発表

① 国内学会

- 1) ◎千葉正悦, 呂彩子, 井川亨, 大出透乃, 一場一江, 鷺盛久, 向井敏二. カフェイン代謝物のヒト有機アニオントランスポーター(hOATs)を介した体内動態について(第2報). 日本法中毒学会 第39年会, 2020.
- 2) ◎呂彩子. 後腹膜原発の胚細胞腫瘍による肺腫瘍塞栓症の1剖検例. 第109回日本法医病理学会総会, 2020.
- 3) ◎呂彩子, 景山則正, 千葉正悦, 鷺盛久, 林田眞喜子, 井川亨, 大出透乃, 一場一江, 向井敏二. 行政解剖時におけるがん関連血栓塞栓症の特徴. 第104次日本法医学会学術全国集会, 2020.
- 4) ◎森晋二郎, 呂彩子, 景山則正, 水上創. 死後CT画像における胸膜外血腫の胸膜外脂肪層変位所見について: 2剖検例. 第104次日本法医学会学術全国集会, 2020.
- 5) ◎呂彩子, 内田将司, 千葉正悦, 鷺盛久, 景山則正, 林田眞喜子, 井川亨, 大出透乃, 一場一江, 向井敏二. 病的脳梗塞発作が疑われた大動脈・左総頸動脈損傷の1剖検例. 第89回日本法医学会関東地方集会, 2020.
- 6) ◎呂彩子, 景山則正. 脳動脈瘤における血管外膜炎の免疫組織学的観察. 第36回NPO法人日本脳神経血管内治療学会学術総会, 2020.
- 7) ◎千葉正悦, 呂彩子, 早田詩織, 飯酒盃勇, 鉄堅, 磯部英二, 内ヶ崎西作, 奥田貴久, 向井敏二. 口腔内液(唾液)中 DNA に関する研究(第2報). 日本DNA多型学会 第29回学術集会, 2020.

		和文	英文
著 書			
論 文	原著	2	2
	解説又は総説		
	症例報告		
	その他		
学会発表	国内学会	7	
	国際学会		
	その他		

スポーツ医学

著書

- 1) 室井良太. 2.フィギュアスケート競技の医・科学的基礎フィギュアスケート選手に多い外傷・障害とその初期対応 公益財団法人日本スポーツ協会 公認コーチ 3(スケート) 専門科目教本(フィギュアスケート) 2020;:152-161.
- 2) 藤谷博人. 筋挫傷・骨化性筋炎 運動器スポーツ外傷・障害の保存治療 下肢 2020;:115-119.

学術論文[和文]

① 原著

- 1) 藤谷博人. アメリカンフットボール. 関節外科, 2020;39(11):106-111.
- 2) 福田崇, 宮川俊平, 藤谷博人, 梅岡沙綾, 山元勇樹. 高校アメリカンフットボール選手の衝突時における頭部キネマティクス測定. 日本臨床スポーツ医学会誌, 2021;29(1):71-79.
- 3) 藤谷博人. 大会期間中の医事組織の運営. 臨床スポーツ医学, 2021;38(2):168-172.

② 原著

- 1) 藤谷博人. 本学会における今後の課題?. 日本臨床スポーツ医学会誌, 2020;28:180.
- 2) 藤谷博人. 投稿論文, 最近の傾向. 日本臨床スポーツ医学会誌, 2020;28:129.
- 3) 足利光平, 米山喜平, 武者春樹, 村山正博. スポーツ心臓の生理的反応—スポーツ心臓は可逆性変化である—. 一流競技者の健康・体力追跡調査—東京オリンピック記念体力測定—の総括, 2021;:12-13.

学術論文[英文]

① 原著

- 1) Yatabe K, Muroi R, Kumai T, Kotani T, Somemura S, Yui N, Murofushi Y, Terawaki F, Kobayashi H, Yudoh K, Sakurai H, Miyano H, Fujiya H. Effects of Different Exercise Conditions on Antioxidant Potential and Mental Assessment. Sports, 2021;9(3):36:e1-e8.

学会発表

① 国内学会

- 1) ◎寺脇史子, 室井良太, 谷田部かなか, 井上留美子, 藤谷博人. マリアンナ筋力アップ教室におけるサルコペニアへの対応の試み(第4報)-30秒イス立ち上がりテストと筋量の年齢別の検討-. 第75回日本体力医学会大会, 2020.
- 2) ◎熊井隆智, 遊道和雄, 染村嵩, 谷田部かなか, 小谷貴史, 仁木久照, 藤谷博人. 骨芽細胞における光感受応答機構の解明と光刺激による骨形成能の誘導. 第35回日本整形外科学会基礎学術集会, 2020.
- 3) ◎染村嵩, 遊道和雄, 熊井隆智, 谷田部かなか, 佐々木千鶴子, 藤谷博人, 仁木久照. 三次元培養下における骨芽細胞と軟骨細胞の力学的ストレス応答能の比較解析. 第35回日本整形外科学会基礎学術集会, 2020.
- 4) ◎染村嵩, 遊道和雄, 熊井隆智, 谷田部かなか, 佐々木千鶴子, 藤谷博人, 仁木久照. 骨芽細胞の力学的ストレス応答と細胞エネルギー代謝調節機構との関連. 第35回日本整形外科学会基礎学術集会,

2020.

- 5) ◎寺内昂, 遊道和雄, 染村嵩, 熊井隆智, 村上賢一, 藤谷博人, 仁木久照. 変形性関節症の軟骨細胞において NAD 依存性脱アセチル化酵素 Sirtuin-1 は細胞エネルギー代謝調節因子および軟骨細胞活性を制御する. 第 35 回日本整形外科学会基礎学術集会, 2020.
- 6) ◎井上留美子, 藤谷博人, 室井良太, 谷田部かなか. 人体に対するヨガの医学的効果 —筋力バランス能・心理への影響—. 第 31 回日本臨床スポーツ医学会学術集会, 2020.
- 7) ◎谷田部かなか, 井上留美子, 室井良太, 染村嵩, 藤谷博人. ヨガにおける心拍変動からみた精神的ストレス反応について. 第 31 回日本臨床スポーツ医学会学術集会, 2020.
- 8) ◎室井良太, 谷田部かなか, 井上留美子, 染村嵩, 小林創, 藤谷博人. 2 ヶ月に 1 回の筋力トレーニング指導が中高齢者の身体機能に与える影響. 第 31 回日本臨床スポーツ医学会学術集会, 2020.
- 9) ◎藤谷博人, 室井良太, 谷田部かなか, 川原貴. COVID-19 対策と暑熱障害について—アメリカンフットボールにおける新防具: マウスシールドの影響—. 第 31 回日本臨床スポーツ医学会学術集会, 2020.
- 10) ◎佐原啓太, 内田良平, 藤谷博人. 社会人アメリカンフットボールにおける脳振盪の発生傾向. 第 31 回日本臨床スポーツ医学会学術集会, 2020.
- 11) ◎藤谷博人. アメリカンフットボールにおける取り組み. 第 31 回日本臨床スポーツ医学会学術集会, 2020.
- 12) ◎足利光平, 米山喜平, 武者春樹, 川原貴. 東京オリンピック 1964 出場選手における左室肥大と高血圧発症との関連—50 年間の追跡調査—. 第 31 回日本臨床スポーツ医学会学術集会, 2020.

		和文	英文
著 書		2	
論 文	原著	3	1
	解説又は総説		
	症例報告		
	その他	3	
学会発表	国内学会	12	
	国際学会		
	その他		

臨床検査医学

著書

- 1) 五十嵐岳. 検査の Tips ! 第 37 回 4 月から ALP の基準範囲が 1/3 になる!?! 2020;1(22):128-129.
- 2) 五十嵐岳. 検査の Tips ! 第 38 回 ちょっと待って、刺しやすいからといってそこに穿刺して大丈夫!?! 2020;3(22):564-565.
- 3) 五十嵐岳. 検査の Tips ! 第 39 回 TRA b と TSA b ,どうやってつかいわけなの!?! 2020;4(22):750-751.
- 4) 五十嵐岳. 検査の Tips ! 第 40 回 処方せんに臨床検査値か掲載・・・意味あるの? 2020;6(22):1170-1171.
- 5) 五十嵐岳. 検査の Tips ! 第 41 回 CK の慢性高値・・・診断はどうなった!?! 2020;7(22):1332-1334.
- 6) 五十嵐岳. 検査の Tips ! 第 42 回 高齢者の骨折では、多発性骨髄腫が隠れているかも? 2020;9(22):1738-1740.
- 7) 五十嵐岳. 検査の Tips ! 第 43 回 急激な血小板減少・・・何が起きたんだろう? 2020;10(22):1892-1893.
- 8) 五十嵐岳. 検査の Tips ! 第 44 回 血液培養からピロリ菌の仲間? 2020;12(22):2290-2291.
- 9) 五十嵐岳. 検査の Tips ! 第 45 回 「陰性,陽性」表示の落とし穴・・・あなたはご存知!?! 2020;13(22):2440-2441.
- 10) 五十嵐岳. (特集) 2 つのルーチン検査値で患者の病態を考えてみよう 治療 ちょっとがんばる医師のため総合診療を楽しむ雑誌 2021;1(103):92-98.
- 11) 五十嵐岳. 検査の Tips ! 第 46 回 超音波プローブ,清掃&消毒しなきゃダメ!?! 2021;15(22):2884-2885.
- 12) 五十嵐岳. 検査の Tips ! 第 47 回 病理診断はいつも完璧!?! 2021;16(22):3054-3055.
- 13) 五十嵐岳. 検査の Tips ! 第 48 回 アルブミンとプレアルブミンの違いは? 2021;18(22):3424-3425.

学術論文[和文]

① 原著

- 1) 鳥居祥子, 古川俊行, 安藤晶, 中山美奈, 仲真由美, 小口由美, 山崎哲, 原田智雄, 信岡祐彦, 明石嘉浩. チルト試験にて長期の心静止が誘発される患者の特徴. 聖マリアンナ医科大学雑誌, 2020;48(1):7-13.
- 2) 望月篤, 田嶋ティナ宏子, 東郷建, 信岡祐彦, 伊野美幸. 聖マリアンナ医科大学における入学時宿泊研修の初年次教育への導入効果. 聖マリアンナ医科大学雑誌, 2020;48(1):31-36.

② 総説又は症例解説

- 1) 信岡祐彦, 望月篤, 黄世捷, 藤原多鶴子, 伊野美幸, 井上莊一郎. シミュレーション教育の充実に必要なもの 質的統合法(KJ 法)による検討. 新しい医学教育の流れ, 2021;20(3):135-138.

③ その他

- 1) 淡路京子, 五十嵐岳, 仲澤直人, 若月聖孝, 松村憲浩, 土田幸子, 長田尚彦, 信岡祐彦. 画像解析ソフトにて定量化した肝腎コントラストと血清マーカーの関連性の検討. 臨床病理, 2020;68:260.

- 2) 松村憲浩, 五十嵐岳, 菱沼智紀, 瀧田郁洋, 土田幸子, 長田尚彦, 信岡祐彦. 敗血症が疑われる高齢救急患者の予後予測因子についての検討. 臨床病理, 2020;68:146.

学術論文[英文]

① 原著

- 1) Hirasawa Kensuke, Izumo Masaki, Suzuki Kengo, Suzuki Tomomi, Ohara Hiroshi, Watanabe Mika, Sato Yukio, Kamijima Ryo, Nobuoka Sachihiko, Akashi Yoshihiro J. Value of transvalvular flow rate during exercise in asymptomatic patients with aortic stenosis. Journal of the American Society of Echocardiography, 2020;33(4):438-448.
- 2) Hiroharu Kamioka, Sachihiko Nobuoka, Junichi Iiyama. Overview of Systematic Reviews with Meta-Analysis Based on Randomized Controlled Trials of Balneotherapy and Spa Therapy from 2000 to 2019. International Journal of General Medicine, 2020;13:429-442.
- 3) Gaku IGARASHI, Keita SONE, Chisato KOJIMA, Yoichi YAKUSHIGAWA, Yoshihiro NISHI, Runa SUGIYAMA, Ryusaku NAKAJIMA, Norihiro MATSUMURA, Sachiko TSUCHIDA, Naohiko OSADA, Sachihiko NOBUOKA. Educative Effects and Proficiency Factors Associated with the Use of Abdominal Ultrasound Simulation Models. 日本臨床検査医学会誌, 2021;69(3) : 161-167.

学会発表

① 国内学会

- 1) ◎黄世捷, 明石嘉浩, 土田知也, 伊佐早健司, 望月篤, 伊野美幸, 信岡祐彦. AI 問診アプリは臨床推論教育の敵か味方か. 第 52 回日本医学教育学会大会, 2020.
- 2) ◎塩川則子, 出雲昌樹, 田端千里, 菊池秀和, 宮内元樹, 桜井正児, 栗田真吾, 上嶋亮, 石橋祐記, 明石嘉浩, 信岡祐彦. 経皮的僧帽弁クリップ術における急性期左心系形態及び機能変化: ハイボリューム単施設における検討. 第 84 回日本循環器学会学術集会, 2020.
- 3) ◎塩川則子, 出雲昌樹, 田端千里, 宮内元樹, 菊池秀和, 桜井正児, 栗田真吾, 上嶋亮, 石橋祐記, 明石嘉浩, 信岡祐彦. 経皮的僧帽弁クリップ修復術における肺高血圧の変化及びその関連因子の検討. 日本心エコー図学会第 31 回学術集会, 2020.
- 4) 五十嵐岳. “医療関係者と検査のかけ橋”として機能する臨床検査医になるためには?. 67, 2020.
- 5) 五十嵐岳. 検査部から臨床医へ検査値報告をするにあたり、どのようなシステム構築を考慮していくべきか?. 第 67 回日本臨床検査医学会学術集会, 2020.
- 6) ◎太田有紀, 渡部一宏, 廣原正宜, 浜本知之, 宮崎美子, 塚本都子, 山本君子, 竹元仁美, 上谷いつ子, 望月篤, 信岡祐彦, 松本直樹. 医・薬・看護単科大学相互協力による多職種連携教育の検討. 第 41 回日本臨床薬理学会学術総会, 2020.

② その他

- 1) ◎秋山志帆, 米山喜平, 宮崎秀和, 山田麻里可, 佐久美哲也, 細谷由紀子, 玉置麻衣子, 山崎哲, 信岡祐彦, 原田智雄, 明石嘉浩. 肺静脈隔離術後の発作性心房細動再発評価における長時間ホルターの有用性. 心電関連研究会 2020, 2020.

		和文	英文
著 書		13	
論 文	原著	2	3
	解説又は総説	1	
	症例報告		
	その他	2	
学会発表	国内学会	6	
	国際学会		
	その他	1	

内科学(総合診療内科)

著書

- 1) 家研也. いざという時の対応がわかる! 早引き 介護のための急変時対応 (介護スキルアップ手帳) 2020;:1-288.

学術論文[和文]

① 原著

- 1) 土田知也, 山崎行敬, 國島広之, 廣瀬雅宣, 藤谷茂樹, 松田隆秀. 新型コロナウイルス陽性患者の臨床経過自験 6 例の肺炎像の有無と PCR 陰性化時期について. 感染症学雑誌, 2020;94(4):514-519.
- 2) 西迫尚, 廣瀬雅宣, 土田知也, 家研也, 奥瀬千晃, 松田隆秀. プレイフルラーニングの手法を活用した Oral Case Presentations(OCPs)教育の実践. 医学教育, 2021;52(1):19-29.

② 症例報告

- 1) 大槻拓矢, 家研也, 奥瀬千晃, 榎渕澗, 相原茉里, 高野知憲, 黒須絵莉, 本橋伊織, 酒井翼, 薩田洋輔, 中野弘康, 石郷岡晋也, 田中拓, 有泉泰, 松田隆秀. 先行して顕性化した結節性紅斑により診断された潰瘍性大腸炎の 1 例. 日本病院総合診療医学会雑誌, 2020;16(6):437-443.
- 2) 薩田洋輔, 奥瀬千晃, 渡邊綱正, 末谷敬吾, 石郷岡晋也, 松永光太郎, 清川博史, 森田望, 中野弘康, 安田宏, 平石哲也, 山田典栄, 加藤孝宣, 四柳宏, 鈴木通博, 伊東文生. IgA-HE 抗体が偽陽性を示した急性肝炎の 2 例. 肝臓, 2021;62(2):64-71.

③ その他

- 1) 家研也. 【大便強ドリル 便秘・下痢・腹痛・消化器疾患に強くなる 41 問!】 Q23(解説/特集)正解. 総合診療, 2020;30(4):449.
- 2) 家研也. 【大便強ドリル 便秘・下痢・腹痛・消化器疾患に強くなる 41 問!】 Q07(解説/特集)正解. 総合診療, 2020;30(4):432.
- 3) 家研也. 【大便強ドリル 便秘・下痢・腹痛・消化器疾患に強くなる 41 問!】 Q23(解説/特集). 総合診療, 2020;30(4):418.
- 4) 家研也. 【大便強ドリル 便秘・下痢・腹痛・消化器疾患に強くなる 41 問!】 Q07(解説/特集). 総合診療, 2020;30(4):412.
- 5) 土田知也. COVID-19 における全国各地でのプライマリ・ケア診療モデルの紹介 case2 聖マリアンナ医科大学病院の取り組み. 日本プライマリ・ケア連合学会 予防医療・健康推進委員会, 2020;:1-1.
- 6) 家研也. COVID-19 における全国各地でのプライマリ・ケア診療モデルの紹介 case3 川崎市立多摩病院の取り組み. 日本プライマリ・ケア連合学会 予防医療・健康推進委員会, 2020;:1-1.
- 7) 家研也. 【Nuts and Bolts Public Health×総合診療】総合診療と Public health、接点はどこに?. 治療, 2020;102(8):942-944.
- 8) 家研也. 総合診療の学問的基盤. Nuts and Bolts of Public Health×総合診療. 治療, 2020;102(8):941.

- 9) 本橋伊織. 【Nuts and Bolts Public Health×総合診療】 Public health を special interest にする道程 public health を special interest にする. 治療, 2020;102(8):1008-1012.
- 10) 家研也. 総合診療専門医セルフトレーニング問題 (第 28 問) お腹が張って辛い 64 歳男性. 総合診療, 2020;30(9):1138-1142.
- 11) 土田知也. 聞いてみよう! となりの感染対策 PCR 検査の検体採取時、吸引・口腔ケア時の防護具の開発. Hospital Communication, 2020;17(3):8-9.
- 12) 家研也. 【予防医療-包括的な提供を目指して】 予防医療に役立つ技能 5A モデルと動機づけの 5R. 内科, 2020;126(6):1121-1124.
- 13) 中西雄紀, 松本真一, 本橋伊織, 森川暢, 陶山恭博. シリーズ: 一目瞭然! 目で診る症例「一目瞭然! 目で診る症例」問題編. 日本内科学会雑誌, 2021;110(2):325-327.
- 14) 土田知也. 症候からの診断ドリル 17. 便痛異常 (下痢・便秘) 対応が難しい場合の下痢・便秘へのアプローチ. レジデンスノート, 2021;23(2):173-182.
- 15) 奥瀬千晃. 消化器診療 “虎の巻” あなたの切実なギモンにズバリ答えます! 肝胆膵 Q23 たまたま採血したら HBs 抗原陽性。どのタイミングで肝臓専門医に紹介したらよい? . 総合診療, 2021;31(4):476-478.

学術論文[英文]

① 原著

- 1) Ie K, Murata A, Tahara M, Komiyama M, Ichikawa S, Takemura Y, Onishi H. Relationship between medical students, career priority and specialty choice: A nationwide multicenter survey. The Journal of general and family medicine, 2020::1-7.
- 2) Ie K, Narushima M, Goto M, Merenstein J, Wilson S, Takemura Y. Developing and implementing a faculty development curriculum for Japanese family medicine residency faculty. The Journal of general and family medicine, 2020;21(3):71-76.
- 3) Akihiro Matsumoto, Shuhei Nishiguchi, Hirayuki Enomoto, Yasuhito Tanaka, Noburo Shinkai, Chiaki Okuse, Jong-Hon Kang, Takeshi Matsui, Shino Miyase, Hiroshi Yatsuhashi, Satoru Saito, Koichi Takaguchi, Kiyooki Ito, Tsutomu Masaki, Daisuke Morihata, Masataka Tsuge, Kazuaki Chayama, Fusao Ikeda, Takehito Kagawa, Yaduteru Kondo, Kazumoto Murata, Eiji Tanaka. Pilot study of tenofovir disoproxil fumarate and pegylated interferon-alpha 2a add-on therapy in Japanese patients with chronic hepatitis B. Journal of Gastroenterology, 2020::1-13.
- 4) Ie K, Hirose M, Sakai T, Motohashi I, Aihara M, Otsuki T, Tsuboya A, Matsumoto H, Hashi H, Inoue E, Takahashi M, Komiya E, Itoh Y, Tsuchida T, Kurosu E, Albert SM, Okuse C, Matsuda T. Protocol of a randomised controlled trial on the efficacy of medication optimisation in elderly inpatients: medication optimisation protocol efficacy for geriatric inpatients (MPEG) trial. British Medical Journal, 2020::1-9.
- 5) Yamasaki Yukitaka, Ooka Seido, Tsuchida Tomoya, Nakamura Yuta, Hagiwara Yuta, Naitou Yoshiyuki, Ishibashi Yuki, Ikeda Hiroki, Sakurada Tsutomu, Handa Hiroshi, Nishine Hiroki, Takita Mumon, Morikawa Daiki, Yoshida Hideki, Fujii Shuichi, Morisawa Kenichiro, Takemura

Hiromu, Fujitani Shigeki, Kunishima Hiroyuki. The peripheral lymphocyte count as a predictor of severe COVID-19 and the effect of treatment with ciclesonide. *Virus Research*, 2020;290 : 198089.

- 6) Ie K, Chou E, Boyce RD, Albert SM. Fall Risk-Increasing Drugs, Polypharmacy, and Falls among Low-Income Community-Dwelling Older Adults. *Innovation in Aging. The Gerontological Society of America*, 2021;5(1):1-9.
- 7) Tomoya Tsuchida, Kenya Ie, Chiaki Okuse, Masanori Hirose, Hisashi Nishisako, Keito Torikai, Taku Tanaka, Hiroyuki Kunishima, Takahide Matsuda. Determining the factors affecting serum presepsin level and its diagnostic utility: A cross-sectional study. *Journal of Infection and Chemotherapy*, 2021;27:585-591.
- 8) Ie Kenya, Aoshima Shuichi, Yabuki Taku, Albert Steven M. A narrative review of evidence to guide deprescribing among older adults. *J Gen Fam Med.*, 2021;22(4):182-196.

② 症例報告

- 1) Tomoya Tsuchida, Yukitaka Yamasaki, Hiroyuki Kunishima, Kentaro Sato, Minoru Kanazawa, Asami Moriuchi, Daiki Morikawa, Mumon Takita, Yoshiyuki Naito, Shuichi Fujii, Shigeki Fujitani, Takahide Matsuda. Treatment of two cases of COVID-19 with ciclesonide resulted in amelioration of pneumonia symptoms. *THE JAPANESE JOURNAL OF ANTIBIOTICS*, 2020;73(2):35-44.
- 2) Iori Motohashi, Tomonori Takano, Kenya Ie, Yuki Hashimoto, Saki Akino, Chiaki Okuse. Development of maculopapular exanthem in a COVID-19 patient. *DERMATOLOGY*, 2020;:1-2.
- 3) Tomoya Tsuchida, Yuko Nitahara, Shotaro Suzuki, Yuko Komase, Katherine Candray, asutoshi Kido, Yu Nakagama, Yukitaka Yamasaki, Mitsuru Imamura, Kimito Kawahata, Hiroyuki Kunishima, Shigeki Fujitani, Masamichi Mineshita, Takahide Matsuda. Back to Normal; Serological Testing for COVID-19 Diagnosis Unveils Missed Infections. *Journal of Medical Virology*, 2021;93(7):4549-4552.

③ その他

- 1) Tomoya Tsuchida, Shigeki Fujitani, Yukitaka Yamasaki, Hiroyuki Kunishima, Takahide Matsuda. Development of a Protective Device for RT-PCR Testing SARS-CoV-2 in COVID-19 Patients. *Infect Control Hosp Epidemiol*, 2020;:1-2.
- 2) Tomoya Tsuchida, Yukitaka Yamasaki, Masanori Hirose, Hiroyuki Kunishima, Shigeki Fujitani, Takahide Matsuda. A Hand Shield for Healthcare Workers -A Brief Report of New Type of Personal Protective Equipment. *JOURNAL OF HOSPITAL GENERAL MEDICINE*, 2021;3(1) : 40-41.

学会発表

① 国内学会

- 1) ©鈴木達也, 渡邊綱正, 得平卓也, 服部伸洋, 池田裕喜, 高橋秀明, 松永光太郎, 松本伸行, 奥瀬千晃, 安田 宏, 鈴木通博, 伊東文生. 短期間の人工肝補助療法で改善した成因不明な急性肝不全昏睡型の

- 一救命例. 第 56 回日本肝臓学会総会, 2020.
- 2) ◎山田典栄, 安田清美, 奥瀬千晃, 鈴木通博, 加藤孝宣. TAF 抵抗性 B 型慢性肝炎患者における薬剤耐性変異の解析. 第 56 回日本肝臓学会総会, 2020.
 - 3) ◎貴志有紗, 大橋洋之, 宮野薫, 武藤真悠子, 竹内そら, 宮垣朝光, 門野岳史, 土田知也, 古賀浩嗣, 石井文人. AA 型アミロイドーシスを合併した抗 BP180 型粘膜類天疱瘡の 1 例. 第 119 回日本皮膚科学会総会, 2020.
 - 4) ◎黄世捷, 明石嘉浩, 土田知也, 伊佐早健司, 望月篤, 伊野美幸, 信岡祐彦. AI 問診アプリは臨床推論教育の敵か味方か. 第 52 回日本医学教育学会大会, 2020.
 - 5) ◎土田知也, 家研也, 相原茉里, 松田隆秀. 開業した臓器別専門医は、何に困るか? 元臓器別専門医の開業前研修ニーズに関する質的研究. 第 11 回日本プライマリ・ケア連合学会学術大会, 2020.
 - 6) ◎末谷敬吾, 森田望, 森田亮, 路川陽介, 石郷岡晋也, 中原一有, 奥瀬千晃, 鈴木通博, 伊東文生. 急性胆管炎診療におけるプレセプシンの有用性. 第 106 回日本消化器病学会総会, 2020.
 - 7) ◎五十嵐洋介, 渡邊綱正, 服部伸洋, 松本伸行, 奥瀬千晃, 得平卓也, 鈴木達也, 池田裕喜, 高橋秀明, 松永光太郎, 鈴木通博, 安田宏, 伊東文生. HBs 抗原低値かつ HB コア関連抗原高値は B 型肝炎ウイルス関連肝細胞癌の高リスク因子である. 第 106 回日本消化器病学会総会, 2020.
 - 8) ◎薩田洋輔, 末谷敬吾, 薩田祐輔, 五十嵐洋介, 森田亮, 路川陽介, 石郷岡晋也, 中原一有, 奥瀬千晃, 伊東文生. 急性胆管炎に対する内視鏡的胆嚢ドレナージの有用性. 第 99 回日本消化器内視鏡学会総会, 2020.
 - 9) ◎石田健佑, 古屋直樹, 西田皓平, 柿沼一隆, 萩原悠太, 石橋祐記, 山崎行敬, 土田知也, 國島広之, 峯下昌道. LAMP 陰性かつ PCR 陰性でも隔離解除できなかった COVID-19 疑似症肺炎の一例. 第 78 回聖マリアンナ医科大学 内科合同勉強会, 2020.
 - 10) ◎鳥飼圭人, 廣瀬雅宣, 土田知也, 内藤純行, 中川禎介, 松田隆秀. 胸痛の精査目的で紹介受診となり掌蹠膿疱性関節炎と診断した 1 例. 第 21 回日本病院総合診療医学会学術総会, 2020.
 - 11) ◎内藤純行, 土田知也, 山崎行敬, 紺野千穂, 小波本直也, 水野晴貴, 金澤実, 三上翔平, 吉田英樹, 田北無門, 森川大樹, 藤谷茂樹, 平泰彦, 大坪毅人, 北川博昭, 松田隆秀. 新型コロナウイルス感染重症例における患者・医師関係の構築および倫理的課題・自験例を通じて. 第 21 回日本病院総合診療医学会学術総会, 2020.
 - 12) ◎宮北泰樹, 原田拓, 志水太郎, 和足孝之, 綿貫聡, 鋪野紀好, 土田知也. 明日から使える診断エラー論文 year in review & あなたもきっと出来る論文作成. 第 21 回日本病院総合診療医学会学術総会, 2020.
 - 13) ◎小笠原純子, 本城聡, 三輪裕仁, 室屋洋平, 田中慧, 伊藤絵理, 田宮嵩士, 知念直史, 土岐敦, 小林秀一郎, 布川貴博, 矢野雅隆, 橘俊一. 嘔気と食欲不振を主訴に来院した褐色細胞腫の 1 例. 第 21 回日本病院総合診療医学会学術総会, 2020.
 - 14) ◎横川直人, 本橋伊織, 家研也, 奥瀬千晃, 松田隆秀. 尿路感染症の治療中に発症したセフェピム脳症の一例. 第 21 回日本病院総合診療医学会学術総会, 2020.
 - 15) ◎櫛渕濤, 家研也, 相原茉里, 奥瀬千晃, 平間千絵, 玉井勇人. 原因不明の浮腫で来院した MDS による二次性血管漏出症候群も 1 例. 第 663 回日本内科学会関東地方会, 2020.
 - 16) ◎赤池隆, 櫛渕濤, 家研也, 奥瀬千晃. 高感度 HBs 抗原測定法が有用であった B 型急性肝炎の 1 例.

第 663 回日本内科学会関東地方会, 2020.

- 17) ◎内藤純行, 内藤貴基, 金澤実, 水野晴貴, 三上翔平, 吉田英樹, 田北無門, 森川大樹, 森澤健一郎, 平泰彦, 藤谷茂樹. COVID19 診療における遠隔モニターの有用性の検討. 第 48 回日本救急医学会総会・学術集会, 2020.
- 18) ◎土田知也, 鳥飼圭人, 松田隆秀. 前皮神経絞扼症候群の一例. 第 38 回川崎市医師会医学会, 2021.
- 19) ◎本城聡, 田中慧, 橋里奈, 張本敦子, 塩澤淳, 飯田祐子, 小澤聖二, 室屋洋平, 小笠原純子, 田口裕祐, 伊藤絵理, 知念直史, 布川貴博, 橘俊一. 下肢切断後のうつ状態・セルフケア習得に多職種によるケアが有効であった糖尿病性下肢壊疽の 1 例. 第 22 回日本病院総合診療医学会学術総会, 2021.
- 20) ◎飯塚康哲, 土田知也, 家研也, 奥瀬千晃, 松田隆秀. 尿管結石と思い込み、診断の遅れが生じた奇異性塞栓症による腎梗塞の一例. 第 22 回日本病院総合診療医学会学術総会, 2021.
- ② その他
- 1) ◎山田祐揮, 河口あゆみ, 渡邊洋章, 相原茉里, 飯塚康哲, 加藤優一, 黒須絵莉, 堀越健, 酒井翼, 土田知也, 家研也. 1 年生からできる! 学べる! 家庭医療、超はじめのいっぽ〜Kasemi episode.ZORO〜. 第 32 回学生・研修医のための家庭医療学夏期セミナー, 2020.

		和文	英文
著 書		1	
論 文	原著	2	8
	解説又は総説		
	症例報告	2	3
	その他	15	2
学会発表	国内学会	20	
	国際学会		
	その他	1	

内科学(呼吸器内科)

著書

- 1) 峯下昌道. 内視鏡的治療 新呼吸器専門医テキスト 2020;(2):1.
- 2) 古屋直樹. 抗 PD-1 抗体 ペムブロリズマブ 免疫チェックポイント阻害薬実践ガイドブック 2020;:18-20.
- 3) 峯下昌道. 各施設の対応 聖マリアンナ医科大学病院 COVID-19 の病態・診断・治療 2021;1(1):150-157.
- 4) 半田寛, 峯下昌道. 気道狭窄治療・レーザー治療とステント治療 呼吸器疾患最新の治療 2021-2022 2021;(1):118-120.

学術論文[和文]

① 原著

- 1) 小林孝至, 松嶋真哉, 横山仁志, 武一梨絵, 渡邊陽介, 中田秀一, 中茎篤, 相川駿, 駒瀬裕子, 峯下昌道. COPD 急性増悪患者の栄養状態が退院時における自立歩行の可否に与える影響. 理学療法学, 2020;48(2):166-172.
- 2) 瀬上航平, 大岡正道, 山田浩史, 朝野隆之, 阿部宏志, 穂山雅代, 村弘子, 梶ヶ谷和子, 内川隆子, 橘川薫, 小林泰之, 三村秀文, 安田宏, 峯下昌道, 大坪毅人. 放射線科読影レポート未確認に伴う Diagnostic Error への対策. 聖マリアンナ医科大学雑誌, 2020;48(3):61-66.

② 総説又は症例解説

- 1) 粒来崇博. 喘息診療レベルを上げる 呼気一酸化窒素濃度(FeNO)の測定. 日本医事新報 WEB 版, 2020;:1.
- 2) 粒来崇博. 呼気 NO. アレルギーの臨床, 2020;40(7):5-8.
- 3) 峯下昌道. 一方向弁による気管支鏡的肺容量減量術. 内科, 2020;125(6):1411-1414.
- 4) 粒来崇博. 粒来崇博 救急、当直で喘息発作に遭遇したら?. 日本医事新報 WEB 版, 2020;:1.
- 5) 駒瀬裕子. 薬局薬剤師による吸入指導に期待すること. 調剤と情報, 2020;26(12):8-13.
- 6) 駒瀬裕子. 疾患に対する薬剤の選び方、使い方、注意点 気管支喘息. 周産期の薬, 2021;50:145.

③ 症例報告

- 1) 甲田英里子, 半田寛, 篠崎勇輔, 鶴岡一, 角田哲人, 阿座上真哉, 柿沼一隆, 森川慶, 井上健男, 峯下昌道. 悪性気道狭窄に tapering type の metallic stent を留置した 2 例. 気管支学, 2020;42(6):570-571.
- 2) 西山和宏, 古屋直樹, 鶴岡一, 阿座上真哉, 柿沼一隆, 井上健男, 遠藤陽, 峯下昌道, 元井紀子. PCR 陰性であったが NGS で診断し得た EGFR 遺伝子変異 Exon19 deletion 陽性肺腺癌の 1 例. 肺癌, 2020;2021(61):143-144.

④ その他

- 1) 粒来崇博. 医師のつぶやき 病は気から? 本当の意味は?. さくら, 2020;30(1):7.
- 2) 森川慶, 木田博隆, 半田寛, 甲田英里子, 角田哲人, 鶴岡一, 大山バク, 松澤慎, 大谷真理子, 古屋直樹, 西根広樹, 井上健男, 佐治久, 小池淳樹, 峯下昌道. 肺末梢病変に対する EBUS 併用凍結生検の

有用性. 気管支学, 2020;42(Suppl.):S215.

- 3) 粒来崇博. 医師のつぶやき 新型コロナウイルス感染症(COVID19)騒ぎ. さくら, 2020;30(3):6-7.
- 4) 粒来崇博. 医師のつぶやき 卵酒で消毒?. さくら, 2020;30(4):6.
- 5) 西根広樹. 新型コロナウイルス感染症に対する当院の診療態勢. 神奈川県医師会勤務医部会報, 2021;21:31.

学術論文[英文]

① 原著

- 1) Sakaguchi Tadashi, Furuya Naoki, Ito Kentaro, Hida Naoya, Morikawa Kei, Komase Yuko, Inoue Takeo, Hataji Osamu, Mineshita Masamichi. The efficacy and safety of ramucirumab plus docetaxel in older patients with advanced non-small cell lung cancer. *Thoracic Cancer*, 2020; 11(6):1559-1565.
- 2) Furuya Naoki, Ito Kentaro, Sakaguchi Tadashi, Hida Naoya, Kakinuma Kazutaka, Morikawa Kei, Inoue Takeo, Komase Yuko, Hataji Osamu, Mineshita Masamichi. The Impact of EGFR Mutation Status and Brain Metastasis for Non-Small Cell Lung Cancer Treated with Ramucirumab plus Docetaxel. *Oncology*, 2020;98(9):661-668.
- 3) Hayashi Hiroaki, Fukutomi Yuma, Mitsui Chihiro, Kajiwarai Keiichi, Watai Kentaro, Kamide Yosuke, Nakamura Yuto, Hamada Yuto, Tomita Yasuhiro, Sekiya Kiyoshi, Tsuburai Takahiro, Izuhara Kenji, Wakahara Keiko, Hashimoto Naozumi, Hasegawa Yoshinori, Masami Taniguchi. Omalizumab for aspirin-hypersensitivity and leukotriene overproduction in aspirin-exacerbated respiratory disease: a randomized trial. *American Journal of Respiratory and Critical Care Medicine*, 2020;201(12):1488-1498.
- 4) Koshiyama Setsuko, Tanimura Kazuya, Ito Kayoko, Hira Daiki, Komase Yuko, Sato Susumu. Gastroesophageal reflux-like symptoms are associated with hyposalivation and oropharyngeal problems in patients with asthma. *Respiratory Investigation*, 2020;:doi: 10.1016/j.resinv.2020.06.004.
- 5) Fukuhana Tatsuro, Saito Haruhiro, Furuya Naoki, Watanabe Kana, Sugawara Shunichi, Iwasawa Shunichiro, Tsunozuka Yoshio, Yamaguchi Ou, Okada Morihito, Yoshimori Kozo, Nakachi Ichiro, Gemma Akihiko, Azuma Koichi, Kurimoto Futoshi, Tsubata Yukari, Fujita Yuka, Nagashima Hiromi, Asai Gyo, Watanabe Satoshi, Miyazaki Masaki, Hagiwara Koichi, Nukiwa Toshihiro, Morita Satoshi, Kobayashi Kunihiro, Maemondo Makoto. Evaluation of plasma EGFR mutation as an early predictor of response of erlotinib plus bevacizumab treatment in the NEJ026 study. *EBio Medicine*, 2020;:10.1016/j.ebiom.2020.102861.
- 6) Nishimura Toshiohide, Nakamura Haruhiko, Yachie Ayako, Hase Takeshi, Fujii Kiyonaga, Koizumi Hirotaka, Naruki Saeko, Takagi Masayuki, Matsuoka Yukiko, Furuya Naoki, Kato Harubumi, Saji Hisashi. Disease-related cellular protein networks differentially affected under different EGFR mutations in lung adenocarcinoma. *SCIENTIFIC REPORTS*, 2020;(10):1-16.
- 7) Kato Hideaki, Shimizu Hiroyuki, Shibue Yasushi, Hosoda Tomohiro, Iwabuchi Keisuke, Nagamine

- Kotaro, Saito Hiroki, Sawada Reimin, Oishi Takayuki, Tsukiji Jun, Fujita Hiroyuki, Furuya Ryosuke, Masuda Makoto, Akasaka Osamu, Ikeda Yu, Sakamoto Mitsuo, Sakai Kazuya, Uchiyama Munehiro, Komase Yuko, Nakajima Hideaki. Clinical course of 2019 novel coronavirus disease (COVID-19) in individuals present during the outbreak on the Diamond Princess cruise ship. *Journal of Infection and chemotherapy*, 2020;26(8):865-869.
- 8) Zenke Yoshitaka, Niho Seiji, Uemura Shigeki, Ishihara Masashi, Seki Nobuhiko, Nogami Naoyuki, Yukio Hosomi, Shimokawa Tsuneo, Tokito Takaaki, Goto Yasushi, Miura Yosuke, Saito Haruhiro, Hida Naoya, Ikeda Satoshi, Tanaka Hiroshi, Furuya naoki, Misumi Toshihiro, Yamanaka Takeharu, Ohe Yuichiro, Okamoto Hiroaki. Phase I/II study of carboplatin plus weekly nab-paclitaxel in patients aged ≥ 75 years with squamous-cell lung cancer: TORG1322. *Lung cancer*, 2020;146:182-188.
- 9) Nishimura Toshihide, Nakamura Haruhiko, Kien Thiam Tan, Fujii Kiyonaga, Koizumi Hirotaka, Naruki Saeko, Takagi Masayuki, Furuya Naoki, Kato Yasufumi, Shu-Jen Chen, Kato Harubumi, Saji Hisashi. A proteogenomic profile of early lung adenocarcinomas by protein co-expression network and genomic alteration analysis. *SCIENTIFIC REPORTS*, 2020;10(1):13604.
- 10) Ikeda Satoshi, Kato Terufumi, Kenmotsu Hirotsugu, Ogura Takashi, Iwasawa Shunichiro, Sato Yuki, Harada Toshiyuki, Kubota Kaoru, Tokito Takaaki, Okamoto Isamu, Furuya Naoki, Yokoyama Toshihide, Hosokawa Shinobu, Iwasawa Tae, Yamanaka Takeharu, Okamoto Hiroaki. A Phase 2 Study of Atezolizumab for Pretreated NSCLC With Idiopathic Interstitial Pneumonitis. *Journal of thoracic oncology*, 2020;:doi: 10.1016/j.jtho.2020.08.018.
- 11) Koda Eriko, Yamashiro Tsuneo, Onoe Rintaro, Handa Hiroshi, Azagami Shinya, Matsushima Shoichiro, Tomita Hayato, Inoue Takeo, Mineshita Masamichi.
CT texture analysis of mediastinal lymphadenopathy: Combining with US-based elastographic parameter and discrimination between sarcoidosis and lymph node metastasis from small cell lung cancer. *PLoS One*, 2020;15(12):e0243181.
- 12) Yamasaki Yukitaka, Ooka Seido, Tsuchida Tomoya, Nakamura Yuta, Hagiwara Yuta, Naitou Yoshiyuki, Ishibashi Yuki, Ikeda Hiroki, Sakurada Tsutomu, Handa Hiroshi, Nishine Hiroki, Takita Mumon, Morikawa Daiki, Yoshida Hideki, Fujii Shuichi, Morisawa Kenichiro, Takemura Hiromu, Fujitani Shigeki, Kunishima Hiroyuki. The peripheral lymphocyte count as a predictor of severe COVID-19 and the effect of treatment with ciclesonide. *Virus Research*, 2020;290 : 198089.
- 13) Furuya Naoki, Matsumoto Shingo, Kakinuma Kazutaka, Morikawa Kei, Inoue Takeo, Saji Hisashi, Goto Koichi, Mineshita Masamichi. Suitability of transbronchial brushing cytology specimens for next-generation sequencing in peripheral lung cancer. *Cancer science*, 2021;112(1) : 380-387.
- 14) Akamatsu Hiroaki, Toi Yukihiro, Hayashi Hidetoshi, Fujimoto Daichi, Tachikawa Motoko, Furuya Naoki, Otani Sakiko, Shimizu Junichi, Katakami Nobuyuki, Azuma Koichi, Miura Naoko, Nishino Kazumi, Hara Satoshi, Teraoka Shunsuke, Morita Satoshi, Nakagawa Kazuhiko,

Yamamoto Nobuyuki. Efficacy of Osimertinib Plus Bevacizumab vs Osimertinib in Patients With EGFR T790M-Mutated Non-Small Cell Lung Cancer Previously Treated With Epidermal Growth Factor Receptor-Tyrosine Kinase Inhibitor: West Japan Oncology Group 8715L Phase 2 Randomized Clinical Trial. *JAMA Oncology*, 2021;:DOI: 10.1001/jamaoncol.2020.6758.

- 15) Tsuruoka Hajime, Handa Hiroshi, Yamashiro Tsuneo, Nishine Hiroki, Inoue Takeo, Mineshita Masamichi. Correlation between Computed Tomographic Analysis and Pulmonary Function Measurements in Patients with Relapsing Polychondritis. *Respiration*, 2021;100(2):109-115.
- 16) Tanimoto Azusa, Matsumoto Shingo, Takeuchi Shinji, Arai Sachiko, Fukuda Koji, Nishiyama Akihiro, Yoh Kiyotaka, Ikeda Takaya, Furuya Naoki, Nishino Kazumi, Ohe Yuichiro, Goto Koich, Yano Seiji. Proteasome Inhibition Overcomes ALK-TKI Resistance in ALK-Rearranged/ TP53-Mutant NSCLC via Noxa Expression. *Clinical cancer research*, 2021;27(5):1410-1420.

② 症例報告

- 1) Furuya Naoki, Kojima Koji, Marushima Hideki, Kakinuma Kazutaka, Tsunoda Akihito, Koda Eriko, Tsuruoka Hajime, Nishida Kohei, Inoue Takeo, Saji Hisashi, Mineshita Masamichi. Successful treatment with nivolumab in a patient with lung adenocarcinoma complicated by pulmonary aspergilloma. *Thoracic Cancer*, 2020;Nov11(11):3391-3395.
- 2) Handa Hiroshi, Azagami Shinya, Mineshita Masamichi. Natural closing of a tracheal tear caused by intubation in a patient with relapsing polychondritis. *Respirology case reports*, 2021;9(4) : e00721.
- 3) Koda Eriko, Nishine Hiroki, Saiki Yusuke, Tsunoda Akihito, Usuba Ayano, Furuya Naoki, Mineshita Masamichi. A Case of Untreated Squamous Cell Lung Carcinoma May Contribute to the Occurrence of Hemophagocytic Syndrome. *Internal Medicine*, 2021;:doi: 10.2169/internalmedicine.5892-20.
- 4) Tomoya Tsuchida, Yuko Nitahara, Shotaro Suzuki, Yuko Komase, Katherine Candray, asutoshi Kido, Yu Nakagama, Yukitaka Yamasaki, Mitsuru Imamura, Kimito Kawahata, Hiroyuki Kunishima, Shigeki Fujitani, Masamichi Mineshita, Takahide Matsuda. Back to Normal: Serological Testing for COVID-19 Diagnosis Unveils Missed Infections. *Journal of Medical Virology*, 2021;93(7):4549-4552.

学会発表

① 国内学会

- 1) ◎篠崎勇輔, 檜田直也, 駒瀬裕子, 斉藤浩輝, 村岡弘海, 粒来崇博. ロピナビル/リトナビル合剤が有効であったと考えられた COVID-19 関連肺炎の一例. 日本感染症学会 新型コロナウイルス感染症緊急症例報告, 2020.
- 2) ◎森川慶, 木田博隆, 半田寛, 甲田英里子, 角田哲人, 鶴岡一, 大山バク, 松澤慎, 大谷真理子, 古屋直樹, 西根広樹, 井上健男, 佐治久, 小池淳樹, 峯下昌道. 肺末梢病変に対する EBUS 併用凍結生検の有用性. 第 43 回日本呼吸器内視鏡学会学術集会, 2020.
- 3) ◎松澤慎, 西根広樹, 木田博隆, 宮澤輝臣, 井上健男, 峯下昌道. 慢性閉塞性肺疾患における気管支

- 鏡下カプノグラフィーによる局所肺血流評価. 第 43 回日本呼吸器内視鏡学会学術集会, 2020.
- 4) 甲田英里子, 西根広樹, 齊木祐輔, 鶴岡一, 大山バク, 松澤慎, 尾上林太郎, 薄場彩乃, 大谷真理子, 森川慶, 古屋直樹, 木田博隆, 半田寛, 井上健男, 峯下昌道. 肺癌が原因と考えられた血球貪食症候群の一例. 第 240 回日本呼吸器学会関東地方会, 2020.
 - 5) ◎西山和宏, 古屋直樹, 鶴岡一, 尾上林太郎, 甲田英里子, 大山バク, 松澤慎, 大谷真理子, 森川慶, 赤司俊介, 木田博隆, 半田寛, 西根広樹, 井上健男, 峯下昌道. PCR 陰性であったが NGS で診断し得た EGFR 遺伝子変異 Exon 19 deletion 陽性肺腺癌の一例. 第 187 回日本肺癌学会関東支部学術集会, 2020.
 - 6) ◎古屋直樹. COVID 流行下における肺癌治療: 第二波に備えて. 第 187 回日本肺癌学会関東支部学術集会, 2020.
 - 7) ◎粒来崇博, 駒瀬裕子, 田中智士, 村岡弘海, 檜田直也. 当院通院中の気管支喘息症例における造影 CT 施行時のリスク調査. 第 117 回日本内科学会総会, 2020.
 - 8) ◎佐々木浩昭, 山口裕礼, 木村優子, 尾上豊美, 光山紗那, 柴田香織, 水島亜紀, 五十嵐直敬, 鈴木綾, 石田明, 薄場彩乃, 粒来崇博. COVID-19 下における院内オンライン吸入指導. 第 69 回日本アレルギー学会学術大会, 2020.
 - 9) ◎峯下昌道. 肺気腫に対する肺容量減量手術——方向弁による気管支鏡的肺容量減量術. 第 24 回日本気胸・嚢胞性肺疾患学会総会, 2020.
 - 10) ◎石田健佑, 古屋直樹, 西田皓平, 柿沼一隆, 萩原悠太, 石橋祐記, 山崎行敬, 土田知也, 國島広之, 峯下昌道. LAMP 陰性かつ PCR 陰性でも隔離解除できなかった COVID-19 疑似症肺炎の一例. 第 78 回聖マリアンナ医科大学 内科合同勉強会, 2020.
 - 11) ◎森川慶, 木田博隆, 半田寛, 井上健男, 峯下昌道. 微粒子可視化システムを利用した気管支鏡検査のエアロゾル飛散の評価および対策. 第 174 回日本呼吸器内視鏡学会関東支部会, 2020.
 - 12) ◎西山和宏, 檜田直也, 駒瀬裕子, 大山バク, 粒来崇博, 半田寛, 峯下昌道. 気管支熱形成術により呼吸機能改善を示した一例. 第 174 回日本呼吸器内視鏡学会関東支部会, 2020.
 - 13) ◎甲田英里子, 半田寛, 篠崎勇輔, 鶴岡一, 角田哲人, 阿座上真哉, 柿沼一隆, 森川慶, 井上健男, 峯下昌道. 悪性気道狭窄に tapering type の metallic stent を留置した 2 例. 第 174 回日本呼吸器内視鏡学会関東支部会, 2020.
 - 14) ◎佐治淳子, 松澤慎, 尾上林太郎, 西根広樹, 井上健男, 峯下昌道. 気管支鏡検査における非結核性抗酸菌症診断. 第 174 回日本呼吸器内視鏡学会関東支部会, 2020.
 - 15) ◎峯下昌道. 気管支熱形成術. 第 60 回日本呼吸器学会学術講演会, 2020.
 - 16) ◎駒瀬裕子. キャリア支援. 第 85 回日本呼吸器学会九州支部秋期学術講演会, 2020.
 - 17) ◎古屋直樹. 組織だけじゃ無理! 細胞診検体による Multiplex PCR と NGS で肺癌 Precision medicine を全ての患者へ. 第 59 回日本臨床細胞学会秋期大会, 2020.
 - 18) ◎森川慶. 細胞診検体を利用したコンパクトパネル検査の実装に向けて. 第 61 回日本肺癌学会学術集会, 2020.
 - 19) ◎古屋直樹. COVID-19 がもたらした苦悩・葛藤と新たな光(現場医師の立場から). 第 61 回日本肺癌学会学術集会, 2020.
 - 20) ◎森川慶. 気管支鏡検体などの細胞診検体を使用した肺癌コンパクトパネルの有用性. 第 61 回日

本肺癌学会学術集会, 2020.

- 21) ◎森川慶. 進行期 EGFR 遺伝子変異陽性肺腺癌に対する afatinib または osimertinib を 1 次治療とした第 2 相試験. 第 61 回日本肺癌学会学術集会, 2020.
- 22) ◎駒瀬裕子. 喘息・COPD の基礎知識と本当は難しい吸入療法～アドヒアランスを高めるにはどうしたらよいか?. 第 36 回日本女医会関東支部会, 2020.
- 23) ◎柿沼一隆. 高齢の METexon14 skipping 陽性肺腺癌に対して Tepotinib が奏功した 1 例. 第 188 回日本肺癌学会関東支部学術集会, 2020.
- 24) ◎塚原拓也, 松澤慎, 西根広樹, 甲田英里子, 角田哲人, 鶴岡一, 西田皓平, 大山バク, 尾上林太郎, 森川慶, 古屋直樹, 木田博隆, 半田寛, 井上健男, 峯下昌道. コイル塞栓術加療 12 年後に再開通による呼吸不全をきたした肺動静脈瘻の 1 例. 第 243 回日本呼吸器学会関東地方会, 2021.
- 25) ◎森川慶. 遺伝子検索を見据えた検査手技の工夫. 第 176 回日本呼吸器内視鏡学会関東支部会, 2021.
- 26) ◎駒瀬裕子, 粒来崇博, 大山バク, 檜田直也, 上野純子. 毎年短期間のベンラリズマブ投与でコントロールできた重症喘息の一例. 第 5 回日本アレルギー学会関東地方会, 2021.

② 国際学会

- 1) ◎Komase Yuko, Tsuburai Takahiro, Tanaka Satoshi, Oyama Baku, Muraoka Hiromi, Hida Naoya, Kobayashi Takayuki, Matsushima Masaya. Relationship between peak inspiratory flow and handgrip strength measurement in men with mild chronic obstructive pulmonary disease. ERS2020, 2020.
- 2) ◎H.Nishine, H.Takamoto, Sun,G.Sun, S.Sato, T.Inoue, T.Matsui, M.Mineshita. Non-contact Doppler radar screening system for the detection of COPD. ERS2020, 2020.
- 3) ◎Komase Yuko, Uehara Naoko, Tsuburai Takahiro Oyama Baku. Attitude survey of medical professionals for pregnancy with asthma. JSA/WAO XXVII WAC2020, 2020.
- 4) ◎Saji Hisashi, Marushima Hideki, Kimura Hiroyuki, Miyazawa Tomoyuki, Sakai Hiroki, Furuya Naoki, Kojima Koji, Nakamura Haruhiko. Adjuvant chemotherapy with modified Nab-paclitaxel and carboplatin for completely resected NSCLC:Survival analysis of FAST-Nab. 2020 World Conference on Lung Cancer Singapore, 2021.

③ その他

- 1) ◎古屋直樹. 各施設の COVID-19 対策と臨床実態. Lung Cancer Scientific Exchange Meeting ～緊急企画: COVID19 流行下での肺癌診療を考える～, 2020.
- 2) ◎佐治淳子. 重症喘息におけるヌーカラの有用性. Severe Asthma Web Seminar, 2020.
- 3) ◎駒瀬裕子. 新型コロナ時代の吸入療法. Novartis web live 講演会, 2020.
- 4) ◎佐治淳子. 抗体製剤による治療の評価. Online SCIENTIFIC EXCHANGE MEETING, 2020.
- 5) ◎佐治淳子. 喘息症状の顕在化と症状管理の重要性. Round Table Discussion, 2020.
- 6) ◎佐治淳子. リモデリング進行抑制に関する知見. 重症喘息における Bio 製剤のメリット-適切な Bio 導入を目指して-, 2020.
- 7) ◎古屋直樹. After pandemic, with COVID の肺癌診療 ～何を、どこまでやるべきか?～. COVID-19 情勢下の肺癌診療に関する WEB 講演会, 2020.

- 8) ◎古屋直樹. COVID-19 流行下での診療経験. AstraZeneca Online Seminar～COVID-19 時代における医療変化～, 2020.
- 9) ◎古屋直樹. ポストコロナ時代における診療変化 ～再流行 第二波、第三波を見据えて～. AstraZeneca Online Seminar～COVID-19 時代における医療変化～, 2020.
- 10) ◎駒瀬裕子. コロナに負けない元気の出る吸入支援. AZ COPD Online Meeting, 2020.
- 11) ◎古屋直樹. COVID-19 の対策の施設共有. Lung Cancer webinar -COVID-19 と肺癌診断について -, 2020.
- 12) ◎駒瀬裕子. 新型コロナ時代の吸入支援と、吸入支援から見た三剤合剤エリプタ製剤への期待. テリルジーWeb 講演会, 2020.
- 13) ◎駒瀬裕子. コロナに負けない元気の出る吸入支援. AZ COPD Online Meeting, 2020.
- 14) ◎佐治淳子. MR の質問に対する Q&A. 臨床専門医による MR 勉強会, 2020.
- 15) ◎駒瀬裕子. コロナに負けない元気の出る吸入支援. AZ COPD Online Meeting, 2020.
- 16) ◎古屋直樹. 誰も教えてくれなかった chemo-IO の Tips とピットフォール. 第 3 回盛岡胸部腫瘍 seminar, 2020.
- 17) ◎駒瀬裕子. 吸入支援、その心. 喘息 N-seminar, 2020.
- 18) ◎古屋直樹. 私がドセラムを使う理由、正直にお答えします. 第 3 回 Kanagawa Thoracic Oncology Meeting, 2020.
- 19) ◎森川慶. Ⅲ期 NSCLC に対する当科での PACIFIC レジメンの使用経験. Lung Cancer Online Seminar～Immuno-Oncology～, 2020.
- 20) ◎古屋直樹. ようやく使いこなせた！PACIFIC レジメンの Tips とピットフォール. AstraZeneca Lung Cancer Online Seminar, 2020.
- 21) ◎駒瀬裕子. 患者さんが元気になる新しい喘息治療のポイント. エナジア・アティキュラ発売記念講演会, 2020.
- 22) ◎古屋直樹. With COVID-19 時代の肺癌診療. Lung Cancer Web Live Seminar, 2020.
- 23) ◎駒瀬裕子. 新型コロナウイルス. さわやか苑講義, 2020.
- 24) ◎半田寛. 重症喘息とコンシェルジュ. 重症喘息 Teams Symposium, 2020.
- 25) ◎佐治淳子. 当院での重症喘息の現状. Severe Asthma Management WEB 講演会, 2020.
- 26) ◎佐治淳子. COPD の診断について、COPD の治療の進歩. 川崎北部 COPD Conference, 2020.
- 27) ◎古屋直樹. なぜ日本で Afatinib が使われるのか？その訳を冷静に考える. Giotrif® Web Conference in KANAGAWA, 2020.
- 28) ◎駒瀬裕子. コロナウイルスに負けない元気の出る吸入支援. 新時代を開き元気になる吸入療法の会, 2020.
- 29) ◎駒瀬裕子. コロナを吹き飛ばせ～三剤合剤による喘息治療に期待すること. 北多摩 asthma forum～吸入指導について考える～, 2020.
- 30) ◎駒瀬裕子. 吸入支援（指導）～今できること、できないこと、大切なこと. 吸入支援セミナー on digital, 2020.
- 31) ◎古屋直樹. 聖マリアンナ医科大学病院における"Unsung Cinderella". がん化学療法安全対策セミナー～PBPM を用いたチーム医療～, 2020.

- 32) ◎駒瀬裕子. 吸入療法. 神奈川呼吸器フェローシップセミナー, 2020.
- 33) ◎峯下昌道. Tiotropium の歩み. Tiotropium の歴史と COPD ガイドラインの現状, 2020.
- 34) ◎駒瀬裕子. 新型コロナに打ち勝つ 21 世紀の吸入支援. 喘息治療の明日を考える会, 2020.
- 35) ◎古屋直樹. NSCLC EGFR+のセカンドライン以降. 神奈川 Young Thoracic Oncologist Seminar, 2020.
- 36) ◎森川慶. 気管支鏡検査における飛沫予防の新たな試み. Respiratory Endoscopy Technical Webinar, 2020.
- 37) ◎駒瀬裕子. 新型コロナ時代の元気の出る吸入療法. 第 14 回岡山吸入療法研究会, 2020.
- 38) ◎駒瀬裕子. 吸入療法. 神奈川吸入療法ステップアップセミナー, 2020.
- 39) ◎半田寛. COVID-19 禍における医療連携と重症喘息治療. With COVID-19 Discussion 企画, 2020.
- 40) ◎駒瀬裕子. 吸入支援、その心は?. Metropolitan Asthma Live Seminar, 2020.
- 41) ◎古屋直樹. ガチンコ Discussion で論破せよ!. Chemo+IO の使い分けを本音で議論する会, 2020.
- 42) ◎古屋直樹. Case Discussion 長期予後のための Sequence. Pfizer Lung Cancer WebEX Seminar, 2020.
- 43) ◎柿沼一隆. 適切な COPD 治療とトリプル製剤のポジションを考える. 1st Anniversary Symposium in Kawasaki COPD 懇話会, 2020.
- 44) ◎峯下昌道. 難治性喘息の憎悪頻度とその予測因子 ~Hi-CARAT study~. Scientific exchange meeting in North Kawasaki, 2020.
- 45) ◎駒瀬裕子. 当院での重症喘息と慢性副鼻腔炎の治療による変化の検討. Severe Allergic Asthma Symposium in St. Marianna, 2020.
- 46) ◎森川慶. EGFR TKI sequential therapy の展望と課題. Giotrif® Web Conference in KANAGAWA, 2020.
- 47) ◎駒瀬裕子. より良いコントロールのための重症喘息診断と治療. Severe Allergic Asthma Symposium in St. Marianna, 2020.
- 48) ◎駒瀬裕子. コロナ禍における Web を用いた医療者対象の吸入指導講演会の試み. 第 39 回呼吸器医療管理システム研究会, 2020.
- 49) ◎柿沼一隆. 現在の COPD 治療と今後の展望. 銚子 Respiratory Online meeting, 2020.
- 50) ◎鶴岡一. 生物学的製剤を中心とした良好な患者・医師関係の構築を目指して. 生物学的製剤の適応を考える会, 2020.
- 51) ◎半田寛. 重症喘息患者さんに対する生物学的製剤導入の工夫について. 生物学的製剤の適応を考える会, 2020.
- 52) ◎駒瀬裕子. コロナに負けない元気の出る吸入支援. 福岡市薬剤師会講演会, 2020.
- 53) ◎古屋直樹. COVID-19 流行下における肺がん診療. Lung Cancer Internet Sumposium, 2020.
- 54) ◎佐治淳子. 重症喘息治療アップデート. Hi-care の会, 2021.
- 55) ◎柿沼一隆. ES-SCLC の免疫治療薬の臨床応用. アストラゼネカ社内教育研修会, 2021.
- 56) ◎佐治淳子. LAMA 併用について. ENERZAIR Summit in KAWASAKI, 2021.
- 57) ◎駒瀬裕子. トリプル製剤の使い方. 神奈川吸入療法ステップアップセミナー, 2021.
- 58) ◎半田寛. 重症治療の Up To Date②~あの患者さんに伝えたい、IC New Normal~. Asthma New

Normal Symposium, 2021.

- 59) ◎古屋直樹. 1st line 治療をどう使い分けていくか. Lung Cancer Frontier Meeting, 2021.
- 60) ◎古屋直樹. 進展型小細胞肺癌の最新薬物治療について. 進展型小細胞肺癌治療フォーラム, 2021.
- 61) ◎古屋直樹. 稀少遺伝子変異肺がんのスクリーニングと薬物療法. Precision Medicine Lung Cancer Web Seminar in Kanagawa, 2021.
- 62) ◎柿沼一隆. これまでの臨床経験から考える ES-SCLC 治療. AstraZeneca ES-SCLC Treatment Conference, 2021.
- 63) ◎佐治淳子. 好酸球性重症喘息における治療戦略. 重症喘息 WEB 講演会, 2021.
- 64) ◎古屋直樹. 日本人の EGFR M(+)例におけるこれからの治療戦略. 神奈川肺がん治療講演会, 2021.
- 65) ◎西根広樹. コロナ禍での気管支喘息 COPD における吸入指導. Asthma Live Seminar in 川崎北部医療圏, 2021.
- 66) ◎駒瀬裕子. 今考える、新型コロナ時代の吸入支援と三剤合剤への期待. 横浜喘息フォーラム, 2021.
- 67) ◎半田寛. 重症喘息の Up To Date IC New Normal. みちのく SA LINK Second, 2021.
- 68) ◎西田皓平. COPD. オンライン社員教育企画, 2021.
- 69) ◎駒瀬裕子. 今考える実践吸入支援. 筑豊しん・こきゅうセミナー, 2021.

		和文	英文
著 書		4	
論 文	原著	2	16
	解説又は総説	6	
	症例報告	2	4
	その他	5	
学会発表	国内学会	26	
	国際学会		4
	その他	69	

内科学(循環器内科)

著書

- 1) 出雲昌樹. 弁膜症 MitraClip が行われた僧帽弁閉鎖不全症 ガイドラインに心エコーを生かす 2020;(1):234-241.
- 2) 木田圭亮, 足利光平. 心不全治療に心臓リハビリテーション・チーム医療・緩和ケアを組合わせた精密医療 実験医学別冊もっとよくわかる! 循環器学と精密医療 2020;:188-196.
- 3) 明石嘉浩. 虚血性心疾患 たこつぼ症候群 欧州心臓病学会 (ESC)心血管ハンドブック 日本語翻訳版 2020;:123-140.
- 4) 木田圭亮, 石橋祐記. II.心不全 慢性心不全-LVEF の低下した心不全(HFrEF) 最新ガイドラインに基づく 循環器疾患 診療指針 2021-'22 2020;(1):46-52.
- 5) 木田圭亮, 明石嘉浩. 8 章 腫瘍循環器診療における連携のコツと工夫 5 腫瘍循環器リハビリテーション (CORE) 腫瘍循環器診療ハンドブック 2020;(1):185-187.
- 6) 上嶋亮, 出雲昌樹. 悩みどころの・・・基本検査! 今どきドブタミン負荷心エコー?いつ、どう使うの? エキスパートが答える循環器領域 25 の疑問 -ガイドラインとパワーワードで紡ぐ暗黙知 - 2020;:60-67.
- 7) 明石嘉浩. たこつぼ症候群の成り立ちについて ④その後のたこつぼ症候群 たこつぼ症候群 これまでの歩みと未来へのメッセージ 2021;(1):21-29.
- 8) 明石嘉浩. 急性心筋梗塞のリハビリテーション 今日の資料指針 2021 年版 2021;(1):455-457.
- 9) 黄世捷. Google アプリを利用した Paper/Tutor Less PBL の開発と導入 事例で学ぶ医療者のための Web 会議システム活用メソッド 2021;(1):214-220.
- 10) 黄世捷. Google アプリを活用した“身につく”指導医講習会 事例で学ぶ医療者のための Web 会議システム活用メソッド 2021;(1):221-229.
- 11) 明石嘉浩. 重要な心筋疾患①たこつぼ症候群 循環器診療コンプリート心筋症 2021;(1):221-232.

学術論文[和文]

① 原著

- 1) 鳥居祥子, 古川俊行, 安藤晶, 中山美奈, 仲真由美, 小口由美, 山崎哲, 原田智雄, 信岡祐彦, 明石嘉浩. チルト試験にて長期の心静止が誘発される患者の特徴. 聖マリアンナ医科大学雑誌, 2020;48(1):7-13.
- 2) 笠川彰, 高野誠, 中山由衣, 山田麻里可, 佐々木憲一, 松田央郎, 宮崎秀和, 松本直樹, 原田智雄, 明石嘉浩. 僧帽弁輪回旋心房頻拍に対して僧帽弁輪峡部の線状通電では停止せず、epicardial endocardial breakthrough site でアブレーションに成功した 1 例. 心臓, 2020;52(1):12-19.
- 3) 黄世捷, 伊佐早健司, 望月篤, 伊野美幸, 明石嘉浩, 信岡祐彦. 医学部卒前教育における ICT を利用した実践型 Problem-Based Learning の開発と導入. 聖マリアンナ医科大学雑誌, 2021;48(4):197-210.

② 総説又は症例解説

- 1) 出雲昌樹. 【心エコー図で何を見る?-スクリーニングから精査まで】病棟編 精査とその解釈のため

- に 三尖弁閉鎖不全症(TR). 循環器ジャーナル, 2020;68(2):318-325.
- 2) 米山喜平, 中嶋耕平. 【競技種目別医療に必要な知識-東京 2020 に備えて-】 ウェイトリフティングの医療に必要な知識 ウェイトリフティング. 臨床スポーツ医学, 2020;37(4):471-474.
 - 3) 栗田真吾. structural heart disease のカテーテル治療(第 2 回) 経皮的僧帽弁クリップ修復術における心エコー評価. 超音波検査技術, 2020;45(2):188-195.
 - 4) 出雲昌樹. 【マイトラクリップ-経皮的僧帽弁接合不全修復システムに麻酔科医はどうかかわるか】 MitraClip の合併症 基本を忘れずに 聖マリアンナ医科大学病院の実際を交えつつ. LiSA, 2020;27(5):518-523.
 - 5) 望月篤, 田嶋ティナ宏子, 明石嘉浩, 伊野美幸. 臨床実習後客観的臨床能力試験に向けて求められる医学教育上の変化と工夫. 聖マリアンナ医科大学雑誌, 2020;48(1):1-6.
 - 6) 上嶋亮, 出雲昌樹. 【さらに!インターベンションに役立つ心エコー】 MitraClip における中隔穿刺の重要性 プランニングと穿刺ガイド. 心エコー, 2020;21(6):535-541.
 - 7) 鈴木規雄, 木田圭亮, 明石嘉浩. 【心疾患診療に活かす心臓リハビリテーション:まとめエッセンス】 包括的心臓リハビリテーションの実際 心不全治療と栄養. 診断と治療, 2020;108(6):747-753.
 - 8) 出雲昌樹. 新弁膜症ガイドラインでこう変わる AS 診療のプラクティス 大動脈弁狭窄症 診断のキーポイントを探る. Coronary Intervention, 2020;16(4):87-88.
 - 9) 足利光平, 木田圭亮. 【ステージ A から D まで病期に沿って学ぶ!心不全ははじめの一步】 じっくり理解! ステージ B~C 弁膜症から慢性心不全にいたった患者さんを見る. ハートナーシング, 2020;33(7) : 668-674.
 - 10) 黄世捷. 【もう見逃さない, 見誤らない! 頻用薬の気づきにくい副作用】 一見しただけでは気づきにくい「薬の副作用」 強皮症の増悪を疑ったアンプリセンタン、タダラフィル導入後の浮腫と貧血. 薬事, 2020;62(9):46-49.
 - 11) 明石嘉浩. 【救急現場において知っておきたい循環器救急の知識】 たこつぼ症候群: 非典型例の特徴. ICU と CCU, 2020;44(8):505-512.
 - 12) 星野俊, 萩原悠太, 清水高弘, 小倉英, 鷹尾直誠, 土橋瑤子, 佐々木梨衣, 伊佐早健司, 佐藤如雄, 足利光平, 木田圭亮, 明石嘉浩, 長谷川泰弘. 経胸壁超音波胸骨上窩長軸断面像による大動脈弓部病変の評価. Neurosonology, 2020;33(2):41-44.
 - 13) 亀島はる香, 出雲昌樹. 【一人でも慌てない知っておくべき心エコー図の掟! 何を見てどう評価するか】 治す 心エコー図で考える大動脈弁狭窄症の侵襲的治療適応. Heart View, 2020;24(9):98-106.
 - 14) 鈴木規雄. 【キケンを察知!フレイル・認知症…心不全患者さんの併存症ケア】 低栄養の患者さんがやってきた!. ハートナーシング, 2020;33(9):884-888.
 - 15) 木田圭亮, 鈴木規雄, 佐瀬一洋. 特集:腫瘍循環器学 IV.特論 腫瘍循環器リハビリテーション. 日本臨床, 2020;78(9):1570-1576.
 - 16) 木田圭亮, 土井駿一, 鈴木規雄. 【悪液質-内部障害のリハビリテーション栄養】 悪液質に対する薬物療法. リハビリテーション栄養, 2020;4(2):147-152.
 - 17) 石橋祐記. 【新型コロナウイルス (COVID-19) と循環器疾患】 COVID-19 集中治療下における循環器内科医の役割. 心臓, 2020;52(10):1115-1117.
 - 18) 木田圭亮, 土岐真路, 土井駿一, 鈴木規雄. 【高齢者における循環器診療】 高齢者における代表的循

環器疾患とその治療 心不全. 内科, 2020;126(5):869-873.

- 19) 明石嘉浩. 循環器学 2020 年の進歩 心臓リハビリテーション領域の進歩. 循環器専門医, 2020;29: 97-99.
- 20) 古川俊行. 【知っておきたい不整脈の知識】 失神の診断・治療. 日本医師会雑誌, 2020;149(8) : 1371-1375.
- 21) 佐藤如雄, 出雲昌樹. 【臨床に役立たせる!各種心エコー技術の活用法】僧帽弁疾患での活用法. 心エコー, 2020;21(12):1138-1145.
- 22) 塩川則子, 出雲昌樹. 経皮的僧帽弁クリップ修復術における心エコー検査. 検査と技術, 2020;48(12):1286-1289.
- 23) 寺本佳楠子. 医療統計と臨床疫学 第1回臨床研究の始め方～正しい検定手法の選択と結果の解釈. 超音波検査技術, 2020;45(6):611-618.
- 24) 信岡祐彦, 望月篤, 黄世捷, 藤原多鶴子, 伊野美幸, 井上莊一郎. シミュレーション教育の充実に必要なもの 質的統合法(KJ法)による検討. 新しい医学教育の流れ, 2021;20(3):135-138.
- 25) 木田圭亮, 鈴木規雄. 【ここに注意!薬剤性の転倒・転落】病態・ステージ別の薬剤と転倒予防 循環器疾患における薬剤. 薬事, 2021;63(2):31-36.
- 26) 佐藤如雄, 出雲昌樹. 【実践!Point-of-Care 超音波検査・胸痛と下腿浮腫にどう活用する?】胸痛に対する limited echocardiography. 心エコー, 2021;22(3):210-219.

③ 症例報告

- 1) 村田理沙子, 大野正和, 秋元耕, 矢部顕人, 戸舎稚詞, 福島琢, 榊原温志, 土屋勇輔, 鈴木雅仁, 近江哲生, 佐々木毅, 清水茂雄. 異なった収縮形態を呈した褐色細胞腫由来のたこつぼ症候群の1例. 心臓, 2020;52(9):1036-1041.
- 2) 笠川彰, 土井駿一, 金光陽子, 山田麻里可, 高野誠, 中島育太郎, 佐々木憲一, 石橋祐記, 原田智雄, 明石嘉浩. 後天性第V因子欠損症を合併したリードレスペースメーカーの一時的閾値上昇の1例. 川崎市医師会医学会誌, 2020;37:7-9.

④ その他

- 1) 田中道雄, 田邊康宏, 北村健, 荒井研, 木脇祐子. マクロクイズ 第132回. 病理と臨床, 2020;38(4): 355-360.
- 2) 木田圭亮, 中村祐太, 鈴木規雄. 【糖尿病患者の心血管病罹患リスクにどう立ち向かうか】治す 糖尿病患者の心不全をどう治療する?. Heart View, 2020;24(7):632-637.
- 3) 明石嘉浩. 村田論文に対する Editorial Comment. 心臓, 2020;52(9):1042-1043.
- 4) 黄世捷. 【50の?が!に変わる 急性期～慢性期 ずっと看るための心不全完全ガイド】(第2部)ステージごとの患者さんの病態・治療・ケアを知ろう! (第2章)【ステージB】器質的な心疾患がある! 患者さんへの治療(Q14) 弁膜症の患者さんが心不全に移行しないためには?. ハートナーシング, 2020;451:75-79.
- 5) 黄世捷. 【50の?が!に変わる 急性期～慢性期 ずっと看るための心不全完全ガイド】(第2部)ステージごとの患者さんの病態・治療・ケアを知ろう! (第2章)【ステージB】器質的な心疾患がある! 患者さんへの治療(Q13) 不整脈(心房細動)の患者さんが心不全に移行しないためには?. ハートナーシング, 2020;451:69-74.

- 6) 田邊康宏. 甲谷論文に対する Editorial Comment. 心臓, 2020;52(10):1174.
- 7) 木田圭亮, 松本直樹, 志茂新, 小島康幸, 小徳暁生, 出雲昌樹, 明石嘉浩. 各論: がん化学療法による臓器障害の機序と対応 5)HER2 阻害薬による心筋障害. 腎臓内科, 2020;12(6):644-653.
- 8) 木田圭亮, 土井駿一, 鈴木規雄. 【エキスパートに学ぶ-最新の循環器治療薬の使い方】知っておくべき 10 種類の循環器治療薬と治療法 高カリウム血症に対する新規治療薬 ロケルマ. Medicina, 2021;58(1):54-57.
- 9) 田邊康宏. 櫻井論文に対する Editorial Comment. 心臓, 2021;53(2):193.
- 10) 大手信之, 石津智子, 泉知里, 伊藤浩, 岩永史郎, 大倉宏之, 尾辻豊, 坂田泰史, 柴田利彦, 新家俊郎, 瀬尾由広, 大門雅夫, 竹内正明, 田邊一明, 中谷敏, 新居正基, 西上和宏, 穂積健之, 安河内聰, 山田博胤, 山本一博, 出雲昌樹, 井上勝次, 岩野弘幸, 岡田厚, 片岡明久, 加地修一郎, 楠瀬賢也, 合田亜希子, 竹田泰治, 田中秀和, 土肥薫, 濱口浩敏, 福田英克, 山田聡, 渡邊望, 赤石誠, 赤阪隆史, 木村剛, 小菅雅美, 増山理. 循環器超音波検査の適応と判読ガイドライン. 2019-2020 年度活動 2021 年改訂版循環器超音波検査の適応と判読ガイドライン, 2021::12-126.
- 11) 足利光平, 米山喜平, 武者春樹, 村山正博. スポーツ心臓の生理的反応—スポーツ心臓は可逆性変化である—. 一流競技者の健康・体力追跡調査—東京オリンピック記念体力測定—の総括, 2021::12-13.
- 12) 牧田茂, 安隆則, 明石嘉浩, 安達仁, 井澤英夫, 石原俊一, 磯良崇, 大内秀雄, 大宮一人, 大屋祐輔, 沖田孝一, 木村穰, 小池朗, 上月正博, 木庭新治, 佐田政隆, 島田和典, 下川智樹, 白石裕一, 住友直方, 高橋哲也, 田倉智之, 筒井裕之, 長山雅俊, 長谷川恵美子, 福本義弘, 古川裕, 三浦伸一郎, 安田聡, 山田純生, 山田祐一郎, 弓野大, 吉田俊子, 足立拓史, 池亀俊美, 井澤和夫, 石田岳史, 小笹寧子, 長田尚彦, 小幡裕明, 角谷尚哉, 笠原西介, 加藤雅明, 神谷健太郎, 絹川真太郎, 河野裕治, 小林康之, 小山照幸, 佐瀬一洋, 佐藤真治, 柴田龍宏, 鈴木規雄, 玉木大輔, 東條美奈子, 中西道郎, 中根英策, 西崎真里, 肥後太基, 藤見幹太, 本多祐, 松本泰治, 松元紀子, 宮脇郁子, 村田誠, 八木秀介, 築瀬正伸, 山田緑, 横山美帆, 渡辺徳, 伊東春樹, 木村剛, 許俊鋭, 後藤葉一, 野原隆司, 平田健一. 心血管疾患におけるリハビリテーションに関するガイドライン. 日本循環器学会/日本心臓リハビリテーション学会合同ガイドライン 2021 年改訂版心血管疾患におけるリハビリテーションに関するガイドライン, 2021::15-149.

学術論文[英文]

① 原著

- 1) Cook Christopher M, Howard James P, Ahmad Yousif, Shun-Shin Matthew J, Sethi Amarjit, Clesham Gerald J, Tang Kare H, Nijjer Sukhjinder S, Kelly Paul A, Davies John R, Malik Iqbal S, Kaprielian Raffi, Mikhail Ghada, Petraco Ricardo, Warisawa Takayuki, Al-Janabi Firas, Karamasis Grigoris V, Mohdnazri Shah, Gamma Reto, de Waard Guus A, Al-Lamee Rasha, Keeble Thomas R, Mayet Jamil, Sen Sayan, Francis Darrel P, Davies Justoin E. How do fractional flow reserve, whole-cycle pdPa, and instantaneous wave-free ratio correlate with exercise coronary flow velocity during exercise-induced angina?. Circulatoin Cardiovascular Interventions, 2020;13(4): e008460.

- 2) Watanabe Yusuke, Nara Yugo, Hioki Hirofumi, Kawashima Hideyuki, Kataoka Akihisa, Nakashima Makoto, Nishihata Yosuke, Hayashida Kentaro, Yamamoto Masanori, Tanaka Jun, Mizutani Kazuki, Jujo Kentaro, Nakazawa Gaku, Izumo Masaki, Kozuma Ken. Short-term effects of low-dose tolvaptan in acute decompensated heart failure patients with severe aortic stenosis: The LOHAS registry. *International Journal of Cardiology*, 2020;305:82-86.
- 3) Kim Hyung Oh, Kim Chong Jin, Kim Weon, Cho Jin-Man, Soeda Tsunenari, Takano Masamichi, Yan Bryan P, Crea Filippo, Niccoli Giampaolo, Vergallo Rocco, Minami Yoshiyasu, Higuma Takumi, Kimura Shigeki, Boeder Niklas Frederik, Nef Holger, Adriaenssens Tom, Kurihara Osamu, Thondapu Vikas, Russo Michele, Yamamoto Erika, Sugiyama Tomoyo, Lee Hang, Kakuta Tsunekazu, Yonetsu Taishi, Jang Ik-Kyung. Relative risk of plaque erosion among different age and sex groups in patients with acute coronary syndrome. *Journal of Thrombosis and Thrombolysis*, 2020;49(3):352-359.
- 4) Hirasawa Kensuke, Izumo Masaki, Suzuki Kengo, Suzuki Tomomi, Ohara Hiroshi, Watanabe Mika, Sato Yukio, Kamijima Ryo, Nobuoka Sachihiko, Akashi Yoshihiro J. Value of transvalvular flow rate during exercise in asymptomatic patients with aortic stenosis. *Journal of the American Society of Echocardiography*, 2020;33(4):438-448.
- 5) Warisawa Takayuki, Cook Christopher M, Seligman Henry, Howard James P, Ahmad Yousif, Rajkumar Christopher, Doi Shunichi, Nakayama Masafumi, Tanigaki Toru, Omori Hiroyuki, Nakajima Akihiro, Yamanaka Futoshi, Goto Sonoka, Yakuta Yohei, Karube Kenichi, Uetani Teruyoshi, Kikuta Yuetsu, Shiono Yasutsugu, Kawase Yoshiaki, Nishina Hidetaka, Nakamura Sunao, Escaned Javier, Akashi Yoshihiro J, Matsuo Hitoshi, Davies Justin E. Per-vessel level analysis of fractional flow reserve and instantaneous wave-free ratio discordance - Insights from the AJIP registry. *Circulation Journal*, 2020;84(6):1034-1038.
- 6) Sasaki Kenichi, Izumo Masaki, Kuwata Shingo, Ishibashi Yuki, Kamijima Ryo, Watanabe Mika, Kaihara Toshiki, Okuyama Kazuaki, Koga Masashi, Nishikawa Haruka, Tanabe Yasuhiro, Higuma Takumi, Akashi Yoshihiro J. Clinical impact of new-onset left bundle-branch block after transcatheter aortic valve implantation in the Japanese population - A single high-volume center experience. *Circulation Journal*, 2020;84(6):1012-1019.
- 7) Warisawa Takayuki, Nour Daniel, Seligman Henry, Doi Shunichi, Kuwata Shingo, Howard James P, Rajkumar Christopher, Cook Christopher M, Nakayama Yui, Kasahara Mizuho, Suzuki Norio, Matsuda Hisao, Mizuno Koichi, Akashi Yoshihiro J. Interference between pressure-wire and deployed coronary stents: insights from a bench test. *Cardiovascular Revascularization Medicine*, 2020;21(6):765-770.
- 8) Ichikawa Yuri, Maeda Tomoko, Takahashi Tetsuya, Ashikaga Kohei, Tanaka Shiori, Sumi Yuki, Itoh Haruki. Changes in oxygen uptake kinetics after exercise caused by differences in loading pattern and exercise intensity. *ESC Heart Failure*, 2020;7(3):1109-1117.
- 9) Hoogendoorn Jarieke C, Sramko Marek, Venlet Jeroen, Siontis Konstantinos C, Kumar Saurabh, Singh Robin, Nakajima Iktaro, Piers Sebastiaan R D, de Riva Silva Marta, Glashan Claire A,

- Crawford Thomas, Tedrow Usha B, Stevenson William G, Bogun Frank, Zeppenfeld Katja. Electroanatomical voltage mapping to distinguish right-sided cardiac sarcoidosis from arrhythmogenic right ventricular cardiomyopathy. *JACC Clinical Electrophysiology*, 2020;6(6) : 696-707.
- 10) Ahmad Yousif, Howard James P, Arnold Ahran, Prasad Megha, Seligman Henry, Cook Christopher M, Warisawa Takayuki, Shun-Shun Matthew, Ali Ziad, Parikh Manish A, Al-Lamee Rasha, Sen Sayan, Francis Darrel, Moses Jeffrey W, Leon Martin B, Stone Gregg W, Karpaliotis Dimitri. Complete revascularization by percutaneous coronary intervention for patients with ST-segment-elevation myocardial infarction and multivessel coronary artery disease: an updated meta-analysis of randomized trials. *Journal of the American Heart Association*, 2020;9(12) : e015263.
 - 11) Warisawa Takayuki, Kuwata Shingo, Kasahara Mizuho, Doi Shunichi, Nakayama Yui, Suzuki Norio, Takai Manabu, Matsuda Hisao, Mizuno Koichi, Akashi Yoshihiro J. Feasibility of kissing balloon technique through guide extension catheters: an experimental bench test. *Cardiovascular Intervention and Therapeutics*, 2020;35(3):269-275.
 - 12) Yamamoto Kazuhiro, Tsuchihashi-Makaya Miyuki, Kinugasa Yoshiharu, Iida Yuki, Kamiya Kentaro, Kihara Yasuki, Kono Yuji, Sato Yukihito, Suzuki Norio, Takeuchi Harumi, Higo Taiki, Miyazawa Yasushi, Miyajima Isao, Yamashina Akira, Yoshita Katsushi, Washida Koichi, Kuzuya Masafumi, Takahashi Tetsuya, Nakaya Yutaka, Hasebe Naoyuki, Tsutsui Hiroyuki; Japanese Heart Failure Society, Expert Consensus Writing Committee. Japanese heart failure society 2018 scientific statement on nutritional assessment and management in heart failure patients. *Circulation Journal*, 2020;84(8):1408-1444.
 - 13) Warisawa Takayuki, Cook Christopher M, Rajkumar Christopher, Howard James P, Seligman Henry, Ahmad Yousif, El Hajj Stephanie, Doi Shunichi, Nakajima Akihiro, Nakayama Masafumi, Goto Sonoka, Vera-Urquiza Rafael, Sato Takao, Kikuta Yuetsu, Kawase Yoshiaki, Nishina Hidetaka, Petraco Ricardo, Al-Lamee Rasha, Nijjer Sukhjinder, Sen Sayan, Nakamura Sunao, Lerman Amir, Matsuo Hitoshi, Francis Darrel P, Akashi Yoshihiro J, Escaned Javier, Davies Justin E. Safety of revascularization deferral of left main stenosis based on instantaneous wave-free ratio evaluation. *JACC Cardiovascular Interventions*, 2020;13(14):1655-1664.
 - 14) Kaihara Toshiki, Higuma Takumi, Kuwata Shingo, Koga Masashi, Watanabe Mika, Okuyama Kazuaki, Kamijima Ryo, Izumo Masaki, Ishibashi Yuki, Tanabe Yasuhiro, Akashi Yoshihiro J. "Avulsion Injury" of the artery by a suture-mediated closure system during transcatheter aortic valve implantation. *The Journal of Invasive Cardiology*, 2020;32(7):E193.
 - 15) Kurihara Osamu, Takano Masamichi, Yamamoto Erika, Yonetsu Taishi, Kakuta Tsunekazu, Soeda Tsunenari, Yan Bryan P, Crea Filippo, Higuma Takumi, Kimura Shigeki, Minami Yoshiyasu, Adriaenssens Tom, Boeder Niklas F, Nef Holger M, Kim Chong Jin, Thondapu Vikas, Kim Hyung Oh, Russo Michele, Sugiyama Tomoyo, Fracassi Francesco, Lee Hang, Mizuno Kyoichi, Jang Ik-Kyung. Seasonal variations in the pathogenesis of acute coronary syndromes.

Journal of the American Heart Association, 2020;9(13): e015579.

- 16) Shimizu Yuuki, Kondo Kazuhisa, Fukumoto Yoshihiro, Takamura Masayuki, Inoue Teruo, Nagata Tokuichiro, Akashi Yoshihiro J, Yamada Yoshihiro, Kuwahara Koichiro, Kobayashi Yoshio, Shibata Rei, Murohara Toyoaki. Rationale and design of therapeutic Aagiogenesis by cell transplantation using adipose-derived regenerative cells in patients with critical limb Ischemia — TACT-ADRC multicenter trial —. *Circulation Reports*, 2020;2(9):531-535.
- 17) Teramoto Kanako, Sengelov Morten, West Erin, Santos Mario, Nadruz Wilson, Skali Hicham, Shah Amil M. Association of pulmonary hypertension and right ventricular function with exercise capacity in heart failure. *ESC Heart Failure*, 2020;7(4):1635-1644.
- 18) Koeda Yorihiro, Itoh Tomonori, Ishikawa Yu, Morino Yoshihiro, Mizutani Tomohiro, Ako Junya, Nakano Masataka, Yoshioka Koichiro, Ikari Yuji, Inami Shu, Sakuma Masashi, Taguchi Isao, Ishikawa Tetsuya, Sugimura Hiroyuki, Sugi Keiki, Matsumoto Kazuo, Mitarai Takanobu, Kunishima Tomoyuki, Akashi Yoshihiro J, Nomura Takahiro, Fukushi Kei, Yoshino Hideaki; Cardiovascular Research Consortium-8 Universities (CIRC-8U). A multicenter study on the clinical characteristics and risk factors of in-hospital mortality in patients with mechanical complications following acute myocardial infarction. *Heart and Vessels*, 2020;35(8):1060-1069.
- 19) Warisawa Takayuki, Howard James P, Kawase Yoshiaki, Tanigaki Toru, Omori Hiroyuki, Cook Christopher M, Ahmad Yousif, Francis Darrel P, Akashi Yoshihiro J, Matsuo Hitoshi, Davies Justin E. Difference in functional assessment of individual stenosis severity in serial coronary lesions between resting and hyperemic pressure-wire pullback: Insights from the GIFT registry. *International Journal of Cardiology*, 2020;312:10-15.
- 20) Doi Shunichi, Ashikaga Kohei, Kida Keisuke, Watanabe Mika, Yoneyama Kihei, Suzuki Norio, Kuwata Shingo, Kaihara Toshiki, Koga Masashi, Okuyama Kazuaki, Kamijima Ryo, Tanabe Yasuhiro, Takeichi Naoya, Watanabe Satoshi, Izumo Masaki, Ishibashi Yuki and Akashi J Yoshihiro. Prognostic value of mini nutritional assessment-short form with aortic valve stenosis following transcatheter aortic valve implantation. *ESC Heart Failure*, 2020;7(6):4024-4031.
- 21) Teramoto Kanako, Nadruz Junior Wilson, Matsushita Kunihiro, Claggett Brian, John John E, Skali Hicham, Solomon Scott, Cheng Susan, Shah Amil M. Mid- to late-life time-averaged cumulative blood pressure and late-life cardiac structure, function, and heart failure. *Hypertension*, 2020;76(3):808-818.
- 22) Araki Makoto, Soeda Tsunenari, Kim Hyung Oh, Thondapu Vikas, Russo Michele, Kurihara Osamu, Shinohara Hiroki, Minami Yoshiyasu, Higuma Takumi, Lee Hang, Yonetsu Taishi, Kakuta Tsunekazu, Jang Ik-Kyung. Spatial distribution of vulnerable plaques: comprehensive in vivo coronary plaque mapping. *JACC Cardiovascular Imaging*, 2020;13(9):1989-1999.
- 23) Hirasawa Kensuke, Izumo Masaki, Umemoto Tomoyuki, Suzuki Kengo, Kitanaka Yosuke, Oi Keiji, Mizuno Tomohiro, Harada Tomoo, Ashikaga Takashi, Miyairi Takeshi, Arai Hirokuni, Hirao Kenzo, Akashi Yoshihiro J. Geometry of tricuspid valve apparatus in patients with mitral regurgitation due to fibroelastic deficiency versus barlow disease: A real-time three-dimensional

transesophageal echocardiography study. *Journal of the American Society of Echocardiography*, 2020;33(9):1095-1105.

- 24) Okuyama Kazuaki, Izumo Masaki, Ochiai Tomoki, Kuwata Shingo, Kaihara Toshiki, Koga Masashi, Kamijima Ryo, Ishibashi Yuki, Tanabe Yasuhiro, Higuma Takumi, Makkar Raj, Miyairi Takeshi, Akashi Yoshihiro J. New-generation transcatheter aortic valves in patients with small aortic annuli - comparison of balloon- and self-expandable valves in Asian patients. *Circulation Journal*, 2020;84(11):2015-2022.
- 25) Citro Rodolfo, Okura Hiroyuki, Ghadri Jelena R, Izumi Chisato, Meimoun Patrick, Izumo Masaki, Dawson Dana, Kaji Shuichiro, Eitel Ingo, Kagiya Nobuyuki, Kobayashi Yukari, Templin Christian, Delgado Victoria, Nakatani Satoshi, Popescu Bogdan A. Multimodality imaging in takotsubo syndrome: a joint consensus document of the European Association of Cardiovascular Imaging (EACVI) and the Japanese Society of Echocardiography (JSE). *European Heart Journal Cardiovascular Imaging*, 2020;21(11):1184-1207.
- 26) Yoneyama Kihei, Naka Mayumi, Harada Tomoo, Akashi Yoshihiro.
Creating 12-lead electrocardiogram waveforms using a three-lead bedside monitor to ensure appropriate monitoring. *Journal of Arrhythmia*, 2020;36(6):1107-1108.
- 27) Okuyama Kazuaki, Izumo Masaki, Sasaki Kenichi, Kuwata Shingo, Kaihara Toshiki, Watanabe Mika, Koga Masashi, Kamijima Ryo, Takano Makoto, Ishibashi Yuki, Tanabe Yasuhiro, Higuma Takumi, Harada Tomoo, Akashi Yoshihiro J. Comparison in clinical outcomes between leadless and onventional transvenous pacemaker following transcatheter aortic valve implantation. *The Journal of Invasive Cardiology*, 2020;32(10):400-404.
- 28) Teramoto Kanako, Santos Mario, Claggett Brian, John Jenine E, Solomon Scott D, Kitzman Dalane, Folsom Aaron R, Cushman Mary, Matsushita Kunihiro, Skali Hicham, Shah Amil M. Pulmonary vascular dysfunction among people aged over 65 years in the community in the Atherosclerosis Risk In Communities (ARIC) Study: A cross-sectional analysis. *PLOS Medicine*, 2020;17(10): e1003361.
- 29) Kaihara Toshiki, Izumo Masaki, Kameshima Haruka, Sato Yukio, Kuwata Shingo, Koga Masashi, Watanabe Mika, Okuyama Kazuaki, Kamijima Ryo, Ishibashi Yuki, Tanabe Yasuhiro, Higuma Takumi, Harada Tomoo, Akashi Yoshihiro J. Effect of immunosuppressive therapy on clinical outcomes for patients with aortic stenosis following transcatheter aortic valve implantation. *Circulation Journal*, 2020;84(12):2296-2301.
- 30) Ueda Nobuhiko, Noda Takashi, Nakajima Iktaro, Ishibashi Kohei, Nakajima Kenzaburo, Kamakura Tsukasa, Wada Mitsuru, Yamagata Kenichiro, Inoue Yuko, Miyamoto Koji, Nagase Satoshi, Aiba Takeshi, Kiso Keisuke, Kanzaki Hideaki, Izumi Chisato, Noguchi Teruo, Yasuda Satoshi, Kusano Kengo. Clinical impact of left ventricular paced conduction disturbance in cardiac resynchronization therapy. *Heart Rhythm*, 2020;17(11):1870-1877.
- 31) Wakamatsu Y, Nagashima K, Watanabe R, Arai M, Yokoyama K, Matsumoto N, Otsuka T, Suzuki S, Hirata A, Murakami M, Takami M, Kimura M, Fukaya H, Nakahara S, Kato T, Hayashi H,

- Iwasaki YK, Shimizu W, Nakajima Ikutaro, Harada Tomoo, Koyama J, Okumura K, Tokuda M, Yamane T, Tanimoto K, Momiyama Y, Nonoguchi N, Soejima K, Ejima K, Hagiwara N, Harada M, Sonoda K, Inoue M, Kumagai K, Hayashi H, Yazaki Y, Satomi K, Watari Y, Okumura Y. Clinical outcomes of off-label underdosing of direct oral anticoagulants after ablation for atrial fibrillation. *International Heart Journal*, 2020;61(6):1165-1173.
- 32) Araki M, Akoto Yonetsu Taishi, Russo Michele, Kurihara Osamu, Kim Hyung Oh, Shinohara Hiroki, Thondapu Vikas, Soeda Tsunenari, Minami Yoshiyasu, Higuma Takumi, Lee Hang, Kakuta Tsunekazu, Jang Ik-Kyung. Predictors for layered coronary plaques: an optical coherence tomography study. *Journal of Thrombosis and Thrombolysis*, 2020;50(4):886-894.
- 33) Kotoku Nozomi, Higuma Takumi, Ishibashi Yuki, Kaihara Toshiki, Mitarai Takanobu, Okuyama Kazuaki, Kamijima Ryo, Yoneyama Kihei, Tanabe Yasuhiro, Akashi Yoshihiro J. ST-segment elevation myocardial infarction caused by very late in-stent restenosis nine years after deployment. *Coronary Artery Disease*, 2020;31(8):742-743.
- 34) Russo Michele, Kim Hyung Oh, Kurihara Osamu, Araki Makoto, Shinohara Hiroki, Thondapu Vikas, Yonetsu Taishi, Soeda Tunenari, Minami Yoshiyasu, Higuma Takumi, Lee Hang, Fracassi Francesco, Vergallo Rocco, Niccoli Giampaolo, Crea Filippo, Fuster Valentin, Jang Ik-Kyung. Characteristics of non-culprit plaques in acute coronary syndrome patients with layered culprit plaque. *European Heart Journal Cardiovascular Imaging*, 2020;21(12):1421-1430.
- 35) Yamasaki Yukitaka, Ooka Seido, Tsuchida Tomoya, Nakamura Yuta, Hagiwara Yuta, Naitou Yoshiyuki, Ishibashi Yuki, Ikeda Hiroki, Sakurada Tsutomu, Handa Hiroshi, Nishine Hiroki, Takita Mumon, Morikawa Daiki, Yoshida Hideki, Fujii Shuichi, Morisawa Kenichiro, Takemura Hiromu, Fujitani Shigeki, Kunishima Hiroyuki. The peripheral lymphocyte count as a predictor of severe COVID-19 and the effect of treatment with ciclesonide. *Virus Research*, 2020;290 : 198089.
- 36) Kawamura Yosuke, Yokoyama Hiroaki, Kitayama Kazutaka, Miura Naotake, Hamadate Misato, Nagawa Daiki, Nozaka Masashi, Nakata Masamichi, Nishizaki Fumie, Hanada Kenji, Yokota Takashi, Yamada Masahiro, Higuma Takumi, Tomita Hirofumi. Clinical impact of complete atrioventricular block in patients with ST-segment elevation myocardial infarction. *Clinical Cardiology*, 2021;44(1):91-99.
- 37) Ashikaga Kohei, Itoh Haruki, Maeda Tomoko, Itoh Hidetaka, Ichikawa Yuri, Tanaka Shiori, Ajisaka Ryuichi, Koike Akira, Makita Shigeru, Omiya Kazuto, Kato Yuko, Adachi Hitoshi, Nagayama Masatoshi, Tajima Akihiko, Harada Naomi, Akashi Yoshihiro J. Ventilatory efficiency during ramp exercise in relation to age and sex in a healthy Japanese population. *Journal of Cardiology*, 2021;77(1):57-64.
- 38) Nakamura Tomofumi, Narui Ryohsuke, Holmes Benjamin, Norton Caleb, Kim Eun-Jeong, Nakajima Ikutaro, Stevenson William G, Greene Matthew H, John Roy M, Ellis Christopher R, Crossley George H 3rd, Montgomery Jay A. Candidemia in patients with cardiovascular implantable electronic devices. *Journal of Interventional Cardiac Electrophysiology*, 2021;60(1) :

69-75.

- 39) Teramoto Kanako, Tromp Jasper, Lam Carolyn SP. Heart failure or heart success?. *Cardiovascular research*, 2021;117(3):e29-e34.
- 40) Nakajima Ikutarō, Narui Ryōsuke, Aboud Asad A, Adeola Oluwaseun, McHugh Julia, Holmes Benjamin, Lugo Ricardo, Richardson Travis D, Montgomery Jay, Shen Sharon, Kanagasundram Arvinth, Michaud Gregory F, Stevenson William G. Periaortic ventricular tachycardias in nonischemic cardiomyopathy: substrate and electrocardiographic correlations. *Circulation Arrhythmia and Electrophysiology*, 2021;14(2):e008887.
- 41) Mitarai Takanobu, Tanabe Yasuhiro, Akashi Yoshihiro J, Maeda Atsuo, Ako Junya, Ikari Yuji, Ebina Toshiaki, Namiki Atsuo, Fukui Kazuki, Michishita Ichiro, Kimura Kazuo, Suzuki Hiroshi. A novel risk stratification system "Angiographic GRACE Score" for predicting in-hospital mortality of patients with acute myocardial infarction: Data from the K-ACTIVE Registry. *Journal of Cardiology*, 2021;77(2):179-185.
- 42) Araki Makoto, Yonetsu Taishi, Kurihara Osamu, Nakajima Akihiro, Lee Hang, Soeda Tsunenari, Minami Yoshiyasu, Higuma Takumi, Kimura Shigeki, Takano Masamichi, Yan Bryan P, Adriaenssens Tom, Boeder Niklas F, Nef Holger M, Kim Chong Jin, Crea Filippo, Kakuta Tsunekazu, Jang Ik-Kyung. Circadian variations in pathogenesis of ST-segment elevation myocardial infarction: an optical coherence tomography study. *Journal of Thrombosis and Thrombolysis*, 2021;51(2):379-387.
- 43) Nakajima Akihiro, Araki Makoto, Kurihara Osamu, Minami Yoshiyasu, Soeda Tsunenari, Yonetsu Taishi, Higuma Takumi, Kakuta Tsunekazu, McNulty Iris, Lee Hang, Malhotra Rajeev, Nakamura Sunao, Jang Ik-Kyung. Predictors for rapid progression of coronary calcification: an optical coherence tomography study. *Journal of the American Heart Association*, 2021;10(3) : e019235.
- 44) Nakajima Akihiro, Araki Makoto, Kurihara Osamu, Minami Yoshiyasu, Soeda Tsunenari, Yonetsu Taishi, Crea Filippo, Takano Masamichi, Higuma Takumi, Kakuta Tsunekazu, Adriaenssens Tom, Lee Hang, Nakamura Sunao, Jang Ik-Kyung. Comparison of post-stent optical coherence tomography findings among three subtypes of calcified culprit plaques in patients with acute coronary syndrome. *Catheterization and Cardiovascular Interventions*, 2021;97(4):634-645.
- 45) Nabeta Takeru, Kida Keisuke, Ishida Miwa, Shiono Takaaki, Suzuki Norio, Doi Shunichi, Tsukahara Maya, Ohta Yuki, Kimura Tetsuya, Yamaguchi Keita, Takita Atsushi, Matsumoto Naoki, Akashi J. Yoshihiro, Ako Junya, Inomata Takayuki. Plasma concentration and pharmacodynamics of Edoxaban in patients with nonvalvular atrial fibrillation and acute heart failure. *Clinical pharmacokinetics*, 2021;:10.1007/s40262-021-00999-y.
- 46) Doi Shunichi, Izumo Masaki, Shiokawa Noriko, Teramoto Kanako, Ishibashi Yuki, Higuma Takumi, Fujitani Shigeki, Akashi Yoshihiro J. McConnell's sign assessed by point-of-care cardiac ultrasound associated with in-hospital mortality of COVID-19 patients with respiratory failure.

Journal of Echocardiography, 2021;19(1):67-69.

② 総説又は症例解説

- 1) Kida Keisuke, Doi Shunichi, Suzuki Norio. Palliative care in patients with advanced heart failure. *Heart Failure Clinics*, 2020;16(2):243-254.
- 2) Okuyama Kazuaki, Watanabe Mika, Kamijima Ryo, Izumo Masaki, Tanabe Yasuhiro, Akashi Yoshihiro J. Acute aortic regurgitation after post-dilatation: first case of crashed leaflet in transcatheter aortic valve implantation. *Cardiovascular Intervention and Therapeutics*, 2020; 35(4):413-414.
- 3) Citro Rodolfo, Okura Hiroyuki, Ghadri Jelena R, Izumi Chisato, Meimoun Patrick, Izumo Masaki, Dawson Dana, Kaji Shuichiro, Eitel Ingo, Kagiya Nobuyuki, Kobayashi Yukari, Templin Christian, Delgado Victoria, Nakatani Satoshi, Popescu Bogdan A. Multimodality imaging in takotsubo syndrome: a joint consensus document of the European Association of Cardiovascular Imaging (EACVI) and the Japanese Society of Echocardiography (JSE). *Journal of Echocardiography*, 2020;18(4):199-224.
- 4) Izumo Masaki, Okuyama Kazuaki, Akashi Yoshihiro J. A novel 3-dimensional echocardiographic transillumination rendering with transparency in the evaluation of paravalvular leak after transcatheter aortic valve implantation. *Circulation Journal*, 2021;85(3):317.

③ 原著

- 1) Warisawa Takayuki, Kasahara Mizuho, Okuyama Kazuaki, Akashi Yoshihiro J. Z-shape phenomenon of optical coherence tomography catheter: potential cause of coronary perforation. *European Heart Journal Case Reports*, 2020;4(4):1-2.
- 2) Tanabe Yasuhiro, Mitarai Takanobu, Ishibashi Yuki, Higuma Takumi, Akashi Yoshihiro J. Endothelialization of a venous stent at 1 month post implantation: first-in-human angioscopic assessment. *The Journal of Invasive Cardiology*, 2020;32(9): E248.
- 3) Doi Shunichi, Akashi Yoshihiro J, Takita Mumon, Yoshida Hideki, Morikawa Daiki, Ishibashi Yuki, Higuma Takumi, Fujitani Shigeki. Preventing thrombosis in a COVID-19 patient by combinatorial therapy with nafamostat and heparin during extracorporeal membrane oxygenation. *Acute Medicine & Surgery*, 2020;7(1): e585.
- 4) Kaihara Toshiki, Higuma Takumi, Kotoku Nozomi, Kuwata Shingo, Mitarai Takanobu, Koga Masashi, Kamijima Ryo, Izumo Masaki, Ishibashi Yuki, Tanabe Yasuhiro, Akashi Yoshihiro J. Calcified nodule protruding into the lumen through stent struts: an in vivo OCT analysis. *Cardiovascular Revascularization Medicine*, 2020;21(11):116-118.
- 5) Koga Masashi, Izumo Masaki, Tanabe Yasuhiro, Akashi Yoshihiro J. Cerebral infarction due to dispersal of aortic atheromas detected by transoesophageal echocardiography during transcatheter aortic valve implantation. *BNJ Case Reports*, 2020;13(12): e238337.
- 6) Warisawa Takayuki, Kotoku Akiyuki, Miyauchi Ryosuke, Kobayashi Toshiya, Yamada Takayuki, Matsuda Hisao, Akashi Yoshihiro J. Pulmonary artery occlusion due to abrupt pinhole rupture of aortic arch aneurysm. *JACC Cardiovascular Interventions*, 2021;14(2): e15-e16.

- 7) Murata Risako, Kuwata Shingo, Izumo Masaki, Akashi Yoshihiro J. The efficiency of exercise stress echocardiography for evaluating symptomatic mitral regurgitation. *European Heart Journal Case Reports*, 2021;5(2): ytab006.
- 8) Doi Shunichi, Tanabe Yasuhiro, Ishibashi Yuki, Akashi Yoshihiro J. Diminishing of myocardial damage using impella CP for ST-elevation myocardial infarction involving the left main trunk. *Journal of Coronary Artery Disease*, 2021;27(1):33-36.

学会発表

① 国内学会

- 1) ◎Warisawa Takayuki, Cook Christopher M, Nour Daniel, Seligman Henry, Howard James P, Ahmad Yousif, Rajkumar Christoopher, Doi Shunichi, Kasahara Mizuho, Kazuaki Okuyama, Nakayama Masafumi, Tanigaki Toru, Omori Hiroyuki, Nakajima Akihiro, Yamanaka Futoshi, Goto Sonoka, Yakuta Yohei, Karube Kenichi, Uetani Teruyoshi, Kikuta Yuetsu, Shiono Yasutsugu, Kawase Yoshiaki, Ishibashi Yuki, Misuno Koichi, Nishina Hidetaka, Escaned Javier, Matsuo Hitoshi, Akashi Yoshihiro J, Davies Justin E. Clinical outcomes of physiology-guided treatment strategy in patients with diffuse coronary artery disease: insights from AJIP registry. 第 29 回日本心血管インターベンション治療学会 Late Breaking Clinical Seminar, 2020.
- 2) ◎岡村正嗣, 岩田究, 富永訓央, 鈴木幸雄, 渡辺信太郎, 越野剛, 鈴木規雄, 磯良崇, 中村健. 維持期心臓リハビリテーションに向けた IoT デバイスの開発と実践. 第 26 回日本心臓リハビリテーション学会学術集会-オンライン学術集会-, 2020.
- 3) ◎市川由理, 前田知子, 高橋哲也, 足利光平, 田中しおり, 角勇樹, 伊東春樹. 異なる運動様式と運動強度による回復期酸素摂取量動態の変化の違い. 第 26 回日本心臓リハビリテーション学会学術集会-オンライン学術集会-, 2020.
- 4) ◎武市尚也, 吉沢和也, 渡邊沙都, 根本慎司, 赤尾圭吾, 桑村雄偉, 小岩雄大, 藤村健, 藤田侑里, 笠原西介, 渡辺敏, 足利光平, 木田圭亮, 明石嘉浩. 心不全患者における入院中の身体活動量と退院後予後との関連. 第 26 回日本心臓リハビリテーション学会学術集会-オンライン学術集会-, 2020.
- 5) ◎笠原西介, 井澤和大, 渡辺敏, 武市尚也, 吉沢和也, 渡邊紗都, 根本慎司, 赤尾圭吾, 鈴木規雄, 木田圭亮, 長田尚彦, 大宮一人, 明石嘉浩. 心不全患者における日常生活の困難感の改善は回復期 QOL 向上の規定因子である. 第 26 回日本心臓リハビリテーション学会学術集会-オンライン学術集会-, 2020.
- 6) ◎明石嘉浩. 心リハ指導士資格認定制度の概要. 第 26 回日本心臓リハビリテーション学会学術集会-オンライン学術集会-, 2020.
- 7) ◎明石嘉浩, 東條美奈子, 真鍋知宏, 磯良崇, 鈴木規雄, 中村健, 鈴木誠. K-PREVENT の取り組みについて. 第 26 回日本心臓リハビリテーション学会学術集会-オンライン学術集会-, 2020.
- 8) ◎木田圭亮, 土井駿一, 足利光平, 明石嘉浩. MitraClip 後のリハビリテーション. 第 26 回日本心臓リハビリテーション学会学術集会-オンライン学術集会-, 2020.
- 9) ◎貝原俊樹, 米山喜平, 石橋祐記, 田邊康宏, 樋熊拓未, 明石嘉浩. PM2.5 が心血管系疾患による入院と医療費に及ぼす影響: 日本循環器学会循環器疾患診療実態調査データより. 第 26 回日本心臓リ

ハビリテーション学会学術集会-オンライン学術集会-, 2020.

- 10) ◎桑村雄偉, 吉沢和也, 武市尚也, 渡邊紗都, 根本慎司, 赤尾圭吾, 小岩雄大, 藤村健, 藤田侑里, 笠原西介, 渡辺敏, 足利光平, 木田圭亮, 明石嘉浩. 回復期高齢心不全患者における下肢筋力変化量についてーサルコペニアの有無での検討ー. 第 26 回日本心臓リハビリテーション学会学術集会-オンライン学術集会-, 2020.
- 11) ◎吉沢和也, 武市尚也, 笠原西介, 渡邊紗都, 根本慎司, 赤尾圭吾, 小岩雄大, 桑村雄偉, 藤村健, 藤田侑里, 渡辺敏, 足利光平, 木田圭亮, 明石嘉浩. 入院期心不全患者における栄養指標と心臓関連再入院との関連ー多施設研究での検討ー. 第 26 回日本心臓リハビリテーション学会学術集会-オンライン学術集会-, 2020.
- 12) ◎長島淑恵, 松下美里, 吉田美紀, 辻利之, 森佑紀, 豊崎祥子, 元尾彩香, 鈴木綾, 鈴木規雄, 勝彩香, 松村泰斗, 清水朋子. 入院中の心不全患者の栄養状態、入院日数の関連と現状の問題点について. 第 35 回日本臨床栄養代謝学会学術集会特別大会, 2020.
- 13) ◎鈴木規雄, 木田圭亮, 明石嘉浩. 心不全の栄養管理における今後の課題. 第 35 回日本臨床栄養代謝学会学術集会特別大会, 2020.
- 14) ◎黄世捷, 明石嘉浩, 土田知也, 伊佐早健司, 望月篤, 伊野美幸, 信岡祐彦. AI 問診アプリは臨床推論教育の敵か味方か. 第 52 回日本医学教育学会大会, 2020.
- 15) ◎明石嘉浩, 折口秀樹, 牧田茂. 心リハ認定施設の普及と心リハ指導士制度・上級指導士制度の紹介、回復期病院における普及の状態. 第 26 回日本心臓リハビリテーション学会学術集会-オンライン学術集会-, 2020.
- 16) ◎鈴木規雄, 木田圭亮, 明石嘉浩. 重症患者の栄養療法. 第 26 回日本心臓リハビリテーション学会学術集会-オンライン学術集会-, 2020.
- 17) ◎御手洗敬信, 土井駿一, 石橋祐記, 田邊康宏, 樋熊拓未, 原田智雄, 明石嘉浩. 乳癌根治術及び直接経口抗凝固薬 (direct oral anticoagulants : DOAC) が奏功した下肢静脈血栓症の 1 例. 第 256 回日本循環器学会関東甲信越地方会, 2020.
- 18) ◎村松和樹, 土井駿一, 小徳のぞみ, 貝原俊樹, 栗田真吾, 古賀将史, 御手洗敬信, 上嶋亮, 石橋祐記, 樋熊拓未, 田邊康宏, 原田智雄, 明石嘉浩. 劇症型心筋炎における IMPELLA の有用性. 第 56 回日本心血管インターベンション治療学会関東甲信越地方会, 2020.
- 19) ◎高木宗平, 古賀将史, 亀島はる香, 貝原俊樹, 栗田真吾, 奥山和明, 渡部美佳, 上嶋亮, 出雲昌樹, 石橋祐記, 田邊康宏, 樋熊拓未, 明石嘉浩. 多枝病変を有する重症大動脈弁狭窄症に対し PCI に先行し TAVI を施行した 1 例. 第 56 回日本心血管インターベンション治療学会関東甲信越地方会, 2020.
- 20) ◎割澤高行. Coronary physiology update ～論文データを実臨床にどう活かすか?～. 第 56 回日本心血管インターベンション治療学会関東甲信越地方会, 2020.
- 21) ◎御手洗敬信, 田邊康宏, 小徳のぞみ, 貝原俊樹, 奥山和明, 古賀将史, 石橋祐記, 樋熊拓未, 明石嘉浩. R2P system が有用であった両側総腸骨動脈狭窄の 1 例. 第 56 回日本心血管インターベンション治療学会関東甲信越地方会, 2020.
- 22) ◎上嶋亮, 出雲昌樹, 西川はる香, 貝原俊樹, 栗田真吾, 渡部美佳, 古賀将史, 奥山和明, 石橋祐記, 田邊康宏, 樋熊拓未, 原田智雄, 明石嘉浩. TAVI for bicuspid severe aortic stenosis using balloon-expandable valve: importance of bicuspid Valve type assessment. 第 84 回日本循環器学会学術集

会, 2020.

- 23) ◎塩川則子, 出雲昌樹, 田端千里, 菊池秀和, 宮内元樹, 桜井正児, 栗田真吾, 上嶋亮, 石橋祐記, 明石嘉浩, 信岡祐彦. 経皮的僧帽弁クリップ術における急性期左心系形態及び機能変化: ハイボリューム単施設における検討. 第 84 回日本循環器学会学術集会, 2020.
- 24) ◎高野誠. 不整脈診療最新の動向 リードレス・ペースメーカー. 第 84 回日本循環器学会学術集会, 2020.
- 25) ◎加藤武史, 臼田圭佑, 津田豊暢, 林研至, 古荘浩司, 高村雅之, 永嶋孝一, 大塚崇之, 平田明生, 村上正人, 高見充, 木村正臣, 深谷英平, 中原志朗, 清水渉, 岩崎雄樹, 原田智雄, 奥村謙, 古山准二郎, 山根禎一, 谷本耕司郎, 谷本耕司郎, 江島浩一郎, 原田将英, 園田和正, 井上勝, 熊谷浩司, 林英守, 里見和浩, 渡雄至, 奥村恭男. B-type natriuretic peptide predicts stroke events after catheter ablation of atrial fibrillation: insights from AF frontier ablation registry. 第 84 回日本循環器学会学術集会, 2020.
- 26) ◎松村泰斗, 中藺健一, 松崎貴志, 田中恒明, 鈴木規雄. 心不全患者におけるモルヒネ塩酸塩投与の副作用調査. 第 84 回日本循環器学会学術集会, 2020.
- 27) ◎出雲昌樹. (医師の立場から) ハイブリッド手術室の立ち上げから運用まで. 第 84 回日本循環器学会学術集会, 2020.
- 28) ◎割澤高行. U40 症例からガイドラインを学ぶ; 2020 年 JCS ガイドライン フォーカスアップデート版 冠動脈疾患患者における抗血栓療法 症例提示: 症例から学ぶ 2. 第 84 回日本循環器学会学術集会, 2020.
- 29) ◎鈴木規雄. 慢性心不全における栄養管理プロトコル. 第 84 回日本循環器学会学術集会, 2020.
- 30) ◎出雲昌樹. 内科医が求める SAVR: 運動時血行動態評価を踏まえて. 第 84 回日本循環器学会学術集会, 2020.
- 31) ◎栗田真吾. Transcatheter interventions for TR: is it a new treatment option?. 第 84 回日本循環器学会学術集会, 2020.
- 32) ◎出雲昌樹. Pre- and intra-procedure TEE in MitraClip for success; success for trans septal puncture, where to clip, and when 2 clips are needed. 第 84 回日本循環器学会学術集会, 2020.
- 33) ◎明石嘉浩. Predisposition and risk factors. 第 84 回日本循環器学会学術集会, 2020.
- 34) ◎出雲昌樹. 重大合併症はこの時起こる: SHD-2: マイトラクリップ Section 2. 症例提示. 第 84 回日本循環器学会学術集会, 2020.
- 35) ◎割澤高行, 土井駿一, 仁科秀崇, 川瀬世史明, 中山雅文, 菊田雄悦, 塩野泰紹, 村井典史, 上谷晃由, 清家史靖, 役田洋平, 軽辺健一, 後藤園香, 貝原俊樹, 石橋祐記, 樋熊拓未, 松尾仁司, 明石嘉浩. Use of artificial intelligence in physiological assessment of coronary artery disease in the catheter laboratory. 第 84 回日本循環器学会学術集会, 2020.
- 36) ◎亀島はる香, 出雲昌樹, 明石嘉浩. TAVI 術中 TEE -インターベンショナルエコーを TAVI に活かす-. 日本心エコー図学会第 31 回学術集会, 2020.
- 37) ◎出雲昌樹. ここがポイント! 新ガイドライン. 日本心エコー図学会第 31 回学術集会, 2020.
- 38) ◎塩川則子, 出雲昌樹, 田端千里. Primary な施設でも知っておきたいカテーテル治療前後の評価・僧帽弁逆流. 日本心エコー図学会第 31 回学術集会, 2020.

- 39) ◎出雲昌樹. MitraClip 術前・術中・術後の心エコー図検査に求められるもの. 日本心エコー図学会第 31 回学術集会, 2020.
- 40) ◎出雲昌樹. ここまで来た! キヤノン 3DTEE の世界. 日本心エコー図学会第 31 回学術集会, 2020.
- 41) ◎寺本佳楠子, 出雲昌樹, 上嶋亮, 鈴木知美, 亀島はる香, 栗田真吾, 水越慶, 高井学, 田端千里, 塩川則子, 宮内元樹, 原田智雄, 明石嘉浩. 一次性僧帽弁閉鎖不全症における運動誘発性肺高血圧と新規心房細動発症との関連. 日本心エコー図学会第 31 回学術集会, 2020.
- 42) ◎上嶋亮, 出雲昌樹, 鈴木知美, 亀島はる香, 佐藤如雄, 栗田真吾, 貝原俊樹, 古賀将史, 奥山和明, 渡部美佳, 田邊康宏, 原田智雄, 明石嘉浩. 二尖弁大動脈弁狭窄症に対する外科的および経カテーテル的大動脈弁置換術後の人工弁機能および二尖弁タイプ別の検討. 日本心エコー図学会第 31 回学術集会, 2020.
- 43) ◎水越慶, 中山由衣, 笠原みづほ, 鈴木規雄, 割澤高行, 奥山和明, 盧大潤, 小林俊也, 松田央郎, 水野幸一. 経胸壁及び経食道心エコー図検査による評価が有用であった大動脈一尖弁の 2 例. 日本心エコー図学会第 31 回学術集会, 2020.
- 44) ◎亀島はる香, 出雲昌樹, 栗田真吾, 渡部美佳, 上嶋亮, 田邊康宏, 明石嘉浩. TAVR 後患者における PPM と運動時血行動態及び予後との関連. 日本心エコー図学会第 31 回学術集会, 2020.
- 45) ◎栗田真吾, 出雲昌樹, 亀島はる香, 上嶋亮, 原田智雄, 石橋祐記, 明石嘉浩. Atrial MR に対する MitraClip 治療. 日本心エコー図学会第 31 回学術集会, 2020.
- 46) ◎塩川則子, 出雲昌樹, 田端千里, 宮内元樹, 菊池秀和, 桜井正児, 栗田真吾, 上嶋亮, 石橋祐記, 明石嘉浩, 信岡祐彦. 経皮的僧帽弁クリップ修復術における肺高血圧の変化及びその関連因子の検討. 日本心エコー図学会第 31 回学術集会, 2020.
- 47) ◎高井学, 出雲昌樹, 濱田和幸, 星本剛一, 八代文, 栗田真吾, 上嶋亮, 石橋祐記, 山家謙, 明石嘉浩. 二次性僧帽弁逆流に対するカテーテル治療介入においてハンドグリップ負荷心エコー図が有用であった一例. 日本心エコー図学会第 31 回学術集会, 2020.
- 48) ◎太田礼, 出雲昌樹, 渡部美佳, 亀島はる香, 上嶋亮, 貝原俊樹, 古賀将史, 奥山和明, 田邊康宏, 新家俊郎, 明石嘉浩. TAVI 専用の 3 次元経食道心エコー図による新しい自動定量化ソフトウェアの検証: CT との比較. 日本心エコー図学会第 31 回学術集会, 2020.
- 49) ◎大西宏和, 出雲昌樹, 三友悟, 長沼亨, 明石嘉浩, 中村淳. 左室収縮能低下を合併した中等度大動脈弁狭窄症の臨床的アウトカムと心エコーによるリスク層別化. 日本心エコー図学会第 31 回学術集会, 2020.
- 50) ◎土井駿一, 明石嘉浩, 原田智雄, 石橋祐記, 鈴木規雄, 木田圭亮. 再入院を短期で繰り返した高齢者心不全に何をすべきかを考える一例. 第 257 回日本循環器学会関東甲信越地方会, 2020.
- 51) ◎高木宗平, 笠川彰, 富樫大輔, 山田麻里可, 栗田真吾, 高野誠, 佐々木憲一, 原田智雄, 明石嘉浩. 先天性 QT 延長症候群に、たこつぼ型心筋症が合併した多型性心室頻拍の 1 例. 第 257 回日本循環器学会関東甲信越地方会, 2020.
- 52) ◎村田理沙子, 栗田真吾, 出雲昌樹, 貝原俊樹, 古賀将史, 奥山和明, 田邊康宏, 原田智雄, 上嶋亮, 石橋祐記, 明石嘉浩. 経皮的クリップ修復術後の single leaflet device attachment (SLDA) に対して再度経皮的に治療した症例. 第 257 回日本循環器学会関東甲信越地方会, 2020.
- 53) ◎石田健佑, 古屋直樹, 西田皓平, 柿沼一隆, 萩原悠太, 石橋祐記, 山崎行敬, 土田知也, 國島広之,

- 峯下昌道. LAMP 陰性かつ PCR 陰性でも隔離解除できなかった COVID-19 疑似症肺炎の一例. 第 78 回聖マリアンナ医科大学 内科合同勉強会, 2020.
- 54) ◎石垣彩, 栗田真吾, 村田理沙子, 鈴木知美, 本田圭, 上嶋亮, 出雲昌樹, 石橋祐記, 田邊康宏, 明石嘉浩. 心房中隔欠損症による platypnea-orthodeoxia syndrome に対して経皮的心房中隔閉鎖術を施行した 1 例. 日本内科学会第 662 回関東地方会, 2020.
- 55) ◎出雲昌樹. 日常臨床に役立つ負荷エコー. 日本超音波医学会第 50 回北海道地方会, 2020.
- 56) ◎栗田真吾, 出雲昌樹, 石橋祐記, 明石嘉浩. 心房性房室弁逆流に対する経カテーテル治療. 第 24 回日本心不全学会学術集会, 2020.
- 57) ◎鈴木規雄, 木田圭亮, 明石嘉浩. 心不全患者の栄養評価の重要性. 第 24 回日本心不全学会学術集会, 2020.
- 58) ◎足利光平, 米山喜平, 武者春樹, 川原貴. 東京オリンピック 1964 出場選手における左室肥大と高血圧発症との関連-50 年間の追跡調査-. 第 31 回日本臨床スポーツ医学会学術集会, 2020.
- 59) ◎本郷玲, 古賀将史, 御手洗敬信, 奥山和明, 米山喜平, 石橋祐記, 田邊康宏, 樋熊拓未, 原田智雄, 明石嘉浩. BMIPP 無集積を契機に発見された CD36 欠損症合併心停止の 1 例. 日本内科学会第 664 回関東地方会, 2020.
- 60) ◎木田圭亮, 土井駿一, 鈴木規雄, 太田有紀, 明石嘉浩, 松本直樹. 心不全新規治療薬イバブラジンの治験参加の経験と今後の展望. 第 41 回日本臨床薬理学会学術総会, 2020.
- 61) ◎宮内元樹, 萩原悠太, 清水高広, 斧研洋幸, 岡村隆徳, 桜井正児, 出雲正樹, 長谷川泰弘. Superb Micro vascular Imaging(SMI)を用いた下肢静脈超音波検査が有用であった下肢深部静脈血栓症の 2 症例. 第 39 回日本脳神経超音波学会, 2020.
- 62) ◎金子航, 割澤高行, 野田和里, 松田央郎, 水野幸一. VF Storm を合併した多枝病変の急性心筋梗塞に対して、一期的に血行再建を行い、救命した 1 例. 日本内科学会第 665 回関東地方会, 2020.
- 63) ◎出雲昌樹. フィリップスの自動化技術が日常臨床をこう変える. 第 45 回日本超音波検査学会学術集会, 2020.
- 64) ◎山田麻里可, 原田智雄, 笠川彰, 中山由衣, 高野誠, 佐々木憲一, 松田央郎, 古川俊行, 宮崎秀和, 明石嘉浩. A case of reentrant tachycardia in superior vena cava successfully ablated due to disappearance of splitting potential. 第 1 回日本不整脈心電学会関東甲信越支部地方会, 2021.
- 65) ◎桑原幸枝, 高野誠, 虻川翔, 吉岡亮, 櫻井薫, 松井俊樹, 三橋祥二, 中山由衣, 松田央郎, 水野幸一. 僧帽弁形成術後の通常型心房粗動に対して三尖弁輪下静脈峡部のわずかな通電によって房室ブロックを合併した 1 例. 第 1 回日本不整脈心電学会関東甲信越支部地方会, 2021.
- 66) ◎櫻井薫, 松田央郎, 虻川翔, 桑原幸枝, 吉岡亮, 松井俊樹, 中山由衣, 三橋祥二, 高野誠, 水野幸一. 心房細動アブレーションにおける単純心臓 CT から構築した 3D 画像の有用性. 第 1 回日本不整脈心電学会関東甲信越支部地方会, 2021.
- 67) ◎原田智雄. デバイス MRI 撮像時のリスクとトラブル. 日本不整脈心電学会第 13 回植込みデバイス関連冬季大会, 2021.
- 68) ◎金子省太郎, 笠川彰, 富樫大輔, 山田麻里可, 中島育太郎, 佐々木憲一, 原田智雄, 明石嘉浩. 意識消失の原因が慢性冠動脈解離に伴う致死性心室性不整脈と考えられた 1 例. 日本内科学会第 666 回関東地方会, 2021.

- 69) ◎橋元由紀子, 堤健, 割澤高行, 野田和里, 松葉怜, 森内麻美, 内藤貴基, 北野夕佳, 方波見卓行, 藤谷茂樹. 造影剤投与を契機として心原性ショックを呈したが, IABP 補助のみで救命し得た甲状腺クリーゼの一例. 第 48 回日本集中治療医学会学術総会, 2021.
- 70) ◎野田和里, 割澤高行, 中西亨, 中山由衣, 笠原みづほ, 水越慶, 高野誠, 松田央郎, 水野幸一, 原田智雄, 明石嘉浩. イブプラジンの急性期投与により, 心原性ショックからの離脱に成功した急性心筋梗塞の一例. 第 259 回日本循環器学会関東甲信越地方会, 2021.
- 71) ◎有馬佑策, 栗田真吾, 上嶋亮, 古賀将史, 奥山和明, 田邊康宏, 原田智雄, 出雲昌樹, 明石嘉浩. 人工弁機能不全に伴う心原性ショックに対し緊急経カテーテル大動脈弁置換術にて救済した一例. 第 259 回日本循環器学会関東甲信越地方会, 2021.
- 72) ◎村松和樹, 土井駿一, 小徳のぞみ, 貝原俊樹, 栗田真吾, 御手洗敬信, 古賀将史, 上嶋亮, 石橋祐記, 田邊康宏, 樋熊拓未, 原田智雄, 明石嘉浩. IMPELLA CP を用い救命し得た左冠動脈主幹部における ST 上昇型心筋梗塞. 第 29 回日本心血管インターベンション治療学会学術集会, 2021.
- 73) ◎栗田真吾, 石垣彩, 上嶋亮, 出雲昌樹, 亀島はる香, 貝原俊樹, 古賀将史, 奥山和明, 渡部美佳, 田邊康宏, 原田智雄, 明石嘉浩. 小血管に対する経皮の大動脈弁置換術. 第 29 回日本心血管インターベンション治療学会学術集会, 2021.
- 74) ◎上嶋亮, 栗田真吾, 貝原俊樹, 古賀将史, 奥山和明, 出雲昌樹, 田邊康宏, 原田智雄, 明石嘉浩. 経カテーテル的大動脈弁置換術中の急性脳虚血に対し緊急血栓除去術を施行し Bailout に成功した 2 症例. 第 29 回日本心血管インターベンション治療学会学術集会, 2021.
- 75) ◎小徳のぞみ, 石橋祐記, 上嶋亮, 栗田真吾, 貝原俊樹, 古賀将史, 御手洗敬信, 米山喜平, 樋熊拓未, 田邊康宏, 明石嘉浩. 若年劇症型心筋炎 3 症例に対する IMPELLA を利用した治療戦略. 第 29 回日本心血管インターベンション治療学会学術集会, 2021.
- 76) ◎御手洗敬信, 田邊康宏, 小徳のぞみ, 貝原俊樹, 栗田真吾, 古賀将史, 石橋祐記, 樋熊拓未, 明石嘉浩. 当院における慢性血栓塞栓性肺高血圧症に対する Balloon Pulmonary Angioplasty(BPA)の治療成績～DOACs とワルファリンの比較～. 第 29 回日本心血管インターベンション治療学会学術集会, 2021.
- 77) ◎栗田真吾. 虚血性心疾患に潜む僧帽弁逆流・カテーテル治療で弁膜症も治療する. 第 29 回日本心血管インターベンション治療学会学術集会, 2021.
- 78) ◎小徳のぞみ, 樋熊拓未, 石橋祐記, 貝原俊樹, 栗田真吾, 古賀将史, 御手洗敬信, 上嶋亮, 米山喜平, 田邊康宏, 明石嘉浩. 心肺停止蘇生後における 1 型心筋梗塞の予測因子. 第 29 回日本心血管インターベンション治療学会学術集会, 2021.
- 79) ◎兒玉翔, 福井和樹, 前田敦雄, 明石嘉浩, 阿古潤哉, 伊苺裕二, 海老名俊明, 田村功一, 並木淳郎, 道下一朗, 木村一雄, 鈴木洋. total ischemic time 短縮のために何をすべきか? Door to balloon から onset to device へ. 第 29 回日本心血管インターベンション治療学会学術集会, 2021.
- 80) ◎若林隼人. リードレスペースメーカーから心臓同期療法への upgrade が有効であった 1 例. 第 38 回川崎市医師会医学会, 2021.
- 81) ◎出雲昌樹. TAVI におけるインターベンシヨナルエコーの活用. 第 29 回日本心血管インターベンション治療学会学術集会, 2021.
- 82) ◎古賀将史, 出雲昌樹, 明石嘉浩. CKD 合併重症大動脈弁狭窄症に対する造影剤非使用 TAVI の試

- み. 第 83 回神奈川県内科医学会集談会, 2021.
- 83) ◎秋山久尚, 栗田千尋, 萩原悠太, 清水高広, 山野嘉久, 鈴木知美, 栗田慎吾, 出雲昌樹, 田邊康宏, 明石嘉浩. 当院での卵円孔開存に対する経皮的カテーテル PFO 閉鎖機器 (Amplazer PFO オクルーダー) 治療. 第 46 回日本脳卒中学会学術集会, 2021.
- 84) ◎池田七海, 土井駿一, 佐藤如雄, 鈴木規雄, 出雲昌樹, 石橋祐記, 田邊康宏, 樋熊拓未, 原田智雄, 明石嘉浩. Global longitudinal strain 解析が診断に有用であった肥大心の 1 例. 日本内科学会第 667 回関東地方会, 2021.
- 85) ◎佐藤如雄, 出雲昌樹, 亀島はる香, 小原浩, 河合茜, 村田理沙子, 栗田真吾, 渡部美佳, 上嶋亮, 原田智雄, 明石嘉浩. Hemodynamic characteristics during exercise in atrial secondary mitral regurgitation: A comparison of atrial fibrillation and sinus rhythm. 第 85 回日本循環器学会学術集会, 2021.
- 86) ◎樋熊拓未, 土井駿一, 笠川彰, 佐藤如雄, 貝原俊樹, 出雲昌樹, 石橋祐記, 米山喜平, 明石嘉浩. Prevalence and significance of abnormal ECG findings in patients with COVID-19 pneumonia. 第 85 回日本循環器学会学術集会, 2021.
- 87) ◎中山由衣, 古川俊行, 原田智雄, 明石嘉浩. Syncope unit plays important role in reducing syncope reoccurrence. 第 85 回日本循環器学会学術集会, 2021.
- 88) ◎奥山和明. TAVI について (リハビリテーション以外の特徴や適応、進化について). 第 85 回日本循環器学会学術集会, 2021.
- 89) ◎栗田真吾, 出雲昌樹, 塩川則子, 上嶋亮, 佐藤如雄, 土井駿一, 亀島はる香, 貝原俊樹, 古賀将史, 奥山和明, 田邊康宏, 原田智雄, 石橋祐記, 明石嘉浩. Prognostic impact of right ventricular dysfunction following transcatheter mitral valve repair. 第 85 回日本循環器学会学術集会, 2021.
- 90) ◎澁谷修司, 米倉学, 鹿内駿, 野坂匡史, 川村陽介, 笠本学, 市川博章, 葛西秋宅, 清水英悟, 羽溪健, 横山公章, 横田貴志, 樋熊拓未, 吉田善紀, 井元清哉, 伊東健, 富田泰史. Genetic variants of DAG and IP3 signaling pathways involved in predisposition to severe cases of coronary spastic angina. 第 85 回日本循環器学会学術集会, 2021.
- 91) ◎貝原俊樹, 樋熊拓未, 出雲昌樹, 小徳のぞみ, 鈴木知美, 亀島はる香, 佐藤如雄, 栗田真吾, 古賀将史, 御手洗敬信, 渡部美佳, 奥山和明, 上嶋亮, 石橋祐記, 米山喜平, 田邊康宏, 原田智雄, 明石嘉浩. Influence of CAD and PCI on mid-term outcomes in patients with aortic valve stenosis treated with TAVI. 第 85 回日本循環器学会学術集会, 2021.
- 92) ◎小林芳邦, 出雲昌樹, 奥山和明, 本田圭, 亀島はる香, 佐藤如雄, 貝原俊樹, 栗田真吾, 古賀将史, 渡部美佳, 上嶋亮, 田邊康宏, 明石嘉浩. Comparison of procedural and clinical outcomes between very severe and severe aortic stenosis following transcatheter aortic valve implantation. 第 85 回日本循環器学会学術集会, 2021.
- 93) ◎土井駿一, 鈴木規雄, 佐藤如雄, 貝原俊樹, 出雲昌樹, 石橋祐記, 樋熊拓未, 藤谷茂樹, 明石嘉浩. Lower visceral to subcutaneous fat ratio is associated in-hospital death in patients with severe COVID-19 pneumonia receiving mechanical ventilation. 第 85 回日本循環器学会学術集会, 2021.
- 94) ◎米山喜平, 樋熊拓未, 寺本佳楠子, 渡部美佳, 貝原俊樹, 石橋祐記, 出雲昌樹, 田邊康宏, 原田智雄, 明石嘉浩. Lower weather temperature and humidity incidence of hospitalization for acute

myocardial infarction in Japan. 第 85 回日本循環器学会学術集会, 2021.

- 95) ◎笠原西介, 割澤高行, 松嶋真哉, 根本慎司, 水越慶, 松田央郎, 水野幸一. With COVID-19 時代における心臓リハビリテーション: 大規模院内感染経験施設の実情と今後の課題. 第 85 回日本循環器学会学術集会, 2021.
- 96) ◎塩川則子, 出雲昌樹, 栗田真吾, 上嶋亮, 石橋祐記, 明石嘉浩. 経皮的僧帽弁クリップ修復術における術中肺静脈血流速波形の変化及び予後との関連. 第 85 回日本循環器学会学術集会, 2021.
- 97) ◎宮本恵宏, 明石嘉浩, 坂東泰子, 岩永善高, 香坂俊, 的場哲哉, 中山雅晴, 齋藤綾, 武田理宏, 的場聖明. Strategy project for promotion of registration project in the second five-year plan to overcome stroke and cardiovascular disease. 第 85 回日本循環器学会学術集会, 2021.
- 98) ◎樋熊拓未. 虚血性心疾患の心臓性突然死リスクと管理. 第 85 回日本循環器学会学術集会, 2021.
- 99) ◎明石嘉浩, 牧田茂. Cardiac rehabilitation in patients with heart failure ~Hospital initiatives ~. 第 85 回日本循環器学会学術集会, 2021.
- 100) ◎出雲昌樹. TAVI における perivalvular leakage と弁再拡張のエンドポイント. 第 85 回日本循環器学会学術集会, 2021.

② 国際学会

- 1) ◎Yamazaki Hiroshi, Tanabe Yasuhiro, Ishibashi Yuki, Higuma Takumi, Harada Tomoo, Akashi Yoshihiro. Quantitative evaluation: The effect of direct oral coagulants on thrombus regression in venous thromboembolism. 第 84 回日本循環器学会学術集会, 2020.
- 2) ◎Muramatsu Kazuki.
Successful cardiac rehabilitation for hypotension patient after percutaneous mitral valve repair with MitraClip system A case of septic shock with cardiac dysfunction. 第 84 回日本循環器学会学術集会, 2020.
- 3) ◎Koga Masashi, Izumo Masaki, Nishikawa Haruka, Kaihara Toshiki, Kuwata Shingo, Watanabe Mika, Okuyama Kazuaki, Kamijima Ryo, Ishibashi Yuki, Tanabe Yasuhiro, Higuma Takumi, Akashi Yoshihiro. Non-contrast screening for TAVI in patients with aortic stenosis and chronic kidney disease: utility of multi-imaging modalities. 第 84 回日本循環器学会学術集会, 2020.
- 4) ◎Kuwata Shingo, Izumo Masaki, Kamijima Ryo, Nishikawa Haruka, Sato Yukio, Kaihara Toshiki, Koga Masashi, Watanabe Mika, Okuyama Kazuaki, Sakamoto Miki, Miyairi Takeshi, Tanabe Yasuhiro, Higuma Takumi, Ishibashi Yuki, Akashi Yoshihiro. The impact of small left ventricle for transcatheter mitral valve repair. 第 84 回日本循環器学会学術集会, 2020.
- 5) ◎Warisawa Takayuki, Cook Christopher, Seligman Henry, Howard James, Yousif Ahmad, Rajkumar Christopher, Doi Shunichi, Nakayama Masafumi, Tanigaki Toru, Omori Hiroyuki, Nakajima Akihiro, Yamanaka Futoshi, Goto Sonoka, Yakuta Yohei, Karube Kenichi, Uetani Teruyoshi, Kikuta Yuetsu, Shiono Yasutsugu, Kawase Yoshiaki, Nishina Hidetaka, Escaned Javier, Matsuo Hitoshi, Akashi Yoshihiro, Davies Justin. Per-vessel level impact of physiological pattern of disease on the discordance between fractional flow reserve and instantaneous wave-free ratio. 第 84 回日本循環器学会学術集会, 2020.
- 6) ◎Kotoku Nozomi, Higuma Takumi, Ishibashi Yuki, Kaihara Toshiki, Kuwata Shingo, Koga

- Masashi, Mitarai Takanobu, Kamijima Ryo, Yoneyama Kihei, Tanabe Yasuhiro, Akashi Yoshihiro. A sign of ST-segment elevation predicts type 1 myocardial infarction in patients resuscitated from cardiac arrest. 第 84 回日本循環器学会学術集会, 2020.
- 7) ©Doi Shunichi, Ashikaga Kohei, Nishikawa Haruka, Suzuki Tomomi, Suzuki Norio, Kuwata Shingo, Okuyama Kazuaki, Kaihara Toshiki, Koga Masashi, Kamijima Ryo, Watanabe Mika, Izumo Masaki, Ishibashi Yuki, Tanabe Yasuhiro, Kida Keisuke, Harada Tomoo, Akashi Yoshihiro. The nutrition screening and assessment as predictor of prognosis in patients undergoing transcatheter aortic valve implantation. 第 84 回日本循環器学会学術集会, 2020.
- 8) © Kaihara Toshiki, Nishikawa Haruka, Kuwata Shingo, Koga Masashi, Watanabe Mika, Okuyama Kazuaki, Kamijima Ryo, Izumo Masaki, Ishibashi Yuki, Tanabe Yasuhiro, Higuma Takumi, Harada Tomoo, Akashi Yoshihiro. Impact of immunosuppressive therapy on clinical outcomes of severe aortic stenosis treated with transcatheter aortic valve implantation. 第 84 回日本循環器学会学術集会, 2020.
- 9) ©Mori Hiroyoshi, Maeda A, Akashi Yoshihiro, Ako Junya, Ikari Y, Ebina T, Sato N, Tamura K, Namiki A, Fukui K, Michishita I, Kimura K, Suzuki H. Atrial Fibrillation is related with higher in-hospital morality in acute myocardial infarction (AMI) patients from K-ACTIVE registry. European Society of Cardiology (ESC) Congress 2020, 2020.
- 10) ©Kaihara Toshiki, Yoneyama Kihei, Kuwata Shingo, Mitarai Takanobu, Watanabe Mika, Koga Masashi, Kamijima Ryo, Ishibashi Yuki, Izumo Masaki, Tanabe Yasuhiro, Higuma Takumi, Harada Tomoo, Akashi Yoshihiro J. Effect of PM2.5 for hospitalization of cardiovascular diseases and medical expenses by age group: a nationwide study from the Japanese Registry Of All cardiac and vascular Diseases (JROAD). European Society of Cardiology (ESC) Congress 2020, 2020.
- 11) ©Akashi Yoshihiro. Latest insights into clinical features of Takotsubo syndrome. European Society of Cardiology (ESC) Congress 2020, 2020.
- 12) ©Warisawa Takayuki, Cook Christopher M, Howard James P, Nour Daniel, Doi shunichi, Nakayama Masafumi, Uetani Teruyoshi, Yamanaka Futoshi, Kikuta Yuetsu, Shiono Yasutsugu, Nishina Hidetaka, Matsuo Hitoshi, Escaned Javier, Akashi Yoshihiro J, Davies Justin E. Clinical outcomes of patients with diffuse coronary artery disease following physiology-guided treatment strategy: insights from AJIP registry. European Society of Cardiology (ESC) Congress 2020, 2020.
- 13) ©Teramoto Kanako, Izumo Masaki, Kuwata Shingo, Kamijima R, Suzuki Tomomi, Nishikawa Haruka, Mizukoshi Kei, Takai Manabu, Ohara Hiroshi, Harada Tomoo, Akashi Yoshihiro J. Prognostic relevance of exercise pulmonary hypertension for new-onset atrial fibrillation in primary mitral regurgitation. European Society of Cardiology (ESC) Congress 2020, 2020.
- 14) ©Matsuda Hisao, Noda Airi, Nakayama Yui, Nakanishi Toru, Kasahara Mizuho, Warisawa Takayuki, Mizukoshi Kei, Takano Makoto, Mizuno Koichi, Kasagawa Akira, Yamada Marika, Nakajima Iktaro, Miyazaki Hidekazu, Furukawa Toshiyuki, Harada Tomoo, Akashi Yoshihiro J. The exist of enlarged left ventricular diastolic volume is not a predictor of irreversible left ventricular systolic function in patietns with atrial arrhythmia. American Heart Association

Scientific Sessions 2020, 2020.

- 15) ©Kori Reiko, Ookawa Junko, Sakai Hiroki, Kimura Hiroyuki, Miyazawa Tomoyuki, Marushima Hideki, Kojima Koji, Hara Masatoshi, Saji Hisashi. Current status of a smoking cessation supportive program based on nurses' interventions:A single institutional experience. 2020 World Conference on Lung Cancer Singapore, 2021.
- 16) © Chatani Kenichi, Akashi Yoshihiro, Tanabe Yasuhiro, Izumo Masaki, Kamijima Ryo, Okuyama Kazuaki, Watanabe Mika. Two cases of trans femoral transcatheter aortic valve implantation after operation for the abdominal aortic aneurysm. 第 29 回日本心血管インターベンション治療学会学術集会, 2021.
- 17) ©Warisawa Takayuki, Kasahara Mizuho, Okuyama Kazuaki, Nakayama Yui, Suzuki Norio, Mizukoshi Kei, Matsuda Hisao, Mizuno Koichi, Akashi Yoshihiro. Two cases of complex bifurcation lesions-Tips & tricks for reverse wire technique-. 第 29 回日本心血管インターベンション治療学会学術集会, 2021.
- 18) ©櫻井馨, 畔上幸司, 前田篤夫, 明石嘉浩, 阿古潤哉, 伊苺裕二, 海老名俊明, 並木淳郎, 福井和樹, 道下一朗, 木村一雄, 鈴木洋. Impact of out-of-hospital cardiac arrest in patients with acute myocardial infarction with Killip class 4 from Kanagawa-Acute cardiovascular registry(K-ACTIVE). 第 29 回日本心血管インターベンション治療学会学術集会, 2021.
- 19) ©Nabeta Takeru, Kida Keisuke, Ishida Miwa, Shiono Takaaki, Suzuki Norio, Doi Shunichi, Tsukahara Maya, Akashi Yoshihiro, Ako Junya, Inomata Takayuki. Multicenter pharmacokinetic and pharmacodynamic study of oral factor Xa inhibitor edoxaban in non-valvular atrial fibrillation patients with acute heart failure. 第 85 回日本循環器学会学術集会, 2021.
- 20) ©Izumo Masaki. Transcatheter mitral valve repair for exercise-induced secondary mitral regurgitation. 第 85 回日本循環器学会学術集会, 2021.
- 21) ©Koga Masashi, Higuma Takumi, Kotoku Nozomi, Kuwata Shingo, Mitarai Takanobu, Okuyama Kazuaki, Kamijima Ryo, Ishibashi Yuki, Yoneyama Kihei, Tanabe Yasuhiro, Akashi Yoshihiro. Preprocedural multi-detector computed tomography predicts irregular protrusion after coronary stenting assessed by optical coherence tomography. 第 85 回日本循環器学会学術集会, 2021.
- 22) ©Tanabe Yasuhiro, Suzuki Tomomi, Kuwata Shingo, Sato Yukio, Izumo Masaki, Ishibashi Yuki, Yoneyama Kihei, Higuma Takumi, Harada Tomoo, Akashi Yoshihiro. Endothelialization of the closure device for the atrial septal defect (ASD) 6-months after implantation evaluated by angioscopy. 第 85 回日本循環器学会学術集会, 2021.
- 23) ©Sasaki Kenichi, Harada Tomoo, Yamada Marika, Nakajima Ikutaro, Togashi Daisuke, Kasagawa Akira, Higuma Takumi, Akashi Yoshihiro. Usefulness of burden and firing of premature atrial contractions in 24-hour holter electrocardiography to predict undiagnosed atrial fibrillation. 第 85 回日本循環器学会学術集会, 2021.
- 24) ©Yoneyama Kihei, Higuma Takumi, Teramoto Kanako, Watanabe Mika, Kaihara Toshiki, Ishibashi Yuki, Izumo Masaki, Tanabe Yasuhiro, Harada Tomoo, Akashi Yoshihiro. Effect of

change in weather temperature and incidence of hospitalization for cardiovascular disease in a super-aging society. 第 85 回日本循環器学会学術集会, 2021.

- 25) ©Fukushima Taku, Sakurai Kaoru, Azegami Koji, Maeda Atsuo, Akashi Yoshihiro, Ako Junya, Ikari Yuji, Ebina Toshiaki, Namiki Atsuo, Fukui Kazuki, Michishita Ichiro, Kimura Kazuo, Suzuki Hiroshi. Impact of atrial fibrillation on cardiogenic shock complicating acute myocardial infarction -From K-Active Registry-. 第 85 回日本循環器学会学術集会, 2021.
- 26) ©Sakurai Kaoru, Azegami Koji, Maeda Atsuo, Akashi Yoshihiro, Ako Junya, Ikari Yuji, Ebina Toshiaki, Namiki Atsuo, Fukui Kazuki, Michishita Ichiro, Kimura Kazuo, Suzuki Hiroshi. Clinical impact of primary percutaneous coronary intervention in octogenarians with non-ST-elevation myocardial infarction from Kanagawa-acute cardiovascular registry (K-ACTIVE). 第 85 回日本循環器学会学術集会, 2021.
- 27) ©Fukaya Hidehira, Oikawa Jun, Otsuka Takayuki, Suzuki Shinya, Hirata Akio, Murakami Masato, Takami Mitsuru, Nagashima Koichi, Kimura Masaomi, Nakahara Shiro, Kato Takeshi, Hayashi Hiroshi, Iwasaki Yuki, Shimizu Wataru, Nakajima Ikutaro, Harada Tomoo, Koyama Junjiro, Okumura Ken, Tokuda Michifumi, Yamane Teiichi, Tanimoto Kojiro, Moriyama Yukihiko, Nonoguchi Noriko, Soejima Kyoko, Ejima Koichiro, Hagiwara Nobuhisa, Harada Masahide, Sonoda Kazumasa, Inoue Masaru, Kumagai Koji, Hayashi Hidemori, Yazaki Yoshinao, Satomi Kazuhiro, Watari Yuji, Okumura Yasuo. Concomitance with vascular disease is associated with higher stroke and bleeding risks in patients with atrial fibrillation after catheter ablation. 第 85 回日本循環器学会学術集会, 2021.
- 28) ©Harada Tomoo, Yamada Marika, Kasagawa Akira, Togashi Daisuke, Teramoto Kanako, Nakajima Ikutaro, Sasaki Kenichi, Akashi Yoshihiro. The use of ultrasound catheter during leadless pacemaker implantation. 第 85 回日本循環器学会学術集会, 2021.
- 29) ©Izumo Masaki. Challenges in the diagnosis of low-flow low-gradient AS. 第 85 回日本循環器学会学術集会, 2021.
- 30) ©Izumo Masaki. Usefulness of echocardiography for the treatment of acute heart failure. 第 85 回日本循環器学会学術集会, 2021.
- 31) ©Izumi Chisato, Miyake Makoto, Fujita Tomoyuki, Koyama Tadaaki, Tanaka Hidekazu, Ando Kenji, Komiya Tatsuhiko, Izumo Masaki, Kawai Hiroya, Eishi Kiyoyuki, Yoshida Kiyoshi, Kimura Takeshi, Nawada Ryuzo, Sakamoto Tomohiro, Takegami Misa, Nishimura Kunihiro, Furukawa Yutaka. Antithrombotic therapy in atrial fibrillation patients with bioprosthetic valves: BPV-AF registry. 第 85 回日本循環器学会学術集会, 2021.
- 32) ©Warisawa Takayuki. The case of pressure-wire pullback-guided PCI for left main bifurcation lesion: Insights from the DEFINE-LM registry. 第 85 回日本循環器学会学術集会, 2021.
- 33) ©Ishibashi Yuki, Kuwata Shingo, Izumo Masaki, Akashi Yoshihiro. Implications for clinical practice of body mass index and nutritional index learned from one-year mortality in elderly patients undergoing MitraClip. 第 85 回日本循環器学会学術集会, 2021.
- 34) ©Warisawa Takayuki. Potency of pressure-wire pullback-guided PCI for left main coronary

artery disease: Insights from the GRADIENT-registry, GIFT-registry, DEFINE-LM registry, and REFINE-RPG study. 第 85 回日本循環器学会学術集会, 2021.

35) ◎Amaki Makoto, Moriwaki Kensuke, Naki Michikazu, Miyamoto Yoshihiro, Akashi Yoshihiro, Kawai Hiroya, Tsujita Kenichi, Matoba Satoaki, Kobayashi Junjiro, Izumi Chisato, Anzai Toshihisa. Cost-effective analysis of trans-catheter aortic valve replacement in patient with severe symptomatic aortic stenosis: Prospective multicenter study. 第 85 回日本循環器学会学術集会, 2021.

③ その他

- 1) ◎Izumo Masaki. Association and benefit of superior hemodynamics on patients' quality of life. Heart Valve Disease Forum Webinar, 2020.
- 2) ◎出雲昌樹. MitraClip experience in Japan. MitraClip G4 Advisory Board Meeting, 2020.
- 3) ◎田邊康宏. IVC Filter メーカーが知っておくべき抗凝固療法、IVC Filter の適応、静脈治療に関して. (株)メディコン社内講演会, 2020.
- 4) ◎出雲昌樹. 教科書では伝わらない! Ebolut を最大限に活かす心エコーの極意. エコーセミナー, 2020.
- 5) ◎割澤高行. 石灰化病変の PCI を極める -石灰化病変のためのイメージングデバイス-. Tokyo Physiology by FRIENDS Live 2020, 2020.
- 6) ◎割澤高行. 最近の欧州 Physiology 事情 -Beyond the Guidelines! Go To LMT!!-. Tokyo Physiology by FRIENDS Live 2020, 2020.
- 7) ◎割澤高行. Think about invisible one part I. 微小循環 Web 講演会, 2020.
- 8) ◎割澤高行. Off-label use of guide extension catheter -Telescope の可能性-. Medtronic Lecture, 2020.
- 9) ◎出雲昌樹. ハートチーム力の高め方～疾患啓発から治療の実際まで～. SAPIEN3 User Meeting 2020, 2020.
- 10) ◎出雲昌樹. 大動脈弁狭窄症に対する治療戦略. Samsca conferene in Kanagawa, 2020.
- 11) ◎古川俊行. この失神症例はどう診断しますか?. Syncope Seminar for Nest Leaders, 2020.
- 12) ◎古川俊行. Reveal World で学ぶ失神診療. Syncope Seminar for Next Leaders, 2020.
- 13) ◎鈴木規雄. 感染流行期における当院心不全チームの取り組み. Cardiology Forum, 2020.
- 14) ◎原田智雄. 心房細動診療の当院での現状とこれから. 6th Circle of Lifestyle related Disease, 2020.
- 15) ◎出雲昌樹. 新弁膜症ガイドライン AS のここがポイント!. 横浜・川崎北部循環器連携会, 2020.
- 16) ◎田邊康宏. DOAC を用いた VTE 治療、ESUS 再発予防のための卵円孔閉鎖術. 横浜・川崎循環器連携の会, 2020.
- 17) ◎割澤高行. Think about invisible one part II. 微小循環 Web 講演会, 2020.
- 18) ◎佐藤如雄. ご紹介症例から学んだ劇症型心筋炎の新たな治療戦略. 第 38 回ハートケアネットワーク懇話会, 2020.
- 19) ◎明石嘉浩. 当院でのエンレスト使用経験. 心不全治療 新時代の幕あけ, 2020.
- 20) ◎割澤高行. DEFINE-LM Registry -Catch up with CABG! Overtake!-. Philips Live! Diagnosis &

Treatment Forum, 2020.

- 21) ◎出雲昌樹. エコー医が伝えたい TAVI 術中 TEE の利点と欠点. Biosense Webster ICE Webinar, 2020.
- 22) ◎田邊康宏. VTE 治療 Up Date～薬剤、カテーテル、外科的治療～. エリキュース エリア Web シンポジウム, 2020.
- 23) ◎田邊康宏. 当院の CTEPH の治療経験. WEB カンファレンス PH TREATMENT LECTURE, 2020.
- 24) ◎樋熊拓未. ACS の病態と治療について. アムジェン社内 web 勉強会, 2020.
- 25) ◎割澤高行. More than best!! -海外留学 How to do-. 循環器内科留学 Web セッション ～先輩たちはこうして留学機会を GET した～, 2020.
- 26) ◎土井駿一. イブラジン登場から一年～心拍数に注目した新たな心不全治療～. 第 2 回心不全 Expert Seminar, 2020.
- 27) ◎古川俊行. Reveal World で学ぶ失神診療. 小和瀬塾～ICM を極める～, 2020.
- 28) ◎古川俊行. この失神症例はどう診断しますか?. 小和瀬塾～ICM を極める～, 2020.
- 29) ◎明石嘉浩. 慢性心不全患者における心臓リハビリテーションと心拍管理. 心臓リハビリテーション Remote セミナー, 2020.
- 30) ◎出雲昌樹. 進化を続ける構造的疾患に対するカテーテル治療～地域連携の重要性～. 神奈川県内科医学会 心臓血管病対策委員会講演会, 2020.
- 31) ◎奥山和明. TAVI up to date. 宮前・高津循環器連携会, 2020.
- 32) ◎田邊康宏. DOAC を用いた VTE 治療、ESUS 再発予防のための卵円孔閉鎖術. 宮前・高津循環器連携会, 2020.
- 33) ◎水野幸一. 冠動脈疾患の二次予防における中性脂肪管理の重要性. Kowa Web Conference, 2020.
- 34) ◎田邊康宏. 潜因性脳梗塞に対する経皮的卵円孔(PFO)閉鎖術. Brain Heart Web Conference, 2020.
- 35) ◎出雲昌樹. 今さら聞けない AS エコー診断の基礎. 多摩コレギウム・心エコー, 2020.
- 36) ◎割澤高行. Use coronary physiology for better PCI -ステント治療の最適化から、出血性イベントの抑制まで -. 武田循環器 web 講演会, 2020.
- 37) ◎栗田真吾. 広がる心不全診療-Heart Team で診る心不全-. Heart Failure WEB Seminar, 2020.
- 38) ◎田邊康宏. 外来でできる静脈血栓塞栓症の治療. 深部静脈血栓症セミナー～血栓を見逃さないために～, 2020.
- 39) ◎割澤高行. iFR-Pullback for better PCI -Philips 社製の Pressure wire って、本当によくなったの? -. Physiology Seminar 2020 in University of YAMANASHI Hospital, 2020.
- 40) ◎割澤高行. 非心臓専門医の医療スタッフに知っていただきたい、冠動脈疾患のすべて. サンライフ社内講演会, 2020.
- 41) ◎明石嘉浩. 心臓病二次予防の理想と現実. 第 153 回循環器学術研究会, 2020.
- 42) ◎明石嘉浩. 心不全治療の新たな選択肢. Heart Failure Web live symposium IN KAWASAKI, 2020.
- 43) ◎原正壽, 星野景子, 戸兵雄子, 明石嘉浩, 三宅良彦. ホルター eV 誘導を応用した呼吸検出法. 心電学関連研究会 2020, 2020.

- 44) ◎秋山志帆, 米山喜平, 宮崎秀和, 山田麻里可, 佐久美哲也, 細谷由紀子, 玉置麻衣子, 山崎哲, 信岡祐彦, 原田智雄, 明石嘉浩. 肺静脈隔離術後の発作性心房細動再発評価における長時間ホルターの有用性. 心電関連研究会 2020, 2020.
- 45) ◎割澤高行. Use coronary physiology as better interventional cardiologists. アムジェン社内講演会, 2020.
- 46) ◎出雲昌樹. その息切れ、加齢のせいにしていませんか? 隠れ弁膜症を見逃さないための簡単なコツ. 第7・8回地域医療連携WEBセミナー, 2020.
- 47) ◎割澤高行. iFR-Pullback guided PCI -Deferralのための tool から、Better PCIのための tool へ-. Physiology Seminar 2020 in Nagano Children's Hospital, 2020.
- 48) ◎出雲昌樹. 弁膜症ガイドラインのここがポイント. 心房細動 Web セミナー, 2021.
- 49) ◎樋熊拓未. 抗血栓療法と消化管出血. 循環器 WEB カンファレンス, 2021.
- 50) ◎割澤高行. 最速講義! PCPS の Pit-Falls - More than Best!! -. PCPS 研修会@テルモプラネックス, 2021.
- 51) ◎明石嘉浩. TAVI 後の患者管理～抗血栓療法を含めて～. 第3回 K-PREVENT 研究会, 2021.
- 52) ◎小林芳邦. IMPELLA 補助循環用ポンプカテーテル. Interventional Heart Failure Conference, 2021.
- 53) ◎古川俊行. 心配ない失神の見分け方. さいたま循環器 Web セミナー, 2021.
- 54) ◎割澤高行. iFR-Pullback for better PCI -Philips 社製の Pressure wire って、本当によくなったの? -. Physiology Seminar 2021 in SUWA CENTRAL HOSPITAL, 2021.
- 55) ◎石橋祐記. 外来患者におけるエンレスト使用経験～IC 実践から注意点まで～. Kanagawa Entresto Web K-WAVE3, 2021.
- 56) ◎富樫大輔. 心原性脳塞栓症予防の最前線. 第39回ハートケアネットワーク懇話会, 2021.
- 57) ◎明石嘉浩. 心不全治療の新たな選択肢. ARNI WEB LIVE IN SOUTH IWAKI, 2021.
- 58) ◎明石嘉浩. COVID 時代の心臓リハビリテーション～薬物療法と非薬物療法の狭間で～. Cardiac Rehabilitation Forum, 2021.
- 59) ◎出雲昌樹. ハートチームで考える最善の SAVR. Abbott Structural Heart Meeting, 2021.
- 60) ◎栗田真吾. MAC などの石灰化僧帽弁に対する MitraClip. 中国四国ライブ in 倉敷, 2021.
- 61) ◎樋熊拓未. ～ARNI を臨床でどう活かすか? 実症例からの検討～. K-Summit I ～新時代の心不全治療を識る～, 2021.
- 62) ◎割澤高行. 留学経験を踏まえて考える、これからの臨床研究. TCROSS NEWS カテラボ世界紀行 番外編, 2021.
- 63) ◎中島育太郎. 非虚血性心筋症の不整脈治療の未来. 不整脈合併心不全を考える会, 2021.
- 64) ◎割澤高行. More than best!! iFR-Pullback guided PCI -ガイドラインのその先へ-. Physiology Seminar for Next Generation, 2021.
- 65) ◎野田和里, 松田央郎, 中山由衣, 笠原みづほ, 割澤高行, 鈴木規雄, 奥山和明, 水越慶, 水野幸一. 様々な頻拍を呈し心不全に至った頻脈誘発性心筋症に対して、カテーテルアブレーションが奏功した1例. 第32回神奈川心不全研究会, 2021.
- 66) ◎高木宗兵, 栗田真吾, 土井駿一, 亀島はる香, 上嶋亮, 出雲昌樹, 木田圭亮, 樋熊拓未, 原田智雄,

- 石橋祐記, 明石嘉浩. Torsades de Pointes で発症したたこつぼ型心筋症の 1 例. 第 32 回神奈川心不全研究会, 2021.
- 67) ◎村松和樹, 土井駿一, 亀島はる香, 栗田真吾, 上嶋亮, 出雲昌樹, 木田圭亮, 樋熊拓未, 原田智雄, 石橋祐記, 明石嘉浩. 新しい循環保護デバイスの可能性. 第 32 回神奈川心不全研究会, 2021.
- 68) ◎村田理沙子, 亀島はる香, 土井駿一, 栗田真吾, 上嶋亮, 出雲昌樹, 木田圭亮, 樋熊拓未, 原田智雄, 石橋祐記, 明石嘉浩. 心室細動、心不全を併発した新京成食思不振症の 1 例. 第 32 回神奈川心不全研究会, 2021.
- 69) ◎栗田真吾. SHD インターベンションと抗凝固薬. One Team Heart Conference, 2021.
- 70) ◎米山喜平. 生活習慣と心臓と結果が出るダイエット法. One Team Heart Conference, 2021.
- 71) ◎古川俊行. 失神外来の立ち上げ・運営のコツ. 失神外来スタートプロジェクト, 2021.
- 72) ◎出雲昌樹. 宿題講演: AS 評価と人工弁評価について. 第 2 回多摩コレギウム・心エコー, 2021.
- 73) ◎石橋祐記. 当院における今後の心不全地域連携構想. 川崎北部心不全連携セミナー, 2021.
- 74) ◎出雲昌樹. Functional MR、MitraClip 適応を考える. Tokyo Physiology 2021 by Functional Revascularization ENcouraged by optimal Diagnostic Strategy Live(FRIENDS Live), 2021.
- 75) ◎割澤高行. P2Y12 阻害薬 添付文書改訂をどう生かす? ~go or no-go~ Short DAPT の時代の未解決症例について考える. Tokyo Physiology 2021 by FRIENDS Live, 2021.
- 76) ◎割澤高行. LMT 病変の機能的評価に全集中 -Resting index をどう使うか. その閾値は?-. Tokyo Physiology 2021 by FRIENDS Live, 2021.
- 77) ◎高野誠. 不整脈専門の立場から考える心不全治療の課題とこれから. Kanagawa Entresto Web K-WAVE 10, 2021.
- 78) ◎田邊康宏. DOAC を用いた VTE 治療と新たなカテーテル治療. 静脈血栓塞栓症マネジメントセミナー in AOMORI~VTE 治療を考える~, 2021.
- 79) ◎出雲昌樹. PFO I2-診断. PFO Echo Lecture, 2021.
- 80) ◎割澤高行. More than best!! iFR-Pullback guided PCI -ガイドラインのその先へ-. Physiology Seminar 2021 in Yamato Municipal Hospital, 2021.
- 81) ◎栗田真吾. SHD インターベンションにおけるチーム医療の重要性. 第 8 回武蔵小杉脳卒中・循環器 web 講演会, 2021.
- 82) ◎割澤高行, 鈴木規雄, 小徳暁生, 中山由衣, 笠原みづほ, 奥山和明, 水越慶, 松田央郎, 水野幸一, 明石嘉浩. 右室留置カテーテルと静脈路からの同時造影による CT で、特殊な病態での心肺停止の診断に至る事が出来た一例. Beyond Angiography Japan XXV, 2021.
- 83) ◎出雲昌樹. 施設を超えた Brain-Heart Team. 横浜新都市脳神経外科病院×聖マリアンナ医科大学病院 STOP THE STROKE, 2021.
- 84) ◎ Warisawa Takayuki. Contemporary use of imaging for PCI planning and guidance. Intracoronary Guidance in Complex PCI in Madrid, 2020.
- 85) ◎Warisawa Takayuki. iFR/FFR -Use Coronary Physiology for Better PCI-. Advances in Co-registration, Coronary Physiology & Intracoronary Imaging in London, 2020.

		和文	英文
著 書		11	
論 文	原著	3	46
	解説又は総説	26	4
	症例報告	2	8
	その他	12	
学会発表	国内学会	100	
	国際学会		35
	その他	83	2

内科学(消化器・肝臓内科)

著書

- 1) 前畑忠輝, 佐々木基, 矢作直久. 第4章 高周波止血処置具の使い方 止血処置具(モノポーラ) ⑤ Coagrasper(下部用) 消化器内視鏡治療における高周波発生装置の使い方と注意点 2020;:219-221.
- 2) 落合康利. 第4章 高周波止血処置具の使い方 止血処置具(バイポーラ) ⑥ HemoStat-Y, HemoStat WideCup 消化器内視鏡治療における高周波発生装置の使い方と注意点 2020;:222-224.
- 3) 中野弘康. 消化管疾患の薬 薬の上手な出し方&やめ方. ジェネラリスト BOOKS 2020;:184-195.
- 4) 中野弘康. 膝炎の輸液 輸液グリーンノート 2021;(1):000.

学術論文[和文]

① 原著

- 1) 山本佳穂, 小澤俊一郎, 中本悠輔, 中村紗里香, 野口陽平, 高橋秀明, 松本伸行. S 状結腸癌に対する大腸ステント追加留置により食道静脈瘤、肝細胞癌に対する治療継続が可能であった肝硬変の一例. 聖マリアンナ医科大学雑誌, 2020;48(3):129-137.
- 2) 榎本武治, 民上真也, 増田哲之, 勝又健太, 亀井奈津子, 嶋田仁, 大坪毅人, 清川博史, 佐藤義典, 松尾康正. 5. 胃粘膜下腫瘍に対する腹腔鏡・内視鏡合同手術(LECS)の実際. 川崎市医師会医学会誌, 2020;37:14-15.
- 3) 佐々木貴浩, 古畑智久, 臼井創大, 小野龍宣, 野田顕義, 中嶋孝司, 宮島伸宜, 大森慎太郎, 太田明雄, 大坪毅人. Metabolic surgery の立ち上げと現状. 川崎市医師会医学会誌, 2020;37:1-4.

② 総説又は症例解説

- 1) 小澤俊一郎, 松本伸行, 久恒靖人, 國場幸均. 【消化管症候群(第3版)-その他の消化管疾患を含めて-】空腸、回腸、盲腸、結腸、直腸(上) 吸収不良・蛋白漏出 盲管症候群. 日本臨床, 2020;別冊消化管症候群Ⅲ:287-289.
- 2) 前畑忠輝, 井上晴洋, 島村勇人, 矢作直久. 特集 知っておきたい新たな処置具—特徴とその開発意図 切除用/切開用処置具 局注機能つきナイフ DualKnifeJ, TT KnifeJ. 消化器内視鏡, 2020;32(6):815.
- 3) 中野弘康. 【真夏の診察室】夏の魔物 おいしい話には裏がある メジャーな微生物による食中毒. Medicina, 2020;57(8):1307-1310.
- 4) 杉山浩平, 那須野正尚, 田中浩紀, 加藤正樹, 宮川麻希, 本谷聡. クロウン病に対する寛解導入療法と薬剤の選択. 臨牀消化器内科, 2020;35(10):1220-1226.
- 5) 加藤正樹, 本谷聡. IBD 患者の Lifestyle Modification. Pharma Medica, 2020;38(10):63-66.
- 6) 西脇誠二, 前畑忠輝. 食道の巨大な白い物体. 消化器内視鏡, 2020;32(10):1437-1438.
- 7) 中野弘康. 【日経メディクイズ救急】22歳女性. 心窩部痛. 日経メディカル, 2020;(11):19-20.
- 8) 加藤正樹, 本谷聡. クロウン病の治療戦略—外来の軽症～中等症に対する治療戦略とは?—いつ生物学的製剤を検討するのか?—. Medical Practice, 2020;37(12):1905-1909.
- 9) 中野弘康. 筋骨格神経疾患. 診断と治療, 2021;109(1):77-80.
- 10) 中野弘康. 連載 悩むケースに立ち向かう! 臨床推論のススメ方 ～全国 GIM カンファレンスより

～ 第 16 回 痛みに泣かされた夜～a horrible night with pain～. 臨床雑誌内科, 2021;127(2):317-322.

11) 石井大太, 中野弘康. 肺炎のフィジカル. 総合診療, 2021;31(3):388-393.

③ 症例報告

1) 小林智, 森本学, 沼田和司, 守屋聡, 加川建弘, 魚嶋晴紀, 日高央, 松永光太郎, 鈴木通博, 田中克明. BCLC stage B2 または B3 の肝細胞癌に対するレンバチニブの多施設共同前向き観察研究の中間報告. 肝臓, 2020;61(5):273-275.

2) 大槻拓矢, 家研也, 奥瀬千晃, 榎潤濤, 相原茉里, 高野知憲, 黒須絵莉, 本橋伊織, 酒井翼, 薩田洋輔, 中野弘康, 石郷岡晋也, 田中拓, 有泉泰, 松田隆秀. 先行して顕性化した結節性紅斑により診断された潰瘍性大腸炎の 1 例. 日本病院総合診療医学会雑誌, 2020;16(6):437-443.

3) 天野優希, 小林慎二郎, 井田圭亮, 土橋篤仁, 小泉哲, 前田一郎, 藤野節, 遠藤陽, 高木正之, 森田亮, 路川陽介, 中原一有, 大坪毅人. 十二指腸乳頭部原発 Mixed neuroendocrine non-neuroendocrine neoplasm(MiNEN)の 1 例. 聖マリアンナ医科大学雑誌, 2020;48(3):109-116.

4) 薩田洋輔, 奥瀬千晃, 渡邊綱正, 末谷敬吾, 石郷岡晋也, 松永光太郎, 清川博史, 森田望, 中野弘康, 安田宏, 平石哲也, 山田典栄, 加藤孝宣, 四柳宏, 鈴木通博, 伊東文生. IgA-HE 抗体が偽陽性を示した急性肝炎の 2 例. 肝臓, 2021;62(2):64-71.

④ その他

1) 十菱大介, 岡本耕, 重福隆太, 矢島知治, 田中由佳里, 野々垣浩二, 中野弘康, 家研也, 林智史, 北野夕佳, 渡邊綱正, 廣橋猛, 勝俣範之, 小林健二, 大石祐嗣, 矢吹拓, 平岩卓, 杉山嘉宏, 大庫秀樹, 今枝博之. 特集 大便強ドリル 便秘・下痢・腹痛・消化器疾患に強くなる 41 問!. 総合診療, 2020;30(4):410-472.

学術論文[英文]

① 原著

1) Nakahara Kazunari, Morita Ryo, Michikawa Yosuke, Suetani Keigo, Fujita Akashi, Sato Junya, Kobayashi Shinjiro, Endo Akira, Arizumi Yashushi, Koike Junki, Takagi Masayuki, Otsubo Takehito, Itoh Fumio. Use of washing cytology from removed self-expandable metal stents for biliary strictures: a novel cytology method. Endoscopy International Open, 2020;8(6): E748-E752.

2) Watanabe Yoshiyuki, Seto Yukiko, Oikawa Ritsuko, Nakazawa Takara, Furuya Hanae, Matsui Hidehito, Hosono Sachiko, Noike Mika, Inoue Akiko, Yamamoto Hiroyuki, Itoh Fumio, Wada Kota. Mouthwash-Based Highly Sensitive Pyro-Genotyping for Nine Sexually Transmitted Human Papilloma Virus Genotypes. International journal of Molecular Sciences, 2020;21(10) : 3697.

3) Toyoda Hidenori, Atsukawa Masanori, Watanabe Tsunamasa, Nakamuta Makoto, Uojima Haruki, Nozaki Akito, Takaguchi Koichi, Fujioka Shinichi, Iio Etsuko, Shima Toshihide, Akahane Takehiro, Fukunishi Shinya, Asano Toru, Michitaka Kojiro, Tsuji Kunihiko, Abe Hiroshi, Mikami Shigeru, Okubo Hironao, Okubo Tomomi, Shimada Noritomo, Ishikawa Toru, Moriya Akio, Tani Joji, Morishita Asahiro, Ogawa Chikara, Tachi Yoshihiko, Ikeda Hiroki, Yamashita Naoki,

- Yasuda Satoshi, Chuma Makoto, Tsutsui Akemi, Hiraoka Atsushi, Ikegami Tadashi, Genda Takuya, Tsubota Akihito, Masaki Tsutomu, Tanaka Yasuhito, Iwakiri Katsuhiko, Kumada Takashi. Real-world experience of 12-week direct-acting antiviral regimen of glecaprevir and pibrentasvir in patients with chronic hepatitis C virus infection. *Journal of gastroenterology and hepatology*, 2020;35(5):855-861.
- 4) Nakahara Kazunari, Michikawa Yosuke, Morita Ryo, Suetani Keigo, Itoh Fumio. Endoscopic transpapillary gallbladder stent placement in the presence of uncovered biliary metal stents using a through-the-mesh technique. *VideoGIE*, 2020;5(7):296-299.
 - 5) Nakahara Kazunari, Michikawa Yosuke, Morita Ryo, Itoh Fumio. Endoscopic Transpapillary Gallbladder Drainage via the Mesh of Triple Uncovered Biliary Metal Stents Using a Soehendra Stent Retriever. *Journal of gastrointestinal and liver diseases*, 2020;29(2):143.
 - 6) Nakahara Kazunari, Morita Ryo, Itoh Fumio. Endoscopic ultrasound-guided bilateral biliary drainage through the mesh of the metal stents using a balloon occlusion method. *Digestive Endoscopy*, 2020;32(5): e104-e105.
 - 7) Atsukawa Masanori, Tsubota Akihito, Takaguchi Koichi, Toyoda Hidenori, Iwasa Motoh, Ikegami Tadashi, Chuma Makoto, Nozaki Akito, Uojima Haruki, Hiraoka Atsushi, Fukunishi Shinya, Yokohama Keisuke, Tada Toshifumi, Kato Keizo, Abe Hiroshi, Tani Joji, Okubo Hironao, Watanabe Tsunamasa, Hattori Nobuhiro, Tsutsui Akemi, Senoh Tomonori, Yoshida Yuji, Okubo Tomomi, Itokawa Norio, Nakagawa-Iwashita Ai, Kondo Chisa, Arai Taeang, Michitaka Kojiro, Iio Etsuko, Kumada Takashi, Tanaka Yasuhito, Takei Yoshiyuki, Iwakiri Katsuhiko. Analysis of factors associated with the prognosis of cirrhotic patients who were treated with tolvaptan for hepatic edema. *Journal of gastroenterology and hepatology*, 2020;35(7):1229-1237.
 - 8) Fujita Akashi, Nakahara Kazunari, Michikawa Yosuke, Morita Ryo, Suetani Keigo, Sato Junya, Igarashi Yosuke, Araki Ryuichiro, Ikeda Hiroki, Matsunaga kotaro, Watanabe Tsunamasa, Itoh Fumio. Pancreatic duct guidewire placement for biliary cannulation as a risk factor for stone residue after endoscopic transpapillary stone removal. *BMC gastroenterology*, 2020;20(1):285.
 - 9) Toyoda Hidenori, Atsukawa Masanori, Watanabe Tsunamasa, Nakamuta Makoto, Uojima Haruki, Nozaki Akito, Takaguchi Koichi, Fujioka Shinichi, Iio Etsuko, Shima Toshihide, Akahane Takehiro, Fukunishi Shinya, Asano Toru, Michitaka Kojiro, Tsuji Kunihiko, Abe Hiroshi, Mikami Shigeru, Okubo Hironao, Okubo Tomomi, Shimada Noritomo, Ishikawa Toru, Moriya Akio, Tani Joji, Morishita Asahiro, Ogawa Chikara, Tachi Yoshihiko, Ikeda Hiroki, Yamashita Naoki, Yasuda Satoshi, Chuma Makoto, Tsutsui Akemi, Hiraoka Atsushi, Ikegami Tadashi, Genda Takuya, Tsubota Akihito, Masaki Tsutomu, Iwakiri Katsuhiko, Kumada Takashi, Tanaka Yasuhito, Okanoue Takeshi. Marked heterogeneity in the diagnosis of compensated cirrhosis of patients with chronic hepatitis C virus infection in a real-world setting: A large, multicenter study from Japan. *Journal of gastroenterology and hepatology*, 2020;35(8):1420-1425.
 - 10) Nakahara Kazunari, Michikawa Yosuke, Morita Ryo, Suetani Keigo, Kobayashi Shinjiro, Otsubo Takehito, Itoh Fumio. Endoscopic transpapillary gallbladder drainage using the balloon occlusion

- method to advance the guidewire into the cystic duct. *Endoscopy*, 2020;52(9): E339-E341.
- 11) Maehata Tadateru, Fujimoto Ai, Uraoka Toshio, Kato Motohiko, Horii Joichiro, Sasaki Motoki, Kiguchi Yoshiyuki, Akimoto Teppei, Nakayama Atsushi, Ochiai Yasutoshi, Goto Osamu, Nishizawa Toshihiro, Yahagi Naohisa.
Efficacy of a new image-enhancement technique for achieving hemostasis in endoscopic submucosal dissection. *Gastrointestinal Endoscopy*, 2020;92(3):667-674.
 - 12) Ogushi Katsuaki, Chuma Makoto, Uojima Haruki, Hidaka Hisashi, Numata Kazushi, Kobayashi Satoshi, Hirose Shunji, Hattori Nobuhiro, Fujikawa Tomoaki, Nakazawa Takahide, Wada Naohisa, Iwasaki Shuitirou, Fukushima Taito, Sano Yusuke, Ueno Makoto, Kawano Kuniyuki, Tsuruya Kota, Shomura Masako, Watanabe Tsunamasa, Matsunaga Kotaro, Kunishi Yosuke, Saigusa Yusuke, Irie Kuniyasu, Iwabuchi Shogo, Kako Makoto, Morimoto Manabu, Kagawa Tatehiro, Tanaka Katsuaki, Maeda Shin. Safety and Efficacy of Lenvatinib Treatment in Child-Pugh A and B Patients with Unresectable Hepatocellular Carcinoma in Clinical Practice: A Multicenter Analysis. *Clinical and Experimental Gastroenterology*, 2020;13:385-396.
 - 13) Nakahara Kazunari, Morita Ryo, michikawa Yosuke, Suetani Keigo, Morita Nozomi, Fujita Akashi, Sato Junya, Igarashi Yosuke, Ikeda Hiroki, Matsunaga Kotaro, Watanabe Tsunamasa, Kobayashi Shinjiro, Otsubo Takehito, Itoh Fumio. Endoscopic Transpapillary Gallbladder Drainage for Acute Cholecystitis After Biliary Self-Expandable Metal Stent Placement. *Surgical laparoscopy, endoscopy & percutaneous techniques*, 2020;30(5):416-423.
 - 14) Fujita Akashi, Nakahara Kazunari, Matsuda Koji, Ozawa Shunichiro, Itoh Fumio. Splenosis diagnosed by EUS-guided fine-needle aspiration. *Gastrointestinal Endoscopy*, 2020;92(5):1129-1129.
 - 15) Satta Yusuke, Yamashita Masaki, Matsuo Yasumasa, Kiyokawa Hirohumi, Sato Yoshinori, Takemura Hiromu, Kunishima Hiroyuki, Yasuda Hiroshi, Itoh Fumio.
Non-tuberculous Mycobacterial Pseudo-outbreak of an Intestinal Culture Specimen Caused by a Water Tap in an Endoscopy Unit. *Internal Medicine*, 2020;59(22):2811-2815.
 - 16) Sakemi Ryosuke, Miyakawa Maki, Tanaka Hiroki, Nasuno Masanao, Motoya Satoshi, Tanuma Tokuma, Ishii Manabu, Yanagisawa Hideyuki, Yamashita Masaki, Toita Nariaki, Suzuki Ryo, Kobayashi Toshihisa, Nojima Masanori, So Suketo. Predicting a rapid response to adalimumab treatment and favorable short-term outcomes through the high platelet count in patients with ulcerative colitis: A multicenter retrospective cohort study. *Medicine (Baltimore)*, 2020;99(47) : e23344.
 - 17) Atsukawa Masanori, Tsubota Akihito, Kondo Chisa, Toyoda Hidenori, Nakamuta Makoto, Takaguchi Koichi, Watanabe Tsunamasa, Hiraoka Atsushi, Uojima Haruki, Ishikawa Toru, Iwasa Motoh, Tada Toshifumi, Nozaki Akito, Chuma Makoto, Fukunishi Shinya, Asai Akira, Asano Toru, Ogawa Chikara, Abe Hiroshi, Hotta Naoki, Shima Toshihide, Iio Etsuko, Mikami Shigeru, Tachi Yoshihiko, Fujioka Shinichi, Okubo Hironao, Shimada Noritomo, Tani Joji, Hidaka Isao, Moriya Akio, Tsuji Kunihiko, Akahane Takehiro, Yamashita Naoki, Okubo Tomomi,

- Arai Taeang, Morita Kiyoshi, Kawata Kazuhito, Tanaka Yasuhito, Okanoue Takeshi, Maeda Shin, Kumada Takashi, Iwakiri Katsuhiko, KTK49 Liver Study Group. Real-World Clinical Application of 12-Week Sofosbuvir/Velpatasvir Treatment for Decompensated Cirrhotic Patients with Genotype 1 and 2: A Prospective, Multicenter Study. *Infectious Diseases and Therapy*, 2020;9(4) : 851-866.
- 18) Yamasaki Yukitaka, Ooka Seido, Tsuchida Tomoya, Nakamura Yuta, Hagiwara Yuta, Naitou Yoshiyuki, Ishibashi Yuki, Ikeda Hiroki, Sakurada Tsutomu, Handa Hiroshi, Nishine Hiroki, Takita Mumon, Morikawa Daiki, Yoshida Hideki, Fujii Shuichi, Morisawa Kenichiro, Takemura Hiromu, Fujitani Shigeki, Kunishima Hiroyuki. The peripheral lymphocyte count as a predictor of severe COVID-19 and the effect of treatment with ciclesonide. *Virus Research*, 2020;290 : 198089.
- 19) Nakahara Kazunari, Michikawa Yosuke, Itoh Fumio. Hoarseness After Endoscopic Retrograde Cholangiopancreatography. *Gastroenterology*, 2021;160(1): e15-e16.
- 20) Watanabe Yoshiyuki, Oikawa Ritsuko, Kodaka Yasuhiro, Sato Yoshinori, Ono Shoko, Kenmochi Takeshi, Suzuki Hideo, Futagami Seiji, Kato Mototsugu, Yamamoto Hiroyuki, Itoh Fumio. Cancer-related genetic variants of *Helicobacter pylori* strains determined using gastric wash-based whole-genome analysis with single-molecule real-time technology. *International Journal of Cancer*, 2021;148(1):178-192.
- 21) Sato Yoshinori, Yasuda Hiroshi, Nakamoto Yusuke, Kiyokawa Hirofumi, Yamashita Masaki, Matsuo Yasumasa, Maehata Tadateru, Yamamoto Hiroyuki, Mimura Hideo, Fumio Itoh. Risk factors of interventional radiology/surgery for colonic diverticular bleeding. *JGH Open*, 2021; 5(3):343-349.
- 22) Nakahara Kazunari, Sato Junya, Morita Ryo, Michikawa Yosuke, Suetani Keigo, Igarashi Yosuke, Sekine Akihiro, Kobayashi Shinjiro, Otsubo Takehito, Itoh Fumio. Incidence and management of cystic duct perforation during endoscopic transpapillary gallbladder drainage for acute cholecystitis. *Digestive Endoscopy*, 2021;:doi-10.1111/den.13959.
- 23) Nakahara Kazunari, Matsuda Koji, Itoh Fumio. Exposure of coils to the pseudocystic cavity after embolization of a pseudoaneurysm caused by lumen-apposing metal stent placement. *Gastrointestinal endoscopy*, 2021;93(2):521-522.
- 24) Chuma Makoto, Uojima Haruki, Hiraoka Atsushi, Kobayashi Satoshi, Toyoda Hidenori, Toyoda Hidenori, Tada Toshifumi, Hidaka Hisashi, Iwabuchi Shogo, Numata Kazushi, Itobayashi Ei, Itokawa Norio, Kariyama Kazuya, Ohama Hideko, Hattori Nobuhiro, Hirose Shunji, Shibata Hiroshi, Tani Joji, Imai Michitaka, Tajiri Kazuto, Moriya Satoshi, Wada Naohisa, Iwasaki Shuitirou, Fukushima Taito, Ueno Makoto, Yasuda Satoshi, Atsukawa Masanori, Nouse Kazuhiro, Fukunishi Shinya, Watanabe Tsunamasa, Ishikawa Toru, Nakamura Shinichiro, Morimoto Manabu, Kagawa Tatehiro, Sakamoto Michiie, Kumada Takashi, Maeda Shin. Analysis of efficacy of lenvatinib treatment in highly advanced hepatocellular carcinoma with tumor thrombus in the main trunk of the portal vein or tumor with more than 50% liver

occupation: A multicenter analysis. *Hepatology Research*, 2021;51(2):201-215.

- 25) Urata Noboru, Watanabe Tsunamasa, Hirashima Noboru, Yokomaku Yoshiyuki, Imamura Junji, Iwatani Yasumasa, Shimada Masaaki, Tanaka Yasuhito. Cytokines and Chemokines Involved in Hepatitis B Surface Antigen Loss in Human Immunodeficiency Virus/Hepatitis B Virus Coinfected Patients. *Journal of Clinical Medicine*, 2021;10(4):833.
- 26) Kobayashi Shinjiro, Otsubo Takehito, Nakano Hiroshi, Koizumi Satoshi, Nakamura Kazunari. Complete Lymphadenectomy Around the Entire Superior Mesenteric Artery Improves Survival in Artery-First Approach Pancreatoduodenectomy for T3 Pancreatic Ductal Adenocarcinoma. *World Journal of Surgery*, 2021;45(3):857-864.

② 総説又は症例解説

- 1) Yamamoto Hiroyuki, Watanabe Yoshiyuki, Maehata Tadateru, Imai Kohzoh, Itoh Fumio. Microsatellite instability in cancer: a novel landscape for diagnostic and therapeutic approach. *Archives of Toxicology*, 2020;94(10):3349-3357.
- 2) Yamamoto Hiroyuki, Watanabe Yoshiyuki, Sato Yoshinori, Maehata Tadateru, Itoh Fumio. Non-Invasive Early Molecular Detection of Gastric Cancers. *Cancers*, 2020;12(10):2880.

③ 症例報告

- 1) Sato Yoshinori, Satta Yusuke, Yasuda Hiroshi, Kiyokawa Hirofumi, Yamashita Masaki, Matsuo Yasumasa, Itoh Fumio. Intra-abdominal bleeding as a rare complication after colonic endoscopic mucosal resection in a patient taking direct oral anticoagulants. *Clinical Journal of Gastroenterology*, 2020;13(5):794-798.
- 2) Ochiai Yasutoshi, Hara Masaki, Nakajima Takashi, Itoh Fumio. Intussusception due to Incarceration of Hard Stool With the Ileocecal Valve as the Leading Point: A Case Study. *The American Journal of Gastroenterology*, 2021;116(3):451.

学会発表

① 国内学会

- 1) ◎森田一, 三井満里奈, 平田 藍, 藤本瑛介, 蜂須賀智, 野口陽平, 小澤俊一郎, 高橋秀明, 松崎貴志, 松本伸行, 田中恒明. ニボルマブによる大腸炎にメサラジンを使用した HBc 抗体陽性患者の 1 例. 日本臨床腫瘍薬学会学術大会 2020, 2020.
- 2) ◎鈴木達也, 渡邊綱正, 得平卓也, 服部伸洋, 池田裕喜, 高橋秀明, 松永光太郎, 松本伸行, 奥瀬千晃, 安田宏, 鈴木通博, 伊東文生. 短期間の人工肝補助療法で改善した成因不明な急性肝不全昏睡型の一救命例. 第 56 回日本肝臓学会総会, 2020.
- 3) ◎山田典栄, 安田清美, 奥瀬千晃, 鈴木通博, 加藤孝宣. TAF 抵抗性 B 型慢性肝炎患者における薬剤耐性変異の解析. 第 56 回日本肝臓学会総会, 2020.
- 4) ◎関根章裕, 中原一有, 伊東文生. 下方分岐胆嚢管に対する Balloon occlusion method を用いた内視鏡的経乳頭胆嚢ドレナージ術. 第 110 回日本消化器内視鏡学会関東支部例会, 2020.
- 5) ◎木村紗衣, 白井創大, 牧角良二, 朝野隆之, 福岡麻子, 浜辺太郎, 鈴木卓也, 山下真幸, 大坪毅人.

- 腰椎化膿性椎間板炎の原因となった人工血管 S 状結腸瘻の 1 手術例. 第 857 回外科集談会, 2020.
- 6) ◎榎本武治, 民上真也, 勝又健太, 亀井奈津子, 嶋田仁, 清川博史, 佐藤義典, 松尾康正, 安田宏, 大坪毅人. 当院における胃 GIST に対する外科治療戦略. 第 92 回日本胃癌学会総会, 2020.
 - 7) ◎吉田良仁, 落合康利, 原雅樹, 川島亜貴世, 五十嵐央祥, 黄世揚, 中嶋孝司, 伊東文生. 腹痛を主訴に来院され診断に難渋した正中弓状靭帯圧迫症候群の 1 例. 第 360 回日本消化器病学会関東支部例会, 2020.
 - 8) ◎森田亮, 中原一有, 路川陽介, 末谷敬吾, 藤田曜, 佐藤純也, 五十嵐洋介, 薩田祐輔, 伊東文生. 超高齢者の急性胆管炎合併総胆管結石例に対する緊急 ERCP の検討. 第 117 回日本内科学会総会・講演会, 2020.
 - 9) ◎薩田祐輔, 山下真幸, 近江亮介, 加藤正樹, 清川博史, 森田望, 佐藤義典, 池田佳子, 松尾康正, 山本博幸, 安田宏, 伊東文生. 下部消化管内視鏡の腸管検査における非結核性抗酸菌症 pseudo-outbreak の感染源の検索. 第 106 回日本消化器病学会総会, 2020.
 - 10) ◎土井綾子, 近江亮介, 梅本久美子, 新井裕之, 伊澤直樹, 小倉孝氏, 津田享志, 中島貴子. 血管新生阻害薬による化学療法中に下腸間膜動静脈瘻を合併した大腸癌症例. 第 106 回日本消化器病学会総会, 2020.
 - 11) ◎加藤正樹, 山下真幸, 伊東文生, 森田望, 清川博史, 佐藤義典, 池田佳子, 松尾康正, 山本博幸, 安田宏. 潰瘍性大腸炎に対するベドリズマブの短期治療成績とその位置付け. 第 106 回日本消化器病学会総会, 2020.
 - 12) ◎松尾康正, 近江亮介, 加藤正樹, 森田望, 清川博史, 佐藤義典, 池田佳子, 山下真幸, 山本博幸, 安田宏, 伊東文生. 下部消化管内視鏡時の直腸診スコアリングの試み. 第 106 回日本消化器病学会総会, 2020.
 - 13) ◎小澤俊一郎, 松本伸行, 伊東文生. 大腸内視鏡治療における抗血栓薬服用者に対する内視鏡治療診療ガイドラインの妥当性と問題点の検討. 第 106 回日本消化器病学会総会, 2020.
 - 14) ◎吉田良仁, 落合康利, 原雅樹, 川島亜貴世, 五十嵐央祥, 黄世揚, 小泉宏隆, 中嶋孝司, 伊東文生. 癌化を伴った十二指腸 Peutz-Jeghers 型ポリープの 1 例. 第 106 回日本消化器病学会総会, 2020.
 - 15) ◎清川博史, 安田宏, 近江亮介, 加藤正樹, 佐藤義典, 松尾康正, 山下真幸, 山本博幸, 小池淳樹, 伊東文生. 当院における胃底腺型胃癌 4 例の臨床的および内視鏡的特徴についての検討. 第 106 回日本消化器病学会総会, 2020.
 - 16) ◎五十嵐洋介, 渡邊綱正, 服部伸洋, 松本伸行, 奥瀬千晃, 得平卓也, 鈴木達也, 池田裕喜, 高橋秀明, 松永光太郎, 鈴木通博, 安田宏, 伊東文生. HBs 抗原低値かつ HB コア関連抗原高値は B 型肝炎ウイルス関連肝細胞癌の高リスク因子である. 第 106 回日本消化器病学会総会, 2020.
 - 17) ◎末谷敬吾, 森田望, 森田亮, 路川陽介, 石郷岡晋也, 中原一有, 奥瀬千晃, 鈴木通博, 伊東文生. 急性胆管炎診療におけるプレセプシンの有用性. 第 106 回日本消化器病学会総会, 2020.
 - 18) ◎渡邊綱正, 厚川正則, 高口浩一. 実臨床における非代償性肝硬変に対する DAA 治療の実際. 第 56 回日本肝臓学会総会, 2020.
 - 19) ◎厚川正則, 近藤千紗, 安部宏, 高口浩一, 池上正, 福西新弥, 渡邊綱正, 中馬誠, 岩佐元雄, 谷丈二, 大久保裕直, 豊田秀徳, 田中靖人, 岩切勝彦. トルバプタン投与中の肝性浮腫患者における従来の利尿剤減量が予後に与える影響. 第 56 回日本肝臓学会総会, 2020.

- 20) ◎中馬誠, 広瀬俊治, 渡邊綱正. 進行肝癌におけるレンパチニブの有効に関するバイオマーカー, 病態別解析. 第 56 回日本肝臓学会総会, 2020.
- 21) ◎諸澤由利子, 白石眞, 吉田あゆみ, 三浦直美, 加藤正樹, 伊佐早健司, 眞木二葉, 佐々木直, 秋山久尚, 長谷川泰弘. Levodopa-carbidopa intestinal gel (LCIG)療法における外来看護師の取り組みについて. 第 61 回日本神経学会学術大会, 2020.
- 22) ◎山下真幸, 安田宏, 伊東文生, 近江亮介, 加藤正樹, 清川博史, 佐藤義典, 松尾康正, 山本博幸. 腸管型 Behcet 病診療における下部消化管内視鏡の所見と重要性. 第 99 回日本消化器内視鏡学会総会, 2020.
- 23) ◎中原一有. 術後胆管に対する新デバイスを使用した治療戦略. 第 99 回日本消化器内視鏡学会総会, 2020.
- 24) ◎末谷敬吾, 森田望, 森田亮. 内視鏡技師が介助を行った ERCP の安全性. 第 99 回日本消化器内視鏡学会総会, 2020.
- 25) ◎小原武, 路川陽介, 五十嵐洋介, 藤田曜, 末谷敬吾, 森田亮, 中原一有, 伊東文生. ERCP における側視鏡挿入操作により披裂軟骨脱臼をきたした 1 例. 第 99 回日本消化器内視鏡学会総会, 2020.
- 26) ◎加藤正樹, 山下真幸, 伊東文生. リツキシマブ投与後の腸炎の検討. 第 99 回日本消化器内視鏡学会総会, 2020.
- 27) ◎路川陽介, 中原一有, 伊東文生. Walled-off necrosis(WON)ドレナージ不要例の検討. 第 99 回日本消化器内視鏡学会総会, 2020.
- 28) ◎薩田洋輔, 末谷敬吾, 薩田祐輔, 五十嵐洋介, 森田亮, 路川陽介, 石郷岡晋也, 中原一有, 奥瀬千晃, 伊東文生. 急性胆嚢炎に対する内視鏡的胆嚢ドレナージの有用性. 第 99 回日本消化器内視鏡学会総会, 2020.
- 29) ◎森田亮, 中原一有, 伊東文生, 路川陽介, 末谷敬吾, 藤田曜, 佐藤純也, 五十嵐洋介, 薩田祐輔. 高齢者の急性胆管炎合併総胆管結石に対する一期的結石除去の有用性と安全性に関する検討. 第 99 回日本消化器内視鏡学会総会, 2020.
- 30) ◎中原一有, 森田亮, 伊東文生, 路川陽介, 末谷敬吾, 藤田曜, 五十嵐洋介. 胆管金属ステント留置後急性胆嚢炎に対する内視鏡的経乳頭胆嚢ドレナージの治療成績. 第 99 回日本消化器内視鏡学会総会, 2020.
- 31) ◎石田潤, 清川博史, 見原雄貴, 近江亮介, 加藤正樹, 森田望, 佐藤義典, 池田佳子, 松尾康正, 山下真幸, 山本博幸, 安田宏, 土橋篤仁, 大坪毅人, 有泉泰, 小池淳樹, 伊東文生. 腸重積症を伴った回腸アニサキスを内視鏡的摘除し保存的加療し得た 1 例. 第 99 回日本消化器内視鏡学会総会, 2020.
- 32) ◎小松拓実, 佐藤義典, 伊東文生, 加藤正樹, 清川博史, 山下真幸, 松尾康正, 山本博幸, 安田宏. 非静脈瘤性上部消化管出血症例における時代的変遷についての検討. 第 99 回日本消化器内視鏡学会総会, 2020.
- 33) ◎松尾康正, 安田宏, 伊東文生. 女性内視鏡医が活用する短時間勤務制度. 第 99 回日本消化器内視鏡学会総会, 2020.
- 34) ◎松尾康正, 安田宏, 伊東文生. 食道胃接合部の内視鏡観察における鎮静剤、鎮痛剤の影響. 第 99 回日本消化器内視鏡学会総会, 2020.
- 35) ◎五十嵐央祥, 中嶋孝司, 伊東文生, 落合康利, 川島亜貴世, 原雅樹, 吉田良仁, 黄世揚. 当院にお

ける任意型または対策型としての上部消化管内視鏡検診受診者の解析. 第 99 回日本消化器内視鏡学会総会, 2020.

- 36) ◎藤田曜, 中原一有, 路川陽介, 森田亮, 末谷敬吾, 五十嵐洋介, 伊東文生. 内視鏡的胆管結石除去後の胆管結石の遺残率とそのリスク因子の検討. 第 99 回日本消化器内視鏡学会総会, 2020.
- 37) ◎澤田真裕, 松尾康正, 近江亮介, 加藤正樹, 清川博史, 森田望, 佐藤義典, 池田佳子, 山下真幸, 松永光太郎, 山本博幸, 安田宏, 伊東文生. 肝細胞癌に対するレンパチニブが発症に関与した放射線性食道潰瘍の 1 例. 第 99 回日本消化器内視鏡学会総会, 2020.
- 38) ◎加藤正樹, 那須野正尚, 杉山浩平, 宮川麻希, 田中浩紀, 本谷聡. 潰瘍性大腸炎に対するベドリズムの短期治療成績と背景因子の検討. 第 127 回日本消化器病学会北海道支部例会, 2020.
- 39) ◎野田顕義, 古畑智久, 臼井創大, 小野龍宣, 吉田良仁, 佐々木貴浩, 宮島伸宜, 大坪毅人. 爪楊枝誤飲による小腸穿孔の 1 例. 第 56 回日本腹部救急医学会総会, 2020.
- 40) ◎末谷敬吾, 辻顕介, 末永大介, 森田亮, 佐々木大祐, 路川陽介, 石郷岡晋也, 中原一有, 小林慎二郎, 奥瀬千晃, 大坪毅人, 伊東文生. 急性胆管炎診療におけるプレセプシンの有用性. 第 56 回日本腹部救急医学会総会, 2020.
- 41) ◎森田亮, 中原一有, 小林慎二郎, 路川陽介, 藤田曜, 五十嵐洋介, 大坪毅人, 伊東文生. 妊娠 28 週に発症した総胆管結石合併急性胆嚢炎に対して, 開腹胆嚢摘出術中に経遺残胆嚢管胆道鏡にて総胆管結石を除去しえた 1 例. 第 56 回日本腹部救急医学会総会, 2020.
- 42) ◎藤田曜, 中原一有, 路川陽介, 森田亮, 末谷敬吾, 五十嵐洋介, 伊東文生. ERCP/EUS 関連手技における“Balloon Occlusion Method”を用いたステント留置術. 第 100 回日本消化器内視鏡学会総会 (JDDW2020), 2020.
- 43) ◎前畑忠輝. え!?こんな病変も取れちゃうの?治療困難症例に対する ESD. 第 100 回日本消化器内視鏡学会総会 (JDDW2020), 2020.
- 44) ◎森下朝洋, 厚川正則, 豊田秀徳, 魚嶋晴紀, 大久保裕直, 藤岡真一, 中牟田誠, 渡邊綱正, 新井泰央, 谷丈二, 藤田浩二, 大浦杏子, 田所智子, 樋本尚志, 正木勉. C 型肝炎に対するグレカプレビル/ビプレントスビルの治療効果を予測する microRNA の検討. 第 24 回日本肝臓学会大会 (JDDW2020), 2020.
- 45) ◎谷丈二, 魚嶋晴紀, 平岡淳, 高口浩一, 坪田昭人, 渡邊綱正, 浅野徹, 福西新弥, 守屋昭男, 岩佐元雄, 日高勲, 辻邦彦, 小川力, 石川達, 加藤慶三, 島田紀朋, 多田俊史, 厚川正則, 豊田秀徳, 中牟田誠. 多施設共同研究における C 型非代償性肝硬変に対する DAA 治療の成績. 第 24 回日本肝臓学会大会 (JDDW2020), 2020.
- 46) ◎森宏仁. 内視鏡用縫合器【ゼオスチャー®M】基調講演 内視鏡用縫合器の開発・臨床導入. 第 18 回日本消化器外科学会大会 (JDDW2020), 2020.
- 47) ◎小林慎二郎, 大坪毅人, 中原一有. Physical Aging(PA)score を用いた膵頭十二指腸切除術のリスク予測. 第 24 回日本肝臓学会大会 (JDDW 2020 KOBE), 2020.
- 48) ◎安田宏, 清川博史, 近江亮介, 伊東文生. 治療効果予測マーカーの可能性を持つ肝細胞癌新規腫瘍マーカー・ラミニン関連分子. 第 71 回日本電気泳動学会総会, 2020.
- 49) ◎川島亜貴世, 落合康利, 原雅樹, 吉田良仁, 五十嵐央祥, 黄世揚, 中嶋孝司, 伊東文生. 大腸憩室出血の診断と治療 当院における大腸憩室出血症例の検討. 第 75 回日本大腸肛門病学会学術集会,

2020.

- 50) ◎五十嵐央祥, 落合康利, 川島亜貴世, 原雅樹, 吉田良仁, 黄世揚, 中嶋孝司, 伊東文生. 当院における大腸憩室炎症例の臨床的検討. 第 75 回日本大腸肛門病学会学術集会, 2020.
- 51) ◎佐藤義典, 安田宏, 中本悠輔, 前畑忠輝, 伊東文生. 大腸憩室出血の診断と治療 大腸憩室出血における Interventional radiology と外科手術のリスク因子について. 第 75 回日本大腸肛門病学会学術集会, 2020.
- 52) ◎黄世揚, 落合康利, 川島亜貴世, 原雅樹, 吉田良仁, 五十嵐央祥, 中嶋孝司, 伊東文生. 当院において内視鏡的治療を行った直腸 NET の検討. 第 75 回日本大腸肛門病学会学術集会, 2020.
- 53) ◎清川博史, 前畑忠輝, 丹羽はるか, 石田潤, 中本悠輔, 近江亮介, 佐藤義典, 山下真幸, 山本博幸, 安田宏, 伊東文生. 大腸 ESD の最新の工夫 大腸 ESD における clip on clip closure method(CCCM) の有用性の検討. 第 75 回日本大腸肛門病学会学術集会, 2020.
- 54) ◎山下麻由, 清川博史, 小松拓実, 中本悠輔, 近江亮介, 服部美紀, 佐藤義典, 池田佳子, 山下真幸, 山本博幸, 前畑忠輝, 安田宏, 牧角良二, 大坪毅人, 伊東文生. 再発を認めた無症候性の成人特発性気腹症の 1 例. 第 362 回日本消化器病学会関東支部例会, 2020.
- 55) ◎中本悠輔, 清川博史, 小松拓実, 近江亮介, 服部美紀, 佐藤義典, 池田佳子, 松尾康正, 山下真幸, 山本博幸, 前畑忠輝, 安田宏, 伊東文生. 表在型食道癌に対する ESD 後に Crowned dens 症候群と頸椎症性脊髄症を発症した 1 例. 第 111 回日本消化器内視鏡学会関東支部例会, 2020.
- 56) ◎小松拓実, 佐藤義典, 安田宏, 伊東文生. 消化管出血へのアプローチの最前線 非静脈瘤性上部消化管出血における Interventional radiology/外科手術のリスク因子について. 第 111 回日本消化器内視鏡学会関東支部例会, 2020.
- 57) ◎佐藤純也, 中原一有, 伊東文生. 胆膵内視鏡治療の工夫とリスクマネジメント 安全、確実な胆道ステント、経鼻ドレナージチューブ交換の工夫. 第 111 回日本消化器内視鏡学会関東支部例会, 2020.
- 58) ◎森田亮, 中原一有, 路川陽介, 佐藤純也, 伊東文生. 胆膵内視鏡診断の進歩 胆管癌に対する抜去した金属ステントを用いたステント洗浄細胞診の可能性. 第 111 回日本消化器内視鏡学会関東支部例会, 2020.
- 59) ◎小林慎二郎, 井田圭亮, 小倉佑太, 土橋篤仁, 小泉哲, 森田亮, 路川陽介, 中原一有, 大坪毅人. 尾側膵切除術における膵切離部位と厚みに応じた定型手技. 第 51 回日本膵臓学会大会, 2021.
- 60) ◎青山夏海, 五十嵐洋介, 松尾康正, 薩田洋輔, 野口陽平, 高橋秀明, 松本伸行, 山本博幸, 伊東文生. 基礎疾患のない高齢女性に発症した内臓播種性水痘・帯状疱疹ウイルス感染の 1 例. 第 362 回日本消化器病学会関東支部例会, 2021.

② その他

- 1) ◎山本博幸. 上部消化管疾患の診断と治療 UP TO DATE. Gastrointestinal Up to Date In Kofu, 2020.
- 2) ◎山本博幸. 患者満足度の高い新時代の便秘症診療 AtoZ. 高知便秘フォーラム, 2020.
- 3) ◎橋本英篤, 渡邊綱正, 得平卓也, 鈴木達也, 服部伸洋, 池田裕喜, 安田宏, 伊東文生. 肝障害の急速な改善後に脳症を併発し、短期の体外循環で改善した急性肝不全の一救命例. 第 46 回日本急性肝不全研究会, 2020.

- 4) ◎山本博幸. 患者満足度の高い新型コロナ時代の慢性便秘症診療 AtoZ. 所沢慢性便秘症 WEB セミナー, 2020.
- 5) ◎佐藤義典, 永田尚義. LGIB の退院後長期再発リスク. 第 2 回大腸憩室研究会学術集会, 2020.
- 6) ◎山本博幸. 新型コロナ時代の酸関連疾患の診療 A to Z ～小児から高齢者までの診療エッセンス～. Next TV Symposium in KAWASAKI, 2020.
- 7) ◎山本博幸. 患者満足度の高い新型コロナ時代の慢性便秘症診療 AtoZ. 柏地区慢性便秘症セミナー, 2020.
- 8) ◎山本博幸. 患者満足度の高い新時代の便秘症診療 AtoZ. 県央地区生活習慣病フォーラム, 2020.
- 9) ◎山本博幸. 患者満足度の高い新型コロナ時代の慢性便秘症診療 AtoZ. 慢性便秘症治療を考える会, 2020.
- 10) ◎山本博幸. 患者満足度の高い新型コロナ時代の慢性便秘症診療 AtoZ. 女性便秘 WEB セミナー, 2020.
- 11) ◎山本博幸. 患者満足度の高い新型コロナ時代の便秘症診療 AtoZ. 慢性便秘を考える IN 川崎, 2020.
- 12) ◎港洋平, 佐藤義典. ゼオスーチャーM の展開. 第 2 回内視鏡的全層切除・縫合法研究会, 2020.
- 13) ◎山本博幸. 患者満足度の高い新型コロナ時代の慢性便秘症診療 AtoZ. 東葛南部慢性便秘症セミナー, 2021.
- 14) ◎中原一有. DIC を合併した急性胆道炎に対する治療戦略. リコモジュリン Web 講演会, 2021.
- 15) ◎山本博幸. 患者満足度の高い新型コロナ時代の慢性便秘症診療 AtoZ. 市川市慢性便秘症ミーティング, 2021.
- 16) ◎山本博幸. 患者満足度の高い新型コロナ時代の慢性便秘症診療 AtoZ. 船橋市慢性便秘症フォーラム, 2021.
- 17) ◎山本博幸. 患者満足度の高い新型コロナ時代の慢性便秘症診療 AtoZ. 足柄上地区慢性便秘症フォーラム, 2021.
- 18) ◎山本博幸. 患者満足度の高い新型コロナ時代の慢性便秘症診療 AtoZ. 精神科慢性便秘症講演会, 2021.
- 19) ◎山本博幸. 患者満足度の高い新型コロナ時代の慢性便秘症診療 AtoZ. 慢性便秘 WEB セミナー in 川崎, 2021.
- 20) ◎山本博幸. 患者満足度の高い新型コロナ時代の便秘症診療 AtoZ. 横須賀地区慢性便秘治療を考える会, 2021.
- 21) ◎山本博幸. 患者満足度の高い新型コロナ時代の便秘症診療 AtoZ. 小田原在宅医療研究会便秘 Web 講演会, 2021.
- 22) ◎五十嵐洋介. コロナ禍における内視鏡診療～酸分泌マネジメントの重要性～. 横浜西部 消化器疾患連携 Meeting, 2021.
- 23) ◎佐藤義典. 薬剤性粘膜障害と粘膜障害予防～最新のガイドラインを含めて～. タケキャブ WEB 講演会, 2021.
- 24) ◎山本博幸. 患者満足度の高い新型コロナ時代の慢性便秘症診療 AtoZ. 慢性便秘症 WEB セミナー, 2021.

25) ◎前畑忠輝. 内視鏡治療の新時代～内視鏡診療におけるウイルス対策を含めて～. 消化器疾患 WEB seminar, 2021.

26) ◎清川博史. GERD 診療と光線力学療法について. 消化器疾患 WEB seminar, 2021.

		和文	英文
著 書		4	
論 文	原著	3	26
	解説又は総説	11	2
	症例報告	4	2
	その他	1	
学会発表	国内学会	60	
	国際学会		
	その他	26	

内科学(腎臓・高血圧内科)

著書

- 1) 今井直彦. 腎移植後合併症 今日の診断指針 2020;(8):1040-1043.
- 2) 小竹徹, 白井小百合. 内科 増大号 検査値を読む 2020 2020;4(125):812-812.
- 3) 富永直人. 特集/尿路結石治療のパラダイムシフト 話題 4 低 Na 血症と Ca 結石 月刊「泌尿器科」 2020;11 巻第 5 号:1.
- 4) Evan R. Goldfischer 著 / 柴垣有吾 監修 / 富永直人 監訳. 世界一やさしい! 尿路結石の本 2020::1-182.
- 5) 富永直人, 吉岡まき. なぜ私に尿路結石ができたのでしょうか? 世界一やさしい! 尿路結石の本 2020::1-11.
- 6) 藤田陽子, 小島茂樹. 食事と結石 世界一やさしい! 尿路結石の本 2020::105-117.
- 7) 喜多洋平, 上原温子. カルシウム結石の予防 世界一やさしい! 尿路結石の本 2020::119-140.
- 8) 瀧康洋, 谷澤雅彦. 尿路系の基礎知識, 疾患および受診の流れ 世界一やさしい! 尿路結石の本 2020::13-24.
- 9) 牧野内龍一郎, 内田大介. ストルバイト結石の予防 世界一やさしい! 尿路結石の本 2020::141-146.
- 10) 丑丸秀, 上原圭太. 尿酸結石の予防 世界一やさしい! 尿路結石の本 2020::149-155.
- 11) 井上友彦, 寺下真帆. シスチン結石の予防 世界一やさしい! 尿路結石の本 2020::157-161.
- 12) 韓蔚, 仲田真由美. 尿路結石と生きる 世界一やさしい! 尿路結石の本 2020::163-171.
- 13) 大迫希代美, 久道三佳子. リソース 世界一やさしい! 尿路結石の本 2020::173-178.
- 14) 田邊淳, 久道三佳子. 用語集 世界一やさしい! 尿路結石の本 2020::179-182.
- 15) 村澤昌, 小禄雅人. あなたが結石を発症する確率は? 世界一やさしい! 尿路結石の本 2020::39-54.
- 16) 山田将平, 小波津香織. 結石の形成 世界一やさしい! 尿路結石の本 2020::55-64.
- 17) 角浩史, 相田紘一郎. 結石の治療 世界一やさしい! 尿路結石の本 2020::75-103.
- 18) 柴垣有吾, 白井小百合, 鈴木智, 市川大介, 谷澤雅彦. エビデンスに基づくネフローゼ症候群診療ガイドライン 2020 2020::1-82.
- 19) 櫻田勉. 第 3 章. 腹膜透析の選択. Q23. 腹膜炎にならないようにするには何に注意すればよいですか? 腎代替療法選択ガイド 2020 2020::57.
- 20) 櫻田勉. 第 3 章. 腹膜透析の選択. Q24. 出口部はどのように管理すればよいですか? 腎代替療法選択ガイド 2020 2020::58.
- 21) 櫻田勉. 第 3 章. 腹膜透析の選択. Q26. APD はどのような治療方法ですか? 腎代替療法選択ガイド 2020 2020::59.
- 22) 谷澤雅彦. 第 4 章. 腎移植の選択. Q2. 腎移植の医療費や公的支援、社会保障はどうなっていますか? 腎代替療法選択ガイド 2020 2020::65.
- 23) 小波津香織. 第 1 章. 腎代替療法の選択. Q6. それぞれの腎代替療法を受けた場合、妊娠・出産について、どのようなことに気をつけますか? 腎代替療法選択ガイド 2020 2020::8-9.
- 24) 谷澤雅彦. 腎移植後の日常生活で注意すべき点はありますか? 腎代替療法選択ガイド 2020 2020::95.

- 25) 谷澤雅彦. 委嘱腎機能が廃絶した場合は、再度腎移植は受けられますか？ 腎代替療法選択ガイド 2020 2020;:96.
- 26) 谷澤雅彦. どのような人が生体腎移植ドナーになれますか？ 腎代替療法選択ガイド 2020 2020;:97-98.
- 27) 谷澤雅彦. 生体腎移植ドナーになるためには、どのような検査を受ける必要がありますか？ 腎代替療法選択ガイド 2020 2020;:99.
- 28) 櫻田勉, 柴垣有吾. 患者の価値観、意向、不安を引き出すには 慢性腎臓病患者とともにすすめる SDM テキスト 2020;:71-81.
- 29) 櫻田勉. 第3章導入期管理「腹膜透析患者への指導」 腹膜透析研修テキスト 2020;:20-32.
- 30) 櫻田勉. 第1章②腎代替療法の種類とSDMについて 腹膜透析研修テキスト 2020;:6-8.
- 31) 池森敦子, 菅谷健, 木村健二郎. 尿中L型脂肪酸結合蛋白(L-FABP) 臨床検査データブック 2021-2022 2021;(1):735-736.
- 32) 緒方聖友, 谷澤雅彦. 血清Na 検査値ドリル 2021;(1):125-136.
- 33) 大迫希代美, 小板橋賢一郎. 入院病棟での輸液 輸液グリーンノート 2021;(1):125-131.
- 34) 田邊淳, 柴垣有吾. 高齢者 輸液グリーンノート 2021;(1):143-149.
- 35) 谷澤雅彦. CKD 輸液グリーンノート 2021;(1):191-195.
- 36) 寺下真帆. 透析 輸液グリーンノート 2021;(1):196-201.
- 37) 韓蔚, 富永直人. (3)電解質異常②低Na血症 輸液グリーンノート 2021;(1):51-56.
- 38) Uehara A, Shibagaki Y. Complication of Homeostasis (Electrolytes and Acid-Base) Acute Kidney Injury and Regenerative Medicine 2020;:147-162.

学術論文[和文]

① 原著

- 1) 今井直彦. 尿酸管理. 腎と透析, 2020;88(6):795-800.
- 2) 森内麻美, 北野夕佳, 岩井俊介, 栗栖美由希, 堤健, 若竹春明, 吉田徹, 榊井良裕, 小竹徹, 村澤昌, 白井小百合, 平泰彦, 藤谷茂樹. 血栓性微小血管障害症(TMA)と可逆性後部白質脳症(PRES)をきたした悪性高血圧症の1例. 日本救急医学会関東地方会雑誌, 2020;41(4):470-474.
- ② 総説又は症例解説
- 1) 小竹徹, 白井小百合. $\alpha 2$ マクログロブリン. 内科, 2020;125(4):812.
- 2) 大迫希代美, 谷澤雅彦, 柴垣有吾. 器移植とリハビリテーション 腎移植患者のフレイル・サルコペニアとリハビリテーション. 移植, 2020;54(6):279-284.
- 3) 池田麻理, 柴垣有吾. 臓器連関-腎臓を中心に 心腎連関 AHF における腎障害. 腎臓内科, 2020;11(4):364-374.
- 4) 西脇宏樹, 清水さやか, 中屋来哉, 柴垣有吾, 祖父江理. 腎炎診療 UP TO DATE 「膜性腎症」. 日本内科学会雑誌, 2020;109(5):910-916.
- 5) 富永直人. 低Na血症とCa結石. 泌尿器科, 2020;11(5):613-617.
- 6) 平木幸治, 柴垣有吾. こういう工夫でこんなに変わった!アドヒアランスやコンコーダンスを高めるリハビリテーション 慢性腎臓病患者に対する腎臓リハビリテーション. Journal of Clinical

Rehabilitation, 2020;29(6):601-605.

- 7) 藤田陽子, 市川大介, 柴垣有吾. 病態生理から見極める輸液・体液管理「輸液・体液管理の実際」. 薬事, 2020;62(11):2143-2148.
- 8) 小坂橋賢一郎. がん治療における腎機能・電解質のマネジメント. 腎臓内科, 2020;12(6):673-679.
- 9) 音部雄平, 平木幸治, 富永直人, 櫻田勉, 柴垣有吾. 高齢慢性腎臓病患者における身体・認知機能低下の実態および運動療法の効果. 腎と透析, 2021;90(1):133-137.
- 10) 音部雄平, 平木幸治, 富永直人, 櫻田勉, 柴垣有吾. 【合併症の進展抑制と治療】高齢慢性腎臓病患者における身体・認知機能低下の実態および運動療法の効果. 腎と透析, 2021;90(1):133-137.
- 11) 音部雄平, 平木幸治, 富永直人, 櫻田勉, 柴垣有吾. 合併症の進展抑制と治療 高齢慢性腎臓病患者における身体・認知機能低下の実態および運動療法の効果. 腎と透析, 2021;90(1):133-137.
- 12) 小松純, 瀧康洋, 河原崎宏雄. 水・電解質異常、酸塩基平衡の異常. 診断と治療, 2021;109(3):284-289.

③ 症例報告

- 1) 小波津香織, 佐藤陽隆, 小坂橋賢一郎, 櫻田勉, 柴垣有吾. 敗血症性ショックを伴いカテーテル抜去まで施行したが救命できなかった PD 関連腹膜炎の一例. 腎と透析, 2020;89:253-254.
- 2) 奥山恵美子, 市川大介, 韓蔚, 渡邊詩香, 柴垣有吾. IgA 腎症の治療中に高安動脈炎を発症した 1 例. 日本腎臓学会誌, 2020;62(6):585.
- 3) 韓蔚, 鈴木智, 市川大介, 小池淳樹, 柴垣有吾. 初回ニボルマブで急性尿細管性間質性腎炎を呈し再投与で増悪を認めなかった 1 例. 日本腎臓学会誌, 2020;62(6):565.
- 4) 宇津木友維, 角浩史, 黒屋紗也香, 寺下真帆, 小坂橋賢一郎, 柴垣有吾, 富永直人. 好酸球増多症の増悪との関連が疑われたダイアライザ反応による透析困難症の一例. 日本腎臓学会誌, 2020;62(6):556.
- 5) 田邊淳, 井上友彦, 柴垣有吾, 市川大介. 水腎症を合併した IgG4 関連疾患の 1 例. 日本腎臓学会誌, 2020;62(6):518.
- 6) 普久原智里, 小島茂樹, 小坂橋賢一郎, 櫻田勉, 柴垣有吾. プロメタジン塩酸塩による意識障害が疑われた透析患者の 1 例. 日本透析医学会雑誌, 2020;53:57.
- 7) 小島茂樹, 小坂橋賢一郎, 小波津香織, 町田慎治, 吉田圭佑, 柴垣有吾, 櫻田勉. トランスファークューブ接合不良による PD 関連腹膜炎を反復した 1 例. 日本透析医学会雑誌, 2020;53:382.
- 8) 山田将平, 金城永幸, 町田慎治, 小島茂樹, 櫻田勉, 柴垣有吾. 当院で経験したカフ型カテーテルにおける 2 例のフィブリンシース合併症. 腎と透析, 2020;89:98-100.
- 9) 山田将平, 関来未, 小坂橋賢一郎, 櫻田勉, 柴垣有吾. 症例による透析患者の画像診断 上腸間膜静脈気腫症を生じ, 保存的に改善を認めた腹膜透析患者の 1 例. 臨床透析, 2021;37(2):205-209.

④ その他

- 1) 小島茂樹, 瀧康洋, 山田将平, 柴垣有吾, 櫻田勉. 若手腎臓内科医に対する動画を用いた腹膜透析関連手術教育の取り組み. 腎と透析, 2020;89:176-178.

学術論文[英文]

① 原著

- 1) Konta T, Ichikawa K, Kawasaki R, Fujimoto S, Iseki K, Moriyama T, Yamagata K, Tsuruya K,

- Narita I, Kondo M, Shibagaki Y, Kasahara M, Asahi K, Watanabe T. Association between serum uric acid levels and mortality: a nationwide community-based cohort study. *Scientific Reports*, 2020;10(1):6066.
- 2) Uchenna Agbim, Anuj Sharma, Benedict Maliakkal, Saradasri Karri, Yazawa M, William Goldkamp, Pradeep S B Podila, Jason M Vanatta, Humberto Gonzalez, Miklos Z Molnar, Satheesh P Nair, James D Eason, Sanjaya K Satapathy. Outcomes of liver transplant recipients with acute-on-chronic liver failure based on EASL-CLIF consortium definition: a single-center study. *Transplant Direct*, 2020;6(4): e544.
 - 3) Ikeda T, Inoue S, Konta T, Murakami M, Fujimoto S, Iseki K, Moriyama T, Yamagata K, Tsuruya K, Narita I, Kondo M, Shibagaki Y, Kasahara M, Asahi K, Watanabe T. Can daily walking alone reduce pneumonia-related Mortality among Older People?. *Scientific Reports*, 2020;10(1):8556.
 - 4) Furuichi K, Shimizu M, Yamanouchi M, Hoshino J, Sakai N, Iwata Y, Toyama T, Kitajima S, Hara A, Yuzawa Y, Kitamura H, Suzuki Y, Sato H, Uesugi N, Ueda Y, Nishi S, Nishino T, Samejima K, Kohagura K, Shibagaki Y, Makino H, Matsuo S, Ubara Y, Yokoyama H, Wada T. Clinicopathological features of fast eGFR decliners among patients with Ddabetic nephropathy. *BMJ Open Diabetes Research & Care*, 2020;8(1): e001157.
 - 5) Yokoyama H, Yamamoto R, Imai E, Maruyama S, Sugiyama H, Nitta K, Tsukamoto T, Uchida S, Takeda A, Sato T, Wada T, Hayashi H, Akai Y, Fukunaga M, Tsuruya K, Masutani K, Konta T, Shoji T, Hiramatsu T, Goto S, Tamai H, Nishio S, Shirasaki A, Nagai K, Yamagata K, Hasegawa H, Yasuda H, Ichida S, Naruse T, Fukami K, Nishino T, Sobajima H, Tanaka S, Akahori T, Ito T, Terada Y, Katafuchi R, Fujimoto S, Okada H, Ishimura E, Kazama JJ, Hiromura K, Mimura T, Suzuki S, Saka Y, Sofue T, Suzuki Y, Shibagaki Y, Kitagawa K, Morozumi K, Fujita Y, Mizutani M, Shigematsu T, Furuichi K, Fujimoto K, Kashihara N, Sato H, Matsuo S, Narita I, Isaka Y. Better remission rates in elderly Japanese patients with primary membranous nephropathy in nationwide real-world practice: The Japan Nephrotic Syndrome Cohort Study (JNSCS). *Clinical and Experimental Nephrology*, 2020;24:893-909.
 - 6) Kawarazaki H, Nakashima A, Furusho M, Shimizu S, Nakata T. A questionnaire on prescription patterns of proton pump inhibitors for hemodialysis patients in Japan. *Clinical and Experimental Nephrology*, 2020;24(6):565-572.
 - 7) Yamamoto R, Imai E, Maruyama S, Yokoyama H, Sugiyama H, Nitta K, Tsukamoto T, Uchida S, Takeda A, Sato T, Wada T, Hayashi H, Akai Y, Fukunaga M, Tsuruya K, Masutani K, Konta T, Shoji T, Hiramatsu T, Goto S, Tamai H, Nishio S, Shirasaki A, Nagai K, Yamagata K, Hasegawa H, Yasuda H, Ichida S, Naruse T, Nishino T, Sobajima H, Tanaka S, Akahori T, Ito T, Terada Y, Katafuchi R, Fujimoto S, Okada H, Ishimura E, Kazama JJ, Hiromura K, Mimura T, Suzuki S, Saka Y, Sofue T, Suzuki Y, Shibagaki Y, Kitagawa K, Morozumi K, Fujita Y, Mizutani M, Shigematsu T, Kashihara N, Sato H, Matsuo S, Narita I, Isaka Y. Incidence of remission and relapse of proteinuria, end-stage kidney disease, mortality, and major outcomes in primary nephrotic syndrome: the Japan Nephrotic Syndrome Cohort Study (JNSCS). *Clinical and*

Experimental Nephrology, 2020;24(6):526-540.

- 8) Manish Talwar, Vasanthi Balaraman, Anshul Bhalla, Orsolya Cseprekal, Yazawa M, Pradeep S.B. Podila, Ambreen Azhar, L. Nicholas Cossey, James D. Eason, Miklos Z. Molnar. Validation of prognostic index for allograft outcome in kidney transplant recipients with transplant glomerulopathy. *Kidney International Reports*, 2020;5(6):915-920.
- 9) Tomohiko Inoue, China Nagano, Masafumi Matsuo, Tomohiko Yamamura, Nana Sakakibara, Tomoko Horinouchi, Yugo Shibagaki, Daisuke Ichikawa, Yuya Aoto, Shinya Ishiko, Shingo Ishimori, Rini Rossanti, Kazumoto Iijima, Kandai Nozu. Functional analysis of suspected splicing variants in CLCN5 Gene in dent disease 1. *Clinical and Experimental Nephrology*, 2020;24(7) : 606-612.
- 10) Sato Y, Fujimoto S, Iseki K, Konta T, Moriyama T, Yamagata K, Tsuruya K, Narita I, Kondo M, Kasahara M, Shibagaki Y, Asahi K, Watanabe T. Higher baseline uric acid concentration is associated with non-attainment of optimal blood pressure. *PLOS ONE*, 2020;15(7): e0236602.
- 11) Osako K, Shibagaki Y, Inoue E, Sakurada T. Effects of age and sex on the relationship between body fat area and kidney events in patients with chronic kidney disease. *Therapeutic Apheresis and Dialysis*, 2020;online(ahead):of-print.
- 12) Iseki K, Konta T, Asahi K, Yamagata K, Fujimoto S, Tsuruya K, Narita I, Kasahara M, Shibagaki Y, Moriyama T, Kondo M, Watanabe T. Higher cardiovascular mortality in men with persistent dipstick hematuria. *Clinical and Experimental Nephrology*, 2020;25:150-156.
- 13) Akira Saito, Koji Hiraki, Yuhei Ootobe, Kazuhiro P Izawa, Yugo Shibagaki. Impact of type 2 diabetes mellitus on physical activity in pre-dialysis patients with chronic kidney disease. *Clinical and Experimental Nephrology*, 2020;24(9):853-855.
- 14) Iida H, Fujimoto S, Wakita T, Yanagi M, Suzuki T, Koitabashi K, Yazawa M, Kawarazaki H, Ishibashi Y, Shibagaki Y, Kurita N. Psychological Flexibility and Depression in Advanced CKD and Dialysis. *Kidney Medicine*, 2020;2(6):684-691.
- 15) Kurita N, Wakita T, Ishibashi Y, Fujimoto S, Yazawa M, Suzuki T, Koitabashi K, Yanagi M, Kawarazaki H, Green J, Fukuhara S, Shibagaki Y. Association between health-related hope and adherence to prescribed treatment in CKD patients: multicenter cross-sectional study. *BMC Nephrology*, 2020;21(1):453.
- 16) Kiyomi Osako, Masahiko Yazawa, Maho Terashita, Naohiko Imai, Ryuto Nakazawa, Hideo Sasaki, Yugo Shibagaki. Arteriovenous fistulas after ultrasound-guided needle biopsy of kidney allografts and treatment outcomes after transcatheter embolization: A single-center experience in Japan. *Clinical and Experimental*, 2020;24(10):963-970.
- 17) Yazawa M, Tibor Fülöp, Orsolya Cseprekal, Manish Talwar, Vasanthi Balaraman, Anshul Bhalla, Ambreen Azhar, Csaba P. Kovesdy, James D. Eason, Miklos Z. Molnar. The incidence of cytomegalovirus infection after deceased-donor kidney transplantation from hepatitis-C antibody positive donors to hepatitis-C antibody negative recipients. *Renal Failure*, 2020;42:1083-1092.
- 18) Tomo Suzuki, Wei Han, Shiika Watanabe, Maho Terashita, Mayumi Nakata, Daisuke Ichikawa,

- Sayuri Shirai, Yugo Shibagaki. Clinical characteristics of thrombospondin type-1 domain-containing 7A-associated membranous nephropathy. *Renal Failure*, 2020;42(1):966-968.
- 19) Agbim U, Cseprekal O, Yazawa M, Talwar M, Balaraman V, Bhalla A, Podila PSB, Maliakkal B, Nair S, Eason JD, Molnar MZ. Factors associated with hepatitis C antibody seroconversion after transplantation of kidneys from hepatitis C infected donors to hepatitis C naïve recipients. *Renal Failure*, 2020;42(1):767-775.
 - 20) Yazawa M, Vasanthi Balaraman, Makoto Tsujita, Ambreen Azhar, Manish Talwar, Anshul Bhalla, Praveen K. Potukuchi, James D. Eason, Csaba P. Kovesdy, Miklos Z. Molnar. Donor hepatitis C antibody positivity misclassifies kidney donor profile index in non hepatitis C infected donors: time to revise the kidney donor profile index. *Transplant International*, 2020;33(12):1732-1744.
 - 21) Chiharu Hotta, Koji Hiraki, Kazuhiro P Izawa, Tsutomu Sakurada, Yugo Shibagaki. Physical activity in patients with pre-dialysis chronic kidney disease is related to physical function. *Clinical and Experimental Nephrology*, 2020;24(12):1189-1190.
 - 22) Kashihara N, Nishio T, Osonoi T, Saka Y, Imasawa T, Ohtake T, Mizuno H, Shibagaki Y, Kim H, Yajima T, Sarai N. Correction of serum potassium with sodium zirconium cyclosilicate in Japanese patients with hyperkalemia: a randomized, dose-response, phase 2/3 study. *Clinical and Experimental Nephrology*, 2020;24(12):1144-1153.
 - 23) Kurita N, Wakita T, Fujimoto S, Yanagi M, Koitabashi K, Suzuki T, Yazawa M, Kawarazaki H, Shibagaki Y, Ishibashi Y. Hopelessness and Depression Predict Sarcopenia in Advanced CKD and Dialysis: A Multicenter Cohort Study. *The Journal of Nutrition, Health & Aging*, 2020;25(5) : 593-599.
 - 24) Shu Ushimaru, Mitsumi Arito, Atsuhiko Tsutiya, Toshiyuki Sato, Kazuki Omoteyama, Masaaki Sato, Naoya Suematsu, Manae S. Kurokawa, Atsuko Kamijo-Ikemori, Yugo Shibagaki, and Tomohiro Kato. Roles of Layilin in Regulation of Low-Density Lipoprotein Receptor in Malignant Glioma Cells. *Journal of St. Marianna University*, 2020;11:53-59.
 - 25) Yamasaki Yukitaka, Ooka Seido, Tsuchida Tomoya, Nakamura Yuta, Hagiwara Yuta, Naitou Yoshiyuki, Ishibashi Yuki, Ikeda Hiroki, Sakurada Tsutomu, Handa Hiroshi, Nishine Hiroki, Takita Mumon, Morikawa Daiki, Yoshida Hideki, Fujii Shuichi, Morisawa Kenichiro, Takemura Hiromu, Fujitani Shigeki, Kunishima Hiroyuki. The peripheral lymphocyte count as a predictor of severe COVID-19 and the effect of treatment with ciclesonide. *Virus Research*, 2020;290 : 198089.
 - 26) Takashi Wada, Akinori Hara, Eri Muso, Shoichi Maruyama, Sawako Kato, Kengo Furuichi, Kenichi Yoshimura, Tadashi Toyama, Norihiko Sakai, Hiroyuki Suzuki, Tatsuo Tsukamoto, Mariko Miyazaki, Eiichi Sato, Masanori Abe, Yugo Shibagaki, Ichiei Narita, Shin Goto, Yuichi Sakamaki, Hitoshi Yokoyama, Noriko Mori, Satoshi Tanaka, Yukio Yuzawa, Midori Hasegawa, Takeshi Matsubara, Jun Wada, Katsuyuki Tanabe, Kosuke Masutani, Yasuhiro Abe, Kazuhiko Tsuruya, Shouichi Fujimoto, Shuji Iwatsubo, Akihiro Tsuda, Hitoshi Suzuki, Kenji Kasuno,

Yoshio Terada, Takeshi Nakata, Noriaki Iino, Tadashi Sofue, Hitomi Miyata, Toshiaki Nakano, Takayasu Ohtake, Shuzo Kobayashi & LICENSE study Group. Effects of LDL apheresis on proteinuria in patients with diabetes mellitus, severe proteinuria, and dyslipidemia. *Clinical and Experimental Nephrology*, 2021;25:1-8.

- 27) Sakurada T, Fujishima R, Yamada S, Kohatsu K, Kojima S, Koitabashi K, Shibagaki Y. Seasonality of peritoneal dialysis-related peritonitis in Japan: a single-center, 10-year study. *Clinical and Experimental Nephrology*, 2021;25(1):52-57.
- 28) Fujita Y, Ichikawa D, Sugaya T, Ohata K, Tanabe J, Inoue K, Hoshino S, Togo T, Watanabe M, Kimura K, Shibagaki Y, Kamijo-Ikemori A. Angiotensin II type 1a receptor loss ameliorates chronic tubulointerstitial damage after renal ischemia reperfusion. *Scientific reports*, 2021;11(1) : 982.
- 29) Miyauchi T, Yazawa M, Molnar Z. Miklos, Shibagaki Y. Correspondence:the first asian kidney transplantation prediction models for long-term patient and allograft survival. *Transplantation*, 2021;105(1): e13-e14.
- 30) Han Takagi W, Osako K, Machida S, Koitabashi K, Shibagaki Y, Sakurada T. Inpatient educational program delays the need for dialysis in patients with chronic kidney disease stage G5. *Clinical and Experimental Nephrology*, 2021;25(2):166-172.
- 31) Kashihara N, Yamasaki Y, Osonoi T, Harada H, Shibagaki Y, Zhao J, Kim H, TYajima T, Sarai N. A phase 3 multicenter open-label maintenance study to investigate the long-term safety of sodium zirconium cyclosilicate in Japanese subjects with hyperkalemia. *Clinical and Experimental Nephrology*, 2021;25(2):140-149.
- 32) Kaori Kohatsu, Sayaka Shimizu, Yugo Shibagaki, Tsutomu Sakurada. Association between Daily Urinary Sodium Excretion, Ratio of Extracellular Water-to-Total Body Water Ratio, and Kidney Outcome in Patients with Chronic Kidney Disease. *Nutrients*, 2021;13(2):650.
- 33) Kita Y, Machida S, Shibagaki Y, Sakurada T. Fact-finding survey on health literacy among Japanese predialysis chronic kidney disease patients: a multi-institutional cross-sectional study. *Clinical and Experimental Nephrology*, 2021;25(3):224-230.
- 34) Yukako Ohyama, Masahiko Yazawa, Yoichiro Haji, Akihiro Ryuge, Naoho Takizawa, Atsushi Nomura, Hideaki Shimizu, Yoshiro Fujita. Calcium pyrophosphate deposition disease involving "the largest" Bursa in the human body. *Journal of Nephrology*, 2021;* : *.

② 症例報告

- 1) Suzuki T, Ichikawa D, Nakata M, Watanabe S, Han W, Kohatsu K, Shirai S, Imai N, Koike J, Shibagaki Y. Nephrotic syndrome due to preeclampsia before 20 weeks of gestation: a case report. *BMC Nephrology*, 2020;21(1):240.
- 2) Masahiko Yazawa, Benedict Maliakkal, Satheesh Nair; Pradeep S. B. Podila, Uchenna A. Agbim, Saradasri Karri, Sabrina D. Khan, Daniel Maluf, James D. Eason, Miklos Z. Molnar, Sanjaya K. Satapathy. Longitudinal Renal Function in Liver Transplant Recipients with Acute on Chronic Liver Failure. *Clinical and Translational Gastroenterology*, 2020;11(6): e00185.

- 3) Nagayuki Kaneshiro, Yugo Shibagaki, Tsutomu Sakurada. Occlusion of a peritoneal dialysis catheter by fibrous connective tissue covering the intraperitoneal catheter: a case report. *Ther Apher Dial.*, 2020;24(3):343-344.
 - 4) Taki Y, Sumi H, Shibagaki Y, Tominaga N. Abnormal body fluid distribution due to peritoneal carcinomatosis: an overlooked cause of intradialytic hypotension. *Clinical Nephrology*, 2020; 94(1):58-60.
 - 5) Yoichiro Otaki, Tetsu Watanabe, Tsuneo Konta, Masafumi Watanabe, Koichi Asahi, Kunihiro Yamagata, Shouichi Fujimoto, Kazuhiko Tsuruya, Ichiei Narita, Masato Kasahara, Yugo Shibagaki, Kunitoshi Iseki, Toshiki Moriyama, Masahide Kondo, Tsuyoshi Watanabe. Impact of calculated plasma volume status on all-cause and cardiovascular mortality: 4-year nationwide community-based prospective cohort study. *PLoS One*, 2020;15(8): e0237601.
 - 6) Yoichiro Otaki, Tetsu Watanabe, Tsuneo Konta, Masafumi Watanabe, Koichi Asahi, Kunihiro Yamagata, Shouichi Fujimoto, Kazuhiko Tsuruya, Ichiei Narita, Masato Kasahara, Yugo Shibagaki, Kunitoshi Iseki, Toshiki Moriyama, Masahide Kondo, Tsuyoshi Watanabe. Impact of hyperuricemia on mortality related to aortic diseases: a 3.8-year nationwide community-based cohort study. *Scientific Reports*, 2020;10(1):14281.
 - 7) Hasegawa M, Uehara A, Suzuki T, Sekine R, Yazawa M, Ichikawa D, Koike J, Shibagaki Y. Nintedanib-induced glomerular microangiopathy: a case report. *CEN Case Reports*, 2020;9(4) : 295-300.
 - 8) Mari Ikeda, Kiyomi Osako, Shigeki Kojima, Kenichiro Koitabashi, Naohiko Imai, Yugo Shibagaki, and Tsutomu Sakurada. Effect of Long-term Peritoneal Dialysis on Change in Visceral Fat Area: A Single-Center Experience. *Indian journal of Nephrology*, 2020;30(6):398-402.
- ③ その他
- 1) Iseki K, Konta T, Asahi K, Yamagata K, Fujimoto S, Tsuruya K, Narita I, Kasahara M, Shibagaki Y, Moriyama T, Kondo M, Iseki C, Watanabe T. Impact of Metabolic Syndrome on the Mortality Rate among Participants in a Specific Health Check and Guidance Program in Japan. *Internal Medicine*, 2020;59(21):2671-2678.

学会発表

① 国内学会

- 1) 大迫希代美, 町田慎治, 柴垣有吾, 櫻田勉. 慢性腎臓病教育入院における腎機能進行抑制効果に影響を与える要因の解析. 第63回日本腎臓学会学術総会, 2020.
- 2) 仲田真由美, 小島茂樹, 金城永幸, 櫻田勉, 柴垣有吾. 当院における透析導入時のインターフロン- γ 遊離試験(IGRA)に関する検討. 第65回日本透析医学会学術集会・総会, 2020.
- 3) 伏屋愛加, 藤島理恵, 小島茂樹, 小坂橋賢一郎, 櫻田勉, 柴垣有吾. 当院における silent peritonitis と non-silent peritonitis との比較. 第65回日本透析医学会学術集会・総会, 2020.
- 4) 矢尾淳, 栗原資明, 篠崎倫哉, 大塚智之, 遠山大輔, 井上恭平, 小向大輔, 水戸晃, 武田勝, 藤本泰博, 玉木遼, 比毛稔, 由井淑子, 高田広美, 櫻田勉, 宇田川崇, 石川裕泰, 前田国見, 前波輝彦, 宍戸寛治,

- 川崎市透析災害対策協議会(Kawasaki-DD). 台風 19 号の影響に対する神奈川県川崎市における透析災害対応について. 第 65 回日本透析医学会学術集会・総会, 2020.
- 5) 吉田圭佑, 山内真之, 与那覇朝樹, 富永直人. 公的扶助を受給する血液透析患者と 25D 濃度. 第 65 回日本透析医学会学術集会・総会, 2020.
 - 6) 藤田陽子, 菅谷健, 大畑敬一, 市川大介, 井上一步, 星野誠子, 木村健二郎, 柴垣有吾, 池森敦子. アンジオテンシン II type 1a 受容体 (AT1a) 欠損は、腎虚血再灌流後の慢性腎障害を抑制する. 第 63 回日本腎臓学会学術総会, 2020.
 - 7) 山田将平, 田邊淳, 小倉裕司, 菅谷健, 大畑敬一, 永井義夫, 市川大介, 星野誠子, 木村健二郎, 柴垣有吾, 池森敦子. GLP-1 受容体作動薬による糖尿病性腎臓病の腎保護効果とサルコペニア抑制効果の検討. 第 63 回日本腎臓学会学術総会, 2020.
 - 8) 藤田陽子, 菅谷健, 大畑敬一, 市川大介, 井上一步, 星野誠子, 木村健二郎, 柴垣有吾, 池森敦子. 腎 L 型脂肪酸結合蛋白発現(L-FABP)および Ang II 受容体(AT1a)欠損は、腎虚血再灌流後の慢性腎障害を抑制する. 第 63 回日本腎臓学会学術総会, 2020.
 - 9) 田邊淳, 小野弓絵, 中林実輝絵, 菅谷健, 大畑敬一, 市川大介, 星野誠子, 木村健二郎, 柴垣有吾, 池森敦子. 腎低酸素バイオマーカーとしての尿中 L 型脂肪酸結合タンパク(L-FABP)の可能性. 第 63 回日本腎臓学会学術総会, 2020.
 - 10) 移植腎長期生着に対する方策：腎臓内科医は腎移植にどう関わるか？. 移植腎長期生着のための移植腎機能低下要因の管理～特に非免疫学的要因について. 第 63 回日本腎臓学会学術総会, 2020.
 - 11) 櫻田勉, 小坂橋賢一郎, 小島茂樹, 小波津香織, 東山恵, 畠中真弓, 藤島千華, 薬師寺優希, 柴垣有吾. 透析療法選択外来における Shared decision making が残存腎機能へ与える影響. 第 63 回日本腎臓学会学術総会, 2020.
 - 12) 山本信, 小松純, 北見美穂, 久道三佳子, 瀧康洋, 河原崎宏雄. 血液透析患者における特発性腎破裂の一例. 第 63 回日本腎臓学会学術総会, 2020.
 - 13) 喜多洋平, 町田慎治, 松井勝臣, 白井小百合, 櫻田勉, 柴垣有吾. 保存期慢性腎臓病患者におけるヘルスリテラシーに関する検討. 第 63 回日本腎臓学会学術総会, 2020.
 - 14) 富永直人, 与那覇朝樹, 山内真之, 角浩史, 瀧康洋, 柴垣有吾, 椎崎和弘, 矢野彰三. 血液透析患者において活性型 VD 薬や CaSR 作動薬の使用は、PTH に対する骨の反応性を減弱させる. 第 63 回日本腎臓学会学術総会, 2020.
 - 15) 佐藤陽隆, 町田慎治, 柴垣有吾, 櫻田勉. 慢性腎臓病患者の高ホモシステイン血症と蛋白摂取量との関連について. 第 63 回日本腎臓学会学術総会, 2020.
 - 16) 喜多洋平, 韓蔚, 櫻田勉, 柴垣有吾. 慢性腎臓病教育入院を実施する患者のヘルスリテラシーに関する検討. 第 63 回日本腎臓学会学術総会, 2020.
 - 17) 吉田圭佑, 喜多洋平, 韓蔚, 清水さやか, 柴垣有吾, 櫻田勉. 慢性腎臓病教育入院プログラムが透析導入後の生命予後に及ぼす影響. 第 63 回日本腎臓学会学術総会, 2020.
 - 18) 櫻田勉. 高齢 CKD 患者に対する Shared decision making を用いた透析療法の選択. 第 11 回日本プライマリ・ケア連合学会学術大会, 2020.
 - 19) 山田将平. 腹膜透析導入時の内臓脂肪および皮下脂肪と腹膜炎との関連. 第 26 回日本腹膜透析医学会学術集会・総会, 2020.

- 20) 小島茂樹. 当院における PD 関連腹膜炎の修正可能な危険因子の検討. 第 26 回日本腹膜透析医学会 学術集会・総会, 2020.
- 21) 小山哲平. 腹膜透析患者の位相角(Phase angle)に関連する因子の検討. 第 26 回日本腹膜透析医学会 学術集会・総会, 2020.
- 22) 村澤昌. 腹膜透析導入による介護者の負担変化についての観察研究. 第 26 回日本腹膜透析医学会 学術集会・総会, 2020.
- 23) 櫻田勉. 国際腹膜透析学会からの勧告～腹膜透析患者における COVID-19 に関する戦略～. 第 26 回日本腹膜透析医学会学術集会・総会, 2020.
- 24) 櫻田勉. 腹膜透析患者の導入期管理. 第 26 回日本腹膜透析医学会学術集会・総会, 2020.
- 25) 森久保悟. マニトール中毒による急性腎障害に対し血液透析療法施行にて改善を認めた一例. 第 50 回日本腎臓学会東部学術大会, 2020.
- 26) 奥山恵美子. IgA 腎症の治療中に高安動脈炎を発症した 1 例. 第 50 回日本腎臓学会東部学術大会, 2020.
- 27) 田邊淳. 水腎症を合併した IgG4 関連疾患の 1 例. 第 50 回日本腎臓学会東部学術大会, 2020.
- 28) 宇津木友維, 角浩史, 黒屋紗也香, 寺下真帆, 小板橋賢一郎, 柴垣有吾, 富永直人. 好酸球増多症の増悪との関連が疑われたダイアライザ反応による透析困難症の一例. 第 50 回日本腎臓学会東部学術大会, 2020.
- 29) 緒方聖友. pseudo・hyposmolar・translocational すべての要素を認めた低 Na 血症の一例 ～何でモニタリングするか?～. 第 50 回日本腎臓学会東部学術大会, 2020.
- 30) 伏屋愛加. 経過観察されていた混合性結合組織病に膜性腎症を合併した一例. 第 50 回日本腎臓学会東部学術大会, 2020.
- 31) 韓蔚. 初回ニボルマブで急性尿細管性間質性腎炎を呈し再投与で増悪を認めなかった 1 例. 第 50 回日本腎臓学会東部学術大会, 2020.
- 32) 櫻田勉. 腎臓病療養指導士を中心とするチーム医療としての CKD 教育入院～医師の立場から考える～. 第 50 回日本腎臓学会東部学術大会, 2020.
- 33) 富永直人, 与那覇朝樹, 山内真之, 角浩史, 瀧康洋, 柴垣有吾, 椎崎和弘, 矢野彰三. 維持血液透析患者において活性型ビタミン D 薬やカルシウム感知受容体作動薬の使用は、副甲状腺ホルモンに対する骨の反応性を減弱させる. 第 22 回日本骨粗鬆症学会, 2020.
- 34) 谷澤雅彦. 肝腎同時移植における移植後 Class II DSA と C1q binding DSA は生命予後・移植腎予後を悪化させる. 第 56 回日本移植学会総会, 2020.
- 35) 谷澤雅彦. 腎移植診療の内科連携～聖マリアンナ医科大学の 10 年の成果～. 第 56 回日本移植学会総会, 2020.
- 36) 谷澤雅彦. 高齢透析導入患者における、透析導入時フレイル・身体活動度の予後への影響とその予防. 第 65 回日本透析医学会学術集会・総会, 2020.
- 37) 谷澤雅彦, 柴垣有吾. 透析施設への自立的な通院方法が血液透析患者の HRQOL に及ぼす効果 ～JDOPPS コホートより～. 第 65 回日本透析医学会学術集会・総会, 2020.
- 38) 澤邊愛加, 藤島理恵, 小島茂樹, 小板橋賢一郎, 櫻田勉, 柴垣有吾. 当院における silent peritonitis と non-silent peritonitis との比較. 第 65 回日本透析医学会学術集会・総会, 2020.

- 39) 小島茂樹, 小坂橋賢一郎, 小波津香織, 町田慎治, 吉田圭佑, 柴垣有吾, 櫻田勉. トランスファークチュール接合不良によるPD関連腹膜炎を反復した1例. 第65回日本透析医学会学術集会・総会, 2020.
- 40) 吉田圭佑, 山内真之, 与那覇朝樹, 富永直人. 公的扶助を受給する血液透析患者と25D濃度. 第65回日本透析医学会学術集会・総会, 2020.
- 41) 普久原智里, 小島茂樹, 小坂橋賢一郎, 櫻田勉, 柴垣有吾. プロメタジン塩酸塩による意識障害が疑われた透析患者の1例. 第65回日本透析医学会学術集会・総会, 2020.
- 42) 小島茂樹, 瀧康洋, 山田将平, 柴垣有吾, 櫻田勉. 若手腎臓内科医に対する動画を用いた腹膜透析関連手術教育の取り組み. 第24回日本透析アクセス医学会学術集会・総会, 2020.
- 43) 山田将平, 金城永幸, 町田慎治, 小島茂樹, 櫻田勉, 柴垣有吾. 当院で経験したカフ型カテーテルにおける2例のフィブリンシース合併症. 第24回日本透析アクセス医学会学術集会・総会, 2020.
- 44) 櫻田勉. カテーテル挿入術の現状-誰が入れるか 教育とトレーニング-. 第24回日本透析アクセス医学会学術集会・総会, 2020.
- 45) ◎鏑木真弓, 水上平祐, 松本博文, 白石眞, 山野嘉久, 菱田吉明, 韓蔚, 緒方聖友. 免疫チェックポイント阻害剤のペムプロリズマブにより Parkinsonism を認めた一例. 第235回日本神経学会関東・甲信越地方会, 2020.
- 46) 後藤俊介, 小口英世, 酒井謙, 三上哲夫, 市川大介, 谷澤雅彦, 小池淳樹, 古市賢吾, 川端雅彦, 横山仁, 祖父江理, 伊吹英美, 西慎一. マージナルドナー腎移植の安全性に関する新規エビデンス創出研究 生体腎移植マージナルドナーの腎病理解析. 第54回日本臨床腎移植学会, 2021.
- 47) 宮内隆政, 谷澤雅彦, 緒方聖友, 村田真理絵, 櫻井裕子, 大迫希代美, 寺下真帆, 今井直彦, 佐々木秀郎, 菊地栄次, 市田公美, 柴垣有吾. 腎性低尿酸血症ドナーから生体腎移植後に低尿酸血症を呈した一例. 第54回日本臨床腎移植学会, 2021.
- 48) 音部雄平, 平木幸治, 成悟志, 西澤肇, 岡野真名, 瀧康洋, 角浩史, 蜂須賀里菜, 韓蔚, 高橋政樹, 鈴木瑞恵, 増田浩了, 山田実, 柴垣有吾, 富永直人. 高齢保存期慢性腎臓病患者に対する運動介入が認知機能に及ぼす効果-無作為化比較試験による検討-. 第11回日本腎臓リハビリテーション学会学術集会, 2021.
- 49) 岡野真名, 音部雄平, 平木幸治, 西澤肇, 大成悟志, 井澤和夫, 富永直人, 櫻田勉, 柴垣有吾. 高齢保存期CKD患者におけるうつ傾向は身体活動量に関連するか?. 第11回日本腎臓リハビリテーション学会学術集会, 2021.
- 50) 小竹徹, 山田将平, 小倉裕司, 渡邊詩香, 市川大介, 田邊淳, 永井義夫, 菅谷健, 木村健二郎, 柴垣有吾, 池森敦子. 2型糖尿病における習慣的走運動のサルコペニアおよび腎疾患抑制効果の検証. 第11回日本腎臓リハビリテーション学会学術集会, 2021.
- 51) 山田将平, 田邊淳, 小倉裕司, 菅谷健, 永井義夫, 渡邊詩香, 市川大介, 木村健二郎, 柴垣有吾, 池森敦子. 糖尿病性腎臓病を伴う2型糖尿病におけるGLP-1受容体作動薬のサルコペニア抑制効果の検討. 第11回日本腎臓リハビリテーション学会学術集会, 2021.
- 52) Inoue K, Yamada S, Hosino S, Shibagaki Y, Ikemori A. Effect of Glucagon-like peptide-1, receptor agonist, liraglutide, against diabetic retinal edema in spontaneously diabetic torii fatty rats. 第126回日本解剖学会総会・全国学術集会・第98回日本生理学会大会 合同大会, 2021.

② 国際学会

- 1) M. Yazawa, O. Cseprekal, R. A. Helmick, M. Talwar, V. Balaraman, P. S. Podila, S. Fossey, S. K. Satapathy, J. D. Eason, M. Z. Molnar. Association Between Longer Hospitalization And Development Of De Novo Donor Specific Antibody In Simultaneous Liver -Kidney Transplant Recipients. 2020 American Transplant Congress, 2020.
- 2) A. Azhar, M. Yazawa, M. Talwar, V. Balaraman, A. Bhalla, U. A. Agbim, B. Maliakkal, J. P. Kothadia, S. Nair, J. D. Eason, M. Z. Molnar. Association between ezetimibe usage and hepatitis C RNA levels in uninfected kidney transplant recipients who received hepatitis C infected kidneys. 2020 American Transplant Congress, 2020.
- 3) M. Yazawa, B. Maliakkal, S. Nair, Y. Jiang, P. S. Podila, U. A. Agbim, S. Karri, S. D. Khan, D. Maluf, J. D. Eason, M. Z. Molnar, S. K. Satapathy. Post-Transplant Renal Function In ACLF Patients Based On Pre-Transplant Severity Of Renal Dysfunction Without Kidney Transplant. 2020 American Transplant Congress, 2020.
- 4) M. Talwar, V. Balaraman, A. Bhalla, O. Cseprekal, M. Yazawa, P. S. Podila, A. Azhar, L. N. Cossey, J. D. Eason, M. Z. Molnar. Validation of prognostic index for allograft outcome in kidney transplant recipients with transplant glomerulopathy. 2020 American Transplant Congress, 2020.
- 5) M. Yazawa, T. Fülöp, O. Cseprekal, M. Talwar, V. Balaraman, A. Bhalla, A. Azhar, C. P. Kovesdy, J. D. Eason, M. Z. Molnar. Incidence of cytomegalovirus infection in deceased donor kidney transplantation from hepatitis-c antibody positive donors to hepatitis-c antibody negative recipients: a national registry analysis. 2020 American Transplant Congress, 2020.
- 6) Miklos Zsolt Molnar, Manish Talwar, Vasanthi Balaraman, Anshul Bhalla, Ambreen Azhar, Masahiko Yazawa, Makoto Tsujita, Pradeep Podila, Satheesh Nair, James Eason. First year renal outcome of transplantations of kidneys from hepatitis c infected donors to hepatitis c negative recipients. 57th ERA-EDTA Congress, 2020.
- 7) Sanjaya K. Satapathy, Yu Jiang, Masahiko Yazawa, Miklos Molnar, Raiya Sarwar, Tandy Agostini, Carlos Figueredo, Daniel Maluf, Saleh Elwir, James Trotter, Arul M. Thomas, Coleman Smith, Danielle Brandman, Shadab Siddiqui, Mary Rinella, Kymberly Watt. GFR reset point at 3 months after liver Transplant is a superior predictor of both liver and kidney disease related outcomes: Analysis from a large cohort of NASH patients (NailNASH Consortium). 2020 EASL, 2020.
- 8) Masahiko Yazawa, Vasanthi Balaraman, Makoto Tsujita, Ambreen Azhar, Manish Talwar, Anshul Bhalla, Csaba P. Kovesdy, James D. Eason, Miklos Z. Molnar. Donor Hepatitis C Antibody Positivity Misclassifies Kidney Donor Profile Index in Non Hepatitis C Infected Donors: Time to Revise the Kidney Donor Profile Index. ASN 2020 Annual Meeting, 2020.
- 9) Fujita Y, Sugaya T, Ichikawa D, Tanabe J, Kimura K, Shibagaki Y, Ikemori A. Renal expression of L-type fatty acid binding protein in addition to angiotensin II Type 1a receptor loss ameliorates chronic tubulointerstitial damage after renal ischemia reperfusion. ASN Kidney Week 2020, 2020.

- 10) Fujita Y, Sugaya T, Ichikawa D, Tanabe J, Kimura K, Shibagaki Y, Ikemori A. Renal expression of L-type fatty acid binding protein in addition to angiotensin II Type 1a receptor loss ameliorates chronic tubulointerstitial damage after renal ischemia reperfusion. ASN Kidney Week 2020, 2020.
- 11) Fujita Y, Sugaya T, Ichikawa D, Tanabe J, Kimura K, Shibagaki Y, Ikemori A. Angiotensin II type 1a receptor loss ameliorates chronic tubulointerstitial damage after renal ischemia reperfusion. ASN Kidney Week 2020, 2020.
- 12) Yamada S, Tanabe J, Sugaya T, Ichikawa D, Kimura K, Shibagaki Y, Ikemori A. Renoprotective effect of GLP-1 receptor agonist, liraglutide, in early phase of diabetic kidney disease in spontaneously diabetic tori fatty rats. ASN Kidney Week 2020, 2020.
- 13) Masahiko Yazawa, Vasanthi Balaraman, Makoto Tsujita, Ambreen Azhar, Manish Talwar, Anshul Bhalla, Csaba P. Kovesdy, James D. Eason, Miklos Z. Molnar. Donor Hepatitis C Antibody Positivity Misclassifies Kidney Donor Profile Index in Non Hepatitis C Infected Donors: Time to Revise the Kidney Donor Profile Index. Kidney Week 2020, 2020.

③ その他

- 1) 櫻田勉. 当院における透析療法選択外来～実際の運用とその効果について. WEB セミナー腎不全治療法選択を支援する, 2020.
- 2) 櫻田勉. 腎臓領域における COVID-19～当院における診療をふくめて～. PD OASIS 講演会, 2020.
- 3) 富永直人. 水バランス異常症としての低 Na 血症. 大塚製薬オンライン社内研修会, 2020.
- 4) 松井勝臣. 腎性貧血の診断と治療～HIF-PH 阻害薬への期待～. 腎性貧血 web セミナー, 2020.
- 5) 櫻田勉. PD 感染症の診断と治療～腹膜炎から出口部感染まで～. PD 合併症管理 WEB セミナー, 2020.
- 6) 櫻田勉. CKD 患者におけるたんぱく質の摂取量を再考する. 大江戸食事療法研究会 2020, 2020.
- 7) 富永直人. 多摩区エリアにおける病診連携と CKD 教育入院の取り組み. バイエル薬品外来講師勉強会, 2020.
- 8) 松井勝臣. 腎性貧血治療と HIF-PH 阻害薬. 薬剤師セミナー 新しい腎性貧血治療を考える, 2020.
- 9) 谷澤雅彦. 当たり前の医療へ、腎移植-若手腎臓内科医への提言-. 内科医のための腎移植セミナー, 2020.
- 10) 櫻田勉. 変わりゆく高齢 CKD 患者の診療, 高齢 CKD 患者の在宅医療を考える. Live Distribution, 2020.
- 11) 櫻田勉. 変わりゆく高齢 CKD 患者の診療, 高齢 CKD 患者の在宅医療を考える. Live Distribution, 2020.
- 12) 櫻田勉. 慢性腎臓病教育入院がもたらす効果について. ホスレノール web カンファレンス, 2020.
- 13) 富永直人. 低 Na 血症の臨床～水利尿不全へのアプローチ～. SIADH Live Seminar, 2020.
- 14) 松井勝臣. 腎性貧血と HIF-PH 阻害薬. 鳥居薬品社員研修会, 2020.
- 15) 松井勝臣. 腎性貧血と HIF-PH 阻害薬. 横浜西区薬剤師会学術講演会, 2020.
- 16) 小波津香織. 腎代替療法選択における妊娠・出産の影響. 腎代替療法を円滑に進めるための web セミナー, 2020.
- 17) 松井勝臣. CKD-MBD の病態と治療. 三和化学研究所社員研修会, 2021.
- 18) 松井勝臣. 慢性腎臓病管理. 興和創薬株式会社外来講師研修会, 2021.

- 19) 松井勝臣. PD 維持期の管理. テルモ腎不全看護セミナーPD Ns web Seminar, 2021.
- 20) 松井勝臣. 腎性貧血と HIF-PH 阻害薬. 第 8 回 湘南地区総合内科セミナー, 2021.
- 21) 松井勝臣. 腎性貧血と HIF-PH 阻害薬. 第 8 回湘南地区総合内科セミナー, 2021.
- 22) 谷澤雅彦. 腎移植 update: 日米の差から日本の腎移植を再考する. 名南 CKD 合併症対策 Web セミナー, 2021.
- 23) 松井勝臣. 明日からの腎性貧血治療を考える. 旭区医師会講演会, 2021.
- 24) 松井勝臣. 腎性貧血と HIF-PH 阻害薬. 茅ヶ崎医師会内科医会オンライン学術講演会, 2021.
- 25) 松井勝臣. 腎性貧血と HIF-PH 阻害薬. バイエル薬品株式会社社内勉強会, 2021.
- 26) 松井勝臣. CKD および合併症の管理. 瀬谷区医師会学術講演会, 2021.
- 27) 富永直人. 透析患者における CKD-MBD の日常臨床. CKD-MBD 診療 WEB 社内勉強会, 2021.
- 28) 櫻田勉. 当院における COVID-19 診療～透析患者への対策を中心に～. Kidney Treatment Meeting, 2020.

		和文	英文
著 書		37	1
論 文	原著	2	34
	解説又は総説	12	
	症例報告	9	8
	その他	1	1
学会発表	国内学会	51	1
	国際学会		12
	その他	27	1

内科学(代謝・内分泌内科)

著書

- 1) 曾根正勝. 多毛症 今日の診断指針 2020;(8):73-74.
- 2) 方波見卓行, 川名部新. 第5章 副腎および関連疾患 A 総論 1 画像検査の概要 内分泌画像検査・診断マニュアル 2020;(改訂 2):151-154.
- 3) 方波見卓行, 松葉怜. 第5章 副腎および関連疾患 C subclinical Cushing 症候群 1 副腎 CT・MRI 内分泌画像検査・診断マニュアル 2020;(改訂 2):160-161.
- 4) 方波見卓行, 中川朋子. 第5章 副腎および関連疾患 C subclinical Cushing 症候群 2 副腎シンチグラフィ 内分泌画像検査・診断マニュアル 2020;(改訂 2):162-163.
- 5) 方波見卓行, 山本雄太郎. 第5章 副腎および関連疾患 D PMAH 1 副腎 CT・MRI 内分泌画像検査・診断マニュアル 2020;(改訂 2):164-165.
- 6) 方波見卓行, 久保ゆい. 第5章 副腎および関連疾患 D PMAH 2 副腎シンチグラフィ 内分泌画像検査・診断マニュアル 2020;(改訂 2):166-167.
- 7) 方波見卓行. 原発性アルドステロン症 今日の治療指針 2021 2021::821-822.
- 8) 曾根正勝. 褐色細胞腫 今日の治療指針 2021 2021::825-827.
- 9) 曾根正勝. 7. 副腎皮質ステロイド療法の必須知識 アレルギー診療必携ハンドブック 2021::80-92.

学術論文[和文]

① 原著

- 1) 海鋒有希子, 八木麻衣子, 石川大介, 渡邊紗都, 赤尾圭吾, 桑村雄偉, 大森慎太郎, 太田明雄. 2 型糖尿病患者の筋力および筋肉の質における患者背景および身体機能についての検討. 糖尿病, 2020;63(4):172-178.
- 2) 佐々木貴浩, 古畑智久, 臼井創大, 小野龍宣, 野田顕義, 中嶋孝司, 宮島伸宜, 大森慎太郎, 太田明雄, 大坪毅人. Metabolic surgery の立ち上げと現状. 川崎市医師会医学会誌, 2020;37:1-4.

② 総説又は症例解説

- 1) 永井義夫. 糖尿病の配合剤/利点と問題点. 糖尿病・内分泌代謝科, 2020;50(5):335-337.
- 2) 中村祐太, 永井義夫. シックデイの一般管理やそのときの内服継続・中止の判断を教えてください. レジデントノート増刊 改訂版 糖尿病薬・インスリン治療 基本と使い分け Update, 2020;22(5):193-197.
- 3) 曾根正勝. 原発性アルドステロン症:疫学と診断の最前線. 日本臨牀増刊号 高血圧学 下, 2020;78(Suppl2):317-322.
- 4) 方波見卓行, 久保ゆい, 松葉怜. アルドステロン症確定診断のための機能確認検査. 循環器内科, 2020;88(3):263-268.
- 5) 曾根正勝. アルドステロン症のスクリーニングの話題と課題. 循環器内科, 2020;88(3):259-262.
- 6) 大野洋一, 曾根正勝, 稲垣暢也. 原発性アルドステロン症と糖脂質代謝異常. 循環器内科, 2020;88(3):243-248.
- 7) 方波見卓行, 久保ゆい, 川名部新. 褐色細胞腫の検査・診断法;概論. 日本臨牀増刊号 内分泌腫瘍

(第2版), 2020;78(Suppl4) : 610-615.

- 8) 方波見卓行, 佐藤怜奈, 月山秀一. 下垂体機能低下症と副腎不全. 糖尿病・内分泌代謝科, 2020;51(3): 194-200.
- 9) 田浦大輔, 曾根正勝. アジソン病. 生体の科学, 2020;:500-501.
- 10) 方波見卓行, 川名部新. クッシング病. 生体の科学, 2020;71(5):492-493.
- 11) 中川朋子. 患者中心医療における糖尿病治療. 内科, 2021;127(3):339-344.

② 症例報告

- 1) 橋本瑛理子, 永井義夫, 石井聡, 田中逸. 糖尿病ケトーススで加療中に末梢静脈カテーテルによると思われる敗血症性肺塞栓症を発症した大酒家の1例. *Diabetes Journal*(糖尿病と代謝), 2020;48(1) : 54-58.

④ その他

- 1) 木田圭亮, 中村祐太, 鈴木規雄. 【糖尿病患者の心血管病罹患リスクにどう立ち向かうか】 治す 糖尿病患者の心不全をどう治療する?. *Heart View*, 2020;24(7):632-637.
- 2) 赤水尚史, 鈴木敦詞, 杉野法広, 方波見卓行. 座談会 : 日常診療で内分泌疾患を見逃さないために～ 全身の機能のささいな異常からも内分泌疾患を疑う視点が不可欠～. 内分泌疾患診断 UPDATE～プライマリで見逃さないために～, 2021;1:1-4.

学術論文[英文]

① 原著

- 1) Taura Daisuke, Nakao Kazuhiro, Nakagawa Yasuaki, Kinoshita Hideyuki, Sone Masakatsu, Nakao Kazuwa. C-type natriuretic peptide (CNP)/guanylate cyclase B (GC-B) system and endothelin-1(ET-1)/ET receptor A and B system in human vasculature. *Canadian journal of physiology and pharmacology*, 2020;98(9):611-617.
- 2) Tsujimoto Hiraku, Kasahara Tomoko, Sueta Shin-ichi, Araoka Toshikazu, Sakamoto Satoko, Okada Chihiro, Mae Shin-ichi, Nakajima Taiki, Okamoto Natsumi, Taura Daisuke, Nasu Makoto, Shimizu Tatsuya, Ryosaka Makoto, Li Zhongwei, Sone Masakatsu, Ikeya Makoto, Watanabe Akira, Osafune Kenji. A Modular Differentiation System Maps Multiple Human Kidney Lineages from Pluripotent Stem Cells. *Cell Reports*, 2020;31(1):107476.
- 3) Nakamaru Ryo, Yamamoto Koichi, Rakugi Hiromi, Akasaka Hiroshi, Kurihara Isao, Ichijo Takamasa, Takeda Yoshiyu, Katabami Takuyuki, Tsuiki Mika, Wada Norio, Ogawa Yoshihiro, Kawashima Junji, Sone Masakatsu, Yoshimoto Takanobu, Okamoto Ryuji, Fujita Megumi, Kobayashi Hiroki, Tamura Kouichi, Kamemura Kohei, Okamura Shintaro, Kakutani Miki, Tanabe Akiyo, Naruse Mitsuhide, JPAS/JRAS Study Group. Obesity predicts persistence of resistant hypertension after surgery in patients with primary aldosteronism. *Clinical endocrinology*, 2020;93(3):229-237.
- 4) Kimura Noriko, Shiga Kiyoto, Kaneko Kenichi, Sugisawa Chiho, Katabami Takayuki, Naruse Mitsuhide. The Diagnostic Dilemma of GATA3 Immunohistochemistry. *Endocrine pathology*, 2020;31(2):95-100.

- 5) Naruse Mitsuhide, Yamamoto Koichi, Katabami Takuyuki, Nakamaru Ryo, Sone Masakatsu, Kobayashi Hiroki, Tanabe Akiyo. Age, Gender, and Body Mass Index as Determinants of Surgical Outcome in Primary Aldosteronism. *Hormone and metabolic research*, 2020;52(6):454-458.
- 6) Ohno Youichi, Sone Masakatsu, Inagaki Nobuya, Kawashima Akiyuki, Takeda Yoshiyu, Yoneda Takashi, Kurihara Isao, Itoh Hiroshi, Tsuiki Mika, Ichijo Takamasa, Katabami Takuyuki, Wada Norio, Sakamoto Ryuichi, Ogawa Yoshihiro, Yoshimoto Takanobu, Yamada Tetsuya, Kawashima Junji, Matsuda Yuichi, Kobayashi Hiroki, Kamemura Kohei, Yamamoto Koichi, Otsuki Michio, Okamura Shintaro, Izawa Shoichiro, Okamoto Ryuji, Tamura Kouichi, Tanabe Akiyo, Naruse Mitsuhide; JPAS/JRAS Study Group. Nadir Aldosterone Levels After Confirmatory Tests Are Correlated With Left Ventricular Hypertrophy in Primary Aldosteronism. *Hypertension*, 2020;75(6):1475-1482.
- 7) Kobayashi Yusuke, Haze Tatsuya, Yano Yuichiro, Tamura Kouichi, Kurihara Isao, Ichijo Takamasa, Yoneda Takashi, Katabami Takuyuki, Tsuiki Mika, Wada Norio, Ogawa Yoshihiro, Kawashima Junji, Sone Masakatsu, Inagaki Nobuya, Yamada Tetsuya, Okamoto Ryuji, Fujita Megumi, Kamemura Kohei, Yamamoto Koichi, Izawa Shoichiro, Tanabe Akiyo and Naruse Mitsuhide and JPAS/JRAS Study Group. Associations Between Changes in Plasma Renin Activity and Aldosterone Concentrations and Changes in Kidney Function After Treatment for Primary Aldosteronism. *Kidney International Reports*, 2020;5(8):1291-1297.
- 8) Saiki Aya, Otsuki Michio, Tamada Daisuke, Kitamura Tetsuhiro, Shimomura Iichiro, Kurihara Isao, Ichijo Takamasa, Takeda Yoshiyu, Katabami Takuyuki, Tsuiki Mika, Wada Norio, Yanase Toshihiko, Ogawa Yoshihiro, Kawashima Junji, Sone Masakatsu, Inagaki Nobuya, Yoshimoto Takanobu, Okamoto Ryuji, Takahashi Katsutoshi, Kobayashi Hiroki, Tamura Kouichi, Kamemura Kohei, Yamamoto Koichi, Izawa Shoichiro, Kakutani Miki, Yamada Masanobu, Tanabe Akiyo, Naruse Mitsuhide. Diabetes Mellitus Itself Increases Cardio-Cerebrovascular Risk and Renal Complications in Primary Aldosteronism. *The Journal of Clinical Endocrinology and Metabolism*, 2020;105(7): e2531-e2537.
- 9) Katabami Takuyuki, Tsukiyama Hidekazu, Tanabe Makito, Matsuba Ren, Murakami Mariko, Nishine Ami, Shimizu Sachi, Sakai Kensuke, Tanaka Yasushi & Yanase Toshihiko. Development of a simple prediction model for adrenal crisis diagnosis. *Scientific Reports*, 2020;10(1):13546.
- 10) Nakayama Taiga, Nagai Yoshio, Yasunaka Yuka, Uruguchi Takeo, Wada Yukihisa, Sone Masakatsu, Tanaka Yasushi. Effect of Eating Glutinous Brown Rice Twice a Day for 6 Weeks on Serum 1,5-Anhydroglucitol in Japanese Subjects without Diabetes. *Journal of Nutrition and Metabolism*, 2020::doi:10.1155/2020/8847781.
- 11) Yamasaki Yukitaka, Ooka Seido, Tsuchida Tomoya, Nakamura Yuta, Hagiwara Yuta, Naitou Yoshiyuki, Ishibashi Yuki, Ikeda Hiroki, Sakurada Tsutomu, Handa Hiroshi, Nishine Hiroki, Takita Mumon, Morikawa Daiki, Yoshida Hideki, Fujii Shuichi, Morisawa Kenichiro, Takemura Hiromu, Fujitani Shigeki, Kunishima Hiroyuki. The peripheral lymphocyte count as a predictor of severe COVID-19 and the effect of treatment with ciclesonide. *Virus Research*, 2020;290 :

198089.

- 12) Nakamaru Ryo, Yamamoto Koichi, Akasaka Hiroshi, Rakugi Hiromi, Kurihara Isao, Yoneda Takashi, Ichijo Takamasa, Katabami Takuyuki, Tsuiki Mika, Wada Norio, Yamada Tetsuya, Kobayashi Hiroki, Tamura Kouichi, Ogawa Yoshihiro, Kawashima Junji, Inagaki Nobuya, Fujita Megumi, Oki Kenji, Kamemura Kohei, Tanabe Akiyo, Naruse Mitsuhide, JPAS/JRAS study group. Sex Differences in Renal Outcomes After Medical Treatment for Bilateral Primary Aldosteronism. *Hypertension*, 2021;77(2):537-545.
 - 13) Yasuda Takuma, Murakami Takaaki, Yasoda Akihiro, Sone Masakatsu, Norio Harada, Ogura Masahito, Inagaki Nobuya. Clinical Practice Changes After Post-Market Safety Reports on Desmopressin Orally Disintegrating Tablet in Japan: A Single-Center Retrospective Study. *Journal of Clinical Medicine Research*, 2021;13(2):92-100.
 - 14) Yamamoto Yutaro, Nagai Yoshio, Kawanabe Shin, Hishida Yoshiaki, Hiraki Koji, Sone Masakatsu, Tanaka Yasushi. Effects of resistance training using elastic bands on muscle strength with or without a leucine supplement for 48 weeks in elderly patients with type 2 diabetes. *Endocrine Journal*, 2021;68(3):291-298.
 - 15) Takao Ken, Iizuka Katsumi, Liu Yanyan, Sakurai Teruaki, Kubota Sodai, Kubota-Okamoto Saki, Imaizumi Toshinori, Takahashi Yoshihiro, Rakhat Yermek, Komori Satoko, Hirose Tokuyuki, Nonomura Kenta, Kato Takehiro, Mizuno Masami, Suwa Testuya, Horikawa Yukio, Sone Masakatsu, Yabe Daisuke. Effects of ChREBP deficiency on adrenal lipogenesis and steroidogenesis. *The Journal of Endocrinology*, 2021;248(3):317-324.
 - 16) Ohno Youichi, Naruse Mitsuhide, Felix Beuschlein, Florentine Schreiner, Mirko Parasiliti-Caprino, Jaap Deinum, William M Drake, Francesco Fallo, Carmina T Fuss, Marianne A Grytaas, Ichijo Takamasa, Inagaki Nobuya, Kakutani Miki, Darko Kastelan, Ivana Kraljevic, Katabami Takuyuki, Tomaz Kocjan, Silvia Monticone, Paolo Mulatero, Sam O'Toole, Kobayashi Hiroki, Sone Masakatsu, Tsuiki Mika, Wada Norio, Tracy Ann Williams, Martin Reincke, Tanabe Akiyo. Adrenal Venous Sampling-Guided Adrenalectomy Rates in Primary Aldosteronism: Results of an International Cohort (AVSTAT). *The Journal of clinical endocrinology and metabolism*, 2021; 106(3): e1400-e1407.
 - 17) Nakamaru Ryo, Yamamoto Koichi, Akasaka Hiroshi, Rakugi Hiromi, Kurihara Isao, Yoneda Takashi, Ichijo Takamasa, Katabami Takuyuki, Tsuiki Mika, Wada Norio, Yamada Tetsuya, Kobayashi Hiroki, Tamura Kouichi, Ogawa Yoshihiro, Kawashima Junji, Inagaki Nobuya, Fujita Megumi, Watanabe Minemori, Kamemura Kohei, Okamura Shintaro, Tanabe Akiyo, Naruse Mitsuhide, and JPAS/JRAS Study Group. Age-stratified comparison of clinical outcomes between medical and surgical treatments in patients with unilateral primary aldosteronism. *Scientific Reports*, 2021;11(1):6925.
- ② 症例報告
- 1) Hatoko Tomonobu, Murakami Takaaki, Sone Masakatsu, Yabe Daisuke, Masui Toshihiko, Nakamoto Yuji, Furuta Akihiro, Uza Norimitsu, Kodama Yuzo, Harada Norio, Ogura Masahito,

Yasoda Akihiro, Inagaki Nobuya. Low-dose Selective Arterial Calcium Stimulation Test for Localizing Insulinoma: A Single-center Experience of Five Consecutive Cases. *Internal Medicine*, 2020;59(19):2397-2403.

- 2) Imai T, Shibata S, Shinohara K, Sakurai K, Horiuchi M, Sakai K, Asai S, Hasegawa Y. IgG4-related hypophysitis diagnosed by retroperitoneal mass biopsy in a patient presenting with abducens nerve palsy. *Medicine*, 2020;99(40): e22484.
- 3) Hiruma Marino, Sasano Yoshiyuki, Watanabe Natsuko, Yoshihara Ai, Ishii Satoshi, Yaguchi Yuichiro, Jaeduk Yoshimura Noh, Sugino Kiminori, Ito Koichi. Propylthiouracil-induced otitis media with antineutrophil cytoplasmic antibody-associated vasculitis: a case report and review of the literature. *Endocrine Journal*, 2021;68(2):145-151.

学会発表

① 国内学会

- 1) ◎中川朋子, 永井義夫, 川名部新, 佐々木要輔, 山道玄, 谷口千津子, 児嶋裕香, 田中逸. 日本人妊婦の耐糖能異常と体組成の関連についての検討. 第117回日本内科学会総会・講演会, 2020.
- 2) ◎小林洋輝, 阿部雅紀, 栗原勲, 一城貴政, 方波見卓行, 田辺晶代, 成瀬光栄, JPAS/JPAS 研究班. 副腎静脈サンプリング(AVS)における ACTH 負荷の臨床的意義について. 第93回日本内分泌学会学術総会, 2020.
- 3) ◎須川琢, 山内一郎, 山下貴史, 伯田琢郎, 植田洋平, 藤井寿人, 田浦大輔, 曾根正勝, 稲垣暢也. フィブラート製剤投与に伴い甲状腺機能の変動を認めた1例と自験例での検討. 第93回日本内分泌学会学術総会, 2020.
- 4) ◎松葉怜, 方波見卓行, 田中逸, 栗原勲, 曾根正勝, 柳瀬敏彦, 成瀬光栄. 原発性アルドステロン症(PA)の機能確認検査に及ぼすコルチゾール産生の影響. 第93回日本内分泌学会学術総会, 2020.
- 5) ◎伊澤正一郎, 田辺晶代, 成瀬光栄, 方波見卓行, 吉本貴宣, 大月道夫, 曾根正勝, 武田仁勇, 岡村真太郎, 一城貴政. 副腎性クッシング症候群/サブクリニカルクッシング症候群における心血管合併症の実態. 第93回日本内分泌学会学術総会, 2020.
- 6) ◎山内一郎, 八十田明宏, 山下貴史, 植田洋平, 藤井寿人, 田浦大輔, 曾根正勝, 稲垣暢也. 抗 PD-1 抗体による甲状腺機能異常の発症機序:新規自己抗体の意義. 第93回日本内分泌学会学術総会, 2020.
- 7) ◎成瀬光栄, 大野洋一, 曾根正勝, 方波見卓行, 一城貴政, 角谷美樹, 立木美香, JRAS 研究班. 原発性アルドステロン症における副腎静脈サンプリングの診断効率に関する検討(国際共同研究 AVSTAT study). 第93回日本内分泌学会学術総会, 2020.
- 8) ◎川島彰透, 曾根正勝, 稲垣暢也, 武田仁勇, 伊藤裕, 栗原勲, 一城貴政, 方波見卓行, 和田典男, 小川佳宏, 宮内省蔵, 鈴木知子, 成瀬光栄. 原発性アルドステロン症における腎障害は心血管イベントと異なり血中アルドステロン値と直接相関する. 第93回日本内分泌学会学術総会, 2020.
- 9) ◎大野洋一, 曾根正勝, 稲垣暢也, 山崎俊成, 小川修, 武田仁勇, 栗原勲, 馬越洋宜, 一城貴政, 方波見卓行, 成瀬光栄, JPAS 研究班. 肥満は特発性アルドステロン症における重要な背景因子の一つである. 第93回日本内分泌学会学術総会, 2020.
- 10) ◎曾根正勝, 大野洋一, 川島彰透, 稲垣暢也, 成瀬光栄, JPAS/JRAS グループ. 合併症予防を目指し

た原発性アルドステロン症の治療ターゲット. 第 93 回日本内分泌学会学術総会, 2020.

- 11) ◎方波見卓行. 成人副腎不全の診断の問題点. 第 93 回日本内分泌学会学術総会, 2020.
- 12) ◎伯田琢郎, 山内一郎, 山下貴史, 植田洋平, 藤井寿人, 田浦大輔, 曾根正勝, 稲垣暢也. 甲状腺自己抗体陰性の甲状腺機能低下症の特徴. 第 93 回日本内分泌学会学術総会, 2020.
- 13) ◎浅井志高, 方波見卓行, 田辺晶代, 成瀬光栄, 伊澤正一郎, 田中逸. 副腎性サブクリニカルクッシング症候群の手術適応: 顕性クッシング症候群 (OCS) との比較研究. 第 93 回日本内分泌学会学術総会, 2020.
- 14) ◎大野洋一, 曾根正勝, 稲垣暢也, 武田仁勇, 栗原勲, 立木美香, 一城貴政, 和田典夫, 成瀬光栄, JPAS 研究班. アルドステロン症において非機能性と診断される副腎腫瘍からも微量のコルチゾール自律分泌があり予後に影響する. 第 93 回日本内分泌学会学術総会, 2020.
- 15) ◎方波見卓行, 田辺晶代, 成瀬光栄. 褐色細胞腫・パラガングリオーマでの現状と課題. 第 24 回日本臨床内分泌病理学会学術総会, 2020.
- 16) ◎久保ゆい, 方波見卓行, 松葉怜, 川名部新, 佐藤怜奈, 蜂須賀智, 相田芳夫, 山崎有人, 笹野公伸, 中川朋子, 曾根正勝. 巨大後腹膜腫瘍として発見された左側副腎出血と右側原発性アルドステロン症 (PA) を合併した 1 例. 第 24 回日本臨床内分泌病理学会学術総会, 2020.
- 17) ◎小柳壮史, 石井聡, 松原史明, 月山秀一, 中川朋子, 永井義夫, 高砂浩史, 方波見卓行, 曾根正勝. 妊娠中に発症しステロイド投与で尿崩症含め寛解したリンパ球性汎下垂体炎の一例. 第 21 回日本内分泌学会関東甲信越支部学術集会, 2020.
- 18) ◎村橋登, 方波見卓行, 川名部新, 松葉怜, 久保ゆい, 佐藤怜奈, 竹内研人, 蜂須賀智, 相田芳夫, 田中彩夏, 笹野公伸, 斎藤春洋, 曾根正勝. 副腎皮質癌との鑑別が困難であった肺癌片側副腎転移の 1 例. 第 21 回日本内分泌学会関東甲信越支部学術集会, 2020.
- 19) ◎永井義夫. DPP-4 阻害薬および SGLT2 阻害薬の併用パートナーとしてのメトホルミン. 第 63 回日本糖尿病学会年次学術集会, 2020.
- 20) ◎菱田吉明, 中村祐太, 永井義夫, 佐藤怜奈, 常見真吾, 河津梢, 山本雄太郎, 清水紗智, 五十嵐佳那, 月山秀一, 福田尚志, 石井聡, 田中逸. 聖マリアンナ医科大学病院糖尿病センターにおける糖尿病性ケトアシドーシスの初期治療の実態調査. 第 63 回日本糖尿病学会年次学術集会, 2020.
- 21) ◎永井義夫, 数森清康, 馬場健次, 岩崎宏介, 式島智美, 田中逸. 医療情報データベース解析による日本人成人 2 型糖尿病患者におけるメトホルミン高用量投与の有効性に関する検討. 第 63 回日本糖尿病学会年次学術集会, 2020.
- 22) ◎松原史明, 永井義夫, 河津梢, 山本雄太郎, 川名部新, 清水紗智, 中川朋子, 福田尚志, 石井聡, 田中逸. HbA1c とグリコアルブミンを用いた新たな血糖プロフィールの予測モデル. 第 63 回日本糖尿病学会年次学術集会, 2020.
- 23) ◎田中逸, 数森清康, 馬場健次, 岩崎宏介, 式島智美, 永井義夫. 医療情報データベース解析による日本人成人 2 型糖尿病患者におけるメトホルミン高用量投与の安全性に関する検討. 第 63 回日本糖尿病学会年次学術集会, 2020.
- 24) ◎中村祐太, 永井義夫, 福田尚志, 石井聡, 田中逸. 糖尿病入院患者に対する提供エネルギー量と入院中の体重変化量に関する検討. 第 63 回日本糖尿病学会年次学術集会, 2020.
- 25) ◎山本雄太郎, 永井義夫, 川名部新, 田中逸. 高齢 2 型糖尿病患者のサルコペニア予防を目的とす

るレジスタンス運動およびロイシン高配合必須アミノ酸摂取の効果. 第 63 回日本糖尿病学会年次学術集会, 2020.

- 26) ◎川名部新, 方波見卓行, 中川朋子, 松葉怜, 久保ゆい, 中村祐太, 川畑亜加里, 松崎貴志, 清水朋子, 森みさ子, 小野寺英孝, 田中逸. Nutrition Support Team(NST)介入患者の転帰に及ぼす糖尿病の影響. 第 63 回日本糖尿病学会年次学術集会, 2020.
- 27) ◎平間千尋, 岩端由里子, 本間千夏, 倉崎昭子, 西村陽子, 近藤春裕, 長谷川潤一, 鈴木直, 山本雄太郎, 田中彩夏. 妊娠末期に発症した一過性尿崩症の一例. 第 140 回関東連合産科婦人科学会総会・学術集会, 2020.
- 28) ◎方波見卓行. 副腎性 Subclinical Cushing 症候群の手術適応. 第 30 回臨床内分泌代謝 Update, 2020.
- 29) ◎田中彩夏, 山本雄太郎, 石井聡, 岩端由里子, 本間千夏, 方波見卓行, 曾根正勝. 妊娠後期に肝障害に伴って尿崩症を来し、分娩後に軽快した一例. 第 30 回臨床内分泌代謝 Update, 2020.
- 30) ◎曾根正勝. 副腎 副腎皮質. 第 30 回臨床内分泌代謝 Update, 2020.
- 31) ◎川名部新, 方波見卓行, 松葉怜, 久保ゆい, 佐藤怜奈, 浅井志高, 曾根正勝. 悪性パラガングリオーマの併存症, 予後, 死因に関する観察研究. 第 30 回臨床内分泌代謝 Update, 2020.
- 32) ◎久保ゆい, 方波見卓行, 川名部新, 松葉怜, 山本雄太郎, 姜知佳, 臼井健, 中川朋子, 曾根正勝. 膵癌、甲状腺癌を併発した ARMC5 変異陽性 PMAH の一例. 第 31 回間脳・下垂体・副腎系研究会, 2020.
- 33) ◎常見真吾, 方波見卓行, 月山秀一, 松葉怜, 川名部新, 久保ゆい, 蜂巢賀智, 北島和樹, 山田隆之, 山崎有人, 笹野公伸, 曾根正勝. 識別困難だったカテコラミン軽度高値、サブクリニカクッシング症候群 (SCS) を伴った血管嚢胞合併副腎腺腫の 1 例. 第 31 回間脳・下垂体・副腎系研究会, 2020.
- 34) ◎鏑木真弓, 水上平祐, 松本博文, 白石眞, 山野嘉久, 菱田吉明, 韓蔚, 緒方聖友. 免疫チェックポイント阻害剤のペムブロリズマブにより Parkinsonism を認めた一例. 第 235 回日本神経学会関東・甲信越地方会, 2020.
- 35) ◎三原祥平, 方波見卓行, 川名部新, 松葉怜, 久保ゆい, 佐藤怜奈, 曾根正勝. SGLT2 阻害薬内服中に糖尿病ケトアシドーシスと壊死性食道炎を合併した 1 型糖尿病の一例. 第 58 回日本糖尿病学会関東甲信越地方会, 2021.
- 36) ◎佐藤菜摘美, 中川朋子, 清水紗智, 中村祐太, 村上万里子, 右田王介, 本吉愛, 石井聡, 永井義夫, 曾根正勝. 糖尿病、低身長および若年で多発する家族性腫瘍より Bloom 症候群と診断した姉妹例. 第 58 回日本糖尿病学会関東甲信越地方会, 2021.
- 37) ◎橋元由紀子, 堤健, 割澤高行, 野田和里, 松葉怜, 森内麻美, 内藤貴基, 北野夕佳, 方波見卓行, 藤谷茂樹. 造影剤投与を契機として心原性ショックを呈したが、IABP 補助のみで救命し得た甲状腺クリーゼの一例. 第 48 回日本集中治療医学会学術総会, 2021.
- 38) ◎曾根正勝. ミネラルコルチコイドのもたらす心・血管・腎合併症の解析. 第 28 回日本ステロイドホルモン学会学術集会, 2021.
- 39) ◎松葉怜, 方波見卓行, 曾根正勝, 立木美香, 一城貴政, 栗原勲, 和田典男, 小川佳宏, 田辺晶代, 成瀬光栄. コルチゾール共産生原発性アルドステロン症 (PA) の解析. 第 28 回日本ステロイドホルモン学会学術集会, 2021.

- 40) ◎方波見卓行, 成瀬光荣, 田辺晶代. 副腎性 Subclinical Cushing 症候群: 新たな課題と問題点. 第 28 回日本ステロイドホルモン学会学術集会, 2021.
- 41) 小竹徹, 山田将平, 小倉裕司, 渡邊詩香, 市川大介, 田邊淳, 永井義夫, 菅谷健, 木村健二郎, 柴垣有吾, 池森敦子. 2 型糖尿病における習慣的走運動のサルコペニアおよび腎疾患抑制効果の検証. 第 11 回日本腎臓リハビリテーション学会学術集会, 2021.
- 42) 山田将平, 田邊淳, 小倉裕司, 菅谷健, 永井義夫, 渡邊詩香, 市川大介, 木村健二郎, 柴垣有吾, 池森敦子. 糖尿病性腎臓病を伴う 2 型糖尿病における GLP-1 受容体作動薬のサルコペニア抑制効果の検討. 第 11 回日本腎臓リハビリテーション学会学術集会, 2021.
- 43) ◎太田明雄, 大森慎太郎, 西村正成, 小野龍宣, 野田顕義, 佐々木貴浩, 古畑智久, 宮島伸宜, 佐々木章, 曾根正勝. 腹腔鏡下スリーブ状胃切除術における食事負荷試験によるインクレチン動態の検討. 第 38 回肥満症治療学会学術集会, 2021.
- ② 国際学会
- 1) ◎Tsukiyama Hidekazu, Katabami Takuyuki, Tanabe Makito, Matsuba Ren, Tanaka Yasushi, Yanase Toshihiko. Development of A Simple Prediction Model for The Presence of Adrenal Crisis. The 17th Asia-Oceania Congress of Endocrinology and The 8th Seoul International Congress of Endocrinology and Metabolism, 2020.
- 2) ◎Matsuba Ren, Katabami Takuyuki, Tanaka Yasushi, Kurihara Isao, Sone Masakatsu, Yanase Toshihiko, Naruse Mitsuhide, JPAS/Jras Study Group. Co-Secretion of Cortisol Does Not Affect the Results of Screening and Confirmatory Tests for Primary Aldosteronism. The 17th Asia-Oceania Congress of Endocrinology and The 8th Seoul International Congress of Endocrinology and Metabolism, 2020.
- 3) ◎Katabami Takuyuki, Naruse Mitsuhide, Jpas/Jras Study Group. Subtyping (Including AVS, Nuclear Medicine, and Other Methods) and Management. The 17th Asia-Oceania Congress of Endocrinology and The 8th Seoul International Congress of Endocrinology and Metabolism, 2020.
- 4) ◎Matsuba Ren, Katabami Takuyuki, Kurihara Isao, Ichijo Takamasa, Takeda Yoshiyu, Tsuiki Mika, Wada Norio, Ogawa Yoshihiro, Sone Masakatsu, Inagaki Nobuya, Yoshimoto Takanobu, Kobayashi Hiroki, Tanabe Akiyo, Naruse Mitsuhide, JPAS/JRAS Study Group. 49-Mild Autonomous Cortisol Secretion in Primary Aldosteronism Enhances Renal and Hemorrhagic Cerebrovascular Complications. ENDO2021, 2021.
- ③ その他
- 1) ◎曾根正勝. 私の目指す代謝・内分泌学. KAWASAKI Web Seminar, 2020.
- 2) ◎曾根正勝. 日本における原発性アルドステロン症の心・血管・腎・代謝合併症の実際～本邦発の大規模臨床研究によるエビデンス～. 糖尿病・内分泌疾患 Web セミナー, 2020.
- 3) ◎曾根正勝. ステロイド剤による続発性副腎皮質不全と対応のコツ. 福島・いわき Scientific Exchange Meeting, 2020.
- 4) ◎太田明雄. 糖尿病・肥満外科手術 東横病院におけるマネジメント. 川崎市外科医会学術講演会, 2020.
- 5) ◎太田明雄. SGLT2 阻害薬の有用性: メトホルミン VS.SGLT2 阻害薬. 大正製薬(株) アドバイザ

リー会議, 2020.

- 6) ◎曾根正勝. 心血管腎合併症を防ぐための代謝・内分泌疾患の治療戦略～糖尿病と原発性アルドステロン症の意外な共通点～. 循環器・代謝内分泌 診療連携 Web 講演会, 2020.
- 7) ◎曾根正勝. 意外と多い副腎腫瘍の診断と pitfalls. 川崎北部糖尿病連絡会議, 2020.
- 8) 大津成之, 小尾竜正, 加藤浩之, 浅井志高. コロナ禍における糖尿病患者さんの変化. 川崎北部糖尿病連絡会議, 2020.
- 9) ◎曾根正勝. 長期予後を考えた糖尿病診療～糖尿病とともに健やかな人生を～. 川崎北部 Diabetes & Endocrinal Remote Seminar, 2020.
- 10) ◎曾根正勝. ミネラルコルチコイドによる臓器障害とその予防. 第 44 回岡山生活習慣病懇話会, 2020.
- 11) ◎曾根正勝. ミネラルコルチコイドによる臓器障害とその予防. 高血圧 Web セミナー in Kawasaki, 2020.
- 12) ◎曾根正勝. 合併症予防を目指した糖尿病治療. Cardiovascular & Diabetes Seminar In Kawasaki, 2020.
- 13) ◎曾根正勝. 内分泌疾患の最近の知見と話題. Professor Online Seminar～糖尿病・内分泌～, 2020.
- 14) ◎浅井志高. 糖尿病診療・治療の方針～作用機序から診た薬剤選択～. Novo Nordisc 社内講演, 2020.
- 15) ◎曾根正勝. ステロイド剤による続発性副腎皮質不全と対応のコツ. SCIENTIFIC EXCHANGE MEETING From Kanazawa, 2020.
- 16) ◎曾根正勝. irAE における内分泌障害とそのマネジメント. ICI irAE セミナー From がん診療ステップアップセミナー, 2021.
- 17) ◎曾根正勝. 糖尿病と原発性アルドステロン症の合併症における意外な共通点. 第 42 回天理・桜井地区 DM 懇話会, 2021.
- 18) ◎曾根正勝. 肥満を伴う糖尿病の複合的治療戦略. 第 4 回糖尿病ミーティング, 2021.
- 19) ◎浅井志高. 超高齢化社会に向け、これからの糖尿病診療・治療～作用機序から診た薬剤選択～. 大日本住友製薬株式会社社内研修会, 2021.
- 20) ◎川名部新. 当院の代謝内分泌内科での SGLT-2 阻害薬の処方の実態. Circulation Conference～循環器からみる糖尿病治療～, 2021.
- 21) ◎月山秀一. 代謝・内分泌内科からみたクレメジン. 薬剤師のための多職種カンファレンス～窓口での患者指導に向けての web セミナー～, 2021.
- 22) ◎中村祐太. 糖尿病の薬物治療の戦略. 薬剤師のための多職種カンファレンス～窓口での患者指導に向けての web セミナー～, 2021.
- 23) ◎中村祐太. 食事療法を中心とした糖尿病治療の再考. Diabetes & Incretin Online Seminar ～食事療法と薬物療法の相互作用を意識した新たな治療戦略～, 2021.
- 24) ◎曾根正勝. インクレチン製剤の上手な使い分けと内分泌疾患のアップデート. 糖尿病・内分泌 Online Seminar, 2021.
- 25) ◎曾根正勝. インクレチン製剤の病態にあわせた使い分け. WEB ライブセミナー, 2021.
- 26) ◎中村祐太. 糖尿病性腎症における薬物治療～代謝・内分泌内科医の視点から～. DEN ON cooperation, 2021.

- 27) ◎曾根正勝. ミネラルコルチコイドによる臓器障害から見た糖尿病合併高血圧における MR 拮抗薬の有効性. MR 関連高血圧を考える Web Seminar, 2021.
- 28) ◎曾根正勝. ステロイド剤による続発性副腎皮質不全と対応のコツ. Scientific Exchange Meeting in 神奈川, 2021.

		和文	英文
著 書		9	
論 文	原著	2	17
	解説又は総説	11	
	症例報告	1	3
	その他	2	
学会発表	国内学会	43	
	国際学会		4
	その他	28	

内科学(脳神経内科)

著書

- 1) 山野嘉久. HTLV-1 関連脊髄症 (HAM) の新たな診療ガイドライン Annual Review 神経 2020 2020;:131-136.
- 2) 萩原悠太. 頸動脈における Superb Micro-vascular imaging(SMI)の有用性 映像情報 Medical 2020;5:6-10.
- 3) 萩原悠太. 経口腔超音波 脳神経超音波マニュアル 2020 2020;:76-79.

学術論文[和文]

① 原著

- 1) 佐藤知雄, 山野嘉久. 免疫性神経疾患 update —基礎・臨床研究の最新知見— HAM に対する治療薬の現況と展望. 日本臨床, 2020;78(11):1939-1944.
- 2) 大熊壮尚. 緊張型頭痛の科学的エビデンスとは?. 日本頭痛学会誌, 2020;47(1):67-71.
- 3) 瀬上航平, 大岡正道, 山田浩史, 朝野隆之, 阿部宏志, 穂山雅代, 村弘子, 梶ヶ谷和子, 内川隆子, 橘川薫, 小林泰之, 三村秀文, 安田宏, 峯下昌道, 大坪毅人. 放射線科読影レポート未確認に伴う Diagnostic Error への対策. 聖マリアンナ医科大学雑誌, 2020;48(3):61-66.
- 4) 長谷川大輔, 長谷川高志, 酒巻哲夫, 山野嘉久. 難病 HTLV-1 関連脊髄症 (HAM) 患者を対象としたオンライン診療等の医療ニーズに関する患者意識調査結果について. 日本遠隔医療学会雑誌, 2020;16(2):75-82.
- 5) 曾我海馬, 清水高弘, 飯島直樹, 鷹尾直誠, 土橋瑤子, 柴田宗一郎, 小倉英, 萩原悠太, 栗田千尋, 佐々木直, 秋山久尚, 長谷川泰弘, 山野嘉久. 頸動脈狭窄患者において血清 MMP-9 濃度は頭蓋内主幹動脈狭窄リスクと関連する. 聖マリアンナ医科大学雑誌, 2020;48(3):101-108.

② 総説又は症例解説

- 1) 山野嘉久. HTLV-1 関連脊髄症 (HAM) の患者参加型の研究と創薬. Neuroinfection, 2020;25(1):87-91.
- 2) 山野嘉久. HAM/TSP の診断指針 HTLV-1 関連脊髄症 (HAM)診察ガイドライン 2019 を踏まえて. 脊椎脊髄ジャーナル, 2020;33(4):498-503.
- 3) 星野俊, 萩原悠太, 清水高弘, 小倉英, 鷹尾直誠, 土橋瑤子, 佐々木梨衣, 伊佐早健司, 佐藤如雄, 足利光平, 木田圭亮, 明石嘉浩, 長谷川泰弘. 経胸壁超音波胸骨上窩長軸断面像による大動脈弓部病変の評価. Neurosonology, 2020;33(2):41-44.
- 4) 堀内正浩. ジストニア update —診療ガイドライン 2018 を超えて 薬剤性ジストニア・ジスキネジア. CLINICAL NEUROSCIENCE, 2020;38(9):1171-1174.
- 5) 長谷川大輔. 第4回 IoMT サミットを振り返って. Journal of Internet of Medical Things, 2020;3(1):64-67.
- 6) 堀内正浩. 薬剤性ジストニア・ジスキネジア. CLINICAL NEUROSCIENCE, 2020;38(9):1171-1174.
- 7) 山内淳司, 山野嘉久. HTLV-1 関連脊髄症. CLINICAL NEUROSCIENCE, 2020;38(10):1270-1271.
- 8) 山内淳司, 山野嘉久. HTLV-1 関連脊髄症 (HAM) の発症メカニズム. 周産期医学, 2020;50(10):1695-

1698.

- 9) 山野嘉久. HTLV-1 関連脊髄症 (HAM) の研究進展からみえる診療の未来像. 宝函, 2020;41(3):21-30.
- 10) 山内淳司, 山野嘉久, 湯沢賢治. 臓器移植における HTLV-1 感染への対応. 日本臨床腎移植学会雑誌, 2020;8(1):42-51.
- 11) 八木下尚子, 山野嘉久. HTLV-1 関連脊髄症. 生体の科学, 2020;71(5):422-423.
- 12) 櫻井謙三. 近未来の脳卒中診療 ～脳卒中診療補助アプリケーションの開発～. BIO INDUSTRY, 2020;37(12):85-92.
- 13) 新谷奈津美, 山野嘉久. HTLV-1 関連脊髄症 (HAM)の病態. 別冊 BIO Clinica, 2020;9(2):29-33.

③ 症例報告

- 1) 鷹尾直誠, 櫻井謙三, 日野栄絵, 山野嘉久. 再発性細菌性髄膜炎の原因として鼻汁を契機に鼻性髄液漏の診断に至った一例. 臨床神経, 2020;61(3):177-181.
- 2) 萩原悠太, 菊池崇之, 赤須友香利, 松本博文, 鏑木 圭, 柴田宗一郎, 笹野恭之, 齋藤善光, 清水高弘, 山野嘉久. 扁桃周囲膿瘍に対する経口腔咽頭超音波ガイド下排膿穿刺術—経口腔頸動脈超音波の応用—. Neurosonology, 2020;33(2):45-49.

④ その他

- 1) 堀内正浩. 我が趣味、我が人生 ～楽器演奏の巻～. 川崎医師会報, 2020;(372):69-71.
- 2) 堀内正浩. 痙性斜頸に対する経穴(ツボ)を意識したボツリヌス毒素注射 ～東洋医学の応用～. 神奈川県医師会報, 2020;(7月号):36-37.
- 3) 岩間享, 飯原弘二, 小笠原邦昭, 豊田一則, 長谷川泰弘, 大畑建治, 塩川芳昭, 野崎和彦, 江面正幸, 山上宏, 井上学, 早川幹人, 三学会合同指針作成委員会, 日本脳卒中学会, 日本脳神経外科学会, 日本脳神経血管内治療学会. 経皮経管的脳血栓回収用機器 適正使用指針 第4版 2020年3月(解説). 脳卒中, 2020;42(4):281-313.
- 4) 鈴木倫保, 橋本洋一郎, 小笠原邦昭, 長谷川泰弘, 辻野彰, 日本脳卒中学会 Telestroke ガイドライン作成プロジェクトチーム. 脳卒中診療における遠隔医療(Telestroke)ガイドライン. 脳卒中, 2020;42(5):443-463.
- 5) 白石眞. 進行性パーキンソン病の先進的治療. 神奈川県医師会会報, 2020;(11):45-48.
- 6) 山野嘉久. Pick-up 脳卒中 スーパードクターに教わる最新治療 2021. 文藝春秋, 2021::AD.
- 7) 山野嘉久. HTLV-1 関連脊髄症の診察環境が前進 根本的治療の研究も進行中. メディカルトリビューン, 2021::1-5.

学術論文[英文]

① 原著

- 1) Mikami K, Shiraishi M, Kamo T. Subjective Postural Vertical in Parkinson's Disease With Lateral Trunk Flexion. Acta neurologica Scandinavica, 2020;142(5):434-442.
- 2) Kikuno M, Ueno Y, Shimizu T, Kuriki A, Tateishi Y, Doijiri R, Shimada Y, Takekawa H, Yamaguchi E, Koga M, Kamiya Y, Ihara M, Tsujino A, Hirata K, Toyoda K, Hasegawa Y, Aizawa H, Hattori N, Urabe T; CHALLENGE ESUS/C.S. collaborators. Underlying embolic and pathologic differentiation by cerebral microbleeds in cryptogenic stroke. Journal of Neurology, 2020;267

(5):1482-1490.

- 3) Nagasaka M, Yamagishi M, Yagishita N, Araya N, Kobayashi S, Makiyama J, Kubokawa M, Yamauchi J, Hasegawa D, Coler-Reilly ALG, Tsutsumi S, Uemura Y, Arai A, Takata A, Inoue E, Hasegawa Y, Watanabe T, Suzuki Y, Uchimaru K, Sato T, Yamano Y. Mortality and risk of progression to adult T-cell leukemia/lymphoma in HTLV-1-associated myelopathy/tropical spastic paraparesis. *Proceedings of the National Academy of Sciences of the United States of America*, 2020;117(21):11685-11691.
- 4) Koga M, Yamamoto H, Inoue M, Asakura K, Aoki J, Hamasaki T, Kanzawa T, Kondo R, Ohtaki M, Itabashi R, Kamiyama K, Iwama T, Nakase T, Yakushiji Y, Igarashi S, Nagakane Y, Takizawa S, Okada Y, Doijiri R, Tsujino A, Ito Y, Ohnishi H, Inoue T, Takagi Y, Hasegawa Y, Shiokawa Y, Sakai N, Osaki M, Uesaka Y, Yoshimura S, Urabe T, Ueda T, Ihara M, Kitazono T, Sasaki M, Oita A, Yoshimura S, Fukuda-Doi M, Miwa K, Kimura K, Minematsu K, Toyoda K; THAWS Trial Investigators.. Thrombolysis With Alteplase at 0.6 mg/kg for Stroke With Unknown Time of Onset: A Randomized Controlled Trial. *stroke*, 2020;51(5):1530-1538.
- 5) Takeda R, Ishigaki T, Ohno N, Yokoyama K, Kawamata T, Fukuyama T, Araya N, Yamano Y, Uchimaru K, Tojo A.
Immunophenotypic analysis of cerebrospinal fluid reveals concurrent development of ATL in the CNS of a HAM/TSP patient. *International Journal of Hematology*, 2020;111(6):891-896.
- 6) Yamakawa N, Yagishita N, Matsuo T, Yamauchi J, Ueno T, Inoue E, Takata A, Nagasaka M, Araya N, Hasegawa D, Coler-Reilly A, Tsutsumi S, Sato T, Araujo A, Casseb J, Gotuzzo E, Jacobson S, Martin F, Puccioni-Sohler M, Taylor GP, Yamano Y; Japan Clinical Research Group on HAM/TSP. Creation and validation of a bladder dysfunction symptom score for HTLV-1-associated myelopathy/tropical spastic paraparesis. *Orphanet J Rare Dis*, 2020;15(1):175.
- 7) Tokuyama Y, Takada T, Usuki N, Takaishi S, Tatsuno K, Hamada Y, Otubo H, Ueda T. Effects of Aspiration and Re-transfusion Technique with Carotid Artery Stenting. *Journal of Neuroendovascular Therapy*, 2020;:in press.
- 8) Okuma K, Kuramitsu M, Niwa T, Taniguchi T, Masaki Y, Ueda G, Matsumoto C, Sobata R, Sagara Y, Nakamura H, Satake M, Miura K, Fuchi N, Masuzaki H, Okayama A, Umeki K, Yamano Y, Sato T, Iwanaga M, Uchimaru K, Nakashima M, Utsunomiya A, Kubota R, Ishitsuka K, Hasegawa H, Sasaki D, Koh KR, Taki M, Nosaka K, Ogata M, Naruse I, Kaneko N, Okajima S, Tezuka K, Ikebe E, Matsuoka S, Itabashi K, Saito S, Watanabe T, Hamaguchi I. Establishment of a novel diagnostic test algorithm for human T-cell leukemia virus type 1 infection with line immunoassay replacement of western blotting: a collaborative study for performance evaluation of diagnostic assays in Japan. *Retrovirology*, 2020;17(1):26.
- 9) Fukuda-Doi M, Yamamoto H, Koga M, Palesch YY, Durkalski-Mauldin VL, Qureshi AI, Yoshimura S, Okazaki S, Miwa K, Okada Y, Ueda T, Okuda S, Nakahara J, Suzuki N, Toyoda K. Sex Differences in Blood Pressure-Lowering Therapy and Outcomes Following Intracerebral Hemorrhage: Results From ATACH-2. *Stroke*, 2020;51(8):2282-2286.

- 10) Shimizu J, Yamano Y, Kawahata K, Suzuki N. Elucidation of predictors of disease progression in patients with relapsing polychondritis at the onset: potential impact on patient monitoring. *BMC rheumatology*, 2020;4(41):doi: 10.1186/s41927-020-00141-8.
- 11) Yoshie T, Yu Y, Jiang H, Honda T, Trieu H, Scalzo F, Saver J L, Liebeskind D S, on behalf of the UCLA Reperfusion Therapy Investigators. Perfusion Parameter Thresholds that Discriminate Ischemic Core Vary with Time from Onset in Acute Ischemic Stroke. *American Journal of Neuroradiology*, 2020;41(10):1809-1815.
- 12) Takao N, Hagiwara Y, Shimizu T, Soga K, Tsuchihashi Y, Otsubo H, Tatsuno K, Takaishi S, Usuki N, Yoshie T, Takada T, Ueda T, Hasegawa Y, Yamano Y. Preprocedural Carotid Plaque Echolucency as a Predictor of In-stent Intimal Restenosis after Carotid Artery Stenting. *J Stroke Cerebrovasc Dis*, 2020;29(12):105339.
- 13) Tsuchihashi Y, Shimizu T, Akiyama H, Hagiwara Y, Soga K, Takao N, Uchino K, Yanagisawa T, Yamauchi J, Sato T, Hasegawa Y, Yamano Y. The Risk Factors for Death within 6 months after Ischemic Stroke in Patients with Cancer. *Journal of Stroke & Cerebrovascular Diseases*, 2020; 29(12):105365.
- 14) Tokunaga K, Koga M, Yoshimura S, Okada Y, Yamagami H, Todo K, Itabashi R, Kimura K, Sato S, Terasaki T, Inoue M, Shiokawa Y, Takagi M, Kamiyama K, Tanaka K, Takizawa S, Shiozawa M, Okuda S, Kameda T, Nakagane Y, Hasegawa Y, Shibuya S, Ito Y, Matsuoka H, Mizoguchi T, Fujita K, Ando D, Kumamoto M, Miwa K, Arihiro S, Toyoda K, for the SAMURAI Study Investigators. Left Atrial Size and Ischemic Events after Ischemic Stroke or Transient Ischemic Attack in Patients with Nonvalvular Atrial Fibrillation. *Cerebrovasc Dis*, 2020;49(6):619-624.
- 15) Yamasaki Yukitaka, Ooka Seido, Tsuchida Tomoya, Nakamura Yuta, Hagiwara Yuta, Naitou Yoshiyuki, Ishibashi Yuki, Ikeda Hiroki, Sakurada Tsutomu, Handa Hiroshi, Nishine Hiroki, Takita Mumon, Morikawa Daiki, Yoshida Hideki, Fujii Shuichi, Morisawa Kenichiro, Takemura Hiromu, Fujitani Shigeki, Kunishima Hiroyuki. The peripheral lymphocyte count as a predictor of severe COVID-19 and the effect of treatment with ciclesonide. *Virus Research*, 2020;290 : 198089.
- 16) Suzuki K, Matsumaru Y, Takeuchi M, Morimoto M, Kanazawa R, Takayama Y, Kamiya Y, Shigeta K, Okubo S, Hayakawa M, Ishii N, Koguchi Y, Takigawa T, Inoue M, Naito H, Ota T, Hirano T, Kato N, Ueda T, Iguchi Y, Akaji K, Tsuruta W, Miki K, Fujimoto S, Higashida T, Iwasaki M, Aoki J, Nishiyama Y, Otsuka T, Kimura K; SKIP Study Investigators. Effect of Mechanical Thrombectomy Without vs With Intravenous Thrombolysis on Functional Outcome Among Patients With Acute Ischemic Stroke: The SKIP Randomized Clinical Trial. *JAMA*, 2021;325(3) : 244-253.
- 17) Soga K, Shimizu T, Hagiwara Y, Ogura H, Akiyama H, Yamauchi J, Sato T, Hanzawa K, Hasegawa Y, Yamano Y. Soleal vein dilatation in the early-phase of hospitalization is associated with a subsequent development of deep vein thrombosis in patients with acute stroke. *Journal of Medical Ultrasonics*, 2021;(48):97-104.

- 18) Toyoda K, Palesch Y, Koga M, Foster L, Yamamoto H, Yoshimura S, Ihara M, Fukuda-Doi M, Okazaki S, Tanaka K, Miwa K, Hasegawa Y, Shiokawa Y, Iwama T, Kamiyama K, Hoshino H, Steiner T, Yoon BW, Wang Y, Hsu CY, Qureshi AI. Regional differences in the response to acute blood pressure lowering after cerebral hemorrhage. *Neurology*, 2021;96(5): e740-e751.
- 19) Yamauchi J, Araya N, Yagishita N, Sato T, Yamano Y. An update on human T-cell leukemia virus type I (HTLV-1)-associated myelopathy/tropical spastic paraparesis (HAM/TSP) focusing on clinical and laboratory biomarkers. *Pharmacology & Therapeutics*, 2021;(218):107669.
- 20) Penova M, Kawaguchi S, Yasunaga J, Kawaguchi T, Sato T, Takahashi M, Shimizu M, Saito M, Tsukasaki K, Nakagawa M, Takenouchi N, Hara H, Matsuura E, Nozuma S, Takashima H, Izumo S, Watanabe T, Uchimarui K, Iwanaga M, Utsunomiya A, Tabara Y, Paul R, Yamano Y, Matsuoka M, Matsuda F. Genome wide association study of HTLV-1 associated myelopathy/tropical spastic paraparesis in the Japanese population. *Proceedings of the National Academy of Sciences of the United States of America*, 2021;118(11): e2004199118.
- 21) Doijiri R, Ueno Y, Kikuno M, Shimizu T, Takeishi Y, Kuriki A, Takekawa H, Shimada Y, Kanemaru K, Kamiya Y, Yamaguchi E, Koga M, Ihara M, Tsujino A, Hirata K, Hasegawa Y, Kikuchi T, Hattori N, Urabe T. Different aspects of early and late development of atrial fibrillation during hospitalization in cryptogenic stroke. *Scientific Reports*, 2021;11(1):7127.

② 症例報告

- 1) Hara D, Akamatsu M, Mizukami H, Kato B, Suzuki T, Oshima J, Akasu Y, Hasegawa Y. Opalski syndrome treated with intravenous recombinant tissue type plasminogen activator -Case Report and Review of Literature. *J Stroke Cerebrovasc Dis*, 2020;29(8):104806.
- 2) Imai T, Shibata S, Shinohara K, Sakurai K, Horiuchi M, Sakai K, Asai S, Hasegawa Y. IgG4-related hypophysitis diagnosed by retroperitoneal mass biopsy in a patient presenting with abducens nerve palsy. *Medicine*, 2020;99(40): e22484.
- 3) Sakurai K, Shinohara K, Imai T, Yamano Y, Hasegawa Y. A Case of Severe Multiple Sclerosis Manifesting upon GnRH Agonist Therapy for Uterine Fibroids: A Case Report. *Internal Medicine*, 2020;59(23):3093-3096.

学会発表

① 国内学会

- 1) ◎黄世捷, 明石嘉浩, 土田知也, 伊佐早健司, 望月篤, 伊野美幸, 信岡祐彦. AI 問診アプリは臨床推論教育の敵か味方か. 第 52 回日本医学教育学会大会, 2020.
- 2) ◎秋山久尚. 高齢者塞栓源不明脳梗塞患者における心房細動の検出の実際. 第 62 回日本老年医学会学術集会, 2020.
- 3) ◎飯島直樹, 櫻井謙三, 柴田宗一郎, 長谷川泰弘. 非専門医による脳梗塞初療において適切な抗血栓療法を選択を可能とする有用なツールの開発. 第 45 回日本脳卒中学会学術集会, 2020.
- 4) ◎長田敏輝, 八木麻衣子, 海鋒有希子, 渡邊紗都, 赤尾圭吾, 杉村誠一郎, 祖父江由佳, 寺尾詩子, 小野順也, 近藤千雅, 吉江智秀, 高石智, 臼杵乃理子, 植田敏浩. 急性期脳卒中患者における注意障害

- が退院時院内歩行自立度に及ぼす影響について検討. 第 45 回日本脳卒中学会学術集会, 2020.
- 5) ◎高石智, 大坪治喜, 濱田祐樹, 辰野健太郎, 鈴木祐, 吉江智秀, 臼杵乃理子, 吉田泰之, 小野元, 植田敏浩. 急性期脳梗塞における DWI 異常所見の可逆性に対する年齢の影響の検討. 第 45 回日本脳卒中学会学術集会, 2020.
 - 6) ◎山下雄輔, 中林豊彦, 宮城歩, 福澤知子, 内田将司, 田中雄一郎, 伊佐早健司, 長谷川泰弘. SCU・病棟看護師に症例検討を導入した学びに関する探索的研究. 第 45 回日本脳卒中学会学術集会, 2020.
 - 7) ◎小野元, 田中雄一郎, 長谷川泰弘. 地域脳卒中医療に対する脳卒中ネットワークと行政の連携. 第 45 回日本脳卒中学会学術集会, 2020.
 - 8) ◎秋山久尚, 貫井咲希, 長谷川泰弘. 連続持続血糖測定に基づく急性期脳梗塞患者の高血糖・低血糖のリスク因子. 第 45 回日本脳卒中学会学術集会, 2020.
 - 9) ◎長谷川泰弘. 脳卒中内科医から見た脳卒中保険診療の課題、シンポジウム脳卒中の保険診療制度. 第 45 回日本脳卒中学会総会, 2020.
 - 10) ◎長谷川泰弘. 新定義で変わる TIA 初療と地域連携医療、シンポジウム TIA の新定義を知る. 第 45 回日本脳卒中学会総会, 2020.
 - 11) ◎吉田泰之, 小野元, 植田敏浩, 田中雄一郎. シングルシャフトクリップ鉗子の有用性. 第 49 回日本脳卒中の外科学会学術集会, 2020.
 - 12) ◎伊佐早健司, 土橋瑤子, 鈴木祐, 星野俊, 伊藤英道, 内田将司, 木村慶子, 伊藤杏子, 山下雄輔, 清水高弘, 秋山久尚, 長谷川泰弘. 院内発症脳卒中对策チーム (in-hospital stroke action team: iSAT) 構築 1 年後の効果. 第 45 回日本脳卒中学会学術集会, 2020.
 - 13) ◎辰野健太郎, 高石智, 植田敏浩, 長谷川泰弘, 森本将史, 竹内昌孝, 山本正博, 西山和利, 田中章景, 壺井祥史. 低 ASPECTS 症例の血栓回収療法の治療成績: 神奈川県急性期再開通療法登録研究 (K-NET Registry) サブ解析. 第 45 回日本脳卒中学会学術集会, 2020.
 - 14) ◎櫻井謙三. CT 画像を用いた脳卒中自動解析の有用性. 第 45 回日本脳卒中学会学術集会(STROKE 2020), 2020.
 - 15) ◎長谷川泰弘. 脳卒中の遠隔医療 (Telestroke). 第 61 回日本神経学会学術大会, 2020.
 - 16) ◎秋山久尚, 伊佐早健司, 長谷川泰弘. 片頭痛に対する抑肝散の効果についての検討. 第 61 回日本神経学会学術大会, 2020.
 - 17) ◎諸澤由利子, 白石眞, 吉田あゆみ, 三浦直美, 加藤正樹, 伊佐早健司, 眞木二葉, 佐々木直, 秋山久尚, 長谷川泰弘. Levodopa-carbidopa intestinal gel (LCIG)療法における外来看護師の取り組みについて. 第 61 回日本神経学会学術大会, 2020.
 - 18) ◎伊佐早健司, 土橋瑤子, 鈴木祐, 星野俊, 伊藤英道, 内田将司, 木村慶子, 山下雄輔, 伊藤杏子, 清水高弘, 秋山久尚, 長谷川泰弘. 院内発症脳卒中对策一発見遅延因子の検討. 第 61 回日本神経学会学術大会, 2020.
 - 19) ◎柴田宗一郎, 櫻井謙三, 飯島直樹, 小林泰之, 長谷川泰弘. 脳梗塞における AI での画像解析も考慮した適切な治療選択を可能とするロジックの開発. 第 61 回日本神経学会学術大会, 2020.
 - 20) ◎今井健, 清水高弘, 土橋瑤子, 秋山久尚, 長谷川泰弘. 脳梗塞を発症した活動性担癌患者における脳梗塞再発および死亡予測因子の検討. 第 61 回日本神経学会学術大会, 2020.
 - 21) ◎櫻井謙三, 飯島直樹, 柴田宗一郎, 小林泰之, 長谷川泰弘. 脳梗塞における AI による画像読影の

可能性. 第 61 回日本神経学会学術大会, 2020.

- 22) ◎飯島直樹, 小倉英, 清水高弘, 萩原悠太, 星野俊, 荒賀崇, 長谷川泰弘. 内頸動脈狭窄症例の粥腫性状と頭蓋内主幹動脈狭窄 バイオマーカーの関連について検討. 第 61 回日本神経学会学術大会, 2020.
- 23) ◎玉木慶子, 米良英和, 竹下翔, 藤岡伸助, 山野嘉久, 坪井義夫. 急速進行を呈した HTLV-1 関連脊髄症 (HAM) 3 症例の検討. 第 61 回日本神経学会学術大会, 2020.
- 24) ◎秋山久尚. 2 次性頭痛を見逃さない心得. 第 61 回日本神経学会学術大会, 2020.
- 25) ◎佐藤知雄. リアルワールドエビデンスを活用した「HAM 診療ガイドライン 2019」について. 第 61 回日本神経学会学術大会, 2020.
- 26) ◎辰野健太郎, 大坪治喜, 荒賀崇, 吉江智秀, 高石智, 白杵乃理子, 吉田泰之, 小野元, 植田敏浩. 若年者の急性頭蓋内動脈解離に対して発症早期に待機的に Wingspan 留置を施行した 2 症例. 第 18 回 NPO 法人日本脳神経血管内治療学会関東地方会学術集会, 2020.
- 27) ◎石田健佑, 古屋直樹, 西田皓平, 柿沼一隆, 萩原悠太, 石橋祐記, 山崎行敬, 土田知也, 國島広之, 峯下昌道. LAMP 陰性かつ PCR 陰性でも隔離解除できなかった COVID-19 疑似症肺炎の一例. 第 78 回聖マリアンナ医科大学 内科合同勉強会, 2020.
- 28) ◎櫻井謙三, 柴田宗一郎, 鷹尾直誠, 日野栄絵, 山野嘉久. 多発性硬化症における当院での脳萎縮と高次脳機能障害の検討. 第 32 回日本神経免疫学会学術集会, 2020.
- 29) ◎有馬佑策, 伊佐早健司, 櫻井謙三, 秋山久尚, 高橋利幸, 金子仁彦, 長谷川泰弘, 山野嘉久. 髄液中抗体測定が診断に有用であった抗 MOG 抗体関連疾患の 52 歳女性例. 第 32 回日本神経免疫学会学術集会, 2020.
- 30) ◎伊佐早健司, 菊池崇之, 佐々木直, 長谷川泰弘, 山野嘉久. パーキンソン症状、一過性脳虚血発作症状を呈した神経サルコイドーシスの一例. 第 32 回日本神経免疫学会学術集会, 2020.
- 31) ◎佐藤知雄, 山内淳司, 新谷奈津美, 高橋克典, 國友康夫, 八木下尚子, 山野嘉久. HAM 診療ガイドラインの活用実態および内容の評価に関する全国調査. 第 32 回日本神経免疫学会学術集会, 2020.
- 32) ◎吉田泰之, 小野元, 植田敏浩, 田中雄一郎. 脳出血例で潜在性脳動脈奇形の存在を予測する術前因子. 一般社団法人日本脳神経外科学会 第 79 回学術総会, 2020.
- 33) ◎菊池崇之, 伊佐早健司, 佐々木直, 長谷川泰弘, 山野嘉久. 小脳失調と一過性構音障害を呈しパーキンソン症候群・ラクナ塞栓を疑った神経サルコイドーシスの 59 歳男性例. 第 38 回日本神経治療学会学術集会, 2020.
- 34) ◎伊佐早健司, 菊池崇之, 佐々木直, 長谷川泰弘, 山野嘉久. 異常姿勢で発症し卵巣腫瘍による傍腫瘍性運動ニューロン疾患に対し卵巣腫瘍摘出術が著効した 85 歳女性例. 第 38 回日本神経治療学会学術集会, 2020.
- 35) ◎鷹尾直誠, 櫻井謙三, 日野栄絵, 山野嘉久. 多量の鼻汁を契機に鼻性髄液漏の診断に至った再発性細菌性髄膜炎の一例. 第 38 回日本神経治療学会学術集会, 2020.
- 36) ◎楠木圭, 伊佐早健司, 鈴木祐, 佐々木直, 長谷川泰弘, 山野嘉久. 脳梗塞、末梢神経障害を伴った顕微鏡的多発血管炎に対し、リツキシマブで寛解導入した 72 歳女性例. 第 38 回日本神経治療学会学術集会, 2020.
- 37) ◎松本博文, 菊池崇之, 柴田宗一郎, 土橋瑤子, 曾我海馬, 栗田千尋, 萩原悠太, 清水高弘, 秋山久

- 尚, 長谷川泰弘, 山野嘉久, 葛西亨, 吉田篤弘, 飯沼雅央, 上野純, 鳥居良昭, 赤澤努, 仁木久照, 中村尚生, 三村秀文. 頸動脈エコーで診察し得た、胸部大動脈瘤を伴う頭蓋外感染性頸動脈瘤の一例. 第 23 回日本栓子検出を治療学会, 2020.
- 38) ◎伊佐早健司, 秋山久尚, 赤須友香里, 貫井咲希, 柳澤俊之, 長谷川泰弘, 山野嘉久. 右眼痛にて発症し、右内外転障害を呈した 64 歳男性例. 第 58 回日本神経眼科学会, 2020.
- 39) ◎秋山久尚, 萩原悠太, 山野嘉久. 新型コロナウイルス感染症 (COVID-19) の頭痛に関する検討. 第 48 回日本頭痛学会総会, 2020.
- 40) ◎秋山久尚, 山野嘉久. 頭痛を呈し他院へ入院した新型コロナウイルス感染症 (COVID-19) の 1 例. 第 48 回日本頭痛学会総会, 2020.
- 41) ◎萩原悠太. 脳神経領域の血管超音波 LIVE demonstration. 第 63 回日本脳循環代謝学会学術集会, 2020.
- 42) ◎吉江智秀, 松田裕貴, 荒川豊, 大坪治喜, 荒賀崇, 辰野健太郎, 高石智, 臼杵乃理子, 植田敏浩. アイトラッカーによる注視点分析を用いた血管内治療の教育. 第 36 回 NPO 法人日本脳神経血管内治療学会学術総会, 2020.
- 43) ◎鏑木真弓, 水上平祐, 松本博文, 白石眞, 山野嘉久, 菱田吉明, 韓蔚, 緒方聖友. 免疫チェックポイント阻害剤のペムプロリズマブにより Parkinsonism を認めた一例. 第 235 回日本神経学会関東・甲信越地方会, 2020.
- 44) ◎鏑木圭, 清水高広, 萩原悠太, 星野俊, 佐々木直, 長谷川泰弘. 急性期脳梗塞における頸部血管エコー検査による主幹動脈病変の診断についての検討. 第 39 回日本脳神経超音波学会, 2020.
- 45) ◎赤須友香利, 今井健, 清水高広, 萩原悠太, 土橋瑤子, 秋山久尚, 長谷川泰弘. 活動性担癌患者に発症した脳梗塞に合併する深部静脈血栓症の特徴と脳梗塞再発リスク. 第 39 回日本脳神経超音波学会, 2020.
- 46) ◎飯島直樹, 萩原悠太, 佐々木直, 松本政輝, 長谷川泰弘. 長大な左総頸動脈解離の一例: 超音波による左頸動脈全長に対する評価. 第 39 回日本脳神経超音波学会, 2020.
- 47) ◎宮内元樹, 萩原悠太, 清水高広, 斧研洋幸, 岡村隆徳, 桜井正児, 出雲正樹, 長谷川泰弘. Superb Micro vascular Imaging(SMI)を用いた下肢静脈超音波検査が有用であった下肢深部静脈血栓症の 2 症例. 第 39 回日本脳神経超音波学会, 2020.
- 48) ◎清水高広, 上野祐誌, 立石洋平, 土井尻遼介, 栗城綾子, 菊野宗明, 竹川英宏, 古賀政利, 卜部貴夫. 潜在性脳梗塞患者における ASC 分類と退院時転帰の比較検討: CHALLENGE ESUS/CS レジストリー. 第 39 回日本脳神経超音波学会, 2020.
- 49) 大内崇弘, 水越元気, 山口敏夫, 堀大樹, 仲野雅幸, 高崎正人, 眞木二葉, 岩室宏一, 笹沼仁一, 渡邊一夫, 木村和美. 当院における本態性振戦に対する経頭蓋集束超音波治療と再発症例への治療. 第 39 回日本脳神経超音波学会, 2020.
- 50) ◎曾我海馬, 清水高広, 小倉英, 萩原悠太, 秋山久尚, 榛沢和彦, 長谷川泰弘, 山野嘉久. 急性期脳卒中患者における下肢深部静脈血栓症とヒラメ静脈径の検討. 第 39 回日本脳神経超音波学会, 2020.
- 51) ◎伊佐早健司, 鏑木圭, 萩原悠太, 清水高広, 佐々木直, 宮内元樹, 横田里江子, 秋山久尚, 長谷川泰弘. 側頭部超音波が診断に有効であった頭蓋内血管狭窄合併巨細胞性動脈炎の一例. 第 39 回日本脳神経超音波学会, 2020.

- 52) ◎萩原悠太. 経口腔超音波の応用と新たな展望. 第 39 回日本脳神経超音波学会総会, 2020.
- 53) ◎萩原悠太. 頸動脈病変に対する経口腔超音波の有用性. 第 39 回日本脳神経超音波学会総会, 2020.
- 54) ◎内野賢治, 大熊壮尚, 篠原健介, 今井健, 山野嘉久. 長期間にわたり診断し得なかった Paramyotonia congenita の 30 歳女性例. 第 236 回日本神経学会関東・甲信越地方会, 2021.
- 55) ◎赤須友香利, 伊佐早健司, 曾我海馬, 栗田千尋, 小池春樹, 勝野雅央, 山野嘉久. 両下肢疼痛、左下垂足より発症しシクロフォスファミドパルス療法 (IVCY) が有効であった非全身性血管炎性ニューロパチー (NSVN) の一例. 第 236 回日本神経学会関東・甲信越地方会, 2021.
- 56) ◎秋山久尚, 山野嘉久. 片頭痛例における睡眠時無呼吸症候群 (SAS) の合併に関する検討. 第 83 回神奈川県内科医学会集談会, 2021.
- 57) ◎鷹尾直誠, 秋山久尚, 赤須友香利, 飯島直樹, 栗田千尋, 深野崇之, 萩原悠太, 清水高広, 山野嘉久. One-and-a-half 症候群呈した両側延髄内側梗塞の一例. 第 83 回神奈川県内科医学会集談会, 2021.
- 58) ◎鈴木健太郎, 松丸祐司, 竹内昌孝, 森本将史, 金澤隆三郎, 高山洋平, 重田恵吾, 神谷雄己, 大久保誠二, 早川幹人, 石井則宏, 古口徳雄, 滝川知司, 井上雅人, 内藤博道, 太田貴裕, 平野照之, 加藤徳之, 植田敏浩, 木村和美. 血栓回収術後の転帰に性差が及ぼす影響 ～SKIP study サブ解析～. 第 46 回日本脳卒中学会学術集会, 2021.
- 59) ◎伊佐早健司, 土橋瑤子, 鈴木祐, 星野俊, 鏑木圭, 清水高弘, 伊藤英道, 内田将司, 木村慶子, 伊藤杏子, 山下雄輔, 秋山久尚, 長谷川泰弘, 山野嘉久. 院内発症脳卒中症例における tPA 静注療法の効果. 第 46 回日本脳卒中学会学術集会, 2021.
- 60) ◎清水高広, 上野裕司, 立石洋平, 土井尻遼介, 栗城綾子, 菊野宗明, 竹川英宏, 古賀政利, 金丸晃大, 島田佳明, 神谷雄己, 山口枝里子, 猪原匡史, 辻野彰, 平田幸一, 長谷川泰弘, 服部信孝, 卜部貴夫. 潜在性脳梗塞患者における ASC 分類と退院時予後の関連性: CHALLENGE ESUS/CS レジストリー. 第 46 回日本脳卒中学会学術集会, 2021.
- 61) ◎吉江智秀, 柴田大作, 荒牧英治, 若宮翔子, 荒川豊, 植田敏浩, 尾原信行, 坂井信幸. AI を用いたカルテ情報を自動データベース化する自然言語処理解析装置の開発. 第 46 回日本脳卒中学会学術集会, 2021.
- 62) ◎植田敏浩, 長谷川泰弘, 森本将史, 竹内昌孝, 壺井祥史, 西山和利, 秋山武和, 各務宏, 小野寺英孝, 中居康展, 伊藤英道. 神奈川県における再開通療法に関する他施設共同前向き登録研究: 治療デバイス転帰との関連. 第 46 回日本脳卒中学会学術集会, 2021.
- 63) ◎辰野健太郎, 大坪治喜, 荒賀崇, 吉江智秀, 高石智, 白杵乃理子, 吉田泰之, 小野元, 植田敏浩. 若年者の急性頭蓋内動脈解離に対して発症早期に待機的に Wingspan 留置を施行した 3 症例. 第 46 回日本脳卒中学会学術集会, 2021.
- 64) ◎鏑木圭, 清水高弘, 秋山久尚, 萩原悠太, 飯島直樹, 曾我海馬, 鷹尾直誠, 柴田宗一郎, 栗田千尋, 佐々木直, 長谷川泰弘, 山野嘉久. 急性期脳梗塞における頸部血管エコーによる主幹動脈病変の診断についての検討. 第 46 回日本脳卒中学会学術集会, 2021.
- 65) ◎秋山久尚, 栗田千尋, 萩原悠太, 清水高広, 山野嘉久, 鈴木知美, 栗田慎吾, 出雲昌樹, 田邊康宏, 明石嘉浩. 当院での卵円孔開存に対する経皮的カテーテル PFO 閉鎖機器 (Amplazer PFO オクルーダー) 治療. 第 46 回日本脳卒中学会学術集会, 2021.

- 66) ◎飯島直樹, 清水高弘, 土橋瑤子, 曾我海馬, 鷹尾直誠, 柴田宗一郎, 萩原悠太, 栗田千尋, 秋山久尚, 長谷川泰弘, 山野嘉久. 担癌患者の脳梗塞発症後の予後予測因子に関する検討: 拡散協調画像所見 (Three territory sign) の有用性. 第 46 回日本脳卒中学会学術集会, 2021.
- 67) ◎重田恵吾, 鈴木健太郎, 松丸祐司, 竹内昌孝, 森本将史, 金澤隆三郎, 高山洋平, 神谷雄己, 大久保誠二, 早川幹人, 石井則宏, 古口徳雄, 滝川知司, 井上雅人, 内藤博道, 太田貴裕, 平野照之, 加藤徳之, 植田敏浩, 木村和美. t-PA 併用療法によりステントレトリーバーの血栓回収効果が高くなる ~SKIP Study から~. 第 46 回日本脳卒中学会学術集会, 2021.
- 68) ◎高石智, 大坪治喜 荒賀崇, 辰野健太郎, 吉江智秀 臼杵乃理子, 吉田泰之, 小野元, 植田敏浩. 急性期脳梗塞 DWI 異常領域と可逆性における年齢による影響. 第 46 回日本脳卒中学会学術集会, 2021.
- 69) ◎臼杵乃理子, 大坪治喜, 辰野健太郎, 荒賀崇, 吉江智秀, 高石智, 高田達郎, 植田敏浩. 当施設における内頸動脈完全閉塞に対する頸動脈ステント留置術の治療成績. 第 46 回日本脳卒中学会学術集会, 2021.
- 70) ◎内田和希, 高田達郎, 新保大輔, 安喰稔, 穂刈正昭, 坂本孝治, 植田敏浩. 遠位バルーン閉塞下吸引返血法による頸動脈ステント留置術適応拡大後の治療成績. 第 46 回日本脳卒中学会学術集会, 2021.
- 71) ◎大坪治喜, 植田敏浩, 長谷川泰弘, 森本将史, 竹内昌孝, 壺井祥史, 西山和利, 秋山武和, 各務宏, 伊藤英道, 小野寺英孝. 神奈川県再開通療法に関する他施設共同前向き登録研究 (K-NET registry) : rt-PA 静注単独療法の中間解析. 第 46 回日本脳卒中学会学術集会, 2021.
- 72) ◎金丸晃大, 上野裕司, 菊野宗明, 立石洋平, 清水高広, 栗城綾子, 土井尻遼介, 島田佳明, 竹川英宏, 山口枝里子, 古賀政利, 神谷雄己, 猪原匡史, 辻野彰, 平田幸一, 長谷川泰弘, 服部信孝, 相澤仁志, 卜部貴夫. 潜因性脳梗塞における high risk PFO の臨床的意義 (CHALLENGE ESUS/CS レジストリー) . 第 46 回日本脳卒中学会学術集会, 2021.
- 73) ◎菊野宗明, 上野裕司, 竹川英宏, 金丸晃大, 清水高広, 栗城綾子, 立石洋平, 土井尻遼介, 島田佳明, 山口枝里子, 古賀政利, 神谷雄己, 猪原匡史, 辻野彰, 平田幸一, 長谷川泰弘, 相澤仁志, 服部信孝, 卜部貴夫. 非活動性の悪性腫瘍を有する潜因性脳梗塞では動脈原性塞栓源が関連する: CHALLENGE ESUS/CS Registry. 第 46 回日本脳卒中学会学術集会, 2021.
- 74) ◎神谷雄己, 鈴木健太郎, 松丸祐司, 竹内昌孝, 大久保誠二, 早川幹人, 石井則宏, 古口徳雄, 滝川知司, 井上雅人, 内藤博道, 太田貴裕, 平野照之, 加藤徳之, 植田敏浩, 木村和美. IVtPA の併用は First pass effect を増加させる —SKIP Study—. 第 46 回日本脳卒中学会学術集会, 2021.
- 75) ◎吉田泰之, 小野元, 植田敏浩, 田中雄一郎. ワルファリン関連脳内出血に対する乾燥濃縮人プロトロンビン複合体製剤投与後の開頭血腫除去に関する検討. 第 50 回脳卒中の外科学会学術集会, 2021.

② 国際学会

- 1) ◎Nakajima T, Yoshifuji H, Yamano Y, Handa H, Ohmura K, Mimori T, Terao C. Detailed Profile of co-occurrence of Relapsing Polychondritis and Autoimmune Thyroid Disease. EULAR 2020 E-congress, 2020.
- 2) ◎Shiraishi M, Maki F, Morosawa Y, Takumi I, Isahaya K, Sasaki N, Hasegawa Y, Yamano Y. Indication and long-term outcome of device-aided therapies in advanced Parkinson's disease.

MDS Virtual Congress 2020, 2020.

- 3) ◎Matsumoto H, Shiraishi M, Tochimoto S, Tanaka K, Uchino K, Hasegawa Y, Yamano Y. Predictive factors of serious falls in Parkinson's disease. MDS Virtual Congress 2020, 2020.
- 4) ◎Akiyama H, Nukui S, Isahaya K, Hasegawa Y. Risk of Hypo-and Hyperglycemia in patients with acute ischemic stroke based on continuous glucose monitoring. World Stroke Congress 2020, 2020.
- 5) ◎Shibata S, Sakurai K, Iijima N, Kobayashi Y, Hasegawa Y. Development of a diagnostic algorithm to predict the final disease subtype of cerebral infarction using artificial intelligence (AI) based on initial assessments. European Stroke Organisation and World Stroke Organization Conference (ESO-WSO 2020), 2020.

③ その他

- 1) ◎山野嘉久. これからの難病医療 ―難病領域データベースの活用と課題―. Rare Disease Day / 世界稀少・難治性疾患の日, 2020.
- 2) ◎櫻井謙三. 患者 QOL を意識した MS 治療～当院でのナタリズマブ使用経験から考える～. MS One Summit Live セミナー, 2020.
- 3) ◎白石眞. パーキンソン病治療における課題～unmet needs とは～. Parkinson's Disease Web Symposium, 2020.
- 4) ◎秋山久尚. パーキンソン病における非運動症状への対応. 協和キリン社員研修会, 2020.
- 5) ◎眞木二葉. ウェアリングオフ治療における COMT 阻害薬の位置づけを再考する. 東京・横浜 PD アドバイザリーミーティング, 2020.
- 6) ◎山野嘉久. HTLV-1 の基礎知識とキャリア妊産婦・患者への支援. 令和 2 年山梨県 HTLV-1 母子感染予防対策研修会, 2020.
- 7) ◎吉江智秀. <末梢血管の血栓除去> ウロキナーゼを再評価する. After Tron の末梢治療戦略 ～もっと遠くへ～, 2020.
- 8) ◎白石眞. LCIG 導入維持期のマネジメント : 病診連携. LCIG Experts Meeting 2020, 2020.
- 9) ◎櫻井謙三. 近未来の脳卒中診察～CT 画像の自動解析と診断アプリケーション. Co-Creating Healthcare IT～ヘルスケア IT の共創～, 2020.
- 10) ◎吉江智秀. 私の Embotrap の使い方. EmboTrap II 座談会, 2020.
- 11) ◎白石眞. 講演実臨床におけるマネジメントテーマ 多職種連携・病診連携. aPD 研究会 2020, 2020.
- 12) ◎眞木二葉. パーキンソン病の進行期治療 ～治療選択肢が多様化する中で何ができるか?～. 川崎北部パーキンソン病治療セミナー, 2020.
- 13) ◎篠原健介. 新規 COMT 阻害薬の対象者像を考える. 川崎北部パーキンソン病治療セミナー, 2020.
- 14) ◎吉江智秀. 私の Embotrap の使い方. EmboTrap II 日本縦断座談会, 2020.
- 15) ◎眞木二葉. パーキンソン病の進行治療 ～治療選択肢が多様化する中で何ができるか?～. PD セミナー in 県西・湘南西部, 2020.
- 16) ◎吉江智秀. よく遭遇する普通の脳動脈瘤に対する silky soft の使用方法. i-ED coil 座談会, 2020.
- 17) ◎眞木二葉. パーキンソン病の進行期治療 ～治療選択肢が多様化する中で何ができるか?～. バ

- ーキンソン病治療セミナー, 2020.
- 18) ◎櫻井謙三. 視神経脊髄炎の治療戦略. 川崎 NMOSD フォーラム, 2020.
 - 19) ◎眞木二葉. パーキンソン病の進行期治療 ～治療選択肢が多様化する中で何が出来るか～. パーキンソン病治療を考える, 2020.
 - 20) ◎白石眞. パーキンソン病の診断・治療における課題 ～コロナ禍での問題も含めて～. 神経疾患治療を考える会 2020, 2020.
 - 21) ◎山野嘉久. HAM の診察ガイドライン 2019 を踏まえた診断と治療. 神経疾患治療を考える会 2020, 2020.
 - 22) ◎白石眞. もう一度みんなでパーキンソン病を知ろう「進行期パーキンソン病への対応について」. Parkinson's disease Network in Tama, 2020.
 - 23) ◎櫻井謙三. 重症筋無力症の治療戦略～リスクから考える個別治療～. 神奈川県東部神経免疫を考える会 Web セミナー～MG 患者の更なる QOL 向上を目指して～, 2020.
 - 24) ◎山野嘉久. 一医療薬学特論—Special Lecture Clinical Pharmaceutical Science 新薬開発における患者レジストリの役割. 東京大学講義, 2020.
 - 25) ◎白石眞. パーキンソン病診療における課題～コロナ禍での取り組みも含めて～. 第 5 回 Neuroscience Expert Seminar, 2020.
 - 26) ◎堀内正浩. 神経変性疾患 ～Parkinson 病、大脳皮質基底核変性症、ジストニアを中心に～. 静岡市難病障害者協議会 第 11 回難病と福祉の勉強会, 2020.
 - 27) ◎白石眞. パーキンソン病診療における問題点～コロナ禍ですべきことは?～. パーキンソン病 Web シンポジウム, 2020.
 - 28) ◎櫻井謙三. MS 治療におけるリスクとベネフィットについて. 首都圏 MS 治療検討会, 2020.
 - 29) ◎山野嘉久. これからの難病医療 ～神経難病患者へのオンライン診察の実際～. Kanagawa Neurology Meeting, 2020.
 - 30) ◎櫻井謙三. 患者 QOL を考慮した治療選択. MS Next Generation Web Seminar, 2020.
 - 31) ◎深野崇之, 萩原悠太, 清水高弘, 内田将司, 伊藤英道, 秋山久尚, 山野嘉久. 血管内治療医から見た急性期脳血管障害治療の最前線. 第 79 回内科合同勉強会, 2020.
 - 32) ◎吉江智秀. 私の Embotrap の使い方. EmboTrap II 座談会, 2020.
 - 33) ◎眞木二葉. パーキンソン病の進行期治療 ～治療選択肢が多様化する中で何が出来るか?～. PD セミナー in 横須賀～WEB Meeting～, 2020.
 - 34) ◎白石眞. みんなで取り組もうパーキンソン病診療 -コロナ禍での対応も踏まえて-. 川崎北部パーキンソン病 web 講演会, 2020.
 - 35) ◎白石眞. 脳神経内科領域における LBD の治療課題とは?. LBD 治療研究会 DAY 2, 2020.
 - 36) ◎櫻井謙三. 視神経炎から考える中枢性脱髄性疾患. 帝人社内研修会, 2020.
 - 37) ◎山野嘉久, 八木下尚子, 古澤嘉彦, 丹澤和雅, 山口泉, 川口喬久, 松田文彦. 難病プラットフォーム (Rare Disease Data Registry of Japan : RADDAR-J) について. 厚生労働省難治性疾患政策研究班 (神経免疫班) AMED 難治性疾患実用化研究班 令和 2 年度合同班会議, 2021.
 - 38) ◎山岸誠, 長阪美沙子, 鈴木穰, 久世裕太, 八木下尚子, 新谷奈津美, 山内淳司, 渡邊俊樹, 佐藤知雄, 山野嘉久. HAM 患者のゲノム異常とクローン構造の高感度解析による ATL 発症リスクの評価.

厚生労働省難治性疾患政策研究班（神経免疫班）AMED 難治性疾患実用化研究班 令和 2 年度合同
班会議, 2021.

- 39) ◎飯島直樹, 高田礼子, 八木下尚子, 田辺健一郎, 井上永介, 新谷奈津美, 山内淳司, 佐藤知雄, 山
野嘉久. リアルワールドデータにより示された HAM の排尿障害に対するミラベクロンの有用性. 厚
生労働省難治性疾患政策研究班（神経免疫班）AMED 難治性疾患実用化研究班 令和 2 年度合同班
会議, 2021.
- 40) ◎眞木二葉. パーキンソン病の診察 ～薬剤から DAT～. Parkinson's Disease Seminar in
KAWASAKI, 2021.
- 41) ◎荒賀崇. パーキンソン病の瞳孔反射以上検出を目的としたアイトラッキングビデオ瞳孔径計測の
意義. 第 12 回川崎北部 PD 勉強会, 2021.
- 42) ◎萩原悠太. パーキンソン病・ALS・抹消神経疾患における超音波の有用性. 第 12 回川崎北部 PD
勉強会, 2021.
- 43) ◎篠原健介. パーキンソン病における唾液中ストレスマーカーの可能性. 第 12 回川崎北部 PD 勉強
会, 2021.
- 44) ◎眞木二葉. パーキンソン病の進行期治療 ～治療選択肢が多様化する中で何が出来るか～. オン
ジェンティス®錠 web ライブセミナー, 2021.
- 45) ◎眞木二葉. コロナ禍におけるパーキンソン病治療 ～症状コントロールの重要性～. パーキンソ
ン病治療 地域連携セミナー, 2021.
- 46) ◎山野嘉久. 新規 HTLV-1 感染モデルを用いた HAM の発症予防法・治療法の開発. HTLV-1 関連疾
患研究領域研究班合同発表会, 2021.
- 47) ◎山野嘉久. HAM の治療薬開発を促進する代替エンドポイントとしてのバイオマーカーの実用化
研究. HTLV-1 関連疾患研究領域研究班合同発表会, 2021.
- 48) ◎山野嘉久. HAM ならびに類縁疾患の患者レジストリを介した診療連携モデルの構築によるガイ
ドラインの活用促進と医療水準の均てん化に関する研究. HTLV-1 関連疾患研究領域研究班合同発表
会, 2021.
- 49) ◎山野嘉久. HAM・HTLV-1 陽性難治性疾患の診察ガイドラインに資する統合的レジストリの構築
によるエビデンスの創出. HTLV-1 関連疾患研究領域研究班合同発表会, 2021.
- 50) ◎山野嘉久. HAM の革新的治療となる抗 CCR4 抗体製剤のコンパッションネートユースによる長期
的投与試験. HTLV-1 関連疾患研究領域研究班合同発表会, 2021.
- 51) ◎白石眞. パーキンソン病治療補助薬～CDS 実現とこれから～. パーキンソン病治療セミナー,
2021.
- 52) ◎長谷川泰弘. 脳卒中の遠隔医療(telestroke) Up to Date. 脳血管障害と遠隔診療, 2021.
- 53) ◎櫻井謙三. 日常診療での病勢評価と治療選択. 多発性硬化症学術講演会, 2021.
- 54) ◎櫻井謙三. 実臨床下において診察・治療に苦慮する Case について. Tysabri MS Circle, 2021.
- 55) ◎眞木二葉. オピカポンの有用性について検証する. オンジェンティス Expert Seminar, 2021.
- 56) ◎眞木二葉. コロナ禍におけるパーキンソン病治療 ～症状コントロールの重要性～. オンジェン
ティス®錠 web ライブセミナー, 2021.
- 57) ◎櫻井謙三. NMOSD の治療戦略～患者視線から考える最善の治療とは～. IL-6 阻害薬 web カンフ

ァレンス, 2021.

- 58) ◎白石眞. LCIG 治療を成功に導く多職種連携 ～脳神経内科医の立場から～. LCIG Internet Live Seminar, 2021.
- 59) ◎眞木二葉. コロナ禍におけるパーキンソン病治療 ～症状コントロールの重要性～. オンジェンティス®錠 web ライブセミナー, 2021.
- 60) ◎深野崇之. 多量血栓による IC 閉塞に血栓回収術を行うも、術中アクセス困難にて治療続行不可能となった症例. 東横オープンカンファレンス 2021, 2021.
- 61) ◎眞木二葉. DLB の運動症状にトレリーフを如何に使いこなすか?. 横浜 DLB フォーラム, 2021.
- 62) ◎白石眞, 山野嘉久, 三上恭平, 加茂力. パーキンソン病における姿勢異常の評価. 第 1 回 メトロポリタン PD カンファレンス, 2021.
- 63) ◎櫻井謙三. 近未来の脳卒中診療～非専門医が tPA 静注療法を行うために～. Advanced Imaging Seminar 2021, 2021.
- 64) ◎秋山久尚. 頭痛の達人養成講座. アムジェン株式会社 R&D 社内講演会, 2021.
- 65) ◎眞木二葉. パーキンソン病の進行期治療 update. リモート神経疾患セミナー, 2021.
- 66) ◎篠原健介. wearing off 治療におけるオピカポンの positioning を考える. PARKINSON'S DISEASE SEMINAR, 2021.

		和文	英文
著 書		3	
論 文	原著	5	21
	解説又は総説	13	
	症例報告	2	3
	その他	7	
学会発表	国内学会	75	
	国際学会		5
	その他	66	

内科学(血液・腫瘍内科)

学術論文[和文]

① 総説又は症例解説

- 1) 新井文子. 慢性活動性 EB ウイルス感染症 病態、臨床像、治療. 日本検査血液学会雑誌, 2020;21(2): 121-126.
- 2) 新井文子. 慢性活動性 EB ウイルス感染症に対する新規治療. 内科, 2020;126(3):464-466.
- 3) 新井文子. 慢性活動性 EB ウイルス感染症～本邦の診療実態からみた WHO2017～. 血液内科, 2020;81(5):599-603.
- 4) 井本清美, 佐野文明. 骨髄増殖性腫瘍 形態からのアプローチ 末梢血・骨髄塗沫標本における PV と ET の形態学的特徴および血栓症について. 日本検査血液学会雑誌, 2021;22(1):89-99.

② 症例報告

- 1) 齊木祐輔, 富田直人, 上村 悠, 鈴木義則, 磯部泰司, 加藤雅之, 新井文子. 化学療法後に巨大結腸症を来した急性骨髄単球性白血病. 神奈川医学会雑誌, 2020;47(2):172.

③ その他

- 1) 新井文子. 慢性活動性 EB ウイルス感染症の活動性を抑える新薬の開発は? JAK1/2 阻害薬ルキソチニブの有効性、安全性を検証する医師主導治験が行われている (Q&A). 日本医事新報, 2020;(5008): 56-57.
- 2) 富田直人. CNS lymphoma の生検, 私はこのように考えます. 臨床血液, 2020;61(6):585-586.

学術論文[英文]

① 原著

- 1) Arai A, Takase H, Yoshimori K, Mochizuki M, Miura O. Gene expression profiling of primary vitreoretinal lymphoma. *Cancer Science*, 2020;111(4):1417-1421.
- 2) Nagasaka M, Yamagishi M, Yagishita N, Araya N, Kobayashi S, Makiyama J, Kubokawa M, Yamauchi J, Hasegawa D, Coler-Reilly ALG, Tsutsumi S, Uemura Y, Arai A, Takata A, Inoue E, Hasegawa Y, Watanabe T, Suzuki Y, Uchimarui K, Sato T, Yamano Y. Mortality and risk of progression to adult T-cell leukemia/lymphoma in HTLV-1-associated myelopathy/tropical spastic paraparesis. *Proceedings of the National Academy of Sciences of the United States of America*, 2020;117(21):11685-11691.
- 3) Yonese I, Sakashita C, Imadome KI, Kobayashi T, Yamamoto M, Sawada A, Ito Y, Fukuhara N, Hirose A, Takeda Y, Makita M, Endo T, Kimura S, Ishimura M, Miura O, Ohga S, Kimura K, Fujiwara S, Arai A. Nationwide survey of systemic chronic active EBV infection in Japan in accordance with the new WHO classification. *Blood Advances*, 2020;4(13):2918-3926.
- 4) Takenaka K, Onishi Y, Mori T, Hirakawa T, Tada Y, Uchida N, Kobayashi T, Kanda Y, Ozawa Y, Ota S, Iida H, Fukushima K, Kimura T, Fukuda T, Atsuta Y, Matsuto K, Yamazaki H, Nakasone H. Negative impact of cytomegalovirus reactivation on survival in adult patients with aplastic anemia after an allogeneic hematopoietic stem cell transplantation: a report from

transplantation-related complication and adult aplastic anemia working groups of the japan society for hematopoietic cell transplantation. *Biol Blood Marrow Transplant*, 2020;doi:10.1016/ : j.bbmt.2020.10.0001.

- 5) Matsuda S, Suzuki R, Takahashi T, Suehiro Y, Tomita N, Izutsu K, Fukuhara N, Imaizumi Y, Shimada K, Nakazato T, Yoshida I, Miyazaki K, Yamaguchi M, Suzumiya J. Dose-adjusted EPOCH with or without rituximab for aggressive lymphoma patients: real world data. *International Journal of Hematology*, 2020;112(6):807-816.

② 総説又は症例解説

- 1) Arai A. Chronic active epstein-barr virus infection : the elucidation of the pathophysiology and the development of therapeutic methods. *Microorganisms*, 2021;9(1):180.

③ 症例報告

- 1) Ishida T, Takase H, Arai A, Ohno-Matsui K. Multimodal imaging of secondary vitreoretinal lymphoma with optic neuritis and retinal vasculitis. *Am J Ophthalmol*, 2020;doi:10.1016 : /j.ajoc. 2020.100696.
- 2) Koda Eriko, Nishine Hiroki, Saiki Yusuke, Tsunoda Akihito, Usuba Ayano, Furuya Naoki, Mineshita Masamichi. A Case of Untreated Squamous Cell Lung Carcinoma May Contribute to the Occurrence of Hemophagocytic Syndrome. *Internal Medicine*, 2021;;doi: 10.2169/internalmedicine.5892-20.

学会発表

① 国内学会

- 1) 甲田英里子, 西根広樹, 齊木祐輔, 鶴岡一, 大山バク, 松澤慎, 尾上林太郎, 薄場彩乃, 大谷真理子, 森川慶, 古屋直樹, 木田博隆, 半田寛, 井上健男, 峯下昌道. 肺癌が原因と考えられた血球貪食症候群の一例. 第 240 回日本呼吸器学会関東地方会, 2020.
- 2) 西牧裕樹, 小杉成樹, 内田晶子, 佐野文明, 井上靖之, 新井文子. 再発した混合表現型急性白血病、B/骨髄性、非特定型に対し blinatumomab の投与が奏功した 1 例. 第 662 回日本内科学会関東地方会, 2020.
- 3) 呉詩星, 吉森真由美, 立石萌, 大橋彩香, 清水則夫, 西尾美和子, 新井文子. 慢性活動性 EB ウイルス感染症におけるウイルス由来 miRNA の標的の解明. 第 82 回日本血液学会学術集会, 2020.
- 4) 立石萌, 吉森真由美, 大橋彩香, 呉詩星, 清水則夫, 西尾美和子, 新井文子. EBV 陽性 NK 腫瘍細胞の産生するサイトカインは単球の凝固活性を高め DIC を引き起こす. 第 82 回日本血液学会学術集会, 2020.
- 5) 吉森真由美, 立石萌, 大橋彩香, 呉詩星, 今留謙一, 清水則夫, 西尾美和子, 新井文子. EBV 陽性 NK 腫瘍細胞は単球からマクロファージへの分化を誘導し、HLH の原因となり得る. 第 82 回日本血液学会学術集会, 2020.
- 6) 山本正英, 佐藤真穂, 大西康, 松岡賢市, 鬼塚真仁, 渡邊健一郎, 菊田敦, 坂下千瑞子, 小林徹, 一戸辰夫, 福田隆浩, 井上雅美, 熱田由子, 新井文子. 慢性活動性 EB ウイルス感染症に対する同種移植. 第 82 回日本血液学会学術集会, 2020.

- 7) 新井文子. 慢性活動性 Epstein-Barr ウイルス感染症の克服を目指して. 第 82 回日本血液学会学術集会 女性医師シンポジウム, 2020.
- 8) ◎榎潤滯, 家研也, 相原茉里, 奥瀬千晃, 平間千絵, 玉井勇人. 原因不明の浮腫で来院した MDS による二次性血管漏出症候群も 1 例. 第 663 回日本内科学会関東地方会, 2020.
- 9) 多田純平, 中園健一, 松崎貴志, 田中恒明, 井上泰之, 佐野文明. レナリドマイドによる皮疹、発熱に対して脱感作療法導入により再投与が可能となった一例. 第 30 回日本医療薬学会年会, 2020.
- 10) ◎堤健, 斎藤浩輝, 北野夕佳, 若竹春明, 榎井良裕, 細谷美鈴, 佐野文明, 平泰彦, 藤谷茂樹. 当院に起こった国内最大級の COVID-19 院内感染事例の検討. 第 48 回日本救急医学会総会・学術総会, 2020.
- 11) 鈴木 黎, 平川経晃, 齊木祐輔, 内田晶子, 上村 悠, 鈴木義則, 加藤雅之, 富田直人, 森 鉄也, 新井文子. 閉塞性黄疸で発症した AYA 世代の膝頭部原発びまん性大細胞型 B 細胞リンパ腫. 第 14 回日本血液学会関東甲信越地方会, 2021.
- 12) Inoue Y, Kosugi S, Sano F, Arai A. Improvement of high serum levels of biomarkers of endothelial injury (VCAM1) and inflammation (TNFR1) after allogeneic hematopoietic stem cell transplantation with sinusoidal obstruction syndrome using defibrotide. 第 82 回日本血液学会学術集会, 2020.
- ② 国際学会
- 1) Yoshimori M, Tateishi M, Ohashi A, Wu S, Imadome K, Shimizu N, Nishio M, Arai A. Products of EBV-Positive Neoplastic NK-Cells Induce Differentiation into Macrophages and Procoagulant Activity of Monocytes, which Leads to HLH. 25th Annual Congress of EHA, 2020.
- 2) Nagaishi T, Yamada D, Tsugawa N, Watabe T, Saito E, Fukuda M, Arai A, Ohtsuka K, Watanabe M, Mamoru Watanabe. A case of villous atrophy with CCR4+ T cell infiltration in the small intestine. 28th United European Gastroenterology Week UEGW 2020, 2020.

		和文	英文
著 書			
論 文	原著		5
	解説又は総説	4	1
	症例報告	1	2
	その他	2	
学会発表	国内学会	11	1
	国際学会		2
	その他		

内科学(リウマチ・膠原病・アレルギー内科)

著書

- 1) 鈴木翔太郎, 荻野昇. 膠原病の薬 薬の上手な出し方&やめ方 2020;:218-227.
- 2) 山崎和子. 小児リウマチ性疾患と画像診断 胸部 CT:肺 CT を中心に 小児リウマチ学 2020;:71-74.
- 3) 秋岡親司, 西田豊, 佐藤智, 山崎和子, 山崎雄一, 竹崎俊一郎, 岸崇之, 小林法元, 大原亜沙美, 中瀬古春菜, 橋本求. 若年性皮膚筋炎(JDM)・若年性突発性筋疾患(JIM) 成人診療科医のための小児リウマチ性疾患移行支援ガイド 2020;:105-121.
- 4) 川畑仁人. 複合性局所疼痛症候群(反射性交感神経性ジストロフィー) 今日の治療指針 2021;:922-923.
- 5) 鈴木翔太郎. 画像検査 ケースでわかるリウマチ・膠原病診療ハンドブック 2021;:49-72.
- 6) 鈴木翔太郎. 本当に歳のせい? リウマチ性多発筋痛症・巨細胞性動脈炎 ~不明熱・不明炎症の王様を一步踏み込んで理解しよう リウマチ膠原病“らしさ”を捉える! 2021;:27-39.

学術論文[和文]

① 原著

- 1) 瀬上航平, 大岡正道, 山田浩史, 朝野隆之, 阿部宏志, 穂山雅代, 村弘子, 梶ヶ谷和子, 内川隆子, 橋川薫, 小林泰之, 三村秀文, 安田宏, 峯下昌道, 大坪毅人. 放射線科読影レポート未確認に伴う Diagnostic Error への対策. 聖マリアンナ医科大学雑誌, 2020;48(3):61-66.

② 総説又は症例解説

- 1) 川畑仁人. 免疫チェックポイント阻害薬使用に伴う神経・筋有害事象. リウマチ科, 2020;63(4):438-442.
- 2) 川畑仁人. 担癌患者で自己免疫疾患を有する患者に対する免疫チェックポイント阻害薬の安全性と有効性. リウマチ科, 2020;64(3):335-338.
- 3) 川畑仁人. ANCA 関連血管炎. 脳神経内科, 2020;93(5):616-623.
- 4) 川畑仁人. 血管炎に認められる中枢・末梢性神経障害の特徴: 診断から治療まで. 炎症と免疫, 2021;29(1):54-61.
- 5) 川上美里, 村島温子. アレルギー疾患における妊婦・授乳婦の薬物治療. Medicina, 2021;58(2):262-267.
- 6) 川畑仁人. 免疫チェックポイント阻害薬と自己免疫疾患. Medical Practice, 2021;38(3):417-422.
- 7) 川畑仁人. ANCA 関連血管炎と PF-ILD. Respiratory medicine, 2021;39(3):242-246.

学術論文[英文]

① 原著

- 1) Yamazaki K, Ohta A, Akioka S, Yamasaki Y, Ohara A, Nakaseko H, Nishimura K, Kobayashi N, Nishida Y, Sato S, Takezaki S, Kishi T, Hashimoto M, Kobayashi I, Mori M. External validation of the EULAR/ACR idiopathic inflammatory myopathies classification criteria with japanese paediatric cohort. Rheumatology, 2020;:DOI:10.1093/rheumatology/keaa274.

- 2) Sugihara T, Hasegawa H, Uchida HA, Yoshifuji H, Watanabe Y, Amiya E, Maejima Y, Konishi M, Murakawa Y, Ogawa N, Furuta S, Katsumata Y, Komagata Y, Naniwa T, Okazaki T, Tanaka Y, Takeuchi T, Nakaoka Y, Arimura Y, Harigai M, Isobe M; Japan Research Committee of the Ministry of Health, Labour, and Welfare for Intractable Vasculitis (JPVAS). Associated factors of poor treatment outcomes in patients with giant cell arteritis: clinical implication of large vessel lesions. *Arthritis research & therapy*, 2020;22(1):72.
- 3) Jie-Sen Zhou, Zhou-Yang Li, Xu-Chen Xu, Yun Zhao, Yong Wang, Hai-Pin Chen, Min Zhang, Yin-Fang Wu, Tian-Wen Lai, Chun-Hong Di, Ling-Ling Dong, Juan Liu, Nan-Xia Xuan, Chen Zhu, Yan-Ping Wu, Hua-Qiong Huang, Fu-Gui Yan, Wen Hua, Yi Wang, Wei-Ning Xiong, Hui Qiu, Tao Chen, Dong Weng, Hui-Ping Li, Xiaobo Zhou, Lie Wang, Fang Liu, Xin Lin, Song-Min Ying, Wen Li, Mitsuru Imamura, Mary E Choi, Martin R Stampfli, Augustine M K Choi, Zhi-Hua Chen, Hua-Hao Shen. Cigarette smoke-initiated autoimmunity facilitates sensitisation to Elastin-induced COPD-like pathologies in mice. *The European respiratory journal : official journal of the European Society for Clinical Respiratory Physiology*, 2020;:doi: 10.1183/13993003.00404-2020.
- 4) Kiyokawa T, Hanaoka H, Iida H, Ishimori K, Takakuwa Y, Okazaki T, Ozaki S, Kawahata K. High plasma mycophenolate acid concentration in the early phase of induction therapy predicts good renal outcome in lupus nephritis. *Modern Rheumatology*, 2020;30:517-524.
- 5) Kobayashi Ichiro, Akioka Shinji, Kobayashi Norimoto, Iwata Naomi, Takezaki Shunichiro, Nakaseko Haruna, Sato Satoshi, Nishida Yutaka, Nozawa Tomo, Yamasaki Yuichi, Yamazaki Kazuko, Arai Satoru, Nishino Ichizo, Mori Masaaki. Clinical practice guidance for juvenile dermatomyositis (JDM) 2018-update. *Modern Rheumatology*, 2020;30(3):411-423.
- 6) Takada K, Katada Y, Ito S, Hayashi T, Kishi J, Itoh K, Yamashita H, Hirakata M, Kawahata K, Kawakami A, Watanabe N, Atsumi T, Takasaki Y, Miyasaka N. Impact of adding tacrolimus to initial treatment of interstitial pneumonitis in polymyositis/dermatomyositis: a single-arm clinical trial. *Rheumatology (Oxford, England)*, 2020;59(5):1084-1093.
- 7) Shimizu J, Yamano Y, Kawahata K, Suzuki N. Elucidation of predictors of disease progression in patients with relapsing polychondritis at the onset: potential impact on patient monitoring. *BMC rheumatology*, 2020;4(41):doi: 10.1186/s41927-020-00141-8.
- 8) Nakaoka Y, Isobe M, Tanaka Y, Ishii T, Ooka S, Nihiro H, Tamura N, Banno S, Yoshifuji H, Sakata Y, Kawakami A, Atsumi T, Furuta S, Kohsaka H, Suzuki K, Hara R, Maejima Y, Tsukamoto H, Takasaki Y, Yamashita K, Okada N, Yamakido S, Takei S, Yokota S, Nishimoto N. Long-term efficacy and safety of tocilizumab in refractory Takayasu arteritis: final results of the randomized controlled phase 3 TAKT study. *Rheumatology (Oxford, England)*, 2020;59(1):2427-2434.
- 9) Yamasaki Yukitaka, Ooka Seido, Tsuchida Tomoya, Nakamura Yuta, Hagiwara Yuta, Naitou Yoshiyuki, Ishibashi Yuki, Ikeda Hiroki, Sakurada Tsutomu, Handa Hiroshi, Nishine Hiroki, Takita Mumon, Morikawa Daiki, Yoshida Hideki, Fujii Shuichi, Morisawa Kenichiro, Takemura Hiromu, Fujitani Shigeki, Kunishima Hiroyuki. The peripheral lymphocyte count as a predictor of severe COVID-19 and the effect of treatment with ciclesonide. *Virus Research*, 2020;290 :

198089.

- 10) Sobue Y, Kojima T, Ito H, Nishida K, Matsushita I, Kaneko Y, Kishimoto M, Kohno M, Sugihara T, Seto Y, Tanaka E, Nakayama T, Hirata S, Murashima A, Morinobu A, Mori M, Kojima M, Kawahito Y, Harigai M. Does exercise therapy improve patient-reported outcomes in rheumatoid arthritis? A systematic review and meta-analysis for the update of the 2020 JCR guidelines for the management of rheumatoid arthritis. *Modern Rheumatology*, 2021;:1-14.
- 11) Yamasaki Y, Kobayashi N, Akioka S, Yamazaki K, Takezaki S, Nakaseko H, Ohara A, Nishimura K, Nishida Y, Sato S, Kishi T, Hashimoto M, Mori M, Okazaki Y, Kuwana M, Ohta A. Clinical impact of myositis-specific autoantibodies on long-term prognosis of juvenile idiopathic inflammatory myopathies: multicenter study. *Rheumatology (Oxford, England)*, 2021;:doi: 10.1093/rheumatology/keab108.
- 12) Sobue Y, Kojima M, Kojima T, Ito H, Nishida K, Matsushita I, Hirata S, Kaneko Y, Kishimoto M, Kohno M, Murashima A, Morinobu A, Mori M, Nakayama T, Sugihara T, Seto Y, Tanaka E, Hasegawa M, Kawahito Y, Harigai M. Patient satisfaction with total joint replacement surgery for rheumatoid arthritis: a questionnaire survey for the 2020 update of the Japan college of rheumatology clinical practice guidelines. *Modern Rheumatology*, 2021;:1-6.

② 症例報告

- 1) Tomoya Tsuchida, Yuko Nitahara, Shotaro Suzuki, Yuko Komase, Katherine Candray, asutoshi Kido, Yu Nakagama, Yukitaka Yamasaki, Mitsuru Imamura, Kimito Kawahata, Hiroyuki Kunishima, Shigeki Fujitani, Masamichi Mineshita, Takahide Matsuda.
Back to Normal; Serological Testing for COVID-19 Diagnosis Unveils Missed Infections. *Journal of Medical Virology*, 2021;93(7):4549-4552.

学会発表

① 国内学会

- 1) ○鈴木豪, 安藤貴泰, 後藤由多加, 内田麻理奈, 品川尚志, 水島万智子, 柴田朋彦, 川畑仁人. 臨床的寛解達成関節リウマチ患者を対象としたメトトレキサート減量後の再燃予測に対するMRI画像評価の有用性. 第64回日本リウマチ学会総会・学術集会, 2020.
- 2) ○水島万智子, 鈴木豪, 清川智史, 浦田幸朋, 松井利浩, 川畑仁人. Ninja2018データからみた悪性腫瘍を発症した関節リウマチ患者の臨床像とRA治療に関する検討. 第64回日本リウマチ学会総会・学術集会, 2020.
- 3) 川畑仁人. 移行症例の経験の共有から学ぶ成人期に持ち越す合併症. 第64回日本リウマチ学会総会・学術集会, 2020.
- 4) ○清川智史, 山崎宜興, 石崎克樹, 安藤貴泰, 飯田春信, 後藤由多加, 鈴木可奈子, 川崎達也, 鈴木翔太郎, 櫻井恵一, 水島万智子, 山崎和子, 今村充, 鈴木豪, 永渕裕子, 大岡正道, 川畑仁人. ヒドロキシクロキシン単剤治療の有効性とそれを可能性にする背景とは. 第64回日本リウマチ学会総会・学術集会, 2020.

- 5) ○森雅亮, 山崎和子, 武井修治, 伊藤保彦, 小林一郎, 富板美奈子, 岡本奈美. 全国調査から浮かび上がった小児リウマチ疾患の移行医療の現状と課題. 第 64 回日本リウマチ学会総会・学術集会, 2020.
- 6) ○桐雄一, 戸倉雅, 毛利万里子, 長坂憲治. 抗 MDA-5 抗体陽性皮膚筋炎に対してエトポシドが奏功した二例. 第 64 回日本リウマチ学会総会・学術集会, 2020.
- 7) ○平原慎也, 勝又康弘, 佐田憲映, 永渕裕子, 田中榮一, 針谷正祥. ANCA 関連血管炎患者における労働生産性及び活動障害と健康関連 QoL の関連についての 3 大学横断調査. 第 64 回日本リウマチ学会総会・学術集会, 2020.
- 8) ○安藤貴泰, 鈴木豪, 石崎克樹, 飯田春信, 後藤由多加, 鈴木可奈子, 川崎達也, 鈴木翔太郎, 櫻井恵一, 清川智史, 水島万智子, 高桑由希子, 山崎和子, 今村充, 山崎宜興, 大岡正道, 永渕裕子, 川畑仁人. 高齢発症関節リウマチに対する抗 IL-6 阻害薬とその他生物学的製剤の有効性と安全性の比較. 第 64 回日本リウマチ学会総会・学術集会, 2020.
- 9) ○飯田春信, 山崎宜興, 藤本久絵, 石崎克樹, 安藤貴泰, 鈴木可奈子, 後藤由多加, 鈴木翔太郎, 川崎達也, 櫻井恵一, 清川智史, 水島万智子, 鈴木豪, 今村充, 山崎和子, 大岡正道, 永渕裕子, 川畑仁人. 抗 ARS 抗体と抗 MAD5 抗体陽性間質性肺炎の長期生命予後・肺機能の検討. 第 64 回日本リウマチ学会総会・学術集会, 2020.
- 10) ○櫻井恵一, 山崎宜興, 浅利佑紗, 鈴木可奈子, 清川智史, 山田秀裕, 川畑仁人. 強皮症患者における運動負荷心エコーでの運動負荷後肺動脈圧上昇からの回復遅延とその後の肺高血圧症発症の関連の検討. 第 64 回日本リウマチ学会総会・学術集会, 2020.
- 11) ○川崎達也, 清川智史, 鈴木翔太郎, 安藤貴泰, 石崎克樹, 飯田春信, 後藤由多加, 鈴木可奈子, 櫻井恵一, 水島万智子, 山崎和子, 今村充, 鈴木豪, 永渕裕子, 山崎宜興, 大岡正道, 川畑仁人. メトトレキサート非併用高齢関節リウマチにおけるアバタセプトの継続を可能にする背景とは. 第 64 回日本リウマチ学会総会・学術集会, 2020.
- 12) ○鈴木翔太郎, 清川智史, 石崎克樹, 安藤貴泰, 飯田春信, 後藤由多加, 鈴木可奈子, 川崎達也, 櫻井恵一, 水島万智子, 山崎和子, 今村充, 鈴木豪, 永渕裕子, 山崎宜興, 大岡正道, 川畑仁人. 慢性腎臓病が高齢関節リウマチにおける MTX 非併用生物学的製剤・JAK 阻害薬の継続率に与える影響について. 第 64 回日本リウマチ学会総会・学術集会, 2020.
- 13) 川畑仁人. リウマチ医が遭遇する免疫関連有害事象: 関節炎, 膠原病. 第 64 回日本リウマチ学会総会・学術集会, 2020.
- 14) ○阿久津裕子, 真保麻実, 毛利万里子, 山崎晋, 森雅亮. NXP-2 抗体陽性若年性皮膚筋炎の 4 例. 第 64 回日本リウマチ学会総会・学術集会, 2020.
- 15) ○後藤由多加, 鈴木豪, 藤本久絵, 石崎克樹, 安藤貴泰, 飯田春信, 鈴木可奈子, 川崎達也, 鈴木翔太郎, 櫻井恵一, 清川智史, 水島万智子, 高桑由希子, 殿岡久美子, 山崎和子, 今村充, 山崎宜興, 大岡正道, 永渕裕子, 川畑仁人. 治療抵抗性の間質性肺炎を合併した抗 SRP 抗体陽性免疫介在性壊死性筋症の 1 例. 第 64 回日本リウマチ学会総会・学術集会, 2020.
- 16) ◎黒川真奈絵, 佐藤政秋, 佐藤利行, 高桑由希子, 永渕裕子, 有戸光美, 末松直也, 大岡正道, 川畑仁人, 加藤智啓. 顕微鏡的多発血管炎の新規血清バイオマーカー候補 AC13 定量系の開発. 第 64 回日本リウマチ学会総会・学術集会, 2020.
- 17) ○石崎克樹, 山崎宜興, 櫻井恵一, 安藤貴泰, 飯田春信, 後藤由多加, 鈴木可奈子, 川崎達也, 鈴木

翔太郎, 清川智史, 水島万智子, 山崎和子, 今村充, 鈴木豪, 永渕裕子, 大岡正道, 川畑仁人. 悪性腫瘍の加療を先行した悪性腫瘍合併皮膚筋炎の転機について. 第 64 回日本リウマチ学会総会・学術集会, 2020.

- 18) ◎佐藤利行, 佐藤政秋, 高桑由希子, 有戸光美, 大岡正道, 末松直也, 川畑仁人, 加藤智啓, 黒川真奈絵. 再発性多発軟骨炎における血清ペプチドの網羅的解析. 第 64 回日本リウマチ学会総会・学術集会, 2020.
- 19) ○永渕裕子, 今村充, 櫻井恵一, 柴田朋彦, 鈴木翔太郎, 鈴木豪, 山崎宜興, 川畑仁人. 免疫不全関連リンパ増殖性疾患(OIIA-LPDs)を合併した関節リウマチ(RA)の治療. 第 64 回日本リウマチ学会総会・学術集会, 2020.
- 20) 川畑仁人. 関節リウマチにおけるトファシチニブの安全性情報アップデート. 第 64 回日本リウマチ学会総会・学術集会 ランチョンセミナー, 2020.
- 21) 山崎和子. 本邦における小児の突発性炎症性筋疾患 (IIM) の臨床的特徴と成人 IIM との違い. 第 48 回日本臨床免疫学会総会, 2020.
- 22) 川畑仁人. 関節リウマチのエビデンスレビュー. 第 48 回日本臨床免疫学会総会, 2020.
- 23) 川畑仁人. 膠原病領域における血液浄化療法. 第 41 回日本アフェレシス学会学術大会, 2020.
- 24) ◎永渕裕子, 後藤由多加, 清川智史, 大岡正道, 川畑仁人. 挙児希望のためのメトトレキサートを中止した関節リウマチ患者の妊娠の転帰. 第 35 回日本臨床リウマチ学会, 2020.
- 25) ○Kamiya Mari, Kawahata Kimito, Hitoshi Kohsaka Hitoshi, Mizoguchi Fumitaka. Targeting necroptosis in muscle cells ameliorates inflammatory myopathies. 第 64 回日本リウマチ学会総会・学術集会, 2020.

② 国際学会

- 1) Sakurai K, Yamasaki Y, Suzuki K, Asari Y, Suzuki T, Kiyokawa T, Kou S, Akashi Y, Yamada H, Kawahata K. Delayed recovery of elevated pulmonary arterial pressure after exercise as early sign of pulmonary vascular remodeling leading to pulmonary hypertension in patients with systemic sclerosis. 6th Systemic Sclerosis World Congress, 2020.

③ その他

- 1) 川畑仁人. IL-6 阻害薬の副作用マネジメント～COVID-19 流行下における対応も含めて～. ケブザラ Web 講演会, 2020.
- 2) 清川智史. リウマチ膠原病生涯治療センターにおける母性外来の役割. Expert Interactions in Clinical Intelligence in 神奈川, 2020.
- 3) 清川智史. 日本人関節リウマチにおける MTX の適性使用とは?. 旭化成 社内勉強会, 2020.
- 4) 清川智史. 高齢関節リウマチの治療戦略. サノフィ 社内勉強会, 2020.
- 5) 川畑仁人. 関節リウマチの病態と治療における最新知見. HAMAMATSU RA on-line conference, 2020.
- 6) 川畑仁人. 生物学的製剤による関節リウマチ治療. ヤンセンファーマ(株)社内勉強会, 2020.
- 7) 清川智史. SLE の再燃抑止を目的とした寛解維持療法のその先へ～ ベリムマブの果たすべき役割とは～. Hiroshima Young Rheumatologist SLE Meeting 2020, 2020.
- 8) 川畑仁人. 膠原病における間質性肺疾患～抗線維化薬の意義～. WEB Seminar 膠原病と ILD, 2020.

- 9) 川畑仁人. 関節リウマチ治療における JAK 阻害薬の役割. Rheumatology JAK Seminar-適正使用インターネットライブセミナー-, 2020.
- 10) 今村充. 膠原病における進行性線維化を伴う間質性肺疾患(PF-ILD)に対する今後の治療戦略. PF-ILD WEB Seminar, 2020.
- 11) 今村充. 膠原病における間質性肺疾患. PF-ILD WEB Seminar, 2020.
- 12) 川畑仁人. covid-19流行下における関節リウマチ診療. Tama RA・膠原病 Onkine Conference, 2020.
- 13) 川畑仁人. SLE における成人および AYA 世代の治療. 京浜 SLE セミナー, 2020.
- 14) 今村充. 膠原病における間質性肺疾患. PF-ILD Web Seminar, 2020.
- 15) 清川智史. IL-6R 阻害の RA 治療における有効性、安全性について. 旭化成ファーマ(株)リウマチ性疾患領域アドバイザー会議, 2020.
- 16) 川畑仁人. NinJa にみる RA 治療の現状と課題. JAK Meeting in 相模原-関節リウマチ治療の最新アップデート-, 2020.
- 17) 今村充. 膠原病における間質性肺疾患. ILD Web Academy, 2020.
- 18) ○永渕裕子, 菊池弘敏, 石橋宏之, 萩野均, 前田英明, 岳野光洋. 血管炎症候群の疾患活動性の評価と問題点. 第二回 厚生労働省ベーチェット病に関する研究 班会議, 2020.
- 19) 川畑仁人. 自然免疫と獲得免疫～COVID-19 の話題も含めて～. リウマチ WEB セミナー, 2020.
- 20) 川畑仁人. 関節リウマチ治療のアンメットニーズとリンヴォックへの期待～NInJa データベースからの考察～. リンヴォック適正使用推進インターネットライブセミナー, 2020.
- 21) 川畑仁人. がん免疫療法の進歩と irAE について. 第 12 回別府・大分免疫疾患研究会, 2020.
- 22) 川畑仁人. EGPA の病態について. KAWASAKI EGPA Seminar, 2020.
- 23) 川畑仁人. 患者背景に応じた関節リウマチ治療～コロナ禍における診療経験も含めて～. リウマチ WEB セミナー, 2020.
- 24) 清川智史. SLE の再燃抑止を目的とした寛解維持療法のその先へ～ベリムマブが果たすべき役割とは～. SLE Web 講演会, 2020.
- 25) 川畑仁人. 全身性エリテマトーデスの病態と治療におけるヒドロキシクロロキンの役割. Lupus Erythematosus Expert Meeting Via ZOOM, 2020.
- 26) 清川智史. CTD-ILD における基礎疾患に応じた予後と治療についての考え方. 日本ベーリンガーリンゲルハイム株式会社 社内研修会, 2020.
- 27) 今村充. 膠原病に伴う間質性肺炎について. リウマチ Web セミナー, 2020.
- 28) 川畑仁人. JAK 阻害薬(トファシチニブ)の安全性情報. 「JAK Frontier」WEB 講演会, 2020.
- 29) 川畑仁人. 高齢 RA とエンブレル～疫学・特徴・病態からみえること～. エンブレル 15 周年記念講演会, 2020.
- 30) 櫻井恵一. 当院でのサリルマブの使用経験 2020. 社内勉強会, 2020.
- 31) 川畑仁人. フィルゴチニブの安全性と有用性. ジセレカ適正使用講演会, 2020.
- 32) 永渕裕子. 全身性エリテマトーデス. SLE 社内レクチャー, 2020.
- 33) 川畑仁人. 関節リウマチにおけるトファシチニブの安全性情報アップデート. Pfizer Xeljanz Immunology Web forum～Rheumatoid arthritis & Ulcerative colitis～, 2020.
- 34) 清川智史. 高齢関節リウマチの治療戦略. 田辺三菱製薬 講師招聘勉強会, 2020.

- 35) 清川智史. 実臨床の現実から考える薬剤選択～ゴリムマブが果たすべき役割とは～. リウマチ WEB セミナー, 2020.
- 36) 川畑仁人. 分子標的薬時代のの实地リウマチ診療. 第 18 回藤沢リウマチネットワーク学術講演会, 2020.
- 37) 清川仁人. 広がる関節リウマチ治療薬の使い分け. Tocilizumab Advanced Webinar, 2020.
- 38) 川畑仁人. 患者背景に応じた関節リウマチ治療～コロナ禍における診療経験も含めて～. リウマチ WEB セミナー, 2020.
- 39) 清川智史. 日本人 RA における MTX の適性使用と RA-ILD について. アステラス関節リウマチ領域症例検討会, 2020.
- 40) 高桑由希子. 関節リウマチに対する BIO/JAK の有効性と安全性の比較. ヤンセンファーマ(株)社内勉強会, 2020.
- 41) 清川智史. 当院におけるベーチェット病の現状. 第 1 回ベーチェット病を考える会 in 神奈川, 2020.
- 42) 清川智史. 様々なシチュエーションでの薬剤選択について. Sarilumab And Rheumatology Internet SARI seminar, 2020.
- 43) 櫻井恵一. 当院における Sarilumab の使用経験 2020. Sarilumab And Rheumatology Internet SARI seminar, 2020.
- 44) 清川智史. 全身性エリテマトーデスと全身性強皮症における免疫抑制療法のあり方とその違い. 日本新薬社内研修会, 2020.
- 45) 清川智史. Ph1 における DMARD s (IGU 等) の使いどころ. Eisai Immunology Seminar, 2020.
- 46) 櫻井恵一. 当院での生物学的製剤使用におけるシムジアの立ち位置 2020. UCB 社内勉強会, 2020.
- 47) 高桑由希子. 関節リウマチに対する実臨床における BIO/JAK の使い分け. 社内勉強会, 2020.
- 48) 川畑仁人. 膠原病における間質性肺疾患の治療戦略. オフェブ Web 講演会, 2020.
- 49) 川畑仁人. 免疫チェックポイント阻害薬の有害事象対策. Cancer Immunology Internet Symposium, 2021.
- 50) 川畑仁人. フィルゴチニブの安全性と有効性. ジセレカ適正使用講演会 in 東葛北, 2021.
- 51) 清川智史. 高齢 RA の治療戦略～有効性と安全性の最適なバランスとは～. 首都圏 Web セミナー, 2021.
- 52) 櫻井恵一. 当院での生物学的製剤使用におけるゴリムマブ (シンポニー) の立ち位置 2020. ヤンセンファーマ(株)社内勉強会, 2021.
- 53) 川畑仁人. コロナ禍における関節リウマチ診療～経験と最新の研究から～. RA Total Management を考える 2021, 2021.
- 54) 川畑仁人. 関節リウマチ患者における骨粗鬆症治療について. Kanagawa RA Bone Health Age free Conference, 2021.
- 55) 清川智史. 脊椎関節炎 (SpA) の現状と展望. 第 1 回 Next Generation SpA Expert Network, 2021.
- 56) 清川智史. 関節リウマチの最新治療～日本人の問題点から考える理想と現実～. 八王子薬剤師会学術講演会, 2021.
- 57) 清川智史. 日本人関節リウマチにおける MTS の適正使用とは? ～個々の患者の状況に応じた使い

- 方を考察する～. ヤンセンファーマ(株)社内勉強会, 2021.
- 58) 川畑仁人. 関節リウマチ治療における安全管理. 第5回横浜リウマチの外科ネットワーク, 2021.
- 59) 杉原毅彦. 現在の治療戦略の成果と課題. Treat to Thrive Workshop, 2021.
- 60) 水島万智子. Ninja データからみた悪性腫瘍合併関節リウマチにおける臨床像と治療に関する検討. Sarilumab and Rheumatology Internet SARI seminar the 2nd, 2021.
- 61) 川畑仁人. 成人内科医から診る移行期 JIA 治療について. 移行期 JIA 治療 Internet Live Seminar, 2021.
- 62) 川畑仁人. JAK 阻害剤の新たな展望～フィルゴチニブへの期待～. ジセレカ適正使用講演会 in 多摩, 2021.
- 63) 川崎達也. 成人 Still 病に合併し、シクレソニド吸入で軽快した COVID-19 の一例. 第83回神奈川県内科医学会集談会, 2021.
- 64) 川畑仁人. RA-ILD に対する治療戦略～Covid-19 に関する話題も含め～. リウマチ Online Seminar, 2021.
- 65) 高桑由希子. 聖マリアンナ医科大学リウマチ・膠原病生涯治療センターでの取り組み. リウマチ・膠原病診療連携 Web Symposium, 2021.
- 66) 櫻井恵一. 知っておきたい CTD-PH の基礎～当院の現状も踏まえて～. 膠原病に伴う肺高血圧症を考える Zoomweb セミナー, 2021.
- 67) 川畑仁人. Ninja から紐解く RA 治療の残された課題ーリンヴォックへの期待ー. JAK Meeting in 鎌倉・逗子, 2021.
- 68) 安藤貴泰. 自己免疫性 ILD の治療戦略を考える. CTD-ILD Conference, 2021.
- 69) 清川智史. CTD-ILD におけるニンテダニブの needs について考える. CTD-ILD Conference, 2021.
- 70) 川畑仁人. コロナ禍における関節リウマチ診療～経験と最新の研究から～. RA Sea Side Conference 2021, 2021.
- 71) 安藤貴泰. IL-6 阻害薬の位置づけについて. Tama RA・膠原病 Online Conference, 2021.
- 72) 櫻井恵一. ケブザラの使用経験から見えてきたこと. 首都圏 web セミナー, 2021.
- 73) 清川智史. 高齢 RA の治療戦略～有効性と安全性の最適なバランスとは～. リウマチ New Era Web Conference, 2021.
- 74) 川畑仁人. RA における Sarilumab の可能性. Kevzara Summit in Kanagawa 2021～3rd anniversary～, 2021.
- 75) 櫻井恵一. 各施設における Sarilumab の使用経験. Kevzara Summit in Kanagawa 2021～3rd anniversary～, 2021.
- 76) 杉原毅彦. 高齢関節リウマチの治療. 社内勉強会, 2021.
- 77) 川畑仁人. 高齢 RA とエタネルセプト～疫学・特徴・病態からみえること～. 2021 Medical Staff Web Symposium, 2021.
- 78) 鈴木翔太郎. 関節リウマチ関連間質性肺炎の加療中に急速な腎機能障害をきたした一例. 第13回膠原病の腎障害研究会, 2021.
- 79) 川畑仁人. フィルゴチニブの安全性と有効性. JAK 阻害剤を考える会 In KANAGAWA, 2021.

		和文	英文
著 書		6	
論 文	原著	1	12
	解説又は総説	7	
	症例報告		1
	その他		
学会発表	国内学会	24	1
	国際学会		1
	その他	79	

神経精神科学

著書

- 1) 古茶大樹. 退行期メランコリー 講座精神疾患の臨床「気分症群」 2020;:137-143.
- 2) 古茶大樹. 高齢発症のサイコーシス症候群 講座精神疾患の臨床「統合失調症」 2020;:215-221.
- 3) 笠貫浩史. 小阪憲司先生の発見ー信念と熱意が生んだセレンディピティ レビー小体型認知症 正しい基礎知識とケア 2020;:28-29.

学術論文[和文]

① 原著

- 1) 古茶大樹. クレプトマニアの責任能力について. 精神神経誌, 2020;122(11):822-831.
 - 2) 安藤久美子. 性犯罪者は治療できるのかーSPIRITS を用いた挑戦. 週刊医学のあゆみ, 2021;276(9) : 879-811.
- #### ② 総説又は症例解説
- 1) 古茶大樹. DSM 分類の背景にある精神疾患論 セントルイス学派の思想. 精神医学, 2020;62:837-846.
 - 2) 古茶大樹. セントルイス学派の思想と DSM 分類. 精神医学史研究, 2020;24:39-45.
 - 3) 古茶大樹. 精神医学における疾患とは何か Kurt Schneider に学ぶ臨床精神病理学. 精神神経誌, 2020;122(9):683-690.
 - 4) 笠貫浩史. 「痴呆」と「認知症」について. 精神科治療学, 2020;35(9):1011-1016.
 - 5) 安藤久美子. 司法領域における児童精神科医の役割. 精神科治療学, 2020;35:103-107.
 - 6) 小野和哉. 【メチルフェニデート徐放剤-副作用と処方管理】海外における精神刺激薬の使用の現状 諸外国における規制制度の多様性と使用の動向. 精神科, 2020;37(5):562-567.
 - 7) 三宅誕実. 臨床精神薬理学をどう指導するか. 精神科治療学, 2020;35(11):1213-1216.
 - 8) 古茶大樹. 実証主義的精神医学は精神医学教育にどのような影響を与えたのか. 精神科治療学, 2020;35(11):1163-1167.
 - 9) 小野和哉. 成人期 ADHD の診断と治療】成人 ADHD の非薬物療法. 精神科, 2021;38(3):339-343.
 - 10) 笠貫浩史. 幻覚・妄想の症候学的鑑別診断. 脳神経内科, 2021;94(3):305-312.

③ 症例報告

- 1) 水村莉瑛, 笠貫浩史, 小口芳世, 袖長光知穂, 神山昌也, 田所正典, 木下英子, 古茶大樹. 長期経過で多様な精神症状を示す psychiatric-onset prodromal DLB の 1 例. Dementia Japan, 2020;34(4):485.

④ その他

- 1) 古茶大樹. 精神療法のエッセンス. 精神療法, 2020;46:152-153.
- 2) 木下直紀. 書評 工藤晋平著『支援のための臨床的アタッチメント論ー「安心感のケア」に向けて. 臨床心理学, 2020;20(4):516.
- 3) 小口芳世, 瀬戸秀文. 措置通報および措置入院の実態に関する研究
その 2 措置入院患者における他科との連携を要する医療の実態調査アンケートの作成. 厚生労働科学研究費補助金 疾病・障害対策研究分野 障害者政策総合研究_地域精神保健医療福祉体制の機能強

化を推進する政策研究（19-GC2-003）令和元年度_総括・分担研究報告書, 2020::227-231.

- 4) 中村 仁, 瀬戸秀文, 稲垣中, 岩永英之, 牛島一成, 太田順一郎, 大塚達以, 小口芳世, 奥野栄太, 木崎英介, 椎名明大, 島田達洋, 鈴木亮, 酢野貢, 田崎仁美, 朝倉為豪, 戸高聰, 富田真幸, 中西清晃, 中濱裕二, 平林直次, 松尾寛子, 宮崎大輔, 山田直哉, 横島孝至, 吉川輝, 吉住昭, 芳野昭, 渡辺純一. 措置通報および措置入院の実態に関する研究 その 1(4)措置入院となった精神障害者の前向きコホート研究
退院時のケア会議実施状況と退院後のサービス利用状況. 厚生労働科学研究費補助金 疾病・障害対策研究分野 障害者政策総合研究_地域精神保健医療福祉体制の機能強化を推進する政策研究（19-GC2-003）令和元年度_総括・分担研究報告書, 2020::217-226.
- 5) 大塚達以, 瀬戸秀文, 稲垣中, 岩永英之, 牛島一成, 太田順一郎, 小口芳世, 奥野栄太, 木崎英介, 椎名明大, 島田達洋, 鈴木亮, 酢野貢, 田崎仁美, 朝倉為豪, 戸高聰, 富田真幸, 中西清晃, 中濱裕二, 中村 仁, 平林直次, 松尾寛子, 宮崎大輔, 山田直哉, 横島孝至, 吉川輝, 吉住昭, 芳野昭, 渡辺純一. 措置通報および措置入院の実態に関する研究 その 1(3)措置入院となった精神障害者の前向きコホート研究
複数回措置入院歴のある精神障害者の現状把握に関する検討. 厚生労働科学研究費補助金 疾病・障害対策研究分野 障害者政策総合研究_地域精神保健医療福祉体制の機能強化を推進する政策研究（19-GC2-003）令和元年度_総括・分担研究報告書, 2020::201-215.
- 6) 稲垣中, 瀬戸秀文, 岩永英之, 牛島一成, 太田順一郎, 大塚達以, 小口芳世, 奥野栄太, 木崎英介, 椎名明大, 島田達洋, 鈴木亮, 酢野貢, 田崎仁美, 朝倉為豪, 戸高聰, 富田真幸, 中西清晃, 中濱裕二, 中村 仁, 平林直次, 松尾寛子, 宮崎大輔, 山田直哉, 横島孝至, 吉川輝, 吉住昭, 芳野昭, 渡辺純一. 措置通報および措置入院の実態に関する研究 その 1(2)措置入院となった精神障害者の前向きコホート研究
《2》措置入院中の精神障害者の社会機能の改善度. 厚生労働科学研究費補助金 疾病・障害対策研究分野 障害者政策総合研究_地域精神保健医療福祉体制の機能強化を推進する政策研究（19-GC2-003）令和元年度_総括・分担研究報告書, 2020::187-199.
- 7) 稲垣中, 瀬戸秀文, 岩永英之, 牛島一成, 太田順一郎, 大塚達以, 小口芳世, 奥野栄太, 木崎英介, 椎名明大, 島田達洋, 鈴木亮, 酢野貢, 田崎仁美, 朝倉為豪, 戸高聰, 富田真幸, 中西清晃, 中濱裕二, 中村 仁, 平林直次, 松尾寛子, 宮崎大輔, 山田直哉, 横島孝至, 吉川輝, 吉住昭, 芳野昭, 渡辺純一. 措置通報および措置入院の実態に関する研究 その 1(2)措置入院となった精神障害者の前向きコホート研究
《1》措置入院患者の入院時社会機能に関する検討. 厚生労働科学研究費補助金 疾病・障害対策研究分野 障害者政策総合研究_地域精神保健医療福祉体制の機能強化を推進する政策研究（19-GC2-003）令和元年度_総括・分担研究報告書, 2020::175-186.
- 8) 瀬戸秀文, 稲垣中, 岩永英之, 牛島一成, 太田順一郎, 大塚達以, 小口芳世, 奥野栄太, 木崎英介, 椎名明大, 島田達洋, 鈴木亮, 酢野貢, 田崎仁美, 朝倉為豪, 戸高聰, 富田真幸, 中西清晃, 中濱裕二, 中村 仁, 平林直次, 松尾寛子, 宮崎大輔, 山田直哉, 横島孝至, 吉川輝, 吉住昭, 芳野昭, 渡辺純一. 措置通報および措置入院の実態に関する研究 その 1 措置入院となった精神障害者の前向きコホート研究 (1) 2019年11月11日における患者登録の状況. 厚生労働科学研究費補助金 疾病・障害対策

研究分野 障害者政策総合研究_地域精神保健医療福祉体制の機能強化を推進する政策研究(19-GC2-003) 令和元年度_総括・分担研究報告書, 2020;:161-173.

- 9) 竹島正, 小池純子, 河野稔明, 柴崎聡子, 大塚俊弘, 熊倉陽介, 津田多佳子, 反町裕, 鈴木辰義, 金谷有基, 小野和也, 袖長光知穂, 小口芳世, 古茶大樹. 川崎市における精神保健福祉法第23条通報への対応状況の系統的分析. 日本社会精神医学雑誌, 2021;30(1):35-44.

学術論文[英文]

① 原著

- 1) Kishi T, Sakuma K, Okuya M, Matsuda Y, Esumi S, Hashimoto Y, Hatano M, Miyake N, Miura I, Miyahara K, Fujita K, Kawashima K, Mishima K, Iwata N. Recurrence of Mania or Depression Among Adult Bipolar Patients Who Continued Using Lithium: A Single-group Summary Meta-analysis of Randomized Trials. *J Clin Psychopharmacol*, 2020;40(5):468-474.
- 2) Kishi T, Miyake N, Okuyama M, Sakuma K, Iwata N. N-acetylcysteine as an adjunctive treatment for bipolar depression and major depressive disorder: a systematic review and meta-analysis of double-blind, randomized placebo-controlled trials. *Psychopharmacology*, 2020;237(11):3481-3487.
- 3) Kishi T, Sakuma K, Okuya M, Matsuda Y, Esumi S, Hashimoto Y, Hatano M, Miyake N, Miura I, Mishima K, Iwata N. Effects of a conventional mood stabilizer alone or in combination with second-generation antipsychotics on recurrence rate and discontinuation rate in bipolar I disorder in the maintenance phase: A systematic review and meta-analysis of randomized, placebo-controlled trials. *Bipolar Disord*, 2021;:doi: 10.1111/bdi. 13053.
- 4) Buciu M, Whitwell JL, Kasanuki K, Graff-Radford J, Machulda MM, Duffy JR, Strand EA, Lowe VJ, Graff-Radford NR, Rush BK, Franczak MB, Flanagan ME, Baker MC, Rademakers R, Ross OA, Ghetti BF, Parisi JE, Raghunathan A, Reichard RR, Bigio EH, Dickson DW, Josephs KA. Lewy Body Disease is a Contributor to Logopenic Progressive Aphasia Phenotype. *Ann Neurol*, 2021;89(3):520-533.

② その他

- 1) Ono K, Ando K, Oguchi H, Kamiyama A, Shimizu N, Yamamoto T. How Animal Type Robots Contribute to the Treatment of Autism Spectrum Disorders. *J Vet Med Surg*, 2021;5(1):30.

学会発表

① 国内学会

- 1) ◎瀬下翔也, 三宅誕実, 榎野宣久, 古茶大樹. 脳室周囲白質軟化症による治療抵抗性精神病性障害の一例. 第116回日本神経精神学会学術総会, 2020.
- 2) ◎古茶大樹. 純粋精神医学(伝統的精神医学への回帰). 第116回日本精神神経学会学術総会, 2020.
- 3) ◎古茶大樹. 統合失調症とは何か-精神病理学的視点から-. 第116回日本精神神経学会学術総会, 2020.
- 4) ◎古茶大樹. 指定討論. シンポジウム「現代精神医学に病因論はあり得るか」. 第116回日本精神神

経学会学術総会, 2020.

- 5) ◎笠貫浩史. アルツハイマー病における神経病理学的マーカーと神経精神症状. 第116回日本神経精神学会学術集会, 2020.
- 6) ◎小口芳世, 櫛野宣久, 諸川由実代, 塚原さち子, 池田和弘, 立野玄一郎, 橋本知明, 三宅誕実, 袖長光知穂, 長谷川浩, 安藤久美子, 小野和哉, 古茶大樹. 聖マリアンナ医科大学における超短期間少人数制精神科クリニカルクラークシップの紹介. 第116回日本精神神経学会学術総会, 2020.
- 7) ◎安藤久美子, 加茂登志子, 榎戸美佐子. 学術分野における女性の活躍および男女共同参画推進: 2017年および2019年調査の比較から. 第116回日本精神神経学会学術総会, 2020.
- 8) ◎池田和弘, 古茶大樹. Schneider Kの目的反応の現代的意義. 日本精神病理学会 第43回大会, 2020.
- 9) ◎工藤弘毅, 古茶大樹, 針間博彦, 前田貴記. 意味連続性について. 日本精神病理学会第43回大会, 2020.
- 10) ◎安藤久美子. 発達障害と精神鑑定. 第61回日本児童青年精神医学総会, 2020.
- 11) ◎安藤久美子, 戸邊友揮, 神山昌也. 一般人口を対象とした我が国の犯罪や司法に関する実態調査—その2—. 第16回日本司法精神医学会大会, 2020.
- 12) ◎安藤久美子. 司法精神医学における自閉スペクトラム症の位置づけ. 第16回日本司法精神医学会大会, 2020.
- 13) ◎神山昌也, 安藤久美子. 大学院における、高齢者の幻覚妄想状態についての精神医学的病態分析. 第16回日本司法精神医学会大会, 2020.
- 14) ◎戸邊友揮, 安藤久美子, 神山昌也. 一般人口を対象とした我が国の犯罪や司法に関する実態調査—その1—. 第16回日本司法精神医学会大会, 2020.
- 15) ◎木下直紀. チーム医療に精神分析的心理療法は不要なのか?—多職種による心理療法的関わり Organizerとしての個人心理療法—. 日本心理臨床学会 第39回大会, 2020.
- 16) ◎水村莉瑛, 笠貫浩史, 小口芳世, 袖長光知穂, 神山昌也, 田所正典, 木下英子, 古茶大樹. 長期経過で多様な精神症状を示す psychiatric-onset prodromal DLB の1例. 第29回日本認知症学会学術集会, 2020.
- 17) ◎安藤久美子. 平成の犯罪と令和への犯罪精神医学. 日本犯罪学会第57回総会, 2020.
- 18) ◎小口芳世. 精神科救急入院料算定病棟を有しない総合病院精神科における措置入院患者の臨床的特徴. 第33回日本総合病院精神医学会, 2020.
- 19) 袖長光知穂, 橋本知明, 勝村恭子, 勝村郁子, 塚原さち子, 田所正典, 笠貫浩史. 喪失体験や社会的事件をきっかけに母親への葛藤が再燃した80歳代の神経症の女性—自分を捨てた母親を恨みながら人生を駆け抜けて—. 第35回日本老年精神医学会, 2020.
- 20) ◎笠貫浩史, 西口素, 萩原幹子, 夏目俊太郎, 佐藤潔, 一宮洋介. 老年期に躁病エピソードを呈した prodromal DLB を疑う1臨床例. 第35回老年精神医学会, 2020.
- 21) ◎笠貫浩史. レビー小体型認知症 病態理解・診療の覚え書. 第35回老年精神医学会, 2020.
- 22) ◎笠貫浩史. 高齢者精神医療の現場に活かす脳 SPECT 画像. 第35回老年精神医学会, 2020.
- 23) ◎小口芳世. ルタザピン増量による QT 延長を来した重度の摂食不良を伴ったうつ病の一例. 第17回日本うつ病学会, 2021.
- 24) 山口大樹, 小口芳世, 小塩靖崇, 片桐直之, 辻野尚久, 根本隆洋, 水野雅文. 一般成人におけるメン

タルヘルスリテラシーの WEB 調査. 第 40 回日本社会精神医学会, 2021.

- 25) ◎小口芳世. マスメディアはうつ病をどのように捉えているか-報道の Pro and Con-. 第 40 回日本社会精神医学会, 2021.
 - 26) ◎伊東孝滋, 小口芳世, 勝村郁子, 古茶大樹. 妊娠後期に発症した強い希死念慮を有するうつ病の一例. 第 40 回日本社会精神医学会, 2021.
 - 27) ◎田所正典. 知っておくと役立つ認知症のスクリーニング検査～HDS-R と MMSE-J 編～. 日本老年臨床心理学会, 2021.
 - 28) ◎田所正典. 認知症のスクリーニング検査～HDS-R/MMSE-J 編～. 第 3 回日本老年臨床心理学会, 2021.
- ② その他
- 1) ◎小口芳世. 措置通報および措置入院の実態に関する研究. 地域精神保健医療福祉体制の機能強化を推進する政策研究班班会議, 2020.
 - 2) ◎安藤久美子. 入院又は通院処遇申立事件. 医療観察法カンファレンス, 東京地方裁判所刑事第 18 部, 2020.
 - 3) ◎安藤久美子. 退院許可申立事件. 医療観察法カンファレンス, 東京地方裁判所刑事第 1 部, 2020.
 - 4) ◎安藤久美子. 退院許可申立事件. 医療観察法審判, 東京地方裁判所刑事第 1 部, 2020.
 - 5) ◎安藤久美子. 傷害致死事件. 鑑定人尋問, 横浜地方裁判所第 5 刑事部, 2020.
 - 6) ◎安藤久美子. 殺人被告事件. 鑑定人カンファレンス, 横浜地方裁判所川崎支部, 2020.
 - 7) ◎安藤久美子. 精神医学 I. 家庭裁判所調査官養成課程第 17 期前期合同研修, 2020.
 - 8) ◎安藤久美子. 精神医学 II. 発達障害. 家庭裁判所調査官養成課程第 17 期前期合同研修, 2020.
 - 9) ◎安藤久美子. 傷害事件. 証人尋問, さいたま地方裁判所第 2 刑事部, 2020.
 - 10) ◎小口芳世. 措置通報および措置入院の実態に関する研究. 地域精神保健医療福祉体制の機能強化を推進する政策研究班班会議, 2020.
 - 11) ◎安藤久美子. 刑事裁判における争点整理・事実認定の指導指針となるべき実体法解釈論の研究, 令和元年度第 1 回 性犯罪に関する意見交換研究会. 文部科学省科学研究費助成事業 基盤研究(B) (一般) 19H01423 研究班班会議, 2020.
 - 12) ◎安藤久美子. 入院又は通院処遇申立事件. 医療観察法カンファレンス, 東京地方裁判所立川支部 刑事第 1 部, 2020.
 - 13) ◎安藤久美子. 入院又は通院処遇申立事件. 医療観察法カンファレンス, 東京地方裁判所刑事第 1 部, 2020.
 - 14) ◎小口芳世. 措置通報および措置入院の実態に関する研究. 地域精神保健医療福祉体制の機能強化を推進する政策研究班班会議, 2020.
 - 15) ◎安藤久美子. 入院又は通院処遇申立事件. 医療観察法審判, 東京地方裁判所立川支部刑事第 1 部, 2020.
 - 16) ◎笠貫浩史. レビー小体型認知症、精神症状の対応と治療. DLBSN, 2020.
 - 17) ◎木下直紀. リモート設定にすることで抵抗を扱う機会を逸するとは限らない. アザミノ café「リモート・セラピーでの発見-実践して分かったこと-」, 2020.
 - 18) ◎小口芳世. 措置通報および措置入院の実態に関する研究. 地域精神保健医療福祉体制の機能強化

を推進する政策研究班班会議, 2020.

- 19) ◎安藤久美子. 入院又は通院処遇申立事件. 医療観察法カンファレンス, 東京地方裁判所刑事第 1 部, 2020.
- 20) ◎古茶大樹. 精神医学における疾患とは. 第 9 回 HAMA conference, 2020.
- 21) ◎安藤久美子. 専門家証人尋問演習. 第 126 回検事専門研修, 2020.
- 22) ◎安藤久美子. 傷害事件. 鑑定人尋問, 東京地方裁判所立川支部刑事第 1 部, 2020.
- 23) ◎安藤久美子. 入院又は通院処遇申立事件. 医療観察法審判, 東京地方裁判所立川支部刑事第 1 部, 2020.
- 24) ◎木下直紀. 構造化されていない場面でも通用する心理支援とは何か. さちクリニック・サイコセラピー室セミナー2020, 2020.
- 25) ◎安藤久美子. 入院継続確認申立事件. 医療観察法カンファレンス, 東京地方裁判所立川支部刑事第 1 部, 2020.
- 26) ◎安藤久美子. 殺人被告事件. 証人尋問, 横浜地方裁判所川崎支部, 2020.
- 27) ◎安藤久美子. 入院又は通院処遇申立事件. 医療観察法カンファレンス (2020 年 10 月 15 日), 東京地方裁判所刑事第 15 部, 2020.
- 28) ◎安藤久美子. 入院又は通院処遇申立事件. 医療観察法カンファレンス (2020 年 10 月 26 日), 東京地方裁判所刑事第 15 部, 2020.
- 29) ◎安藤久美子. 触法障害者の支援について. 川崎市精神保健福祉講演会, 2020.
- 30) ◎小口芳世. コロナ禍におけるうつ病診療を考える. 「今」うつ病診療を考える会 in Kawasaki イフェクサーSR ライブ配信講演会, 2020.
- 31) ◎安藤久美子. 入院又は通院処遇申立事件. 医療観察法カンファレンス, 東京地方裁判所刑事第 18 部, 2020.
- 32) ◎小口芳世. 措置通報および措置入院の実態に関する研究. 地域精神保健医療福祉体制の機能強化を推進する政策研究班班会議, 2020.
- 33) ◎安藤久美子. 入院又は通院処遇申立事件. 医療観察法審判, 東京地方裁判所刑事第 15 部, 2020.
- 34) ◎安藤久美子. 傷害事件. 証人尋問, 大阪地方裁判所刑事第 12 部, 2020.
- 35) ◎小口芳世. コロナ禍におけるうつ病診療を考える. イフェクサーSR インターネット講演会:(株)ファイザー, 2020.
- 36) ◎安藤久美子. 入院又は通院処遇申立事件. 医療観察法カンファレンス, 東京地方裁判所刑事第 18 部, 2020.
- 37) ◎安藤久美子. 責任能力. 第 151 回検事一般研修, 2020.
- 38) ◎小口芳世. 措置通報および措置入院の実態に関する研究. 地域精神保健医療福祉体制の機能強化を推進する政策研究班班会議, 2020.
- 39) ◎小口芳世. コロナ禍におけるうつ病診療を考える. 社内研修会:(株)武田薬品工業, 2020.
- 40) ◎安藤久美子. 精神鑑定. 法務総合研究所(講演), 2020.
- 41) ◎安藤久美子. 刑事裁判における争点整理・事実認定の指導指針となるべき実体法解釈論の研究, 令和元年度第 2 回 発達障害が犯行に与える影響に関する秩序について. 文部科学省科学研究費助成事業 基盤研究 (B) (一般) 19H01423 研究班班会議, 2020.

- 42) ◎小口芳世. 双極性障害における LAI に対する処方医の Attitude について. Otsuka Bipolar Online Seminar : (株) 大塚製薬, 2020.
- 43) ◎安藤久美子. 入院又は通院処遇申立事件. 医療観察法カンファレンス, 東京地方裁判所刑事第 18 部, 2020.
- 44) ◎安藤久美子. 性犯罪者処遇プログラムについて. 法務省保護局 (講師), 2020.
- 45) ◎安藤久美子. 性非行防止指導とプログラム改訂. 法務省矯正研修所効果検証センター(講師), 2020.
- 46) ◎小口芳世. 措置通報および措置入院の実態に関する研究. 地域精神保健医療福祉体制の機能強化を推進する政策研究班班会議, 2020.
- 47) ◎木下直紀. 精神分析というオリエンテーションを選択する意味. アザミノ café 「精神分析的臨床のミライ」, 2020.
- 48) ◎安藤久美子. 入院又は通院処遇申立事件. 医療観察法審判, 東京地方裁判所刑事第 18 部, 2021.
- 49) ◎安藤久美子. 性非行防止のためのプログラム効果検証. 法務省矯正研修所効果検証センター(講師), 2021.
- 50) ◎小口芳世. 措置通報および措置入院の実態に関する研究. 地域精神保健医療福祉体制の機能強化を推進する政策研究班班会議, 2021.
- 51) ◎小口芳世. 統合失調症における LAI に対する処方医の Attitude について. Janssen Schizophrenia Conference For Normalization : (株) ヤンセンファーマ, 2021.
- 52) ◎安藤久美子. 入院又は通院処遇申立事件. 医療観察法カンファレンス, 東京地方裁判所刑事第 18 部, 2021.
- 53) ◎安藤久美子. 退院許可申立事件. 医療観察法カンファレンス, 東京地方裁判所第 1 部, 2021.
- 54) ◎笠貫浩史. レビー小体型認知症の理解, 考え方. 東京都認知症疾患医療センター (区東北部医療圏) 令和 2 年度認知症ケア研修会, 2021.
- 55) ◎安藤久美子. 精神鑑定. 法務総合研究所 (講演), 2021.
- 56) ◎安藤久美子. 傷害事件. 医療観察法カンファレンス, 東京地方裁判所立川支部刑事第 1 部, 2021.
- 57) ◎安藤久美子. 入院又は通院処遇申立事件. 医療観察法審判, 東京地方裁判所刑事第 18 部, 2021.
- 58) ◎小口芳世. 統合失調症患者におけるアセナピンの有用性. 10 分動画撮像 : (株) Meiji Seika ファルマ, 2021.
- 59) ◎安藤久美子. 傷害事件. 鑑定人尋問, 東京地方裁判所立川支部刑事第 1 部, 2021.
- 60) ◎安藤久美子. 若年者の性犯罪治療について. 家庭裁判所調査官研修, 横浜家庭裁判所川崎支部 (講演), 2021.
- 61) ◎小口芳世. 措置通報および措置入院の実態に関する研究. 地域精神保健医療福祉体制の機能強化を推進する政策研究班班会議, 2021.
- 62) ◎安藤久美子. 知的障害・発達障害者の性問題行動の理解と対応, 子どもの性被害の理解等について. 横浜少年鑑別所(講演), 2021.
- 63) ◎安藤久美子. 精神鑑定への誘い. MDD Experts Web Seminar, 福井大学(講演), 2021.
- 64) ◎小口芳世. 地域における統合失調症患者を考える. Meiji Seika ファルマ Web カンファレンス : (株) Meiji Seika ファルマ, 2021.
- 65) ◎安藤久美子. 責任能力検討演習・講評. 第 152 回検事一般研修, 2021.

- 66) ◎安藤久美子. 入院又は通院処遇申立事件. 医療観察法カンファレンス, 東京地方裁判所刑事第 18 部, 2021.
- 67) ◎安藤久美子. 女性のメンタルヘルス～トリテックスへの期待～. Web 講演会, 新百合ヶ丘総合病院, 2021.
- 68) ◎安藤久美子. 入院又は通院処遇申立事件. 医療観察法カンファレンス, 東京地方裁判所立川支部 刑事第 1 部, 2021.
- 69) ◎小口芳世. 統合失調症における LAI に対する処方医の Attitude について. Janssen Web セミナー -新しい統合失調症治療 Normalization を目指して- : (株) ヤンセンファーマ, 2021.
- 70) ◎小口芳世. 不安症状を伴ううつ病の薬物療法. Well-Being を目指して : (株) 大日本住友製薬 ヴィアトリス製薬, 2021.
- 71) ◎安藤久美子. 入院継続確認申立事件. 医療観察法カンファレンス, 東京地方裁判所刑事第 15 部, 2021.
- 72) ◎小口芳世. 措置通報および措置入院の実態に関する研究. 地域精神保健医療福祉体制の機能強化を推進する政策研究班班会議, 2021.
- 73) ◎安藤久美子. コロナ禍の学生支援について. Web 講演会, 上智大学, 2021.
- 74) ◎小口芳世. コロナ禍におけるうつ病診療～トリテリック錠 R への期待～ うつ病治療 Up to Date in Kawasaki : (株) 武田薬品工業, 2021.
- 75) ◎安藤久美子. 入院継続確認申立事件. 医療観察法カンファレンス, 東京地方裁判所立川支部 刑事第 1 部, 2021.
- 76) ◎安藤久美子. 傷害事件. カンファレンス, 東京地方検察庁, 2021.
- 77) ◎笠貫浩史. レビー小体型認知症と精神病理学. 慶應大学精神病理学研究室 精神病理研究会, 2021.

		和文	英文
著 書		3	
論 文	原著	2	4
	解説又は総説	10	
	症例報告	1	
	その他	9	1
学会発表	国内学会	28	
	国際学会		
	その他	77	

小児科学(小児科・新生児)

著書

- 1) 勝田友博. 第1部【総論】4. ワクチンの安全性 子どもの予防接種 2020;(1):19-24.
- 2) 清水直樹, 中野貴司, 岡田賢司. 第2部【各論】5.ジフテリア 子どもの予防接種 2020;(1):63-67.
- 3) 吉村博. 「児童生徒等のからだの危機管理」 学校で取り組む「危機管理」 2020::190-192.
- 4) 品川文乃. 第2部臓器別感染症 9.皮膚軟部組織感染症(1.表皮感染症 2.真皮感染症) 小児感染免疫学 2020::325-328.
- 5) 新谷亮. 第2部臓器別感染症 9.皮膚軟部組織感染症(3.皮下組織感染症(蜂窩織炎)) 小児感染免疫学 2020::329-330.
- 6) 宮地悠輔. 第2部臓器別感染症 9.皮膚軟部組織感染症(4.化膿性筋炎) 小児感染免疫学 2020::331-333.
- 7) 中村幸嗣. 第2部臓器別感染症 9.皮膚軟部組織感染症(5.壊死性筋膜炎) 小児感染免疫学 2020::334-338.
- 8) 勝田友博. 第2部臓器別感染症 12.主な全身性ウイルス感染症(1.麻疹 2.風疹 3.水痘 4.流行性耳下腺炎(ムンプス)) 小児感染免疫学 2020::384-405.
- 9) 中村幸嗣. 重症感染症におけるマネージメント⑤皮膚軟部組織感染症 小児救命救急・ICUピックアップ(4) 感染症 2020::77-82.
- 10) 勝田友博. ワクチンギャップは解消された? 小児科診療 2020::1-10.
- 11) 麻生健太郎. 【小児疾患診療のための病態生理 1 改訂第6版】循環器疾患 大動脈弁閉鎖不全症 小児内科 2020;52 巻増刊(改訂第6版):258-263.
- 12) 勝田友博. 重症感染症におけるマネージメント ②髄膜炎 小児救命救急・ICUピックアップ4 感染症 2020::55-62.
- 13) 勝田友博. 【その症状はなぜ?】子どもの下痢・嘔吐 小児看護1月号 2020::10-25.
- 14) 宮本雄策. 経験すべき診察・検査など 身体診察 小児 総合診療専門研修 2020;(初版):163-164.
- 15) 宮本雄策. 考慮すべき社会情勢制度 乳幼児健診 総合診療専門研修 2020;(初版):252-253.
- 16) 吉村博. 小児科レジデントマニュアル第4版 Side Memo 関節痛の鑑別 2021::271-272.
- 17) 吉村博. 小児科レジデントマニュアル第4版 I 小児救急 10.脱水 2021::60-65.
- 18) 吉村博. 小児科レジデントマニュアル第4版 II 小児疾患 14.腎不全 2021::193-199.
- 19) 吉村博. 小児科レジデントマニュアル第4版 II 小児疾患 16.ネフローゼ症候群 2021::207-211.

学術論文[和文]

① 原著

- 1) 本吉愛, 右田王介, 沼田早苗, 阿部友嘉, 津川浩一郎. 乳腺外科外来における遺伝性のがんに関する問診表を用いたHBOCリスクスコア化. 遺伝性腫瘍, 2020;20(1):36-40.
- 2) 置塩英美, 右田王介, 北東功, 清水直樹. 無症候のダウン症児における肝逸脱酵素値に関する検討. 聖マリアンナ医科大学雑誌, 2020;48(3):83-88.
- 3) 小林久志, 吉村博, 喜瀬智郎, 譜久山滋, 上原正嗣, 村田俊輔, 生駒雅昭, 清水直樹. 小児重症ループ

ス腎炎の腎機能長期予後とその関連因子 -10 年間にわたる後ろ向きコホート研究-. 聖マリアンナ医科大学雑誌, 2020;48(3):67-82.

- 4) 小町詩織, 伊東祐順, 山下敦己, 長江千愛, 北東功, 瀧正志. 日本産婦人科・新生児血液学会新生児 DIC 診断・治療指針の診断的有用性の評価 — これまでの診断基準との比較を中心として-. 日本産婦人科・新生児血液学会誌, 2020;30(1):70-80.

② 総説又は症例解説

- 1) 長江千愛. 【症候・疾患からみる小児の検査】症候からみる臨床検査の進めかた 出血傾向・血栓傾向. 小児科診療, 2020;83(増刊):127-136.
- 2) 長江千愛. 新生児 新生児管理の留意点 NICU での管理: 血液・凝固系. 周産期医学, 2020;50(11): 1880-1885.
- 3) 長江千愛. 【周産期の薬】新生児編 疾患に対する薬剤の選び方・使い方・注意点 血液疾患・免疫疾患 播種性血管内凝固症候群 (DIC)・血栓症. 周産期医学, 2020;50(増刊):629-634.
- 4) 近藤春裕, 右田王介, 鈴木直. 遺伝性乳がん卵巣がん症候群 (HBOC). 産科と婦人科, 2021;88(1):81-88.
- 5) 右田王介. 遺伝子機能制御を担うエピゲノムの解析による疾患発現機序の理解. 日本医師会雑誌, 2021;149(11):1947-1951.

③ 症例報告

- 1) 遠田七彩, 植原健二, 木城智, 皆川直毅, 大沼弘幸, 長江千愛, 仁木久照. 定期補充療法で止血コントロール下にある血友病 A 患者に前十字靭帯再建術を施行した 1 例. 関東整形災害外科学会雑誌, 2020;51(3):193-196.
- 2) 山本寿子, 宮本雄策, 竹田加奈子, 清水直樹. トレーディングカードゲームにより発作が誘発された反射てんかん. 日本小児科学会雑誌, 2020;124(7):1097-1100.
- 3) 鈴木真波, 砂田美希, 森剛史, 小町詩織, 置塩英美, 北東功. 当施設で経験した単純ヘルペスウイルス感染症からの血球貪食性リンパ組織球症と診断した 2 症例. 聖マリアンナ医科大学雑誌, 2020;30(1):21-22.

④ その他

- 1) 正高祐志, 太組一朗, 山本仁. 大麻抽出製剤と抗てんかん作用. *Epilepsy*, 2020;14(1):11-16.
- 2) 森鉄也. 【少数データと量的研究-当事者の声を聞き、研究の活性化をめざす-】国際共同研究による小児の未分化大細胞型リンパ腫に対する標準治療の整備. 保健の科学, 2020;62(8):535-540.

学術論文[英文]

① 原著

- 1) Inoue Yoko, Sato Sakura, Takahashi Kyohei, Yanagida Noriyuki, Yamamoto Hitoshi, Shimizu Naoki, Ebisawa Motohiro. Component-resolved diagnostics can be useful for identifying hazelnut allergy in Japanese children. *Allergology International*, 2020;69(2):239-245.
- 2) Koga Yuki, Sekimizu Masahiro, Iguchi Akihiro, Kada Akiko, Saito M Akiko, Asada Ryuta, Mori Tetsuya, Horibe Keizo. Phase I study of brentuximab vedotin (SGN-35) in Japanese children with relapsed or refractory CD30-positive Hodgkin's lymphoma or systemic anaplastic large cell

- lymphoma. *International Journal of Hematology*, 2020;111(5):711-718.
- 3) Yamashita Atsuki, Zhang Yuqi, Sanner F Michel, Griffin H John, Mosnier O Laurent. C-terminal residues of activated protein C light chain contribute to its anticoagulant and cytoprotective activities. *Journal of thrombosis and hemostasis*, 2020;18(5):1027-1038.
 - 4) Carcao Manuel, Kearney Susan, Lu Meng Yao, Taki Masashi, Rubens Daniel, Shen Chundou, Santagostino Elena. Long-term safety and efficacy of Nonacog Beta Pegol (N9-GP) administered for at least 5 years in previously treated children with hemophilia B. *Thrombosis and Haemostasis*, 2020;120(5):737-746.
 - 5) Imaizumi Taichi, Yamamoto-Shimajima Keiko, Yanagishita Tomoe, Ondo Yumiko, Nishi Eriko, Okamoto Nobuhiko, Yamamoto Toshiyuki. Complex chromosomal rearrangements of human chromosome 21 in a patient manifesting clinical features partially overlapped with that of Down syndrome. *Human Genetics*, 2020;139:1555-1563.
 - 6) Yamamoto Hisako, Miyamoto Yusaku, Yamamoto Hitoshi. Treatment of EEG Abnormalities in Benign Childhood Epilepsy with Centrottemporal Spikes. *Journal of St.Marianna University*, 2020;11(1):1-7.
 - 7) WHO Working Group on the Clinical Characterisation and Management of COVID-19 infection. A minimal common outcome measure set for COVID-19 clinical research. *Lancet Infectious Diseases*, 2020;20(8): E192-E197.
 - 8) Hiroyuki Kidokoro, Hiroyuki Yamamoto, Tetsuo Kubota, Mitsuo Motobayashi, Yusaku Miyamoto, Tomohiko Nakata, Kyoko Takano, Naoko Shiba, Yu Okai, Masaharu Tanaka, Yoko Sakaguchi, Yuki Maki, Masahiro Kawaguchi, Takeshi Suzuki, Kazuhiro Muramatsu, Jun Natsume. High-amplitude fast activity in EEG: An early diagnostic marker in children with beta-propeller protein-associated neurodegeneration (BPAN). *Clinical Neurophysiology*, 2020;131(9):2100-2104.
 - 9) Yanagishita Tomoe, Imaizumi Taichi, Yamamoto-Shimajima Keiko, Yano Tamami, Okamoto Nobuhiko, Nagata Satoru, Yamamoto Toshiyuki. Breakpoint junction analysis for complex genomic rearrangements with the caldera volcano-like pattern. *Human Mutation*, 2020;41(12) : 2119-2127.
 - 10) Imaizumi Taichi, Yamamoto-Shimajima Keiko, Yanagishita Tomoe, Ondo Yumiko, Yamamoto Toshiyuki. Analyses of breakpoint junctions of complex genomic rearrangements comprising multiple consecutive microdeletions by nanopore sequencing. *Journal Human Genetics*, 2020;65(9):735-741.
 - 11) Mizuno Masanori, Masumori Chikako, Sakurai Kenzo, Nakano Marie, Aso Kentaro. Anti-Ro/SSA antibody-related atrioventricular block-induced torsade de pointe. *Pediatrics International*, 2020; 62(9):1101-1103.
 - 12) Izumita Yukie, Nishigaki Satsuki, Satoh Mari, Takubo Noriyuki, Nnmakura Chikahiko, Takahashi Ikuo, Soneda shun, Abe Yoshifusa, Kamasaki Hotaka, Ohtsu Yoshiaki, Igaraki Junko, Hasegawa Yukihiro, Nagasaki Keisuke. Retrospective study of the renal function using estimated glomerular filtration rate and congenital anomalies of the kidney-urinary tract in pediatric

Turner syndrome. *Congenital Anomalies*, 2020;60(6):175-179.

- 13) Shima Midori, Nagao Azusa, Taki Masashi, Matsushita Tadashi, Oshida Koichi, Amano Kagehiro, Nogami Sayaka, Okada Norihiro, Maisawa Shingo, Nogami Kenji. Long-term safety and efficacy of emicizumab for up to 5.8 years and patients' perceptions of symptoms and daily life: A phase 1/2 study in patients with severe haemophilia A. *Haemophilia*, 2020;doi: 10.1111/hae.14205.
- 14) Mochizuki Mie, Ito Yoshiya, Yokomichi Hiroshi, Kikuchi Toru, Soneda Shun, Musha Ikuma, Anzou Makoto, Kobayashi Koji, Matsuo Kumihiko, Sugihara Shigetaka, Sasaki Nozomu, Matsuura Nobuo, Amemiya Shin, On behalf of The Japanese Study Group of Insulin Therapy for Childhood and Adolescent Diabetes (JSGIT). Increasing secular trends in height and obesity in children with type 1 diabetes: JSGIT cohort. *PLOS ONE*, 2020;15(11): e0242259.
- 15) Fukano Reiji, Mori Tetsuya, Sekimizu Masahiro, Ilseung Choi, Kada Akiko, Saito M Akiko, Asada Ryuta, Takeuchi Kengo, Terauchi Takashi, Tateishi Ukihide, Horibe Keizo, Nagai Hirokazu. Alectinib for relapsed or refractory anaplastic lymphoma kinase-positive anaplastic large cell lymphoma: An open-label phase II trial. *Cancer Science*, 2020;111(12月):4540-4547.
- 16) Pressler Ronit, Triki Cilio, Mizrahi Eli, Yamamoto Hitoshi, Yozawitz Elissa, Wilmshurt J, de Vries L, Nunes M, Zuberi S, Kp V. The ILAE Classification of Seizures & the Epilepsies: Modification for Seizures in the Neonate. Position paper by the ILAE Task Force on Neonatal Seizures. *Epilepsia*, 2020;:1-39.
- 17) Ran D. Goldman, MD, FRCPC1, Sophie McGregor, BAsc1, Shashidhar R. Marneni, MD, FAAP2, Tomohiro Katsuta, MD, PhD3, Mark A. Griffiths, MD, FAAP, FACEP4, Jeanine E. Hall, MD5, Michelle Seiler, MD6, Eileen J. Klein, MD, MPH7, Cristina Parra Cotanda, MD8, Renana Gelernter, MD9, Julia Hoeffe, MD10, Adrienne L. Davis, MD, MSc, FRCPC11, Gianluca Gualco, MD12, Ahmed Mater, MD, FRCPC, FAAP13, Sergio Manzano, MD14, Graham C. Thompson, MD, FRCPC15, Sara Ahmed, MD16, Samina Ali, MDCM, FRCPC17, Julie C. Brown, MDCM7, and for the International COVID-19 Parental Attitude Study (COVIPAS) Group. Willingness to Vaccinate Children against Influenza after the Coronavirus Disease 2019 Pandemic. *The Journal of Pediatrics*, 2021;228:87-93.
- 18) Uehara Tomoko, Morino Saeko, Oishi Kazunori, Nakamura Yukitsugu, Togashi Noriko, Imaizumi Masue, Nishimura Shiho, Okada Satoshi, Yara Asao, Fukushima Hiroko, Imagawa Kazuo, Takada Hidetoshi. Pneumococcal Serotype-specific Opsonophagocytic Activity in Interleukin-1 Receptor-associated Kinase 4-deficient Patients. *The Pediatric Infectious Disease Journal*, 2021;DOI: 10.1097/INF.0000000000003060.
- 19) Korematsu S, Miyamoto Y, Muramatsu K, Yamanaka G, Hoshide M, Miyata R, Ito S, Shimokawa S, Mimaki M, Yamanouchi H. A fact-finding survey of the recommendation on sedation during physiological examinations such as electroencephalogram in Japan. *Brain & Development*, 2021;43(2):208-213.

② 総説又は症例解説

- 1) Katsuta Tomohiro, Charlotte A. Moser, Kristen A. Feemster, Saitoh Akihiko, Paul A. Offit. Comparison of immunization systems in Japan and the United States - What can be learned?. *Vaccine*, 2020;doi:10.1016/j.vaccine.2020.09.028.
- 2) Saitoh Aya, Saitoh Akihiko, Katsuta Tomohiro, Mine Mahito, Kamiya Hajime, Miyairi Isao, Ishiwada Naruhiko, Oshiro Makoto, Kira Ryutaro, Shimizu Naoki, Suga Shigeru, Tsugawa Takeshi, Fujioka Masashi, Miyazaki Chiaki, Morioka Ichiro, Korematsu Seigo, Azuma Hiroshi, Moriuchi Hiroyuki, Okabe Nobuhiko, Hosoya Mitsuaki, Tsutsumi Hiroyuki, Okada Kenji. Effect of a vaccine information statement (VIS) on immunization status and parental knowledge, attitudes, and beliefs regarding infant immunization in Japan. *Vaccine*, 2020;38(50):8049-8054.

③ 症例報告

- 1) Yamamoto-Shimajima Keiko, Ono Hiroaki, Imaizumi Taichi, Yamamoto Toshiyuki. Novel LAMA2 variants identified in a patient with white matter abnormalities. *Human Genome Variation*, 2020;26:7-16.
- 2) Keino Dai, Sudo Akina, Mizuno Masanori, Sasaki Keigo, Kinoshita Akitoshi, Mori Tetsuya. Diffuse Large B-Cell Lymphoma of the Trachea in a Child With Symptoms of Bronchial Asthma. *Journal of pediatric hematology/oncology : official journal of the American Society of Pediatric Hematology/Oncology*, 2020;43(2): e187-e190.
- 3) Masataka Yuji, Takaumi Ichiro, Yamamoto Hitoshi. Report of a 6 months old Asian infant with early infantile epileptic encephalopathy whose seizures were eliminated by cannabidiol. *Epilepsy and Behavior Reports*, 2020;10:10-16.
- 4) Ichiro Takeuchi, Toshinao Kawai, Meika Nambu, Ohsuke Migita, Satoshi Yoshimura, Kenichi Nishimura, Takako Yoshioka, Masao Ogura, Reiko Kyodo, Hirotaka Shimizu, Shuichi Ito, Motohiro Kato, Masafumi Onodera, Kenichiro Hata, Yoichi Matsubara, Katsuhiko Arai. X-linked inhibitor of apoptosis protein deficiency complicated with Crohn's disease-like enterocolitis and Takayasu arteritis: A case report. *Clinical immunology*, 2020;217:108495-108495.
- 5) Kim Yuhwa, Sudo Akina, Ooyama Ryo, Keino Dai, Tomizawa Daisuke, Kato Motohiro, Osumi Tomoo, Mori Tetsuya. Isolated Central Nervous System Progression During Systemic Treatment With Brentuximab Vedotin Monotherapy in a Pediatric Patient With Recurrent ALK-negative Anaplastic Large Cell Lymphoma. *Journal of pediatric hematology/oncology : official journal of the American Society of Pediatric Hematology/Oncology*, 2020;43(6): e864-e866.
- 6) Tomoe Yanagishita, Kaoru Eto, Keiko Yamamoto-Shimajima, Taichi Imaizumi, Satoru Nagata, Toshiyuki Yamamoto. A Novel PFAH1B1 Splicing Variant Identified in a Patient with Classical Lissencephaly. *Tokyo Women's Medical University Journal*, 2020;(4):85-89.
- 7) Fujita Takako, Ihara Yukiko, Hayashi Hitomi, Ishii Atsushi, Ideguchi Hiroshi, Inoue Takahito, Imaizumi Taichi, Yamamoto Toshiyuki, Hirose Sinichi. Coffin-Siris syndrome with bilateral macular dysplasia caused by a novel exonic deletion in ARID1B. *Congenital Anomalies*, 2020;60(6):189-193.

- 8) Kei Wakabayashi, Hitoshi Osaka, Karin Kojima Taichi Imaizumi, Toshiyuki Yamamoto, Takanori Yamagata. MCT8 deficiency in a patient with a novel frameshift variant in the SLC16A2 gene. Human Genome Variation, 2021;(8):10.

学会発表

① 国内学会

- 1) ◎新居登紀子, 鈴木典子, 山崎法子, 山崎哲, 高山成伸, 瀧正志. LA 検査における DOACs の影響回避のための DOAC-Stop (DOACs 吸着剤) の有効性. 第 42 回日本血栓止血学会, 2020.
- 2) ◎梅沢陽太郎, 山下敦己, 森美佳, 秋田美恵子, 須藤明希菜, 足利朋子, 長江千愛, 山崎哲, 高山成伸, 松井宏晃, 瀧正志. ヒト肝類洞内皮細胞を用いた糖質コルチコイドの FVIII 産生への影響. 第 42 回日本血栓止血学会, 2020.
- 3) ◎福武勝幸, 鈴木隆史, 瀧正志, 山下広志, 砂谷敏行, 田中佑佳, 嶋緑倫. コバルトトリイ使用成績調査中間解析結果報告. 第 42 回日本血栓止血学会, 2020.
- 4) ◎鈴木由妃, 杉下陽堂, 小澤南, 本吉愛, 久我麻美, 富永果林, 右田王介, 鈴木直, 津川浩一郎. 早発卵巣不全患者における染色体異常の状況. 第 44 回日本遺伝カウンセリング学会, 2020.
- 5) ◎本吉愛, 小澤南, 鈴木由妃, 杉下陽堂, 久我亜沙美, 富永果林, 右田王介, 津川浩一郎. 若年性乳癌を発症し、遺伝カウンセリングが治療の受容に有効であった Peutz-Jeghers 症候群の一例. 第 44 回日本遺伝カウンセリング学会学術大会, 2020.
- 6) ◎小澤南, 右田王介, 富永果林, 阿部友嘉, 鈴木由妃, 杉下陽堂, 本吉愛, 長谷川潤一, 鈴木直, 清水直樹, 津川浩一郎. 単一施設における NIPT の経験. 第 44 回日本遺伝カウンセリング学会学術集会, 2020.
- 7) ◎杉下陽堂, 鈴木由妃, 本吉愛, 小澤南, 久我亜沙美, 富永果林, 右田王介, 鈴木直, 津川浩一郎. トリプル X 症候群にて統合失調症および早発卵巣不全を呈した患者に対する遺伝カウンセリングの重要性. 第 44 回日本遺伝カウンセリング学会学術集会, 2020.
- 8) ◎池崎登紀子, 鈴木典子, 山崎法子, 山崎哲, 高山成伸, 瀧正志. LA 検査における DOACs の吸着剤 (DOAC-Stop) の有用性の検討. 第 21 回日本検査血液学会, 2020.
- 9) ◎長江千愛. 血友病性関節症の早期発見の重要性 -MRI を用いた精緻な画像診断からわかること-. 第 42 回日本血栓止血学会, 2020.
- 10) ◎長江千愛. 実臨床 5 年の経験から EHL-Fc 製剤の有効性を振り返る. 第 123 回日本小児科学会学術集会, 2020.
- 11) ◎山中岳, 是松聖悟, 伊藤進, 下川尚子, 星出まどか, 三牧正和, 宮田理英, 宮本雄策, 村松一洋, 山内秀雄. 小児の鎮静を考える 小児神経領域での鎮静. 第 123 回日本小児科学会学術集会, 2020.
- 12) ◎宮本雄策, 山本寿子, 竹田加奈子, 加久翔太郎, 清水直樹. 「登校禁止」指示と強い口調での注意により不登校状態から脱しえた男児の 2 例. 第 62 回日本小児神経学会学術集会, 2020.
- 13) ◎今泉太一, 柳下友映, 山本圭子, 西恵理子, 岡本伸彦, 山本俊至. ロングリードシーケンサーを用いた染色体構造異常の解析. 第 62 回日本小児神経学会学術集会, 2020.
- 14) ◎橋本修二, 今泉太一, 竹田加奈子, 加久翔太郎, 山本寿子, 新井奈津子, 宮本雄策, 宇田川紀子, 山本仁, 清水直樹. てんかん発作発症を契機に解離性障害が出現したと考えられた 1 女児例. 第 62

回日本小児神経学会学術集会, 2020.

- 15) ◎山本寿子, 宮本雄策, 今泉太一, 竹田加奈子, 加久翔太郎, 橋本修二, 新井奈津子, 宇田川紀子, 清水直樹. 当院で経験した脳炎脳症症例における臨床像. 第 123 回日本小児科学会学術集会, 2020.
- 16) ◎山本仁. 学術集会の国際化 Debate(pros). 第 123 回日本小児科学会学術集会, 2020.
- 17) ◎森鉄也. リンパ腫の診断・治療の最前線 小児/AYA 世代リンパ腫の現状と治療. 第 60 回日本リンパ網内系学会, 2020.
- 18) ◎山本寿子, 宮本雄策, 今泉太一, 竹田加奈子, 加久翔太郎, 橋本修二, 新井奈津子, 宇田川紀子, 須貝研司, 山本仁, 清水直樹. 当院で経験した小児欠神てんかん症例の臨床像. 第 62 回日本小児神経学会学術集会, 2020.
- 19) ◎長江千愛, 森美佳, 須藤明希菜, 足利朋子, 梅沢陽太郎, 山下敦己, 清水直樹, 瀧正志. 血友病 A 患者における Emicizumab の有用性と安全性. 第 123 回日本小児科学会学術集会, 2020.
- 20) ◎本吉愛, 黒田貴子, 敦賀智子, 志茂新, 小島康幸, 白英, 川本久紀, 福田護, 小澤南, 鈴木由妃, 杉下陽堂, 右田王介, 富永果林, 久我亜沙美, 津川浩一郎. 治療選択目的の遺伝学的検査 (BRCAAnalysis) 導入における当院の取り組みとオラパリブ使用経験. 第 26 回日本遺伝性腫瘍学会学術集会, 2020.
- 21) ◎大橋優子, 植原健二, 平野貴章, 秋山唯, 新井猛, 長江千愛, 仁木久照. inhibitor を有する血友病患者に対する関節鏡視下滑膜切除の経済的効果の検討. 第 35 回日本整形外科学会基礎学術集会, 2020.
- 22) ◎木谷好希, 井上瑤子, 今泉太一, 村田俊輔, 新谷亮, 橋本修二, 山下敦己, 栗原八千代, 瀧正志. 気管支喘息として診断・治療されていた過敏性肺臓炎の 10 歳男児例. 第 361 回日本小児科学会神奈川地方会, 2020.
- 23) ◎中村幸嗣, 勝田友博, 服部文彦, 吉川哲史. 突発性発疹症に上部消化管出血を合併した 1 例. 第 61 回日本臨床ウイルス学会, 2020.
- 24) ◎長江千愛. 今後の血友病の治療戦略～新規製剤の治療経験をもとに～. 第 82 回日本血液学会学術集会, 2020.
- 25) ◎新谷亮. 消化器感染症. 第 10 回小児感染症学会教育セミナー, 2020.
- 26) ◎文元礼, 小林茉保, 森内巧, 品川文乃, 新谷亮, 中村幸嗣, 勝田友博, 清水直樹. 大学病院小児科における COVID-19 流行期以降の入院病床整備と運用. 第 52 回日本小児感染症学会総会・学術集会, 2020.
- 27) ◎勝田友博. 国内における小児 COVID-19 の特徴. 第 52 回日本小児感染症学会総会・学術集会, 2020.
- 28) ◎小林茉保, 中村幸嗣, 加久翔太郎, 文元礼, 森内巧, 品川文乃, 新谷亮, 勝田友博, 清水直樹. 複数の重篤な合併症をきたした MRSA による末梢静脈カテーテル関連血流感染症の 1 例. 第 52 回日本小児感染症学会総会・学術集会, 2020.
- 29) 山本俊至, 柳下友映, 今泉太一, 山本圭子, 岡本伸彦. ナノポアシーケンスによって明らかになるゲノム構造異常. 日本人類遺伝学会 第 65 回大会, 2020.
- 30) 山本圭子, 小野浩明, 今泉太一, 菅野仁, 山本俊至. 白質異常を端緒に特定された新規 LAMA2 バリエーション. 日本人類遺伝学会 第 65 回大会, 2020.

- 31) 相馬未来, チョンピンフィー, 今泉太一, 柳下友映, 山本圭子, 山本俊至. 臨床症状より Coffin-Siris 症候群が疑われた患者において認められた新規 EP300 変異. 日本人類遺伝学会 第 65 回大会, 2020.
- 32) ◎本吉愛, 右田王介, 小澤南, 鈴木由妃, 杉下陽堂, 小島康幸, 久我亜沙美, 富永果林, 津川浩一郎. 姉妹で若年性癌を発症した Bloom 症候群の一家系. 日本人類遺伝学会第 65 回大会, 2020.
- 33) ◎Nagae Chiaï, Takeda Shizuyo, Oizumi Nana, Nagae Hideki, Hoshino Kaoru, Sano Masako, Kitagawa Hiroaki. Effectiveness of animal-assisted therapy for patients with pediatric hematological tumor refusing surgery. 第 62 回日本小児血液・がん学会, 2020.
- 34) ◎Nagae Chiaï, Mori Mika, Umezawa Yotaro, Ashikaga Tomoko, Yamashita Atsuki, Mori Tetsuya, Kitsukawa Kaoru, Taki Masashi. Young adults outcomes of primary prophylaxis for severe hemophilia A. 第 62 回日本小児血液・がん学会, 2020.
- 35) ◎山浦咲恵, 深野玲司, 飯島友加, 関水匡大, 森鉄也, 小林良二, 堀部敬三. ALK 陽性未分化大細胞リンパ腫における抗 ALK 抗体価の推移と予後の相関. 第 62 回日本小児血液・がん学会, 2020.
- 36) ◎長江千愛. これからの血液凝固因子製剤の役割と個別化治療について. 第 62 回日本小児血液・がん学会, 2020.
- 37) ◎Mori Mika, Nagae Chiaï, Kim Yufa, Umezawa Yotaro, Ashikaga Tomoko, Yamashita Atsuki, Mori Tetsuya, Taki Masashi. Present status on infants with hemophilia A treated with emicizumab: A single center cohort. 第 62 回日本小児血液・がん学会, 2020.
- 38) ◎小林茉莉恵, 長江千愛, 梅沢陽太郎, 森美佳, 須藤明希菜, 足利朋子, 山下敦己, 清水直樹, 瀧正志. 血友病の家族歴を有し軽症血友病と診断された健常乳児の 1 例. 第 362 回日本小児科学会神奈川県地方会, 2020.
- 39) 桜井研三, 中野茉莉恵, 升森智香子, 水野将徳, 麻生健太郎. 当院の冠動脈瘻の臨床像. 第 56 回日本小児循環器学会総会・学術集会, 2020.
- 40) 麻生健太郎, 中野茉莉恵, 桜井研三, 水野将徳, 小徳暁生, 藤川あつ子. 成人先天性心疾患患者の心臓 MRI 検査における心筋性状評価 遅延造影と T1 mapping との差異をどう解釈するか. 第 56 回日本小児循環器学会総会・学術集会, 2020.
- 41) 近田正英, 宮入剛, 北翔, 麻生健太郎, 水野将徳, 桜井研三, 中野茉莉恵. 小児の静脈血栓症 2 例の治療経験. 第 56 回日本小児循環器学会総会, 2020.
- 42) 北翔太, 近田正英, 宮入剛, 麻生健太郎, 水野将徳, 桜井研三, 中野茉莉恵. 2 心室修復術前の肺動脈絞扼術後の NO 吸入療法の検討. 第 56 回日本小児循環器学会総会, 2020.
- 43) ◎武半優子, 中村悠城, 小林司, 大滝正訓, 太田有紀, 木田圭亮, 桜井研三, 長田洋資, 渡辺実, 飯利太郎, 松本直樹. 出生前グルココルチコイド投与におけるラット心外膜の心筋細胞増殖に関わる Yap の役割. 第 41 回日本臨床薬理学会学術総会, 2020.
- 44) 桜井研三, 置塩英美, 北東功. 心エコーで診断に至った新生児心内血栓症の 2 例. 日本超音波医学会第 93 回学術集会, 2020.
- 45) ◎吉村加代, 勝田友博, 立浪忍, 清水直樹. 両親が子どものコロナウイルス感染症 2019 ワクチン開発の治験参加を了承する要因についての検討. 第 24 回日本ワクチン学会学術集会, 2020.
- 46) ◎勝田友博. 国内における Vaccine hesitancy 対策. 第 24 回日本ワクチン学会学術集会, 2020.

- 47) ◎瀧正志. 「エキスパートの意見に基づく血友病周産期管理指針 2017 年版」の骨子. 第 30 回日本産婦人科・新生児血液学会, 2020.
- 48) ◎小町詩織, 砂田美希, 鈴木真波, 山下敦己, 長江千愛, 北東功, 瀧正志. 新生児 DIC の紛らわしい疾患 (病態) とその鑑別方法. 第 30 回日本産婦人科・新生児血液学会, 2020.
- 49) ◎佐藤菜摘美, 中川朋子, 清水紗智, 中村祐太, 村上万里子, 右田王介, 本吉愛, 石井聡, 永井義夫, 曾根正勝. 糖尿病、低身長および若年で多発する家族性腫瘍より Bloom 症候群と診断した姉妹例. 第 58 回日本糖尿病学会関東甲信越地方会, 2021.
- 50) ◎長江千愛. 先天性血友病インヒビター治療の最近の動向. 日本血栓止血学会学術標準化委員会シンポジウム, 2021.
- 51) ◎長江千愛. 大学病院における勤務犬による動物介在療法の実践. 東洋大学福祉社会開発研究センター国際サブユニット シンポジウム, 2021.
- 52) ◎Katsuta Tomohiro. What should we do to overcome the existing vaccine gap in Japan?. 第 123 回日本小児科学会学術集会, 2020.
- 53) ◎末綱隼士, 小島亜輝子, 勝田友博, 清水直樹. Antimicrobial Stewardship Program が小児尿路感染症へ与える影響(トラベルグラント受賞演題). 第 123 回日本小児科学会学術集会, 2020.
- 54) ◎Seido Takae, Yuriko Iwahata, Eriko Shiraiishi, Hideyuki Iwahata, Yodo Sugishita, Yuki Horage, Shigeyuki Furuta, Tetsuya Mori, Hiroaki Kitagawa, Nao Suzuki. Variety of child cases who underwent ovarian tissue cryopreservation as fertility preservation treatment. 第 62 回日本小児血液・がん学会学術集会, 2020.
- ② 国際学会
- 1) ◎Taki Masashi, Nogami Keiji, Nagae Chiai, Nagao Azusa, Moritani K, Koh K, Shirashi M, Takatoku M, Shima Midori. Real-world data of first-time and rescue immune tolerance induction with recombinant factor VIII Fc fusion protein in patients with hemophilia A with inhibitors in Japan: "Fc Adolescent and Children Treatment" study (FACTs) Part 2 interim analysis. International Society on Thrombosis and Haemostasis 2020, 2020.
- 2) ◎Shima Midori, Nagao Azusa, Taki Masashi, Matsushita Tadashi, Oshida Koichi, Amano Kagehiro, Nagami Sayaka, Okada Norihiro, Maisawa Shingo, Nogami Keiji. Long-term safety and efficacy of emicizumab for up to >5 years in a phase 1/2 study in patients with severe hemophilia A. International Society on Thrombosis and Haemostasis 2020, 2020.
- 3) ◎Inoue Yoko, Goto Kaito, Kitani Yoshiki, Tsukahara Ayumi, Koto yuki, Kojima Takahiro. A reaction to RACOL® NF due to cow's milk allergy. JSA/WAO Joint Congress 2020, 2020.
- ③ その他
- 1) ◎長江千愛. 勤務犬の奇跡 ～大学病院における動物介在療法の導入～. 久留米大学グラウンドラウンド, 2020.
- 2) ◎山下敦己. 当院でのヘマンジオルシロップを用いた乳児血管腫治療の実際. 乳児血管腫フォーラム, 2020.
- 3) ◎山下敦己. ノンインヒビターの血友病 A におけるヘムライブラ使用により見えてきた課題. Kanagawa Hemophilia meeting, 2020.

- 4) ◎長江千愛. 血友病保因者の周産期管理. 第 11 回多摩ウイメンズヘルス研究会, 2020.
- 5) ◎勝田友博. 新型コロナウイルス感染症について. 町田ロータリークラブ例会, 2020.
- 6) ◎勝田友博. COVID-19 と川崎病の関連性. 第 15 回神奈川県川崎病 web 研究会, 2020.
- 7) 中村幸嗣. 小児敗血症 web セミナー2020. 小児敗血症 web セミナー2020, 2020.
- 8) ◎勝田友博. 新型コロナウイルス流行期における予防接種. 令和 2 年度小児医学研究振興財団オンデマンド市民公開講座, 2020.
- 9) ◎瀧正志. 血友病治療におけるチーム医療の重要性と emicizumab の適正使用. メディカルスタッフのためのヘモフィリアセミナー, 2020.
- 10) ◎長江千愛. 血友病性関節症の早期発見の重要性. CSL ベーリング Hemophilia Webinar, 2020.
- 11) ◎宮本雄策. 小児神経疾患患児の移行期医療について. 第 18 回日本小児神経学会医療的ケア研修セミナー, 2020.
- 12) ◎山下敦己. アドヒアランス向上がもたらす治療アウトカム. 改めて考える! アドヒアランス向上が患者さんに与える治療効果, 2020.
- 13) ◎曾根田瞬, 大串健一郎, 田嶋華子, 有安大典. 川崎市における学校検尿による糖尿病健診～平成を振り返って～. 第 15 回関東小児糖尿病フォーラム, 2020.
- 14) ◎勝田友博. 世界の routine immunization 日本の定期接種. トラベラーズワクチン講習会 ウェビナー, 2020.
- 15) ◎宮本雄策. 小児期発症てんかん患者の移行期医療 小児科の立場から. 神奈川小児てんかん education seminar, 2020.
- 16) ◎宮本雄策. 脊髄性筋萎縮症 I 型の乳幼児 3 例に対する Onasemnogene Apeparvovec の使用経験. Novartis Web symposium, 2020.
- 17) ◎長江千愛. 使用経験から考えるヘムライブラの治療選択の可能性. ヘムライブラ適正使用セミナー in 京都, 2020.
- 18) ◎長江千愛. 血友病性関節症の早期発見の重要性. CHUGAI Web 講演会, 2021.
- 19) ◎山下敦己. ITI 施行中の患者さん. Smile-On ヘムライブラセミナー, 2021.
- 20) ◎山本仁. 新生児期から乳幼児期に遭遇する薬剤抵抗性てんかんについて. 神奈川てんかん治療ネットワーク, 2021.
- 21) ◎長江千愛. 将来の関節症を見据えた治療戦略. Eloctate Webinar, 2021.
- 22) ◎瀧正志. Opening remarks; スポーツと血友病. Kanagawa Hemophilia Meeting 2021 Feb, 2021.
- 23) ◎長江千愛. 血友病診療における最新の知見. 神奈川小児血液疾患 Web セミナー, 2021.
- 24) ◎小澤南, 右田王介, 瓜生英尚, 上條千賀子, 鈴木由妃, 杉下陽堂, 本吉愛, 清水直樹, 津川浩一郎. 機械学習モデルの応用によるファブリー病スクリーニングの検討. 聖マリアンナ医科大学第 79 回医学会学術集会, 2021.
- 25) ◎勝田友博. 日本における小児の新型コロナウイルス感染症の現状とワクチン接種への影響. 赤ちゃん成育のネットワーク研修フォーラム, 2021.

		和文	英文
著 書		19	
論 文	原著	4	19
	解説又は総説	5	2
	症例報告	3	8
	その他	2	
学会発表	国内学会	51	3
	国際学会		3
	その他	25	

外科学（消化器・一般外科）

著書

- 1) 國場幸均, 大島隆一, 根岸宏行. カメラポートの挿入法 04 redo surgery: 消化管 (第1ポートの挿入) 内視鏡外科手術 役立つテクニック 100 2020;1(1):182-184.
- 2) 朝野 隆之, 瀬上 航平, 大坪 毅人. シンシデント予防 (インシデントレポート) 医療安全に対する研修医の意識改革について 医療安全 BOOKS9 医療安全研修テーマ・実施症例集ー研修が活性化する計画から実施のコツまで 2020;1(1):105-109.

学術論文[和文]

① 原著

- 1) 佐藤渉, 國崎主税, 高橋正純, 大島貴, 比企直樹, 大坪毅人, 小澤壯治, 遠藤格. 神奈川県下の高齢者胃癌症例に対する腹腔鏡下胃切除の現状. 日本内視鏡外科学会雑誌, 2020;25:254-262.
- 2) 小林慎二郎, 梅澤早織, 大坪毅人. 特集: 肝胆疾患における栄養サポート 臍頭十二指腸切除術後の急性期栄養管理. 胆と膵, 2020;41(7):639-643.
- 3) 瀬上航平, 大岡正道, 山田浩史, 朝野隆之, 阿部宏志, 穂山雅代, 村弘子, 梶ヶ谷和子, 内川隆子, 橘川薫, 小林泰之, 三村秀文, 安田宏, 峯下昌道, 大坪毅人. 放射線科読影レポート未確認に伴う Diagnostic Error への対策. 聖マリアンナ医科大学雑誌, 2020;48(3):61-66.
- 4) 榎本武治, 民上真也, 増田哲之, 勝又健太, 亀井奈津子, 嶋田仁, 大坪毅人, 清川博史, 佐藤義典, 松尾康正. 5.胃粘膜下腫瘍に対する腹腔鏡・内視鏡合同手術(LECS)の実際. 川崎市医師会医学会誌, 2020;37:14-15.
- 5) 佐々木貴浩, 古畑智久, 臼井創大, 小野龍宣, 野田顕義, 中嶋孝司, 宮島伸宜, 大森慎太郎, 太田明雄, 大坪毅人. Metabolic surgery の立ち上げと現状. 川崎市医師会医学会誌, 2020;37:1-4.

② 総説又は症例解説

- 1) 小澤俊一郎, 松本伸行, 久恒靖人, 國場幸均. 【消化管症候群(第3版)-その他の消化管疾患を含めて-】空腸、回腸、盲腸、結腸、直腸(上) 吸収不良・蛋白漏出 盲管症候群. 日本臨床, 2020;別冊消化管症候群Ⅲ:287-289.
- 2) 小泉哲, 大坪毅人. 【コラム】腹部外傷時の超音波(FAST を中心に). 臨床消化器内科, 2020;35(9):273-275.

③ 症例報告

- 1) 加藤宗次郎, 宮澤知行, 酒井寛貴, 木村祐之, 丸島秀樹, 小島宏司, 佐治久, 土居正知, 小池淳樹, 高木正之. 同時性多発肺腺癌における PD-L1 発現の検討. 肺癌, 2020;60(2):135-136.
- 2) 勝又健太, 榎本武治, 大坪毅人, 樋渡正樹, 塚本芳嗣, 亀井奈津子, 嶋田仁, 小林慎二郎, 芦川和広, 民上真也. ステアリン酸カルシウムを主構成成分とする胃石により胃癌術後輸入脚閉塞症を来した1例. 日本消化器外科学会雑誌, 2020;53(6):481-486.
- 3) 高城伸平, 牧角良二, 福岡麻子, 朝野隆之, 芦川和広, 大坪毅人. 3年の経過を経て診断・治療された魚骨による小腸穿孔の1例. 日本臨床外科学会雑誌, 2020;81(8):1533-1537.
- 4) 佐々木貴浩, 古畑智久, 臼井創大, 小野龍宣, 野田顕義, 宮島伸宜, 大坪毅人. 急性膵炎を合併した上

腸間膜動脈症候群の1例. 聖マリアンナ医科大学雑誌, 2020;48(2):49-53.

- 5) 天野優希, 民上真也, 樋渡正樹, 梅澤早織, 勝又健太, 亀井奈津子, 嶋田仁, 榎本武治, 大坪毅人. Upside down stomach を伴ったIV型食道裂孔ヘルニアに対して、腹腔鏡下修復術を施行した1例. 聖マリアンナ医科大学雑誌, 2020;48(3):139-148.
- 6) 小野龍宣, 古畑智久, 臼井創大, 野田顕義, 佐々木貴浩, 小泉宏隆, 宮島伸宜, 大坪毅人. 直腸癌に併発し転移性肝癌との鑑別が困難であった肝硬化性血管腫の1例. 聖マリアンナ医科大学雑誌, 2020;48(3):117-122.
- 7) 天野優希, 小林慎二郎, 井田圭亮, 土橋篤仁, 小泉哲, 前田一郎, 藤野節, 遠藤陽, 高木正之, 森田亮, 路川陽介, 中原一有, 大坪毅人. 十二指腸乳頭部原発 Mixed neuroendocrine non-neuroendocrine neoplasm(MiNEN)の1例. 聖マリアンナ医科大学雑誌, 2020;48(3):109-116.
- 8) 樋渡正樹, 小泉哲, 小倉佑太, 土橋篤仁, 片山真史, 小林慎二郎, 長宗我部基弘, 小池淳樹, 大坪毅人. SVR 後 10 年で発見された肝細胞癌の1切除. Liver Cancer, 2021;26(1):7-11.

学術論文[英文]

① 原著

- 1) Itabashi Michio, Yamamoto Hirofumi, Tomita Naohiro, Inomata Masafumi, Murata Kohei, Hayashi Shigeoki, Miyate Yasuhiro, Igarashi Seiji, Kato Takeshi, Noura shingo, Furuhashi Tomohisa, Ozawa Heita, Takemasa Ichiro, Yasui Masayoshi, Takeyama Hiroshi, Okamura Shu, Ohno Yuko, Matuura Nariaki. Lymph Node Positivity in One-Step Nucleic Acid Amplification is a Prognostic Factor for Postoperative Cancer Recurrence in Patients with Stage II Colorectal Cancer : A Prospective, Multicenter Study. Annals of surgical oncology : the official journal of the Society of Surgical Oncology, 2020;27(4):1077-1083.
- 2) Hirono Seiko, Shimokawa Toshio, Nagakawa Yuichi, Yi-Ming Shyr, Kawai Manabu, Matsumoto Ippei, Sato Sohei, Yoshitomi Hedeyuki, Okabayashi Takehiro, Motoi Fuyuhiko, Amano Ryosuke, Murakami Yoshiaki, Hirano Satoshi, Kawamoto Kazuyuki, Nakamori kazuyuki, Yan-Shen Shan, Kobayashi Shinjiro, Nitta Hiroyuki, Matsukawa Hiroyoshi, Uchiyama Kazuhisa, Chih-Po Hsu, Kitami Chie, Yamamoto Masakazu, Tsann-Long Hwang, Yamaue Hiroki. Risk factors for pancreatic fistula grade C after pancreatoduodenectomy: A large prospective, multicenter Japan-Taiwan collaboration study. Journal of Hepato-Biliary-Pancreatic Sciences, 2020;27:622-631.
- 3) Nakahara Kazunari, Morita Ryo, michikawa Yosuke, Suetani Keigo, Morita Nozomi, Fujita Akashi, Sato Junya, Igarashi Yosuke, Ikeda Hiroki, Matsunaga Kotaro, Watanabe Tsunamasa, Kobayashi Shinjiro, Otsubo Takehito, Itoh Fumio. Endoscopic Transpapillary Gallbladder Drainage for Acute Cholecystitis After Biliary Self-Expandable Metal Stent Placement. Surgical laparoscopy, endoscopy & percutaneous techniques, 2020;30(5):416-423.
- 4) Kudo Atsushi, Shinoda Masahiro, Ariizumi Shunichi, Kumamoto Takafumi, Katayama Masafumi, Otsubo Takehito, Endo Itaru, Kitagawa Yuko, Tanabe Minoru, Yamamoto Masakazu, Association for Clinical Research on Surgery Group. Des-gamma-carboxy prothrombin affects the survival of HCC patients with marginal liver function and treatment; ACRO-S1402. Journal of Cancer

Research and Clinical Oncology, 2020;146(11):2949-2956.

- 5) Usui Sota, Koizumi Satoshi, Ida Keisuke, Kamei Natsuko, Oshima Ryuichi, Ono Tatsunori, Noda Akiyoshi, Sasaki Takahiro, Furuhashi Tomohisa, Miyajima Nobuyoshi, Kokuba Yukihito, Otsubo Takehito. A Cross-Sectional Study of Adult Inguinal Hernial Orifice Diameter Estimation by Computed by Tomography. Journal of St. Marianna University, 2020;11(2):91-102.
- 6) Hiwatari Masaki, Mikami Shinya, Otsubo Takehito, Katsumata Kenta. A Study of the Changes in Laryngeal Elevation Distance and Dysphagia after Thoracic Esophageal Cancer Surgery. Journal of St. Marianna University, 2020;11(2):81-89.
- 7) Amano Yuki, Kobayashi Shinjiro, Otsubo Takehito. Nutrition Index is Maintained for Five Years after Pylorus-Preserving Pancreatoduodenectomy. Journal of St. Marianna University, 2020;11(2):73-79.
- 8) Nakahara Kazunari, Sato Junya, Morita Ryo, Michikawa Yosuke, Suetani Keigo, Igarashi Yosuke, Sekine Akihiro, Kobayashi Shinjiro, Otsubo Takehito, Itoh Fumio. Incidence and management of cystic duct perforation during endoscopic transpapillary gallbladder drainage for acute cholecystitis. Digestive Endoscopy, 2021;:doi-10.1111/den.13959.
- 9) Ando yasuhisa, Okano Keiichi, Yasumatsu Hiroshi, Okada Toshimasa, Mizunuma kimiyoshi, Takada Minoru, Kobayashi Shinjiro, Suzuki Keisuke, Kitamura Nobuya, Oshima Minoru, Sudo Hironobu, Miyatake Nobuyuki, Suzuki Yasuyuki. Current status and management of pancreatic trauma with main pancreatic duct injury : A multicenter nationwide survey in Japan. Journal of Hepato-Biliary-Pancreatic Sciences, 2021;28(2):183-191.
- 10) Kobayashi Shinjiro, Otsubo Takehito, Nakano Hiroshi, Koizumi Satoshi, Nakamura Kazunari. Complete Lymphadenectomy Around the Entire Superior Mesenteric Artery Improves Survival in Artery-First Approach Pancreatoduodenectomy for T3 Pancreatic Ductal Adenocarcinoma. World Journal of Surgery, 2021;45(3):857-864.

② 症例報告

- 1) Sasaki Takahiro, Furuhashi Tomohisa, Nishimura Masashige, Ono Tatsunori, Noda Akiyoshi, Koizumi Hirohisa, Miyajima Nobuyoshi, Otsubo Takehito.
An extremely rare case of neuromuscular and vascular hemangioma of the appendix. Surgical Case Reports, 2020; : DOI-10.1186/s40792020009702.
- 2) Hiwatari Masaki, Mikami Shinya, Mafune Taichi, Usui Sota, Amano Yuki, Fukuoka Asako, Enomoto Takeharu, Tsuchiya Junichi, Otsubo Takehito. A Case of Inflammatory Myofibroblastic Tumor Originating in the Lesser Omentum Treated by Laparoscopic Resection. Journal of St. Marianna University, 2020;11(2):165-171.

学会発表

① 国内学会

- 1) ◎木村紗衣, 白井創大, 牧角良二, 朝野隆之, 福岡麻子, 浜辺太郎, 鈴木卓也, 山下真幸, 大坪毅人.
腰椎化膿性椎間板炎の原因となった人工血管 S 状結腸瘻の 1 手術例. 第 857 回外科集談会, 2020.

- 2) ◎森本勇樹, 井田圭亮, 酒巻香織, 天野優希, 土橋篤仁, 小林慎二郎, 小泉哲, 小池淳樹, 大坪毅人. EUS-FNA で術前診断し得た十二指腸水平脚原発 GIST の 1 例. 第 857 回外科集談会, 2020.
- 3) ◎榎本武治, 民上真也, 勝又健太, 亀井奈津子, 嶋田仁, 清川博史, 佐藤義典, 松尾康正, 安田宏, 大坪毅人. 当院における胃 GIST に対する外科治療戦略. 第 92 回日本胃癌学会総会, 2020.
- 4) ◎民上真也, 榎本武治, 嶋田仁, 勝又健太, 梅澤早織, 増田哲之, 天野優希, 亀井奈津子, 大坪毅人. 当院における腹腔鏡下噴門側胃切除術の再建法. 第 92 回日本胃癌学会総会, 2020.
- 5) ◎佐々木貴浩, 古畑智久, 野田顕義, 小野龍宣, 臼井創大, 宮島伸宜, 大坪毅人. 胃癌リンパ節転移診断における OSNATM法の導入. 第 106 回日本消化器病学会総会, 2020.
- 6) ◎勝又健太, 民上真也, 真船太一, 樋渡正樹, 梅澤早織, 天野優希, 亀井奈津子, 嶋田仁, 榎本武治, 大坪毅人. 胸部食道癌の周術期におけるオトガイ舌骨筋の筋肉量変化が嚥下機能障害に及ぼす影響についての検討. 第 120 回日本外科学会定期学術集会, 2020.
- 7) ◎小林慎二郎, 土橋篤仁, 小倉佑太, 樋渡正樹, 片山真史, 小泉哲, 大坪毅人. 高齢者に対して安全に臍頭十二指腸切除術を行うための ERAS と Physcial aging score. 第 120 回日本外科学会定期学術集会, 2020.
- 8) ◎小泉哲, 小倉佑太, 土橋篤仁, 片山真史, 小林慎二郎, 牧角良二, 民上真也, 大坪毅人. 消化器外科領域において非外傷症例に対しダメージコントロール戦略を適用すべき病態. 第 120 回日本外科学会定期学術集会, 2020.
- 9) ◎浜辺太郎, 牧角良二, 増田哲之, 塚本芳嗣, 福岡麻子, 朝野隆之, 大坪毅人. 当院における下部進行直腸癌に対する予防的側方郭清の治療成績. 第 120 回日本外科学会定期学術集会, 2020.
- 10) ◎臼井創大, 古畑智久, 佐々木貴浩, 野田顕義, 小野龍宣, 宮島伸宜, 大坪毅人. 不顕性鼠経ヘルニアにおける鼠径部除圧下腹臥位 CT(ヘルニアスタディ)の有用性. 第 120 回日本外科学会定期学術集会, 2020.
- 11) ◎民上真也, 榎本武治, 嶋田仁, 亀井奈津子, 梅澤早織, 増田哲之, 勝又健太, 塚本芳嗣, 大坪毅人. 胸部食道癌における Liner stapler を用いた頸部食道胃管吻合-TRIQ-. 第 120 回日本外科学会定期学術集会, 2020.
- 12) ◎片山真史, 小泉哲, 小林慎二郎, 瀬上航平, 土橋篤仁, 小倉佑太, 樋渡正樹, 大坪毅人. 腹腔鏡下胆嚢摘出術後の臍部癒痕ヘルニアの現状とリスク因子の検討. 第 120 回日本外科学会定期学術集会, 2020.
- 13) ◎塚本芳嗣, 牧角良二, 増田哲之, 小倉佑太, 浜辺太郎, 福岡麻子, 朝野隆之, 大坪毅人. 上部直腸癌症例において骨盤内直腸腫瘍占有率が腹腔鏡下手術に及ぼす影響の検討. 第 120 回日本外科学会定期学術集会, 2020.
- 14) ◎若林大雅, 阿部雄太, 日比泰造, 米田五大, 巖康仁, 澤田雄, 星野博之, 植村修一郎, 伴大輔, 工藤 篤, 竹村裕介, 三島江平, 篠田昌宏, 板野理, 大坪毅人, 遠藤格, 北川雄光, 田邊稔, 江川裕人, 山本雅一. 非大腸癌肝転移に対する肝切除の有用性~腫瘍病理別の予後因子分析~. 第 120 回日本外科学会定期学術集会, 2020.
- 15) ◎土橋篤仁, 小林慎二郎, 天野優希, 井田圭亮, 小泉哲, 大坪毅人. 臍頭十二指腸切除術における術後合併症と血清 CRP 値に関する検討. 第 47 回日本臍切研究会, 2020.
- 16) ◎井田圭亮, 小林慎二郎, 天野優希, 土橋篤仁, 小泉哲, 大坪毅人. 尾側臍切除術における定型化し

た膵切離. 第 47 回日本膵切研究会, 2020.

- 17) ◎天野優希, 小林慎二郎, 井田圭亮, 土橋篤仁, 小泉哲, 大坪毅人. 幽門輪温存膵頭十二指腸切除術後の長期栄養状態に関する検討. 第 47 回日本膵切研究会, 2020.
- 18) ◎小林慎二郎, 井田圭亮, 土橋篤仁, 小泉哲, 大坪毅人. 高齢者の膵頭部癌に対して安全に膵頭十二指腸切除術を行うための ERAS と Physical again Score. 第 47 回日本膵切研究会, 2020.
- 19) ◎石田潤, 清川博史, 見原雄貴, 近江亮介, 加藤正樹, 森田望, 佐藤義典, 池田佳子, 松尾康正, 山下真幸, 山本博幸, 安田宏, 土橋篤仁, 大坪毅人, 有泉泰, 小池淳樹, 伊東文生. 腸重積症を伴った回腸アニサキスを内視鏡的摘除し保存的加療し得た 1 例. 第 99 回日本消化器内視鏡学会総会, 2020.
- 20) 古田繁行, 小泉哲, 小林慎二郎, 長江秀樹, 大山慧, 西谷友里, 小倉佑太, 藤谷茂樹, 平泰彦, 北川博昭. 重傷肝損傷に対する Damage Control Surgery. 第 57 回日本小児外科学会学術集会, 2020.
- 21) ◎内藤純行, 土田知也, 山崎行敬, 紺野千穂, 小波本直也, 水野晴貴, 金澤実, 三上翔平, 吉田英樹, 田北無門, 森川大樹, 藤谷茂樹, 平泰彦, 大坪毅人, 北川博昭, 松田隆秀. 新型コロナウイルス感染重症例における患者・医師関係の構築および倫理的課題-自験例を通じて. 第 21 回日本病院総合診療医学会学術総会, 2020.
- 22) ◎井田圭亮. 敗血症および急性胃壊死を来した膵仮性のう胞感染の 1 例. 横浜敗血症セミナーⅧ, 2020.
- 23) ◎浜辺太郎, 牧角良二, 増田哲之, 梅澤早織, 塚本芳嗣, 福岡麻子, 朝野隆之, 大坪毅人. 大腸癌穿孔手術症例の検討. 第 56 回日本腹部救急医学会総会, 2020.
- 24) ◎野田顕義, 古畑智久, 臼井創大, 小野龍宣, 吉田良仁, 佐々木貴浩, 宮島伸宜, 大坪毅人. 爪楊枝誤飲による小腸穿孔の 1 例. 第 56 回日本腹部救急医学会総会, 2020.
- 25) ◎井田圭亮, 近森正康, 塚本芳嗣, 野田顕義, 嶋田仁, 嶋田久, 大坪毅人. 当院で経験した小腸アニサキス症の臨床的検討. 第 56 回日本腹部救急医学会総会, 2020.
- 26) ◎土橋篤仁, 小林慎二郎, 小倉佑太, 片山真史, 小泉哲, 大坪毅人. Segmental Arterial Mediolyysis(SAM)に起因する膵頭部動脈瘤破裂に対して膵全摘術を選択し救命し得た 1 例. 第 56 回日本腹部救急医学会総会, 2020.
- 27) ◎勝又健太, 民上真也, 梅澤早織, 増田哲之, 天野優希, 亀井奈津子, 嶋田仁, 榎本武治, 大坪毅人. 開腹経食道裂孔的アプローチを行った特発性食道破裂 5 例の検討. 第 56 回日本腹部救急医学会総会, 2020.
- 28) ◎樋渡正樹, 小林慎二郎, 小泉哲, 小倉佑太, 土橋篤仁, 片山真史, 大坪毅人. 外傷性下大静脈損傷及び肝損傷(IIIb)に対して下大静脈修復術と二期的肝切除術を施行し救命し得た 1 例. 第 56 回日本腹部救急医学会総会, 2020.
- 29) ◎小倉佑太, 小林慎二郎, 樋渡正樹, 土橋篤仁, 片山真史, 小泉哲, 大坪毅人. 正中弓状靭帯圧迫症候群(MALS)に起因した膵頭部領域動脈瘤の 4 例. 第 56 回日本腹部救急医学会総会, 2020.
- 30) ◎小林慎二郎, 土橋篤仁, 小倉佑太, 樋渡正樹, 片山真史, 小泉哲, 大坪毅人. 重症腹部外傷に対して確実に救命するための手術手技. 第 56 回日本腹部救急医学会総会, 2020.
- 31) ◎増田哲之, 浜辺太郎, 梅澤早織, 塚本芳嗣, 福岡麻子, 朝野隆之, 牧角良二, 長曾我部基弘, 土居正和, 大坪毅人. 腸重積で緊急手術を施行した腸管嚢胞状気腫症の 1 例. 第 56 回日本腹部救急医学会総会, 2020.

- 32) ◎塚本芳嗣, 浜辺太郎, 増田哲之, 梅澤早織, 福岡麻子, 朝野隆之, 牧角良二, 大坪毅人. 虚血性腸炎壊死型に早期手術にて救命した1例. 第56回日本腹部救急医学会総会, 2020.
- 33) ◎臼井創大, 古畑智久, 小野龍宣, 野田顕義, 佐々木貴浩, 宮島伸宜, 大坪毅人. S状結腸間膜内ヘルニアに対して緊急手術施行した1例. 第56回日本腹部救急医学会総会, 2020.
- 34) ◎松下恒久, 鶴田統久, 石上雄太, 高橋啓, 宮原利行, 角泰廣, 佐治攻, 榎本武治, 民上真也, 中野浩, 大坪毅人. 食道裂孔ヘルニアでの腹腔鏡下手術における Barded suture を用いた工夫. 第74回手術手技研究会, 2020.
- 35) ◎大島隆一. 3D フレキシブル内視鏡がもたらす大腸手術—薬剤起因性潰瘍を考えた周術期管理を含む—. Endoscopic Treatment Video Form in Yokohama 2020, 2020.
- 36) ◎小野龍宣, 古畑智久, 西村正成, 野田顕義, 佐々木貴浩, 福岡麻子, 牧角良二, 佐々木大祐, 四万村司, 根岸宏行, 大島隆一, 朝倉武士, 國場幸均, 宮島伸宜, 大坪毅人. pStage III 結腸癌に対する術後補助化学療法の現状と治療成績. 第58回日本癌治療学会学術集会, 2020.
- 37) ◎有福厚孝, 佐々木大祐, 丹波和也, 片山真史, 石井将光, 四万村司, 朝倉武士, 有泉泰, 大坪毅人. 胆嚢癌と鑑別を要した胆嚢内乳頭状腫瘍(ICPN)の1例. 第82回日本臨床外科学会総会, 2020.
- 38) ◎小野龍宣, 古畑智久, 臼井創大, 野田顕義, 佐々木貴浩, 小泉宏隆, 宮島伸宜, 大坪毅人. 直腸癌に併発し転移性肝臓との鑑別が困難であった肝硬化性血管腫の1例. 第82回日本臨床外科学会総会, 2020.
- 39) ◎佐々木貴浩, 古畑智久, 西村正成, 小野龍宣, 野田顕義, 宮島伸宜, 大坪毅人. 鼠径部ヘルニア嵌頓に対して腸切除を含む腹腔鏡下ヘルニア修復術(TAPP)を施行した2例. 第82回日本臨床外科学会総会, 2020.
- 40) ◎亀井奈津子, 福岡麻子, 松森智子, 梅澤早織, 大坪毅人. 女性外科医を続けるために. 第18回日本ヘルニア学会学術集会, 2020.
- 41) ◎小林慎二郎, 大坪毅人, 中原一有. Physical Aging(PA)score を用いた臍頭十二指腸切除術のリスク予測. 第24回日本肝臓学会大会 (JDDW 2020 KOBE), 2020.
- 42) ◎野田顕義, 古畑智久, 小野龍宣, 佐々木貴浩, 牧角良二, 大島隆一, 四万村司, 國場幸均, 朝倉武士, 宮島伸宜, 大坪毅人. 直腸癌術後排便機能障害に関するアンケート調査. 第75回日本大腸肛門病学会学術集会, 2020.
- 43) ◎四万村司, 古畑智久, 大島隆一, 牧角良二, 佐々木大祐, 有福厚孝, 丹波和也, 浜辺太郎, 福岡麻子, 片山真史, 石井将光, 佐々木貴浩, 朝野隆之, 朝倉武士, 國場幸均, 宮島伸宜, 大坪毅人. 閉塞性大腸癌に対する大腸ステント(SEMS)留置後の手術症例の検討. 第75回日本大腸肛門病学会学術集会, 2020.
- 44) ◎牧角良二, 福岡麻子, 大島隆一, 浜辺太郎, 塚本芳嗣, 増田哲之, 根岸宏行, 佐々木貴浩, 朝野隆之, 佐々木大祐, 四万村司, 朝倉武士, 國場幸均, 古畑智久, 宮島伸宜, 大坪毅人. 直腸癌手術における一時的回腸人工肛門造設時の早期合併症の現状—特に High output stoma, Outlet obstruction について—. 第75回日本大腸肛門病学会学術集会, 2020.
- 45) ◎佐々木大祐, 四万村司, 有福厚孝, 丹波和也, 片山真史, 石井将光, 牧角良二, 朝倉武士, 古畑智久, 國場幸均, 宮島伸宜, 大坪毅人. 大腸癌同時性肝臓転移に対する治療成績. 第75回日本大腸肛門病学会学術集会, 2020.

- 46) ◎根岸宏行, 大島隆一, 勝又健太, 桃原侑利, 久恒靖人, 菊地悠輔, 平良濟, 田中圭一, 國場幸均, 宮島伸宜, 大坪毅人. 人工肛門閉鎖術における皮膚環状縫合の有用性. 第 75 回日本大腸肛門病学会学術集会, 2020.
- 47) ◎浜辺太郎, 牧角良二, 臼井創大, 鈴木卓也, 福岡麻子, 朝野隆之, 四万村司, 古畑智久, 國場幸均, 宮島伸宜, 大坪毅人. Colostomy 閉鎖術の治療成績. 第 75 回日本大腸肛門病学会学術集会, 2020.
- 48) ◎福岡麻子, 臼井創大, 鈴木卓也, 浜辺太郎, 朝野隆之, 牧角良二, 宮島伸宜, 大坪毅人. 当院における 85 歳以上の高齢者の大腸癌手術成績の検討. 第 75 回日本大腸肛門病学会学術集会, 2020.
- 49) ◎久恒靖人, 大島隆一, 勝又健太, 根岸宏行, 國場幸均, 大坪毅人. 腸重積を併発した大腸癌 7 例の検討. 第 75 回日本大腸肛門病学会学術集会, 2020.
- 50) ◎古畑智久, 牧角良二, 四万村司, 大島隆一, 佐々木貴浩, 野田顕義, 小野龍宣, 西村正成, 佐々木大祐, 根岸宏行, 朝野隆之, 福岡麻子, 浜辺太郎, 朝倉武士, 國場幸均, 宮島伸宜, 大坪毅人. pStage III 結腸癌に対する術後補助化学療法. 第 75 回日本大腸肛門病学会学術集会, 2020.
- 51) ◎大島隆一, 國場幸均, 古畑智久, 牧角良二, 四万村司, 勝又健太, 桃原侑利, 久恒靖人, 菊地悠輔, 平良濟, 根岸宏行, 田中圭一, 佐々木大祐, 福岡麻子, 野田顕義, 佐々木貴浩, 朝野隆之, 朝倉武士, 宮島伸宜, 大坪毅人. 直腸脱に対する腹腔鏡下直腸固定術においてメッシュ使用の有無による手術成績の比較検討. 第 75 回日本大腸肛門病学会学術集会, 2020.
- 52) ◎宮島伸宜. 会長講演 機能から癌へ、低侵襲手術へ、そして再度機能へ. 第 75 回日本大腸肛門病学会学術集会, 2020.
- 53) ◎宮島伸宜. 理事長講演 日本大腸肛門病学会の国際化とデジタル化の流れ. 第 75 回日本大腸肛門病学会学術集会, 2020.
- 54) ◎勝又健太, 大島隆一, 桃原侑利, 菊地悠輔, 久恒靖人, 平良濟, 根岸宏行, 田中圭一, 相田芳夫, 國場幸均, 大坪毅人. 当院における大腸悪性リンパ腫切除術 5 例の検討. 第 75 回日本大腸肛門病学会学術集会, 2020.
- 55) ◎民上真也. 胃癌・食道癌に対する最新の外科治療－鏡視下手術と周術期管理－. 横須賀外科医会学術講演会, 2020.
- 56) ◎佐々木貴浩, 古畑智久, 西村正成, 小野龍宣, 野田顕義, 宮島伸宜, 大坪毅人. 回腸人工肛門閉鎖術後創部に対する陰圧閉鎖療法の導入. 第 33 回日本外科感染症学会総会学術集会, 2020.
- 57) ◎梅澤早織, 小林慎二郎, 井田圭亮, 土橋篤仁, 小泉哲, 大坪毅人. 術前筋肉量が少ない遠位胆管癌手術症例は予後不良である. 第 7 回日本サルコペニア・フレイル学会大会, 2020.
- 58) ◎天野優希, 小林慎二郎, 土橋篤仁, 井田圭亮, 小泉哲, 大坪毅人. 幽門輪温存臍頭十二指腸切除術後の長期栄養状態に関する検討. 日本消化器病学会関東支部第 362 回例会, 2020.
- 59) ◎臼井創大, 井田圭亮, 天野優希, 土橋篤仁, 小林慎二郎, 小泉哲, 小池淳樹, 大坪毅人. 結腸浸潤部からの出血による Oncologic emergency にて手術を行った臍尾部腺扁平上皮癌の 1 例. 日本消化器病学会関東支部第 362 回例会, 2020.
- 60) ◎下澤信彦, 森川大樹, 遠藤拓郎, 昆祐理, 松本純一, 大嶽康介, 菊池広子, 森澤健一郎, 藤谷茂樹, 小泉哲, 小林慎二郎, 松田潔, 平泰彦. 川崎市登戸連続殺傷事件において当地域で実施した搬送調整の検討. 第 34 回日本外傷学会総会・学術集会, 2020.
- 61) ◎勝又健太, 民上真也, 鈴木卓也, 亀井奈津子, 榎本武治, 長宗我部基弘, 小池淳樹, 大坪毅人. G-

- CSF 産生食道扁平上皮癌に対して手術加療を行なった 1 例. 第 74 回日本食道学会学術集会, 2020.
- 62) ◎松下恒久, 鶴田純久, 高橋啓, 宮原利行, 角泰廣, 佐治攻, 榎本武治, 民上真也, 中野浩, 大坪毅人. 胸腔鏡下食道切除した胸部大動脈食道瘻の 1 例. 第 74 回日本食道学会学術集会, 2020.
- 63) ◎佐治攻, 民上真也, 田中圭一, 榎本武治, 松下恒久, 久恒靖人, 菊地悠輔, 國場幸均, 大坪毅人. Upside down stomach を呈した食道裂孔ヘルニアに対して腹腔鏡下修復術を施行した 1 例. 第 74 回日本食道学会学術集会, 2020.
- 64) ◎浜辺太郎, 牧角良二, 増田哲之, 梅澤早織, 塚本芳嗣, 福岡麻子, 朝野隆之, 大坪毅人. 成人腸重積症に対する手術症例の検討. 第 75 回日本消化器外科学会総会, 2020.
- 65) ◎民上真也, 榎本武治, 嶋田仁, 亀井奈津子, 梅澤早織, 増田哲之, 天野優希, 勝又健太, 大坪毅人. 当院における Linear stapler を用いた頸部食道胃管吻合法の工夫と成績. 第 75 回日本消化器外科学会総会, 2020.
- 66) ◎榎本武治, 民上真也, 増田哲之, 勝又健太, 亀井奈津子, 嶋田仁, 大坪毅人. 審査腹腔鏡を行い CY1P0 と診断された胃癌症例の検討. 第 75 回日本消化器外科学会総会, 2020.
- 67) ◎勝又健太, 民上真也, 増田哲之, 亀井奈津子, 嶋田仁, 榎本武治, 大坪毅人. 前立腺癌に対してホルモン療法中に発見された CA19-9 産生胃癌の 1 例. 第 75 回日本消化器外科学会総会, 2020.
- 68) ◎牧角良二, 福岡麻子, 朝野隆之, 浜辺太郎, 塚本芳嗣, 四万村司, 國場幸均, 古畑智久, 宮島伸宜, 大坪毅人. 当院における閉塞性大腸癌に対する治療. 第 75 回日本消化器外科学会総会, 2020.
- 69) ◎四万村司, 佐々木大祐, 丹波和也, 石井将光, 牧角良二, 朝倉武士, 古畑智久, 國場幸均, 宮島伸宜, 大坪毅人. 閉塞性大腸癌に対して大腸ステント(SEMS)留置後の手術症例の検討. 第 75 回日本消化器外科学会総会, 2020.
- 70) ◎小泉哲, 大坪毅人, 小林慎二郎, 片山真史, 土橋篤仁, 小倉佑太, 樋渡正樹. 限界肝切除の際に術中門脈測定は術後肝不全を予測しうる. 第 75 回日本消化器外科学会総会, 2020.
- 71) ◎樋渡正樹, 小林慎二郎, 小倉佑太, 土橋篤仁, 片山真史, 小泉哲, 大坪毅人. 当院における高齢者に対する急性胆嚢炎手術成績の検討. 第 75 回日本消化器外科学会総会, 2020.
- 72) ◎小倉佑太, 小林慎二郎, 樋渡正樹, 土橋篤仁, 片山真史, 小泉哲, 大坪毅人. 高齢者における膵頭十二指腸切除術のリスクを予測するスコア(Physical aging score)と骨格筋指数の関係. 第 75 回日本消化器外科学会総会, 2020.
- 73) ◎土橋篤仁, 小林慎二郎, 小倉佑太, 樋渡正樹, 片山真史, 小泉哲, 大坪毅人. 膵頭十二指腸切除術における術後合併症と血清 CRP 値に関する検討. 第 75 回日本消化器外科学会総会, 2020.
- 74) ◎瀬上航平, 小林慎二郎, 樋渡正樹, 小倉佑太, 土橋篤仁, 片山真史, 長宗我部基弘, 小池淳樹, 小泉哲, 大坪毅人. 十二指腸原発組織球肉腫の 1 例. 第 75 回日本消化器外科学会総会, 2020.
- 75) ◎久恒靖人, 國場幸均, 勝又健太, 桃原侑利, 菊地悠輔, 平良済, 根岸宏行, 大島隆一, 田中圭一, 相田芳夫, 大坪毅人. 下部消化管に発生した Schwannoma に対して腹腔鏡下手術を施行した 2 例. 第 45 回日本外科連合学会学術集会, 2020.
- 76) ◎野田顕義, 古畑智久, 臼井創大, 小野龍宣, 佐々木貴浩, 宮島伸宜, 小泉宏隆, 大坪毅人. 好酸球性胆嚢炎の 1 例. 第 45 回日本外科連合学会学術集会, 2020.
- 77) ◎土橋篤仁, 小林慎二郎, 小倉佑太, 片山真史, 小泉哲, 土居正和, 高木正之, 小池淳樹, 大坪毅人. 膵体尾部欠損を伴う膵胆管合流異常症の術後 12 年で発症した膵頭部癌の 1 例. 第 51 回日本膵臓学

会大会, 2021.

- 78) ◎小倉佑太, 小林慎二郎, 井田圭亮, 土橋篤仁, 小泉哲, 小池淳樹, 大坪毅人. 膜鈎部後面に発生した Paraganglioma の 1 例. 第 51 回日本膜臓学会大会, 2021.
- 79) ◎梅澤早織, 小林慎二郎, 井田圭亮, 小倉佑太, 土橋篤仁, 片山真史, 小泉哲, 大坪毅人. 膜頭十二指腸切除術におけるフレイル予測のための Physical Again(PA) score. 第 51 回日本膜臓学会大会, 2021.
- 80) ◎小林慎二郎, 井田圭亮, 小倉佑太, 土橋篤仁, 小泉哲, 森田亮, 路川陽介, 中原一有, 大坪毅人. 尾側膜切除術における膜切離部位と厚みに応じた定型手技. 第 51 回日本膜臓学会大会, 2021.
- 81) ◎西村正成, 古畑智久, 佐々木貴浩, 野田顕義, 小野龍宣, 牧角良二, 四万村司, 大島隆一, 福岡麻子, 根岸宏行, 佐々木大祐, 朝倉武士, 國場幸均, 宮島伸宜, 大坪毅人. 術前側方リンパ節転移陰性直腸癌における側方郭清非施行症例の治療成績. 第 94 回大腸癌研究会, 2021.
- 82) ◎佐々木貴浩, 古畑智久, 西村正成, 小野龍宣, 野田顕義, 宮島伸宜, 小泉宏隆, 大坪毅人. ESD 後に手術を施行した複合型胃腺神経内分泌癌の 1 例. 第 17 回日本消化管学会総会学術集会, 2021.
- 83) ◎民上真也. 食道癌に対するからだにやさしい低侵襲手術～胸腔鏡・腹腔鏡による手術とチーム医療による周術期管理～. 第 11・12 回地域医療連携 WEB セミナー, 2021.
- 84) ◎西村正成, 古畑智久, 佐々木貴浩, 野田顕義, 小野龍宣, 宮島伸宜, 大坪毅人. 回腸人工肛門閉鎖術後創部に対する陰圧閉鎖療法の有用性についての検討. 第 38 回日本ストーマ・排泄リハビリテーション学会総会, 2021.
- 85) ◎増田哲之, 大坪莞爾, 酒井寛貴, 木村祐之, 宮澤知行, 丸島秀樹, 小島宏司, 成木佐瑛子, 小池淳樹, 佐治久. 組織型が異なる異時性多発肺癌の 1 症例. 第 189 回日本肺癌学会関東支部学術集会, 2021.
- 86) ◎榎本武治, 民上真也, 津田享志, 高城伸平, 樋渡正樹, 亀井奈津子, 嶋田仁, 長曾我部基弘, 大坪毅人. Stage4 胃癌に対して S-1+CDDP 療法にて pCR を得た 1 例. 第 93 回日本胃癌学会総会, 2021.
- 87) ◎牧角良二, 福岡麻子, 浜辺太郎, 樋渡正樹, 有福厚孝, 大島隆一, 朝野隆之, 四万村司, 古畑智久, 國場幸均, 宮島伸宜, 大坪毅人. 右側結腸癌に対する腹腔鏡下結腸切除術の手術手技. 第 33 回日本内視鏡外科学会総会, 2021.
- 88) ◎高城伸平, 榎本武治, 民上真也, 樋渡正樹, 勝又健太, 亀井奈津子, 嶋田仁, 大坪毅人. 無症候性空腸動静脈奇形の 1 手術例. 第 33 回日本内視鏡外科学会総会, 2021.
- 89) ◎古畑智久, 牧角良二, 四万村司, 大島隆一, 佐々木貴浩, 野田顕義, 小野龍宣, 西村正成, 福岡麻子, 佐々木大祐, 根岸宏行, 朝倉武士, 國場幸均, 宮島伸宜, 大坪毅人. 直腸癌に対する側方郭清. 第 33 回日本内視鏡外科学会総会, 2021.
- 90) ◎西村正成, 古畑智久, 小野龍宣, 野田顕義, 佐々木貴浩, 宮島伸宜, 大坪毅人. 当院における、腸閉塞に対する腹腔鏡手術の有用性と安全性. 第 57 回日本腹部救急医学会総会, 2021.
- 91) ◎久恒靖人, 勝又健太, 根岸宏行, 大島隆一, 國場幸均, 大坪毅人. 下部消化管穿孔術後の表層 SSI 予防としての煙突型ドレーン(皮下ペンローズドレーン)留置は有用である. 第 57 回日本腹部救急医学会総会, 2021.
- 92) ◎臼井創大, 土橋篤仁, 井田圭亮, 小林慎二郎, 小泉哲, 大坪毅人. 麻酔導入後 PEA となり CPR 施行後開腹手術施行し救命できた非閉塞性腸管虚血の 1 例. 第 57 回日本腹部救急医学会総会, 2021.

- 93) ◎有福厚孝, 浜辺太郎, 加藤宗次郎, 福岡麻子, 朝野隆之, 牧角良二, 大坪毅人. 単孔式腹腔鏡手術を行った S 状結腸間膜窩ヘルニアの 1 例. 第 57 回日本腹部救急医学会総会, 2021.
- 94) ◎井田圭亮, 小林慎二郎, 天野優希, 臼井創大, 鈴木卓也, 土橋篤仁, 小泉哲, 大坪毅人. 敗血症および急性胃壊死を来した腓仮性嚢胞感染に対して二期的消化管再建を施行した 1 例. 第 57 回日本腹部救急医学会総会, 2021.
- 95) ◎込田みどり, 小川普久, 和田慎司, 森本毅, 加藤宗次郎, 福岡麻子, 三村秀文. 急性 B 型大動脈瘤解離に伴う SMA malperfusion に対し、血管内治療にて腸管壊死を回避できた 1 例. 第 57 回日本腹部救急医学会総会, 2021.
- 96) ◎根岸宏行, 大島隆一, 勝又健太, 桃原侑利, 菊地悠輔, 久恒靖人, 平良済, 田中圭一, 國場幸均, 大坪毅人. 大腸ステント挿入後に腹腔鏡下大腸切除術を施行した閉塞性大腸癌症例の検討. 第 33 回日本内視鏡外科学会総会, 2021.
- 97) ◎齋藤修治, 赤木智徳, 片山宏, 水澤純基, 猪股雅史, 山本聖一郎, 伊藤雅昭, 絹笠祐介, 惠木浩之, 宗像康博, 國場幸均, 中嶋健太郎, 志田大, 金光幸秀, 北野正剛. 進行大腸癌に対する腹腔鏡下手術と開腹手術の RCT における腹腔鏡下手術適応に注意を要する因子の固定. 第 33 回日本内視鏡外科学会総会, 2021.
- 98) ◎下澤信彦, 石上智嗣, 大坪毅人. 当院の COVID-19 対応災害対策本部. 第 26 回日本災害医学会総会・学術集会, 2021.
- 99) ◎伊藤薫, 片山真史, 小泉哲, 小林慎二郎, 土橋篤仁, 小倉佑太, 川口皓平, 長宗我部基弘, 小池淳, 大坪毅人. 稀な転移再発形式を呈した肝内胆管癌の一例. 聖マリアンナ医科大学医学会第 79 回学術集会, 2021.
- 100) ◎太田明雄, 大森慎太郎, 西村正成, 小野龍宣, 野田顕義, 佐々木貴浩, 古畑智久, 宮島伸宜, 佐々木章, 曾根正勝. 腹腔鏡下スリーブ状胃切除術における食事負荷試験によるインクレチン動態の検討. 第 38 回肥満症治療学会学術集会, 2021.
- 101) 宮川天志, 大島隆一, 相田芳夫, 山田隆之. 肝炎症性偽腫瘍と肝膿瘍を異時性に来し、S 状結腸慢性炎症が由来と考えられた 1 例. 第 457 回日本医学放射線学会関東地方会定期大会, 2021.
- 102) 古城香菜子, 森本毅, 大出創, 福岡麻子, 三村秀文. 胃全摘後の Roux-en-Y 吻合部に発生した逆行性腸重積の 1 例. 第 457 回日本放射線学関東地方会定期大会, 2021.
- 103) ◎Kobayashi Shinjiro, Hiwatari Masaki, Ogura Yuta, Tsuchihashi Atsuhito, Katayama masafumi, Koizumi Satoshi, Otsubo Takehito. COMPAS anastomosis and ERAS minimizing pancreatic fistula after pancreatoduodenectomy. The 75th General Meeting of the Japanese society of Gastroenterological Surgery, 2020.
- 104) ◎Tsuchihashi Atsuhito, Kobayashi Shinjiro, Katayama Masafumi, Koizumi Satoshi, Otsubo Takehito. Vertical Array Reconstruction(VAR) Technique for Prevention of Delayed Gastric Emptying During Pylorus-preserving Pancreatoduodenectomy. The 32nd Meeting of Japanese Society of Hepato-Biliary-Pancreatic Surgery, 2021.

② 国際学会

- 1) ◎Tsukamoto Yoshitsugu, Makizumi Ryouji, Ogura Yuta, Otsubo Takehito. CT-DETERMINED

AREA OF THE PELVIS OCCUPIED BY AN UPPER RECTAL TUMOR AS A PREDICTOR OF SURGICAL DIFFICULTY IN PATIENTS UNDERGOING LAPAROSCOPIC RECTAL RESECTION. The American Society of Colon and Rectal Surgeons, 2020.

- 2) ©Takahari Daisuke, Takashima Atsuto, Nakajima Takako, Ohashi Manabu, Mikami Shinya, Ishizuka Naoki. Feasibility of TAS-118+oxsliplation as perioperaive chemotherapy for gastric cancer. 92nd Annual Meeting of the Japanese Gastric Cancer Association, 2020.
- 3) ©Sasaki Takahiro, Furuhata Tomohisa, Nishimura Masashige, Ono Tatsunori, Noda Akiyoshi, Koizumi Hiroataka, Miyajima Nobuyoshi, and Otubo Takehito. An extremely rare case of neuromuscular and vascular hamartoma of the appendix. The 30th Biennial Congtess of ISUCRS 2020, 2020.
- 4) ©Takahari Daisuke, Ohashi Manabe, Takashima Atsuo, Mizukami Takuro, Ishizuka Naoki, Katai Hitoshi, Mikami Shinya, Wakatsuki Takeru, Chin Keisho, Ida Satoshi, Kumagai Koshi, Nunobe Souya, Iwasa Satoru, Ito Miki, Wada Takeyuki, Yamagata Yikinori, Ogura Takashi, Sano Takeshi, Boku Narikazu, Yamaguchi kensei. Feasibility study of TAS-118 plus oxaliplation as perioperative chemotherapy for patients with advanced gastric cancer(APOLLO-11). ASCO GI 2021, 2021.
- 5) ©Imamura Yu, Chin Keisho, Tsushima Takahito, Tsubosa Yasuhiro, Hara hiroki, Fukuda Takashi, Nomura Motoo, Tsunoda Shigeru, Ogata Takashi, Hayashi Tsutomu, Nabeya Yoshihiro, Minashi Keiko, Kuramochi Hidekazu, Hamano Mie, Doi Ayako, Mikami Shinya, Mine Shinji, Isizuka Naoki, Ichimura Takashi. Phase II study of systemic chemotherapy with S-1 plus oxaliplation followed by surgery in patients with cT3-T4a and/or node-positive advanced adenocarcinoma of the esophagogastric junction;Primary endpoint results of the ESOX trial. ASCO GI 2021, 2021.
- 6) ©Ogura Yuta, Kobayashi Shinjiro, Tsuchihashi Atsuhito, Katayama Masafumi, Koizumi Satoshi, Akira Endo, Otsubo Takehito. A Case of Gallbladder Tis Cancer that was not diagnosed until cholecystectomy. The 32nd Meeting of Japanese Socicty of Hepato-Biliary-Pancreatic Surgery, 2021.
- 7) ©Kobayashi Shinjiro, Ogura Yuta, Tsuchihashi Atsuhito, Katayama Masafumi, Koizumi Satoshi, Otsubo Takehito.
Significance of #8,#12,and #14lymph node metastases during pancreatoduodenctomy for pancreatic head adenocarcinoma. The 32nd Meeting of Japanese Socicty of Hepato-Biliary-Pancreatic Surgery, 2021.
- 8) ©Hiwatari Masaki, Kobayashi Shinjiro, Ogura Yuta, Tsuchihashi Atsuhito, Katayama Masafumi, Koizumi Satoshi, Otsubo Takehito. INVESTIGATION OF SURGICAL OUTCOMES FOR ACUTE CHOLECYSTITIS IN ELDERLY HOSPITALIZED PATIENTS. The 32nd Meeting of Japanese Society of Hepato-Biliary-Pancratic Surgery, 2021.
- 9) ©Katamaya Masafumi, koizumi Satoshi, Kobayashi Shinjiro, Segami Kouhei, Tsuchihashi Atsuhito, Otsubo Takehito. Retrospective review of current status and risk of umbilical hernia

after laparoscopic cholecystectomy. The 32nd Meeting of Japanese Society of Hepato-Biliary-Pancreatic Surgery, 2021.

- 10) © Koizumi Satoshi, Ogura Yuta, Tsuchihashi Atsuhito, Katayama Masafumi, Kobayashi Shinjiro, Otsubo Takehito. Evaluation of Intraoperative Measurement of Portal Venous Pressure for Confirming the Safety in Planned Hepatectomy Patients with Borderline Hepatic Functional Reserve. The 32nd Meeting of Japanese Society of Hepato-Biliary-Pancreatic Surgery, 2021.
- 11) © Makizumi Ryouji, Fukuoka Asako, Hamabe Taro, Tsukamoto Yoshitsugu, Asano Takayuki, Shimamura Tsukasa, Kokuba Yukihito, Furuhata Tomohisa, Miyajima Nobuyoshi, Otsubo Takehito. Treatment outcome of colovesical fistula caused by diverticulitis. THE 33RD ANNUAL MEETING OF JAPAN SOCIETY FOR ENDOSCOPIC SURGERY, 2021.
- 12) © Hisatsune Yasuhito, Oshima Ryuichi, Tobaru Yuuri, Taira Itsuki, Negishi Hiroyuki, Tanaka Keiichi, Kokuba Yukihito, Otsubo Takehito. A case of duplication of ileum in an adult resected by laparoscopic-assisted surgery. THE 33RD ANNUAL MEETING OF THE JAPAN SOCIETY FOR ENDOSCOPIC SURGERY, 2021.
- 13) © Fukuoka Asako, Umezawa Saori, Tsukamoto Yoshitsugu, Hamabe Taro, Asano Takayuki, Makizumi Ryouji, Otsubo Takehito. Surgical outcome of laparoscopic Wells rectopexy for rectal prolapse in our hospital. THE 33RD ANNUAL MEETING OF THE JAPAN SOCIETY FOR ENDOSCOPIC SURGERY, 2021.
- 14) © Sasaki Takahiro, Furuhata Tomohisa, Usui Souta, Ono Tatsunori, Noda Akiyoshi, Mikami Shinya, Miyajima Nobuyoshi, Otsubo Takehito. Augmented recatangle technique (ART) anastomosis for total laparoscopic distal gastrectomy. THE 33RD ANNUAL MEETING OF THE JAPAN SOCIETY FOR ENDOSCOPIC SURGERY, 2021.
- 15) © Negishi Hiroyuki, Oshima Ryuichi, Katsumata Kenta, Tobaru Yuuri, Kikuchi Yusuke, Hisatsune Yasuhito, Taira Itsuki, Tanaka Keiichi, Kokuba Yukihito, Otsubo Takehito. Laparoscopic colorectal surgery after self-expandable metallic stent for obstructive colon cancer. THE 33RD ANNUAL MEETING OF THE JAPAN SOCIETY FOR ENDOSCOPIC SURGERY, 2021.
- 16) © Oshima Ryuichi, Kokuba Yukihito, Katsumata Kenta, Yuuri Tobaru, Taira Itsuki, Negishi Hiroyuki, Tanaka Keiichi, Otsubo Takehito. Usefulness of Small Laparotomy in Upper Abdomen Preceding Laparoscopic Right Hemicolectomy. THE 33RD ANNUAL MEETING OF THE JAPAN SOCIETY FOR ENDOSCOPIC SURGERY, 2021.

		和文	英文
著 書		2	
論 文	原著	5	10
	解説又は総説	2	
	症例報告	8	2
	その他		
学会発表	国内学会	102	2
	国際学会		16
	その他		

外科学(心臓血管外科)

著書

- 1) 宮入剛. III.大動脈弁置換術
10.送血管抜去後の出血がなかなか止まらない 心臓血管外科
エキスパートが分析する”術中危機的状況” III大動脈弁置換術 2020::106-107.
- 2) 宮入剛. III大動脈弁置換術
1.大動脈切開部が右冠動脈に近過ぎた 心臓血管外科
エキスパートが分析する”術中危機的状況” III大動脈弁置換術 2020::86-87.
- 3) 西巻博. 大動脈瘤(胸部・腹部)今日の治療指針 2021 2021::446-448.

学術論文[和文]

① 原著

- 1) 千葉清, 西巻博, 小川普久, 北翔太, 鈴木寛俊, 桜井祐加, 縄田寛, 近田正英, 宮入剛. 慢性 B 型大動脈解離に対する TEVAR 中期成績～Candy-Plug 法の当科の成績を含めて～. 血管外科, 2020;39(1): 36-42.

② 総説又は症例解説

- 1) 千葉清, 西巻博, 小川普久. 10 地領の幅を広げる技術 4 upside-down technique. ステントグラフト内挿術マニュアル(腹部編), 2020::299-305.

③ 症例報告

- 1) 嵯峨根正展, 杵渕聡志, 盧大潤, 谷川和好, 古川浩, 小林俊也. 心不全と失神発作を繰り返す高安動脈炎に対して右外腸骨一両側腋窩動脈バイパス術を施行した一例. 脈管学, 2020;60(3):53-56.

学術論文[英文]

① 原著

- 1) Hirasawa Kensuke, Izumo Masaki, Umemoto Tomoyuki, Suzuki Kengo, Kitanaka Yosuke, Oi Keiji, Mizuno Tomohiro, Harada Tomoo, Ashikaga Takashi, Miyairi Takeshi, Arai Hirokuni, Hirao Kenzo, Akashi Yoshihiro J. Geometry of tricuspid valve apparatus in patients with mitral regurgitation due to fibroelastic deficiency versus barlow disease: A real-time three-dimensional transesophageal echocardiography study. Journal of the American Society of Echocardiography, 2020;33(9):1095-1105.
- 2) Okuyama Kazuaki, Izumo Masaki, Ochiai Tomoki, Kuwata Shingo, Kaihara Toshiki, Koga Masashi, Kamijima Ryo, Ishibashi Yuki, Tanabe Yasuhiro, Higuma Takumi, Makkar Raj, Miyairi Takeshi, Akashi Yoshihiro J. New-generation transcatheter aortic valves in patients with small aortic annuli - comparison of balloon- and self-expandable valves in Asian patients. Circulation Journal, 2020;84(11):2015-2022.

② 症例報告

- 1) Chiba Kiyohi, Ogawa Yukihiisa, Murakami Kenji, KIta Shota, Suzuki Hirotooshi, Komagamine

Masahide, Nawata Kan, Chikada Masahide, Nishimaki Hiroshi, Miyairi Takeshi. Emergent Transcatheter Arterial Embolization via a Transspopliteal Approach for Internal Iliac Artery Injury during Lumbar Disk Surgery in the Prone Position. *Annals of Vascular Diseases*, 2020;13(4):441-443.

- 2) Warisawa Takayuki, Kotoku Akiyuki, Miyauchi Ryosuke, Kobayashi Toshiya, Yamada Takayuki, Matsuda Hisao, Akashi Yoshihiro J. Pulmonary artery occlusion due to abrupt pinhole rupture of aortic arch aneurysm. *JACC Cardiovascular Interventions*, 2021;14(2): e15-e16.
- 3) Hiromitsu Hiruma, Yukihisa Ogawa, Kiyoshi Chiba, Takaaki Maruhashi, Akiyuki Kotoku, Hidefumi Mimura, Takeshi Miyairi, MD, and Hiroshi Nishimaki. A Successful Endovascular Technique for Complete False Lumen Thrombosis in Chronic Abdominal Aortic Dissection. *Annals of Vascular Diseases*, 2021;14(1):75-78.

学会発表

① 国内学会

- 1) ◎近田正英, 宮入剛, 西巻博, 縄田寛, 千葉清, 永田徳一郎, 駒ヶ嶺正英, 向後美沙, 桜井祐加, 鈴木寛俊, 北翔太. 小児期に腹部大動脈縮窄および大動脈瘤で手術を施行し、14年後再手術を施行した1例. 第48回日本血管外科学会学術総会, 2020.
- 2) ◎千葉清, 西巻博, 小川普久, 北翔太, 鈴木寛俊, 向後美沙, 駒ヶ嶺正英, 縄田寛, 近田正英, 宮入剛. 解離性大動脈瘤における Candy-plug を併用した TEVAR 中期成績. 第26回日本血管内治療学会総会, 2020.
- 3) ◎小川普久, 西巻博, 千葉清, 丸橋孝昭, 小徳暁生, 三村秀文, 宮入剛. EVAR 前内腸骨動脈塞栓における preloading in plug 法の臨床的有用性. web 開催, 2020.
- 4) ◎小川普久, 西巻博, 千葉清, 丸橋孝昭, 小徳暁生, 駒ヶ嶺正英, 三村秀文, 宮入剛. 当院における腹部ステントグラフト内挿術の中期成績. 第26回日本血管内治療学会総会, 2020.
- 5) ◎近田正英, 宮入剛, 西巻博, 縄田寛, 千葉清, 永田徳一郎, 駒ヶ嶺正英, 向後美沙, 桜井祐加, 鈴木寛俊, 北翔太. 60歳以上の高齢者成人先天性心疾患未治療例への手術介入の検討. 第50回日本心臓血管外科学会総会, 2020.
- 6) ◎水越慶, 中山由衣, 笠原みづほ, 鈴木規雄, 割澤高行, 奥山和明, 盧大潤, 小林俊也, 松田央郎, 水野幸一. 経胸壁及び経食道心エコー図検査による評価が有用であった大動脈一尖弁の2例. 日本心エコー図学会第31回学術集会, 2020.
- 7) ◎近田正英, 宮入剛, 西巻博, 縄田寛, 千葉清, 永田徳一郎, 駒ヶ嶺正英, 向後美沙, 桜井祐加, 鈴木寛俊, 北翔太. 急性肺血栓塞栓症の小児の1例. 第40回日本静脈学会総会, 2020.
- 8) ◎小川普久, 西巻博, 千葉清, 小徳暁生, 丸橋孝昭, 八木橋国博, 三村秀文, 宮入剛. EVAR 後潜在性エンドリークに対する overhaul concept の臨床的有用性の検証. 第61回日本脈管学会総会, 2020.
- 9) ◎千葉清, 北翔太, 鈴木寛俊, 桜井祐加, 駒ヶ嶺正英, 向後美沙, 永田徳一郎, 縄田寛, 近田正英, 西巻博, 宮入剛. TAVI(Sapient3)後に発症した急性大動脈解離に対する治療経験. 第61回日本脈管学会総会, 2020.
- 10) ◎西巻博. 合併症を有する Stanford B 型急性大動脈解離に対する TEVAR. 第11回脈管専門医教

育セクション, 2020.

- 11) ◎北翔太. catheter ablation 後の食道左房瘻. 第 73 回日本胸部外科学会, 2020.
 - 12) ◎鈴木寛俊, 北翔太, 駒ヶ嶺正英, 永田徳一郎, 向後美沙, 縄田寛, 近田正英, 西巻博, 宮入剛. 脳梗塞を合併した感染症心内膜炎患者における早期および待機的手術の成績の検討. 第 73 回日本胸部外科学会, 2020.
 - 13) ◎岡本翔, 小松沙貴, 松井俊樹, 栗原健, 山口克司 三橋祥二, 小林俊也, 永納和子. 体外循環中における鼻翼微小循環血流量測定の有効性の検討. 第 58 回日本人工臓器学会大会, 2020.
 - 14) 北翔太, 近田正英, 宮入剛, 麻生健太郎, 水野将徳, 桜井研三, 中野茉莉恵. 2 心室修復術前の肺動脈絞扼術後の NO 吸入療法の検討. 第 56 回日本小児循環器学会総会, 2020.
 - 15) 近田正英, 宮入剛, 北翔, 麻生健太郎, 水野将徳, 桜井研三, 中野茉莉恵. 小児の静脈血栓症 2 例の治療経験. 第 56 回日本小児循環器学会総会, 2020.
 - 16) ◎丸橋孝昭, 櫻見文枝, 朔啓太, 西川拓也, 栗原祐太郎, 大井真理奈, 古藤理佳, 田村智, 西巻博, 浅利靖. 骨盤外傷における REBOA の有効性を多面的に評価する. 第 34 回日本外傷学会総会, 2020.
 - 17) ◎駒ヶ嶺正英, 縄田寛, 北翔太, 千葉清, 鈴木寛俊, 向後美沙, 近田正英, 西巻博, 宮入剛. MitraClip®の片側把持による残存 MR に対して外科的に僧帽弁置換術を施行した高齢の心臓弁膜症症例. 第 38 回川崎市医師会医学会, 2021.
 - 18) ◎縄田寛, 一原直昭, 五十棲麗, 千葉清, 永田徳一郎, 向後美沙, 駒ヶ嶺正英, 鈴木寛俊, 北翔太, 近田正英, 西巻博, 宮入剛, 小野稔, 隈丸拓, 宮田裕章. JCVSD を用いたマルファン症候群に対する心臓大血管手術の解析. 第 51 回日本心臓血管外科学会学術総会, 2021.
 - 19) ◎鈴木寛俊, 千葉清, 北翔太, 駒ヶ嶺正英, 向後美沙, 縄田寛, 近田正英, 西巻博, 宮入剛. TAVI (Sapien3) 後に発症した急性大動脈解離に対する治療経験. 第 185 回日本胸部外科学会関東甲信越地方会, 2021.
- ② 国際学会
- 1) ◎Kuwata Shingo, Izumo Masaki, Kamijima Ryo, Nishikawa Haruka, Sato Yukio, Kaihara Toshiki, Koga Masashi, Watanabe Mika, Okuyama Kazuaki, Sakamoto Miki, Miyairi Takeshi, Tanabe Yasuhiro, Higuma Takumi, Ishibashi Yuki, Akashi Yoshihiro. The impact of small left ventricle for transcatheter mitral valve repair. 第 84 回日本循環器学会学術集会, 2020.
- ③ その他
- 1) ◎駒ヶ嶺正英, 縄田寛, 北翔太, 千葉清, 鈴木寛俊, 向後美沙, 近田正英, 西巻博, 宮入剛. MitraClip®の片側把持による残存 MR に対して外科的に僧帽弁置換術を施行した高齢の心臓弁膜症症例. 第 38 回川崎市医師会医学会, 2021.
 - 2) ◎小川普久, 西巻博, 千葉清, 和田慎司, 森谷淳二, 橋本一樹, 三村秀文, 宮入剛. 「え、Viabahn ってこんなことが起きるの?」. 第 19 回川崎大動脈ステントグラフト研究会, 2021.

		和文	英文
著 書		3	
論 文	原著	1	2
	解説又は総説	1	
	症例報告	1	3
	その他		
学会発表	国内学会	19	
	国際学会		1
	その他	2	

外科学(呼吸器外科)

著書

- 1) 丸島秀樹, 佐治久. 心膜腔穿刺法と開窓術 呼吸器疾患最新の治療 2021-2022 2021;:115-117.

学術論文[和文]

① 原著

- 1) 宮澤知行, 酒井寛貴, 木村祐之, 丸島秀樹, 小島宏司, 佐治久. 当科における胸腺上皮性腫瘍の治療経験. 聖マリアンナ医科大学雑誌, 2020;(48):43-47.

② 総説又は症例解説

- 1) 佐治久, 丸島秀樹, 宮澤知行, 木村祐之, 酒井寛貴, 小島宏司. 高齢者肺癌の外科治療. 肺癌, 2020;60(4):298-304.

③ 症例報告

- 1) 加藤宗次郎, 宮澤知行, 酒井寛貴, 木村祐之, 丸島秀樹, 小島宏司, 佐治久, 土居正知, 小池淳樹, 高木正之. 同時性多発肺腺癌における PD-L1 発現の検討. 肺癌, 2020;60(2):135-136.

学術論文[英文]

① 原著

- 1) Hattori Aritoshi, Suzuki Kenji, Takamochi Kazuya, Wakabayashi Masashi, Aokage Keiju, Saji Hisashi, Watanabe Shun-ichi. Prognostic impact of a ground-glass opacity component in clinical stage IA non-small cell lung cancer. *The Journal of Thoracic and Cardiovascular Surgery*, 2020;161(4):1469-1480.
- 2) Tanaka Kiyoo, Tsutani Yasuhiro, Wakabayashi Masashi, Mizutani Tomonori, Aokage Keiju, Miyata Yoshihiro, Kuroda Hiroaki, Saji Hisashi, Watanabe Shun-ichi, Okada Morihito. Sublobar resection versus lobectomy for patients with resectable stage I non-small cell lung cancer with idiopathic pulmonary fibrosis:a phase III study evaluating survival (JCOG1708, SURPRISE). *Japanese Journal of Clinical Oncology*, 2020;50(9):1076-1079.
- 3) Nishimura Toshihide, Nakamura Haruhiko, Yachie Ayako, Hase Takeshi, Fujii Kiyonaga, Koizumi Hiroataka, Naruki Saeko, Takagi Masayuki, Matsuoka Yukiko, Furuya Naoki, Kato Harubumi, Saji Hisashi. Disease-related cellular protein networks differentially affected under different EGFR mutations in lung adenocarcinoma. *SCIENTIFIC REPORTS*, 2020;(10):1-16.
- 4) Nishimura Toshihide, Vegvari Akos, Nakamura Haruhiko, Kato Harubumi, Saji Hisashi. Mutant Proteomics of Lung Adenocarcinomas Harboring Different EGFR Mutations. *Frontiers in Oncology*, 2020;(10):DOI-10.3389/fonc.2020.01494.
- 5) Nishimura Toshihide, Nakamura Haruhiko, Kien Thiam Tan, Fujii Kiyonaga, Koizumi Hiroataka, Naruki Saeko, Takagi Masayuki, Furuya Naoki, Kato Yasufumi, Shu-Jen Chen, Kato Harubumi, Saji Hisashi. A proteogenomic profile of early lung adenocarcinomas by protein co-expression network and genomic alteration analysis. *SCIENTIFIC REPORTS*, 2020;10(1):13604.

- 6) Furuya Naoki, Matsumoto Shingo, Kakinuma Kazutaka, Morikawa Kei, Inoue Takeo, Saji Hisashi, Goto Koichi, Mineshita Masamichi. Suitability of transbronchial brushing cytology specimens for next-generation sequencing in peripheral lung cancer. *Cancer science*, 2021;112(1):380-387.
- 7) Yamada Kimito, Nishimura Toshihide, Wakiya Midori, Satoh Eiichi, Fukuda Tetsuya, Amaya Keigo, Bando Yasuhiko, Hirano Hiroshi, Ishikawa Takashi. Protein co-expression networks identified from HOTAIR lesions of ER+HER2-Ki-67high luminal breast carcinomas. *SCIENTIFIC REPORTS*, 2021;:DOI-10.1038/s41598-021-81509-9.
- ② 総説又は症例解説
- 1) Yoneyama Remi, Saji Hisashi, Takeuchi Susumu, Ikeda Norihiko. Lung cancer and obstructive lung disease in never smokers. *Journal of Thoracic Disease*, 2020;12(8):3934-3939.
- 2) Shimizu Hideyuki, Okada Morihito, Toh Yasushi, Doki Yuichiro, Endo Shunsuke, Fukuda Hirotetsugu, Hirata Yasutaka, Iwata Hisashi, Kobayashi Junjiro, Kumamaru Hiraku, Miyata Hiroaki, Motomura Noboru, Natsugoe Shoji, Ozawa Soji, Saiki Yoshikatsu, Saito Aya, Saji Hisashi, Sato Yukio, Taketani Tsuyoshi, Tanemoto Kazuo, Tangoku Akira, Tatsuishi Wataru, Tsukihara Hiroyuki, Watanabe Masayuki, Yamamoto Hiroyuki, Minatoya Kenji, Yokoi kohei, Okita Yutaka, Tsuchida Masanori, Sawa Yoshiki. Thoracic and cardiovascular surgeries in Japan during 2018:Annual report by the Japanese Association for Thoracic Surgery. *General Thoracic and Cardiovascular Surgery*, 2020;(69):179-212.
- ③ 症例報告
- 1) Furuya Naoki, Kojima Koji, Marushima Hideki, Kakinuma Kazutaka, Tsunoda Akihito, Koda Eriko, Tsuruoka Hajime, Nishida Kohei, Inoue Takeo, Saji Hisashi, Mineshita Masamichi. Successful treatment with nivolumab in a patient with lung adenocarcinoma complicated by pulmonary aspergilloma. *Thoracic Cancer*, 2020;Nov11(11) : 3391-3395.

学会発表

- ① 国内学会
- 1) ◎森川慶, 木田博隆, 半田寛, 甲田英里子, 角田哲人, 鶴岡一, 大山バク, 松澤慎, 大谷真理子, 古屋直樹, 西根広樹, 井上健男, 佐治久, 小池淳樹, 峯下昌道. 肺末梢病変に対する EBUS 併用凍結生検の有用性. 第 43 回日本呼吸器内視鏡学会学術集会, 2020.
- 2) ◎小島宏司, 丸島秀樹, 宮澤知行, 木村祐之, 酒井寛貴, 佐治久. PGA シートに犬軟骨細胞を播種して作製した気管チューブの実験的検討. 第 43 回日本呼吸器内視鏡学会学術集会, 2020.
- 3) ◎酒井寛貴, 木村祐之, 宮澤知行, 丸島秀樹, 小島宏司, 奥田紘隆, 坂本三樹, 佐治久. 先天性肺動脈欠損による肺低形成のため、代償的に拡大した健側肺の自然気胸手術の一例. 第 43 回日本呼吸器内視鏡学会学術集会, 2020.
- 4) ◎木村祐之, 小島宏司, 酒井寛貴, 宮澤知行, 丸島秀樹, 佐治久, 遠藤陽, 小池淳樹. 左肺下葉原発の Ciliated Muconodular Papillary Tumor の一切除例. 第 174 回日本呼吸器内視鏡学会関東支部会, 2020.
- 5) ◎梅澤早織, 丸島秀樹, 酒井寛貴, 木村祐之, 宮澤知行, 小島宏司, 小池淳樹, 佐治久. 上皮筋上皮癌

- に対して気管環状切除術を施行した一例. 第 174 回日本呼吸器内視鏡学会関東支部会, 2020.
- 6) ◎小島宏司, 丸島秀樹, 宮澤知行, 木村祐之, 酒井寛貴, 佐治久. PGA シートにヒト気管支軟骨細胞を播種して作製した再生気管の検討. 第 37 回日本呼吸器外科学会学術集会, 2020.
 - 7) ◎酒井寛貴, 木村祐之, 宮澤知行, 丸島秀樹, 小島宏司, 佐治久. 肺腺癌における Mini-Chromosome Maintenance2 の臨床病理学的意義. 第 37 回日本呼吸器外科学会学術集会, 2020.
 - 8) ◎佐治久, 酒井寛貴, 木村祐之, 宮澤知行, 丸島秀樹, 小島宏司. 27 歳女性の右肺尖部胸壁遺残巨大デスマイオイド腫瘍の 1 手術例. 第 37 回日本呼吸器外科学会学術集会, 2020.
 - 9) ◎丸島秀樹, 酒井寛貴, 木村祐之, 宮澤知行, 小島宏司, 小池淳樹, 佐治久. 当院における気管腫瘍切除例の臨床病理学的特徴. 第 37 回日本呼吸器外科学会学術集会, 2020.
 - 10) ◎木村祐之, 酒井寛貴, 宮澤知行, 丸島秀樹, 小島宏司, 佐治久. 治療に難渋した術後肺瘻の 3 例. 第 37 回日本呼吸器外科学会学術集会, 2020.
 - 11) ◎石倉聡, 高持一矢, 鈴木健司, 坪井正博, 仁保誠治, 小山田隼佑, 山口拓洋, 吉野一郎, 伊藤宏之, 奥村典仁, 田中文啓, 佐治久, 土田正則, 堀尾裕俊, 塩野知志, 松浦求樹, 池田徳彦, 田中俊樹, 岡田守人. PIT-1:III A 期(N2) Non-Sq NSCLC に対する個別化導入療法後の手術のランダム化第 II 相試験. 日本放射線腫瘍学会第 33 回学術大会, 2020.
 - 12) ◎宮澤知行, 岩田英明, 酒井寛貴, 木村祐之, 丸島秀樹, 小島宏司, 佐治久. 同時多発肺腺癌の組織亜型における PD-L1 発現の検討. 第 61 回日本肺癌学会学術集会, 2020.
 - 13) ◎岩田英明, 宮澤知行, 酒井寛貴, 木村祐之, 丸島秀樹, 小島宏司, 小池淳樹, 佐治久. 気管・気管支原発の上皮筋上皮癌の 2 切除例. 第 61 回日本肺癌学会学術集会, 2020.
 - 14) ◎木村祐之, 酒井寛貴, 宮澤知行, 丸島秀樹, 小島宏司, 佐治久. 周術期管理に難渋した左肺原発性巨大扁平上皮癌の 1 切除例. 第 184 回日本胸部外科学会関東甲信越地方会, 2020.
 - 15) ◎酒井寛貴, 小島宏司, 木村祐之, 宮澤知行, 丸島秀樹, 坂本三樹, 佐治久. COVID-19 疑似症例に対する下降性壊死性縦隔洞炎の緊急手術の 1 例. 第 184 回日本胸部外科学会関東甲信越地方会, 2020.
 - 16) ◎木村祐之, 丸島秀樹, 酒井寛貴, 宮澤知行, 小島宏司, 大林樹真, 有泉泰, 佐治久. 閉塞性肺炎に対し右上葉切除術を行った気管支内異物の 1 例. 第 175 回日本呼吸器内視鏡学会関東支部会, 2020.
 - 17) ◎佐治久. 周術期治療の今後を考える. Chugai Lung Cancer Surgical Colloquium 2020~Optimal strategies and breakthrough~, 2020.
 - 18) ◎丸島秀樹. 『SigniaTM スモール ダイアメター リロードを使用した肺血管処理』. 第 176 回日本呼吸器内視鏡学会関東支部会, 2021.
 - 19) ◎増田哲之, 大坪莞爾, 酒井寛貴, 木村祐之, 宮澤知行, 丸島秀樹, 小島宏司, 成木佐瑛子, 小池淳樹, 佐治久. 組織型が異なる異時性多発肺癌の 1 症例. 第 189 回日本肺癌学会関東支部学術集会, 2021.
 - 20) ◎酒井寛貴, 木村祐之, 宮澤知行, 丸島秀樹, 小島宏司, 佐治久. デスマイオイド腫瘍の術後に食道胸腔瘻を併発し難渋した一症例. 第 185 回日本胸部外科学会関東甲信越地方会, 2021.
 - 21) ◎木村祐之, 酒井寛貴, 宮澤知行, 丸島秀樹, 小島宏司, 佐治久. 術前導入療法後に Grunenwald transmanubrial osteomuscular sparing approach により切除しえた肺尖部胸壁浸潤肺癌の 1 例. 第 185 回日本胸部外科学会関東甲信越地方会, 2021.

② 国際学会

- 1) ◎佐治久. 内モンゴル自治区医師協会腫瘍外科医師分会開催祝辞. 内モンゴル自治区医師協会腫瘍外科医師分会, 2020.
- 2) ◎Kori Reiko, Ookawa Junko, Sakai Hiroki, Kimura Hiroyuki, Miyazawa Tomoyuki, Marushima Hideki, Kojima Koji, Hara Masatoshi, Saji Hisashi. Current status of a smoking cessation supportive program based on nurses' interventions:A single institutional experience. 2020 World Conference on Lung Cancer Singapore, 2021.
- 3) ◎Saji Hisashi, Marushima Hideki, Kimura Hiroyuki, Miyazawa Tomoyuki, Sakai Hiroki, Furuya Naoki, Kojima Koji, Nakamura Haruhiko. Adjuvant chemotherapy with modified Nab-paclitaxel and carboplatin for completely resected NSCLC:Survival analysis of FAST-Nab. 2020 World Conference on Lung Cancer Singapore, 2021.

③ その他

- 1) ◎佐治久. JCOG0707 付随研究 病理病期 I 期 (T1>2cm) 非小細胞肺癌完全切除例に対する術後補助化学療法の長期予後に関する観察研究. 第 25 回 JCOG 肺がん外科グループ Web コアミーティング, 2020.
- 2) ◎丸島秀樹. 私の、Stapler へのこだわり. 第 1 回神奈川オンライン呼吸器外科セミナー, 2020.
- 3) ◎佐治久. 高齢者肺癌治療の全て (外科治療を中心に). 霞肺癌セミナー, 2020.
- 4) ◎佐治久. 「新型コロナ禍における呼吸器外科医の貢献～第 1 波の経験を次に」. 第 2 回神奈川オンライン呼吸器外科セミナー, 2020.
- 5) ◎酒井寛貴. COVID-19 疑似症例に対する、呼吸器外科緊急手術の実際. 第 2 回神奈川オンライン呼吸器外科セミナー, 2020.
- 6) ◎佐治久. 患者会要望講演 5:パネルディスカッション「事前の質問にとことん答えます!」. 第 61 回日本肺癌学会学術集会, 2020.
- 7) ◎佐治久. EGFR 遺伝子変異陽性 非小細胞肺癌に対する周術期治療. Lung Cancer Web Meeting in YAMANASHI 2020, 2020.
- 8) ◎佐治久. Opening Remarks. Thoracic Oncology Expert Web Seminar in Kanagawa, 2021.
- 9) ◎佐治久. 高齢者肺癌治療の方向性 ～標準手術の侵襲性を見直す時期?～. 最新癌治療セミナー 2021, 2021.

		和文	英文
著 書		1	
論 文	原著	1	7
	解説又は総説	1	2
	症例報告	1	1
	その他		
学会発表	国内学会	21	
	国際学会	1	2
	その他	9	

外科学(小児外科)

著書

- 1) 川瀬弘一. 腹腔穿刺、腹腔ドレナージ 今日の小児治療指針 2020;(17):53-54.

学術論文[和文]

① 総説又は症例解説

- 1) 川瀬弘一, 内田正志, 渡部誠一, 廣部誠一, 内田恵一, 谷水長丸, 矢ヶ崎英晃. 36.虫垂炎 小児急性虫垂炎診療ガイドライン. 小児科, 2020;61(5):696-701.
- 2) 古田繁行, 長江秀樹, 大山慧, 田中邦英, 川口拓哉, 西谷友里, 工藤公介, 川瀬弘一, 北川博昭. 特集 小児外科領域における感染症－抗菌薬の選択と意義 Interval appendectomy. 小児外科, 2020;52(9):948-953.
- 3) 古田繁行, 菊池那美子, 田中邦英, 長江秀樹, 大山慧, 北川博昭. 特集 小児外科疾患における公費負担医療の種類と申請方法 小児外科と身体障害者手帳. 小児外科, 2021;53(3):261-264.

② 症例報告

- 1) 西谷友里, 古田繁行, 大山慧, 長江秀樹, 藤川あつ子, 小池淳樹, 北川博昭. 術前診断が可能であった卵管捻転の1女児例. 日本小児放射線学会雑誌, 2021;37(1):85-89.

学術論文[英文]

① 原著

- 1) Furuta Shigeyuki, Nagae Hideki, Ohyama Kei, Tanaka Kunihide, Kitagawa Hiroaki. The vacuum treatment for the pectus excavatum thickened subcutaneous fat of the chest wall and is effective in preteenagers. *Pediatric Surgery International*, 2020;36(12):1465-1469.
- 2) Obayashi Juma, Wakisaka Munehika, Tanaka Kunihide, Furuta Shigeyuki, Ohyama Kei, Kitagawa Hiroaki. Risk factors influencing ascending testis after laparoscopic percutaneous extraperitoneal closure for pediatric inguinal hernia. *Pediatric Surgery International*, 2021;37(2):293-297.
- 3) Ohyama Kei, Furuta Shigeyuki, Shima Hideki, Tsuji Shiho, Nagae Hideki, Tanaka Kunihide, Obayashi Juma, Kawaguchi Kouhei, Kawaguchi Takuya, Nishiya Yuri, Kudo Kousuke, Kawase Hirokazu, Wakisaka Munehika, Kitagawa Hiroaki.
Differences in post-operative complications after reconstruction for congenital biliary dilatation in a single institution-Roux-en-Y hepaticojejunostomy versus hepaticoduodenostomy-. *Pediatric Surgery International*, 2021;37(2):241-245.

学会発表

① 国内学会

- 1) 古田繁行, 藤川あつ子, 岡村隆徳, 小池淳樹, 長江秀樹, 大山慧, 北川博昭. 小児虫垂炎において超音波による病理診断まで必要か?. 第56回日本小児放射線学会学術集会, 2020.

- 2) 大林樹真, 脇坂宗親, 田中邦英, 古田繁行, 大山慧, 北川博昭. 腹腔鏡下鼠径ヘルニア修復術後精巣位置異常におけるリスク因子の検討. 第 57 回日本小児外科学会学術集会, 2020.
- 3) 古田繁行, 小泉哲, 小林慎二郎, 長江秀樹, 大山慧, 西谷友里, 小倉佑太, 藤谷茂樹, 平泰彦, 北川博昭. 重傷肝損傷に対する Damage Control Surgery. 第 57 回日本小児外科学会学術集会, 2020.
- 4) 川口文夫. 地域のかかりつけ総合医としての小児外科医の開業. 第 57 回日本小児外科学会学術集会, 2020.
- 5) 川瀬弘一, 岩中督, 波多野賢二. 小児外科領域における保健・医療関連行為に関する国際分類 (ICHD). 第 57 回日本小児外科学会学術集会, 2020.
- 6) 西谷友里, Kevin C Pringle, 小池淳樹, 川口皓平, 川口拓哉, 大林樹真, 田中邦英, 大山慧, 長江秀樹, 古田繁行, 北川博昭. 穿刺型バルブ付き膀胱羊水腔シャントチューブの開発. 第 57 回日本小児外科学会学術集会, 2020.
- 7) 古田繁行, 島秀樹, 辻志穂, 長江秀樹, 大山慧, 田中邦英, 大林樹真, 脇坂宗親, 川瀬弘一, 北川博昭. 経肛門的プルスルー Soave 法によるヒルシュスプルング病根治術の治療成績～早期および長期合併症の検討～. 第 57 回日本小児外科学会学術集会, 2020.
- 8) 大山慧, 古田繁行, 島秀樹, 辻志穂, 田中邦英, 大林樹真, 川口皓平, 川口拓哉, 西谷友里, 工藤公介, 川瀬弘一, 脇坂宗親, 北川博昭. 当院における先天性胆道拡張症手術の短期および長期予後 (肝管十二指腸吻合 vs 肝管空腸吻合). 第 57 回日本小児外科学会学術集会, 2020.
- 9) 長江秀樹, 島秀樹, 古田繁行, 大山慧, 脇坂宗親, 平泰彦, 藤谷茂樹, 北川博昭. 当院における小児外傷疾患の検討. 第 57 回日本小児外科学会学術集会第, 2020.
- 10) 川口拓哉, 有戸光美, 土屋貴大, 加藤智啓, 北川博昭. 神経芽腫及び神経膠腫細胞におけるがん幹細胞性へのライリンの影響. 第 57 回日本小児外科学会学術集会, 2020.
- 11) 田中邦英, 大山慧, 古田繁行, 脇坂宗親, 北川博昭. 私の施設の研修. 第 57 回日本小児外科学会学術集会, 2020.
- 12) 大山慧, 古田繁行, 島秀樹, 大林樹真, 田中邦英, 脇坂宗親, 北川博昭. 術後食道狭窄の治療に難渋している C 型 long gap 先天性食道閉鎖の 1 例. 第 57 回日本小児外科学会学術集会, 2020.
- 13) ◎内藤純行, 土田知也, 山崎行敬, 紺野千穂, 小波本直也, 水野晴貴, 金澤実, 三上翔平, 吉田英樹, 田北無門, 森川大樹, 藤谷茂樹, 平泰彦, 大坪毅人, 北川博昭, 松田隆秀. 新型コロナウイルス感染重症例における患者・医師関係の構築および倫理的課題・自験例を通じて. 第 21 回日本病院総合診療医学会学術総会, 2020.
- 14) ◎Nagae Chia, Takeda Shizuyo, Oizumi Nana, Nagae Hideki, Hoshino Kaoru, Sano Masako, Kitagawa Hiroaki. Effectiveness of animal-assisted therapy for patients with pediatric hematological tumor refusing surgery. 第 62 回日本小児血液・がん学会, 2020.
- 15) ◎木村祐之, 丸島秀樹, 酒井寛貴, 宮澤知行, 小島宏司, 大林樹真, 有泉泰, 佐治久. 閉塞性肺炎に対し右上葉切除術を行った気管支内異物の 1 例. 第 175 回日本呼吸器内視鏡学会関東支部会, 2020.
- 16) 藤川あつ子, 大出創, 廣石篤司, 吉田繁行, 岡村隆徳. 経過で消失した新生児肺腫瘍の一例. 日本超音波医学会第 93 回学術集会, 2020.
- 17) ◎伊藤薫, 片山真史, 小泉哲, 小林慎二郎, 土橋篤仁, 小倉佑太, 川口皓平, 長宗我部基弘, 小池 淳, 大坪 毅人. 稀な転移再発形式を呈した肝内胆管癌の一例. 聖マリアンナ医科大学医学会第 79 回学

術集会, 2021.

- 18) ©Seido Takae, Yuriko Iwahata, Eriko Shiraishi, Hideyuki Iwahata, Yodo Sugishita, Yuki Horage, Shigeyuki Furuta, Tetsuya Mori, Hiroaki Kitagawa, Nao Suzuki. Variety of child cases who underwent ovarian tissue cryopreservation as fertility preservation treatment. 第 62 回日本小児血液・がん学会学術集会, 2020.

② 国際学会

- 1) Obayashi Juma, Wakisaka Munechika, Furuta Shigeyuki, Nagae Hideki, Ohyama Kei, Tanaka Kunihide, Kitagawa Hiroaki. The relationship between the jaundice free rate and morphology of the extra hepatic biliary remnant in type III biliary atresia. The 53rd Annual Meeting of the Pacific Association of Pediatric Surgeons, 2020.
- 2) Kawaguchi Takuya, Arito Mitsumi, Tsutiya Atsuhiko, Kato Tomohiro, Kitagawa Hiroaki. The effect of layilin on cancer stemness of neuroblastoma and malignant glioma. The 53rd Annual Meeting of the Pacific Association of Pediatric Surgeons, 2020.

③ その他

- 1) 古田繁行. 乳児血管腫に対するプロプラノロール塩酸塩の効果～安全な投与を目指して～. 第 3 回菅生皮膚フォーラム, 2020.
- 2) 古田繁行. 重症心身障害児に対する外科的治療とフォローアップ. 第 18 回日本小児神経学会医療的ケア研修セミナー, 2020.
- 3) 古田繁行. 気管カニューレと胃瘻チューブのトラブルシューティング. 第 1 回川崎市小児在宅医療実技講習会, 2020.
- 4) 田中邦英, 古田繁行, 大山慧, 工藤公介, 長江秀樹, 西谷友里, 小池淳樹, 北川博昭. 新生児期に胆道閉鎖症の診断に苦慮した遷延性黄疸の 2 例. 第 47 回日本胆道閉鎖症研究会, 2020.
- 5) Kawase Hirokazu, Yokobori Yukiko, Iwanaka Tadashi, Hatano Kenji, Takahashi Osahiro, Ogawa Toshio, Saito Munenori, Abe Yasuo, Watari Mika, Yanagawa Yuuko, Andou Norie. Analysis of the issue in the coding at the ICHI beta-2 2019 version field test in japan. WHO Family of international classifications network annual meeting 2020, 2020.

		和文	英文
著 書		1	
論 文	原著		3
	解説又は総説	3	
	症例報告	1	
	その他		
学会発表	国内学会	17	1
	国際学会		2
	その他	4	1

外科学(乳腺・内分泌外科)

著書

- 1) 津川浩一郎. リンパ節転移診断 乳腺腫瘍学 第3版 2020;:150-156.
- 2) 永澤慧, 関真秀, 鈴木穰. がんの理解に向けたシングルセル解析 シングルセル解析で何がわかるか 2020;:55-62.
- 3) 永澤慧, 鈴木穰. 1細胞解析—技術と応用 医学のあゆみ 2021;:940-946.

学術論文[和文]

① 原著

- 1) 田雑瑞穂, 小島康幸, 梶川明義, 津川浩一郎. 当院における化学療法後一次乳房再建術症例の検討. *Oncoplastic Breast Surgery*, 2020;5(2):30-34.
- 2) 本吉愛, 右田王介, 沼田早苗, 阿部友嘉, 津川浩一郎. 乳腺外科外来における遺伝性のがんに関する問診表を用いた HBOC リスクスコア化. *遺伝性腫瘍*, 2020;20(1):36-40.
- 3) 白英, 小島康幸, 酒巻香織, 喜多島美奈, 瀧下茉莉子, 坂本菜央, 田雑瑞穂, 中野万理, 黒田貴子, 吉江玲子, 敦賀智子, 志茂彩華, 志茂新, 本吉愛, 川本久紀, 福田護, 津川浩一郎. Triple Negative 乳癌 (TNBC)における術前化学療法効果判定の臨床的意義～予後との相関に関して. *癌と化学療法*, 2020;47(10):1449-1455.

② 総説又は症例解説

- 1) 福島光浩, 福成信博, 中野賢英, 佐々木栄司, 黄川恵慈, 坂上聡志, 西川徹, 國井葉, 相田貞継, 本間まゆみ, 亀山香織, 根本哲生. 甲状腺未分化癌. *日本乳腺甲状腺超音波医学会*, 2021;10(1):30-33.

③ 症例報告

- 1) ◎吉江玲子, 白英, 川本久紀, 福田護, 岡田幸法, 小池淳樹. 化学療法と定位放射線治療併用中に腫瘍内出血を認めた乳癌脳転移の1例. *日本臨床外科学会雑誌*, 2020;81(8):1482-1488.

④ その他

- 1) 田島信哉, 前田一郎, 土居正知, 成木佐瑛子, 遠藤陽, 長宗我部基弘, 岸本佳子, 津川浩一郎, 高木正之, 小池淳樹. 細胞外粘液産生を伴った浸潤性小葉癌の一例. *神奈川医学会雑誌*, 2020;47(2):221-221.

学術論文[英文]

① 原著

- 1) Toshinari Yamashita, Norikazu Masuda, Shigehira Saji, Kazuhiro Araki, Yoshinori Ito, Toshimi Takano, Masato Takahashi, Junji Tsurutani, Kei Koizumi, Masahiro Kitada, Yasuyuki Kojima, Yasuaki Sagara, Hiroshi Tada, Tsutomu Iwasa, Takayuki Kadoya, Tsuguo Iwatani, Hiroki Hasegawa, Satoshi Morita, Shinji Ohno. Trastuzumab, pertuzumab, and eribulin mesylate versus trastuzumab, pertuzumab, and a taxane as a first-line or second-line treatment for HER2-positive, locally advanced or metastatic breast cancer: study protocol for a randomized controlled, non-inferiority, phase III trial in Japan (JBCRG-M06/EMERALD). *Clinical trials*, 2020;21: ePub.

- 2) Makoto Ishitobi, Naoko Matsuda, Mizuho Tazo, Sayuka Nakayama, Ryu Tokui, Tomoko Ogawa, Atsushi Yoshida, Yasuyuki Kojima, Takahashi Kuwayama, Takahiro Nakayama, Hideko Yamauchi, Seigo Nakamura, Koichiro Tsugawa, Naoki Hayashi. Risk factor for ipsilateral breast tumor recurrence in Triple-negative or HER2-Positive breast cancer patients who achieve a pathologic complete response after neoadjuvant chemotherapy. *Annals of surgical oncology : the official journal of the Society of Surgical Oncology*, 2020;28(5):2545-2552.
- 3) ©Yukinori Okada, Mariko Kobayashi, Mio Shinozaki, Tatsuyuki Abe, Yoshihide Kanemaki, Naoki Nakamura, Yasuyuki Kojima. Survival time and prognostic factors after whole-brain radiotherapy of brain metastases from of breast cancer. *Acta Radiologica Open*, 2020;9(7) 1-8:1-8.
- 4) Yuka Goto, Koichiro Tsugawa, Yuko Furuya, Miwako Maezato, Yoshimi Tagami, Yuri Ogawa, Misako Saisu, Memi Yamazaki, Fuyumi Kuramochi. Behavior of Japanese women after being informed about the benefits and disadvantages of breast cancer screening: a questionnaire survey. *Breast Cancer*, 2020;27:739-747.
- 5) Kubo Makoto, Kumamaru Hiraku, Isozumi Urara, Miyashita Minoru, Nagahashi Masayuki, Kadoya Takayuki, Kojima Yasuyuki, Aogi Kenjiro, Hayashi Naoki, Tamura Kenji, Asaga Sota, Niikura Naoki, Ogo Etsuyo, Iijima Kotaro, Tanakura Kenta, Yoshida Masayuki, Miyata Hiroaki, Yamamoto Yutaka, Imoto Shigeru, Jinno Hiromitsu. Annual report of the Japanese Breast Cancer Society registry for 2016. *Breast Cancer*, 2020;27(4):511-518.
- 6) ©Yukinori Okada , Tatsuyuki Abe, Mio Shinozaki, Akiko Tanaka, Mariko Kobayashi, Hiromichi Gomi, Naoki Nakamura, Yasuyuki Kojima. Evaluation of imaging findings and prognostic factors after whole-brain radiotherapy for carcinomatous meningitis from breast cancerA retrospective analysis. *medicine*, 2020;99(31): e21333.
- 7) Naoki Hayashi, Hiraku Kumamaru, Urara Isozumi, Kenjiro Aogi, Sota Asaga, Kotaro Iijima, Takayuki Kadoya, Yasuyuki Kojima, Makoto Kubo, Minoru Miyashita, Hiroaki Miyata, Masayuki Nagahashi, Naoki Niikura, Etsuyo Ogo, Kenji Tamura, Kenta Tanakura, Yutaka Yamamoto, Masayuki Yoshida, Shigeru Imoto, Hiromitsu Jinno. Annual report of the Japanese Breast Cancer Registry for 2017. *Breast Cancer*, 2020;27(5):803-809.
- 8) Rin Ogiya, Naoki Niikura, Hiraku Kumamaru, Yoshinori Takeuchi, Takuho Okamura, Takayuki Kinoshita, Kenjiro Aogi, Keisei Anan, Kotaro Iijima, Takanori Ishida, Takayuki Iwamoto, asaaki Kawai, Yasuyuki Kojima, Takashi Sakatani, Yasuaki Sagara, Naoki Hayashi, Hideji Masuoka, Masayuki Yoshida, Hiroaki Miyata, Hitoshi Tsuda, Shigeru Imoto, Hiromitsu Jinno. Breast cancer survival among Japanese individuals and US residents of Japanese and other origins: a comparative registry-based study. *Breast cancer research and treatment*, 2020;184(5):585-596.
- 9) Naoki Hayashi, Hiroshi Yagata, Koichiro Tsugawa, Yuka Kajiura, Atsushi Yoshida, Junko Takei, Hideko Yamauchi, Seigo Nakamura. Response and Prognosis of Docetaxel and Cyclophosphamide as Neoadjuvant Chemotherapy in ER+ HER2- Breast Cancer: A Prospective Phase II Study. *Clinical breast cancer*, 2020;20(6):462-468.

- 10) Yutaka Yamamoto, Hiroyasu Yamashiro, Uhi Toh, Naoto Kondo, Rikiya Nakamura, Masahiro Kashiwaba, Masato Takahashi, Koichiro Tsugawa, Takashi Ishikawa, Takahiro Nakayama, Shoichiro Ohtani, Toshimi Takano, Tomomi Fujisawa, Tatsuya Toyama, Hidetoshi Kawaguchi, Kojiro Mashino, Yuichi Tanino, Satoshi Morita, Masakazu Toi, Shinji Ohno.

Prospective observational study of bevacizumab combined with paclitaxel as first- or second-line chemotherapy for locally advanced or metastatic breast cancer: the JBCRG-C05 (B-SHARE) study. *Breast Cancer*, 2021;28(1):145-160.

② 症例報告

- 1) Shiho Kuji, Haruhiro Kondo, Tatsuru Ohara, Imari Deura, Akiko Tozawa-Ono, Ohsuke Migita, Hisanori Kawamoto, Koichiro Tsugawa, Motohiro Chosokabe, Junki Koike, Ichiro Maeda, Nao Suzuki. Value of adjuvant chemotherapy and informed microscopic examination for occult gynecologic cancer detected upon risk-reducing salpingo-oophorectomy after chemotherapy for BRCA 1/2-associated breast cancer: a case report. *Japanese Journal of Clinical Oncology*, 2021; 51(3):492-497.

学会発表

① 国内学会

- 1) ◎森本勇樹, 井田圭亮, 酒巻香織, 天野優希, 土橋篤仁, 小林慎二郎, 小泉哲, 小池淳樹, 大坪毅人. EUS-FNA で術前診断し得た十二指腸水平脚原発 GIST の 1 例. 第 857 回外科集談会, 2020.
- 2) ◎田島信哉, 前田一郎, 夏木靖典, 遠藤陽, 成木佐瑛子, 土居正知, 長宗我部基弘, 岸本佳子, 津川浩一郎, 小池淳樹. 神経内分泌化を示す Encapsulated papillary carcinoma の一例. 第 109 回 日本病理学会総会, 2020.
- 3) ◎鈴木由妃, 杉下陽堂, 小澤南, 本吉愛, 久我麻美, 富永果林, 右田王介, 鈴木直, 津川浩一郎. 早発卵巣不全患者における染色体異常の状況. 第 44 回日本遺伝カウンセリング学会, 2020.
- 4) ◎本吉愛, 小澤南, 鈴木由妃, 杉下陽堂, 久我亜沙美, 富永果林, 右田王介, 津川浩一郎. 若年性乳癌を発症し、遺伝カウンセリングが治療の受容に有効であった Peutz-Jeghers 症候群の一例. 第 44 回日本遺伝カウンセリング学会学術大会, 2020.
- 5) ◎小澤南, 右田王介, 富永果林, 阿部友嘉, 鈴木由妃, 杉下陽堂, 本吉愛, 長谷川潤一, 鈴木直, 清水直樹, 津川浩一郎. 単一施設における NIPT の経験. 第 44 回日本遺伝カウンセリング学会学術集会, 2020.
- 6) ◎杉下陽堂, 鈴木由妃, 本吉愛, 小澤南, 久我亜沙美, 富永果林, 右田王介, 鈴木直, 津川浩一郎. トリプル X 症候群にて統合失調症および早発卵巣不全を呈した患者に対する遺伝カウンセリングの重要性. 第 44 回日本遺伝カウンセリング学会学術集会, 2020.
- 7) ◎本吉愛, 黒田貴子, 敦賀智子, 志茂新, 小島康幸, 白英, 川本久紀, 福田護, 小澤南, 鈴木由妃, 杉下陽堂, 右田王介, 富永果林, 久我亜沙美, 津川浩一郎. 治療選択目的の遺伝学的検査 (BRCAAnalysis) 導入における当院の取り組みとオラパリブ使用経験. 第 26 回日本遺伝性腫瘍学会学術集会, 2020.

- 8) 西村基, 竹島雅子, 都築麻紀子, 川真田明子, 岸田由起子, 緒方晴樹, 奥田純一. HER2 陽性乳癌に対する術前抗 HER2 療法における Pertuzumab 併用効果に関する検討. 第 28 回日本乳癌学会学術総会, 2020.
- 9) 西村基, 竹島雅子, 都築麻紀子, 緒方晴樹, 平石禎子, 奥田純一. 当センターにおける乳がん診療に早期より関わるチーム医療構築に関する検討. 第 82 回日本臨床外科学会総会, 2020.
- 10) ◎神川真由子 1, 梶川明義 1, 関征央 1, 高田女里 1, 宮野竜太郎 1, 恩田慶子 1, 友近真世 1, 沖野照仁 1, 鍋島諒大 1, 菅谷文人 1, 津川浩一郎 2
1 聖マリアンナ医科大学 形成外科, 2 聖マリアンナ医科大学 乳腺内分泌外科. ティッシュ・エキスパンダーとシリコン・ブレスト・インプラントの感染を予防するわれわれの対策
Our methods for preventing infection of tissue expanders and silicone breast implants. 第 8 回日本乳房オンコプラスチックサージャリー学会総会, 2020.
- 11) ◎白英, 小島康幸, 酒巻香織, 瀧下茉莉子, 黒田貴子, 敦賀智子, 志茂彩華, 志茂新, 本吉愛, 矢吹由香里, 川本久紀, 福田護, 津川浩一郎. Triple Negative 乳癌における術前化学療法の臨床的意義～予後との相関に関して～. 第 28 回日本乳癌学会学術総会, 2020.
- 12) ◎志茂新, 酒巻香織, 喜多島美奈, 瀧下茉莉子, 中野万理, 坂本菜央, 田雑瑞穂, 黒田貴子, 敦賀智子, 志茂彩華, 小島康幸, 本吉愛, 都築麻紀子, 川本久紀, 白英, 河原太, 津川浩一郎. ハイボリュームセンターにおけるパルボシクリブの治療成績とその後治療. 第 28 回日本乳癌学会学術総会, 2020.
- 13) ◎坂本菜央, 本吉愛, 酒巻香織, 喜多島美奈, 瀧下茉莉子, 田雑瑞穂, 中野万理, 黒田貴子, 敦賀智子, 志茂彩華, 志茂新, 小島康幸, 白英, 川本久紀, 福田護, 田島信哉, 小池淳樹, 津川浩一郎. 心筋転移をきたした乳腺扁平上皮癌の一例. 第 28 回日本乳癌学会学術総会, 2020.
- 14) ◎敦賀智子, 瀧下茉莉子, 黒田貴子, 志茂彩華, 白英, 志茂新, 本吉愛, 小島康幸, 川本久紀, 福田護, 印牧義英, 小池淳樹, 津川浩一郎. 術前化学療法における dose-dense EC 療法の治療成績. 第 28 回日本乳癌学会学術総会, 2020.
- 15) ◎黒田貴子, 酒巻香織, 喜多島美奈, 瀧下茉莉子, 坂本菜央, 田雑瑞穂, 中野万理, 敦賀智子, 志茂彩華, 川本久紀, 志茂新, 本吉愛, 白英, 小島康幸, 矢吹由香里, 福田護, 阿部達之, 岡田幸法, 小林真梨子, 津川浩一郎. 当院における高齢者乳癌患者の乳房温存術後放射線治療の現状と放射線治療省略の指標についての検討. 第 28 回日本乳癌学会学術総会, 2020.
- 16) ◎酒巻香織, 本吉愛, 喜多島美奈, 瀧下茉莉子, 坂本菜央, 田雑瑞穂, 中野万理, 黒田貴子, 敦賀智子, 志茂新, 小島康幸, 川本久紀, 津川浩一郎. 術前内分泌療法により完全奏効が得られた局所進行乳癌の一例. 第 28 回日本乳癌学会学術総会, 2020.
- 17) ◎志茂彩華, 酒巻香織, 喜多島美奈, 瀧下茉莉子, 坂本菜央, 中野万理, 田雑瑞穂, 黒田貴子, 敦賀智子, 秋山恭子, 志茂新, 小島康幸, 白英, 本吉愛, 川本久紀, 福田護, 津川浩一郎. 非造影 MRI(高解像度 DWD)は術前評価に有用か?. 第 28 回日本乳癌学会学術総会, 2020.
- 18) ◎則武睦未, 印牧義英, 川本久紀, 清水康弘, 福田護, 三村秀文, 津川浩一郎, 小池淳樹. 乳癌転移診断における全身 PET と全身 DWIBS との対比. 第 28 回日本乳癌学会学術総会, 2020.
- 19) ◎瀧下茉莉子, 志茂新, 酒巻香織, 喜多島美奈, 坂本菜央, 田雑瑞穂, 中野万理, 黒田貴子, 敦賀智子, 白英, 本吉愛, 小島康幸, 川本久紀, 長宗我部基弘, 津川浩一郎. 当院における 10 年間の葉状腫瘍の治療成績. 第 28 回日本乳癌学会学術総会, 2020.

- 20) ◎大井涼子, 敦賀智子, 土居正知, 印牧義英, 津川浩一郎. Poland 症候群に発生した原発性乳癌の 1 例. 第 28 回日本乳癌学会学術総会, 2020.
- 21) ◎小島康幸, 酒巻香織, 瀧下茉莉子, 中野万理, 田雑瑞穂, 黒田貴子, 敦賀智子, 志茂彩華, 志茂新, 本吉愛, 白英, 川本久紀, 福田護, 津川浩一郎. HER2 陽性乳癌に対する術前化学療法における pertuzumab 併用効果についての検討. 第 28 回日本乳癌学会学術総会, 2020.
- 22) ◎秋山恭子, 志茂彩華, 志茂新, 小島康幸, 本吉愛, 白英, 川本久紀, 福田護, 白石絵莉子, 杉下陽堂, 高江正道, 洞下由記, 鈴木直, 津川浩一郎. 当院における AYA 世代の乳癌患者支援への取り組み. 第 28 回日本乳癌学会学術総会, 2020.
- 23) ◎原文堅, 津川浩一郎, 岩田広治, 大谷彰一郎, 相良安昭, 戸井雅和, 西村令喜, 増田慎三, 石黒功二, 吉本拓矢, 伊藤良則. HER2 陽性早期乳癌に対する Pertuzumab 術後療法の有効性・安全性を検証した APHINITY 試験の日本人部分集団解析. 第 28 回日本乳癌学会学術総会, 2020.
- 24) ◎喜多島美奈, 津川浩一郎, 本吉愛, 志茂新, 小島康幸, 敦賀智子, 黒田貴子, 田雑瑞穂, 原万理, 瀧下茉莉子. 当院におけるアベマシクリブの治療成績の検討. 第 28 回日本乳癌学会学術総会, 2020.
- 25) ◎津川浩一郎, 印牧義英. DWIBS 法による全身 MRI 画像診断からみた乳癌転移パターンの検討. 第 28 回日本乳癌学会学術総会, 2020.
- 26) ◎石郷佳子, 古谷悠子, 後藤由香, 黒田貴子, 敦賀智子, 印牧義英. 乳房トモシンセシスによる生検時の位置精度の検討. 第 28 回日本乳癌学会学術総会, 2020.
- 27) ◎古谷悠子, 後藤由香, 津川浩一郎, 印牧義英, 福田護. 2 メーカー間の DBT 搭載マンモグラフィ装置における合成 2D マンモグラフィと FFDM の視認性の違いと線量の比較. 第 28 回日本乳癌学会学術総会, 2020.
- 28) ◎田雑瑞穂, 小島康幸, 津川浩一郎. 当院におけるエリブリン使用例の検討. 第 28 回日本乳癌学会学術総会, 2020.
- 29) ◎本吉愛, 酒巻香織, 坂本菜央, 喜多島美奈, 瀧下茉莉子, 田雑瑞穂, 中野万理, 黒田貴子, 敦賀智子, 志茂彩華, 志茂新, 小島康幸, 都築麻紀子, 河原太, 大井涼子, 矢吹由香里, 白英, 川本久紀, 福田護, 津川浩一郎. 乳癌腋窩リンパ節郭清術における新しいデバイス (HARMONIC HD1000i 20) の使用経験. 第 28 回日本乳癌学会学術総会, 2020.
- 30) ◎川本久紀, 酒巻香織, 瀧下茉莉子, 坂本菜央, 中野万理, 田雑瑞穂, 敦賀智子, 黒田貴子, 吉江玲子, 志茂彩華, 秋山恭子, 小島康幸, 志茂新, 都築麻紀子, 本吉愛, 白英, 河原太, 印牧義英, 福田護, 津川浩一郎. 限局した早期の乳癌に対する非切除超音波ガイド下凍結療法の安全性と有効性の検討. 第 28 回日本乳癌学会学術総会, 2020.
- 31) ◎中野万理, 宇田川智野, 志茂新, 小島康幸, 吉江玲子, 座波久光, 阿部典恵, 本成登貴和, 宇根底幹子, 田村研治, 下井辰徳, 吉田正行, 吉田輝彦, 坂本裕美, 加藤健, 蒔田泰誠, 津川浩一郎, 前佛均. ゲノムワイド関連解析による日本人集団における新たなトラスツズマブ心毒性マーカー遺伝子の同定. 第 28 回日本乳癌学会学術総会, 2020.
- 32) ◎本吉愛, 田雑瑞穂, 中野万理, 黒田貴子, 敦賀智子, 志茂彩華, 志茂新, 白英, 小島康幸, 川本久紀, 津川浩一郎. HER2 陰性転移性乳癌に対するエリブリン使用における ALC の予後予測因子としての役割. 第 58 回日本癌治療学会学術集会, 2020.
- 33) ◎津川浩一郎, 負門克典. HER2 陽性転移再発乳癌の薬物治療と副作用マネジメント. 第 82 回日本

臨床外科学会総会, 2020.

- 34) ◎本吉愛, 右田王介, 小澤南, 鈴木由妃, 杉下陽堂, 小島康幸, 久我亜沙美, 富永果林, 津川浩一郎. 姉妹で若年性癌を発症した Bloom 症候群の一家系. 日本人類遺伝学会第 65 回大会, 2020.
- 35) ◎高木富美子, 島田菜穂子, 小泉美都枝, 土井卓子, 栗橋登志, 福田護. 日本のピンクリボン運動の 20 年. 第 30 回日本乳癌検診学会学術総会, 2020.
- 36) ◎前里美和子, 鈴木未来, 小川優理, 小泉美都枝, 福田護. 「スマイル マンマ マリアンナ」による Breast awareness 啓発活動の取り組み. 第 30 回日本乳癌検診学会学術総会, 2020.
- 37) ◎佐藤菜摘美, 中川朋子, 清水紗智, 中村祐太, 村上万里子, 右田王介, 本吉愛, 石井聡, 永井義夫, 曾根正勝. 糖尿病, 低身長および若年で多発する家族性腫瘍より Bloom 症候群と診断した姉妹例. 第 58 回日本糖尿病学会関東甲信越地方会, 2021.
- 38) ◎杉下陽堂, 右田王介, 鈴木由妃, 本吉愛, 岩端秀之, 高江正道, 洞下由記, 菅沼真樹, 津川浩一郎, 鈴木直. 当院で診断した早発卵巣不全を呈したトリプル X 症候群 5 症例における心理学カウンセリングの意義の検討. 第 18 回日本生殖心理学会学術集会, 2021.
- 39) ◎秋山恭子, 洞下由記, 高江正道, 杉下陽堂, 神蔵奈々, 濱口賀代, 古川尚美, 吉岡千恵子, 山田陽子, 山本志奈子, 津川浩一郎, 鈴木直. 当院における乳がん患者の妊孕性温存に対する取り組み. 第 3 回 AYA がんの医療と支援のあり方研究会学術集会, 2021.
- 40) ◎Kojima Yasuyuki, Tsugawa Koichiro. Single institute experience of treatment for metastatic HER positive breast cancer patients with trastuzumab deruxtecan. 第 18 回日本臨床腫瘍学会学術集会, 2021.

② 国際学会

- 1) ◎Shinya Tajima, Nobuhiko Matsumoto, Motohiro Chosokabe, Akira Endo, Saeko Naruki, Masatomo Doi, Keiko Kishimoto, Koichiro Tsugawa, Junki Koike. Intraductal nuclear inverse-polarity papillary lesions without bilayer structure: a report of two cases. The 16th International Conference on Surgical Pathology & Cancer Diagnosis, 2020.
- 2) ◎Shinya Tajima, Nobuhiko Matsumoto, Saeko Naruki, Masatomo Doi, Akira Endo, Motohiro Chosokabe, Keiko Kishimoto, Koichiro Tsugawa, Junki Koike. Nuclear inverse polarity papillary lesion without myoepithelial cells in the breast Author and Co-author names. Cancer Virtual 2020, 2020.
- 3) ◎Shinya Tajima, Nobuhiko Matsumoto, Motohiro Chosokabe, Akira Endo, Saeko Naruki, Doi Masatomo, Keiko Kishimoto, Koichiro Tsugawa, Masayuki Takagi, Junki Koike. Nuclear Inverse Polarity Papillary Lesions with Lack Myoepithelial Cells: A Report of Two Cases. International Congress on Biotechnology and Food Sciences, 2020.

③ その他

- 1) ◎小澤南, 右田王介, 瓜生英尚, 上條千賀子, 鈴木由妃, 杉下陽堂, 本吉愛, 清水直樹, 津川浩一郎. 機械学習モデルの応用によるファブリー病スクリーニングの検討. 聖マリアンナ医科大学第 79 回医学会学術集会, 2021.

		和文	英文
著 書		3	
論 文	原著	3	10
	解説又は総説	1	
	症例報告	1	1
	その他	1	
学会発表	国内学会	39	1
	国際学会		3
	その他	1	

脳神経外科学

著書

- 1) 太組一朗. てんかん専門医ガイドブック 2020;(改訂第2版):1-433.
- 2) Kodama Kunihiro, Goto Tetsuya. Neurophysiology of the visual system: basics and intraoperative neurophysiology techniques Neurophysiology in Neurosurgery 2020;(第2版):53-64.

学術論文[和文]

① 原著

- 1) 小野寺英孝, 最上谷拓磨, 森みさ子, 川畑千壽, 金子真由美, 松嶋真哉, 川畑亜加里, 清水朋子. 脳卒中患者に対する 1.5kcal/mL の高タンパク消化態栄養剤および PHGG 配合栄養剤を用いた急性期栄養プロトコルの有益性～後方視的調査による 1.0kcal/mL 標準組栄養剤との比較に基づく検討～. 学会誌 JSPEN, 2020;2(2):E-journal.
- 2) 高砂浩史, 松森隆史, 佐瀬泰玄, 久代裕一郎, 内田将司, 伊藤英道, 太組一朗, 小野元, 大塩恒太郎, 田中雄一郎. 内視鏡下脳内血腫除去術における血腫除去困難例の検討. 脳卒中の外科, 2020;48(3):205-209.
- 3) 榊原陽太郎, 田口芳雄, 中村歩希, 小野寺英孝, 和久井大輔, 川口公悠樹. 外傷性基底核出血: 自験6例の検討. 神経外傷, 2020;43(1):23-27.
- 4) 中村歩希, 川口公悠樹, 佐瀬泰玄, 小野寺英孝, 榊原陽太郎, 宮北康二. 脊髄髄膜腫の手術成績. Journal of Spine Research, 2020;11(7):943-948.
- 5) 高橋絹代, 小野元, 古川博之, 江川裕人. 臓器提供可能医療機関の院内コーディネーター状況調査報告. 移植, 2020;55(2):119-124.
- 6) 佐瀬泰玄, 古屋優, 田中雄一郎. 超高齢慢性硬膜下血腫患者の退院調整. No shinkei geka. Neurological surgery, 2020;48(12):1115-1120.
- 7) 榊原陽太郎, 中村歩希, 小野寺英孝, 佐瀬泰玄, 川口公悠樹, 梶友紘. 脚立からの転落による頭部外傷. 神経外傷, 2020;43(2):70-74.
- 8) 佐瀬泰玄, 小野元, 田中雄一郎. 広範囲脳梗塞に対する外減圧術後の頭蓋骨形成術時に抗血栓薬は休止すべきか?. 脳卒中の外科, 2021;49(1):59-63.
- 9) 中村歩希, 池田哲也, 和久井大輔, 小野寺英孝, 榊原陽太郎. 頭痛のみで発症した椎骨動脈解離の画像所見の変化と転帰. 脳卒中の外科, 2021;49(1):42-47.

② 総説又は症例解説

- 1) 小野元, 田中雄一郎, 加藤庸子. 終末期における臓器提供意思を確認するための選択肢提示 (オプション提示) 方法の考察. 脳死・脳蘇生, 2020;32(2):46-51.
- 2) 田中雄一郎, 内田将司, 高砂浩史, 後藤哲哉. 内分泌腺腫瘍 (第2版) ー基礎・臨床研究のアップデートーⅢ. 間脳・下垂体腫瘍 開頭手術. 日本臨床, 2020;78(増刊号4):198-201.
- 3) 松下和彦, 長島悟郎, 仁木久照. With コロナ時代の SSI 対策と医療安全. 整形外科最小侵襲手術ジャーナル, 2021;98:47-52.

③ 症例報告

- 1) 佐瀬泰玄, 神野崇生, 内田将司, 吉田泰之, 高砂浩史, 田中雄一郎. 大型脳室内腫瘍に対する対側神経内視鏡支援による片側開頭顕微鏡下摘出. *Neurological Surgery*, 2020;48(6):505-508.
- 2) 小野元, 吉田泰之, 田中雄一郎. 被殻出血について発症した glioblastoma 症例の診断遅延について. *Journal of Japan Society of Neurological Emergencies & Critical Care*, 2020;32(2):18-21.
- 3) 中村歩希, 川口公悠樹, 小野寺英孝, 榊原陽太郎, 柳澤信之. Multiple inflammatory pseudotumor の 1 例. *脊髄外科*, 2020;34(2):302-306.
- 4) 佐瀬泰玄, 小野寺英孝, 中村歩希, 川口公悠樹, 榊原陽太郎, 田中雄一郎. 下位脳神経麻痺で指摘された頸静脈孔部動静脈瘻の 1 例. *No shinkei geka. Neurological surgery*, 2021;49(1):199-203.

④ その他

- 1) 正高祐志, 太組一朗, 山本仁. 大麻抽出製剤と抗てんかん作用. *Epilepsy*, 2020;14(1):11-16.
- 2) 吉田稔, 吉田徹, 斎藤浩輝, 川畑亜加里, 松嶋真哉, 森佑紀, 森みさ子, 小野寺英孝, 梶井良裕. 神奈川県内の ICU における栄養療法に関する多施設横断研究. *学会誌 JSPEN*, 2020;2(2):158-162.
- 3) 大塩恒太郎, 田中雄一郎. 多発外傷初期治療における多診療科医師との連携. *脳神経外科ジャーナル*, 2020;29(5):361-365.
- 3) 太組一朗. 大麻由来医薬品、国内治験の指針査定へ 厚労科研班、3 月までに報告書. *日刊薬業*, 2021::<https://nk.jiho.jp/article/1591.58>.
- 4) 太組一朗, の波正博, 嘉手川淳. ポリファーマシーと障害者入所施設. てんかん治療拠点病院運用の手引き, 2021::29-31.

学術論文[英文]

① 原著

- 1) Ito Hidemichi, Uchida Masashi, Kaji Tomohiro, Go Yuki, Hidaka Gaku, Takasuna Hiroshi, Goto Tetsuya, Takumi Ichiro, Tanaka Yuichiro. Risk factors of cerebellar microembolic infarctions after carotid artery stenting. *World Neurosurgery*, 2020::<https://doi.org/10.1016/j.wneu.2020.06.207>.
- 2) Hardian RF, Goto Tetsuya, Kanaya Kohei, Hara Yosuke, Fujii Yu, Hanaoka Yoshiki, Horiuchi Tetsuyoshi, Hongo Kazuhiro. Intraoperative lumbar muscle motor evoked potential monitoring with transcortical stimulation. *World Neurosurgery*, 2020::doi:10.1016/j.wneu.2020.11.115.
- 3) Onodera Hidetaka, Mogamiya Takuma, Matsushima Shinya, Sase Taigen, Kawaguchi Kimiyuki, Nakamura Homare, Sakakibara Yohtaro. High protein intake after subarachnoid hemorrhage improves oral intake and temporal muscle volume. *Clinical nutrition (Edinburgh, Scotland)*, 2021::doi.org/10.1016/j.clnu.2021.01.040.
- 4) Onodera Hidetaka, Mogamiya Takuma, Matsushima Shinya, Sase Taigen, Nakamura Homare, Sakakibara Yohtaro. Effect of enteral nutrition on in-hospital infection and hospital expense in stroke patients: a retrospective assessment. *Neurologia medico-chirurgica*, 2021;61(4):268-274.
- 5) Ito Hidemichi, Uchida Masashi, Takasuna Hiroshi, Takumi Ichiro, Tanaka Yuichiro. Analysis of postprocedural microembolic infarctions and global oxygen extraction fraction during balloon-protected carotid artery stenting: preliminary study. *Surgical Neurology International*, 2021;

12(87):1-8.

- 6) Ogiwara Toshihiro, Goto Tetsuya, Fujii Yu, Nakamura Takuya, Suzuki Yota, Hanaoka Yoshiki, Ito Kiyoshi, Horiuchi Tetsuyoshi, Hongo Kazuhiro. Endoscopic endonasal approach in the Smart Cyber Operating Theater (SCOT): Preliminary clinical application. *World Neurosurgery*, 2021; 147:E533-E537.

② 症例報告

- 1) Masataka Yuji, Takaumi Ichiro, Yamamoto Hitoshi. Report of a 6 months old Asian infant with early infantile epileptic encephalopathy whose seizures were eliminated by cannabidiol. *Epilepsy and Behavior Reports*, 2020;10:10-16.
- 2) Nakamura Homare, Kudo Tadashi, Kobayashi Hiroo, Taguchi Yoshio, Takagi Masayuki. Extraskeltal outgrowth of solitary synovial osteochondroma of the cervical spine. *NMC Case Report Journal*, 2020;7(3):89-92.

③ その他

- 1) Suzuki Yota, Goto Tetsuya, Fujii Yu, Hara Yosuke, Kodama Kuniho, Sato Atsushi, Horiuchi Tetsuyoshi, Hongo Kazuhiro. Transient retinal ischemia during carotid endarterectomy estimated by intraoperative visual evoked potential monitoring: Technical note. *World Neurosurgery*, 2020;:doi:10.1016/j.wneu.2020.06.130.
- 2) Takumi Ichiro, Akimoto Masataka. Calcium phosphate cement "Space Fill-in" augmentation in autologous cranioplasty for large cranial defect: Additional technical consideration and its long-term follow-up. *Neurologia medico-chirurgica*, 2021;:doi: 10.2176/nmc.tn.2020-0363.

学会発表

① 国内学会

- 1) ◎日高岳, 高砂浩史, 内田将司, 後藤哲哉, 田中雄一郎. 外視鏡と ICG 血管造影が有用であった小脳血管芽腫の 1 例. 第 141 回日本脳神経外科学会関東支部学術集会, 2020.
- 2) ◎久代裕一郎, 中村歩希, 工藤忠, 大島幸亮, 小林博雄, 田中雄一郎. 馬尾神経に動静脈短絡を有した脊髄動静脈瘻の 1 例. 第 141 回日本脳神経外科学会関東支部学術集会, 2020.
- 3) ◎小野寺英孝. 脳卒中の早期回復を目指した「Recovery Journey」. *Stroke2020 共催セミナー*, 2020.
- 4) ◎太組一朗. てんかん外科手術における外鏡視手術と拡張現実ナビゲーション. 第 40 回日本脳神経外科コンgres 総会, 2020.
- 5) ◎後藤哲哉. *Robotics Neurosurgery*. 第 40 回日本脳神経外科コンgres 総会, 2020.
- 6) ◎後藤哲哉. 脳神経外科メカトロニクス (ロボット) 支援手術. 第 40 回日本脳神経外科コンgres, 2020.
- 7) ◎佐瀬泰玄, 川口公悠樹, 小野寺英孝, 中村歩希, 榊原陽太郎. 当科におけるパーフュージョン MRI の使用経験と今後の課題. 第 45 回日本脳卒中学会学術集会, 2020.
- 8) ◎中山博文, 池田哲也, 森嶋啓之, 大塩恒太郎, 長島悟郎, 田中雄一郎. 高血栓療法における凝固能検査 ROTEM の試み. 第 45 回日本脳卒中学会学術集会, 2020.
- 9) ◎内田将司, 伊藤英道, 田中雄一郎. Trousseau 症候群による脳主幹動脈閉塞に対する急性期血栓回

収術の検討. 第 45 回日本脳卒中学会学術集会, 2020.

- 10) ◎小野寺英孝. 急性期: 栄養療法の進化と深化. 第 45 回日本脳卒中学会学術集会, 2020.
- 11) ◎清野奈々恵, 内田将司, 伊藤英道, 藤谷茂樹, 田中雄一郎. 脳血管内治療における診療看護師の役割. 第 45 回日本脳卒中学会学術集会, 2020.
- 12) ◎金田拓人, 川越潤一, 南裕貴, 村本拓也, 森谷玲子, 小野寺英孝. 脳卒中患者の急性期栄養状態と回復期実績指数の関連についての検討: 急性期病院と回復病院の連携から. 第 45 回日本脳卒中学会学術集会, 2020.
- 13) ◎小野寺英孝, 最上谷拓磨, 松嶋真哉, 佐瀬泰玄, 川口公悠樹, 中村歩希, 榊原陽太郎. SAH における高タンパク消化態栄養剤による経腸栄養管理は側頭筋量を維持し経口摂取に寄与する. 第 45 回日本脳卒中学会学術集会, 2020.
- 14) ◎小野寺英孝, 最上谷拓磨, 松嶋真哉, 佐瀬泰玄, 川口公悠樹, 中村歩希, 榊原陽太郎. 脳卒中患者の急性期栄養管理による中長期予後への影響. 第 45 回日本脳卒中学会学術集会, 2020.
- 15) ◎山下雄輔, 中林豊彦, 宮城歩, 福澤知子, 内田将司, 田中雄一郎, 伊佐早健司, 長谷川泰弘. SCU・病棟看護師に症例検討を導入した学びに関する探索的研究. 第 45 回日本脳卒中学会学術集会, 2020.
- 16) ◎小野元, 田中雄一郎, 長谷川泰弘. 地域脳卒中医療に対する脳卒中ネットワークと行政の連携. 第 45 回日本脳卒中学会学術集会, 2020.
- 17) ◎高石智, 大坪治喜, 濱田祐樹, 辰野健太郎, 鈴木祐, 吉江智秀, 臼杵乃理子, 吉田泰之, 小野元, 植田敏浩. 急性期脳梗塞における DWI 異常所見の可逆性に対する年齢の影響の検討. 第 45 回日本脳卒中学会学術集会, 2020.
- 18) ◎伊藤英道, 内田将司, 梶友紘, 日高岳, 高砂浩史, 後藤哲哉, 太組一朗, 田中雄一郎. 頸動脈ステント留置術後における小脳 DWI 陽性例の検討. 第 45 回日本脳卒中学会学術集会, 2020.
- 19) ◎大島幸亮, 中村歩希, 田中優子, 久代裕一郎, 神野崇生, 工藤忠, 小林博雄, 田中雄一郎. 未破裂脳動脈瘤クリッピング術において MEP が低下した症例の検討. 第 49 回日本脳卒中の外科学会学術集会, 2020.
- 20) ◎田中雄一郎, 内田将司, 高砂浩史, 伊藤英道, 後藤哲哉. 前交通動脈瘤に対する低侵襲 IHA の工夫. 第 49 回日本脳卒中の外科学会学術集会, 2020.
- 21) ◎大塩恒太郎, 中山博文, 池田哲也, 森嶋啓之, 長島梧郎, 田中雄一郎. 重症くも膜下出血に対する内視鏡的脳室内血腫除去の有用性. 第 49 回日本脳卒中の外科学会学術集会, 2020.
- 22) ◎吉田泰之, 小野元, 植田敏浩, 田中雄一郎. シングルシャフトクリップ鉗子の有用性. 第 49 回日本脳卒中の外科学会学術集会, 2020.
- 23) ◎森嶋啓之, 中山博文, 池田哲也, 大塩恒太郎, 長島梧郎, 田中雄一郎. 破裂脳動静脈奇形に対する液体塞栓術におけるマイクロカテーテル位置及び reflux と塞栓率の検討. 第 49 回日本脳卒中の外科学会学術集会, 2020.
- 24) ◎伊佐早健司, 土橋瑤子, 鈴木祐, 星野俊, 伊藤英道, 内田将司, 木村慶子, 伊藤杏子, 山下雄輔, 清水高弘, 秋山久尚, 長谷川泰弘. 院内発症脳卒中対策チーム (in-hospital stroke action team: iSAT) 構築 1 年後の効果. 第 45 回日本脳卒中学会学術集会, 2020.
- 25) ◎伊佐早健司, 土橋瑤子, 鈴木祐, 星野俊, 伊藤英道, 内田将司, 木村慶子, 山下雄輔, 伊藤杏子, 清水高弘, 秋山久尚, 長谷川泰弘. 院内発症脳卒中対策一発見遅延因子の検討. 第 61 回日本神経学

会学術大会, 2020.

- 26) ◎松森隆史, 太組一朗, 田中雄一郎. 慢性頭蓋内脳波測定を行ったが切除が困難だった症例の検討. 第 14 回日本てんかん学会関東甲信越地方会, 2020.
- 27) ◎内田将司, 伊藤英道, 川口公悠樹, 吳侑樹, 日高岳, 後藤哲哉, 太組一朗, 田中雄一郎. 頸動脈ステント留置により生じた遅発性血管解離の 1 例. 第 18 回 NPO 法人日本脳神経血管内治療学会関東地方会学術集会, 2020.
- 28) ◎清野奈々恵, 内田将司, 伊藤英道, 藤谷茂樹, 田中雄一郎. 脳血管撮影・脳血管内治療における穿刺困難例の検討: 診療看護師の試行. 第 18 回 NPO 法人日本脳神経血管内治療学会関東地方会学術集会, 2020.
- 29) ◎辰野健太郎, 大坪治喜, 荒賀崇, 吉江智秀, 高石智, 白杵乃理子, 吉田泰之, 小野元, 植田敏浩. 若年者の急性頭蓋内動脈解離に対して発症早期に待機的に Wingspan 留置を施行した 2 症例. 第 18 回 NPO 法人日本脳神経血管内治療学会関東地方会学術集会, 2020.
- 30) ◎アニン祥子, 新谷亮, 松下和彦, 長島梧郎. 急性期病床から COVID-19 専門病床への変換—ある地域中核病院の対策例—. 第 18 回日本臨床医学リスクマネジメント 学会学術集会, 2020.
- 31) ◎本鍋田由美子, 松下和彦, 田中拓, 大熊克彰, 安藤歩, 桐生久美子, 池谷真実, 長島梧郎. 当院事例の対応から見えた課題—産科外来癌クリニックでの病理検体取り違え事例から—. 第 18 回日本臨床医学リスクマネジメント 学会学術集会, 2020.
- 32) ◎後藤哲哉, 高砂浩史, 内田将司, 田中雄一郎. 開頭の侵襲は皮膚弁や骨開窓の大きさではない. 第 25 回日本脳腫瘍の外科学会, 2020.
- 33) ◎小野元, 吉田泰之, 高砂浩史, 佐瀬泰玄, 田中雄一郎. 皮膚合併症予防を回避するための頭蓋形成用カスタムメイド人工骨の曲率調整: 第 2 報: 下げ幅の比較検討. 第 29 回脳神経外科手術と機器学会, 2020.
- 34) ◎太組一朗, 田中雄一郎. 脳神経外科手術器械の滅菌法-定位機能神経外科手術と軟性内視鏡ビデオスコープにおける注意点と共に-. 第 29 回脳神経外科手術と機器学会, 2020.
- 35) ◎高砂浩史, 後藤哲哉, 内田将司, 伊藤英道, 太組一朗, 田中雄一郎. CranioFix Absorbable による骨形成術のメリットを生かすチタンプレートとのハイブリッド固定法. 第 29 回脳神経外科手術と機器学会, 2020.
- 36) ◎後藤哲哉, 田中雄一郎. 特定臨床研究のハードル. 第 29 回脳神経外科手術と機器学会, 2020.
- 37) ◎小柳壮史, 石井聡, 松原史明, 月山秀一, 中川朋子, 永井義夫, 高砂浩史, 方波見卓行, 曾根正勝. 妊娠中に発症しステロイド投与で尿崩症を含め寛解したリンパ球性汎下垂体炎の一例. 第 21 回日本内分泌学会関東甲信越支部学術集会, 2020.
- 38) ◎川名部新, 方波見卓行, 中川朋子, 松葉怜, 久保ゆい, 中村祐太, 川畑亜加里, 松崎貴志, 清水朋子, 森みさ子, 小野寺英孝, 田中逸. Nutrition Support Team(NST)介入患者の転帰に及ぼす糖尿病の影響. 第 63 回日本糖尿病学会年次学術集会, 2020.
- 39) ◎久代裕一郎, 大島幸亮, 中村歩希, 田中優子, 神野崇生, 小林博雄, 田中雄一郎. 当院における急性期血栓回収療法の治療成績～脳血管内治療専門医と脳血管内治療非専門医との比較～. 一般社団法人日本脳神経外科学会 第 79 回学術総会, 2020.
- 40) ◎梶友紘, 有戸光美, 佐瀬泰玄, 小野寺英孝, 田中雄一郎. ライリンは SNAI1 シグナルを介して悪

- 性神経膠腫細胞の浸潤能を高める. 一般社団法人日本脳神経外科学会 第 79 回学術総会, 2020.
- 41) ◎佐瀬泰玄, 中村歩希, 小野寺英孝, 榊原陽太郎, 田中雄一郎. 破裂内頸動脈前壁瘤の自験 2 例. 一般社団法人日本脳神経外科学会 第 79 回学術総会, 2020.
- 42) ◎松森隆史, 太組一朗, 高砂浩史, 日高岳, 田中雄一郎. 当院での神経内視鏡を用いた脳梁離断術について. 一般社団法人日本脳神経外科学会 第 79 回学術総会, 2020.
- 43) ◎中村歩希, 工藤忠, 川口公悠樹, 佐瀬泰玄, 小野寺英孝, 榊原陽太郎, 小林博雄, 田口芳雄. 頸椎すべり症に対して円筒型ケージを用いた単椎間前方固定術の治療成績. 一般社団法人日本脳神経外科学会 第 79 回学術総会, 2020.
- 44) ◎榊原陽太郎, 中村歩希, 小野寺英孝, 佐瀬泰玄, 梶友紘. 脚立からの転落による頭部外傷-自験 8 例の検討-. 一般社団法人日本脳神経外科学会 第 79 回学術総会, 2020.
- 45) ◎小野元, 吉田泰之, 高砂浩史, 田中雄一郎. 皮膚合併症予防を回避するための頭蓋形成用カスタムメイド人工骨の曲率調整 ~第 2 報: 下げ幅による手術時の比較検討~. 一般社団法人日本脳神経外科学会 第 79 回学術総会, 2020.
- 46) ◎森嶋啓之, 中山博文, 池田哲也, 大塩恒太郎, 長島悟郎, 松澤源志, 干川芳弘, 田中雄一郎. 破裂内頸動脈 Blood blister-like aneurysm に対するステント併用コイル塞栓術の長期成績. 一般社団法人日本脳神経外科学会 第 79 回学術総会, 2020.
- 47) ◎内田将司, 後藤哲哉, 吉田泰之, 松森隆史, 高砂浩史, 伊藤英道, 太組一朗, 田中雄一郎. 部位別に見た側頭葉膠芽腫に対する治療成績. 一般社団法人日本脳神経外科学会 第 79 回学術総会, 2020.
- 48) ◎大島幸亮, 中村歩希, 田中優子, 久代裕一郎, 工藤忠, 小林博雄, 田中雄一郎. 未破裂脳動脈瘤クリッピング術において MEP が低下した症例の検討. 一般社団法人日本脳神経外科学会 第 79 回学術総会, 2020.
- 49) ◎吉田泰之, 小野元, 植田敏浩, 田中雄一郎. 脳出血例で潜在性脳動脈奇形の存在を予測する術前因子. 一般社団法人日本脳神経外科学会 第 79 回学術総会, 2020.
- 50) ◎中山博文, 池田哲也, 森嶋啓之, 大塩恒太郎, 長島悟郎, 田中雄一郎. ハイドロキシアパタイト製人工頭蓋骨を中心とした当院における頭蓋形成術の診療成績と実際について. 一般社団法人日本脳神経外科学会 第 79 回学術総会, 2020.
- 51) ◎梅岨有砂, 高瀬香奈, 鐵尾佳章, 岡村晶子, 松澤源志, 干川芳弘, 増尾修. 3 回のステント併用コイル塞栓術で治療しえた ICA の blister like aneurysm の 1 例. 一般社団法人日本脳神経外科学会 第 79 回学術総会, 2020.
- 52) ◎伊藤英道, 内田将司, 川口公悠樹, 吳侑樹, 日高岳, 高砂浩史, 後藤哲哉, 太組一朗, 田中雄一郎. 上向き前交通動脈瘤に対するコイル塞栓術の治療成績 -瘤頸部位置と A1 湾曲に着目した分析-. 一般社団法人日本脳神経外科学会 第 79 回学術総会, 2020.
- 53) ◎太組一朗, 渡辺英寿, 松森隆史, 高砂浩史, 田中雄一郎. 選択的扁桃体海馬摘出手術における鏡視下手術. 一般社団法人日本脳神経外科学会 第 79 回学術総会, 2020.
- 54) ◎高砂浩史, 後藤哲哉, 小野元, 日高岳, 伊藤英道, 太組一朗, 田中雄一郎. 症候性トルコ鞍部くも膜嚢胞の臨床的特徴と治療. 一般社団法人日本脳神経外科学会 第 79 回学術総会, 2020.
- 55) ◎後藤哲哉, 田中雄一郎, 内田将司, 高砂浩史, 横塚恵理子. 術中電気生理モニタリングでできることとしたいこと. 一般社団法人日本脳神経外科学会 第 79 回学術総会, 2020.

- 56) ◎高砂浩史, 後藤哲哉, 梶友紘, 内田将司, 伊藤英道, 太組一朗, 田中雄一郎. 頭蓋底外科における CranioFix Absorbable による骨形成術のメリットを生かすチタンプレートとの hybrid 固定法. 第 32 回日本頭蓋底外科学会, 2020.
- 57) ◎後藤哲也, 田中雄一郎. 経頭蓋刺激 MEP モニタリングを理解するための電気の知識. 第 32 回日本頭蓋底外科学会, 2020.
- 58) ◎佐瀬泰玄, 中村歩希, 梶友紘, 小野寺英孝, 榊原陽太郎, 田中雄一郎. 鞍上部くも膜嚢胞に対する軟性内視鏡による嚢胞一第三脳室開窓術. 第 27 回日本神経内視鏡学会, 2020.
- 59) ◎高砂浩史, 後藤哲哉, 松森隆史, 川口公悠樹, 伊藤英道, 太組一朗, 田中雄一郎. 脳室内出血に対する血腫除去と第 3 脳室底開創窓術は慢性期の水頭症を防ぎ得る?. 第 27 回日本神経内視鏡学会, 2020.
- 60) ◎松森隆史, 太組一朗, 高砂浩史, 内田将司, 川口公悠樹, 日高岳, 田中雄一郎. 神経内視鏡を用いた脳梁離断術、特に後半部離断の手技について. 第 27 回日本神経内視鏡学会, 2020.
- 61) ◎中村歩希, 工藤忠, 小林博雄, 田口芳雄, 高木正之. Solitary synovial osteochondroma の 1 例. 第 35 回日本脊髄外科学会, 2020.
- 62) ◎中村歩希, 工藤忠, 川口公悠樹, 佐瀬泰玄, 小野寺英孝, 榊原陽太郎, 小林博雄, 田口芳雄. 頸椎すべり症に対して円筒型ケージを用いた単椎間前方固定術の治療成績. 第 35 回日本脊髄外科学会, 2020.
- 63) ◎日高岳. 外傷性脳血管攣縮に血行再建を要した 3 症例. 第 36 回 NPO 法人日本脳神経血管内治療学会学術総会, 2020.
- 64) ◎小野寺英孝, 佐瀬泰玄, 川口公悠樹, 中村歩希, 榊原陽太郎. 安全なブレブ内血流遮断のための Jamming Frame concept の検討 第 2 報. 第 36 回 NPO 法人日本脳神経血管内治療学会学術総会, 2020.
- 65) ◎佐瀬泰玄, 小野寺英孝, 梶友紘, 中村歩希, 榊原陽太郎, 田中雄一郎. 医源性椎骨動脈内頸静脈瘻の治療経験. 第 36 回 NPO 法人日本脳神経血管内治療学会学術総会, 2020.
- 66) ◎伊藤英道, 内田将司, 梶友紘, 日高岳, 高砂浩史, 後藤哲哉, 太組一朗, 田中雄一郎. 頸動脈ステント留置術における経上腕法と経橈骨動脈法の比較検討. 第 36 回 NPO 法人日本脳神経血管内治療学会学術総会, 2020.
- 67) ◎内田将司, 伊藤英道, 日高岳, 川口公悠樹, 田中雄一郎. Trousseau 症候群による脳主幹動脈閉塞に対する急性期血栓回収術の検討. 第 36 回 NPO 法人日本脳神経血管内治療学会学術総会, 2020.
- 68) ◎清野奈々恵, 伊藤英道, 内田将司, 田中雄一郎. 診療看護師参入による AIS 診療における医師業務軽減. 第 36 回 NPO 法人日本脳神経血管内治療学会学術総会, 2020.
- 69) ◎森嶋啓之, 中山博文, 池田哲也, 大塩恒太郎, 長島悟郎, 松澤源志, 干川芳弘, 田中雄一郎. 破裂内頸動脈 Blood blister-like aneurysm に対するステント併用コイル塞栓術の長期成績. 第 36 回 NPO 法人日本脳神経血管内治療学会学術総会, 2020.
- 70) ◎森嶋啓之, 池田哲也, 中山博文, 大塩恒太郎, 長島悟郎, 田中雄一郎. Neck の存在しない前交通動脈瘤に対する X ステント併用のコイル塞栓術. 第 36 回 NPO 法人日本脳神経血管内治療学会学術総会, 2020.
- 71) ◎池谷真実, 本鍋田由美子, 長島悟郎, 松下和彦, 田中拓. 持ち歩きたくなる!! ~活用できるポケ

ットマニュアルを目指して～. 第 15 回医療の質・安全学会学術集会, 2020.

- 72) ◎小野元, 吉田泰之, 高砂浩史, 田中雄一郎. 遊具関連の小児頭部外傷例に対するリスクマネジメントと課題. 第 48 回日本小児神経外科学会, 2020.
- 73) ◎本郷一博, 後藤哲哉, 藤井雄, 萩原利浩, 堀内哲吉. ネットワーク化された最新手術室: スマート治療室 ―近未来の小児脳神経外科手術―. 第 48 回日本小児神経外科学会, 2020.
- 74) ◎高砂浩史, 梶友紘, 松森隆史, 田中雄一郎. 小児虐待が疑われる頭部外傷に対する当院での分析と取り組み. 第 48 回日本小児神経外科学会, 2020.
- 75) ◎後藤哲哉. 頭蓋固定に関する力学的知識. 第 48 回日本小児神経外科学会, 2020.
- 76) ◎後藤哲哉. 特定臨床研究のハードル. 第 29 回日本コンピュータ外科学会大会, 2020.
- 77) ◎横塚恵理子, 佐々木亮介, 玉城瑛信, 大川修, 森英輝, 藤井暁, 餅田裕太, 岩田湧斗, 丸山悟, 清水徹, 後藤哲哉, 田中雄一郎, 赤澤努, 井上莊一郎. 運動誘発電位(MEP)経頭蓋定電圧刺激における刺激電流値の検討. 日本臨床神経生理学会学術大会 第 50 回記念大会, 2020.
- 78) ◎後藤哲哉. 脳外科手術でモニタリングを必要とする理由. 日本臨床神経生理学会学術大会第 50 回記念大会, 2020.
- 79) ◎後藤哲哉. 脳神経外科手術におけるモニタリングとマッピング: 体性感覚誘発電位. 日本臨床神経生理学会学術大会第 50 回記念大会, 2020.
- 80) ◎日高岳, 後藤哲哉, 高砂浩史, 内田将司, 梶友紘, 田中雄一郎. Bloom 症候群の診断に至ったメッケル腔腫瘍の 1 例. 第 143 回一般社団法人日本脳神経外科学会 関東支部学術集会, 2020.
- 81) ◎小野寺英孝. MVD における栄養管理. 第 23 回日本脳神経減圧術学会, 2021.
- 82) ◎田中雄一郎. Tic convulsif の憂鬱. 第 23 回日本脳神経減圧術学会, 2021.
- 83) ◎太組一朗, 渡辺英寿, 松森隆史, 高砂浩史, 田中雄一郎. 選択的扁桃体海馬摘出手術における顕微鏡と外視鏡. 第 44 回日本てんかん外科学会, 2021.
- 84) ◎松森隆史, 太組一朗, 日高岳, 川口公悠樹, 高砂浩史, 田中雄一郎. 神経内視鏡が有用であった脳梁離断の 2 例. 第 44 回日本てんかん外科学会, 2021.
- 85) ◎松森隆史, 太組一朗, 日高岳, 梶友紘, 川口公悠樹, 田中雄一郎. BrainLab Elements Lead detection を用いた Boston Directional Lead の方向の同定及び刺激調整について. 第 60 回日本定位・機能神経外科学会, 2021.
- 86) ◎陣内靖也, 中村歩希, 小野寺英孝, 榊原陽太郎. 視床出血後に遅発性に閉塞性水頭症をきたした 1 例. 第 26 回日本脳神経外科救急学会, 2021.
- 87) ◎小野元, 安心院康彦, 渥美生弘, 稲田眞治, 國島広之, 嶋津岳士, 横堀将司, 吉川美喜子, 水谷敦史, 横田裕行, 江川裕人. COVID-19 感染症における新しい臓器提供体制の構築. 第 26 回日本脳神経外科救急学会, 2021.
- 88) ◎高砂浩史, 後藤哲哉, 日高岳, 川口公悠樹, 伊藤英道, 太組一朗, 田中雄一郎. 症候性トルコ鞍部くも膜嚢胞の臨床的特徴と治療. 第 31 回一般社団法人日本間脳下垂体腫瘍学会, 2021.
- 89) ◎日高岳, 伊藤英道, 内田将司, 川口公悠樹, 田中雄一郎. 心房内血栓塊に夜脳梗塞の 1 例. 第 19 回 NPO 法人日本脳神経血管内治療学会関東地方会, 2021.
- 90) ◎小野元, 田中雄一郎, 大塩恒太郎. 頭部外傷データバンクプロジェクト 2015 における自転車事故に関連したデータの検討. 第 44 回日本脳神経外傷学会, 2021.

- 91) ◎松森隆史, 太組一朗, 梶友紘, 田中雄一郎. 非けいれん性てんかん重積の診断、治療におけるてんかん診療拠点機関の役割. 第 44 回日本脳神経外傷学会, 2021.
- 92) ◎大塩恒太郎, 長島梧郎, 田中雄一郎. JNTDB Project 2015 データ解析から見えた急性硬膜外血腫の病像. 第 44 回日本脳神経外傷学会, 2021.
- 93) ◎小野寺英孝. STROKE NUTRITION ～おっさん達の栄養論 2～. Stroke 2021, 2021.
- 94) ◎日高岳, 伊藤英道, 内田将司, 川口公悠樹, 田中雄一郎. 外傷性脳血管攣縮に血行再建を要した 3 症例. 第 37 回スパズム・シンポジウム, 2021.
- 95) ◎小野寺英孝. 脳卒中急性期の積極的栄養管理. 第 46 回日本脳卒中学会学術集会, 2021.
- 96) ◎高石智, 大坪治喜, 荒賀崇, 辰野健太郎, 吉江智秀, 白杵乃理子, 吉田泰之, 小野元, 植田敏浩. 急性期脳梗塞 DWI 異常領域と可逆性における年齢による影響. 第 46 回日本脳卒中学会学術集会, 2021.
- 97) ◎植田敏浩, 長谷川泰弘, 森本将史, 竹内昌孝, 壺井祥史, 西山和利, 秋山武和, 各務宏, 小野寺英孝, 中居康展, 伊藤英道. 神奈川県における再開通療法に関する他施設共同前向き登録研究: 治療デバイス転帰との関連. 第 46 回日本脳卒中学会学術集会, 2021.
- 98) ◎大坪治喜, 植田敏浩, 長谷川泰弘, 森本将史, 竹内昌孝, 壺井祥史, 西山和利, 秋山武和, 各務宏, 伊藤英道, 小野寺英孝. 神奈川県の開通療法に関する他施設共同前向き登録研究 (K-NET registry): rt-PA 静注単独療法の中間解析. 第 46 回日本脳卒中学会学術集会, 2021.
- 99) ◎松森隆史, 太組一朗, 内田将司, 日高岳, 梶友紘, 伊藤英道, 田中雄一郎. 脳卒中後てんかん診療におけるてんかん診療拠点機関の果たす役割. 第 46 回日本脳卒中学会学術集会, 2021.
- 100) ◎佐瀬泰玄, 小野寺英孝, 梶友紘, 中村歩希, 榊原陽太郎, 田中雄一郎. 血栓回収療法を行った院内発症急性期脳梗塞の分析. 第 46 回日本脳卒中学会学術集会, 2021.
- 101) ◎辰野健太郎, 大坪治喜, 荒賀崇, 吉江智秀, 高石智, 白杵乃理子, 吉田泰之, 小野元, 植田敏浩. 若年者の急性頭蓋内動脈解離に対して発症早期に待機的に Wingspan 留置を施行した 3 症例. 第 46 回日本脳卒中学会学術集会, 2021.
- 102) ◎内田将司, 伊藤英道, 川口公悠樹, 梶友紘, 日高岳, 田中雄一郎. 院内発症 AIS に対する急性期血栓回収術の検討. 第 46 回日本脳卒中学会学術集会, 2021.
- 103) ◎清野奈々恵, 内田将司, 伊藤英道, 藤谷茂樹, 田中雄一郎. 診療看護師参入による AIS 診療における時間短縮効果の検討. 第 46 回日本脳卒中学会学術集会, 2021.
- 104) ◎伊佐早健司, 土橋瑤子, 鈴木祐, 星野俊, 鏑木圭, 清水高弘, 伊藤英道, 内田将司, 木村慶子, 伊藤杏子, 山下雄輔, 秋山久尚, 長谷川泰弘, 山野嘉久. 院内発症脳卒中症例における tPA 静注療法の効果. 第 46 回日本脳卒中学会学術集会, 2021.
- 105) ◎吉田泰之, 小野元, 植田敏浩, 田中雄一郎. ワルファリン関連脳内出血に対する乾燥濃縮人プロトロンビン複合体製剤投与後の開頭血腫除去に関する検討. 第 50 回脳卒中の外科学会学術集会, 2021.
- 106) ◎伊藤英道, 内田将司, 川口公悠樹, 日高岳, 梶友紘, 高砂浩史, 後藤哲哉, 太組一朗, 田中雄一郎, 清野奈々恵. 頸動脈ステント留置術における経上腕法と経橈骨動脈法の比較検討. 第 50 回脳卒中の外科学会学術集会, 2021.

② 国際学会

- 1) ◎Shiraishi M, Maki F, Morosawa Y, Takumi I, Isahaya K, Sasaki N, Hasegawa Y, Yamano Y.

Indication and long-term outcome of device-aided therapies in advanced Parkinson's disease. MDS Virtual Congress 2020, 2020.

- 2) ◎Onodera Hidetaka, Mogamiya Takuma, Mori M, Matsushima S, Sase Taigen, Nakamura Homare, Sakakibara Yotaro. High protein intake after subarachnoid hemorrhage improves ingestion function and temporal muscle volume. 42nd ESPEN Congress on Clinical Nutrition and Metabolism, 2020.

③ その他

- 1) ◎小野寺英孝. mRS0-2 のための脳卒中栄養管理とリハ実践. ネスレ WEB 特別講演会, 2020.
- 2) ◎後藤哲哉. 脳神経外科手術における MEP: 主に経頭蓋刺激について. 第 7 回術中脳脊髄モニタリングセミナー, 2020.
- 3) ◎田中雄一郎. 脳動脈瘤根治術の歴史. 日本脳卒中の外科学会 第 7 回技術認定医・指導医 CEP (生涯教育) 講習会, 2020.
- 4) ◎小野寺英孝. 院内感染発生時の対応. 全職員向け 院内感染報告会, 2020.
- 5) ◎小野寺英孝. mRS0-2 のための脳卒中栄養管理. ネスレ臨床栄養 WEB セミナー, 2020.
- 6) ◎日高岳, 伊藤英道, 内田将司, 川口公悠樹, 田中雄一郎. 心房内腫瘍様血栓による脳梗塞の 1 例. 第 30 回 Kanagawa Neuro-Intervention. Seminar for Stroke, 2020.
- 7) ◎小野寺英孝. 脳卒中の早期回復を目指した経腸栄養療法 「おっさん達の栄養学～知らぬは恥だしやっておけ～」. ネスレ臨床栄養 WEB セミナー, 2020.
- 8) ◎小野寺英孝. mRS0-2 のための栄養管理. ネスレ臨床栄養 WEB セミナー, 2020.
- 9) ◎後藤哲哉, 田中雄一郎. 聴神経腫瘍摘出時の体位について. 第 29 回日本聴神経腫瘍研究会, 2020.
- 10) ◎小野寺英孝. 脳卒中における栄養管理. ネスレ WEB 特別講演会, 2020.
- 11) ◎大塩恒太郎. 手術で治る認知症. 令和 2 年度第 3 回オストメイト健康教室, 2020.
- 12) ◎太組一朗. 運動異常症の外科治療. パーキンソン病治療 地域連携セミナー, 2021.
- 13) ◎小野寺英孝. 脳卒中患者の栄養管理における脳外科医師にとってのメリット. ネスレヘルスサイエンス社内講演会, 2021.
- 14) ◎小野元. 救急医療と臓器提供. 千葉臓器移植セミナー2021, 2021.
- 15) ◎伊藤英道, 内田将司, 高砂浩史, 後藤哲哉, 太組一朗, 田中雄一郎. アクリルモデルを用いた抵抗測定器にマイクロカテーテルの操作性に関する研究 一経上・前腕と経大腿法の比較一. 第 2 回経橈骨動脈脳血管内治療研究会 (TRN 研究会), 2021.
- 16) ◎小野寺英孝. 脳卒中の早期回復を目指した Recovery Journey. 脳卒中領域における栄養管理セミナー, 2021.

		和文	英文
著 書		1	1
論 文	原著	9	6
	解説又は総説	3	
	症例報告	4	2
	その他	5	2
学会発表	国内学会	106	
	国際学会		2
	その他	16	

整形外科学

著書

- 1) 仁木久照. 扁平足障害 (後脛骨筋腱機能不全) 運動器スポーツ外傷・障害の保存方法 下肢 2020;:292-296.
- 2) 原口直樹. 変形性足関節症 低位脛骨骨切り術 明日の足診療シリーズ I 足の変性疾患・後天性変形の診かた 2020;:51-58.
- 3) 秋山唯, 仁木久照. 外反母趾 6)Lapidus 変法, CMOS 明日の足診療シリーズ I 足の変性疾患・後天性疾患の診かた 2020;1(1):226-231.
- 4) 原口直樹. 中足骨骨折: Jones 骨折 スクリュー固定 スタンダード骨折手術治療 下肢 2021;:433-437.

学術論文[和文]

① 原著

- 1) 秋山唯, 平野貴章, 仁木久照. 変形性足関節症の治療選択-装具療法と関節固定術の使い分け-. 靴の医学, 2020;33(2):80-83.
- 2) 大沼弘幸, 植原健二, 木城智, 皆川直毅, 大野真弘, 工藤貴章, 仁木久照. 人工膝関節置換術の非対称型と対称型脛骨コンポーネントの回旋設置角度の比較 CTによる評価. 日本関節鏡・膝・スポーツ整形外科学会雑誌, 2020;45(3):733-736.
- 3) 木城智, 植原健二, 皆川直毅, 大野真弘, 大沼弘幸, 工藤貴章, 仁木久照. 脛骨内側顆脆弱性骨折における内側半月板後角損傷と半月板内側偏位度の関連. 日本関節鏡・膝・スポーツ整形外科学会雑誌, 2020;45(3):680-684.
- 4) ◎三井寛之, 平野貴章, 秋山唯, 遠藤渉, 軽辺朋子, 原口直樹, 仁木久照. 変形性足関節症の MRI による病態解析 距骨後方に巨大な骨棘が生じる症例の特徴. 日本関節病学会誌, 2020;39(2):119-126.

② 総説又は症例解説

- 1) 内山勝文, 池田伸介, 山本豪明, 福島健介, 森谷光俊, 高平尚伸, 高相晶士. Debridement, Antibiotics, and Implant Retention (DAIR) 一期的再置換術または二期的再置換術. 臨床整形外科, 2020;55(4):345-351.
- 2) 原口直樹. 足関節果部骨折の手術療法の適応と実際 (Weber type B) -手技と最近の論点-. 関節外科基礎と臨床, 2020;38(4):394-398.
- 3) 軽辺朋子, 仁木久照. 足関節果部骨折に対する観血的整復固定術. 整形外科看護, 2020;(319):196-199.
- 4) 竹末芳生, 井川房夫, 岸本裕充, 久保正二, 坂本春生, 鈴木崇, 高橋佳子, 橋本昌樹, 保富宗城, 松下和彦, 三嶋廣繁, 山田浩司, 山本新吾, 柚木靖弘, 真弓俊彦, 岡正朗, 北川雄光, 小西敏郎, 福島亮治, 尾原秀明, 小林美奈子, 武田茂. 術後感染予防抗菌薬適正使用のための実践ガイドライン(追補版). 日本化学療法学会雑誌, 2020;68(3):309-320.
- 5) 平野貴章, 仁木久照. 足のリハビリテーション診療パーフェクトガイド 成人期扁平足への対応. MB Med Reha, 2020;254:152-155.

- 6) 岩澤裕之 鈴木智裕 原口直樹. 足関節果部骨折・脱臼骨折に対する整形外科的治療後のリハビリテーション治療. *Monthly Book Medical Rehabilitation*, 2020;(254):113-121.
- 7) 平野貴章. アキレス腱断裂診療のコツと最新のトピックス アキレス腱断裂に対する経皮的縫合術. *整形・災害外科*, 2020;63(12):1643-1648.
- 8) 秋山唯, 仁木久照. アキレス腱付着部断裂の手術療法. *整形外科 surgical technique*, 2020;10(6):671-674.
- 9) 三井寛之, 仁木久照. 【足部・足関節の画像解析-画像から病態を探る】MRI 足部・足関節領域における MRI 診断と病態評価 Bone Marrow Edema 所見を活用した病態解析. *臨床整形外科*, 2020;55(11):1233-1239.
- 10) 原口直樹. 単純 X 線像を用いた足関節の機能軸評価. *臨床整形外科*, 2020;55(11):1191-1196.
- 11) 原口直樹. 足関節果部骨折 AO/OTA type B における脛腓骨靭帯結合損傷の考え方. *Monthly Book Orthopaedics*, 2020;33(13):57-62.
- 12) 大沼弘幸, 仁木久照. 酵素補充療法から基質合成抑制療法への切り替えを二度経験したゴーシェ病 I 型の 1 症例. *ゴーシェ病症例集 2020 多様な症状・経過を知り、適切な治療・ケアをするために*, 2020;1(1):23-27.
- 13) 小松梨恵, 仁木久照, 遊道和雄, 藤井亮爾. SPACIA1/SAAL1 の遺伝子欠損. *整形外科*, 2021;1(72):74.
- 14) 平野貴章. 【いま押さえておきたい 足の疾患 8 アキレス腱断裂、足関節周囲骨折、変形性足関節症 etc】先天性内反足. *整形外科看護*, 2021;26(1):81-83.
- 15) 秋山唯. 【いま押さえておきたい 足の疾患 8 アキレス腱断裂、足関節周囲骨折、変形性足関節症 etc】強剛母趾. *整形外科看護*, 2021;26(1):78-80.
- 16) 軽辺朋子, 仁木久照. 【いま押さえておきたい 足の疾患 8 アキレス腱断裂、足関節周囲骨折、変形性足関節症 etc】外反母趾. *整形外科看護*, 2021;26(1):75-77.
- 17) 三井寛之. 【いま押さえておきたい 足の疾患 8 アキレス腱断裂、足関節周囲骨折、変形性足関節症 etc】変形性足関節症. *整形外科看護*, 2021;26(1):69-71.
- 18) 秋山唯. 【いま押さえておきたい 足の疾患 8 アキレス腱断裂、足関節周囲骨折、変形性足関節症 etc】踵骨骨折. *整形外科看護*, 2021;26(1):66-68.
- 19) 遠藤渉. 【いま押さえておきたい 足の疾患 8 アキレス腱断裂、足関節周囲骨折、変形性足関節症 etc】アキレス腱断裂. *整形外科看護*, 2021;26(1):58-60.
- 20) 鈴木開, 原口直樹. 深める特集 いま押さえておきたい足の疾患 8 足関節周囲骨折. *整形外科看護*, 2021;1(26):61-65.
- 21) 三井寛之, 仁木久照. 日常よくある足疾患-保存治療を含めた治療法-変形性足関節症の診断と治療-. *関節外科*, 2021;40(1):36-44.
- 22) 松下和彦, 長島悟郎, 仁木久照. With コロナ時代の SSI 対策と医療安全. *整形外科最小侵襲手術ジャーナル*, 2021;98:47-52.
- 23) 山本豪明, 内山勝文, 高平尚伸. インプラント破損による人工股関節再置換術. *関節外科 基礎と臨床*, 2021;40(2):55-65.
- 24) 大野真弘, 植原健二, 木城智, 工藤貴章, 大沼弘幸, 仁木久照. 早期変形性膝関節症に対する半月板

修復術の適応と限界. 整形・災害外科, 2021;64(3):313-320.

③ 症例報告

- 1) 大橋優子, 赤澤努, 鳥居良昭, 梅原亮, 飯沼雅央, 仁木久照. 早期胃がん術後 15 年で局所再発を認めず下肢不全麻痺を呈した転移性脊椎腫瘍の 1 例. 東日本整形災害外科学会雑誌, 2020;32(2):216-220.
- 2) 牧侑平, 大沼弘幸, 木城智, 植原健二, 松下和彦, 仁木久照. 超高分子量ポリエチレン製ケーブルのみを用いた膝蓋骨骨折観血的整復固定術の 3 例. 関東整形災害外科学会雑誌, 2020;51(3):206-209.
- 3) 鈴木開, 植原健二, 木城智, 皆川直毅, 大野真弘, 大沼弘幸, 工藤貴章, 仁木久照. 半月板嚢腫に対して関節鏡下嚢腫交通部拡大術および半月板縫合術を施行した 3 例. 関東整形災害外科学会雑誌, 2020;51(3):202-205.
- 4) 遠田七彩, 植原健二, 木城智, 皆川直毅, 大沼弘幸, 長江千愛, 仁木久照. 定期補充療法で止血コントロール下にある血友病 A 患者に前十字靭帯再建術を施行した 1 例. 関東整形災害外科学会雑誌, 2020;51(3):193-196.
- 5) 染村嵩, 松下和彦, 浅野孝太, 嶋崎孝輔, 大野真弘, 仁木久照. 環指 PIP 関節副靭帯の嵌頓によりロッキング様症状を呈した 1 例. 関東整形災害外科学会雑誌, 2020;51(5):377-382.

④ その他

- 1) 仁木久照. 書評『アキレス腱断裂診療ガイドライン 2019 (改訂第 2 版)』. 臨床雑誌 整形外科, 2020;71(7):810.
- 2) 中島久弥, 高木正之, 長宗我部基弘, 松下和彦, 小池淳樹, 仁木久照. 臨床画像上、足指良性小嚢腫性病変と診断された滑膜肉腫の 1 例 画像診断報告書に頼り過ぎてはいけない. 日本整形外科学会雑誌, 2020;94(6):S1516.
- 3) 仁木久照. あとがき. 臨床整形外科, 2020;55(9):1098-1098.

学術論文[英文]

① 原著

- 1) Eguchi Y, Enomoto K, Sato T, Watanabe A, Sakai T, Norimoto M, Yoneyama M, Aoki Y, Suzuki M, Yamanaka H, Tamai H, Kobayashi T, Orita S, Suzuki M, Inage K, Shiga Y, Hirosawa N, Inoue M, Koda M, Furuya T, Nakamura J, Hagiwara S, Akazawa T, Takahashi H, Takahashi K, Ohtori S. Simultaneous MR neurography and apparent T2 mapping of cervical nerve roots before microendoscopic surgery to treat patient with radiculopathy due to cervical disc herniation: preliminary results. *Journal of Clinical Neuroscience*, 2020;74:213-219.
- 2) Haraguchi N, Armiger R. Mechanism of posterior malleolar fracture of the ankle : A cadaveric study. *OTA International*, 2020;3(2): e060-doi: 10.1097/OI9.000000000000060.
- 3) Kotani T, Sakuma T, Nakayama K, Iijima Y, Watanabe K, Isogai N, Akazawa T, Sato K, Asada T, Kishida S, Muramatsu Y, Sasaki Y, Ueno K, Katogi T, Minami S, Inage K, Shiga Y, Ohtori S. Patients majoring in a healthcare field after scoliosis surgery: Comparison with the national census in Japan. *Journal of Orthopaedic Science*, 2020;25(3):394-399.
- 4) Sakai R, Yamamoto T, Uchiyama K, Fukushima K, Takahira N, Yoshida K, Ujihira M. Prediction of Intraoperative Fracture by Hammering Sound Frequency Analysis and Stress Estimation

- during Total Hip Arthroplasty. *J. Biomedical Science and Engineering*, 2020;13(6):113-119.
- 5) Eguchi Y, Orita S, Yamada H, Suzuki M, Yamanaka H, Tamai H, Inage K, Narita M, Shiga Y, Inoue M, Norimoto M, Umimura T, Sato T, Suzuki M, Enomoto K, Koda M, Furuya T, Maki S, Hirosawa N, Aoki Y, Nakamura J, Hagiwara S, Akazawa T, Takahashi H, Takahashi K, Shiko Y, Kawasaki Y, Ohtori S. Pilot study of oblique lumbar interbody fusion using mobile percutaneous pedicle screw and validation by a three-dimensional finite element assessment. *Journal of Clinical Neuroscience*, 2020;76:74-80.
 - 6) Iijima Y, Kotani T, Sakuma T, Nakayama K, Akazawa T, Kishida S, Muramatsu Y, Sasaki Y, Ueno K, Asada T, Sato K, Minami S, Ohtori S. Iijima Y, Kotani T, Sakuma T, Nakayama K, Akazawa T, Kishida S, Muramatsu Y, Sasaki Y, Ueno K, Asada T, Sato K, Minami S, Ohtori S. *Asian Spine Journal*, 2020;14(6):864-871.
 - 7) Sugano M, Nakamura J, Hagiwara S, Suzuki T, Nakajima T, Orita S, Akazawa T, Eguchi Y, Kawasaki Y, Ohtori S. Anatomical course of the lateral femoral cutaneous nerve with special reference to the direct anterior approach to total hip arthroplasty. *Modern Rheumatology*, 2020;30(4):752-757.
 - 8) Inage K, Sainoh T, Fujiyoshi T, Otagiri T, Aoki Y, Inoue M, Eguchi Y, Orita S, Shiga Y, Koda M, Akazawa T, Furuya T, Nakamura J, Takahashi H, Suzuki M, Maki S, Kinoshita H, Norimoto M, Umimura T, Sato T, Sato M, Suzuki M, Enomoto K, Takaoka H, Mizuki N, Hozumi T, Tsuchiya R, Kim G, Mukaihata T, Hishiya T, Ohtori S. Frequency of adverse drug reactions and analgesic effects of mirogabalin during treatment of peripheral neuropathic pain: A retrospective clinical investigation. *Spine Surgery and Related Research*, 2020;4(4):354-357.
 - 9) Eguchi Y, Suzuki M, Yamanaka H, Tamai H, Kobayashi T, Orita S, Narita M, Inage K, Kanamoto H, Abe K, Inoue M, Norimoto M, Umimura T, Sato T, Aoki Y, Watanabe A, Koda M, Furuya T, Nakamura J, Toyone T, Ozawa T, Akazawa T, Takahashi K, Ohtori S. Myovascular preserving open-door laminoplasty for cervical spondylotic myelopathy with mini-plate fixation. *International Journal of Spine Surgery*, 2020;14(4):476-482.
 - 10) Sato T, Eguchi Y, Norimoto M, Inoue M, Enomoto K, Watanabe A, Sakai T, Yoneyama M, Aoki Y, Orita S, Narita M, Inage K, Shiga Y, Umimura T, Sato M, Suzuki M, Takaoka H, Mizuki N, Kim G, Hozumi T, Hirosawa N, Furuya T, Maki S, Nakamura J, Hagiwara S, Koda M, Akazawa T, Takahashi H, Takahashi K, Ohtori S. Diagnosis of lumbar radiculopathy using simultaneous MR neurography and apparent T2 mapping. *Journal of Clinical Neuroscience*, 2020;78:339-346.
 - 11) Okamura M, Saito W, Miyagi M, Shirasawa E, Imura T, Nakazawa T, Mimura Y, Yokozeki Y, Kuroda A, Kawakubo A, Uchida K, Akazawa T, Takaso M, Inoue G. Incidence of unintentional intraoperative hypothermia in pediatric scoliosis surgery and associated preoperative risk factors. *Spine Surgery and Related Research*, 2020;5(3):154-159.
 - 12) Kimura Yusuke, Yamashiro Tsuneo, Saito Yuki, Kitsukawa Kaoru, Niki Hisateru, Mimura Hidefumi. MRI findings of spring ligament injury: association with surgical findings and flatfoot deformity. *Acta Radiologica Open*, 2020;9(12): doi-10.1177/2058460120980145.

- 13) Akazawa T, Kotani T, Sakuma T, Nakayama K, Iijima Y, Torii Y, Inuma M, Kuroya S, Asano K, Ueno J, Yoshida A, Murakami K, Minami S, Orita S, Inage K, Shiga Y, Nakamura J, Inoue G, Miyagi M, Saito W, Eguchi Y, Fujimoto K, Takahashi H, Ohtori S, Niki H. Pulmonary function improves in patients with adolescent idiopathic scoliosis who undergo posterior spinal fusion regardless of thoracoplasty: a mid-term follow-up. *Spine Surgery and Related Research*, 2021;5(1):22-27.
- 14) Takahashi H, Aoki Y, Inoue M, Saito J, Nakajima A, Sonobe M, Akatsu Y, Koyama K, Shiga Y, Inage K, Eguchi Y, Orita S, Maki S, Furuya T, Akazawa T, Abe T, Funayama T, Noguchi H, Miura K, Mataka K, Shibao Y, Eto F, Kono M, Koda M, Yamazaki M, Ohtori S, Nakagawa K. Characteristics of relief and residual low back pain after discectomy in patients with lumbar disc herniation: analysis using a detailed visual analogue scale. *BMC Musculoskeletal Disorders*, 2021;22(1):167.
- 15) Akazawa T, Kuroya S, Kotani T, Sakuma T, Nakayama K, Iijima Y, Torii Y, Inuma M, Asano K, Ueno J, Yoshida A, Murakami K, Minami S, Orita S, Inage K, Shiga Y, Nakamura J, Inoue G, Miyagi M, Saito W, Eguchi Y, Fujimoto K, Takahashi H, Ohtori S, Niki H. Anchor type at upper instrumented vertebra and postoperative shoulder imbalance in patients with Lenke type 1 adolescent idiopathic scoliosis. *European Journal of Orthopaedic Surgery & Traumatology*, 2021;31(2):245-251.
- 16) Saito W, Inoue G, Shirasawa E, Imura T, Nakazawa T, Miyagi M, Kawakubo A, Uchida K, Kotani T, Akazawa T, Takaso M. Limitations of posterior spinal fusion to L5 for flaccid neuromuscular scoliosis focusing on pelvic obliquity. *Spine Deformity*, 2021;9(2):559-565.
- 17) Sakuma T, Kotani T, Akazawa T, Nakayama K, Iijima Y, Shiratani Y, Kishida S, Muramatsu Y, Sasaki Y, Ueno K, Ohtori S, Minami S. Incidence, risk factors, and prevention strategy for proximal junctional kyphosis in adult spinal deformity surgery. *Spine Surgery and Related Research*, 2021;5(2):75-80.
- 18) Machida S, Miyagi M, Saito W, Matsui A, Imura T, Inoue G, Nakazawa T, Shirasawa E, Ikeda S, Kawakubo A, Kuroda A, Yokozeki Y, Miura Y, Uchida K, Akazawa T, Takaso M. Posterior spinal correction and fusion surgery in patients with spinal muscular atrophy-associated scoliosis for whom treatment with Nusinersen was planned. *Spine Surgery and Related Research*, 2021;5(2) : 109-113.
- 19) Yatabe K, Muroi R, Kumai T, Kotani T, Somemura S, Yui N, Murofushi Y, Terawaki F, Kobayashi H, Yudoh K, Sakurai H, Miyano H, Fujiya H. Effects of Different Exercise Conditions on Antioxidant Potential and Mental Assessment. *Sports*, 2021;9(3):36:e1-e8.
- ② 総説又は症例解説
- 1) Orita S, Shiga Y, Inage K, Eguchi Y, Maki S, Furuya T, Aoki Y, Inoue M, Hynes RA, Koda M, Takahashi H, Akazawa T, Nakamura J, Hagiwara S, Inoue G, Miyagi M, Fujibayashi S, Iida T, Kotani Y, Tanaka M, Nakajima T, Ohtori S. Technical and conceptual review on the L5–S1 Oblique Lateral Interbody Fusion Surgery(OLIF51). *Spine Surgery and Related Research*,

2021;5(1):1-9.

③ 症例報告

- 1) Akiyama Y, Takahashi H, Saito J, Aoki Y, Nakajima A, Sonobe M, Akatsu Y, Yamada M, Yanagisawa K, Shiga Y, Inage K, Orita S, Eguchi Y, Maki S, Furuya T, Akazawa T, Koda M, Yamazaki M, Ohtori S, Nakagawa K. Surgical treatment for atlantoaxial rotatory fixation in an adult with spastic torticollis: a case report. *Journal of Clinical Neuroscience*, 2020;75:225-228.
- 2) Yamamoto K, Takahashi H, Saito J, Aoki Y, Nakajima A, Sonobe M, Akatsu Y, Yamada M, Koyama K, Shiga Y, Inage K, Orita S, Eguchi Y, Maki S, Furuya T, Akazawa T, Koda M, Yamazaki M, Ohtori S, Nakagawa K. Surgical treatment for central sleep apnea due to occipitocervical compression myelopathy in a patient with Klippel-Feil syndrome: a case report. *World Neurosurgery*, 2020;141:232-235.
- 3) Takahashi H, Aoki Y, Taniguchi S, Nakajima A, Sonobe M, Akatsu Y, Saito J, Yamada M, Shiga Y, Inage K, Orita S, Eguchi Y, Maki S, Furuya T, Akazawa T, Koda M, Yamazaki M, Ohtori S, Nakagawa K. Delayed surgical site infection after posterior cervical instrumented surgery in a patient with atopic dermatitis: a case report. *Journal of Rural Medicine*, 2020;15(3):124-129.
- 4) Sakamoto T, Takahashi H, Saito J, Matsuzawa Y, Aoki Y, Nakajima A, Sonobe M, Akatsu Y, Yamada M, Akiyama Y, Iwai T, Yanagisawa K, Shiga Y, Inage K, Orita S, Eguchi Y, Maki S, Furuya T, Akazawa T, Koda M, Yamazaki M, Ohtori S, Nakagawa K. Surgical treatment for spinal tuberculosis without elevation of inflammatory biomarkers at the initial visit mimicking spinal metastasis. *Case Reports in Orthopedics*, 2020;2020:8873170.
- 5) Kishiro S, Akazawa T, Torii Y, Ueno J, Umehara T, Inuma M, Asano K, Yoshida A, Uehara K, Kitsukawa K, Ono H, Makizumi R, Ozawa M, Niki H. Recurrent pyogenic spinal infection caused by secondary arterioenteric fistula: A case report. *Interdisciplinary Neurosurgery: Advanced Techniques and Case Management*, 2021;:DOI-10.1016/j.inat.2021.101114.

④ その他

- 1) Akazawa T, Torii Y, Ueno J, Endo A, Niki H. Mobile application for scoliosis screening using a standard 2D digital camera. *Cureus*, 2021;13(3): e13944.

学会発表

① 国内学会

- 1) ◎仁木久照. リウマチ足の診かたと Treat to Target (T2T) 治療戦略. 第134回中部日本整形外科学会災害外科学会・学術集会, 2020.
- 2) ◎吉田篤弘, 赤澤努, 鳥居良昭, 上野純, 梅原亮, 飯沼雅央, 浅野孝太, 秀島貴博, 原口直樹, 仁木久照. 化膿性脊椎炎における終板破壊と椎体間の骨性架橋の関係 -早期手術介入すべき症例とは-. 第49回日本脊椎脊髄病学会学術集会, 2020.
- 3) ◎三井寛之, 平野貴章, 秋山唯, 遠藤渉, 軽辺朋子, 原口直樹, 仁木久照. 年齢別に見た変形性足関節症に生じる変化 - X線とMRIによる検討-. 第93回日本整形外科学会学術総会, 2020.
- 4) ◎松下和彦, 牧侑平, 山本豪明, 鳥居良昭, 仁木久照. PJIに対する抗菌薬の使い方 予防・治療. 第

93 回日本整形外科学会学術総会, 2020.

- 5) ◎秋山唯, 平野貴章, 三井寛之, 遠藤渉, 軽辺朋子, 原口直樹, 仁木久照. 人工距骨を併用した人工足関節置換術 CTAA の治療成績. 第 93 回日本整形外科学会学術総会, 2020.
- 6) ◎三井寛之, 平野貴章, 秋山唯, 遠藤渉, 軽辺朋子, 原口直樹, 仁木久照. 変形性足関節症 MRI による病態解析～足関節アライメントから BME 発生を予測する～. 第 93 回日本整形外科学会学術総会, 2020.
- 7) ◎三井寛之, 平野貴章, 秋山唯, 遠藤渉, 軽辺朋子, 原口直樹, 仁木久照. 人工足関節置換術の適応と限界. 第 93 回日本整形外科学会学術総会, 2020.
- 8) ◎遠藤渉, 平野貴章, 秋山唯, 三井寛之, 軽辺朋子, 原口直樹, 仁木久照. 中足骨短縮症に対する仮骨延長法による MTP 関節裂隙の経時的変化. 第 93 回日本整形外科学会学術総会, 2020.
- 9) ◎仁木久照. 成人期扁平足におけるばね靭帯の評価と修復・再建の意義. 第 93 回日本整形外科学会学術総会, 2020.
- 10) ◎山田浩司, 田中康仁, 土屋弘行, 稲葉裕, 小林直実, 崔賢民, 森井健司, 内山勝文, 井上大輔, 松下和彦. SSI 予防の最前線 国際コンセンサスのわが国での応用. 第 93 回日本整形外科学会学術総会, 2020.
- 11) 正岡利紀, 市村正一, 稲葉裕, 岡敬之, 篠崎智大, 立岩俊之, 松下和彦, 森井健司, 山田浩司, 山本謙吾. SSI 予防の最前線 人工膝・股関節置換術および脊椎インストゥルメンテーションの SSI データベース(JDOS)について. 第 93 回日本整形外科学会学術総会, 2020.
- 12) ◎松下和彦, 山田浩司, 内山勝文, 仁木久照. SSI 予防の最前線 ガイドラインからみた SSI における抗菌薬の使い方. 第 93 回日本整形外科学会学術総会, 2020.
- 13) ◎村上賢一, 西村敏, 寺内昂, 嶋崎孝輔, 小山亮太, 仁木久照. 骨性マレット指に対する石黒法における術後再転位例の検討. 第 93 回日本整形外科学会学術総会, 2020.
- 14) ◎村上賢一, 西村敏, 寺内昂, 嶋崎孝輔, 小山亮太, 仁木久照. 小児モンテジア骨折の治療成績不良例の検討. 第 93 回日本整形外科学会学術総会, 2020.
- 15) ◎田崎正和, 平野貴章, 秋山唯, 三井寛之, 遠藤渉, 軽辺朋子, 原口直樹, 仁木久照. 底側踵立方靭帯の解剖学的特徴からみた各種外側支柱延長術の変形矯正メカニズムの違い. 第 93 回日本整形外科学会学術総会, 2020.
- 16) ◎平野貴章, 秋山唯, 三井寛之, 遠藤渉, 軽辺朋子, 原口直樹, 仁木久照. 外反母趾における基節骨の回旋が種子骨偏位に及ぼす影響. 第 93 回日本整形外科学会学術総会, 2020.
- 17) ◎平野貴章, 秋山唯, 三井寛之, 遠藤渉, 軽辺朋子, 原口直樹, 仁木久照. Lapidus 変法の適応と問題点. 第 93 回日本整形外科学会学術総会, 2020.
- 18) ◎寺内昂, 村上賢一, 嶋崎孝輔, 小山亮太, 内藤利仁, 武居功, 新井猛, 仁木久照. Pucker sign を伴う小児上腕骨顆上骨折は神経障害の合併率が高い. 第 93 回日本整形外科学会学術総会, 2020.
- 19) ◎田崎正和, 平野貴章, 秋山唯, 三井寛之, 遠藤渉, 軽辺朋子, 原口直樹, 仁木久照. 可撓性外反扁平足に対する外側支柱延長術は立方骨でも可能である. 第 93 回日本整形外科学会学術総会, 2020.
- 20) ◎仁木久照. 日常診療で知っておきたい足部スポーツ傷害 up-to-date. 第 93 回日本整形外科学会学術総会, 2020.
- 21) ◎吉田篤弘, 赤澤努, 鳥居良昭, 上野純, 梅原亮, 飯沼雅央, 浅野孝太, 秀島貴博, 原口直樹, 仁木

- 久照. 化膿性脊椎炎における終板破壊と椎体間の骨性架橋の関係—早期手術介入すべき症例とは—. 第 93 回日本整形外科学会学術総会, 2020.
- 22) ◎新井猛, 仁木久照. 上腕骨外側上顆炎診療ガイドライン 改訂第 2 版の概要とその活用. 第 93 回日本整形外科学会学術総会, 2020.
- 23) ◎遠藤亜沙子, 山本豪明, 小泉英樹, 仁木久照. 新生児検診における異常率に性差はあるか. 第 93 回日本整形外科学会学術総会, 2020.
- 24) ◎遠藤渉, 平野貴章, 秋山唯, 三井寛之, 軽辺朋子, 佐藤健太郎, 金澤実, 仁木久照. 初期臨床研修からみた一次急患センターでの整形外科診療. 第 93 回日本整形外科学会学術総会, 2020.
- 25) ◎飯沼雅央, 赤澤努, 鳥居良昭, 上野純, 梅原亮, 浅野孝太, 黒屋進吾, 吉田篤弘, 友近顕, 仁木久照. 改訂版徳橋スコアの手術症例における生命予後決定因子の検討～骨転移・脊椎転移数は生命予後に影響しない～. 第 93 回日本整形外科学会学術総会, 2020.
- 26) ◎原口直樹. 足関節と足部骨折の病態. 第 93 回日本整形外科学会学術総会, 2020.
- 27) ◎大橋優子, 植原健二, 平野貴章, 秋山唯, 新井猛, 長江千愛, 仁木久照. 血友病患者に対する関節鏡視下滑膜切除術の臨床的・経済的効果. 第 93 回日本整形外科学会学術総会, 2020.
- 28) ◎木城智, 植原健二, 皆川直毅, 大野真弘, 大沼弘幸, 工藤貴章, 仁木久照. 膝前十字靭帯再建術後の脚伸展筋力が臨床成績に与える影響. 第 93 回日本整形外科学会学術総会, 2020.
- 29) ◎小林哲士, 植原健二, 木城智, 皆川直毅, 鈴木智裕, 小倉裕司, 黒坂光寿, 後藤勝正, 仁木久照. ACL 断裂症例の早期スポーツ復帰に向けて(第 7 報)-筋線維タイプからみた男女別の至適な手術日-. 第 93 回日本整形外科学会学術総会, 2020.
- 30) ◎木城智, 植原健二, 皆川直毅, 大野真弘, 大沼弘幸, 工藤貴章, 仁木久照. 脛骨内側顆脆弱性骨折における補助診断の検討. 第 93 回日本整形外科学会学術総会, 2020.
- 31) ◎飯沼雅央, 赤澤努, 鳥居良昭, 上野純, 梅原亮, 浅野孝太, 黒屋進吾, 吉田篤弘, 友近顕, 仁木久照. 転移性脊椎腫瘍に対する手術症例の改訂版徳橋スコアの正確性-がん治療の進歩を踏まえたスコアの最適化の試み-. 第 93 回日本整形外科学会学術総会, 2020.
- 32) ◎植原健二, 木城智, 大沼弘幸, 皆川直毅, 大野真弘, 工藤貴章, 葛西亨, 仁木久照. 内側半月板逸脱率は水平および複合変性断裂に対する inside-out 法の予後予測因子となる. 第 93 回日本整形外科学会学術総会, 2020.
- 33) ◎中山敬太, 小谷俊明, 飯島靖, 佐久間毅, 赤澤努, 山崎正志, 南昌平. Fulcrum backward bending は成人脊柱変形術後の lumbar lordosis を予測することはできるか. 第 93 回日本整形外科学会学術総会, 2020.
- 34) ◎原口直樹, 市川翔太, 仁木久照, 平野貴章, 秋山唯, 三井寛之, 遠藤渉, 軽辺朋子, 太田光紀, 尾関琢磨. CT 画像で骨折を認める Lisfranc 関節損傷は骨折のないものに比べ重症度が高い. 第 93 回日本整形外科学会学術総会, 2020.
- 35) ◎中山敬太, 小谷俊明, 飯島靖, 佐久間毅, 岸田俊二, 赤澤努, 山崎正志, 南昌平. 人工股関節手術後に行った, 成人脊柱変形手術の術後成績. 第 93 回日本整形外科学会学術総会, 2020.
- 36) ◎赤澤努, 黒屋進吾, 小谷俊明, 佐久間毅, 中山敬太, 飯沼雅央, 鳥居良昭, 上野純, 折田純久, 志賀康浩, 大鳥精司, 仁木久照. 思春期特発性側弯症における上位固定端のアンカーが術後肩バランス不良に及ぼす影響-術後 5 年以上での経過-. 第 93 回日本整形外科学会学術総会, 2020.

- 37) ◎赤澤努, 小谷俊明, 佐久間毅, 中山敬太, 飯沼雅央, 黒屋進吾, 梅原亮, 鳥居良昭, 折田純久, 志賀康浩, 大鳥精司, 仁木久照. 思春期特発性側弯症手術における胸郭変形矯正の CT 評価-胸郭形成術は本当に胸郭変形を改善しているのか?- 第 93 回日本整形外科学会学術総会, 2020.
- 38) ◎赤澤努, 小谷俊明, 佐久間毅, 中山敬太, 黒屋進吾, 飯沼雅央, 鳥居良昭, 上野純, 折田純久, 志賀康浩, 大鳥精司, 仁木久照. 思春期特発性側弯症に対する後方矯正固定術後の肺活量、1 秒量、呼気流量の変化 -5 年以上での経過-. 第 93 回日本整形外科学会学術総会, 2020.
- 39) ◎原口直樹, 熊井隆智, 仁木久照, 平野貴章, 秋山唯, 三井寛之, 遠藤渉, 軽辺朋子, 太田光紀, 尾関琢磨. 距骨骨軟骨傷害に対する骨軟骨移植術の治療成績-内固定術との比較-. 第 93 回日本整形外科学会学術総会, 2020.
- 40) ◎原口直樹, 市川翔太, 熊井隆智, 白土崇輝, 仁木久照, 平野貴章, 秋山唯, 三井寛之, 太田光紀, 尾関琢磨, 儀部正樹. 後足部の機能軸評価. 第 93 回日本整形外科学会学術総会, 2020.
- 41) ◎大沼弘幸, 植原健二, 木城智, 皆川直毅, 大野真弘, 工藤貴章, 仁木久照. 3D-CT 評価による高位脛骨骨切り術前後の下腿回旋アライメントの変化. 第 93 回日本整形外科学会学術総会, 2020.
- 42) ◎鳥居良昭, 松下和彦, 赤澤努, 梅原亮, 飯沼雅央, 仁木久照. 手術部位感染の侵入経路-上気道粘膜からの内因性感染-. 第 93 回日本整形外科学会学術総会, 2020.
- 43) ◎大野真弘, 植原健二, 木城智, 皆川直毅, 工藤貴章, 葛西亨, 大沼弘幸, 仁木久照. 変形性関節症と半月板. 第 60 回関東整形災害外科学会, 2020.
- 44) ◎吉田篤弘, 赤澤努, 鳥居良昭, 上野純, 梅原亮, 飯沼雅央, 浅野孝太, 原口直樹, 梅原亮. 化膿性脊椎炎における早期手術介入すべき症例とは?-終板破壊と椎体間の骨性架橋の関係-. 第 60 回関東整形災害外科学会, 2020.
- 45) ◎飯沼雅央, 赤澤努, 鳥居良昭, 上野純, 梅原亮, 浅野孝太, 黒屋進吾, 吉田篤弘, 友近顕, 仁木久照. 解剖学的指標を用いた S2 alar iliac screw の新たな刺入方法. 第 10 回日本成人脊柱変形学会, 2020.
- 46) ◎飯沼雅央, 赤澤努, 鳥居良昭, 上野純, 梅原亮, 浅野孝太, 黒屋進吾, 吉田篤弘, 友近顕, 仁木久照. 胸腰移行部後弯と後弯矯正は高腓アミラーゼ血症のリスクとなる-成人脊椎手術例での検討-. 第 10 回日本成人脊柱変形学会, 2020.
- 47) ◎仁木久照. 足部再建手術とリハビリテーション治療. 第 57 回日本リハビリテーション医学会学術集会, 2020.
- 48) ◎秀島貴博, 赤澤努, 鳥居良昭, 上野純, 浅野孝太, 飯沼雅央, 吉田篤弘, 仁木久照. 側弯症手術においてトラネキサム酸の使用は総出血量を減少させ自己血貯血量を減少させる. 第 60 回関東整形災害外科学会, 2020.
- 49) ◎鈴木開, 植原健二, 木城智, 皆川直毅, 大野真弘, 大沼弘幸, 工藤貴章, 仁木久照. 半月板嚢腫に対して関節鏡下嚢腫交通部拡大術および半月板縫合術を施行した 3 例. 第 60 回関東整形災害外科学会, 2020.
- 50) ◎遠田七彩, 植原健二, 木城智, 皆川直毅, 大沼弘幸, 長江千愛, 仁木久照. 定期補充療法で止血コントロール下にある血友病 A 患者に前十字靭帯再建術を施行した 1 例. 第 60 回関東整形災害外科学会, 2020.
- 51) ◎嶋崎孝輔, 村上賢一, 小山亮太, 西村敏, 寺内昂, 染村嵩, 仁木久照. 高齢者橈骨遠位端骨折に合

- 併した尺骨遠位端骨折の内固定の必要性について. 第 60 回関東整形災害外科学会, 2020.
- 52) ◎尾崎裕亮, 松下和彦, 友近顕, 工藤貴章, 小野瀬喜道, 黒屋進吾, 石森光一, 大沼弘幸, 仁木久照. 指伸筋腱脱臼の MRI 所見と手術所見. 第 60 回関東整形災害外科学会, 2020.
- 53) ◎山本豪明, 小泉英樹, 遠藤亜沙子, 葛西亨, 小谷貴史, 牧侑平, 仁木久照. 不安定型大腿骨転子部骨折に対する当科の治療戦略—wiring の効果を検証する—. 第 60 回関東整形災害外科学会, 2020.
- 54) ◎原口直樹. 後期研修医が知っておくべき果部骨折の基礎知識. 第 60 回関東整形災害外科学会, 2020.
- 55) ◎軽辺朋子, 平野貴章, 秋山唯, 三井寛之, 遠藤渉, 原口直樹, 仁木久照. 中足骨近位短縮骨切り組み合わせ手術 (CMOS) 術後の足長は変化しない. 第 34 回日本靴医学会学術集会, 2020.
- 56) ◎秋山唯, 平野貴章, 三井寛之, 遠藤渉, 軽辺朋子, 仁木久照. 変形性足関節症の治療成績・装具療法と人工足関節置換術の使い分け. 第 34 回日本靴医学会学術集会, 2020.
- 57) ◎秀島貴博, 赤澤努, 鳥居良昭, 上野純, 浅野孝太, 飯沼雅央, 吉田篤弘, 仁木久照. 思春期特発性側弯症手術における適切な術前自己血貯血量—トラネキサム酸は総出血量・自己血必要量を減少させる—. 第 49 回日本脊椎脊髄病学会学術集会, 2020.
- 58) ◎飯沼雅央, 赤澤努, 鳥居良昭, 上野純, 梅原亮, 浅野孝太, 黒屋進吾, 吉田篤弘, 友近顕, 秀島貴博, 仁木久照. 手術症例におけるがん治療の進歩を踏まえた改訂版徳橋スコアの最適化の試み—新たな予後予測基準—. 第 49 回日本脊椎脊髄病学会学術集会, 2020.
- 59) ◎赤澤努, 小谷俊明, 佐久間毅, 中山敬太, 黒屋進吾, 飯沼雅央, 鳥居良昭, 上野純, 吉田篤弘, 折田純久, 志賀康浩, 稲毛一秀, 大鳥精司, 仁木久照. 思春期特発性側弯症に対する後方矯正固定術後の肺活量、1 秒量、呼気流量. 第 49 回日本脊椎脊髄病学会学術集会, 2020.
- 60) ◎平野貴章, 秋山唯, 三井寛之, 遠藤渉, 軽辺朋子, 仁木久照. 外反母趾手術再発予防に関する新しい指標. 第 34 回日本靴医学会学術集会, 2020.
- 61) ◎三井寛之, 平野貴章, 秋山唯, 遠藤渉, 軽辺朋子, 原口直樹, 仁木久照. 変形性足関節症の MRI による病態解析～足関節アライメントと BME 発生の関係～. 第 34 回日本靴医学会学術集会, 2020.
- 62) ◎遠藤渉, 平野貴章, 秋山唯, 三井寛之, 軽辺朋子, 原口直樹, 仁木久照. 中足骨短縮症の術前自己評価・自己記入式足部足関節評価を用いて. 第 34 回日本靴医学会学術集会, 2020.
- 63) ◎平野貴章, 秋山唯, 三井寛之, 遠藤渉, 軽辺朋子, 仁木久照. 扁平足治療における足底挿板の限界と有用性. 第 34 回日本靴医学会学術集会, 2020.
- 64) ◎鈴木開, 秋山唯, 平野貴章, 三井寛之, 遠藤渉, 軽辺朋子, 原口直樹, 橘川薫, 長宗我部基弘, 高木正之, 中島久弥, 仁木久照. 足関節炎で診断された距骨頸部に発生した骨膜下類骨骨腫の 1 例. 第 53 回日本整形外科学会骨・軟部腫瘍学術集会, 2020.
- 65) ◎飯沼雅央, 赤澤努, 鳥居良昭, 上野純, 梅原亮, 浅野孝太, 黒屋進吾, 吉田篤弘, 友近顕, 秀島貴博, 仁木久照. 転移性脊椎腫瘍における徳橋スコア, Linden スコア, Bauer スコア, 片桐スコアは近年においても有用か?. 第 53 回日本整形外科学会骨・軟部腫瘍学術集会, 2020.
- 66) ◎本鍋田由美子, 松下和彦, 田中拓, 大熊克彰, 安藤歩, 桐生久美子, 池谷真実, 長島梧郎. 当院事例の対応から見えた課題—産科外来癌クリニックでの病理検体取り違え事例から—. 第 18 回日本臨床医学リスクマネジメント 学会学術集会, 2020.
- 67) ◎アニン祥子, 新谷亮, 松下和彦, 長島梧郎. 急性期病床から COVID-19 専門病床への変換—ある

地域中核病院の対策例一. 第 18 回日本臨床医学リスクマネジメント 学会学術集会, 2020.

- 68) ◎松下和彦, 山田浩司, 鳥居良昭, 仁木久照. 整形外科における術後感染予防抗菌薬の適正使用. 第 68 回日本化学療法学会総会, 2020.
- 69) ◎大橋優子, 植原健二, 平野貴章, 秋山唯, 新井猛, 長江千愛, 仁木久照. inhibitor を有する血友病患者に対する関節鏡視下滑膜切除の経済的効果の検討. 第 35 回日本整形外科学会基礎学術集会, 2020.
- 70) ◎嶋崎孝輔, 有戸光美, 黒川真奈絵, 佐藤政秋, 表山和樹, 佐藤利行, 末松直也, 加藤智啓, 仁木久照. プロテオミクス法を用いた、ヒト滑膜線維芽細胞株におけるライリンの機能解析. 第 35 回日本整形外科学会基礎学術集会, 2020.
- 71) ◎飯沼雅央, 赤澤努, 鳥居良昭, 上野純, 梅原亮, 浅野孝太, 黒屋進吾, 吉田篤弘, 友近顕, 秀島貴博, 仁木久照. 転移性脊椎腫瘍に対する手術患者の 6 ヶ月生存率は原発巣の種類と臓器転移で決まる. 第 69 回東日本整形災害外科学会, 2020.
- 72) ◎吉田篤弘, 赤澤努, 鳥居良昭, 上野純, 梅原亮, 飯沼雅央, 浅野孝太, 秀島貴博, 葛西亨, 原口直樹, 仁木久照. 化膿性脊椎炎における椎体間骨性架橋形成と因子: 早期に手術介入すべき症例とは?. 第 69 回東日本整形災害外科学会, 2020.
- 73) ◎西澤一, 山本豪明, 小泉英樹, 葛西亨, 遠藤亜沙子, 熊井隆智, 仁木久照. インプラント温存が可能であった人工股関節全置換術後の SSI の 2 例. 第 69 回東日本整形災害外科学会, 2020.
- 74) ◎嶋崎孝輔, 村上賢一, 小山亮太, 寺内昂, 染村嵩, 遠田七彩, 仁木久照. 高齢者の撓骨遠位端骨折に合併した尺骨遠位端骨折の内固定術は必要であるか?. 第 69 回東日本整形災害外科学会, 2020.
- 75) ◎原口直樹, 武居功, 梅原亮, 小山亮太, 浅野孝太, 小谷貴史, 鈴木開, 竹本昌紘, 仁木久照, 平野貴章, 秋山唯, 三井寛之, 太田光紀, 尾関拓磨. 距骨骨軟骨傷害に対する骨軟骨移植の治療成績: 骨釘固定との比較と骨軟骨採取部の遺残症状. 第 69 回東日本整形災害外科学会, 2020.
- 76) ◎木村聡美, 平野貴章, 秋山唯, 三井寛之, 遠藤渉, 軽辺朋子, 大橋優子, 原口直樹, 仁木久照. バドミントンで受傷した両足 Lisfranc 靭帯損傷の長期治療成績. 第 69 回東日本整形災害外科学会, 2020.
- 77) ◎大橋優子, 平野貴章, 秋山唯, 三井寛之, 遠藤渉, 軽辺朋子, 原口直樹, 仁木久照. 腓骨筋腱脱臼に腱溝形成は必要ない. 第 69 回東日本整形災害外科学会, 2020.
- 78) ◎赤澤努, 小谷俊明, 佐久間毅, 中山敬太, 黒屋進吾, 飯沼雅央, 鳥居良昭, 上野純, 吉田篤弘, 折田純久, 志賀康浩, 稲毛一秀, 大鳥精司, 仁木久照. Harrington instrumentation 術後 25 年以上経過した思春期特発性側弯症の脊椎アライメント変化が椎間板変性に及ぼす影響. 第 69 回東日本整形災害外科学会, 2020.
- 79) ◎井上玄, 井村貴之, 小谷俊明, 飯島靖, 佐久間毅, 中山敬太, 赤澤努, 遠藤亜沙子, 鳥居良昭, 稲毛一秀, 大鳥精司, 高相晶士. スマートフォンを用いた思春期特発性側弯症スクリーニングアプリ開発の試み. 第 69 回東日本整形災害外科学会, 2020.
- 80) ◎花田陵, 松下和彦, 大沼弘幸, 石森光一, 黒屋進吾, 友近顕, 加納洋輔. 母指 CM 関節固定術後に長母指屈筋腱が断裂した一例. 第 69 回東日本整形災害外科学会, 2020.
- 81) ◎軽辺朋子, 平野貴章, 秋山唯, 三井寛之, 遠藤渉, 大橋優子, 原口直樹, 仁木久照. 活動的な高齢外反母趾患者には手術療法を勧めるべきである. 第 69 回東日本整形災害外科学会, 2020.

- 82) ◎大野真弘, 植原健二, 木城智, 工藤貴章, 葛西亨, 皆川直樹, 大沼弘幸, 仁木久照. 前十字靱帯再建術後早期に生じた有症状膝蓋大腿関節障害と膝伸展筋力との関連. 第 69 回東日本整形災害外科学会, 2020.
- 83) ◎武居功, 原口直樹, 仁木久照. 膝蓋骨骨折の観血的整復固定術はタニケットを使用せずに開始してみるべきである. 第 69 回東日本整形災害外科学会, 2020.
- 84) ◎鈴木開, 三井寛之, 平野貴章, 秋山唯, 遠藤渉, 軽辺朋子, 原口直樹, 仁木久照. 変形性足関節症 240 足における病期と足部アライメントの関係. 第 35 回日本整形外科学会基礎学術集会, 2020.
- 85) ◎植原健二, 木城智, 大沼弘幸, 皆川直毅, 大野真弘, 工藤貴章, 葛西亨, 仁木久照. 内側半月板損傷に対する修復術後に joint line convergence angle は変化しない. 第 35 回日本整形外科学会基礎学術集会, 2020.
- 86) 友近顕, 赤澤努, 梅原亮, 飯沼雅央, 仁木久照, 有光なぎさ, 廣津千恵子, 高井憲治, 村山正承, 清水潤, 鈴木登. 全切断脊髄損傷モデルへの人工神経導管併用神経幹細胞移植の治療効果. 第 35 回日本整形外科学会基礎学術集会, 2020.
- 87) ◎村上賢一, 西村敏, 寺内昂, 嶋崎孝輔, 小山亮太, 新井猛, 松下和彦, 仁木久照. 骨性マレット指に対する extension block pin を用いない DIP 関節伸展位固定法の治療成績. 第 35 回日本整形外科学会基礎学術集会, 2020.
- 88) ◎田崎正和, 平野貴章, 秋山唯, 三井寛之, 遠藤渉, 軽辺朋子, 原口直樹, 仁木久照. 可撓性外反扁平足に対する外側支柱延長術は立方骨でも可能である. 第 35 回日本整形外科学会基礎学術集会, 2020.
- 89) ◎田崎正和, 平野貴章, 秋山唯, 三井寛之, 遠藤渉, 軽辺朋子, 原口直樹, 仁木久照. 底側踵立方靱帯の解剖学的特徴からみた各種外側支柱延長術の変形矯正メカニズムの違い. 第 35 回日本整形外科学会基礎学術集会, 2020.
- 90) ◎三井寛之, 平野貴章, 秋山唯, 遠藤渉, 軽辺朋子, 鈴木開, 原口直樹, 仁木久照. 変形性足関節症の MRI による病態解析(第 7 報)~距骨後方に巨大な骨棘が生じる症例の特徴~. 第 35 回日本整形外科学会基礎学術集会, 2020.
- 91) ◎藤井亮爾, 小松梨恵, 仁木久照, 遊道和雄. TNF α 誘導性リウマチ滑膜線維芽細胞におけるサイクリン D キナーゼの発現と細胞増殖に関する検討. 第 35 回日本整形外科学会基礎学術集会, 2020.
- 92) ◎小松梨恵, 仁木久照, 遊道和雄, 藤井亮爾. コラーゲン誘導関節炎モデルマウスにおける CDK6 阻害剤の関節炎抑制効果. 第 35 回日本整形外科学会基礎学術集会, 2020.
- 93) ◎佐藤健太郎, 平野貴章, 遠藤渉, 飯沼雅央, 金澤実, 仁木久照. 整形外科緊急手術における入室遅延の律速因子は?. 第 35 回日本整形外科学会基礎学術集会, 2020.
- 94) ◎平野貴章, 秋山唯, 三井寛之, 遠藤渉, 軽辺朋子, 仁木久照. 第 1 楔状骨-第 2 楔状骨骨間靱帯の解剖学的特徴. 第 35 回日本整形外科学会基礎学術集会, 2020.
- 95) ◎平野貴章, 秋山唯, 三井寛之, 遠藤渉, 軽辺朋子, 仁木久照. 軟部組織バランスが外反母趾変形に及ぼす影響-SM2 角は外反母趾手術の至適矯正の目安になる-. 第 35 回日本整形外科学会基礎学術集会, 2020.
- 96) ◎平野貴章, 秋山唯, 三井寛之, 遠藤渉, 軽辺朋子, 仁木久照. Lisfranc 関節損傷の診断に超音波診断は有用である. 第 35 回日本整形外科学会基礎学術集会, 2020.

- 97) ◎山本豪明, 小泉英樹, 遠藤亜沙子, 加納洋輔, 仁木久照. 初回人工股関節全置換術の術後出血を規定因子は手術時間とダブルフロアの厚さである. 第 35 回日本整形外科学会基礎学術集会, 2020.
- 98) ◎秋山唯, 平野貴章, 三井寛之, 遠藤渉, 軽辺朋子, 原口直樹, 平田和明, 仁木久照. PAIS における骨性および軟部組織インピンジメントの新たな解剖学的知見. 第 35 回日本整形外科学会基礎学術集会, 2020.
- 99) ◎三井寛之, 平野貴章, 秋山唯, 遠藤渉, 軽辺朋子, 鈴木開, 原口直樹, 仁木久照. 変形性足関節症の MRI による病態解析(第 5 報)~距骨前方変位からみた BME の発生様式~. 第 35 回日本整形外科学会基礎学術集会, 2020.
- 100) ◎三井寛之, 平野貴章, 秋山唯, 遠藤渉, 軽辺朋子, 鈴木開, 原口直樹, 仁木久照. 変形性足関節症の MRI による病態解析(第 8 報)~距骨内反による BME 発生様式の変化~. 第 35 回日本整形外科学会基礎学術集会, 2020.
- 101) ◎平野貴章, 秋山唯, 三井寛之, 遠藤渉, 軽辺朋子, 仁木久照. 重度足部足関節変形を伴う Charcot 関節症に対し内固定材に Ilizarov 創外固定の併用は骨癒合を短縮できるか?. 第 35 回日本整形外科学会基礎学術集会, 2020.
- 102) ◎三井寛之, 平野貴章, 秋山唯, 遠藤渉, 軽辺朋子, 鈴木開, 原口直樹, 仁木久照. 変形性足関節症の MRI による病態解析(第 6 報)~距骨下関節の BME は X 線学的病期分類の重症度と関連するか? ~. 第 35 回日本整形外科学会基礎学術集会, 2020.
- 103) ◎小林哲士, 植原健二, 木城智, 皆川直毅, 鈴木智裕, 小倉裕司, 黒坂光寿, 後藤勝正, 仁木久照. ACL 断裂症例の早期スポーツ復帰に向けて(第 8 報)-筋線維タイプの違いによる筋力回復の特徴-. 第 35 回日本整形外科学会基礎学術集会, 2020.
- 104) ◎遠藤渉, 平野貴章, 秋山唯, 三井寛之, 軽辺朋子, 原口直樹, 仁木久照. 人工足関節全置換術後の深部静脈血栓症の発生率. 第 35 回日本整形外科学会基礎学術集会, 2020.
- 105) ◎熊井隆智, 遊道和雄, 染村嵩, 谷田部かなか, 小谷貴史, 仁木久照, 藤谷博人. 骨芽細胞における光感受応答機構の解明と光刺激による骨形成能の誘導. 第 35 回日本整形外科学会基礎学術集会, 2020.
- 106) ◎飯沼雅央, 赤澤努, 鳥居良昭, 上野純, 梅原亮, 浅野孝太, 黒屋進吾, 吉田篤弘, 友近顕, 仁木久照. 胸腰移行部の前弯化および術後後弯の残存は術後高腓アミラーゼ血症のリスクとなる. 第 35 回日本整形外科学会基礎学術集会, 2020.
- 107) ◎三井寛之, 平野貴章, 秋山唯, 遠藤渉, 軽辺朋子, 鈴木開, 原口直樹, 仁木久照. 変形性足関節症の MRI 所見と臨床症状には関連がある(第 3 報)~SAFE-Q と BME 所見の比較~. 第 35 回日本整形外科学会基礎学術集会, 2020.
- 108) ◎遠藤渉, 平野貴章, 秋山唯, 三井寛之, 軽辺朋子, 佐藤健太郎, 金澤実, 仁木久照. 初期臨床研修における整形外科研修は一次急患センターでの経験するべき兆候と疾患に影響するか. 第 35 回日本整形外科学会基礎学術集会, 2020.
- 109) ◎赤澤努, 小谷俊明, 佐久間毅, 南昌平, 鳥居良昭, 上野純, 飯沼雅央, 浅野孝太, 大鳥精司, 仁木久照. 腰部脊柱管狭窄症に対する棘突起間スパーサーは長期に効果的か?. 第 35 回日本整形外科学会基礎学術集会, 2020.
- 110) ◎原口直樹, 武居功, 梅原亮, 小山亮太, 浅野孝太, 小谷貴史, 鈴木開, 竹本昌紘, 仁木久照, 平野

- 貴章, 秋山唯, 三井寛之, 太田光紀, 尾関拓磨. 変形性膝関節症および足関節症における下肢アライメントと足関節荷重点の関係. 第 35 回日本整形外科学会基礎学術集会, 2020.
- 111) ◎軽辺朋子, 平野貴章, 秋山唯, 三井寛之, 遠藤渉, 大橋優子, 原口直樹, 仁木久照. 外反母趾手術に Akin 法の追加が必要かどうかは術前の趾節間外反母趾角からは予測できない. 第 35 回日本整形外科学会基礎学術集会, 2020.
- 112) ◎飯沼雅央, 赤澤努, 鳥居良昭, 上野純, 梅原亮, 浅野孝太, 黒屋進吾, 吉田篤弘, 友近顕, 秀島貴博, 仁木久照. 転移性脊椎腫瘍に対する手術患者の 6 か月生存に影響を与える因子は原発巣の種類と臓器転移である. 第 35 回日本整形外科学会基礎学術集会, 2020.
- 113) ◎染村嵩, 遊道和雄, 熊井隆智, 谷田部かなか, 佐々木千鶴子, 藤谷博人, 仁木久照. 三次元培養下における骨芽細胞と軟骨細胞の力学的ストレス応答能の比較解析. 第 35 回日本整形外科学会基礎学術集会, 2020.
- 114) ◎赤澤努, 梅原亮, 飯沼雅央, 浅野孝太, 小谷俊明, 佐久間毅, 鳥居良昭, 黒屋進吾, 折田純久, 大鳥精司, 仁木久照. 思春期特発性側弯症において遺残する腰椎カーブのアライメントが椎間板変性におよぼす影響. 第 35 回日本整形外科学会基礎学術集会, 2020.
- 115) ◎染村嵩, 遊道和雄, 熊井隆智, 谷田部かなか, 佐々木千鶴子, 藤谷博人, 仁木久照. 骨芽細胞の力学的ストレス応答と細胞エネルギー代謝調節機構との関連. 第 35 回日本整形外科学会基礎学術集会, 2020.
- 116) ◎山本豪明, 小泉英樹, 葛西亨, 遠藤亜沙子, 加納洋輔, 仁木久照. 原臼位に設置されたセメントレスカップを Line to Line 法で安全に設置するために必要な screw の位置と長さの解剖学的検討. 第 35 回日本整形外科学会基礎学術集会, 2020.
- 117) ◎鳥居良昭, 松下和彦, 仁木久照. 整形外科手術部位感染原因菌の侵入経路. 第 35 回日本整形外科学会基礎学術集会, 2020.
- 118) ◎牧侑平, 松下和彦, 宮本豊一, 仁木久照. MRSA に対する高濃度ゲンタマイシンの有効性の検討. 第 35 回日本整形外科学会基礎学術集会, 2020.
- 119) ◎赤澤努, 黒屋進吾, 小谷俊明, 佐久間毅, 中山敬太, 飯島靖, 飯沼雅央, 鳥居良昭, 上野純, 大鳥精司, 仁木久照. 思春期特発性側弯症において上位固定端のフックは術後肩バランス不良を調節する. 第 35 回日本整形外科学会基礎学術集会, 2020.
- 120) ◎葛西亨, 秋山唯, 平野貴章, 三井寛之, 遠藤渉, 軽辺朋子, 原口直樹, 松下和彦, 仁木久照. ブラシ洗浄とクロルヘキシジン消毒は足趾における SSI 発生を抑制する. 第 35 回日本整形外科学会基礎学術集会, 2020.
- 121) ◎吉田篤弘, 赤澤努, 鳥居良昭, 上野純, 梅原亮, 飯沼雅央, 浅野孝太, 秀島貴博, 原口直樹, 仁木久照. 化膿性脊椎炎における椎体間骨性架橋の形成と因子. 第 35 回日本整形外科学会基礎学術集会, 2020.
- 122) ◎大野真弘, 植原健二, 木城智, 工藤貴章, 皆川直樹, 大沼弘幸, 仁木久照. 内側半月板後根断裂に対する修復術の変形性関節症予防効果の限界. 第 35 回日本整形外科学会基礎学術集会, 2020.
- 123) ◎山本豪明, 小泉英樹, 葛西亨, 遠藤亜沙子, 仁木久照. 人工股関節全置換術における line to line technique によるセメントレスカップの初期固定力の検討-解剖屍体による研究. 第 35 回日本整形外科学会基礎学術集会, 2020.

- 124) ◎村上賢一, 松浦佑介, 國吉一樹, 西村敏, 寺内昂, 嶋崎孝輔, 小山亮太, 仁木久照. 橈骨遠位端骨折に対するセメント固定術後の骨内応力の変化-CT/有限要素解析を用いた検討-. 第 35 回日本整形外科学会基礎学術集会, 2020.
- 125) ◎飯沼雅央, 赤澤努, 鳥居良昭, 上野純, 梅原亮, 浅野孝太, 黒屋進吾, 吉田篤弘, 友近颯, 秀島貴博, 仁木久照. 転移性脊椎腫瘍手術例に対する徳橋スコア、Linden スコア、Bauer スコア、片桐スコアの近年での有効性. 第 35 回日本整形外科学会基礎学術集会, 2020.
- 126) ◎原口直樹, 武居功, 梅原亮, 小山亮太, 浅野孝太, 小谷貴史, 鈴木開, 竹本昌紘, 仁木久照, 平野貴章, 秋山唯, 三井寛之, 遠藤渉, 軽辺朋子, 吉田学誉, 蔦谷淳. 変形性足関節症における距骨下関節軟骨の T1 ρ 緩和時間. 第 35 回日本整形外科学会基礎学術集会, 2020.
- 127) ◎植原健二, 木城智, 大沼弘幸, 皆川直毅, 大野真弘, 工藤貴章, 葛西亨, 仁木久照. 内側半月板損傷における生理的脛骨内旋の減少と膝窩筋への影響. 第 35 回日本整形外科学会基礎学術集会, 2020.
- 128) ◎木城智, 植原健二, 皆川直毅, 大野真弘, 工藤貴章, 大沼弘幸, 仁木久照. 脛骨内側顆脆弱性骨折における発生予測因子の検討. 第 35 回日本整形外科学会基礎学術集会, 2020.
- 129) ◎大沼弘幸, 植原健二, 木城智, 皆川直毅, 大野真弘, 工藤貴章, 仁木久照. CT 評価による内側楔状開大式高位脛骨骨切り術前後の脛骨後方傾斜の変化. 第 35 回日本整形外科学会基礎学術集会, 2020.
- 130) ◎鳥居良昭, 松下和彦, 赤澤努, 上野純, 梅原亮, 飯沼雅央, 浅野孝太, 吉田篤弘, 仁木久照. 手術部位感染の侵入経路-上気道粘膜からの内因性感染-. 第 35 回日本整形外科学会基礎学術集会, 2020.
- 131) ◎寺内昂, 遊道和雄, 染村嵩, 熊井隆智, 村上賢一, 藤谷博人, 仁木久照. 変形性関節症の軟骨細胞において NAD 依存性脱アセチル化酵素 Sirtuin-1 は細胞エネルギー代謝調節因子および軟骨細胞活性を制御する. 第 35 回日本整形外科学会基礎学術集会, 2020.
- 132) ◎吉田有希, 飯島靖, 小谷俊明, 佐久間毅, 中山敬太, 赤澤努, 角南貴大, 船登規孝, 南昌平, 大鳥精司. 成人脊柱変形患者における体位による Pelvic Incidence 変化量の検討. 第 29 回日本脊椎インストゥルメンテーション学会, 2020.
- 133) ◎佐久間毅, 小谷俊明, 赤澤努, 中山敬太, 飯島靖, 角南貴大, 吉田有希, 船登規孝, 大鳥精司, 南昌平. 固い腰椎後弯を有する成人脊柱変形に対し, 側方椎体間固定術を併用した前後 合併矯正固定術の成績. 第 29 回日本脊椎インストゥルメンテーション学会, 2020.
- 134) ◎中山敬太, 小谷俊明, 佐久間毅, 飯島靖, 赤澤努, 大鳥精司, 山崎正志, 南昌平. Fulcrum backward bending は成人脊柱変形術後の lumber lordosis を予測することはできるか. 第 29 回日本脊椎インストゥルメンテーション学会, 2020.
- 135) ◎赤澤努, 小谷俊明, 大鳥精司, 仁木久照, 高橋和久, 南昌平. 側弯症後方手術のアーカイブス - Harrington instrumentation の長期成績-. 第 29 回日本脊椎インストゥルメンテーション学会, 2020.
- 136) ◎角南貴大, 小谷俊明, 青木保親, 佐久間毅, 中山敬太, 飯島靖, 赤澤努, 南昌平, 大鳥精司, 山崎正志. 思春期特発性側弯症と腰椎分離症を合併する患者の特徴. 第 29 回日本脊椎インストゥルメンテーション学会, 2020.
- 137) ◎山本豪明, 小泉英樹, 葛西亨, 仁木久照. Line to line technique によるセメントレスカップの初期固定力の検討-2 種類のカップの比較-. 第 47 回日本股関節学会学術集会, 2020.
- 138) ◎白土崇輝, 老沼和弘, 中北吉厚, 二宮太志, 住吉信彦, 三浦陽子, 東秀隆, 白土英明, 仁木久照.

- 一期的両側人工股関節全置換術における術中回収式自己血輸血の有効性の検討. 第 47 回日本股関節学会学術集会, 2020.
- 139) ◎小谷俊明, 佐久間毅, 中山敬太, 飯島靖, 角南貴大, 赤澤努, 南昌平, 稲毛一秀, 大鳥精司. 思春期特発性側弯症の遺残症例における腰椎側方すべりの危険因子. 第 29 回日本脊椎インストゥルメンテーション学会, 2020.
- 140) ◎飯沼雅央, 赤澤努, 鳥居良昭, 上野純, 梅原亮, 浅野孝太, 黒屋進吾, 吉田篤弘, 小野瀬喜道, 友近顕, 仁木久照. 脊椎インストゥルメンテーション手術術後高膝アミラーゼ血症は思春期特発性側弯症とその他では異なるリスク因子を有する. 第 29 回日本脊椎インストゥルメンテーション学会, 2020.
- 141) ◎飯島靖, 小谷俊明, 佐久間毅, 中山敬太, 角南貴大, 赤澤努, 南昌平, 大鳥精司. 脊柱変形術前における腹腔動脈および上腸間膜動脈狭窄のリスク因子に関する 検討. 第 29 回日本脊椎インストゥルメンテーション学会, 2020.
- 142) ◎飯沼雅央, 赤澤努, 鳥居良昭, 上野純, 梅原亮, 浅野孝太, 黒屋進吾, 吉田篤弘, 小野瀬喜道, 友近顕, 仁木久照. 脊椎インストゥルメンテーション手術術後の高膝アミラーゼ血症の予測は可能か?. 第 29 回日本脊椎インストゥルメンテーション学会, 2020.
- 143) ◎三井寛之, 平野貴章, 秋山唯, 遠藤渉, 軽辺朋子, 原口直樹, 仁木久照. 変形性足関節症の MRI による病態解析～距骨内反による BME 発生様式の変化～. 第 48 回日本関節病学会, 2020.
- 144) ◎三井寛之, 平野貴章, 秋山唯, 遠藤渉, 軽辺朋子, 原口直樹, 仁木久照. 変形性足関節症の MRI 所見と臨床症状の関連. 第 48 回日本関節病学会, 2020.
- 145) ◎植原健二, 木城智, 皆川直毅, 大野真弘, 工藤貴章, 葛西亨, 大沼弘幸, 仁木久照. 関節鏡視下半月板縫合術の成績と限界. 第 48 回日本関節病学会, 2020.
- 146) ◎軽辺朋子, 平野貴章, 秋山唯, 三井寛之, 遠藤渉, 原口直樹, 仁木久照. 外反母趾に Akin 法の追加が必要かどうかは術前の趾節間外反母趾角からは予測できない. 第 48 回日本関節病学会, 2020.
- 147) ◎大沼弘幸, 植原健二, 木城智, 皆川直毅, 大野真弘, 工藤貴章, 仁木久照. 異なる手技による大腿骨コンポーネント前方フランジ矢状面設置位置の比較—CT 評価—. 第 48 回日本関節病学会, 2020.
- 148) ◎仁木久照. ビデオでみせる Lapidus 変法と CMOS の実際. 第 48 回日本関節病学会, 2020.
- 149) ◎谷田部かなか, 井上留美子, 室井良太, 染村嵩, 藤谷博人. ヨガにおける心拍変動からみた精神的ストレス反応について. 第 31 回日本臨床スポーツ医学会学術集会, 2020.
- 150) ◎室井良太, 谷田部かなか, 井上留美子, 染村嵩, 小林創, 藤谷博人. 2 ヶ月に 1 回の筋力トレーニング指導が中高齢者の身体機能に与える影響. 第 31 回日本臨床スポーツ医学会学術集会, 2020.
- 151) ◎秋山唯, 三井寛之, 三井寛之, 軽辺朋子, 仁木久照. SAFE-Q を用いた外反母趾治療の評価. 第 45 回日本足の外科学会学術集会, 2020.
- 152) ◎松本博文, 菊池崇之, 柴田宗一郎, 土橋瑤子, 曾我海馬, 栗田千尋, 萩原悠太, 清水高弘, 秋山久尚, 長谷川泰弘, 山野嘉久, 葛西亨, 吉田篤弘, 飯沼雅央, 上野純, 鳥居良昭, 赤澤努, 仁木久照, 中村尚生, 三村秀文. 頸動脈エコーで診察し得た、胸部大動脈瘤を伴う頭蓋外感染性頸動脈瘤の一例. 第 23 回日本栓子検出を治療学会, 2020.
- 153) ◎飯沼雅央, 赤澤努, 鳥居良昭, 上野純, 梅原亮, 浅野孝太, 黒屋進吾, 吉田篤弘, 小野瀬喜道, 友近顕, 仁木久照. 術前の胸椎後弯・胸腰椎移行部後弯低値は思春期特発性側弯症手術の術後高膝アミ

ラーゼ血症を惹起する. 第 54 回日本側弯症学会, 2020.

- 154) ◎木村弘美, 大崎美奈子, 中山敬太, 小谷俊明, 佐久間毅, 飯島靖, 南昌平, 赤澤努. 側弯症装具治療において温度ロガーと自己申告による装着時間の違い. 第 54 回日本側弯症学会学術集会, 2020.
- 155) ◎大伴直央, 武田和樹, 小倉洋二, 高橋洋平, 南昌平, 宇野耕吉, 川上紀明, 伊東学, 佐藤達哉, 渡邊慶, 海渡貴司, 柳田晴久, 種市洋, 播谷勝三, 谷口優樹, 重松英樹, 飯田尚裕, 出村諭, 菅原亮, 藤田順之, 八木満, 岡田英次朗, 細金直文, 河野克己, 千葉一裕, 小谷俊明, 佐久間毅, 赤澤努, 鈴木哲平, 西田康太郎, 角谷賢一朗, 辻太一, 須藤英毅, 岩田玲, 稲見聡, 寺尾知可史, 中村雅也, 松本守雄, 池川志郎, 渡辺航太. 遺伝情報を用いた思春期特発性側弯症の進行予測モデル. 第 54 回日本側弯症学会学術集会, 2020.
- 156) ◎中山敬太, 小谷俊明, 佐久間毅, 飯島靖, 赤澤努, 大鳥精司, 山崎正志, 南昌平. 側弯症検診を運動器検診のみでおこなっている地域とモアレ検診を併用しておこなっている地域の術前患者の比較検討. 第 54 回日本側弯症学会学術集会, 2020.
- 157) ◎大伴直央, 武田和樹, 小倉洋二, 高橋洋平, 南昌平, 宇野耕吉, 川上紀明, 伊東学, 佐藤達哉, 渡邊慶, 海渡貴司, 柳田晴久, 種市洋, 播谷勝三, 谷口優樹, 重松英樹, 飯田尚裕, 出村諭, 菅原亮, 藤田順之, 八木満, 岡田英次朗, 細金直文, 河野克己, 千葉一裕, 小谷俊明, 佐久間毅, 赤澤努, 鈴木哲平, 西田康太郎, 角谷賢一朗, 辻太一, 須藤英毅, 岩田玲, 稲見聡, 寺尾知可史, 中村雅也, 松本守雄, 池川志郎, 渡辺航太. 遺伝情報と臨床情報を用いた思春期特発性側弯症の発症予測モデル. 第 54 回日本側弯症学会学術集会, 2020.
- 158) ◎谷口優樹, 松林嘉孝, 川上紀明, 小原徹哉, 山口徹, 柳田晴久, 鈴木悟士, 渡辺航太, 松本守雄, 鈴木哲平, 宇野耕吉, 中山敬太, 小谷俊明, 渡邊慶, 平野徹, 出村諭, 奥規博, 山元拓哉, 河村一郎, 菅原亮, 竹下克志, 吉川一郎, 佐藤達哉, 藤原憲太, 村上秀樹, 赤澤努, 角谷賢一朗, 由留部崇. 小児脊柱変形に対する初回固定術後の予定外手術の頻度およびリスク因子に関する多施設研究. 第 54 回日本側弯症学会学術集会, 2020.
- 159) ◎山口徹, 柳田晴久, 川上紀明, 小原徹哉, 鈴木悟士, 渡辺航太, 松本守雄, 鈴木哲平, 宇野耕吉, 中山敬太, 小谷俊明, 渡邊慶, 平野徹, 出村諭, 奥規博, 谷口優樹, 山元拓哉, 河村一郎, 菅原亮, 竹下克志, 吉川一郎, 佐藤達哉, 村上秀樹, 赤澤努, 藤原憲太, 角谷賢一朗, 由留部崇. 小児脊柱変形手術における神経合併症発生調査とリスク因子. 第 54 回日本側弯症学会学術集会, 2020.
- 160) ◎角南貴大, 小谷俊明, 佐久間毅, 中山敬太, 飯島靖, 赤澤努, 南昌平, 大鳥精司, 山崎正志. 思春期特発性側弯症と腰椎分離症を合併する患者の特徴. 第 54 回日本側弯症学会学術集会, 2020.
- 161) ◎奥規博, 出村諭, 川上紀明, 柳田晴久, 鈴木悟士, 渡辺航太, 松本守雄, 鈴木哲平, 宇野耕吉, 中山敬太, 小谷俊明, 渡邊慶, 平野徹, 谷口優樹, 山元拓哉, 河村一郎, 菅原亮, 竹下克志, 吉川一郎, 佐藤達哉, 藤原憲太, 村上秀樹, 赤澤努, 角谷賢一朗, 由留部崇. 小児側弯症患者におけるインストゥルメント関連合併症の発生率とその特徴. 第 54 回日本側弯症学会学術集会, 2020.
- 162) ◎加藤木丈英, 赤澤努, 小谷俊明, 奥村太郎, 海老島亨, 角南貴大, 飯島靖, 中山敬太, 佐久間毅, 南昌平. 思春期特発性側弯症術後中期経過例の運動能力の解析. 第 54 回日本側弯症学会学術集会, 2020.
- 163) ◎渡邊慶, 平野徹, 川上紀明, 柳田晴久, 小原徹哉, 山口徹, 鈴木悟士, 渡辺航太, 松本守雄, 鈴木哲平, 宇野耕吉, 中山敬太, 小谷俊明, 出村諭, 奥規博, 谷口優樹, 山元拓哉, 河村一郎, 菅原亮,

- 竹下克志, 吉川一郎, 佐藤達哉, 藤原憲太, 村上秀樹, 赤澤努, 角谷賢一朗, 由留部崇. 小児脊柱変形初回矯正手術後の手術部位感染:多施設研究における病態と危険因子の解析. 第 54 回日本側弯症学会学術集会, 2020.
- 164) ◎飯島靖, 小谷俊明, 佐久間毅, 中山敬太, 赤澤努, 南昌平, 大鳥精司. 脊柱変形術前における腹腔動脈および上腸間膜動脈狭窄のリスク因子に関する検討. 第 54 回日本側弯症学会学術集会, 2020.
- 165) ◎小谷俊明, 佐久間毅, 中山敬太, 飯島靖, 角南貴大, 赤澤努, 南昌平, 稲毛一秀, 大鳥精司. 思春期特発性側弯症の遺残症例における骨性架橋形成の危険因子. 第 54 回日本側弯症学会学術集会, 2020.
- 166) ◎池谷真実, 本鍋田由美子, 長島梧郎, 松下和彦, 田中拓. 持ち歩きたくなる!!～活用できるポケットマニュアルを目指して～. 第 15 回医療の質・安全学会学術集会, 2020.
- 167) ◎横塚恵理子, 佐々木亮介, 玉城瑛信, 大川修, 森英輝, 藤井暁, 餅田裕太, 岩田湧斗, 丸山悟, 清水徹, 後藤哲哉, 田中雄一郎, 赤澤努, 井上莊一郎. 運動誘発電位(MEP)経頭蓋定電圧刺激における刺激電流値の検討. 日本臨床神経生理学会学術大会 第 50 回記念大会, 2020.
- 168) ◎遠藤渉, 平野貴章, 秋山唯, 三井寛之, 軽辺朋子, 原口直樹, 仁木久照. 人工足関節全置換術後の深部静脈血栓症の発生率. 第 45 回日本足の外科学会学術集会, 2020.
- 169) ◎平野貴章, 秋山唯, 三井寛之, 遠藤渉, 軽辺朋子, 原口直樹, 仁木久照. 扁平足変形における足底挿板の有用性. 第 45 回日本足の外科学会学術集会, 2020.
- 170) ◎三井寛之, 平野貴章, 秋山唯, 遠藤渉, 軽辺朋子, 原口直樹, 仁木久照. 変形性足関節症の MRI による病態解析～距骨前方変位による BME 発生様式の変化～. 第 45 回日本足の外科学会学術集会, 2020.
- 171) ◎田崎正和, 平野貴章, 秋山唯, 三井寛之, 遠藤渉, 軽辺朋子, 原口直樹, 仁木久照. 底側踵立方靭帯の解剖学的特徴からみた各種外側支柱延長術の変形矯正メカニズムの違い. 第 45 回日本足の外科学会学術集会, 2020.
- 172) ◎軽辺朋子, 平野貴章, 秋山唯, 三井寛之, 遠藤渉, 原口直樹, 仁木久照. 中足骨近位短縮骨切り組み合わせ手術 (CMOS) 術後に足幅は有意に減少する. 第 45 回日本足の外科学会学術集会, 2020.
- 173) ◎原口直樹, 小谷貴史, 鈴木開, 竹本昌紘, 仁木久照, 平野貴章, 秋山唯, 三井寛之, 太田光紀, 尾関拓磨. 低位脛骨骨切り術:病態にもとづいた術式の選択. 第 45 回日本足の外科学会学術集会, 2020.
- 174) ◎原口直樹, 小谷貴史, 鈴木開, 竹本昌紘, 仁木久照, 平野貴章, 秋山唯, 三井寛之, 吉田学誉, 蔦谷淳. T1 ρ マッピングを用いた変形性足関節症における距骨下関節軟骨の評価. 第 45 回日本足の外科学会学術集会, 2020.
- 175) ◎仁木久照. SAFE-Q 誕生から 10 年と今後の果たす役割. 第 45 回日本足の外科学会学術集会, 2020.
- 176) ◎植原健二, 木城智, 皆川直毅, 大野真弘, 工藤貴章, 大沼弘幸, 仁木久照. 内側半月板損傷は膝関節屈曲初期の脛骨生理的内旋を低下させる. 第 12 回日本関節鏡・膝・スポーツ整形外科学会 / 第 46 回日本整形外科学会スポーツ医学会学術集会, 2020.
- 177) ◎三井寛之, 平野貴章, 秋山唯, 遠藤渉, 軽辺朋子, 原口直樹, 仁木久照. 変形性足関節症の病態解析～距骨後方に巨大な骨棘が生じる例の特徴～. 第 12 回日本関節鏡・膝・スポーツ整形外科学会 / 第 46 回日本整形外科学会スポーツ医学会学術集会, 2020.

- 178) ◎木城智, 植原健二, 皆川直毅, 大野真弘, 工藤貴章, 大沼弘幸, 仁木久照. 膝前十字靭帯再建術後の脚伸展筋力が臨床成績に与える影響. 第 12 回日本関節鏡・膝・スポーツ整形外科学会 / 第 46 回日本整形外科スポーツ医学会学術集会, 2020.
- 179) ◎小林哲士, 植原健二, 木城智, 皆川直毅, 鈴木智裕, 仁木久照. 加齢が ACL 再建術後の筋力回復に及ぼす影響とミオシン重鎖の関係. 第 12 回日本関節鏡・膝・スポーツ整形外科学会 / 第 46 回日本整形外科スポーツ医学会学術集会, 2020.
- 180) ◎大野真弘, 植原健二, 木城智, 皆川直毅, 大沼弘幸, 工藤貴章, 仁木久照. 半月板縫合は膝前十字靭帯再建術後の筋力回復に影響しない. 第 12 回日本関節鏡・膝・スポーツ整形外科学会 / 第 46 回日本整形外科スポーツ医学会学術集会, 2020.
- 181) ◎松下和彦, 牧侑平, 小泉英樹, 秋山唯, 山本豪明, 鳥居良昭, 仁木久照. インプラント手術部位感染における抗菌薬の適正使用: RFP の耐性化予防の観点より. 第 43 回日本骨・関節感染症学会, 2020.
- 182) ◎牧侑平, 松下和彦, 鳥居良昭, 秋山唯, 三井寛之, 宮本豊一, 仁木久照. MRSA に対する高濃度ゲンタマイシンの有効性の検討. 第 43 回日本骨・関節感染症学会, 2020.
- 183) ◎新井猛. アスリートテニスエルボーの治療経験. 第 33 回日本肘関節学会学術集会, 2021.
- 184) ◎鳥居良昭, 赤澤努, 上野純, 飯沼雅央, 吉田篤弘, 土田京太, 仁木久照. 当院における高齢者腰椎破裂骨折の手術治療. 第 171 回神奈川整形災害外科研究会, 2021.
- 185) ◎見上豪, 大野真弘, 植原健二, 木城智, 工藤貴章, 葛西亨, 大沼弘幸, 仁木久照. 膝蓋骨下極骨折に対する膝蓋腱の補強で膝蓋下拘縮症候群が生じた 1 例. 第 171 回神奈川整形災害外科研究会, 2021.
- 186) ◎小谷貴史, 原口直樹, 武居功, 梅原亮, 小山亮太, 浅野孝太, 鈴木開, 竹本昌弘, 仁木久照. UKA 術後早期に生じた膝蓋骨亜脱臼に対し、関節鏡視下に外側膝蓋支帯を切離した 1 例. 第 700 回関東整形災害外科学会月例会, 2021.
- 187) ◎秀島貴博, 赤澤努, 鳥居良昭, 飯沼雅央, 仁木久照. トラネキサム酸の使用で思春期特発性側弯症に対する後方矯正固定術の周術期出血量は減少し、2 回の自己血貯血で十分である. 第 34 回日本自己血輸血・周術期輸血学会学術総会, 2021.
- 188) ◎佐久間毅, 小谷俊明, 赤澤努, 中山敬太, 飯島靖, 大鳥精司, 南昌平. 固い腰椎後弯を有する成人脊柱変形に対し、側方椎体間固定術を併用した前後合併矯正固定術の成績. 第 11 回日本成人脊柱変形学会, 2021.
- 189) ◎飯島靖, 小谷俊明, 佐久間毅, 中山敬太, 赤澤努, 南昌平, 大鳥精司. 脊椎固定術前における腹腔動脈および上腸間膜動脈狭窄のリスク因子に関する検討. 第 11 回日本成人脊柱変形学会, 2021.
- 190) ◎尾崎裕亮, 植原健二, 木城智, 皆川直毅, 大野真弘, 工藤貴章, 仁木久照. 外反膝を伴う反復性膝関節脱臼に対し遠位大腿骨内反骨切り術と内側膝蓋大腿靭帯再建術を 1 期的に行なった 1 例. 第 61 回関東整形災害外科学会, 2021.
- 191) ◎竹本昌紘, 小山亮太, 鈴木開, 小谷貴史, 浅野孝太, 梅原亮, 武居功, 原口直樹, 仁木久照. 難治性化膿性股関節炎に対し創外固定術及び局所高濃度抗菌薬投与 (iSAP)・局所陰圧閉鎖療法 (NPWT) を用いた灌流療法で感染を沈静化できた 1 例. 第 61 回関東整形災害外科学会, 2021.
- 192) ◎鈴木開, 秋山唯, 平野貴章, 三井寛之, 遠藤渉, 軽辺朋子, 原口直樹, 橘川薫, 長宗我部基弘, 高木正之, 中島久弥, 仁木久照. 足関節炎で診断された距骨頸部に発生した骨膜下類骨骨腫の 1 例. 第

61 回関東整形災害外科学会, 2021.

- 193) ◎山本豪明, 小泉英樹, 葛西亨, 熊井隆智, 尾崎裕亮, 見上豪, 遠藤亜沙子, 仁木久照. SDH (Surgical dislocation of the hip) による股関節疾患の治療-若手が知っておくべきピットフォール -. 第 61 回関東整形災害外科学会, 2021.
- 194) ◎吉田篤弘, 赤澤努, 鳥居良昭, 上野純, 飯沼雅央, 土田京太, 仁木久照. 思春期特発性側弯症の自然経過. 第 61 回関東整形災害外科学会, 2021.
- 195) ◎土田京太, 赤澤努, 鳥居良昭, 上野純, 木城智, 飯沼雅央, 吉田篤弘, 仁木久照. 消化管由来の検出菌により繰り返した化膿性脊椎炎の 1 例. 第 61 回関東整形災害外科学会, 2021.
- 196) ◎植原健二, 工藤貴章, 木城智, 大野真弘, 皆川直毅, 葛西亨, 仁木久照. 【早期変形性膝関節症の診断と治療-人工関節の前にできること-】内側型早期変形性膝関節症に対する外側楔状足底板の有用性. 第 61 回関東整形災害外科学会, 2021.
- 197) ◎加納洋輔, 松下和彦, 花田陵, 友近顕, 黒屋進吾, 石森光一, 大沼弘幸, 有泉泰, 仁木久照. エクリン汗孔腫およびヘバーデン結節に合併した巨大粘液嚢腫の 1 例. 第 61 回関東整形災害外科学会, 2021.
- 198) ◎飯沼雅央, 赤澤努, 鳥居良昭, 上野純, 梅原亮, 浅野孝太, 黒屋進吾, 吉田篤弘, 小野瀬喜道, 友近顕, 秀島貴博, 仁木久照. 胸腰椎固定術後の膝アミラーゼ血症—長時間手術と胸腰移行部後弯には注意が必要である—. 第 61 回関東整形災害外科学会, 2021.

② 国際学会

- 1) ◎Hirano T, Akiyama Y, Mitsui H, Endo W, Karube T, Niki H. Anatomical study of Lisfranc Ligament Complex. European Orthopaedic Research Society 28th Annual Meeting, 2020.
- 2) ◎Hisateru Niki. My algorithm, plus strategies for assessment and management of flexible adult acquired flatfoot deformity(AAFD). 2020 The 30th Annual Congress of Korean Foot and Ankle Society, 2020.

③ その他

- 1) ◎赤澤努. 腰椎疾患における神経障害性疼痛治療薬の使い方. Neuropathic Pain Web Seminar, 2020.
- 2) ◎新井猛. 肘関節鏡の実際. 日本手外科学会 2020 年度教育研修会, 2021.
- 3) ◎Naoki Haraguchi. Fixation of osteochondral lesions of the talus. The World Advanced Foot and Ankle Congress: A Humanitarian Program to bring Surgeons together during the COVID-19 crisis., 2020.

		和文	英文
著 書		4	
論 文	原著	4	19
	解説又は総説	24	1
	症例報告	5	5
	その他	3	1
学会発表	国内学会	198	
	国際学会		2
	その他	2	1

形成外科学

著書

- 1) 梶川明義. 第 6 章 体幹の先天異常 2.腹壁, 腰, 臀部の異常 形成外科治療手技全書IV 先天異常 2020;第 6 章:236-244.
- 2) Yukio Seki. The Dynamic LVAs Supermicrosurgical Lymphaticovenular Anastomosis: A practical Textbook 2020;:119-136.
- 3) Yukio Seki. Lower Extremity Lymphedema Supermicrosurgical Lymphaticovenular Anastomosis: A practical Textbook 2020;:265-284.

学術論文[和文]

① 原著

- 1) 田雑瑞穂, 小島康幸, 梶川明義, 津川浩一郎. 当院における化学療法後一次乳房再建術症例の検討. *Oncoplastic Breast Surgery*, 2020;5(2):30-34.
- 2) 岩本承豪, 井上肇, 田邊雅祥. 当科で手術を行った粉瘤症例の検討. *日本形成外科学会誌*, 2021;41(3): 117-121.

② 総説又は症例解説

- 1) 梶川明義. エステティック・マインドを備えた上顎拡大 全摘後の整容的な眼窩・顔面の再建法— 5points theory と 3-step orbitofacial reconstruction 法—. *形成外科*, 2020;63(7):867-874.

③ 症例報告

- 1) 宮野竜太郎, 関征央, 相原正記, 梶川明義. カリフラワーイヤーに知覚を考慮した外耳道再建を行った 1 例. *形成外科*, 2020;63(4):495-500.
- 2) 高田女里, 関征央, 相原正記, 梶川明義, 西本寛志, 斎藤善光, 宮本康裕, 成木佐瑛子. 頬部皮下腫瘍として触知された上顎洞血瘤腫の 1 例. *聖マリアンナ医科大学雑誌*, 2020;Vol.48:123-128.
- 3) 岩本承豪, 浅井凜太郎, 相田芳夫, 梶川明義. 真性浅側頭動脈瘤の 1 例. *日本頭蓋顎顔面外科学会誌*, 2020;36(4):202-207.

学術論文[英文]

① 原著

- 1) Mio Ichida, Chiharu Fujita, Rena Sumie, Ryotaro Miyano, Hajime Inoue. Simultaneous determination of minoxidil and minoxidil sulfate by high-performance liquid chromatography with UV-detection and its applications. *Medicine in Drug Discovery*, 2020;:DOI-100050.
- 2) Fumito Sugaya, Rena Sumie, Ryota Nabeshima, Ryotaro Miyano, Takayuki Takeuchi, Nagaoki Wakisaka, Kazuhiro Kobayashi, Hajime Inoue, Akiyoshi Kajikawa. Influence of Human Placenta Extracts on Prostanoids Production in Cultured Hair Follicle-Derived Keratinocytes: The Possibility of Pharmaceutical Regenerative Medicine. *Journal of St.Marianna University*, 2020;11:21-29.

学会発表

① 国内学会

- 1) ◎友近真世, 梶川明義, 恩田慶子, 宮野竜太郎, 高田女里, 武内嵩幸, 関征央, 菅谷文人. 術後の体重変化が再建乳房に及ぼす影響. 第 63 回日本形成外科学会総会・学術集会, 2020.
- 2) ◎高田女里, 梶川明義, 菅谷文人, 関征央, 武内嵩幸, 恩田慶子, 神川真由子, 友近真世. 乳頭乳輪の頭側変位の予防法と修正法. 第 63 回日本形成外科学会総会・学術集会, 2020.
- 3) ◎関征央, 梶川明義, 武内嵩幸, 高田女里, 海野英美香, 浅井凜太郎. 形成外科診療ガイドライン作成からみた、LVA に必要なエビデンス構築. 第 63 回日本形成外科学会総会・学術集会, 2020.
- 4) ◎関征央, 梶川明義, 武内嵩幸, 高田女里, 海野英美香, 浅井凜太郎. 機能的 LVA. 第 63 回日本形成外科学会総会・学術集会, 2020.
- 5) ◎鍋島諒大, 菅谷文人, 恩田慶子, 浅井凜太郎, 梶川明義. 大きな葉状腫瘍切除後の乳房形態修正法. 第 63 回日本形成外科学会総会・学術集会, 2020.
- 6) ◎菅谷文人, 梶川明義, 関征央. われわれが行っている腹直筋皮弁施行時の工夫として— マッスルファットミルフイーユ法 —. 第 63 回日本形成外科学会総会・学術集会, 2020.
- 7) ◎神川真由子, 梶川明義, 武内嵩幸, 菅谷文人, 関征央, 宮野竜太郎, 高田女里. インプラントによる乳房再建における『いそじん漬け』の有用性の検討. 第 63 回日本形成外科学会総会・学術集会, 2020.
- 8) ◎恩田慶子, 梶川明義, 菅谷文人, 関征央, 武内嵩幸, 高田女里, 宮野竜太郎, 相原正記. 簡易圧測定器による乳房エキスパンダーの注入圧測定法. 第 63 回日本形成外科学会総会・学術集会, 2020.
- 9) ◎神川真由子 1, 梶川明義 1, 関征央 1, 高田女里 1, 宮野竜太郎 1, 恩田慶子 1, 友近真世 1, 沖野照仁 1, 鍋島諒大 1, 菅谷文人 1, 津川浩一郎 21 聖マリアンナ医科大学 形成外科, 2 聖マリアンナ医科大学 乳腺内分泌外科. ティッシュ・エキスパンダーとシリコン・ブレスト・インプラントの感染を予防するわれわれの対策 Our methods for preventing infection of tissue expanders and silicone breast implants. 第 8 回日本乳房オンコプラスチックサージャリー学会総会, 2020.
- 10) ◎友近真世, 梶川明義, 恩田慶子, 神川真由子, 宮野竜太郎, 高田女里, 関征央, 菅谷文人, 相原正記. 術後の体重変化が再建乳房と健側乳房のバランスに及ぼす影響 The effect of weight change after surgery on the balance between the reconstructed breast and the healthy side. 第 8 回日本乳房オンコプラスチックサージャリー学会総会, 2020.
- 11) ◎宮野竜太郎, 住江玲奈, 鍋島諒大, 友近真世, 小林一広, 脇坂長興, 梶川明義, 井上肇. ミノキシジルによる毛包内脱硫酸酵素誘導とその阻害—より効果的な発毛治療への一考察—. 第 29 回日本形成外科学会基礎学術集会, 2020.
- 12) ◎友近真世, 梶川明義, 鍋島諒大, 宮野竜太郎, 菅谷文人, 住江玲奈, 脇坂長興, 小林一広, 井上肇. 培養毛乳頭細胞と毛包由来表皮細胞のクロストークに関する基礎検討. 第 29 回日本形成外科学会基礎学術集会, 2020.
- 13) ◎井上肇, 菅谷文人, 相原正記, 梶川明義, 島田賢一, 柳下幹男, 牧野輝彦, 清水忠道, 中西健史, 峯岸芳樹, 中井國博, 玉木毅. 多血小板血漿を用いた難治性皮膚潰瘍の治療—先進医療技術 B からの保険収載—. 第 29 回日本形成外科学会基礎学術集会, 2020.
- 14) ◎井上肇, 菅谷文人, 相原正記, 梶川明義, 島田賢一, 柳下幹男, 牧野輝彦, 清水忠道, 中西健史, 峯岸芳樹, 中井國博, 玉木毅. 再生医療技術の保険収載—多血小板血漿を用いた難治性皮膚潰瘍の治

療一. 第 50 回日本創傷治癒学会, 2020.

- 15) ◎岩本承豪, 浅井凜太郎, 相田芳夫, 梶川明義. 真性浅側頭動脈瘤の 1 例. 第 38 回日本頭蓋顎顔面外科学会学術集会, 2020.
- 16) ◎沖野照仁, 菅谷文人, 友近真世, 関征央, 相原正記, 梶川明義. 鼻骨骨折局所麻酔整復の適応. 第 38 回日本頭蓋顎顔面外科学会学術集会, 2020.
- 17) ◎梶川明義, 関征央, 菅谷文人, 高田女里, 宮野竜太郎, 恩田慶子, 友近真世, 神川真由子. 患者の希望を最優先した自家組織による乳房再建. 第 47 回日本マイクロサージャリー学会学術集会, 2020.
- 18) ◎井上肇. 多血小板血漿を用いた難治性皮膚潰瘍の治療—先進医療技術 B からの保険収載—. 第 126 回関西形成外科学会学術集会, 2020.
- 19) ◎梶川明義. 頭髪部創縫合の工夫—目立たない創痕にするために—. 第 25 回日本臨床毛髪学会学術集会, 2020.
- 20) ◎菅谷文人, 梶川明義. 巻き爪、陥入爪に対する手術治療後に疼痛が再燃しワイヤー治療によって改善した症例. 第 12 回日本創傷外科学会総会・学術集会, 2020.
- 21) ◎日原文華, 梶川明義, 恩田慶子, 神川真由子, 沖野照仁, 宮野竜太郎, 菅谷文人. 臍部異所性子宮内膜症に対する治療. 第 12 回日本創傷外科学会総会・学術集会, 2020.
- 22) ◎宮野竜太郎, 相原正記, 鍋島諒大, 神川真由子, 梶川明義. 外傷性動眼神経麻痺後に、眼瞼下垂のみ残存し筋膜移植で良好な結果を得た 1 例. 第 12 回日本創傷外科学会総会・学術集会, 2020.
- 23) ◎井上肇. 多血小板血漿療法 of 先進医療技術 B からの保険収載への挑戦. 第 12 回多血小板血漿 (PRP) 療法研究会, 2020.
- 24) ◎関征央, 浅井凜太郎, 高田女里, 梶川明義. リンパ浮腫のいろは～LVA の手技～. 第 26 回日本形成外科手術手技学会, 2021.
- 25) ◎梶川明義, 関征央, 高田女里, 恩田慶子, 友近真世, 神川真由子, 沖野照仁, 鍋島諒大. 表皮除去皮弁による美しい乳房再建—Dermatome & Scanning-line-style deepithelialization technique—. 第 26 回日本形成外科手術手技学会, 2021.
- 26) ◎井上肇. 多血小板血漿を用いた難治性皮膚潰瘍治療の保険収載. 第 20 回日本再生医療学会総会, 2021.
- 27) ◎井上肇, 増山達也, 宮野竜太郎. 多血小板血漿を用いた毛髪再生への新たな展望. 第 20 回日本再生医療学会総会, 2021.
- 28) ◎鍋島諒大, 梶川明義, 住江玲奈, 友近真世, 井上肇. 整容的応用を視野に入れた再生医療技術の開発 2- 色素細胞含有培養表皮の生着性について -. 第 20 回日本再生医療学会総会, 2021.
- 29) ◎住江玲奈, 藤田千春, 鍋島諒大, 友近真世, 井上肇, 梶川明義. 整容的応用を視野に入れた再生医療技術の開発. 第 20 回日本再生医療学会総会, 2021.

② 国際学会

- 1) ◎Yukio Seki. How to Make LVA Reliable and More Effective. The 9th World Symposium for Lymphedema Surgery, 2020.
- 2) ◎Yukio Seki. VIDEO-SURGERY SESSION; Tricks and Tips for an Efficient Surgery: LVA. The 9th World Symposium for Lymphedema Surgery, 2020.
- 3) ◎Yukio Seki. CONTROVERSY SESSION: Postoperative Management; What is my protocol ?.

The 9th World Symposium for Lymphedema Surgery, 2020.

- 4) ◎Yukio Seki. Intraoperative real-time indocyanine green video-lymphography navigation for LVA. The 9th World Symposium for Lymphedema Surgery, 2020.
 - 5) ◎Yukio Seki. The Dynamic-LVA Method for Breast Cancer Treatment-Related Lymphedema without Compression Therapy. The 9th World Symposium for Lymphedema Surgery, 2020.
 - 6) ◎Yukio Seki. Preop ICG and Color Duplex for LVA. The 39th Korean Microsurgical Society Fall Symposium, 2020.
 - 7) ◎ Yukio Seki, Rintaro Asai, Akiyoshi Kajikawa, Takumi Yamamoto, Takahiro Terashima, Norimitsu Kurogi. Long-Term Outcomes of the Superior-Edge-of-the-Knee-Incision Method in Lymphaticovenular Anastomosis for Lower Extremity Lymphedema Patients. American Society for Reconstructive Microsurgery Annual Meeting 2021, 2021.
- ③ その他
- 1) ◎岩本承豪, 浅井凜太郎. 陰茎に生じた分離母斑の1例. 第27回横浜形成外科フォーラム, 2020.
 - 2) ◎遠藤春夏, 関征央, 恩田慶子, 沖野照仁, 浅井凜太郎, 杉本同, 梶川明義. 繰り返す出血を認めた左上眼瞼挫創. 神奈川県形成外科症例検討会, 2020.

		和文	英文
著 書		1	2
論 文	原著	2	2
	解説又は総説	1	
	症例報告	3	
	その他		
学会発表	国内学会	29	
	国際学会		7
	その他	2	

皮膚科学

学術論文[和文]

① 総説又は症例解説

- 1) 三石修平, 門野岳史. 【“顔の赤み”鑑別・治療アトラス】皮膚サルコイド② 顔面に限局してみられたびまん浸潤型皮膚サルコイド. *Derma*, 2020;294:113-116.
- 2) 大橋洋之. 【ひとりのできる当直マニュアル】一人当直で困ったときに乗りきれぬマニュアル おできがふくらんできました!～炎症性粉瘤を念頭に. *visual Dermatology*, 2020;19(4):392-393.
- 3) 門野岳史. Your Diagnosis! Dowling-Degos disease. *Visual Dermatology*, 2020;19(7):738-740.
- 4) 門野岳史. 【陰部の皮膚病変アトラス】(Part3.)腫瘍・奇形 悪性腫瘍(Atlas 47)乳房外 Paget 病. *Visual Dermatology*, 2020;19(7):723.
- 5) 門野岳史. 【陰部の皮膚病変アトラス】(Part3.)腫瘍・奇形 悪性腫瘍(Atlas 45)有棘細胞癌. *Visual Dermatology*, 2020;19(7):721.
- 6) 門野岳史. 【陰部の皮膚病変アトラス】(Part3.)腫瘍・奇形 (Atlas 41)陰囊石灰沈着症. *Visual Dermatology*, 2020;19(7):716.
- 7) 門野岳史. 【陰部の皮膚病変アトラス】(Part3.)腫瘍・奇形 (Atlas 37)陰囊被角血管腫. *Visual Dermatology*, 2020;19(7):712.
- 8) 門野岳史. 【陰部の皮膚病変アトラス】(Part3.)腫瘍・奇形 (Atlas 34)バルトリン腺囊腫. *Visual Dermatology*, 2020;19(7):709.
- 9) 門野岳史. 【陰部の皮膚病変アトラス】(Part3.)腫瘍・奇形 (Atlas 29)陰茎縫線囊腫. *Visual Dermatology*, 2020;19(7):704.
- 10) 門野岳史. 【陰部の皮膚病変アトラス】(Part2.)感染症 梅毒(Atlas 24)扁平コンジローマ. *Visual Dermatology*, 2020;19(7):697.
- 11) 宮垣朝光. 原発性皮膚リンパ腫の2018年版WHO-EORTC分類. *血液内科*, 2020;80(6):894-900.
- 12) 門野岳史. 【皮膚科医必携!外用療法・外用指導のポイント】外用薬と外用療法の基礎知識 皮膚潰瘍・褥瘡の外用療法と創傷被覆材の使い方. *Derma*, 2020;300:25-30.
- 13) 門野岳史. Your Diagnosis! 肥満細胞症. *Visual Dermatology*, 2020;19(11):1162-1164.
- 14) 門野岳史. 【これで決まり!-Snap Diagnosis 大原コレクション】(Part6)その他の分類で決まり! (Atlas75)sudoriparous angioma. *Visual Dermatology*, 2020;19(11):1152.
- 15) 門野岳史. 【これで決まり!-Snap Diagnosis 大原コレクション】(Part5)個疹で決まり! (Atlas66)種痘様水疱症. *Visual Dermatology*, 2020;19(11):1146.
- 16) 門野岳史. 【これで決まり!-Snap Diagnosis 大原コレクション】(Part5)個疹で決まり! (Atlas65)皮膚リンパ球腫. *Visual Dermatology*, 2020;19(11):1145.
- 17) 門野岳史. 【これで決まり!-Snap Diagnosis 大原コレクション】(Part4)小児で決まり! (Atlas62)infantile digital fibromatosis. *Visual Dermatology*, 2020;19(11):1143.
- 18) 門野岳史. 【これで決まり!-Snap Diagnosis 大原コレクション】(Part4)小児で決まり! (Atlas63)光沢苔癬. *Visual Dermatology*, 2020;19(11):1143.
- 19) 門野岳史. 【これで決まり!-Snap Diagnosis 大原コレクション】(Part4)小児で決まり! (Atlas59)

平滑筋過誤腫. *Visual Dermatology*, 2020;19(11):1141.

- 20) 門野岳史. 【これで決まり!-Snap Diagnosis 大原コレクション】(Part1)部位で決まり!手・足 (Atlas32)hyperkeratosis lenticularis perstans(Flegel). *Visual Dermatology*, 2020;19(11) : 1117.
- 21) 門野岳史. 【これで決まり!-Snap Diagnosis 大原コレクション】(Part1)部位で決まり!膝 (Atlas28)Baker 嚢腫. *Visual Dermatology*, 2020;19(11):1113.
- 22) 門野岳史. 【これで決まり!-Snap Diagnosis 大原コレクション】(Part1)部位で決まり!臍 (Atlas19) 異所性子宮内膜症. *Visual Dermatology*, 2020;19(11):1106.
- 23) 門野岳史. 【これで決まり!-Snap Diagnosis 大原コレクション】(Part1)部位で決まり!眼囲 (Atlas9)Favre-Racouchot 症候群(図説/特集). *Visual Dermatology*, 2020;19(11):1097.
- 24) 宮垣朝光. 【皮疹はこう見る,こう表現する】基本の発疹を理解する 痂皮. *medicina*, 2020;57(11) : 1844-1845.
- 25) 門野岳史. 紫斑をみたら-緊急性から考える】(Part3)全身疾患に伴ってみられる紫斑(Atlas35) 抗凝固剤による紫斑. *Visual Dermatology*, 2020;20(1):64.
- 26) 門野岳史. 【紫斑をみたら-緊急性から考える】(Part2)一目で診断できる特徴的な紫斑(Atlas18) ステロイド紫斑. *Visual Dermatology*, 2020;20(1):42.
- 27) 門野岳史. 【紫斑をみたら-緊急性から考える】(Part1.)危険な、すぐ対応すべき紫斑(Atlas12) 電撃性紫斑. *Visual Dermatology*, 2020;20(1):34.
- 28) 門野岳史. 【紫斑をみたら-緊急性から考える】(Part1.)危険な、すぐ対応すべき紫斑(Atlas8) 血友病. *Visual Dermatology*, 2020;20(1):28.
- 29) 宮垣朝光. 【新組織学シリーズ I:最新の皮膚科学】皮膚 T 細胞リンパ腫における免疫チェックポイント分子. *生体の科学*, 2020;71(6):597-601.

② 症例報告

- 1) 貴志有紗, 大橋洋之, 安藤南, 松浦佳奈, 北澤智子, 宮垣朝光, 門野岳史, 豊田泰大. ダブラフェニブ +トラメチニブ併用療法により網膜剥離を来した悪性黒色腫の 1 例. *Skin Cancer*, 2020;35(1):16-19.
- 2) 宮野薫, 村上富美子, 門野岳史, 岡田真理, 中野創. Siemens 型水疱性魚鱗癬の 1 例. *皮膚科の臨床*, 2020;62(11):1511-1516.
- 3) 秋野幸, 岡野達郎, 北澤智子, 竹内そら, 門野岳史. 好酸球性環状紅斑の 2 例. *皮膚科の臨床*, 2021;63(2):199-203.

学術論文[英文]

① 原著

- 1) Hirouyuki Ohashi, Sora Takeuchi, Tomomitsu Miyagaki, Takafumi Kadono. Increase of lymphocytes and eosinophils, and decrease of neutrophils at an early stage of anti-PD-1 antibody treatment is a favorable sign for advanced malignant melanoma. *Drug Discov Ther.*, 2020;14(3):117-121.

② 症例報告

- 1) Iori Motohashi, Tomonori Takano, Kenya Ie, Yuki Hashimoto, Saki Akino, Chiaki Okuse. Development of maculopapular exanthem in a COVID-19 patient. *DERMATOLOGY*, 2020::1-2.

- 2) Reiko Suzuki, Hiraku Endo, Takamichi Sasaki, Takayoshi Nakamura, Hiroyuki Yamanaka, Shinji Hosonuma, Shiho Kuji, Imari Deura, Tatsuru Ohara, Haruhiro Kondo, Motohiro Chosokabe, Junki Koike, Hiroshi Kadono, Junichi Hasegawa, Nao Suzuki. Primary malignant melanoma of uterine cervix treated with pembrolizumab as adjuvant immunotherapy. International Cancer Conference Journal, 2021; DOI-10.1007/s13691-021-00477-z.

学会発表

① 国内学会

- 1) ◎貴志有紗, 大橋洋之, 宮野薫, 武藤真悠子, 竹内そら, 宮垣朝光, 門野岳史, 土田知也, 古賀浩嗣, 石井文人. AA型アミロイドーシスを合併した抗BP180型粘膜類天疱瘡の1例. 第119回日本皮膚科学会総会, 2020.
- 2) ◎秋野幸, 岡野達郎, 門野岳史. そう痒に対し黄連解毒湯が著効した eruptive pruritic papular porokeratosis の1例. 第119回日本皮膚科学会総会, 2020.
- 3) ◎大森怜奈, 宮垣朝光, 久保麻梨絵, 小牧玲雄, 貴志有紗, 黒田瑛里, 奥平あずさ, 大橋洋之, 竹内そら, 門野岳史. DPP-4阻害薬による手掌・足蹠優位の類天疱瘡の1例. 第119回日本皮膚科学会総会, 2020.
- 4) ◎宮垣朝光. 皮膚疾患の病態・治療と好酸球 リンパ増殖性疾患における好酸球. 第119回日本皮膚科学会総会, 2020.
- 5) ◎宮垣朝光. 実践!菌状息肉症の診断と治療 進行期菌状息肉症およびその類症の実際の治療. 第119回日本皮膚科学会総会, 2020.
- 6) ◎望月俊彦, 渡部秀憲, 竹内そら, 宮垣朝光, 門野岳史. アンジオテンシン2受容体拮抗薬による乾癬型薬疹の1例. 第35回日本乾癬学会学術大会, 2020.
- 7) ◎森瞳子, 貴志有紗, 竹内そら, 宮垣朝光, 門野岳史, 中村直樹, 小林雅子, 荒木由紀夫. 筋委縮性側索硬化症に伴う浮腫を背景とする上肢に生じた Stewart-Treves 症候群の1例. 日本皮膚科学会第892回東京地方会, 2020.
- 8) ◎三石修平, 竹内そら, 宮垣朝光, 門野岳史. 頭部に多発する結節により診断された神経内分泌癌の1例. 日本皮膚科学会第892回東京地方会, 2020.
- 9) ◎大森怜奈, 宮垣朝光, 小牧玲雄, 岡野そら, 門野岳史. リポイド類壊死症様の皮疹を呈したサルコイドーシスの1例. 日本皮膚科学会第892回東京地方会, 2020.
- 10) ◎貴志有紗, 大橋洋之, 竹内そら, 宮垣朝光, 門野岳史. 血管成分が極めて乏しかった血管肉腫の1例. 第36回日本皮膚悪性腫瘍学会学術大会, 2021.
- 11) ◎田中美穂, 宮垣朝光, 岡野達郎, 竹内そら, 門野岳史. 臀部に陥凹局面を呈した虚血性筋膜炎の1例. 日本皮膚科学会第895回東京地方会, 2021.
- 12) ◎江田怜奈, 橋本悠季, 竹内そら, 宮垣朝光, 門野岳史. 帯状疱疹後に偽性腹壁ヘルニアを発症した1例. 日本皮膚科学会第895回東京地方会, 2021.
- 13) ◎三石修平, 岡野達郎, 竹内そら, 宮垣朝光, 門野岳史. チアマゾール内服により発症した薬剤関連免疫複合体性血管炎の1例. 日本皮膚科学会第895回東京地方会, 2021.

② 国際学会

- 1) ©Mochizuki T, Tamaki M, Takeuchi S, Miyagaki T, Kadono T. Beta-hydroxybutyrate reduces psoriasiform dermatitis. The 45th Annual Meeting of the Japanese Society for Investigative Dermatology (JSID), 2020.

		和文	英文
著 書			
論 文	原著		1
	解説又は総説	29	
	症例報告	3	2
	その他		
学会発表	国内学会	13	
	国際学会		1
	その他		

腎泌尿器外科学

著書

- 1) 菊地栄次. がん患者の現況 (男性: 精巣腫瘍など) 新版 がん・生殖医療 妊孕性温存の診療 2020;:87-95.
- 2) 富永直人, 吉岡まき. なぜ私に尿路結石ができたのでしょうか? 世界一やさしい! 尿路結石の本 2020;:1-11.
- 3) 角浩史, 相田紘一朗. 結石の治療 世界一やさしい! 尿路結石の本 2020;:75-103.
- 4) 丸井祐二, 長澤将. Chapter4 腎生検の方法(2.開放腎生検 p46-47:丸井, 4.移植腎生検 p48-49:丸井), Chapter10 移植腎生検 p91-92:丸井, Chapter11 開放腎生検 p93:丸井, アンケート調査 10 開放腎生検・移植腎生検 p149-153:長澤・丸井 腎生検ガイドブック 2020 2020;:46-49, 48-49, 91-92, 93, 149-153.
- 5) 中澤龍斗. 免疫抑制薬についてくわしく知ろう・エベロリムス (サーティカン®) 腎移植とくすり 2020;:27-28.
- 6) 丸井祐二. 腎移植に欠かせない免疫抑制剤 腎移植とくすり 2020;:7-12.
- 7) 佐々木秀郎. 免疫抑制薬の服用中に気を付けること・悪性腫瘍 腎移植とくすり 2020;:87-89.
- 8) 菊地栄次. 腎盂・尿管腫瘍 今日の治療指針 2021;(2021年版):1210-1211.

学術論文[和文]

① 総説又は症例解説

- 1) 菊池栄次. 特集 腎盂・尿管癌の治療を考える 序文. 泌尿器外科, 2020;33(5):453.
- 2) 菊池栄次. 特集 ここが変わった! 膀胱癌診療 新ガイドラインを読み解く -StageIV 膀胱癌の治療. 臨床泌尿器科, 2020;74(5):316-319.
- 3) 菊池栄次. 転移性膀胱癌に対する免疫チェックポイント阻害薬 [ペムブロリズマブの有用性を確認。さらなる新規薬物治療の開発が加速]. 週刊日本医事新報, 2020;5029:49.

② 症例報告

- 1) 松村かおり, 丸井祐二, 相田紘一朗, 安達裕之, 白井大介, 塚田光, 山田龍治, 與座直利, 岩田鉄平, 薄場渉, 早川望, 中澤龍斗, 佐々木秀郎, 菊池栄次. 腎臓移植 13年目に急速に進行した子宮癌肉腫の一例. 移植, 2021;55(4):421-426.

学術論文[英文]

① 原著

- 1) Kawaguchi Takehiko, Nagasawa Tasuku, Tsuruya Kazuhiko, Miura Kenichiro, Katsuno Takayuki, Morisawa Takashi, Ishikawa Eiji, Ogura Masao, Matsumura Hideki, Kurayama Ryota, Matsumoto Shinsuke, Marui Yuhji, Hara Shigeo, Maruyama Shoichi, Narita Ichiei, Okada Hirokazu, Ubara Yoshifumi. A nationwide survey on clinical practice patterns and bleeding complications of percutaneous native kidney biopsy in Japan. Clinical and Experimental Nephrology, 2020;24:389-401.

- 2) Matthew D Galsky, José Ángel Arranz Arija, Aristotelis Bamias, Ian D Davis, Maria De Santis, Eiji Kikuchi, Xavier Garcia-Del-Muro, Ugo De Giorgi, Marina Mencinger, Kouji Izumi, Stefano Panni, Mahmut Gumus, Mustafa Özgüroğlu, Arash Rezazadeh Kalebasty, Se Hoon Park, Boris Alekseev, Fabio A Schutz, Jian-Ri Li, Dingwei Ye, Nicholas J Vogelzang, Sandrine Bernhard, Darren Tayama, Sanjeev Mariathasan, Almut Mecke, AnnChristine Thåström, Enrique Grande, IMvigor130 Study Group. Atezolizumab with or without chemotherapy in metastatic urothelial cancer (IMvigor130): a multicentre, randomised, placebo-controlled phase 3 trial. *Lancet*, 2020; 395(10236):1547-1557.
- 3) Shigeta Keisuke, Matsumoto Kazuhiro, Abe Takayuki, Komatsuda Akari, Takeda Toshikazu, Mizuno Ryuichi, Kikuchi Eiji, Asanuma Hiroshi, Arita Yuki, Akita Hirotaka, Jinzaki Masahiro, Miyajima Akira, Oya Mototsugu. The efficacy of the TachoSil binding suturing technique in laparoscopic partial nephrectomy to prevent the development of pseudoaneurysm. *Asian Journal of Surgery*, 2020;43(6):668-675.
- 4) Takamatsu Kimiharu, Takeda Toshikazu, Hattori Seiya, Tanaka Nobuyuki, Morita Shinya, Matsumoto Kazuhiro, Kosaka Takeo, Mizuno Ryuichi, Shinojima Toshiaki, Kikuchi Eiji, Asanuma Hiroshi, Kurihara Isao, Itoh Hiroshi, Oya Mototsugu. Appropriate timing for a biochemical evaluation after adrenalectomy for unilateral aldosterone-producing adenoma. *Clinical Endocrinology*, 2020;92(6):503-508.
- 5) Fukumoto Keishiro, Miyajima Akira, Matsumoto Kazuhiro, Kobayashi Hiroaki, Niwa Naoya, Hongo Hiroshi, Kurihara Isao, Kikuchi Eiji, Oya Mototsugu. Umbilical closure using 2-octyl cyanoacrylate in transumbilical laparoscopic adrenalectomy: A randomized controlled trial. *International Journal of Urology*, 2020;27(8):670-675.
- 6) Prieto-Vila Marta, Shimomura Iwao, Kogure Akiko, Usuba Wataru, Takahashi Ryou-U, Ochiya Takahiro, Yamamoto Yusuke. Quercetin inhibits Lef1 and resensitizes docetaxel-resistant breast cancer cells. *Molecules*, 2020;25(11):2576.
- 7) Sato Yoko, Asahina Kiyoshi, Yoshiike Miki, Nozawa Shiari, Otoi Takeshige, Iwamoto Teruaki. A change in the steroid metabolic pathway in human testes showing deteriorated spermatogenesis. *Reproductive Biology*, 2020;20(2):210-219.
- 8) Ogihara Koichiro, Kikuchi Eiji, Shigeta Keisuke, Okabe Takashi, Hattori Seiya, Yamashita Ryo, Yoshimine Shunsuke, Shirotake Suguru, Nakazawa Ryuto, Matsumoto Kazuhiro, Mizuno Ryuichi, Hara Satoshi, Oyama Masafumi, Masuda Takeshi, Niwakawa Masashi, Oya Mototsugu. The pretreatment neutrophil-to-lymphocyte ratio is a novel biomarker for predicting clinical responses to pembrolizumab in platinum-resistant metastatic urothelial carcinoma patients. *Urologic Oncology*, 2020;38(6):602.e1-602.e10.
- 9) Shigeta Keisuke, Hasegawa Masanori, Kikuchi Eiji, Yasumizu Yota, Kosaka Takeo, Mizuno Ryuichi, Mikami Shuji, Miyajima Akira, Kufe Donald, Oya Mototsugu. Role of the MUC1 - C oncoprotein in the acquisition of cisplatin resistance by urothelial carcinoma. *Cancer Science*, 2020;111(10):3639-3652.

- 10) Sato Youichi, Tajima Atsushi, Kiguchi Misaki, Kogusuri Suzu, Fujii Aki, Sato Takehiro, Nozawa Shiari, Yoshiike Miki, Mieno Makiko, Kojo Kosuke, Uchida Masahiro, Tsuchiya Haruki, Yamasaki Kazumitsu, Imoto Issei, Iwamoto Teruaki. Genome-wide association study of semen volume, sperm concentration, testis size, and plasma inhibin B levels. *Journal of Human Genetics*, 2020;65(8):683-691.
- 11) Shigeta Keisuke, Kikuchi Eiji, Matsushima Masashi, Ogihara Koichiro, Kosaka Takeo, Mizuno Ryuichi, Tanaka Tomoki, Shigematsu Naoyuki, Oya Mototsugu. Relationship between radiation doses and erectile function deterioration in patients with localized prostate cancer treated with permanent prostate brachytherapy. *International Journal of Urology*, 2020;27(12):1087-1093.
- 12) Shigeta Keisuke, Kikuchi Eiji, Abe Takayuki, Hagiwara Masayuki, Ogihara Koichiro, Anno Tadatsugu, Umeda Kota, Baba Yuto, Sanjo Tansei, Shojo Kazunori, Mikami Shuji, Mizuno Ryuichi, Oya Mototsugu. A novel risk-based approach simulating oncological surveillance after radical nephroureterectomy in patients with upper tract urothelial carcinoma. *European Urology Oncology*, 2020;3(6):756-763.
- 13) Shigeta Keisuke, Matsumoto Kazuhiro, Takeda Toshikazu, Hattori Seiya, Kaneko Gou, Matsushima Masashi, Abe Takayuki, Tanaka Nobuyuki, Mizuno Ryuichi, Asanuma Hiroshi, Kikuchi Eiji, Oya Mototsugu. Evaluating the oncological outcomes of pure laparoscopic radical nephroureterectomy performed for upper-tract urothelial carcinoma patients: a multicenter cohort study adjusted by propensity score matching. *Annals of Surgical Oncology*, 2021;28(1):465-473.
- 14) Nakata Hiroki, Yoshiike Miki, Nozawa Shiari, Sato Yoko, Iseki Shoichi, Iwamoto Teruaki, Mizokami Atsushi. Three-dimensional structure of seminiferous tubules in the Syrian hamster. *Journal of Anatomy*, 2021;238(1):86-95.
- 15) Luca Afferi, Mohammad Abufaraj, Francesco Soria, David D'Andrea, Evangelos Xylinas, Thomas Seisen, Morgan Roupret, Chiara Lonati, Alexandre De la Taille, Benoit Peyronnet, Ekaterina Laukhtina, Benjamin Pradere, Andrea Mari, Wojciech Krajewski, Mario Alvarez-Maestro, Eiji Kikuchi, Keisuke Shigeta, Piotr Chlost, Francesco Montorsi, Alberto Briganti, Giuseppe Simone, Paola I Ornaghi, Maria Angela Cerruto, Alessandro Antonelli, Kazumasa Matsumoto, Pierre I Karakiewicz, Livio Mordasini, Agostino Mattei, Shahrokh F Shariat, Marco Moschini.
A comparison of perioperative outcomes of laparoscopic versus open nephroureterectomy for upper tract urothelial carcinoma: a propensity score matching analysis. *Minerva urologica e nefrologica*, 2021:: doi: 10.23736/S0393-2249.20.04127-2.
- 16) Arita Yuki, Shigeta Keisuke, Akita Hirotaka, Suzuki Tatsuya, Kufukihara Ryohei, Kwee C Thomas, Ishii Ryota, Mikami Shuji, Okuda Shigeo, Kikuchi Eiji, Oya Mototsugu, Jinzaki Masahiro. Clinical utility of the vesical imaging-reporting and data system for muscle-invasive bladder cancer between radiologists and urologists based on multiparametric MRI including 3D FSE T2-weighted acquisitions. *European Radiology*, 2021;31(2):875-883.

- 17) Anno Tadatsugu, Kikuchi Eiji, Shigeta Keisuke, Ogihara Koichiro, Watanabe Keitaro, Yanai Yoshinori, Takamatsu Kimiharu, Hasegawa Shintaro, Masuda Takeshi, Oyama Masafumi, Mizuno Ryuichi, Oya Mototsugu. Site-specific differences in survival among upper and lower tract urothelial carcinoma patients treated with radical surgery. *Japanese Journal of Clinical Oncology*, 2021;doi: 10.1093/jjco/hyab003:1-9.
- 18) Hakozaiki Kyohei, Kikuchi Eiji, Ogihara Koichiro, Shigeta Keisuke, Abe Takayuki, Miyazaki Yasumasa, Kaneko Gou, Maeda Takahiro, Yoshimine Shunsuke, Kanai Kunimitsu, Ide Hiroki, Shirotake Suguru, Oyama Masafumi, Mizuno Ryuichi, Oya Mototsugu. Significance of prophylactic urethrectomy at the time of radical cystectomy for bladder cancer. *Japanese Journal of Clinical Oncology*, 2021;51(2):287-295.
- 19) Kufukihara Ryohei, Kikuchi Eiji, Ogihara Koichiro, Shigeta Keisuke, Yanai Yoshinori, Takamatsu Kimiharu, Ide Hiroki, Oyama Masafumi, Asakura Hirotaka, Mizuno Ryuichi, Oya Mototsugu. Role of previous malignancy history in clinical outcomes in patients with initially diagnosed non-muscle invasive bladder cancer. *Annals of surgical oncology*, 2021;:doi: 10.1245/s10434-021-09750-0.
- 20) Shigeta Keisuke, Matsumoto Kazuhiro, Ogihara Koichiro, Murakami Tetsushi, Anno Tadatsugu, Umeda Kota, Izawa Mizuki, Baba Yuto, Sanjo Tansei, Shojo Kazunori, Tanaka Nobuyuki, Takeda Toshikazu, Kosaka Takeo, Mizuno Ryuichi, Mikami Shuji, Kikuchi Eiji, Oya Mototsugu. The clinicopathological characteristics of muscle - invasive bladder recurrence in upper tract urothelial carcinoma. *Cancer Science*, 2021;112(3):1084-1094.
- 21) Takamatsu Kimiharu, Matsumoto Kazuhiro, Kikuchi Eiji, Ogihara Koichiro, Hayakawa Nozomi, Tanaka Nobuyuki, Takeda Toshikazu, Morita Shinya, Kosaka Takeo, Mizuno Ryuichi, Asanuma Hiroshi, Mikami Shuji, Oyama Masafumi, Oya Mototsugu. Can random bladder biopsies be eliminated after bacillus Calmette-Guérin therapy against carcinoma in situ?. *International Urology and Nephrology*, 2021;53(3):465-469.
- 22) Iwata Teppei, Sedukhina S Anna, Kubota Manabu, Onuma Shigeko, Maeda Ichiro, Yoshiike Miki, Usuba Wataru, Minagawa Kimino, Hames Eleina, Meguro Rei, Cho Sunny, Chien H H Stephen, Urabe Shiro, Pae Sookhee, Palanisamy Kishore, Kumai Toshio, Yudo Kazuo, Kikuchi Eiji, Sato Ko. A new bioinformatics approach identifies overexpression of GRB2 as a poor prognostic biomarker for prostate cancer. *Scientific Reports*, 2021;11(11):5696.
- ② 総説又は症例解説
- 1) Matsumoto Hiroaki, Shiraishi Koji, Azuma Haruhito, Inoue Keiji, Uemura Hirotsugu, Eto Masatoshi, Ohyama Chikara, Ogawa Osamu, Kikuchi Eiji, Kitamura Hiroshi, Shinohara Nobuo, Takahashi Satoru, Tsuzuki Toyonori, Nakagawa Masayuki, Narumi Yoshifumi, Nishiyama Hiroyuki, Habuchi Tomonori, Hinotsu Shiro, Fujii Yasuhisa, Fujimoto Kiyohide, Fujimoto Hiroyuki, Mizowaki Takashi, Matsuyama Hideyasu. Clinical practice guidelines for bladder cancer 2019 edition by the Japanese urological association: revision working position paper. *International Journal of Urology*, 2020;27(5):362-368.

2) Matsumoto Hiroaki, Shiraishi Koji, Azuma Haruhito, Inoue Keiji, Uemura Hirotsugu, Eto Masatoshi, Ohyama Chikara, Ogawa Osamu, Kikuchi Eiji, Kitamura Hiroshi, Shinohara Nobuo, Takahashi Satoru, Tsuzuki Toyonori, Nakagawa Masayuki, Narumi Yoshifumi, Nishiyama Hiroyuki, Habuchi Tomonori, Hinotsu Shiro, Fujii Yasuhisa, Fujimoto Kiyohide, Fujimoto Hiroyuki, Mizowaki Takashi, Matsuyama Hideyasu. Clinical practice guidelines for bladder cancer 2019 update by the Japanese urological association: summary of the revision. *International Journal of Urology*, 2020;27(9):702-709.

③ 症例報告

1) Hiroko Tagawa, Takayuki Yamada, Takashi Miyakawa, Yoshida Aida, Zenkichi Sekiguchi. A collision between vascular adrenal cyst and adrenocortical adenoma. *Radiology case reports*, 2021;16(6):1294-1299.

④ その他

1) Kikuchi Eiji, Mizuno Ryuichi. Editorial comment to: Prognostic value of variant histology in upper tract urothelial carcinoma treated with nephroureterectomy: a systematic review and meta-analysis. *Journal of Urology*, 2020;203(6):1084.

2) Kikuchi Eiji, Hayakawa Nozomi. Cabozantinib as a choice for platinum-refractory metastatic urothelial cancer. *The Lancet Oncology*, 2020;21(8):1005-1006.

3) Hayakawa Nozomi, Kikuchi Eiji. Editorial comment to: Prognostic impact of non-urothelial carcinoma of the upper urinary tract: analysis of hospital-based cancer registry data in Japan. *International Journal of Urology*, 2021;28(1):60-61.

4) Kufukihara Ryohei, Kikuchi Eiji, Ogihara Koichiro, Shigeta Keisuke, Oya Mototsugu. ASO author reflections: previous history of non-urothelial malignancy may provide predictive information of worse clinical outcome for initially diagnosed non-muscle invasive bladder cancer. *Annals of Surgical Oncology*, 2021;: doi: 10.1245/s10434-021-09787-1.

5) Hayakawa Nozomi, Kikuchi Eiji.

Editorial Comment to Effect of optimal neoadjuvant chemotherapy on oncological outcomes of locally advanced bladder cancer with laparoscopic radical cystectomy: A matched - pair analysis in a multicenter cohort. *International Journal of Urology*, 2021;: doi: 10.1111/iju.14557.

学会発表

① 国内学会

1) ◎森田一, 三井満里奈, 平田藍, 藤本瑛介, 蜂須賀智, 野口陽平, 小澤俊一郎, 高橋秀明, 松崎貴志, 松本伸行, 田中恒明. ニボルマブによる大腸炎にメサラジンを使用した HBc 抗体陽性患者の 1 例. *日本臨床腫瘍薬学会学術大会 2020*, 2020.

2) ◎早川望, 菊地栄次, 知念克也, 浅田雄介. 転移性大腸癌の経過観察中に手術切除して診断された副腎 neuroendocrine carcinoma の 1 例. *第 93 回日本内分泌学会学術総会*, 2020.

3) ◎與座直利, 中澤龍斗, 菊地栄次, 方波見卓行. VHL 病に伴う両側褐色細胞腫に対し、二期的に両副腎腫瘍摘出術を施行した一例. *第 93 回日本内分泌学会学術総会*, 2020.

- 4) ◎茂田啓介, 菊地栄次, 長谷川政徳, 小坂威雄, 水野隆一, 宮嶋哲, 大家基嗣. 難治性膀胱癌における細胞内代謝リプログラミングを利用した抗癌剤耐性獲得機序の解明. 第 29 回 泌尿器科分子・細胞研究会, 2020.
- 5) ◎薄場渉, 占部文彦, 松崎潤太郎, 佐々木秀郎, 市川真紀子, 滝澤聡子, 颯川晋, 菊地栄次, 藤元博行, 落谷孝広. 膀胱癌検出を可能にする血清 miRNA を用いた判別式の構築の試み. 第 29 回泌尿器科分子・細胞研究会, 2020.
- 6) ◎丸井祐二. 移植者自身が発信する World Transplant Games が伝えること. 第 120 回 日本外科学会定期学術集会, 2020.
- 7) ◎久保ゆい, 方波見卓行, 松葉怜, 川名部新, 佐藤怜奈, 蜂須賀智, 相田芳夫, 山崎有人, 笹野公伸, 中川朋子, 曾根正勝. 巨大後腹膜腫瘍として発見された左側副腎出血と右側原発性アルドステロン症 (PA) を合併した 1 例. 第 24 回日本臨床内分泌病理学会学術総会, 2020.
- 8) ◎與座直利, 中澤龍斗, 早川望, 塚田光, 白井大介, 安達裕之, 松村かおり, 薄場渉, 相田紘一朗, 佐々木秀郎, 丸井祐二, 菊地栄次. MRI/US fusion biopsy を施行し診断した右尿管癌術後再発の一例. 第 85 回日本泌尿器科学会東部総会, 2020.
- 9) ◎岩田鉄平, 早川望, 安達裕之, 白井大介, 相田紘一朗, 中澤龍斗, 佐々木秀郎, 丸井祐二, 菊地栄次. 遠隔転移をきたした筋層非浸潤性膀胱癌の一例. 第 85 回日本泌尿器科学会東部総会, 2020.
- 10) ◎菊地栄次. 共催シンポジウム「長寿社会における前立腺癌と QOL の維持 特に性機能について」前立腺癌治療と ED-その関係を知る一. 第 85 回日本泌尿器科学会東部総会, 2020.
- 11) ◎茂田啓介, 長谷川政徳, 菊地栄次, 松本一宏, 小坂威雄, 水野隆一, 菱子貴子, 末松誠, 大家基嗣. 尿路上皮癌細胞における細胞内代謝リプログラミング機能と抗癌剤耐性機序との関連. 第 79 回日本癌学会学術総会, 2020.
- 12) ◎村橋登, 方波見卓行, 川名部新, 松葉怜, 久保ゆい, 佐藤怜奈, 竹内研人, 蜂須賀智, 相田芳夫, 田中彩夏, 笹野公伸, 斎藤春洋, 曾根正勝. 副腎皮質癌との鑑別が困難であった肺癌片側副腎転移の 1 例. 第 21 回日本内分泌学会関東甲信越支部学術集会, 2020.
- 13) ◎茂田啓介, 松本一宏, 田中伸之, 安水洋太, 武田利和, 森田伸也, 小坂威雄, 水野隆一, 浅沼宏, 菊地栄次, 大家基嗣. リンパ節転移を伴う進行性腎盂尿管癌に対する治療戦略-多施設コホートによる予後解析-. 第 58 回日本癌治療学会学術集会, 2020.
- 14) ◎荻原広一郎, 菊地栄次, 茂田啓介, 岡部尚志, 山下亮, 吉峰俊輔, 松本一宏, 水野隆一, 原智, 小山政史, 庭川要, 大家基嗣. 尿路上皮癌における Pembrolizumab 治療中の好中球リンパ球比の変化と治療効果の関連. 第 58 回日本癌治療学会学術集会, 2020.
- 15) ◎菊地栄次. 浸潤性尿路上皮癌の周術期治療を徹底検証 術後補助治療支持の立場から. 日本泌尿器腫瘍学会第 6 回学術集会, 2020.
- 16) ◎丸井祐二, 青木直人, 與座直利, 松村かおり, 薄場渉, 西智弘, 勝岡由一, 中澤龍斗, 佐々木秀郎, 菊地栄次. 透析患者における腎細胞癌症例の検討. 第 65 回日本透析医学会学術集会・総会, 2020.
- 17) ◎早川望, 菊池栄次. 当院における片側腎尿管全摘+膀胱全摘除術の後視的検討. 第 72 回西日本泌尿器科学会総会, 2020.
- 18) ◎菊地栄次. シンポジウム 5「膀胱癌の診断・治療 game changers」BCG failure 治療における game changer への期待と課題. 第 72 回西日本泌尿器科学会総会, 2020.

- 19) ◎宇田川剛, 勝岡由一, 設楽敏也, 菊地栄次. 前立腺肥大症に対する HoLEP における使用エネルギー量の臨床的検討. 第 34 回日本泌尿器内視鏡学会総会, 2020.
- 20) ◎中澤龍斗, 佐々木秀郎, 與座直利, 岩田鉄平, 松村かおり, 薄場渉, 相田紘一朗, 早川望, 菊地栄次. 移植腎採取術の術式が血清クレアチニン値に与える影響. 第 34 回日本泌尿器内視鏡学会総会, 2020.
- 21) ◎菊地栄次, 早川望. シンポジウム 2「初心にかえて、TURBT の手技徹底検証！」TURBT 評価システムの確立に向けて. 第 34 回日本泌尿器内視鏡学会総会, 2020.
- 22) ◎勝岡由一, 宇田川剛, 青木直人, 薄場渉, 佐々木秀郎, 菊地栄次. 透析患者に発見された副腎褐色細胞の 1 例. 第 34 回日本泌尿器内視鏡学会総会, 2020.
- 23) ◎関口善吉, 佐々木秀郎, 中澤龍斗, 蜂須賀智, 薄場渉, 相田紘一朗, 早川望, 菊地栄二. Multi-port 腹腔鏡手術経験が LESS 腎摘の周術期成績に与える影響. 第 34 回日本泌尿器内視鏡学会総会, 2020.
- 24) ◎常見真吾, 方波見卓行, 月山秀一, 松葉 怜, 川名部新, 久保ゆい, 蜂巢賀智, 北島和樹, 山田隆之, 山崎有人, 笹野公伸, 曾根正勝. 識別困難だったカテコラミン軽度高値、サブクリニカクッシング症候群 (SCS) を伴った血管嚢胞合併副腎腺腫の 1 例. 第 31 回間脳・下垂体・副腎系研究会, 2020.
- 25) ◎丸井祐二. 脳死ドナー手術に関連する苦慮した腎移植とは. 第 56 回日本移植学会総会, 2020.
- 26) ◎薄場渉. 症例から学ぶ～当院での経験を踏まえた上での先行的腎移植の今後の在り方. 第 56 回日本移植学会総会, 2020.
- 27) ◎佐々木秀郎, 薄場渉, 西智弘, 青木直人, 勝岡由一, 中澤龍斗, 丸井祐二, 大迫希代美, 寺下真帆, 谷澤雅彦, 今井直彦, 柴垣有吾, 菊地栄次. 術前抗体除去療法を行わなかった ABO 血液型不適合腎移植の 23 例. 第 108 回日本泌尿器科学会総会, 2020.
- 28) ◎薄場渉, プリエトピラ マルタ, 小坂展慶, 竹下文隆, 佐々木秀郎, 吉池美紀, 野澤資亜利, 西智弘, 勝岡由一, 中澤龍斗, 丸井祐二, 落谷孝広, 菊地栄次. 新規膀胱癌治療ターゲット、細胞外小胞由来 miR-146a-5p の機能解析. 第 108 回日本泌尿器科学会総会, 2020.
- 29) ◎丹羽直也, 田中伸之, 本郷周, 高松公晴, 武田利和, 松本一宏, 森田伸也, 水野隆一, 浅沼宏, 菊地栄次, 三上修治, 小坂威雄, 大家基嗣. シスプラチン抵抗性尿路上皮癌では EMT 誘導に TNFAIP2-MTDH axis が関与する. 第 108 回日本泌尿器科学会総会, 2020.
- 30) ◎與座直利, 中澤龍斗, 松村かおり, 青木直人, 薄場渉, 西智弘, 勝岡由一, 佐々木秀郎, 丸井祐二, 菊地栄次, 田島信哉, 高木正之, 小池淳樹. 腎静脈浸潤を伴う腎細胞癌に対しイピリムマブ+ニボルマブ施行後腎摘除術を施行した一例. 第 108 回日本泌尿器科学会総会, 2020.
- 31) ◎吉岡まき, 佐々木秀郎, 工藤浩也, 中澤龍斗, 相田紘一朗, 佐藤好嗣, 與座直利, 松村かおり, 青木直人, 薄場渉, 西智弘, 勝岡由一, 菊地栄次. 小径腎腫瘍に対する腎実質無縫合腎部分切除術の初期経験. 第 108 回日本泌尿器科学会総会, 2020.
- 32) ◎松村かおり, 勝岡由一, 與座直利, 青木直人, 薄場渉, 西智弘, 中澤龍斗, 佐々木秀郎, 丸井祐二, 菊地栄次. 当院で緊急手術を行った外傷性精巣破裂の 11 例. 第 108 回日本泌尿器科学会総会, 2020.
- 33) ◎菊地栄次. Up to date 3「膀胱がん診療ガイドライン update—何が変わったか?—」免疫チェックポイント阻害薬の登場による転移性尿路上皮癌のパラダイムシフト. 第 108 回日本泌尿器科学会総会, 2020.
- 34) ◎中澤龍斗, 西智弘, 勝岡由一, 青木直人, 薄場渉, 松村かおり, 與座直利, 佐々木秀郎, 菊地栄次.

当院における局所進行前立腺癌に対する鏡視下小切開拡大前立腺全摘除術の臨床成績. 第 108 回日本泌尿器科学会総会, 2020.

- 35) ◎菊地栄次, 賀本敏行. 「日本泌尿器科学会における NCD の意義と可能性」泌尿器科の NCD の現状と今後. 第 108 回日本泌尿器科学会総会, 2020.
- 36) ◎井手広樹, 菊地栄次, 荻原広一郎, 丹羽直也, 栢田司, 馬場優人, 大家基嗣. 喫煙歴を有する非筋層浸潤性膀胱癌患者における尿 pH と上部尿路上皮癌発生率の関連. 第 108 回日本泌尿器科学会総会, 2020.
- 37) ◎菊地栄次. イブニングセミナー9 膀胱癌診療ガイドライン 2019 年版 筋層非浸潤性膀胱癌編—改訂のポイント解説—. 第 108 回日本泌尿器科学会総会, 2020.
- 38) ◎青木直人. 後腹膜由来褐色脂肪腫 (Hibernoma) の一例. 第 108 回日本泌尿器科学会総会, 2020.
- 39) ◎西智弘, 與座直利, 松村かおり, 青木直人, 薄場渉, 勝岡由一, 中澤龍斗, 佐々木秀郎, 丸井祐二, 菊地栄次. 精巣腫瘍における超音波検査所見と病理組織所見との対比. 第 108 回日本泌尿器科学会総会, 2020.
- 40) ◎菊地栄次. 会長特別企画 2 「日本の泌尿器科の未来を語る」10 年先何を目指すべきか? (現役教授). 第 108 回日本泌尿器科学会総会, 2020.
- 41) ◎仲田浩規, 吉池美紀, 野澤資亜利, 佐藤陽子, 関正一, 岩本晃明, 溝上敦. ハムスター精細管の三次元構造. 日本アンドロロジー学会第 39 回学術集会, 2021.
- 42) ◎薄場渉. 泌尿器腫瘍領域を中心としたマイクロ RNA の現状と今後の課題. Liquid Biopsy 研究会, 2021.
- 43) 宮内隆政, 谷澤雅彦, 緒方聖友, 村田真理絵, 櫻井裕子, 大迫希代美, 寺下真帆, 今井直彦, 佐々木秀郎, 菊地栄次, 市田公美, 柴垣有吾. 腎性低尿酸血症ドナーから生体腎移植後に低尿酸血症を呈した一例. 第 54 回日本臨床腎移植学会, 2021.
- 44) ◎安達裕之, 早川望, 山田龍治, 岩田鉄平, 相田紘一朗, 中澤龍斗, 佐々木秀郎, 丸井祐二, 菊地栄次. 尿道を縦切開した陰茎自傷の一例. 第 62 回日本泌尿器科学会神奈川県地方会, 2021.
- 45) ◎茂田啓介, 小坂威雄, 長谷川政徳, 菱木貴子, 水野隆一, 菊地栄次, 宮嶋哲, 末松誠, 大家基嗣. 難治性尿路上皮癌における IDH1/2 蛋白が誘導する細胞内代謝リプログラミング機構の全貌解明. 第 30 回泌尿器科分子・細胞研究会, 2021.
- 46) ◎薄場渉, 佐々木秀郎, 吉岡祐亮, 山田龍治, 吉池美紀, 落合孝広, 菊地栄次. 尿中 CD55/CD9 共陽性エクソソームは膀胱がん再発の早期診断マーカーとなりうる. 第 30 回泌尿器科分子・細胞研究会, 2021.

② 国際学会

- 1) ◎Ogihara Koichiro, Kikuchi Eiji, Takeda Toshikazu, Matsumoto Kazuhiro, Saya Hideyuki, Oya Mototsugu. Sulfasalazine cold modulate the CD44v9-xCT system and enhance CDDP-induced cytotoxic effects in metastatic bladder cancer; A novel therapeutic strategy for metastatic bladder cancer. American Urological Association 2020 annual meeting, 2020.
- 2) ◎Baba Yuto, Kikuchi Eiji, Shigeta Keisuke, Yasumizu Yota, Tanaka Nobuyuki, Takeda Toshikazu, Matsumoto Kazuhiro, Morita Shinya, Kosaka Takeo, Mizuno Ryuichi, Oya Mototsugu. Performing transurethral resection under general anesthesia may contribute to higher

recurrence rates in high risk non-muscle invasive bladder cancer. American Urological Association 2020 annual meeting, 2020.

- 3) ©Niwa Naoya, Tanaka Nobuyuki, Hongo Hiroshi, Miyazaki Yasumasa, Takamatsu Kimiharu, Yasumizu Yota, Takeda Toshikazu, Matsumoto Kazuhiro, Morita Shinya, Kosaka Takeo, Mizuno Ryuichi, Kikuchi Eiji, Asanuma Hiroshi, Mikami Shuji, Oya Mototsugu. TNFAIP2: A potential target in platinum resistance urothelial carcinoma. American Urological Association 2020 annual meeting, 2020.
- 4) ©Shigeta Keisuke, Matsumoto Kazuhiro, Tanaka Nobuyuki, Yasumizu Yota, Takeda Toshikazu, Morita Shinya, Kosaka Takeo, Mizuno Ryuichi, Kikuchi Eiji, Asanuma Hiroshi, Oya Mototsugu.. Are survival outcomes after neoadjuvant chemotherapy superior to those after upfront radical nephroureterectomy for node-positive upper tract urothelial carcinoma? Results of a multi-center cohort study. American Urological Association 2020 annual meeting, 2020.
- 5) © Watanabe Keitaro, Kikuchi Eiji, Ogihara Kohichiro, Kosaka Takeo, Hakozaiki Kyohei, Fukumoto Keishiro, Miyazaki Yasumasa, Shirotake SuguruS, Kanai Kunimitsu, Hara Satoshi, Oyama Masafumi, Nagata Hirohiko, Monma Tetsuo, Oya Mototsugu. Who could be effectively treated with adjuvant chemotherapy among pathologically node positive muscle invasive bladder cancer patients treated with radical cystectomy?: A multicenter cohort study adjusted by propensity score matching. American Urological Association 2020 annual meeting, 2020.
- 6) ©Kufukihara Ryohei, Kikuchi Eiji, Shigeta Keisuke, Yasumizu Youta, Tanaka Nobuyuki, Takeda Toshikazu, Matsumoto Kazuhiro, Mizuno Ryuichi, Arita Yuki, Akita Hirotaka, Jinzaki Masahiro, Oya Mototsugu. Evaluating the diagnostic accuracy of vesical imaging-reporting and data system for detecting muscle-invasive bladder cancer in real clinical setting. American Urological Association 2020 annual meeting, 2020.
- 7) © Ogihara Koichiro, Kikuchi Eiji, Okabe Takashi, Yamashita Ryo, Yoshimine Shunsuke, Shirotake Suguru, Nakazawa Ryuto, Matsumoto Kazuhiro, Mizuno Ryuichi, Hara Satoshi, Oyama Masafumi, Masuda Takeshi, Niwakawa Masashi, Oya Mototsugu. Pretreatment absolute monocyte count is a novel biomarker for predicting worse clinical outcome in chemo-resistant urothelial carcinoma patients treated with pembrolizumab. American Urological Association 2020 annual meeting, 2020.
- 8) ©Mizuno Ryuichi, Takamatsu Kimiharu, Tanaka Nobuyuki, Hayakawa Nozomi, Kosaka Takeo, Kikuchi Eiji, Oya Mototsugu. Predictors of first line systemic therapy for metastatic renal cell carcinoma in IMDC favorable risk patients. 2020 American Society of Clinical Oncology Annual Meeting, 2020.
- 9) ©Matt D. Galsky, Romain Banchereau, Habib Rahman Hamidi, Ning Leng, Will Harris, Peter H. O'Donnell, Edward Ernest Kadel, Kobe Chi Yung Yuen, Dexter Jin, Hartmut Koeppen, Darren Tayama, Enrique Grande, Jose Arranz, Maria De Santis, Ian D. Davis, Eiji Kikuchi, Xiaodong Shen, Aristotelis Bamias, Sanjeev Mariathasan. Tumor, immune, and stromal characteristics associated with clinical outcomes with atezolizumab (atezo) + platinum-based chemotherapy

- (PBC) or atezo monotherapy (mono) versus PBC in metastatic urothelial cancer (mUC) from the phase III IMvigor130 study. 2020 American Society of Clinical Oncology Annual Meeting, 2020.
- 10) ©Takamatsu Kimiharu, Mizuno Ryuichi, Hayakawa Nozomi, Tanaka Nobuyuki, Kosaka Takeo, Kikuchi Eiji, Oya Mototsugu. The change of serum C-reactive protein levels during molecular-targeted treatments could predict the response to anti-PD-1 treatment in metastatic. 2020 American Society of Clinical Oncology Annual Meeting, 2020.
 - 11) ©Shigeta Keisuke, Kikuchi Eiji, Hasegawa Masanori, Matsumoto Kazuhiro, Kosaka Takeo, Mizuno Ryuichi, Mikami Shuji, Kufe Donald, Miyajima Akira, Oya Mototsugu. Urothelial carcinoma cancer cells acquires cisplatin resistance via muc1-c oncoprotein regulation. The 36th Annual European Association of Urology Congress, 2020.
 - 12) ©Bamias A, Santis M De, Arranz JA, Grande E, Galsky MD, Kikuchi E, Park SH, Giorgi U De, del Muro XG, Mencinger M, Alekseev B, Puente J, Izumi K, Gumus M, Gonzalez BM, Li J, Quach C, Ding B, Bernhard S, Davis ID. Patient-reported outcomes (PROs) from IMvigor130: A global, randomised, partially blinded phase III study of atezolizumab (atezo) + platinum-based. ESMO Congress 2020, 2020.
 - 13) ©de Santis M, Galsky MD, Banchereau R, Hamidi H, Leng N, Harris W, O'Donnell PH, Kadel W, Yuen K, Jin D, Koeppen H, Tayama D, Grande E, Arija AJA, Davis ID, Kikuchi E, Shen X, Bamias A, Mariathasan S. Mvigor130: Tumor microenvironment biomarkers associated with overall survival from a randomized, phase III study in locally advanced or metastatic. Grobal Congress on Bladder Cancer 2020, 2020.
 - 14) ©Marui Yuhji. The effect of surgical closure of hemodialysis arteriovenous fistula after successful kidney transplantation. The Transplantation Society of Australia and New Zealand 39th Annual Scientific meeting, 2021.
- ③ その他
- 1) ©丸井祐二, 安達裕之, 塚田光, 山田龍治, 白井大介, 與座直利, 岩田鉄平, 松村かおり, 薄場渉, 相田紘一朗, 早川望, 中澤龍斗, 佐々木秀郎, 菊地栄次. 腎移植後 COVID-19 治療において免疫抑制剤調節に難渋した一例. 第 99 回神奈川腎研究会・第 36 回神奈川県透析施設連絡協議会 合同研究会, 2020.
 - 2) ©丸井祐二. 薬剤師が期待されることとは-患者さん、医師とともに-. 第 2 回グラムビューティーク学術大会 かかりつけ薬局の一步先へ～良いときも、そうでないときも、自分らしくすごすお手伝いを！～, 2021.
 - 3) ©丸井祐二. 地域の患者さまが自分らしくすごすために薬剤師ができることとは！. 第 2 回グラムビューティーク学術大会 かかりつけ薬局の一步先へ～良いときも、そうでないときも、自分らしくすごすお手伝いを！～, 2021.

		和文	英文
著 書		8	
論 文	原著		22
	解説又は総説	3	2
	症例報告	1	1
	その他		5
学会発表	国内学会	46	
	国際学会		14
	その他	3	

産婦人科学(産科・婦人科)

著書

- 1) 五十嵐豪. 早発卵巣不全患者のリスク管理 別冊「医学のあゆみ」更年期診療 UPDATE 2020;:76-79.
- 2) 鈴木直, 森重健一郎, 高井泰, 古井辰郎. 新版がん・生殖医療—妊孕性温存の診療 2020;:1-415.
- 3) 高江正道, 鈴木直. 第3章 24 卵巣組織移植 新版がん・生殖医療—妊孕性温存の診療 2020;:217-227.
- 4) 久慈志保, 鈴木直. 第3章 30 卵巣がんに対する妊孕性温存療法 新版がん・生殖医療—妊孕性温存の診療 2020;:268-279.
- 5) 岩端秀之, 岩端由里子, 鈴木直. 第5章 47 米国 Oncofertility Consortium—最新トピックス 新版がん・生殖医療—妊孕性温存の診療 2020;:396-400.
- 6) 監修 日本産婦人科医会医療安全部会・妊産婦死亡症例検討評価委員会
編集 関沢明彦, 長谷川潤一. 日本の妊産婦を救うために 2020 2020;:1-329.
- 7) 長谷川潤一. 各論 前置胎盤 日本の妊産婦を救うために 2020 2020;:188-194.
- 8) 長谷川潤一. 各論 癒着胎盤 日本の妊産婦を救うために 2020 2020;:195-203.
- 9) 長谷川潤一. 各論 胎盤早期剥離 日本の妊産婦を救うために 2020 2020;:204-210.
- 10) 長谷川潤一. 各論 子宮破裂, 産道裂傷 日本の妊産婦を救うために 2020 2020;:211-214.
- 11) 長谷川潤一. 総論 10年間の妊産婦死亡報告事業における事例検討からみた成果 日本の妊産婦を救うために 2020 2020;:23-29.
- 12) 長谷川潤一. 5章 胎児・胎児付属物の異常とその管理 胎盤・臍帯・卵膜の異常 産科婦人科臨床 series collection 2 妊娠期の正常と異常 2020;(1):325-339.
- 13) 大原樹, 鈴木直. 子宮体がん 進行・再発 パクリキセル 175+カルボプラチン AUC5(TC療法) 誰も教えてくれなかった 婦人科がん薬物療法 2020;(改訂第2版):82-84.
- 14) 大原樹, 鈴木直. 子宮体がん 進行・再発 ドセタキセル 70単剤療法 誰も教えてくれなかった 婦人科がん薬物療法 改訂第2版 2020;(改訂第2版):85-87.
- 15) 長谷川潤一. ⑬多因子性疾患 H 臍帯ヘルニアと腹壁破裂 周産期遺伝カウンセリングマニュアル 改訂3版 2020;:184-187.
- 16) 関沢明彦, 長谷川潤一. ⑥染色体異常スクリーニング法 A 母体血清マーカー検査・コンバインド検査 周産期遺伝カウンセリングマニュアル改訂3版 2020;:73-76.
- 17) 長谷川潤一, 関沢明彦. ⑥染色体異常スクリーニング法 Column 診断検査とスクリーニング(マーカー)検査 周産期遺伝カウンセリングマニュアル改訂3版 2020;:89-89.
- 18) 長谷川潤一. 第5章 周産期医療における問題:生殖医療との関連 2.胎盤・臍帯の異常 生殖と周産期のリエゾン～生殖医が知っておくべきこと、産科医ができること～ 2020;:130-137.
- 19) 杉下陽堂, 鈴木直. 第3章 内科的・外科的疾患における妊孕性と周産期予後の問題 5.がんサバイバー 生殖と周産期のリエゾン～生殖医が知っておくべきこと、産科医ができること～ 2020;:64-72.
- 20) 高江正道, 鈴木直. 7章 患者への医療的サポート, こころのケア がん・生殖医療の進歩 Science and Practice 産科婦人科臨床シリーズ5 悪性腫瘍 2020;1(1):306-318.
- 21) 長谷川潤一. X 母体の急変 2 産科出血 3)産科医による止血 麻酔科プラクティス 産科麻酔 All in One 2020;:356-362.

- 22) 長谷川潤一. X母体の急変 Topics 母体急変における産科的 Sonography 麻酔科プラクティス 産科麻酔 All in One 2020;:387-389.
- 23) 岩端秀之, 長谷川潤一. 合併症とその対応 (3) 子宮創部縫合不全・術後出血 OGS Now basic No.3 いきなり帝王切開術 局所解剖を熟知し、コツを盗もう 2020;:178-183.
- 24) 長谷川潤一. 第2章 妊娠中後期 11 胎児付属物 所見から探る 産科超音波診断 2020;:341-356.
- 25) 久慈志保, 鈴木直. Symptom Benefit 婦人科腫瘍治療アップデート EBM を紐解き, ひとつ上の QOL-based 治療を実現する 2020;(1):315-330.
- 26) 長谷川潤一. I章 産科の超音波検査 各論 3 胎児付属物の形態評価 ①胎盤・臍帯 産婦人科エコーパーフェクトマニュアル 2020;:166-192.
- 27) 長谷川潤一. I章 産科の超音波検査 総論 1 産科の超音波検査の基本 産婦人科エコーパーフェクトマニュアル 2020;:2-6.
- 28) 古谷菜摘. I章産科の超音波検査 各論 3 胎児・胎盤の機能評価 ⑤胎盤実質の機能評価と病理 産婦人科エコーパーフェクトマニュアル 2020;:239-247.
- 29) 長谷川潤一. 産婦人科エコーパーフェクトマニュアル 2020;(1):1-402.
- 30) 中村健太郎, 鈴木直. 12. 小児がんサバイバーの問題点 研修ノート No.106 思春期のケア 2020;:---.
- 31) 鈴木直. Advanced Studies Oncofertility (がん・生殖医療) 標準産科婦人科学 第5版 2021;(5):108-108.
- 32) Junichi Hasegawa. Abnormal Findings in Ultrasound Examination Fetal Morph Functional Diagnosis 2020;:23-35.

学術論文[和文]

① 原著

- 1) 本間千夏, 岩端秀之, 倉崎昭子, 西村陽子, 近藤春裕, 長谷川潤一, 鈴木直. 妊娠中の症状の顕在化より2週間で妊産婦死亡に至った肺癌の一例. 日本周産期・新生児医学会雑誌, 2020;56(3):507-511.
- 2) 竹中基記, 古井辰郎, 高江正道, 杉下陽堂, 川原泰, 重松幸佑, 木村文則, 堀江昭史, 原鐵晃, 加藤雅志, 西山博之, 鈴木達也, 宮城充, 金西賢治, 久保恒明, 中山理, 梶山広明, 高井泰, 鈴木直. がん・生殖医療連携未整備地域 24 か所の現状と課題ー地域格差を解消するための施策ー. 癌と化学療法, 2020;47(12):1691-1696.
- 3) 古谷菜摘, 長谷川潤一, 鈴木直. 臍帯過捻転の胎盤病理の出生前超音波ドプラ診断. 関東連合産科婦人科学会誌, 2020;57(4):663-669.
- 4) 洞下由記, 清水千佳子, 古井辰郎, 高井泰, 堀部敬三, 鈴木直. 47 都道府県におけるがん・生殖医療に関わる公的助成金制度構築に関する実態調査ー小児・AYA 世代がん患者における生殖機能温存医療支援体制の必要性についてー. 日本がん・生殖医療学会誌, 2021;4(1):39-45.
- 5) 白石絵莉子, 洞下由記, 高江正道, 鈴木由妃, 澤田紫乃, 岩端秀之, 杉下陽堂, 岡本愛光, 鈴木直. 妊孕性温存胚を用いたがん・生殖医療の有効性と安全性に関する検証. 関東連合産科婦人科学会誌, 2021;58(1):141-144.

① 総説又は症例解説

- 1) 長谷川潤一. Quiz!教えて!はせじゅん先生 産科の Case Study ビジュアル解説(第 10 回) かんどん. ペリネイタルケア, 2020;39(4):337-342.
- 2) 長谷川潤一. Quiz!教えて!はせじゅん先生 産科の Case Study ビジュアル解説(第 11 回) 何かが悪いわけではないですが. ペリネイタルケア, 2020;39(5):441-446.
- 3) 高江正道, 鈴木直. 妊孕性温存のための卵巣凍結保存ならびに移植の現状. 小児外科, 2020;52(5):519-525.
- 4) 長谷川潤一. 【産婦人科診療ガイドライン産科編 2020 エッセンス 助産師のケアはここが変わる!】重要!改訂 CQ009「分娩予定日決定法」. ペリネイタルケア, 2020;39(6):583-585.
- 5) 長谷川潤一. Quiz!教えて!はせじゅん先生 産科の Case Study ビジュアル解説(第 12 回) 見逃しやすい. ペリネイタルケア, 2020;39(6):553-559.
- 6) 吉田好雄, 二神真行, 酒井瞳, 鈴木直. 婦人科悪性腫瘍研究機構(JGOG): 支持・緩和医療. 産科と婦人科, 2020;87(6):675-680.
- 7) 本間千夏. 【胎児心拍数陣痛図 介入のタイミングと助産ケア 産科医療補償制度の症例から学ぶ病態・対応】産科医療補償制度に学ぶ CASE STUDY(CASE 8) 臍帯脱出とその他の臍帯因子. ペリネイタルケア, 2020;39(7):728-734.
- 8) 長谷川潤一. QUIZ!教えて!はせじゅん先生 産科の Case Study ビジュアル解説(第 13 回) 女子なので. ペリネイタルケア, 2020;39(7):1-4.
- 9) 長谷川潤一. 【妊産婦の保健指導 トラの巻 助産師の指導・説明に役立つ回答・アドバイス集】(第 II 部)妊産婦の質問に答えられるようになる! (第 1 章)妊娠初期 妊娠初期の超音波検査 超音波検査では、何が分かりますか?. ペリネイタルケア, 2020;2020(夏季増刊):86-95.
- 10) 本間千夏. 【妊産婦の保健指導 トラの巻 助産師の指導・説明に役立つ回答・アドバイス集】(第 II 部)妊産婦の質問に答えられるようになる! (第 1 章)妊娠初期 マイナートラブル・貧血 妊娠前から貧血がひどく、よく立ちくらみがします。貧血だと赤ちゃんに影響があるのでしょうか?. ペリネイタルケア, 2020;2020(夏季増刊):82-85.
- 11) 倉崎昭子. 【妊産婦の保健指導 トラの巻 助産師の指導・説明に役立つ回答・アドバイス集】(第 II 部)妊産婦の質問に答えられるようになる! (第 2 章)妊娠中・末期 切迫早産 最近お腹が張って、下腹がつるような感じがあります. ペリネイタルケア, 2020;2020(夏季増刊):168-172.
- 12) 久慈志保, 鈴木直. 私の治療 婦人科疾患合併妊娠. 日本医事新報, 2020;5021(7 月 3 週):49-50.
- 13) 長谷川潤一, 鈴木隆之, 岩端秀之. 異所性妊娠の最新診療 5.異所性妊娠の超音波診断. 産科と婦人科, 2020;7(25):765-770.
- 14) 長谷川潤一. Quiz!教えて!はせじゅん先生 産科の Case Study ビジュアル解説(第 14 回) 超音波所見の深ぼり. ペリネイタルケア, 2020;39(8):777-780.
- 15) 本間千夏, 長谷川潤一, 鈴木直. [必携] 専攻医と指導医のための産科診療到達目標 病理・疾患編 [分娩] 臍帯下垂, 臍帯脱出. 周産期医学, 2020;50(8):1381-1383.
- 16) 長谷川潤一. Quiz!教えて!はせじゅん先生 産科の Case Study ビジュアル解説(第 15 回) 動きも拾ってしまう. ペリネイタルケア, 2020;39(9):889-892.
- 17) 岩端由里子, 岩端秀之, 鈴木直. 【周産期と悪性腫瘍】産科 がん患者の妊孕性温存(解説/特集). 周

産期医学, 2020;50(9):1575-1579.

- 18) 佐々木貴充, 長谷川潤一, 鈴木直. 【もう胎児付属物とはいわせない!-胎盤、臍帯、羊水-】前置血管. 産科と婦人科, 2020;87(9):1008-1011.
- 19) 杉下陽堂. 【周産期キーワード 30 アップデート 最新&レベルアップの知識で助産力を磨く】妊娠 不妊症・不育症. ペリネイタルケア, 2020;39(10):1014-1015.
- 20) 長谷川潤一. Quiz!教えて!はせじゅん先生 産科の Case Study ビジュアル解説(第 16 回) 静脈の方がこわい. ペリネイタルケア, 2020;39(10):1001-1006.
- 21) 長谷川潤一. 【胎盤・臍帯・羊水異常の徹底理解-病態から診断・治療まで】臍帯 臍帯付着部による周産期予後の違い. 臨床婦人科産科, 2020;74(10):1007-1013.
- 22) 長谷川潤一. Quiz!教えて!はせじゅん先生 産科の Case Study ビジュアル解説(第 17 回) ブラックホール. ペリネイタルケア, 2020;39(11):1113-1117.
- 23) 長谷川潤一. 第 123 回学術集会発表論文 ランチョンセミナー 母体急変時の原因鑑別のための超音波検査. 分娩と麻酔, 2020;102(November 2020):141-148.
- 24) 古谷菜摘. 【産科】FGR/SGA の疫学と発症要因 主な発症要因:胎盤・臍帯異常と FGR. 周産期医学, 2020;50(11):1822-1827.
- 25) 長谷川潤一, 岩端由里子, 本間千夏. アンダーエマージェンシー 泌尿器・生殖器・会陰部の救急妊婦の大量出血. 救急医学, 2020;44(12):1555-1563.
- 26) 高江正道, 鈴木直. 【シンポジウム 10:小児がん治療後の晩期合併症に対する新しい治療】小児・AYA 世代がん患者に対する生殖医療. 日本小児血液・がん学会雑誌, 2020;57(3):193-202.
- 27) 岩端秀之, 長谷川潤一. 【発生から紐解く 胎児超音波診断アトラス [Web 動画付]】(第 4 章)心臓以外の超音波検査 臍帯, 胎盤の異常 b.胎盤腫瘍,胎盤嚢胞. 産婦人科の実際, 2020;69(12):1396-1398.
- 28) 長谷川潤一, 西村陽子, 古谷菜摘. 【発生から紐解く 胎児超音波診断アトラス [Web 動画付]】(第 4 章)心臓以外の超音波検査 臍帯, 胎盤の異常 a.前置胎盤,癒着胎盤. 産婦人科の実際, 2020;69(12):1390-1395.
- 29) 長谷川潤一. Quiz!教えて!はせじゅん先生 産科の Case Study ビジュアル解説(第 18 回)うずまき. ペリネイタルケア, 2020;39(12):1225-1230.
- 30) 遠藤拓, 鈴木直. 【周産期の薬】産科編 疾患に対する薬剤の選び方・使い方・注意点 合併症妊娠 その他 妊娠中の抗悪性腫瘍薬物療法. 周産期医学, 2020;50(増刊):199-203.
- 31) 長谷川潤一. 周産期の医療安全への取り組みと改善 近年の産科医療の質の改善. 日本産科婦人科学会雑誌, 2020;72(12):1746-1753.
- 32) 高江正道, 鈴木直. 【不妊・不育症女性の合併症・併存疾患をどう扱う?】悪性腫瘍(婦人科腫瘍以外). 産婦人科の実際, 2020;69(13):1653-1660.
- 33) 長谷川潤一. Quiz!教えて!はせじゅん先生 産科の Case Study ビジュアル解説(第 19 回) とめてはいけません. ペリネイタルケア, 2021;40(1):1-7.
- 34) 長谷川潤一. 【助産力アップ!周産期のガイドライン 深掘りドリル 200 問『産婦人科診療ガイドライン:産科編 2020』に準拠 難易度別助産ケア&最新エビデンスが満載!】(第 2 章)分娩期 分娩管理・産褥管理『産婦人科診療ガイドライン:産科編 2020』より出題(解説/特集). ペリネイタルケア,

2021;2021(新春増刊):121-135.

- 35) 長谷川潤一, 石渡勇. 【新 経膈分娩を成功させる 29 の提言】頸管熟化法. 周産期医学, 2021;51(1): 27-29.
- 36) 近藤春裕, 右田王介, 鈴木直. 遺伝性乳がん卵巣がん症候群 (HBOC). 産科と婦人科, 2021;88(1): 81-88.
- 37) 長谷川潤一. Quiz!教えて!はせじゅん先生 産科の Case Study ビジュアル解説(第 20 回) 減ってほしい. ペリネイタルケア, 2021;40(2):105-110.
- 38) 長谷川潤一. Quiz!教えて!はせじゅん先生 産科の Case Study ビジュアル解説(第 21 回) あせるな!. ペリネイタルケア, 2021;40(3):201-207.
- 39) 長谷川 一, 本間千夏, 西村陽子. 【画像!-エキスパート直伝 産婦人科画像診断-】(第 1 章)周産期部位別 分娩後出血. 産科と婦人科, 2021;88(Suppl.):184-189.

③ 症例報告

- 1) 本間千夏, 長谷川潤一, 古谷菜摘, 岩端由里子, 川原泰, 岩端秀之, 五十嵐豪, 近藤春裕, 鈴木直. 妊娠中期中絶中に明らかとなった深部静脈血栓症・肺血栓塞栓症の一例. 日本産婦人科・新生児血液学会誌, 2020;30(1):9-12.

④ その他

- 1) 渡利英道, 生水真紀夫, 小松宏彰, 井平圭, 岩瀬春子, 馬詰武, 草開妙, 甲賀かをり, 近藤英治, 関根正幸, 中川慧, 西ヶ谷順子, 長谷川潤一, 馬場長, 林昌子, 山上亘, 伊東優, 植田彰彦, 上田遥, 大澤有姫, 小野寺洋平, 櫻木俊秀, 品川真奈花, 下地裕子, 末光徳匡, 杉田洋佑, 玉田祥子, 玉内学志, 中野和俊, 平山貴士, 廣瀬佑輔, 細川義彦, 松尾光徳, 的場優介, 眞山学徳, 日本産科婦人科学会産婦人科未来委員会. 臨床研修指導 Q&A. 日本産科婦人科学会雑誌, 2020;72(9): np1-np38.

学術論文[英文]

① 原著

- 1) Kyoko Tanaka, Daisuke Aoki, Akiko Tozawa-Ono, Nao Suzuki, Kiyoshi Takamatsu, Masaru Nakamura, Hajime Tsunoda, Shigeo Seino, Noriko Kobayashi, Takefumi Shirayama, Fumiaki Takahashi. Comparison of ThinPrep Integrated Imager-Assisted Screening versus Manual Screening of ThinPrep Liquid-Based Cytology Specimens. Acta cytologica, 2020;64(5):486-491.
- 2) Natsumi Furuya, Junichi Hasegawa, Chika Homma, Tai Kawahara, Yuriko Iwahata, Hideyuki Iwahata, Haruhiro Kondo, Masatomo Doi, Junki Koike, Nao Suzuki. Novel ultrasound assessment of placental pathological function using superb microvascular imaging. The journal of maternal-fetal & neonatal medicine : the official journal of the European Association of Perinatal Medicine, the Federation of Asia and Oceania Perinatal Societies, the International Society of Perinatal Obstetricians, 2020:: DOI-10.1080/14767058.2020.1795120.
- 3) Natsumi Furuya, Takamichi Sasaki, Chika Honma, Junichi Hasegawa, Nao Suzuki. Ultrasound screening and management of vasa previa in Japan. The journal of obstetrics and gynaecology research, 2020;46(7):1084-1089.
- 4) Shigenori Goto, Yasuhisa Terao, Takashi Kamigaki, Rishu Takimoto, Keiko Naitoh, Kaori Makita,

- Kosei Yasumoto, Sachiko Okada, Ken Takizawa, Noriyuki Yokomichi, Nao Suzuki, Satoru Takeda. Adoptive Immune-Cell Therapy for the Treatment of Neuroendocrine Carcinoma of the Uterine Cervix. *Anticancer research*, 2020;40(8):4741-4748.
- 5) Mohd Faizal Ahmad, Yodo Sugishita, Yuki Suzuki-Takahashi, Shino Sawada Hideyuki Iwahata, Eriko Shiraishi, Seido Takae, Yuki Horage-Okutsu, Nao Suzuki. Oncofertility Treatment Among Breast Cancer Women: A Paradigm Shift of Practice After a Decade of Service. *Journal of Adolescent and Young Adult Oncology*, 2020;9(4):496-501.
 - 6) Junichi Hasegawa, Akihiko Sekizawa, Tatsuya Arakaki, Tomoaki Ikeda, Isamu Ishiwata, Katsuyuki Kinoshita, Japan Association of Obstetricians and Gynecologists (JAOG), Tokyo, Japan. Declined use of cervical ripening balloon did not reduce the incidence of umbilical cord prolapse in Japan. *The Journal of Obstetrics and Gynaecology Research*, 2020;46(8):1349-1354.
 - 7) Satoshi Toyokawa, Junichi Hasegawa, Tsuyomu Ikenoue, Yuri Asano, Emi Jojima, Shoji Satoh, Tomoaki Ikeda, Kiyotake Ichizuka, Satoru Takeda, Nanako Tamiya, Akihito Nakai, Keiya Fujimori, Tsugio Maeda, Hideaki Masuzaki, Hideaki Suzuki, Shigeru Ueda. Weekend and off-hour effects on the incidence of cerebral palsy: contribution of consolidated perinatal care. *Environmental Health and Preventive Medicine*, 2020;25(1):52.
 - 8) Dexter J.L. Hayes, Jane Warland, Mana M. Parast, Robert W. Bendon, Junichi Hasegawa, Julia Banks, Laura Clapham, Alexander E.P. Heazell. Umbilical cord characteristics and their association with adverse pregnancy outcomes: A systematic review and meta-analysis. *PloS One*, 2020;15(9): DOI-10.1371/journal.pone.0239630. eCollection 2020.
 - 9) Akiko Tozawa-Ono, Masaharu Kamada, Katsuhiko Teramoto, Hitoshi Hareyama, Shoji Kodama, Tokuzo Kasai, Osamu Iwanari, Tomoe Koizumi, Nobuyoshi Ozawa, Mitsuaki Suzuki, Katsuyuki Kinoshita. Effectiveness of human papillomavirus vaccination in young Japanese women: a retrospective multi-municipality study. *Human Vaccines & Immunotherapeutics*, 2020;17(4):950-954.
 - 10) Kentaro Nakamura, Seido Takae, Eriko Shiraishi, Kiemi Shinya, Arby Jane Iguarada, Nao Suzuki. Poly (ADP-ribose) polymerase inhibitor exposure reduces ovarian reserve followed by dysfunction in granulosa cells. *Scientific Reports*, 2020;10(1): DOI-10.1038/s41598-020-74087-9.
 - 11) Eiji Kondo, Tsutomu Tabata, Nao Suzuki, Daisuke Aoki, Hideaki Yahata, Yoshio Kotera, Osamu Tokuyama, Keiichi Fujiwara, Eizo Kimura, Fumitoshi Terauchi, Toshiyuki Sumi, Aikou Okamoto, Nobuo Yaegashi, Takayuki Enomoto, Toru Sugiyama. The post-progression survival of patients with recurrent or persistent ovarian clear cell carcinoma: results from a randomized phase III study in JGOG3017/GCIG. *Journal of gynecologic oncology*, 2020;31(6):DOI-10.3802/jgo.2020.31.e94.
 - 12) Masahiro Nakao, Asumi Okumura, Junichi Hasegawa, Satoshi Toyokawa, Kiyotake Ichizuka, Naohiro Kanayama, Shoji Satoh, Nanako Tamiya, Akihito Nakai, Keiya Fujimori, Tsugio Maeda, Hideaki Suzuki, Mitsutoshi Iwashita, Tomoaki Ikeda. Fetal heart rate pattern in term or near-term cerebral palsy: a nationwide cohort study. *American journal of obstetrics and gynecology*,

2020;223(6):907.e1-907.e13.

- 13) Hiroaki Tanaka, Chizuko A. Kamiya, Chinami Horiuchi, Hiroko Morisaki, Kayo Tanaka, Shinji Katsuragi, Eijiro Hayata, Junichi Hasegawa, Masahiko Nakata, Akihiko Sekizawa, Isamu Ishiwata, Tomoaki Ikeda. Aortic dissection during pregnancy and puerperium: A Japanese nationwide survey. *The Journal of Obstetrics and Gynaecology Research*, 2020;:DOI-10.1111/jog.14657.
- 14) Tatsuya Arakaki, Junichi Hasegawa, Akihiko Sekizawa, Tomoaki Ikeda, Isamu Ishiwata, Katsuyuki Kinoshita, & the Japan Association of Obstetricians and Gynecologists (JAOG). Clinical Characteristics of Pregnant Women With COVID-19 In Japan: A Nationwide Questionnaire Survey. *BMC Pregnancy and Childbirth*, 2021;:DOI-10.21203/rs.3.rs-146179/v1.
- 15) Natsumi Furuya, Junichi Hasegawa, Haruka Imai, Chika Homma, Akiko Kurasaki, Haruhiro Kondo, Nao Suzuki. Accuracy of predicting neonatal distress using a five-level classification of fetal heart rate monitoring. *The Journal of Obstetrics and Gynaecology Research*, 2021;47(1):254-261.
- 16) Kiyotake Ichizuka, Satoshi Toyokawa, Tsuyomu Ikenoue, Shoji Satoh, Junichi Hasegawa, Tomoaki Ikeda, Nanako Tamiya, Akihito Nakai, Keiya Fujimori, Tsugio Maeda, Naohiro Kanayama, Hideaki Masuzaki, Mitsutoshi Iwashita, Hideaki Suzuki, Satoru Takeda. Risk factors for cerebral palsy in neonates due to placental abruption. *The Journal of Obstetrics and Gynaecology Research*, 2021;47(1):159-166.
- 17) T K Woodruff, L Ataman-Millhouse, K S Acharya, T Almeida-Santos, A Anazodo, R A Anderson, L Appiah, J Bader, K Beckett, R E Brannigan, L Breech, M T Bourlon, Ž Bumbuliene, K Burns, L Campo-Engelstein, J R Campos, G M Centola, M B Chehin, D Chen, M De Vos, F E Duncan, A El-Damen, D Fair, Y Famuyiwa, P Y Fechner, P Fontoura, O Frias, S A Gerkowicz, J Ginsberg, Clarisa R Gracia, K Goldman, V Gomez-Lobo, B Hazelrigg, M H Hsieh, L R Hoyos, A Hoyos-Martinez, R Jach, J Jassem, M Javed, Y Jayasinghe, R Jeelani, J S Jeruss, N Kaul-Mahajan, J Keim-Malpass, T G Ketterl, M Khrouf, D Kimelman, A Kusuhara, W H Kutteh, M M Laronda, J R Lee, V Lehmann, J M Letourneau, L K McGinnis, E McMahan, L R Meacham, M F V Mijangos, M Moravek, L Nahata, G M Ogwen, K E Orwig, M E Pavone, F A Peccatori, R Il Pesce, H Pulaski, G Quinn, R Quintana, T Quintana, B Ramalho de Carvalho, R Ramsey-Goldman, K Sugimoto, N Suzuki,. A View from the past into our collective future: the oncofertility consortium vision statement. *Journal of assisted reproduction and genetics*, 2021;38(1):3-15.
- 18) M. Salama, M. M. Laronda, E. R. Laura, K. Goldman, K. Smith, M. Pavone, F. E. Duncan, R. Brannigan, L. Ataman-Millhouse, P. Patrizio, Kenny A. Rodriguez-Wallberg, Yuki Okutsu-Horage, Nao Suzuki, M. Lambertini, Catharyn (Kate) Stern, Veronica Gomez-Lobo, J. Y. Maher, Michael H. Hsieh, M. B. Moravek, A. Anazodo, L. M. Westphal, R. A. Anderson, W. Hamish Wallace, R. T. Mitchell, L. Nahata, S. Whiteside, S. Senapati, D. K. Shah, C. Gracia, M. E. Fino, J. K. Blakemore, G. P. Quinn, Jan-Steffen Krüssel, Dunja-Maria Baston-Büst, J. Liebenthron, C. Y. Andersen, Stine Gry Kristensen, L. S. Mamsen, Y. Jayasinghe, H. Irene Su, M. Dolmans,

- Christiani A. Amorim, Isabelle Demeestere, M. De Vos, E. V. Moer, V. Isachenko, E. Isachenko, P. Mallmann, G. Rahimi, H. Valli-Pulaski, S. R. Steimer, K.e V. McMahon, Kyle E. Orwig, Julie Sroga, James F. Smith, Evelyn Mok-Lin & Teresa K. Woodruff. Installing oncofertility programs for common cancers in optimum resource settings (Repro-Can-OPEN Study Part II): a committee opinion. *Journal of assisted reproduction and genetics*, 2021;38(1):163-176.
- 19) Yumi Tsuchida, Miyuki Harada, Hirofumi Shoda, Ayane Goto, Nao Suzuki, Atsuko Murashima, Yutaka Osuga, Keishi Fujio. Fertility preservation in patients receiving gonadotoxic therapies for systemic autoimmune diseases in Japan. *Modern Rheumatology*, 2021;:DOI-10.1080/14397595.2020.1856020.
- 20) Sachiyo Okamoto, Nobuharu Fujii, Norihito Yoshioka, Miyuki Harada, Mitsune Tanimoto, Yoshinobu Maeda, Nao Suzuki, Yutaka Osuga. Nationwide survey of fertility preservation in patients with hematological malignancies in Japan. *International Journal of Clinical Oncology*, 2021;26(2):438-442.
- 21) Shinji Katsuragi, Hiroaki Tanaka, Junichi Hasegawa, Naohiro Kanayama, Masahiko Nakata, Takeshi Murakoshi, Kazuhiro Osato, Masamitsu Nakamura, Kayo Tanaka, Akihiko Sekizawa, Isamu Ishiwata, Yoshiko Yamamoto, Tomoko Wakasa, Makoto Takeuchi, Jun Yoshimatsu, Tomoaki Ikeda. Analysis of preventability of malignancy related maternal death from the nationwide registration system of maternal deaths in Japan. *The journal of maternal-fetal & neonatal medicine : the official journal of the European Association of Perinatal Medicine, the Federation of Asia and Oceania Perinatal Societies, the International Society of Perinatal Obstetricians*, 2021;34(3):432-438.
- 22) Eriko Shiraishi, Seido Takae, Ahmad Mohd Faizal, Kohei Sugimoto, Aikou Okamoto, Nao Suzuki. The Scenario of Adoption and Foster Care in Relation to the Reproductive Medicine Practice in Asia. *International journal of environmental research and public health*, 2021;18(7):DOI-org/10.3390/ijerph18073466.
- 23) Yuko Kaneyasu, Hisaya Fujiwara, Tetsuo Nishimura, Hideyuki Sakurai, Tomoko Kazumoto, Hitoshi Ikushima, Takashi Uno, Sunao Tokumaru, Yoko Harima, Hiromichi Gomi, Takafumi Toita, Midori Kita, Shin-ei Noda, Takeo Takahashi, Shingo Kato, Ayako Ohkawa, Akiko Tozawa-Ono, Hiroki Ushijima, Yoko Hasumi, Yasuyuki Hirashima, Yuzuru Niibe, Tomio Nakagawa, Tomoyuki Akita, Junko Tanaka, Tatsuya Ohno, the Working Group of the Gynecological Tumor Committee of the Japanese Radiation Oncology Study Group (JROSG). A multi-institutional survey of the quality of life after treatment for uterine cervical cancer: a comparison between radical radiotherapy and surgery in Japan. *Journal of Radiation Research*, 2021;62(2):269-284.
- 24) Eijiro Hayata, Masahiko Nakata, Junichi Hasegawa, Hiroaki Tanaka, Takeshi Murakoshi, Nobuaki Mitsuda, Akihiko Sekizawa, Tomoaki Ikeda, Isamu Ishiwata. Nationwide study of mortality and survival in pregnancy-related streptococcal toxic shock syndrome. *Journal of obstetrics and gynaecology : the journal of the Institute of Obstetrics and Gynaecology*, 2021;47(3):928-934.

25) Junichi Hasegawa, Tomoaki Ikeda, Satoshi Toyokawa, Emi Jojima, Shoji Satoh, Kiyotake Ichizuka, Nanako Tamiya, Akihito Nakai, Keiya Fujimori, Tsugio Maeda, Satoru Takeda, Hideaki Suzuki, Shigeru Ueda, Mitsutoshi Iwashita, Tsuyomu Ikenoue. Obstetric factors associated with uterine rupture in mothers who deliver infants with cerebral palsy. *The journal of maternal-fetal & neonatal medicine : the official journal of the European Association of Perinatal Medicine, the Federation of Asia and Oceania Perinatal Societies, the International Society of Perinatal Obstetricians*, 2021;34(5):663-669.

② 総説又は症例解説

- 1) Loris Marin, Giuliano Bedeschi, Tai Kawahara, Kutluk H Oktay. History, Evolution and Current State of Ovarian Tissue Auto-Transplantation With Cryopreserved Tissue: A Successful Translational Research Journey From 1999 to 2020. *Reproductive Sciences*, 2020;27(4):955-962.
- 2) Junichi Hasegawa, Shinji Katsuragi, Hiroaki Tanaka, Takahiko Kubo, Akihiko Sekizawa, Isamu Ishiwata, Tomoaki Ikeda. How maternal death due to suicide should be classified? : Discrepancy between ICD-10 and ICD-MM. *BJOG: an international journal of obstetrics and gynaecology*, 2020;127(6):665-667.
- 3) Junichi Hasegawa, Yuriko Iwahata, Haruhiro Kondo, Nao Suzuki. Development of placenta over entire uterine cavity following laparoscopic uterine-sparing adenomyomectomy. *European journal of obstetrics, gynecology, and reproductive biology*, 2020;2020 Dec(255):265-266.
- 4) Anne-Lotte Lolkje Femkevan der Kooi, Renee L.Mulder, Melissa M.Hudson, Leontien C.M.Kremer, Rod Skinner, Louis S. Constine, Wendyvan Dorp, Elinevan Dulmen-den Broeder, JeanetteFalck-Winther, W. Hamish Wallace, Jason Waugh, FRCOG FRANZCOG, Teresa K.Woodruff, Richard A. Anderson, Saro H. Armenian, Kitty W.M.Bloemenkamp, Hilary O.D. Critchley, Charlotte Demoor-Goldschmidt, Matthew J. Ehrhardt, Daniel M.Green, William A. Grobman, Yuriko Iwahata, Iris Krishna, Joop S.E. Laven, Gill Levitt, Lillian R. Meacham, Emily S.Miller, Annemarie Mulders, Angela Polanco, Cécile M. Ronckers, Amber Samuel Tom Walwyn, Jennifer M. Levine, Marry M. van den Heuvel-Eibrink. Counseling and surveillance of obstetrical risks for female childhood, adolescent, and young adult cancer survivors: recommendations from the International Late Effects of Childhood Cancer Guideline Harmonization Group. *American journal of obstetrics and gynecology*, 2021;224(1):3-15.
- 5) Jung Ryeol Lee, Seido Takae, Nao Suzuki. Editorial: Fertility Preservation in Asia. *Frontiers in Endocrinology*, 2021:: DOI-10.3389/fendo.2020.603213.

③ 症例報告

- 1) Akiko Kurasaki, Junichi Hasegawa, Chika Homma, Ayako Miura, Haruhiro Kondo, Nao Suzuki. Ultrasound diagnosis of myelomeningocele, the role of 3D ultrasonography in determining surficial status of the pathological lesion. *Case reports in Perinatal Medicine*, 2020;9(1): DOI-crpm-2018-0065.
- 2) Akiko Kurasaki, Junichi Hasegawa, Natsumi Furuya, Chika Homma, Satoshi Harada, Ayako Miura, Haruhiro Kondo, Nao Suzuki. Significantly enlarged varix in the free-loop of the umbilical

cord during the second trimester.

Case Reports in Perinatal Medicine, 2020;9(1): DOI-org/10.1515/crpm-2019-0006.

- 3) Masamitsu Nakamura, Junichi Hasegawa, Hiroko Takita, Akihiko Sekizawa. Amnioinfusion and Bed Rest May Effectively Improve the Insufficient Circulation of the Umbilical Cord in Pregnant Women With Hyper-Coiled Cord and Oligohydramnios. Journal of Medical Cases, 2020;12(1):1-4.
- 4) Reiko Suzuki, Hiraku Endo, Takamichi Sasaki, Takayoshi Nakamura, Hiroyuki Yamanaka, Shinji Hosonuma, Shiho Kuji, Imari Deura, Tatsuru Ohara, Haruhiro Kondo, Motohiro Chosokabe, Junki Koike, Hiroshi Kadono, Junichi Hasegawa, Nao Suzuki. Primary malignant melanoma of uterine cervix treated with pembrolizumab as adjuvant immunotherapy. International Cancer Conference Journal, 2021; DOI-10.1007/s13691-021-00477-z.
- 5) Shiho Kuji, Haruhiro Kondo, Tatsuru Ohara, Imari Deura, Akiko Tozawa-Ono, Ohsuke Migita, Hisanori Kawamoto, Koichiro Tsugawa, Motohiro Chosokabe, Junki Koike, Ichiro Maeda, Nao Suzuki. Value of adjuvant chemotherapy and informed microscopic examination for occult gynecologic cancer detected upon risk-reducing salpingo-oophorectomy after chemotherapy for BRCA 1/2-associated breast cancer: a case report. Japanese Journal of Clinical Oncology, 2021; 51(3):492-497.
- 6) Hideyuki Iwahata, Yuriko Iwahata, Chika Homma, Akiko Kurasaki, Junichi Hasegawa, Nao Suzuki. Degenerative type of placental chorioangioma requiring fetal blood transfusion. The Journal of Obstetrics and Gynaecology Research, 2021;47(3):1191-1194.

学会発表

① 国内学会

- 1) ◎長谷川潤一. 専攻医教育プログラム 2 周産期 異所性妊娠/分娩時と分娩後異常出血の診断と管理. 第 72 回日本産科婦人科学会学術講演会, 2020.
- 2) ◎細沼信示, 大原樹, 遠藤拓, 金森玲, 今井悠, 津田千春, 久慈志保, 出浦伊万里, 長谷川潤一, 鈴木直. 当科におけるプラチナ感受性再発卵巣癌に対するオラパリブの使用経験. 第 72 回日本産科婦人科学会学術講演会, 2020.
- 3) ◎鈴木隆之, 岩端由里子, 阿部恭子, 岩端秀之, 倉崎昭子, 近藤春裕, 五十嵐豪, 長谷川潤一, 鈴木直. 当院の周産期センターによる無痛分娩の実態調査. 第 72 回日本産科婦人科学会学術講演会, 2020.
- 4) ◎澤田紫乃, 五十嵐豪, 杉下陽堂, 洞下由記, 長谷川潤一, 鈴木直. 当院における原発性無月経に対する骨密度の評価と管理について. 第 72 回日本産科婦人科学会学術講演会, 2020.
- 5) ◎長谷川潤一. J-CIMELS ワークショップ J-CIMELS 発足後のわが国の妊産婦死亡の現状. 第 72 回日本産科婦人科学会学術講演会, 2020.
- 6) ◎竹内淳, 飯田智博, 古谷菜摘, 川原泰, 波多野美穂, 横道憲幸, 長谷川潤一, 田村みどり, 鈴木直. 当院における子宮頸部初期病変に対するレーザー治療 15 年間の変遷ならびにその成績. 第 72 回日本産科婦人科学会学術講演会, 2020.
- 7) ◎杉下陽堂. 共催セミナー22 GSM (閉経関連泌尿生殖器症候群) に対する炭酸ガスフラクショナル腔外陰レーザー療法の実態調査と今後の検証 1) 腔外陰レーザー療法の最新レビュー. 第 72 回日

本産科婦人科学会学術講演会, 2020.

- 8) ◎長谷川潤一. 生涯研修プログラム 近年の産科医療の質の改善. 第 72 回日本産科婦人科学会学術講演会, 2020.
- 9) ◎金森玲, 出浦伊万里, 永澤侑子, 細沼信示, 久慈志保, 津田千春, 近藤春裕, 大原樹, 戸澤晃子, 長谷川潤一, 鈴木直. 術前に IA 期と推定され腹腔鏡手術を行った子宮体癌の再発に関する検討. 第 72 回日本産科婦人科学会学術講演会, 2020.
- 10) ◎長谷川潤一. 共催セミナー18 キヤノンメディカルが追及する胎児エコーの世界. 第 72 回日本産科婦人科学会学術講演会, 2020.
- 11) ◎上川篤志, 戸澤晃子, 長谷川潤一, 鈴木直. 次世代シーケンス解析を応用した子宮頸癌細胞株におけるヒトパピローマウイルスの integration 部位の同定. 第 72 回日本産科婦人科学会学術講演会, 2020.
- 12) ◎古谷菜摘, 長谷川潤一, 鈴木直. 妊娠中の広帯域超音波プローブと微細ドプラ表示による胎盤病理所見の予測に関する研究. 第 72 回日本産科婦人科学会学術講演会, 2020.
- 13) ◎鈴木由妃, 杉下陽堂, 孟令博, 戸澤晃子, 長谷川潤一, 鈴木直. 妊孕性温存療法における未受精卵子凍結の改善策を探る—成熟卵子および未成熟卵子のミトコンドリア動態を解明する—. 第 72 回日本産科婦人科学会学術講演会, 2020.
- 14) ◎久慈志保, 鈴木直, 三上幹男, 吉岡範人, 梶山広明, 佐藤豊実, 生水真紀夫, 八重樫伸生, 榎本隆之. 上皮性卵巣悪性ならびに境界悪性腫瘍に対する妊孕性温存手術の安全性と妊娠予後調査 <日本産科婦人科学会婦人科腫瘍委員会報告>. 第 72 回日本産科婦人科学会学術講演会, 2020.
- 15) ◎原田賢, 長谷川潤一, 倉崎昭子, 岩端由里子, 本間千夏, 岩端秀之, 近藤春裕, 鈴木直. 精神疾患患者の妊娠による薬剤変更の影響に関する検討. 第 72 回日本産科婦人科学会学術講演会, 2020.
- 16) ◎田村みどり, 古谷菜摘, 竹内淳, 波多野美穂, 横道憲幸, 飯田智博, 長谷川潤一, 鈴木直. 早産児の障害に及ぼす影響因子・母体ステロイド投与の効果についての臨床的検討. 第 72 回日本産科婦人科学会学術講演会, 2020.
- 17) ◎岩端由里子, 本間千夏, 古谷菜摘, 原田賢, 鈴木玲子, 川原泰, 岩端秀之, 倉崎昭子, 五十嵐豪, 近藤春裕, 長谷川潤一, 鈴木直. 早産児の新生児脳室内出血の発症に関する周産期リスク因子に関する検討. 第 72 回日本産科婦人科学会学術講演会, 2020.
- 18) ◎本間千夏, 倉崎昭子, 鈴木玲子, 岩端由里子, 岩端秀之, 川原泰, 近藤春裕, 長谷川潤一, 鈴木直. 診断後に急激な経過を辿った肺癌合併妊娠の一例. 第 72 回日本産科婦人科学会学術講演会, 2020.
- 19) ◎近藤春裕, 廣田泰, 板垣博也, 小野理貴, 太田啓明, 貴志洋平, 北島道夫, 楠木泉, 熊澤由紀代, 小谷泰史, 種市明代, 堀江昭史. 子宮腺筋症の妊孕性温存を考える会の設立と取り組み. 第 72 回日本産科婦人科学会学術講演会, 2020.
- 20) ◎伊藤薫, 岩端由里子, 鈴木隆之, 岩端秀之, 近藤春裕, 長谷川潤一, 鈴木直. 子宮筋腫核出術後の妊娠中に子宮底から amniocoele となった一例. 第 72 回日本産科婦人科学会学術講演会, 2020.
- 21) ◎波多野美穂, 田村みどり, 古谷菜摘, 竹内淳, 横道憲幸, 飯田智博, 長谷川潤一, 鈴木直. 急性間欠性ポルフィリン症合併妊娠の一例. 第 72 回日本産科婦人科学会学術講演会, 2020.
- 22) ◎洞下由記, 白石絵莉子, 鈴木由妃, 澤田紫乃, 岩端秀之, 杉下陽堂, 高江正道, 長谷川潤一, 鈴木直. 乳がん治療後に生殖医療を行った患者における ART 成績の検討. 第 72 回日本産科婦人科学会

学術講演会, 2020.

- 23) ◎平間千尋, 遠藤拓, 細沼信示, 久慈志保, 出浦伊万里, 大原樹, 長谷川潤一, 鈴木直. 診断に苦慮した卵巢原発高異型度類内膜間質肉腫の一例. 第 72 回日本産科婦人科学会学術講演会, 2020.
- 24) ◎岩端秀之, 高江正道, 阿部恭子, 白石絵莉子, 鈴木由妃, 澤田紫乃, 杉下陽堂, 洞下由記, 長谷川潤一, 鈴木直. Cancer survivor の妊孕性改善を志向した卵巢組織移植治療成績に関する検証. 第 72 回日本産科婦人科学会学術講演会, 2020.
- 25) ◎遠藤拓, 大原樹, 細沼信示, 久慈志保, 出浦伊万里, 長谷川潤一, 鈴木直. 子宮体癌膈断端照射野内再発にペンプロリズムが奏功した一例. 第 72 回日本産科婦人科学会学術講演会, 2020.
- 26) ◎桂木真司, 長谷川潤一, 田中博明, 中田雅彦, 村越毅, 金山尚裕, 関沢明彦, 吉松淳, 田中佳世, 大里和広, 石渡勇, 池田智明. 脳血管障害, 心臓・大血管疾患, 肺血栓塞栓症における妊産婦と非妊婦の死亡率. 第 72 回日本産科婦人科学会学術講演会, 2020.
- 27) ◎井谷嘉男, 酒井瞳, 佐藤美紀子, 佐藤慎也, 二神真行, 濱野鉄太郎, 鈴木直, 藤村正樹, 青木陽一, 吉田好雄. 高齢卵巢がん患者における dose dense TC 療法の relative dose intensity に関する post hoc 研究 (JGOG3016-A3). 第 72 回日本産科婦人科学会学術講演会, 2020.
- 28) ◎長澤輝明, 横道憲幸, 久保田芳樹, 戸澤晃子, 鈴木直, 山口葉子. 抗がん剤ドキシルによる手足症候群発症のメカニズム解明と予防法の検討. 第 119 回日本皮膚科学会総会, 2020.
- 29) ◎美馬康幸, 山中弘之, 安藤歩, 大熊克彰, 長谷川潤一, 鈴木直. 診断的治療目的のため単純子宮全摘出術を施行し atypical LEGH と診断した 1 例. 第 139 回関東連合産科婦人科学会総会・学術集会, 2020.
- 30) ◎白石絵莉子, 洞下由記, 高江正道, 鈴木由妃, 澤田紫乃, 岩端秀之, 杉下陽堂, 岡本愛光, 鈴木直. 妊孕性温存胚を用いた生殖医療の有効性と安全性に関する検証. 第 139 回関東連合産科婦人科学会総会・学術集会, 2020.
- 31) ◎鈴木隆之, 遠藤拓, 原田賢, 中村健太郎, 今井悠, 金森玲, 細沼信示, 久慈志保, 出浦伊万里, 大原樹, 鈴木直. 術中腹水濾過濃縮再静注法を施行した癌性腹水を有する腹膜癌 4 症例についての検討. 第 139 回関東連合産科婦人科学会総会・学術集会, 2020.
- 32) ◎竹内淳, 横道憲幸, 佐藤匠, 今西博治, 岡本美穂, 古谷菜摘, 田村みどり, 鈴木直. 先天性アンチトロンビンⅢ欠損症合併妊娠の 1 例. 第 139 回関東連合産科婦人科学会総会・学術集会, 2020.
- 33) ◎近藤春裕, 今井悠, 岩端由里子, 津田千春, 鈴木直. 当院における関連各診療科との密な連携による患者満足度の高い子宮動脈塞栓術施行の取り組みについて. 第 139 回関東連合産科婦人科学会総会・学術集会, 2020.
- 34) ◎鈴木由妃, 杉下陽堂, 小澤南, 本吉愛, 久我麻美, 富永果林, 右田王介, 鈴木直, 津川浩一郎. 早発卵巢不全患者における染色体異常の状況. 第 44 回日本遺伝カウンセリング学会, 2020.
- 35) ◎本吉愛, 小澤南, 鈴木由妃, 杉下陽堂, 久我亜沙美, 富永果林, 右田王介, 津川浩一郎. 若年性乳癌を発症し, 遺伝カウンセリングが治療の受容に有効であった Peutz-Jeghers 症候群の一例. 第 44 回日本遺伝カウンセリング学会学術大会, 2020.
- 36) ◎小澤南, 右田王介, 富永果林, 阿部友嘉, 鈴木由妃, 杉下陽堂, 本吉愛, 長谷川潤一, 鈴木直, 清水直樹, 津川浩一郎. 単一施設における NIPT の経験. 第 44 回日本遺伝カウンセリング学会学術集会, 2020.

- 37) ◎杉下陽堂, 鈴木由妃, 本吉愛, 小澤南, 久我亜沙美, 富永果林, 右田王介, 鈴木直, 津川浩一郎. トリプル X 症候群にて統合失調症および早発卵巣不全を呈した患者に対する遺伝カウンセリングの重要性. 第 44 回日本遺伝カウンセリング学会学術集会, 2020.
- 38) ◎原田賢, 細沼信示, 佐々木貴充, 古谷菜摘, 佐藤匠, 岡本美穂, 田村みどり, 長谷川潤一, 鈴木直. von Willebrand 病合併妊娠の一例. 第 429・430 回神奈川産科婦人科学会学術講演会, 2020.
- 39) ◎満尾有沙, 大熊克彰, 美馬康幸, 安藤歩, 山中弘之, 長谷川潤一, 鈴木直. GnRH アゴニストにより病勢悪化が考えられた多発性硬化症合併子宮筋腫の一例. 第 429・430 回神奈川産科婦人科学会学術講演会, 2020.
- 40) ◎石井雅人, 岩端由里子, 平間千尋, 本間千夏, 倉崎昭子, 西村陽子, 近藤春裕, 長谷川潤一, 鈴木直. 妊娠中に破裂し娩出時期の決定に苦慮した胎児脊髄髄膜瘤の一症例. 第 429・430 回神奈川産科婦人科学会学術講演会, 2020.
- 41) ◎鈴木直. 医薬品の生殖毒性に関する FDA の推奨ガイダンス. 第 60 回日本先天異常学会学術集会, 2020.
- 42) ◎鈴木直. 小児・AYA 世代がん患者に対する妊孕性温存に関する医療連携の実際. 第 25 回神奈川県がん診療連携協議会, 2020.
- 43) ◎鈴木直. 本邦における小児・AYA 世代がん患者に対するがん・生殖医療における支援体制の現状と課題. 緩和・支持・心のケア合同学術大会 2020(第 5 回日本がんサポーターティブケア学会学術集会、第 33 回日本サイコオンコロジー学会総会、第 25 回日本緩和医療学会学術大会), 2020.
- 44) ◎本吉愛, 黒田貴子, 敦賀智子, 志茂新, 小島康幸, 白英, 川本久紀, 福田護, 小澤南, 鈴木由妃, 杉下陽堂, 右田王介, 富永果林, 久我亜沙美, 津川浩一郎. 治療選択目的の遺伝学的検査 (BRACAnalysis) 導入における当院の取り組みとオラパリブ使用経験. 第 26 回日本遺伝性腫瘍学会学術集会, 2020.
- 45) ◎本鍋田由美子, 松下和彦, 田中拓, 大熊克彰, 安藤歩, 桐生久美子, 池谷真実, 長島梧郎. 当院事例の対応から見えた課題—産科外来癌クリニックでの病理検体取り違え事例から—. 第 18 回日本臨床医学リスクマネジメント 学会学術集会, 2020.
- 46) ◎佐々木貴充, 細沼信示, 原田賢, 古谷菜摘, 佐藤匠, 岡本美穂, 田村みどり, 長谷川潤一, 鈴木直. 周産期管理に苦慮した代用膀胱造設後妊娠の 1 例. 第 431 回神奈川産科婦人科学会学術講演会, 2020.
- 47) ◎河津理, 遠藤拓, 伊藤薫, 武永智, 今井悠, 金森玲, 竹内淳, 横道憲幸, 久慈志保, 出浦伊万里, 大原樹, 長谷川潤一, 鈴木直. 術後創部感染により敗血症性ショックを発症した子宮癌肉腫の一例. 第 431 回神奈川産科婦人科学会学術講演会, 2020.
- 48) ◎美馬康幸, 山中弘之, 安藤歩, 大熊克彰, 長谷川潤一, 鈴木直. 分娩中に意識障害を伴った痙攣発作を生じた一例. 第 431 回神奈川産科婦人科学会学術講演会, 2020.
- 49) ◎岩端秀之, 洞下由記, 出田莉央, 松山夏美, 中嶋真理子, 古山紗也子, 鈴木由妃, 白石絵莉子, 澤田紫乃, 杉下陽堂, 高江正道, 鈴木直. 高容量アルキル化剤を用いたがん治療後に ART によって妊娠が成立した小児がんサバイバーの 1 例—移行医療への産婦人科医師参画の重要性について. 第 38 回日本受精着床学会総会・学術講演会, 2020.
- 50) ◎洞下由記, 岩端秀之, 出田莉央, 松山夏美, 中嶋真理子, 古山紗也子, 鈴木由妃, 澤田紫乃, 杉下陽堂, 高江正道, 鈴木直. AYA 世代がん患者に対する妊孕性温存凍結胚による妊娠成績の検証. 第 38

回日本受精着床学会総会・学術講演会, 2020.

- 51) ◎杉下陽堂. 閉鎖型デバイスを用いた卵巣組織凍結 Vitrification 法の実際. 第 61 回日本卵子学会学術集会, 2020.
- 52) ◎澤田紫乃, 五十嵐豪, 杉下陽堂, 鈴木直. 当院における原発性無月経 4 例に対する DEXA 法による骨密度の評価と早期管理について. 日本骨粗鬆学会学術集会, 2020.
- 53) ◎秋山恭子, 志茂彩華, 志茂新, 小島康幸, 本吉愛, 白英, 川本久紀, 福田護, 白石絵莉子, 杉下陽堂, 高江正道, 洞下由記, 鈴木直, 津川浩一郎. 当院における AYA 世代の乳癌患者支援への取り組み. 第 28 回日本乳癌学会学術総会, 2020.
- 54) ◎長谷川潤一, 小島真奈, 松岡隆, 大野泰正, 板倉敦夫, 永松健, 亀井良政. 診療ガイドライン産科編 2020 解説. 第 61 回日本母性衛生学会総会, 2020.
- 55) ◎遠藤拓, 武永智, 今井悠, 金森玲, 竹内淳, 横道憲幸, 久慈志保, 出浦伊万里, 大原樹, 戸澤晃子, 鈴木直. 審査腹腔鏡を併用し術中 CART を施行したが急性腹膜炎 4 症例についての検討. 婦人科腫瘍を考える会第 9 回総会・学術集会, 2020.
- 56) ◎久慈志保, 伊藤薫, 武永智, 遠藤拓, 金森玲, 今井悠, 竹内淳, 横道憲幸, 出浦伊万里, 大原樹, 鈴木直. 婦人科悪性腹水治療における CART の活用. 婦人科腫瘍を考える会第 9 回総会・学術集会, 2020.
- 57) ◎平間千尋, 岩端由里子, 本間千夏, 倉崎昭子, 西村陽子, 近藤春裕, 長谷川潤一, 鈴木直, 山本雄太郎, 田中彩夏. 妊娠末期に発症した一過性尿崩症の一例. 第 140 回関東連合産科婦人科学会総会・学術集会, 2020.
- 58) ◎渡邊洋章, 山中弘之, 美馬康幸, 安藤歩, 大熊克彰, 長谷川潤一, 鈴木直. 分娩進行中に生じた可逆性後頭葉白質脳症の一例. 第 140 回関東連合産科婦人科学会総会・学術集会, 2020.
- 59) ◎田中彩夏, 山本雄太郎, 石井聡, 岩端由里子, 本間千夏, 方波見卓行, 曾根正勝. 妊娠後期に肝障害に伴って尿崩症を来し、分娩後に軽快した一例. 第 30 回臨床内分泌代謝 Update, 2020.
- 60) ◎澤田紫乃, 五十嵐豪, 杉下陽堂, 鈴木直. 当院における婦人科がん患者における外科的閉経後の骨密度異常の現状. 第 35 回日本女性医学学会学術集会, 2020.
- 61) ◎細沼信示, 佐々木貴充, 原田賢, 古谷菜摘, 佐藤匠, 岡本美穂, 田村みどり, 草薙宏有, 柳澤信之, 相田芳夫, 大熊克彰, 戸澤晃子, 久慈志保, 大原樹, 鈴木直. 腹腔細胞診が有用であった転移性卵巣腫瘍の一例. 第 59 回日本臨床細胞学会秋期大会, 2020.
- 62) ◎久慈志保, 鈴木直. 遺伝性腫瘍の基礎と HBOC の診療で経験するピットフォール. 第 59 回日本臨床細胞学会秋期大会, 2020.
- 63) ◎高江正道, 鈴木直. 小児・思春期がんサバイバーのリプロダクティブヘルス. 第 35 回日本女性医学学会学術集会, 2020.
- 64) ◎横道憲幸, 戸澤晃子, 遠藤陽, 生澤竜, 竹内淳, 細沼信示, 久慈志保, 出浦伊万里, 大原樹, 大熊克彰, 木口一成, 小池淳樹, 鈴木直. 円錐切除術後の液状検体による子宮頸部細胞診で AGC と診断された 2 症例の検討. 第 59 回日本臨床細胞学会秋期大会, 2020.
- 65) ◎鈴木直. 周産期医療とがん・生殖医療の接点を考える—小児・AYA 世代がん患者のサバイバーストップ向上を目指して. 第 56 回日本周産期・新生児医学会学術集会, 2020.
- 66) ◎川原泰, 古谷菜摘, 長谷川潤一, 伊藤薫, 岩端由里子, 本間千夏, 岩端秀之, 倉崎昭子, 近藤春裕,

- 鈴木直. 異なる児の予後を呈した胎盤梗塞の 2 症例の SMI による胎盤所見の比較. 日本超音波医学会第 93 回学術集会, 2020.
- 67) ◎伊藤薫, 岩端由里子, 鈴木玲子, 古谷菜摘, 本間千夏, 川原泰, 岩端秀之, 倉崎昭子, 長谷川潤一, 鈴木直. 早産児の新生児脳室内出血例の中大脳動脈ドプラ値. 日本超音波医学会第 93 回学術集会, 2020.
- 68) ◎岩端由里子, 鈴木玲子, 本間千夏, 古谷菜摘, 川原泰, 岩端秀之, 五十嵐豪, 近藤春裕, 長谷川潤一, 鈴木直. 自然軽快した胎児の小腸拡張の一例. 日本超音波医学会第 93 回学術集会, 2020.
- 69) ◎長谷川潤一. 超音波診断と胎児染色体異常. 日本超音波医学会第 93 回学術集会, 2020.
- 70) ◎古谷菜摘, 長谷川潤一, 土居正知, 本間千夏, 小池淳樹, 鈴木直. 妊娠中の微細超音波ドプラ (SMI)による胎盤の病理所見の予測に関する研究. 日本超音波医学会第 93 回学術集会, 2020.
- 71) ◎鈴木玲子, 川原泰, 本間千夏, 古谷菜摘, 岩端由里子, 岩端秀之, 近藤春裕, 長谷川潤一, 鈴木直. SMI による胎盤早期剥離の超音波病理画像. 日本超音波医学会第 93 回学術集会, 2020.
- 73) ◎中村健太郎, 高江正道, 白石絵莉子, 鈴木直. PARP 阻害薬の卵巣毒性に関する検証. 第 65 回日本生殖医学会学術講演会・総会, 2020.
- 74) ◎杉下陽堂, 鈴木由妃, 古山紗也子, 鈴木直. 卵巣組織凍結における融解卵巣組織内の遺残凍結保護剤が組織に与える影響について. 第 65 回日本生殖医学会学術講演会・総会, 2020.
- 75) ◎古山紗也子, 洞下由記, 出田 莉央, 松山夏美, 中嶋真理子, 白石絵莉子, 鈴木由妃, 澤田紫乃, 岩端秀之, 杉下陽堂, 高江正道, 鈴木直. 妊孕性温存療法における IVF の有用性. 第 65 回日本生殖医学会学術講演会・総会, 2020.
- 76) ◎高江正道, 鈴木直. 教育講演 6 がん・生殖医療の実践と最新知見. 第 65 回日本生殖医学会学術講演会・総会, 2020.
- 77) ◎鈴木直. がん・生殖医療の現状について～合併症による妊孕性の喪失を乗り越える～. 島根県産科婦人科学会学術集会・島根県産婦人科医会研修会, 2020.
- 78) ◎鈴木直. 小児・AYA 世代がん患者に対するがん・生殖医療の現状—社会的、臨床的ならびに基礎的課題. 第 25 回日本生殖内分泌学会学術集会, 2020.
- 79) ◎中村健太郎, 高江正道, 鈴木直. PARP 阻害薬は卵巣機能へ影響を与える. 第 25 回日本生殖内分泌学会学術集会, 2020.
- 80) ◎岩端秀之, 近藤春裕, 高江正道, 洞下由記, 津田千春, 鈴木直. 若年子宮体がん患者に対する妊孕性温存療法の治療効果判定に用いた外来細径硬性子宮鏡の有用性の検討. 第 60 回日本産科婦人科内視鏡学会, 2020.
- 81) ◎金森玲, 出浦伊万里, 伊藤薫, 武永智, 今井悠, 遠藤拓, 竹内淳, 横道憲幸, 久慈志保, 大原樹, 近藤春裕, 戸澤晃子, 鈴木直. 当院で経験した RRSO に関する検討. 第 60 回日本産科婦人科内視鏡学会, 2020.
- 82) ◎遠藤拓, 大原樹, 武永智, 今井悠, 金森玲, 竹内淳, 横道憲幸, 細沼信示, 久慈志保, 出浦伊万里, 鈴木直. 腹膜癌に対して審査腹腔鏡を用いて診断し、術中に腹水濾過濃縮再静注法を施行した 3 例. 第 60 回日本産科婦人科内視鏡学会, 2020.
- 83) ◎高江正道, 鈴木直. 総論 卵巣組織凍結・移植における内視鏡手術の重要性. 第 60 回日本産科婦人科内視鏡学会学術講演会, 2020.

- 84) ◎白石絵莉子, 出浦伊万里, 中村健太郎, 永澤侑子, 戸澤晃子, 鈴木直. 当院で腹腔鏡手術を施行した広靭帯内発育子宮筋腫に関する検討～筋腫核授動について～. 第 60 回日本産科婦人科内視鏡学会学術講演会, 2020.
- 85) ◎近澤研郎, 出浦伊万里. ランチョンセミナー11 骨盤解剖を意識した White Surgery～合併症 0 へのこだわり～. 第 60 回日本産科婦人科内視鏡学会学術講演会, 2020.
- 86) ◎出浦伊万里, 鈴木直. ワークショップ 1:「女性が内視鏡外科医として活躍するために」内視鏡外科医としてわたしが追求するもの. 第 60 回日本産科婦人科内視鏡学会学術集会, 2020.
- 87) ◎出浦伊万里, 大原樹, 戸澤晃子, 鈴木直. 骨盤内で“キレイ”を追求する～新しい超音波凝固切開装置を使って～. 第 60 回日本産科婦人科内視鏡学会学術集会, 2020.
- 88) ◎田村みどり, 細沼信示, 近藤春裕, 高江正道, 出浦伊万里, 大原樹, 鈴木直. 腹腔鏡手術を行った妊娠合併付属器捻転例の検討. 第 60 回日本産科婦人科内視鏡学会学術集会, 2020.
- 89) ◎本間千夏, 長谷川潤一, 古谷菜摘, 岩端由里子, 川原泰, 岩端秀之, 五十嵐豪, 近藤春裕, 鈴木直. 妊娠中期中絶中に明らかとなった深部静脈血栓症・肺血栓塞栓症の一例. 第 30 回日本産婦人科・新生児血液学会学術集会, 2020.
- 90) ◎古谷菜摘, 長谷川潤一, 本間千夏, 岩端秀之, 土居正知, 小池淳樹, 鈴木直. 微細超音波ドプラ法による新しい胎盤機能不全の評価に関する検討. 第 30 回日本産婦人科・新生児血液学会学術集会, 2020.
- 91) ◎桂木真司, 長谷川潤一, 田中博明, 関沢明彦, 吉松淳, 金山尚裕, 中田雅彦, 村越毅, 石渡勇, 池田智明. 脳血管障害と心臓・大動脈疾患における妊産婦と非妊婦の死亡率の比較. 第 30 回日本産婦人科・新生児血液学会学術集会, 2020.
- 92) ◎岩端秀之, 岩端由里子, 本間千夏, 倉崎昭子, 五十嵐豪, 近藤春裕, 長谷川潤一, 鈴木直. 胎児輸血を要した胎盤腫瘍の一例. 第 30 回日本産婦人科・新生児血液学会学術集会, 2020.
- 93) ◎長谷川潤一. ジノプストロン膣座薬の使用による子宮収縮の誘発と CTG 所見～プロウペスの普及による臍帯脱出例の減少の期待の中で～. 第 39 回周産期学シンポジウム共催セミナー, 2021.
- 94) ◎佐藤慎也, 戸澤晃子, 島田宗昭, 鈴木直, 宮城悦子, 藤村正樹. 婦人科がん患者におけるがん性疼痛に関する多施設共同研究. 第 62 回日本婦人科腫瘍学会学術講演会, 2021.
- 95) ◎横道憲幸, 永澤侑子, 金森玲, 遠藤拓, 西村陽子, 久慈志保, 出浦伊万里, 大原樹, 小泉宏隆, 戸澤晃子, 木口一成, 鈴木直. 子宮鏡手術で診断された子宮内膜異型増殖症の検討. 第 62 回日本婦人科腫瘍学会学術講演会, 2021.
- 96) ◎今井悠, 久慈志保, 鈴木隆之, 原田賢, 中村健太郎, 金森玲, 遠藤拓, 竹内淳, 横道憲幸, 細沼信示, 出浦伊万里, 大原樹, 戸澤晃子, 鈴木直. AYA 世代上皮性卵巣癌患者に対する妊孕性温存手術と予後. 第 62 回日本婦人科腫瘍学会学術講演会, 2021.
- 97) ◎遠藤拓, 山中弘之, 細沼信示, 久慈志保, 出浦伊万里, 戸澤晃子, 朝野拓史, 遠藤大介, 近野陽輔, 加藤達矢, 渡利英道, 鈴木直. 卵巣癌新規バイオマーカーとしてのインターロイキン 34 の有用性の検討. 第 62 回日本婦人科腫瘍学会学術講演会, 2021.
- 98) ◎出浦伊万里, 金森玲, 今井悠, 遠藤拓, 永澤侑子, 細沼信示, 久慈志保, 大原樹, 戸澤晃子, 鈴木直. MIS で tumor cell spillage を回避する～出血させずに短時間で膣カフを作る方法～. 第 62 回日本婦人科腫瘍学会学術講演会, 2021.

- 99) ◎鈴木直. 若手医師セミナー1: 婦人科腫瘍専門医を目指すための必修知識 卵巣がん・卵管癌・腹膜癌. 第 62 回日本婦人科腫瘍学会学術講演会, 2021.
- 100) ◎戸澤晃子. 子宮頸がん・膣がん・外陰がんの薬物療法. 第 62 回日本婦人科腫瘍学会学術講演会, 2021.
- 101) ◎金森玲, 大原樹, 今井悠, 遠藤拓, 細沼信示, 久慈志保, 出浦伊万里, 戸澤晃子, 鈴木直. 再発卵巣癌に対して化学療法施行後に大型血管炎を発症した 1 例. 第 62 回日本婦人科腫瘍学会学術講演会, 2021.
- 102) ◎遠藤拓, 大原樹, 鈴木隆之, 原田賢, 中村健太郎, 今井悠, 金森玲, 細沼信示, 久慈志保, 出浦伊万里, 鈴木直. 当院におけるがん遺伝子パネル検査を施行した 7 症例についての検討. 第 62 回日本婦人科腫瘍学会学術講演会, 2021.
- 103) ◎戸澤晃子, 佐藤慎也, 島田宗昭, 鈴木直, 宮城悦子, 藤村正樹. 婦人科がん患者における神経障害性口痛の発現状況とオピオイドの安全性と有効性に関する研究. 第 62 回日本婦人科腫瘍学会学術講演会, 2021.
- 104) ◎久慈志保, 遠藤陽, 久保田学, 渡邊麗子, 三上芳喜, 小池淳樹, 鈴木直. 子宮頸部神経内分泌腫瘍に対する Insulinoma-associated protein 1 (INSM1) 免疫組織化学染色の実用化. 第 62 回日本婦人科腫瘍学会学術講演会, 2021.
- 105) ◎竹内淳, 横道憲幸, 今井悠, 遠藤拓, 金森玲, 永澤侑子, 山中弘之, 近藤亜未, 細沼信示, 久慈志保, 近藤春裕, 出浦伊万里, 大熊克彰, 大原樹, 戸澤晃子, 鈴木直. 当院における婦人科疾患の静脈血栓塞栓症 (VTE) に対する選択的 Xa 阻害剤による治療経験. 第 62 回日本婦人科腫瘍学会学術講演会, 2021.
- 106) ◎森定徹, 齊藤英子, 雑賀公美子, 戸澤晃子, 高橋宏和, 中山富雄, 宮城悦子, 藤井多久磨, 八重樫伸生, 青木大輔. HPV 検査を含めた子宮頸がん検診の運用のアルゴリズムとその精度管理. 第 62 回日本婦人科腫瘍学会学術集会, 2021.
- 107) ◎山本真, 鈴木直, 井谷嘉男, 二神真行, 佐藤美紀子, 佐藤慎也, 酒井瞳, 吉田好雄. 本邦における高齢者に対する婦人科がん治療の現況と問題点—多施設共同後ろ向きコホート研究—. 第 62 回日本婦人科腫瘍学会学術集会, 2021.
- 108) ◎菊池那美子, 桑島規夫, 長谷川潤一, 北東功, 後藤淳子, 浅井由紀子. 周産期医療における多職種連携とソーシャルワーカーの役割. 第 34 回神奈川母性衛生学会総会・学術集会, 2021.
- 109) ◎長谷川潤一. CTG 判読とピットフォール. 第 34 回神奈川母性衛生学会総会・学術集会, 2021.
- 110) ◎山本恵, 穂積美恵. 助産師を対象とした母体救命(J-MELS)コースの開催報告. 第 34 回神奈川母性衛生学会総会・学術集会, 2021.
- 111) ◎我妻愛美, 中嶋恵里香, 野口彩, 後藤淳子. 総合周産期母子医療センターにおける助産師の妊娠期からの虐待防止の取り組みについて. 第 34 回神奈川母性衛生学会総会・学術集会, 2021.
- 112) ◎佐伯もも花, 秋元智子, 池田佳菜子, 松浦千夏, 赤坂留美, 内野夏希, 三宮まやか, 後藤淳子. 総合周産期母子医療センターにおける災害対策への取り組み. 第 34 回神奈川母性衛生学会総会・学術集会, 2021.
- 113) ◎岩月沙織, 古俣和子, 佐藤匠, 上倉緑. 心理社会的ハイリスク妊婦を支えるために多職種や地域で連携した支援の実践. 第 34 回神奈川母性衛生学会総会・学術集会, 2021.

- 114) ◎岩端由里子, 高江正道, 金森玲, 白石絵莉子, 鈴木由妃, 岩端秀之, 杉下陽堂, 洞下由記, 鈴木直. 小児卵巣組織凍結症例に関する安全性と適切性の検証. 第 11 回日本がん・生殖医療学会学術集会, 2021.
- 115) ◎杉下陽堂, 鈴木直. 卵巣組織凍結の工夫. 第 11 回日本がん・生殖医療学会学術集会, 2021.
- 116) ◎高江正道, 鈴木直. 卵巣組織移植のピットフォール. 第 11 回日本がん・生殖医療学会学術集会, 2021.
- 117) ◎鈴木直. 本邦におけるがん・生殖医療のこれまでとこれから—JSFP が取り組むべき課題. 第 11 回日本がん・生殖医療学会学術集会, 2021.
- 118) ◎高江正道. 乳癌患者の妊娠・出産と生殖医療に関するガイドライン 2021 年版改訂について ガイドライン改定のポイント(生殖関連). 第 11 回日本がん・生殖医療学会学術集会, 2021.
- 119) ◎岩端秀之, 岩端由里子, 小沢あずさ, 高江正道, 洞下由記, 鈴木直. 効率的な人工卵巣の開発を目指して. 第 11 回日本がん・生殖医療学会学術集会, 2021.
- 120) ◎出田莉央, 古山紗也子, 中嶋真理子, 松山夏美, 岩端秀之, 杉下陽堂, 高江正道, 洞下由記, 鈴木直. 妊孕性温存目的の精子凍結における禁欲期間による精液所見に関する検討. 第 11 回日本がん・生殖医療学会学術集会, 2021.
- 121) ◎鈴木由妃, 孟令博, 杉下陽堂, 鈴木直. 未受精卵子凍結におけるミトコンドリア動態の検討. 第 11 回日本がん・生殖医療学会学術集会, 2021.
- 122) ◎鈴木直. 生殖能を有する患者への医薬品リスクに関するガイダンス. 第 11 回日本がん・生殖医療学会学術集会, 2021.
- 123) ◎原田賢, 洞下由記, 岩端秀之, 鈴木由妃, 澤田紫乃, 杉下陽堂, 高江正道, 鈴木直. 当院における自己免疫疾患患者の妊孕性温存外来受診者の内訳. 第 11 回日本がん・生殖医療学会学術集会, 2021.
- 124) ◎山谷佳子, 洞下由記, 岩端秀之, 鈴木由妃, 杉下陽堂, 高江正道, 鈴木直. がん・生殖医療外来における告知:妊孕性温存を試みたが、正常授精胚が少ないことに衝撃を受け、心理支援を要した女性に対する関わり. 第 18 回日本生殖心理学会学術集会, 2021.
- 125) ◎杉下陽堂, 右田王介, 鈴木由妃, 本吉愛, 岩端秀之, 高江正道, 洞下由記, 菅沼真樹, 津川浩一郎, 鈴木直. 当院で診断した早発卵巣不全を呈したトリプル X 症候群 5 症例における心理学カウンセリングの意義の検討. 第 18 回日本生殖心理学会学術集会, 2021.
- 126) ◎垣迫淳, 山中弘之, 美馬康幸, 安藤歩, 大熊克彰, 長谷川潤一, 鈴木直. Meigs 症候群を呈した卵巣線維腫の一例. 第 432 回神奈川産科婦人科学会学術集会, 2021.
- 127) ◎伊藤薫, 西村陽子, 古谷菜摘, 本間千夏, 倉崎昭子, 近藤春裕, 長谷川潤一, 鈴木直. 妊娠末期に急性発症したと考えられる胎児横隔膜ヘルニア. 第 432 回神奈川産科婦人科学会学術集会, 2021.
- 128) ◎荒瀬透, 丸山大介, 牧野睦子, 秋葉靖雄, 平田豪, 香川秀之, 長嶋亜巳, 深見武彦, 平野亜具里, 市塚清健, 岡田悠暉, 笠井絢子, 須郷慶信, 青柳りょう, 中田さくら, 根本芳広, 小林藍子, 上原萌美, 橋口和生, 中島文香, 柊一哉, 大西庸子, 中嶋理恵, 本間千夏, 檜山知明, 佐々木貴充. 神奈川県内 26 施設との間で実施している胎児心エコーの遠隔セミナー 第一報:セミナーの仕組み. 第 432 回神奈川産科婦人科学会学術集会, 2021.
- 129) ◎岩端由里子, 佐々木貴充, 原田賢, 佐藤匠, 岡本美穂, 細沼信示, 田村みどり, 長谷川潤一, 鈴木直. 産褥晩期出血を起こし、3DCT にて診断された子宮仮性動脈瘤の一例. 第 432 回神奈川産科婦人

科学会学術集会, 2021.

- 130) ◎出浦伊万里. 黎明期に手術の質を担保するためにできること. 第 33 回日本内視鏡外科学会総会 (JSES 2020), 2021.
- 131) ◎出浦伊万里. 女性外科医と医療機器開発～ JSES 医工学連携委員会の取り組み～. 第 33 回日本内視鏡外科学会総会 (JSES 2020), 2021.
- 132) ◎戸澤晃子. 今後の子宮頸がん検診のあり方と液状検体の活用. 川崎市産科婦人科医会学術講演会, 2021.
- 133) ◎伊藤薫, 片山真史, 小泉哲, 小林慎二郎, 土橋篤仁, 小倉佑太, 川口皓平, 長宗我部基弘, 小池淳, 大坪毅人. 稀な転移再発形式を呈した肝内胆管癌の一例. 聖マリアンナ医科大学医学会第 79 回学術集会, 2021.
- 134) ◎洞下由記, 岩端秀之, 出田莉央, 松山夏美, 中嶋真理子, 古山紗也子, 鈴木由妃, 澤田紫乃, 杉下陽堂, 高江正道, 鈴木直. 妊孕性温存目的の精子・卵子・胚・卵巣組織凍結におけるその後の利用率と妊娠成績に関する検討. 第 3 回 AYA がんの医療と支援のあり方研究会学術集会, 2021.
- 135) ◎秋山恭子, 洞下由記, 高江正道, 杉下陽堂, 神蔵奈々, 濱口賀代, 古川尚美, 吉岡千恵子, 山田陽子, 山本志奈子, 津川浩一郎, 鈴木直. 当院における乳がん患者の妊孕性温存に対する取り組み. 第 3 回 AYA がんの医療と支援のあり方研究会学術集会, 2021.
- 136) ◎鈴木直. がん・生殖医療における研究の現状と今後一さらなる前進を目指して. 第 3 回 AYA がんの医療と支援のあり方研究会学術集会, 2021.
- 137) ◎Shin Nishio, Koji Matsuo, Satoshi Yamaguchi, Hiroyuki Kanao, Kazuhiro Takehara, Nobuhiro Kado, Akiko Tozawa, Hideki Tokunaga, Tatsuya Matsunaga, Hisamori Kato, Koji Horie, Akira Kikuchi, Mikio Mikami, Takayuki Enomoto. Changes in clinicopathological demographics of 1,061 patients with vulvar cancer in Japan: Increasing oldest-old, stageshifting, and decreasing cohort-level survival. 第 72 回日本産科婦人科学会学術講演会, 2020.
- 138) ◎Junichi Hasegawa, Hiroaki Tanaka, Shinji Katsuragi, Masahiko Nakata, Takeshi Murakoshi, Takahiko Kubo, Akiko Kurasaki, Nao Suzuki, Akihiko Sekizawa, Isamu Ishiwata, Tomoaki Ikeda. Is maternal death due to suicide whether direct or indirect obstetric causes?. 第 72 回日本産科婦人科学会学術講演会, 2020.
- 139) ◎Kentaro Nakamura, Seido Takae, Eriko Shiraishi, Junichi Hasegawa, Nao Suzuki. PARP inhibitors might reduce fertility for the AYA cancer patients - basic research in mice. 第 72 回日本産科婦人科学会学術講演会, 2020.
- 140) ◎Seido Takae, Eriko Shiraishi, Yuriko Iwahata, Kaori Uwajima, Yasuko Abe, Yuki Suzuki, Shino Sawada, Hideyuki Iwahata, Yodo Sugishita, Yuki Horage, Junichi Hasegawa, Nao Suzuki. What barriers intervene the prevalence of fertility preservation for child and adolescent cancer patients? On perspectives of Asian countries. 第 72 回日本産科婦人科学会学術講演会, 2020.
- 141) ◎Yodo Sugishita, Yuki Suzuki, Lingbo Meng, Atsushi Uekawa, Akiko Tozawa, Junichi Hasegawa, Nao Suzuki. The analysis of residual cryoprotectants in the thawed ovarian tissue for ovarian tissue transplantation. 第 72 回日本産科婦人科学会学術講演会, 2020.
- 142) ◎Lingbo Meng, Yodo Sugishita, Yuki Suzuki, Eriko Shiraishi, Shino Sawada, Hideyuki

Iwahata, Seido Takae, Yuki Horage, Akiko Tozawa, Junichi Hasegawa, Nao Suzuki. Probe a standard procedure for ovarian tissue cryopreservation: lessons learned from 114 cases. 第 72 回日本産科婦人科学会学術講演会, 2020.

143) ©Reiko Suzuki, Yuki Horage, Tai Kawahara, Kentaro Nakamura, Eriko Shiraishi, Yuki Suzuki, Shino Sawada, Hideyuki Iwahata, Yodo Sugishita, Seido Takae, Junichi Hasegawa, Nao Suzuki. The outcome of random-start ovarian stimulation with or without aromatase inhibitor for oocyte cryopreservation in cancer patients. 第 72 回日本産科婦人科学会学術講演会, 2020.

144) ©Lingbo Meng, Yodo Sugishita, Yuki Suzuki-Takahashi, Sandy Nishimura, Shino Sawada, Hideyuki Iwahata, Seido Takae, Yuki Horage-Okutsu, Nao Suzuki. I am aspired to the wider world --- from China to Japan. 第 140 回関東連合産科婦人科学会総会・学術集会, 2020.

145) ©Yuriko Iwahata, Seido Takae, Hideyuki Iwahata, Yoshiaki Kinoshita, Hajime Hosoi, Nao Suzuki. Current status of truth telling of cancer diagnosis and risk of iatrogenic gonadal dysfunction/infertility to Japanese childhood and adolescent patients. 第 62 回日本小児血液・がん学会学術集会, 2020.

146) ©Seido Takae, Yuriko Iwahata, Eriko Shiraishi, Hideyuki Iwahata, Yodo Sugishita, Yuki Horage, Shigeyuki Furuta, Tetsuya Mori, Hiroaki Kitagawa, Nao Suzuki. Variety of child cases who underwent ovarian tissue cryopreservation as fertility preservation treatment. 第 62 回日本小児血液・がん学会学術集会, 2020.

② 国際学会

1) ©Yoshio Itani, Hitomi Sakai, Mikiko Asai-Sato, Shinya Sato, Masayuki Futagami, Nao Suzuki, Masaki Fujimura, Yoichi Aoki, Tetsutaro Hamano, Yoshio Yoshida, JGOG Supportive & Palliative Care Committee. A post-hoc study of relative dose intensity in elderly patients with advanced ovarian cancer (JGOG3016-A3). 2020 ASCO Virtual Scientific Program, 2020.

2) ©Hiroyuki Fujiwara, Katsutoshi Oda, Nobutaka Takahashi, Jun Sakata, Akiyo Taneichi, Masae Ikeda, Michihiro Tanikawa, Misako Kusakabe, Akira Mitsuhashi, Yoichi Kobayashi, Hiroshi Yamashita, Nao Suzuki, Azusa Akiyama, Hideki Tokunaga, Naotake Tanaka, Mikio Mikami. NGS-based molecular profiling (a multi-center collaborative, observation study in Japan) highlights pathogenic variants of DNA-repair genes in advanced or recurrent endometrial cancer. 2020 ASCO Virtual Scientific Program, 2020.

3) ©Nao Suzuki, Tomoe Koizumi, Yodo Sugishita, Tatsuro Furui, Manabu Futamura, Yasushi Takai, Kohei Sugimoto, Hiroko Nogi, Hiroshi Matsumoto, Hideko Yamauchi, Akemi Kataoka, Shinji Ohno, Koichiro Tsugawa, Kiyotaka Kawai, Eisuke Fukuma. An intervention RCT-study aimed at improving mental health and increasing understanding of fertility preservation with Oncofertility! Psycho-Education And Couple Enrichment (O!PEACE) therapy. 2020 ASCO Virtual Scientific Program, 2020.

4) Sugishita Y, Suzuki N. Development and maturation of oocyte. Basics and Clinical Application of Human Oocytes Development and Invitro Maturation Seminars & the First IVM Clinical Demonstration and Laboratory Operation Training, 2020.

5) Sugishita Y, Suzuki N. Ovarian tissue cryopreservation. The First Session of the 4th Annual Conference of Reproductive Health Committee of Henan Maternal and Child Health Association, 2020.

③ その他

1) ◎鈴木直. 血液がん患者に対する妊孕性温存診療の実際. Novartis Hematology Web Seminar, 2020.

2) ◎出浦伊万里. きちんと TLH～Off the Job training でここまでできる～. E-Live, 2020.

3) ◎鈴木直. 小児・AYA 世代がん患者に対する妊孕性温存の現状と課題. Fertility Preservation Web Seminar, 2020.

4) ◎金森玲. ビデオクリニック 【症例 II : TLH+BS】. 第 5 回若手のための産婦人科内視鏡手術懇話会, 2020.

5) ◎高江正道. ビデオクリニック 【症例 I : TLH+BS】. 第 5 回若手のための産婦人科内視鏡手術懇話会, 2020.

6) ◎長谷川潤一. 医療安全. 2020 年度神奈川県母体保護法指定医師研修会, 2020.

7) ◎横道憲幸, 遠藤拓. 当院にて術中 CART を施行したがん性腹膜炎 4 症例についての検討. 第 1 回横浜市立大学&聖マリアンナ医科大学 婦人科緩和カンファレンス, 2020.

8) ◎出浦伊万里. 子宮体がんに対する腹腔鏡下子宮悪性腫瘍手術 一展開力を高める術中の所作一. E-Live 婦人科悪性腫瘍手術 UPDATE2020 体がん編, 2020.

9) ◎大原樹. 産科・婦人科癌. 川崎がんゲノム医療コンソーシアム講演会 2020, 2020.

10) ◎長谷川潤一. 母体感染の実態と対応. 神奈川県助産師会研修会, 2020.

11) ◎鈴木直. 小児・AYA 世代がん患者における妊孕性への支援について. 2020 年度第 1 回神奈川県がん相談員研修会, 2020.

12) ◎長谷川潤一. ISUOG と海外留学・臨床研究. World Congress への誘い～やってよかった産婦人科エコー～, 2020.

13) ◎長谷川潤一. 日本産婦人科医会医療安全部会による『新型コロナウイルス感染症についての実態調査』について. 第 104 回神奈川県周産期救急連絡会, 2020.

14) ◎長谷川潤一. プロウペスの使用による子宮収縮の誘発と CTG 所見. Expert Seminar 4, 2020.

15) ◎鈴木由紀, 杉下陽堂, 孟玲伯, 西村サンディ, 澤田紫乃, 戸澤晃子, 鈴木直. 閉経ラットモデルを用いた膈外陰レーザー療法における治療効果の組織学的検討. 第 383 回四水会, 2020.

16) ◎長谷川潤一. 事例紹介②. Kouno-Tori study Web 研究会 2020～EAST～, 2020.

17) 鈴木直. がんに対する治療と生殖機能の維持をどのように考えるかー小児・AYA 世代がん患者に対するがん・生殖医療の現状と課題ー. がん診療連携拠点病院医療従事者研修会, 2020.

18) ◎鈴木直. 本邦における小児・AYA 世代がん患者に対する妊孕性温存の診療の実情と課題. Chugai Web Seminar～がん治療と生殖医療から, 2020.

19) ◎鈴木直. 本邦における小児・AYA 世代がん患者に対するがん・生殖医療の現状と課題. 令和 2 年度小児・AYA 世代のがん患者に対する 妊孕性温存療法に関する研修会, 2020.

20) ◎鈴木直. 婦人科がん医療における腹水管理と CART の役割. 疾患情報サイト:エキスパート講演:CART, 2021.

21) ◎長谷川潤一. 周産期での POCUS. 第 10 回 Point-of-Care 超音波研究会, 2021.

- 22) ◎長谷川潤一. 安全な人工妊娠中絶のために. 第2回母体保護法指定医師研修会, 2021.
- 23) ◎白石絵莉子, 高江正道, 中村健太郎, 新屋希笑実, 岡本愛光, 鈴木直. イマニチブの卵巣毒性に関する検証. 第6回 JISEI カンファレンス, 2021.
- 24) ◎古谷菜摘, 長谷川潤一, 鈴木直. 妊娠中の微細超音波ドプラ (SMI) による胎盤の病理所見の予測に関する研究. 第6回 JISEI カンファレンス, 2021.
- 25) ◎中村健太郎. PARP 阻害薬の卵巣予備能への影響. 第6回 JISEI カンファレンス, 2021.
- 26) ◎長谷川潤一. 妊婦検診の超音波検査のポイント. Obstetrics Web セミナー, 2021.
- 27) ◎長谷川潤一. 胎児超音波検査を理解する (講義編) (実技編). 第4回ゼロから始める助産師超音波セミナー, 2021.
- 28) ◎小澤南, 右田王介, 瓜生英尚, 上條千賀子, 鈴木由妃, 杉下陽堂, 本吉愛, 清水直樹, 津川浩一郎. 機械学習モデルの応用によるファブリー病スクリーニングの検討. 聖マリアンナ医科大学第79回医学会学術集会, 2021.
- 29) ◎鈴木直. 子宮頸がん HPV ワクチン. 女性からだ会議 AYA week 2021 子宮頸がん HPV ワクチンを考える, 2021.
- 30) ◎鈴木直. 卵巣癌治療に対する化学療法の変遷. リムパーザ適応追加記念講演会 in 神奈川～これからの卵巣がん治療を考える～, 2021.
- 31) ◎長谷川潤一. 周産期死亡・妊産婦死亡の改善について. 令和2年度岩手県医師会家族計画・母体保護法指導者講習伝達会, 2021.

		和文	英文
著 書		31	1
論 文	原著	5	25
	解説又は総説	39	5
	症例報告	1	6
	その他	1	
学会発表	国内学会	136	10
	国際学会		5
	その他	31	

眼科学

学術論文[和文]

① 総説又は症例解説

- 1) 松澤亜紀子, 宇津見義一, 宮本裕子. リモートワークに対応する適切な CL 処方 (若年者・子ども編). 日本コンタクトレンズ学会誌, 2020;62(4):151-152.
- 2) 松澤亜紀子. 【円錐角膜診療の進歩】円錐角膜のコンタクトレンズ処方. 眼科グラフィック, 2020;9(3):3298-306.
- 3) 徳田直人. 緑内障点眼と角膜知覚. 眼科, 2020;62(12):1333-1336.
- 4) 向後二郎. 網膜硝子体手術における術中 OCT Tips (with Digital-Assisted Vitrectomy). 眼科手術, 2021;34(1):52-58.

② 症例報告

- 1) 伊藤由香里, 松澤亜紀子, 林泰博, 戸部洋佑, 花田真由, 高木均. β -ラクタマーゼ非産生アンピシリン耐性インフルエンザ菌による涙腺導管炎が疑われた 1 例. 臨床眼科, 2020;74(4):505-509.
- 2) ◎花田真由, 松澤亜紀子, 伊藤由香里, 戸部洋佑, 林泰博, 有泉泰, 高木均. マイトマイシン C 点眼にて軽快した脂腺癌に 1 症例. 臨床眼科, 2021;75(3):313-318.

学術論文[英文]

① 原著

- 1) Kitaoka Y, Sase K, Tsukahara C, Fujita N, Tokuda N, Kogo J, Takagi H. Axonal protection by a small molecule SIRT1 activator, SRT2104, with alteration of autophagy in TNF-induced optic nerve degeneration. Japanese Journal of Ophthalmology, 2020;64(3):298-303.
- 2) Shiono A, Sasaki H, Sekine R, Abe Y, Matsumura Y, Inagaki T, Tanaka T, kodama T, Aburatani H, Sakai J & Takagi H. PPAR α activation directly upregulates thrombomodulin in the diabetic retina. SCIENTIFIC REPORTS, 2020;10(1): doi-10.1038/s41598-020-67579-1.
- 3) Meguro A, Ishihara M, Petrek M, Yamamoto K, Takeuchi M, Mrazek F, Kolek V, Benicka A, Yamane T, Shibuya E, Yoshino A, Isomoto A, Ota M, Yatsu K, Shijubo N, Nagai S, Yamaguchi E, Yamaguchi T, Namba K, Kaburaki T, Takase H, Morimoto SI, Hori J, Kono K, Goto H, Suda T, Ikushima S, Ando Y, Takenaka S, Takeuchi M, Yuasa T, Sugisaki K, Ohguro N, Hiraoka M, Kitaichi N, Sugiyama Y, Horita N, Asukata Y, Kawagoe T, Kimura I, Ishido M, Inoko H, Mochizuki M, Ohno S, Bahram S, Remmers EF, Kastner DL, Mizuki N. Genetic control of CCL24, POR, and IL23R contributes to the pathogenesis of sarcoidosis. COMMUNICATIONS BIOLOGY, 2020;: doi-10.1038/s42003-020-01185-9.
- 4) Kitaoka Y, Sase K, Tsukahara C, Fujita N, Arizono I, Takagi H. Axonal Protection by Nicotinamide Riboside via SIRT1-Autophagy Pathway in TNF-Induced Optic Nerve Degeneration. Molecular Neurobiology, 2020;57(12):4952-4960.
- 5) Masahiko Shimura, Shigehiko Kitano, Daisuke Muramatsu, Harumi Fukushima, Yoshihiro Takamura, Makiko Matsumoto, Masahide Kokado, Jiro Kogo, Mariko Sasaki, Yuki Morizane,

Osamu Kotake, Takashi Koto, Shozo Sonoda, Takao Hirano, Hiroto Ishikawa, Yoshinori Mitamura, Fumiki Okamoto, Takamasa Kinoshita, Kazuhiro Kimura, Masahiko Sugimoto, Kenji Yamashiro, Yukihiko Suzuki, Taiichi Hikichi, Noriaki Washio, Tomohito Sato, Kishiko Ohkoshi, Hiroki Tsujinaka, Sentaro Kusuhara, Mineo Kondo, Hitoshi Takagi, Toshinori Murata, Taiji Sakamoto, On behalf of Japan Clinical Retina Study(J-CREST)group. Real-world management of treatment-naïve diabetic macular oedema in Japan:two-year visual outcomes with and without anti-VEGF therapy in the STREAT-DME study. *British Journal Ophthalmology*, 2020;104(9) : 1209-1215.

- 6) Sawada T, Yasukawa T, Imaizumi H, Matsubara H, Kimura K, Terasaki H, Ishikawa H, Murakami T, Takeuchi M, Mitamura Y, Yamashita M, Takamura Y, Murata T, Kogo J, Ohji M, J-CREST (Japan Clinical Retinal Study Team) Study Group, Japan. Ten-year changes in visual acuity at baseline and at 2 years after treatment in a Japanese population with age-related macular degeneration. *Graefe's Archive for Clinical and Experimental Ophthalmology*, 2020; : doi.org-10.1007/s00417-020-05005-y.
- 7) Polouliakh N, Ludwig V, Meguro A, Kawagoe T, Heeb O, Mizuki N. Alpha-Arbutin Promotes Wound Healing by Lowering ROS and Upregulating Insulin/IGF-1 Pathway in Human Dermal Fibroblast. *frontiers in Physiology*, 2020;: doi:-10.3389/fphys.2020.586843.
- 8) Masahiko Shimura, Shigehiko Kitano, Daisuke Muramatsu, Harumi Fukushima, Yoshihiro Takamura, Makiko Matsumoto, Masahide Kokado, Jiro Kogo, Mariko Sasaki, Yuki Morizane, Takuya Utsumi, Takashi Koto, Shozo Sonoda, Takao Hirano, Hiroto Ishikawa, Yoshinori Mitamura, Fumiki Okamoto, Takamasa Kinoshita, Kazuhiro Kimura, Masahiko Sugimoto, Kenji Yamashiro, Yukihiko Suzuki, Taiichi Hikichi, Noriaki Washio, Tomohito Sato, Kishiko Ohkoshi, Hiroki Tsujinaka, Sentaro Kusuhara, Mineo Kondo, Hitoshi Takagi, Toshinori Murata, Taiji Sakamoto, on behalf of Japan Clinical Retina Study(J-CREST)group. Real-world management of treatment-naïve diabetic macular oedema:2-year visual outcome focusing on the starting year of intervention from STREAT-DMO study. *British Journal Ophthalmology*, 2020;104(12):1755-1761.
- 9) Sase K, Tsukahara C, Fujita N, Arizono I, Takagi H, Kitaoka Y. Akebia Saponin D prevents axonal loss against TNF-induced optic nerve damage with autophagy modulation. *Molecular Biology Reports*, 2020;47(12):9733-9738.
- 10) Morioka M, Takamura Y, Nagai K, Yoshida S, Mori J, Takeuchi M, Sawada T, Sone K, Fukuyama H, Kusuhara S, Yasukawa T, Murakami T, Tabuchi H, Nagasato D, Hirano T, Ueda T, Jujo T, Sasajima H, Mitamura Y, Ishikawa K & Inatani M.
Incidence of endophthalmitis after intravitreal injection of an anti-VEGF agent with or without topical antibiotics. *scientific reports*, 2020;: doi.org-10.1038/s41598-020-79377-w.
- 11) JuJo T, Kogo J, Sasaki H, Sekine R, Sato K, Ebisutani S, Toyoda Y, Kitaoka Y, Takagi H. 27-gauge trocar-assisted sutureless intraocular lens fixation. *BMC Ophthalmology*, 2021;21(1) : doi.org-10.1186/s12886-020-01758-6.
- 12) Fujita N, Sase K, Tsukahara C, Arizono I, Takagi H, Kitaoka Y. Pemafibrate prevents retinal

neuronal cell death in NMDA-induced excitotoxicity via inhibition of p-c-Jun expression. *Molecular Biology Reports*, 2021;48(1):195-202.

- 13) Inatani M, Higashide T, Matsushita K, Nagasato D, Takagi H, Ueki M, Takai Y, Miyazaki K, Iwamoto Y, Kobayashi M, Leal S. Efficacy and Safety of Intravitreal Aflibercept Injection in Japanese Patients with Neovascular Glaucoma: Outcomes from the VENERA Study. *Advances in therapy*, 2021;38:1106-1115.
- 14) Kobayashi Y, Tomizawa SI, Ono M, Kuroha K, Minamizawa K, Natsume K, Dizdarević S, Dočkal I, Tanaka H, Kawagoe T, Seki M, Suzuki Y, Ogonuki N, Inoue K, Matoba S, Anastassiadis K, Mizuki N, Ogura A, Ohbo K. Tsga8 is required for spermatid morphogenesis and male fertility in mice. *Development*. *Development*, 2021;: doi-10.1242/dev.196212.
- 15) Ishikawa H, Uchida K, Takesue Y, Mori J, Kinoshita T, Morikawa S, Okamoto F, Sawada T, Ohji M, Kanda T, Takeuchi M, Miki A, Kusuhara S, Ueda T, Ogata N, Sugimoto M, Kondo M, Yoshida S, Ogata T, Kimura K, Mitamura Y, Jujo T, Takagi H, Terasaki H, Sakamoto T, Sugisawa T, Komuku Y & Gomi F. Clinical Characteristics and Outcomes in 314 Japanese Patients with Bacterial Endophthalmitis: A Multicenter Cohort Study from J-CREST. *pathogens*, 2021;:doi.org-10.3390/pathogens10040390.

学会発表

① 国内学会

- 1) ◎吉村雅弘, 徳田直人, 塚本彩香, 豊田泰大, 山田雄介, 塚原千広, 佐瀬佳奈, 北岡康史, 高木均. アイケア ic200 手持眼圧計による異なる体位での眼圧測定. 第 124 回日本眼科学会総会, 2020.
- 2) ◎重城達哉, 和田圭司, 藤田直輝, 向後二郎, 高木均. 層状円孔に対する fovea-sparing internal limiting membrane peeling の術後成績. 第 124 回日本眼科学会総会, 2020.
- 3) ◎徳田直人. 緑内障治療温故知新～19 世紀から 21 世紀、そして未来へ～. 第 124 回日本眼科学会総会 モーニングセミナー19, 2020.
- 4) ◎松澤亜紀子. 円錐角膜アップデート. 第 35 回 JSCRS 学術総会, 2020.
- 5) ◎高木均. 糖尿病網膜症～最新の検査・治療～ 糖尿病網膜症に対する硝子体手術治療の進歩. 第 54 回糖尿病学の進歩 シンポジウム 8, 2020.
- 6) ◎山田雄介, 徳田直人, 豊田泰大, 塚本彩香, 藤田直輝, 塚原千広, 佐瀬佳奈, 北岡康史, 高木均. 緑内障チューブシャント術 (プレートのあるもの) の長期成績. 第 31 回日本緑内障学会, 2020.
- 7) ◎豊田泰大, 徳田直人, 山田雄介, 塚本彩香, 藤田直輝, 塚原千広, 佐瀬佳奈, 北岡康史, 高木均. 内方線維柱帯切開術時の線維柱帯除去の効果について (術後中期成績). 第 31 回日本緑内障学会, 2020.
- 8) ◎佐瀬佳奈. 網膜神経節細胞の蛋白発現異常と緑内障病態. 第 31 回日本緑内障学会 シンポジウム 3, 2020.
- 9) ◎徳田直人. 緑内障点眼薬の副作用. 第 31 回日本緑内障学会 教育セミナー3, 2020.
- 10) ◎楯塚友子, 松澤亜紀子, 阿部好美, 花田真由, 吉村雅弘, 林泰博, 工藤昌之, 高木均. 円錐角膜眼における角膜形状解析. 第 61 回日本視能矯正学会, 2020.
- 11) ◎大坪瑞季, 松澤亜紀子, 花田真由, 山田瑛子, 林泰博, 工藤昌之, 高木均. アデノウイルス結膜炎

- における臨床症状の検討. 第 74 回日本臨床眼科学会, 2020.
- 12) ◎松澤亜紀子, 月山純子, 高静花, 重安千花. 眼障害例から学ぶコンタクトレンズのきほん. 第 74 回日本臨床眼科学会 インストラクションコース 55, 2020.
 - 13) ◎佐藤尚人, 向後二郎, 米田一仁, 大澤俊介, 平形明人. 硝子体手術クエスチョンバンク 糖尿病網膜症編. 第 74 回日本臨床眼科学会 インストラクションコース 32, 2020.
 - 14) 松澤亜紀子, 月山純子. 40 代、50 代の CL 装用者の室内デジタル環境を制す! 40 代 50 代 CL 装用者の不快感を追求する. 第 74 回日本臨床眼科学会 共催セミナー, 2020.
 - 15) ◎吉村雅弘, 松澤亜紀子, 林泰博, 花田真由. 虹彩炎を契機に診断された糖尿病の 2 例. 第 26 回日本糖尿病眼学会総会, 2020.
 - 16) ◎有菌生吹, 渡邊昂大, 佐藤圭司, 藤田直輝, 重城達哉, 向後二郎, 高木均. 中心窩硬性白斑に対し網膜下洗浄を施行した症例の 10 年後経過について. 第 26 回日本糖尿病眼学会総会, 2020.
 - 17) ◎四方田涼, 佐々木寛季, 山田瑛子, 寺本謙典, 荒川明, 高木均. 増殖糖尿病網膜症手術の膜処理における眼内鉗子使用方法の工夫. 第 26 回日本糖尿病眼学会総会, 2020.
 - 18) ◎重城達哉, 佐藤圭司, 四方田涼, 佐々木寛季, 向後二郎, 高木均. 増殖硝子体網膜症に対する 25G, 27G 小切開硝子体手術成績の比較. 第 26 回日本糖尿病眼学会総会, 2020.
 - 19) ◎藤田直輝, 塚原千広, 佐瀬佳奈, 北岡康史. NMDA 障害モデルラットにおけるペマフィブラート内服によるアポトーシス抑制効果. 第 26 回日本糖尿病眼学会総会, 2020.
 - 20) ◎佐藤圭司, 重城達哉, 藤田直輝, 渡邊昂大, 向後二郎, 高木均. 増殖性糖尿病網膜症の重症度と血小板機能との関連についての院内検討. 第 26 回日本糖尿病眼学会総会, 2020.
 - 21) ◎上杉康雄, 徳田直人, 山田雄介, 藤田直輝, 豊田泰大, 塚本彩香, 塚原千広, 佐瀬佳奈, 畑真由美, 北岡康史, 高木均. 血管新生緑内障に対する線維柱帯切除術の長期成績. 第 26 回日本糖尿病眼学会総会, 2020.
 - 22) ◎豊田泰大, 徳田直人, 山田雄介, 藤田直輝, 塚本彩香, 塚原千広, 佐瀬佳奈, 金成真由, 北岡康史, 高木均. 血管新生緑内障に対する緑内障チューブシャント術 (プレートのあるもの) の長期成績. 第 26 回日本糖尿病眼学会総会, 2020.
 - 23) ◎高木均. 糖尿病網膜症の血管病態理解の進歩と治療応用. 第 26 回日本糖尿病眼学会総会, 2020.
 - 24) ◎渡邊昂大, 徳田直人, 山田雄介, 藤田直輝, 豊田泰大, 塚本彩香, 塚原千広, 佐瀬佳奈, 中村芽衣子, 北岡康史, 高木均. 糖尿病網膜症続発血管新生緑内障に対する緑内障チューブシャント手術再建術. 第 26 回日本糖尿病眼学会総会, 2020.
 - 25) ◎徳田直人. 血管新生緑内障に対する治療～緑内障手術～. 第 26 回日本糖尿病眼学会総会 シンポジウム 1, 2020.
 - 26) ◎向後二郎. 糖尿病眼合併症に対する外科的治療～硝子体手術～. 第 26 回日本糖尿病眼学会総会 教育セミナー, 2020.
 - 27) ◎向後二郎. 糖尿病網膜症に対する閾値下凝固の使用経験. 第 26 回日本糖尿病眼学会総会 共催セミナー16, 2020.
 - 28) 今井尚徳, 向後二郎, 米田一仁, 木村直樹. 硝子体手術教育時の指導医の心境-この瞬間にこのトラブル-. 第 44 回日本眼科手術学会学術総会 インストラクションコース, 2021.
 - 29) ◎高木均. 血管新生緑内障への硝子体手術による対応は眼底疾患の活動性と隅角所見で判断しよ

う。第 44 回日本眼科手術学会学術総会 総会長企画 3, 2021.

30) ◎向後二郎. 黄斑円孔手術の温故知新 (黄斑円孔の次のステージへ). 第 44 回日本眼科手術学会学術総会 総会長企画 4, 2021.

31) 大澤俊介, 米田一仁, 向後二郎, 中村竜大, 川原周平. 低濃度笑気麻酔 ウソ? ホント? の真相. 第 44 回日本眼科手術学会学術総会 ランチョンセミナー, 2021.

32) 河合萌子, 篠崎和美, 矢端将行, 後藤聡, 木全奈都子, 田尻晶子, 高村悦子, 飯田知弘. 涙道閉塞を合併した周辺部角膜潰瘍の 2 例. 角膜カンファランス 2021, 2021.

33) ◎花田真由, 松澤亜紀子, 吉村雅弘, 林 泰博, 工藤昌之, 高木均. まつ毛エクステンションによる眼障害例の検討. 角膜カンファランス 2021, 2021.

34) ◎佐瀬佳奈, 塚原千広, 藤田直輝, 有菌生吹, 高木均, 北岡康史. TNF 誘発視神経障害モデルにおける p38 阻害剤の視神経軸索保護作用. 第 40 回日本眼薬理学会, 2021.

35) 松澤亜紀子. Z 世代のコンタクトレンズ. 群馬県眼科医会学術講演会, 2021.

36) ◎渡邊昂大. 白内障術後に壊死性強膜炎を発症し治療に難渋した多発血管炎性肉芽腫症の 1 例. 第 13 回神奈川クロスオーバーシンポジウム, 2021.

② その他

1) ◎向後二郎. アイリーア製剤特性と大規模臨床試験から見る PCV 治療マネジメント. Ophthalmology Web Conference アイリーアの新提案 in KANAGAWA, 2020.

2) 松澤亜紀子. コンタクトレンズ (CL) の医療情報. 日本コンタクトレンズ協会 コンタクトレンズ営業所管理者継続研修, 2020.

3) 五藤智子, 松澤亜紀子. 遠近両用コンタクトレンズイノベーション SEED 1dayPure EDOF の有用性 「SEED 1dayPure EDOF の臨床データ」. 第 74 回日本臨床眼科学会 共催セミナー, 2020.

4) ◎向後二郎. 白内障・硝子体手術 Tips. NOVARTIS CLINICAL WEB SEMINAR 日常診療におけるトラブル症例に対して, 2020.

5) ◎荒川明. 抗 VEGF 治療における悩ましい症例. NOVARTIS CLINICAL WEB SEMINAR 日常診療におけるトラブル症例に対して, 2020.

6) ◎高木均. 糖尿病や生活習慣病から起こる眼の病気. かわさき市民アカデミー地域協働講座～オンラインで学ぶ～最新医学・医療の現状と展望～セカンドライフを健康に過ごすために～, 2020.

7) ◎高木均. 糖尿病網膜症の病態に基づく治療を考える. 第 112 回久留米大学眼科研究会, 2020.

8) ◎松澤亜紀子. コロナに翻弄されて. SENJU WEB セミナー, 2021.

		和文	英文
著 書			
論 文	原著		15
	解説又は総説	4	
	症例報告	2	
	その他		
学会発表	国内学会	36	
	国際学会		
	その他	8	

耳鼻咽喉科学

著書

- 1) 瀬尾徹. 遅発性内リンパ水腫 ENTONI 2020;(249):41-45.
- 2) 宮本康裕. 鼻科編 視力・眼球運動障害 鼻性視神経障害,視神経管骨折,眼窩壁骨折,眼窩内腫瘍,鞍内・傍鞍部腫瘍 耳鼻咽喉科・頭頸部外科 2020;92:142-147.
- 3) 宮本康裕. インフォームド・コンセントに関するあり方の変遷 ENTONI 2020;245:1-6.
- 4) 宮本康裕. 慢性めまいへの対応 ENTONI 2020;249:144-150.
- 5) 肥塚泉. 重い難聴ですが手術で治せますか? 耳鳴り 難聴 最高の治し方 大全 2020::164.
- 6) 肥塚泉. 「残存聴力活用型人工内耳」とはどんな治療法ですか? 耳鳴り 難聴 最高の治し方 大全 2020::171-172.
- 7) 肥塚泉. 補聴器にはどんな種類がありますか? 耳鳴り 難聴 最高の治し方 大全 2020::176-177.
- 8) 肥塚泉. 骨伝導補聴器でよく聞こえるようになりますか? 耳鳴り 難聴 最高の治し方 大全 2020::184.
- 9) 肥塚泉. 耳鳴りとめまいが原因はなんですか? 耳鳴り 難聴 最高の治し方 大全 2020::43.
- 10) 肥塚泉. 「耳管狭窄症」と診断されました。どんな病気ですか? 耳鳴り 難聴 最高の治し方 大全 2020::46.
- 11) 肥塚泉. めまい治療薬 Pocket Drugs 2021::94.

学術論文[和文]

① 原著

- 1) 肥塚泉. 良性発作性頭位めまい症の病態と診断. Medical Practice, 2020;37(4):557-560.
- 2) 鈴木香, 宮本康裕, 笹野恭之, 荒井光太郎, 西本寛志, 四戸達也, 大原章裕, 稲垣太朗, 望月文博, 三上公志, 谷口雄一郎, 肥塚泉. 高齢者の慢性めまいに対する前庭リハビリテーションの効果. 耳鼻咽喉科展望, 2020;63(2):59-65.
- 3) 宮本康裕. インフォームド・コンセントに関するあり方の変遷. ENTONI, 2020;245:1-6.
- 4) 肥塚泉. アスリートの平衡機能と姿勢反射. JOHNS, 2020;36(5):545-547.
- 5) 肥塚泉. 高齢者のめまいの現状. 耳鼻咽喉科・頭頸部外科, 2020;92(6):398-402.
- 6) 北島明美. 末梢性めまいと鑑別困難であった中枢症例から学ぶこと. Equilibrium Research, 2020;79(3):198-201.
- 7) 望月文博, 宮本康裕, 笹野恭之, 荒井光太郎, 西本寛志, 四戸達也, 稲垣太朗, 大原章裕, 鈴木香, 三上公志, 小森学, 肥塚泉. 偏垂直軸回転 (off-vertical axis rotation: OVAR) 条件下における平面スクリーンを用いた視覚刺激が半規管一動眼反射および耳石一動眼反射におよぼす影響. Equilibrium Research, 2020;79(3):164-170.
- 8) 北島明美, 肥塚泉. 前庭動眼反射に対する指先接触および咬合刺激入力の影響. Equilibrium Res, 2020;79(4):244-250.
- 9) 肥塚泉. 特集 耳鼻咽喉科診療 Q&A 高齢者のめまいに対する運動療法の有効性はあるのでしょうか?. JOHNS, 2020;36(9):1136-1137.

- 10) 藤井正文, 晝間清, 肥塚泉. 手術により嚥下改善を認めた Forestier 病の 1 例. 耳鼻咽喉科・頭頸部外科, 2020;92(12):1019-1023.
 - 11) 西本寛志, 大橋徹, 肥塚泉. 対クリック刺激法を用いたヒト蝸牛抑制現象の検討. 日本耳鼻咽喉科学会会報, 2020;123(12):1367-1374.
 - 12) 肥塚泉. めまい症例-最近の動向-. JOHNS, 2021;37(1):5-8.
 - 13) 荒井光太郎, 中村学, 瀬尾徹, 肥塚泉. 7.05 テスラ MRI を用いたガドリニウム鼓室内投与後のマウス前庭の観察. 耳鼻と臨床, 2021;67(1):1-6.
 - 14) 多村悠紀, 望月文博, 山田善宥, 三上公志, 春日井滋, 肥塚泉. 甲状腺穿刺吸引細胞診後にびまん性甲状腺腫脹をきたした症例. 耳鼻咽喉科臨床, 2021;114(1):59-63.
 - 15) 深澤雅彦, 春日井滋, 三上公志, 明石愛美, 小野瀬好英, 神川文彰, 前田一郎, 肥塚泉. 喉頭垂直部分切除術を施行した声門癌症例の検討 ―根治照射後再発病変への対応について―. 耳鼻咽喉科臨床, 2021;114(1):41-49.
 - 16) 深澤雅彦, 春日井滋, 三上公志, 明石愛美, 望月文博, 神川文彰, 岩武桜子, 長宗我部基弘, 肥塚泉. 当科における早期舌癌症例の検討 ―早期舌癌患者における臨床病理学的評価および予防的頸部郭清術について―. 頭頸部外科, 2021;30(3):309-316.
 - 17) 北島明美, 北島尚治, 肥塚泉. スクーバダイビングにおける耳鼻咽喉科的アンケート調査. 宇宙航空環境医学, 2021;58(1):30-31.
 - 18) 北島尚治, 北島明美. 体験ダイビングで耳気圧外傷を起こしたダイバーの耳管機能について. 宇宙航空環境医学, 2021;58(1):22-23.
- ② 総説又は症例解説
- 1) 肥塚泉. 浮動性めまい. 耳鼻咽喉科・頭頸部外科, 2020;92(5):68-73.
 - 2) 小森学. 【耳鼻咽喉科領域の外傷を診る!-初期対応から根治療法まで】外傷性鼓膜穿孔・耳小骨連鎖離断. 耳鼻咽喉科・頭頸部外科, 2020;92(7):490-493.
 - 3) 瀬尾徹. 【エキスパートから学ぶめまい診療】遅発性内リンパ水腫. ENTONI, 2020;(249):41-45.
 - 4) 小森学. 【新型コロナウイルス感染症 備え, 守り, 治す】小児の診療と学校健診. 耳鼻咽喉科・頭頸部外科, 2021;93(2):130-134.
 - 5) 伊藤友祐, 小森学. 【小児中耳炎を究める】平衡機能への影響. JOHNS, 2021;37(3):233-235.
- ③ 症例報告
- 1) 萩原悠太, 菊池崇之, 赤須友香利, 松本博文, 鏑木 圭, 柴田宗一郎, 笹野恭之, 齋藤善光, 清水高弘, 山野嘉久. 扁桃周囲膿瘍に対する経口腔咽頭超音波ガイド下排膿穿刺術―経口腔頸動脈超音波の応用―. Neurosonology, 2020;33(2):45-49.
 - 2) 高田女里, 関征央, 相原正記, 梶川明義, 西本寛志, 齋藤善光, 宮本康裕, 成木佐瑛子. 頬部皮下腫瘍として触知された上顎洞血腫の 1 例. 聖マリアンナ医科大学雑誌, 2020;Vol.48:123-128.
 - 3) 明石愛美, 深澤雅彦, 望月文博, 三上公志, 宮本康裕, 肥塚泉. 当科で経験した喉頭軟骨肉腫の 1 例. 耳鼻展望, 2020;63(6):280-286.
 - 4) 齋藤善光, 春日井滋, 稲垣太朗, 望月文博, 明石愛美, 宮本康裕, 岡田智幸, 肥塚泉. 咽喉頭食道異物を主訴に受診した 1714 例の検討. 日本気管食道科学会会報, 2021;72(1):1-9.
 - 5) 晝間清, 大原章裕, 肥塚泉. 突発性難聴に伴った持続性方向交代性頭位眼振例. 耳鼻咽喉科臨床,

2021;114(2):97-102.

④ その他

- 1) 肥塚泉. 「めまい」はリハビリで治す!. PHP からだスマイル, 2020;(7):77-89.
- 2) 肥塚泉. なんでも健康相談 (耳鼻咽喉科). NHK テキストきょうの健康, 2020;(9):103.
- 3) 春日井滋, 深澤雅彦, 三上公志, 明石愛美, 望月文博, 神川文彰, 岩武桜子, 肥塚泉. シリンジ吸引牽引法を利用して摘出した頸部深在性脂肪腫 2 例. 頭頸部外科, 2020;30(2):259-264.
- 4) 肥塚泉. 命にかかわる高齢者の転倒. 「よく聞こえない」ときの耳の本 2021 年版, 2021;(260):22.

学術論文[英文]

① 原著

- 1) Taro Inagaki, Tsunetaro Morino, Ryo Takagi, Masayuki Yamato, Izumi Koizuka, Yuichiro Yaguchi. Transplantation of Autologous Oral Mucosal Epithelial Cell Sheets Inhibits the Development of Acquired External Auditory Canal Atresia in a Rabbit Model. Acta biomaterialia, 2020;110(july) : 141-152.
- 2) Manabu Komori, Yuka Morita, Tetsuya Tono, Keiji Matsuda, Yutaka Yamamoto, Masafumi Sakagami, Naohito Hato, Hiromi Kojima, Haruo Takahashi. Nationwide survey of middle ear cholesteatoma surgery cases in Japan: Results from the Japan Otological society registry using the JOS staging and classification system. Auris·Nasus·Larynx, 2020;in press:in press-in press.

② 総説又は症例解説

- 1) Iwasaki S, Shojaku H, Murofushi T, Seo T, Kitahara, T, Origasa H, Watanabe Y, Suzuki M, Takeda N. Diagnostic and therapeutic strategies for Meniere's disease of the Japan Society for Equilibrium Research. Auris Nasus Larynx, 2020;; DOI-10.1016/j.anl.2020.10.009.

学会発表

① 国内学会

- 1) 瀬尾徹, 久保佑介, 四戸達也, 中村学, 肥塚泉. 卵形嚢障害は球形嚢障害よりも体平衡に影響を及ぼす. 第 121 回日本耳鼻咽喉科学会, 2020.
- 2) 晝間清, 大原章裕, 西本寛志, 藤井正文, 肥塚泉. 水平半規管短脚型管内結石症の検討. 第 121 回日本耳鼻咽喉科学会学術講演会, 2020.
- 3) ◎中村学, 荒井光太郎, 岩武桜子, 瀬尾徹, 肥塚泉. 院内クラスターが発生した当院における COVID-19 後嗅覚障害 8 症例の検討. 第 59 回日本鼻科学会総会・学術講演会, 2020.
- 4) ◎堀江怜央, 齋藤善光, 多村悠紀, 稲垣太朗, 伊藤友祐, 中村学, 宮本康裕, 肥塚泉. 鼻副鼻腔内反性乳頭腫症例の検討. 第 59 回日本鼻科学会総会・学術講演会, 2020.
- 5) 瀬尾徹, 岩武桜子, 荒井光太郎, 中村学, 肥塚泉. フロセミド負荷 VEMP による急性低音障害型感音難聴の反復の予測. 第 30 回日本耳科学会, 2020.
- 6) ◎小森学. 用語委員会報告「上鼓室・乳突腔病巣処理を伴う鼓室形成術の術式名称について」の改訂に向けて 2. 改訂案による本邦の耳科手術の分析. 第 30 回日本耳科学会総会・学術講演会, 2020.
- 7) ◎鈴木香, 晝間清, 肥塚泉. 頭位眼振の変化を伴った小児突発性難聴の一例. 第 79 回日本めまい平

平衡医学会総会・学術講演会, 2020.

- 8) ◎西本寛志, 望月文博, 笹野恭之, 伊藤友祐, 三上公志, 肥塚泉. 周期性方向交代性眼振を認めた1例. 日本めまい平衡医学会, 2020.
 - 9) ◎岩武桜子, 瀬尾徹, 荒井光太郎, 中村学, 肥塚泉. 高齢者に対する cVEMP. 日本めまい平衡医学会総会・学術講演会, 2020.
 - 10) 瀬尾徹, 岩武桜子, 荒井光太郎, 中村学, 肥塚泉. カロリックテストと vHIT の乖離はメニエール病のマーカーとなるか?. 第79回日本めまい平衡医学会, 2020.
 - 11) 瀬尾徹. 「メニエール病と前庭性片頭痛: その類似点と相違点、関係性」生理機能検査の視点から. 第79回日本めまい平衡医学会, 2020.
 - 12) ◎伊藤友祐, 望月文博, 笹野恭之, 大原章裕, 瀬尾徹, 肥塚泉. 健常者における VEMP および回転刺激検査による耳石器機能の比較. 第79回日本めまい平衡医学会総会・学術講演会, 2020.
 - 13) ◎笹野恭之, 望月文博, 大原章裕, 伊藤友祐, 三上公志, 宮本康裕, 肥塚泉. 肩関節への体性感覚入力が半規管動眼反射と耳石器動眼反射におよぼす影響. 第79回日本めまい平衡医学会総会・学術講演会, 2020.
 - 14) ◎中村学, 岩武桜子, 久保佑介, 笹野恭之, 荒井光太郎, 四戸達也, 佐藤卓夫, 瀬尾徹, 山田隆之, 肥塚泉. Philips 社製 Ingenia を用いた Gd 造影 MRI による内リンパ水腫可視化の試み. 第79回日本めまい平衡医学会総会・学術講演会, 2020.
 - 15) ◎荒井光太郎, 中村学, 岩武桜子, 田中泰彦, 瀬尾徹, 肥塚泉. 7.05 テスラ MRI を用いたガドリニウム鼓室内投与後のマウス前庭の観察. 第79回日本めまい平衡医学会総会・学術講演会, 2020.
 - 16) ◎鈴木香, 斎藤善光, 山田善宥, 笹野恭之, 稲垣太朗, 川島孝介, 宮本康裕, 谷口雄一郎, 肥塚泉. 当院における過去5年間の顔面神経減荷術の検討. 第82回耳鼻咽喉科臨床学会, 2020.
 - 17) ◎西本寛志, 望月文博, 笹野恭之, 大原章裕, 伊藤友祐, 三上公志, 小森学, 宮本康弘, 肥塚泉. 当科におけるめまい疾患患者の臨床的傾向. 耳鼻咽喉科臨床学会, 2020.
- ② その他
- 1) ◎小森学. スマートフォン・携帯音楽プレーヤーと騒音性難聴. 日本学術会議 感覚器分科会, 2020.
 - 2) ◎肥塚泉. 高齢者のめまい. 第42回市民健康づくり講演会, 2020.
 - 3) 春日井滋. プラチナ抵抗性症例における検討. Head and Neck Immuno-Oncology web セミナー, 2020.
 - 4) ◎肥塚泉. 高齢者のめまい. 川崎市民アカデミー, 2020.
 - 5) ◎小森学. 耳科学の進歩と小児耳鼻咽喉科. 第5回耳鼻咽喉科疾患懇話会, 2021.
 - 6) ◎小森学. 2021年花粉症対策-鼻呼吸の重要性-. TAIHO Allergy Web Seminar in Kanagawa, 2021.

		和文	英文
著 書		11	
論 文	原著	18	2
	解説又は総説	5	1
	症例報告	5	
	その他	4	
学会発表	国内学会	17	
	国際学会		
	その他	6	

放射線医学

著書

- 1) 八木橋国博, 細井康太郎. 心窩部痛、背部痛を主訴に来院した 70 歳代女性 画像診断ドリル 2020;:102-105.
- 2) 生野雅也, 八木橋国博. 喀血で来院した 80 歳代男性 画像診断ドリル 2020;:107-112.
- 3) 細井康太郎, 八木橋国博. 数日間で増悪した呼吸困難を主訴に来院した 70 歳代女性 画像診断ドリル 2020;:98-101.
- 4) 中村直樹. 放射線療法—現状と未来 脊椎転移パーフェクト診療 がん口コモを防ぐために 2020;:67-74.
- 5) 和田慎司. 神経ブロック IVR の全て 2021;:308-310.

学術論文[和文]

① 原著

- 1) 藤川あつ子, 中村尚生, 小川泰良. ビスマスシールドを用いた水晶体被ばく低減時の頭部 CT 画質評価. 聖マリアンナ医科大学雑誌, 2020;47(4):167-174.
- 2) 瀬上航平, 大岡正道, 山田浩史, 朝野隆之, 阿部宏志, 穂山雅代, 村弘子, 梶ヶ谷和子, 内川隆子, 橋川薫, 小林泰之, 三村秀文, 安田宏, 峯下昌道, 大坪毅人. 放射線科読影レポート未確認に伴う Diagnostic Error への対策. 聖マリアンナ医科大学雑誌, 2020;48(3):61-66.
- 3) 千葉清, 西巻博, 小川普久, 北翔太, 鈴木寛俊, 桜井祐加, 縄田寛, 近田正英, 宮入剛. 慢性 B 型大動脈解離に対する TEVAR 中期成績～Candy-Plug 法の当科の成績を含めて～. 血管外科, 2020;39(1):36-42.

② 総説又は症例解説

- 1) 中村直樹. なぜ単回照射は受け入れられないのか? : エビデンスと実臨床の乖離の要因を考える. 臨床放射線, 2020;65(6):521-527.
- 2) 千葉清, 西巻博, 小川普久. 10 地領の幅を広げる技術 4 upside-down technique. ステンントグラフィト内挿術マニュアル (腹部編), 2020;:299-305.
- 3) 森本毅, 藤川あつ子, 松本純一, 三村秀文. 【今さら聞けない急性腹症の画像診断】腸閉塞. 臨床画像, 2020;36(9):996-1007.
- 4) 小川普久, 西巻博, 千葉清, 小徳暁生, 八木橋国博, 丸橋孝昭, 三村秀文, 宮入剛. 腹部ステントグラフィト内挿術(EVAR) の現況と将来展望. 日本血管内治療学会誌, 2020;21:44-52.

③ 症例報告

- 1) 森本毅, 大出創, 大森淳二, 和田慎司, 橋本一樹, 藤川あつ子, 宮川国久, 三村秀文. Retroportal main pancreatic duct を呈した門脈輪状膵の 1 例. 臨床放射線, 2020;65(5):469-474.
- 2) ◎吉江玲子, 白英, 川本久紀, 福田護, 岡田幸法, 小池淳樹. 化学療法と定位放射線治療併用中に腫瘍内出血を認めた乳癌脳転移の 1 例. 日本臨床外科学会雑誌, 2020;81(8):1482-1488.
- 3) 西谷友里, 古田繁行, 大山慧, 長江秀樹, 藤川あつ子, 小池淳樹, 北川博昭. 術前診断が可能であった卵管捻転の 1 女児例. 日本小児放射線学会雑誌, 2021;37(1):85-89.

④ その他

- 1) 木田圭亮, 松本直樹, 志茂新, 小島康幸, 小徳暁生, 出雲昌樹, 明石嘉浩. 各論 : がん化学療法による臓器障害の機序と対応 5)HER2 阻害薬による心筋障害. 腎臓内科, 2020;12(6):644-653.
- 2) 橘川薫, 木村裕介, 小林大地, 込田みどり, 福元拓郎, 古城香菜子, 岡本純, 三村秀文. 【CT と MRI のサインから読み解く病態・病理 II】骨軟部・関節領域. 臨床放射線, 2021;66(2):147-156.
- 3) 橘川薫, 木村裕介, 込田みどり, 岡本純, 古城香菜子, 小林大地, 福元拓郎. 特集 CT と MRI のサインから読み解く病態・病理 II. 臨床放射線, 2021;66(2):147-156.
- 4) 小林俊博, 坪谷綾子, 藤重瑤子, 小宮詠子, 松本浩, 伊藤由香, 一野谷淳, 森田小百合, 八木岡節子, 吉田篤史, 加藤善廣, 八木橋国博, 坂下裕子. 多職種チーム医療における造影剤副作用報告システムの構築と造影剤副作用の発現状況の調査. 全国自治体病院協議会雑誌, 2021;60(3):60-65.

学術論文[英文]

① 原著

- 1) Tomori Y, Yamashiro T, Tomita H, Tsubakimoto M, Ishigami K, Atsumi E, Murayama S. CT radiomics analysis of lung cancers: Differentiation of squamous cell carcinoma from adenocarcinoma, a correlative study with FDG uptake. *Eur J Radiol*, 2020;:doi: 10.1016/j.ejrad.2020.109032. Online ahead of print.
- 2) Mimura H, Akita S, Fujino A, Jinnin M, Ozaki M, Osuga K, Nakaoka H, Morii E, Kuramochi A, Aoki Y, Arai Y, Aramaki N, Inoue M, Iwashina Y, Iwanaka T, Ueno S, Umezawa A, Ozeki M, Ochi J, Kinoshita Y, Kurita M, Seike S, Takakura N, Takahashi M, Tachibana T, Chuman K, Nagata S, Narushima M, Niimi Y, Nosaka S, Nozaki T, Hashimoto K, Hayashi A, Hirakawa S, Fujikawa A, Hori Y, Matsuoka K, Mori H, Yamamoto Y, Yuzuriha S, Rikihisa N, Watanabe S, Watanabe S, Kuroda T, Sugawara S, Ishikawa K, Sasaki S. Japanese clinical practice guidelines for vascular anomalies 2017. *Japanese journal of Radiology*, 2020;38(4):287-342.
- 3) Okamoto Satoko, Chen ST, Covelli JD, DeMartini WB, Daniel BL, Ikeda DM. High-risk lesions diagnosed at MRI-guided vacuum-assisted breast biopsy: imaging characteristics, outcome of surgical excision or imaging follow-up. *Breast Cancer*, 2020;27(3):405-414.
- 4) Mimura Hidefumi, Akita S, Fujino A, Jinnin M, Ozaki M, Osuga K, Nakaoka H, Morii E, Kuramochi A, Aoki Y, Arai Y, Aramaki N, Inoue M, Iwashina Y, Iwanaka T, Ueno S, Umezawa A, Ozeki M, Ochi J, Kinoshita Y, Kurita M, Seike S, Takakura N, Takahashi M, Tachibana T, Chuman K, Nagata S, Narushima M, Niimi Y, Nosaka S, Nozaki T, Hashimoto K, Hayashi A, Hirakawa S, Fujikawa A, Hori Y, Matsuoka K, Mori H, Yamamoto Y, Yuzuriha S, Rikihisa N, Watanabe S, Watanabe S, Kuroda T, Sugawara S, Ishikawa K, Sasaki S. Japanese Clinical Practice Guidelines for Vascular Anomalies 2017. *The Journal of Dermatology*, 2020;47(5): e138-e183.
- 5) Hayato Tomita, Klaus Detmar, Panagiota Manava, Yasuo Nakajima, Michael Lell, Ralf Adamus. Predictive Value of VIBE using Subtraction to Evaluate Idiopathic Facial Palsy after Starting Therapy. *Fortschritte auf dem Gebiet der Röntgenstrahlen und der bildgebenden Verfahren*,

2020; doi: 10.1055/a-1160-6047.

- 6) ©Yukinori Okada, Mariko Kobayashi, Mio Shinozaki, Tatsuyuki Abe, Yoshihide Kanemaki, Naoki Nakamura, Yasuyuki Kojima.
Survival time and prognostic factors after whole-brain radiotherapy of brain metastases from breast cancer. *Acta Radiologica Open*, 2020;9(7) 1-8:1-8.
- 7) Tetsuo Saito, Naoto Shikama, Atsunori Yorozu, Hikaru Kubota, Kenta Murotani, Kohsei Yamaguchi, Natsuo Oya, Naoki Nakamura. Inconsistencies in assessment of pain endpoints in radiotherapy for painful tumors: Analysis of original articles in the Green and Red Journals. *Clinical and Translational Radiation Oncology*, 2020;24:111-115.
- 8) ©Yukinori Okada, Tatsuyuki Abe, Mio Shinozaki, Akiko Tanaka, Mariko Kobayashi, Hiromichi Gomi, Naoki Nakamura, Yasuyuki Kojima. Evaluation of imaging findings and prognostic factors after whole-brain radiotherapy for carcinomatous meningitis from breast cancer: A retrospective analysis. *medicine*, 2020;99(31): e21333.
- 9) Akiyuki Kotoku, Yukihisa Ogawa, Kiyoshi Chiba, Takaaki Maruhashi, Hidefumi Mimura, Takeshi Miyairi, Hiroshi Nishimaki. Clinical Utility of Coil in Plug Method (CIP) for Internal Iliac Artery Embolization during Endovascular Aortic Aneurysm Repair. *Annals of Vascular Diseases*, 2020; 13(3):269-272.
- 10) Andrea Tomppert, Wolfgang Wuest, Marco Wiesmueller, Rafael Heiss, Markus Kopp, Armin M Nagel, Hayato Tomita, Christian Meixner, Michael Uder, Matthias Stefan May. Achieving high spatial and temporal resolution with perfusion MRI in the head and neck region using golden-angle radial sampling. *European Radiology*, 2020; doi: 10.1007/s00330-020-07263-0.
- 11) Hideyuki Harada, Naoto Shikama, Hitoshi Wada, Nobue Uchida, Miwako Nozaki, Kazushige Hayakawa, Kazunari Yamada, Hisayasu Nagakura, Hirofumi Ogawa, Kazunari Miyazawa, Hirohisa Katagiri, Naoki Nakamura. A phase II study of palliative radiotherapy combined with zoledronic acid hydrate for metastatic bone tumour from renal cell carcinoma. *Japanese journal of clinical oncology*, 2020; DOI-10.1093/jjco/hyaa158.
- 12) Suzuki M, Kawata N, Abe M, Yokota H, Anazawa R, Matsuura Y, Ikari J, Matsuoka S, Tsushima K, Tatsumi K. Objective quantitative multidetector computed tomography assessments in patients with combined pulmonary fibrosis with emphysema: Relationship with pulmonary function and clinical events. *PLoS One*, 2020;17(9): doi: 10.1371/journal.pone.0239066.
- 13) Raturi VP, Tochinai T, Hojo H, Rachi T, Hotta K, Nakamura N, Zenda S, Motegi A, Arijit T, Hirano Y, Baba H, Ohyoshi H, Nakamura M, Okumura M, Bei Y, Akimoto T.
Dose-Volume and Radiobiological Model-Based Comparative Evaluation of the Gastrointestinal Toxicity Risk of Photon and Proton Irradiation Plans in Localized Pancreatic Cancer Without Distant Metastasis. *Frontiers in Oncology*, 2020; doi:10.3389/fonc.2020.517061.
- 14) ©Yukinori Okada, Mariko Kobayashi, Mio Shinozaki, Tatsuyuki Abe, Naoki Nakamura.
Prognostic factors of primary brain metastasis from SCLC treated by whole-brain radiotherapy. *Journal of Radiotherapy in Practice*, 2020;doi.org/10.1017/S1460396920000710:0-0.

- 15) Kimura Yusuke, Yamashiro Tsuneo, Saito Yuki, Kitsukawa Kaoru, Niki Hisateru, Mimura Hidefumi. MRI findings of spring ligament injury: association with surgical findings and flatfoot deformity. *Acta Radiologica Open*, 2020;9(12):doi-10.1177/2058460120980145.
- 16) Koda Eriko, Yamashiro Tsuneo, Onoe Rintaro, Handa Hiroshi, Azagami Shinya, Matsushima Shoichiro, Tomita Hayato, Inoue Takeo, Mineshita Masamichi. CT texture analysis of mediastinal lymphadenopathy: Combining with US-based elastographic parameter and discrimination between sarcoidosis and lymph node metastasis from small cell lung cancer. *PLoS One*, 2020;15(12): e0243181.
- 17) Tomita Hayato, Deguchi Yuki, Fukuchi Hirofumi, Fujikawa Atsuko, Kurihara Yoshiko, Kitsukawa Kaoru, Mimura Hidefumi, Kobayashi Yasuyuki. Combination of compressed sensing and parallel imaging for T2-weighted imaging of the oral cavity in healthy volunteers: comparison with parallel imaging. *European Radiology*, 2021;: doi-10.1007/s00330-021-07699-y. Online ahead of print.
- 18) Sato Yoshinori, Yasuda Hiroshi, Nakamoto Yusuke, Kiyokawa Hirofumi, Yamashita Masaki, Matsuo Yasumasa, Maehata Tadateru, Yamamoto Hiroyuki, Mimura Hidefumi, Fumio Itoh. Risk factors of interventional radiology/surgery for colonic diverticular bleeding. *JGH Open*, 2021; 5(3):343-349.
- 19) Harada H, Shikama N, Wada H, Uchida N, Nozaki M, Hayakawa K, Yamada K, Nagakura H, Ogawa H, Miyazawa K, Katagiri H, Nakamura N. A phase II study of palliative radiotherapy combined with zoledronic acid hydrate for metastatic bone tumour from renal cell carcinoma. *Japanese Journal of Clinical Oncology*, 2021;51(1):100-105.
- 20) Ryotaro Tokorodani, Hiromitsu Daisaki, Yukinori Okada, Eisuke Yasuda. Effect of position and volume of space-occupying liver lesions on liver function index in ^{99m}Tc-GSA scintigraphy. *Nuclear Medicine Review*, 2021;24(1):1-10.
- 21) Tsuruoka Hajime, Handa Hiroshi, Yamashiro Tsuneo, Nishine Hiroki, Inoue Takeo, Mineshita Masamichi. Correlation between Computed Tomographic Analysis and Pulmonary Function Measurements in Patients with Relapsing Polychondritis. *Respiration*, 2021;100(2):109-115.
- 22) Tomita Hayato, Yamashiro Tsuneo, Heianna Joichi, Nakasone Toshiyuki, Kobayashi Tatsuki, Mishiro Sono, Hirahara Daisuke, Takaya Eichi, Mimura Hidefumi, Murayama Sadayuki, Kobayashi Yasuyuki. Deep Learning for the Preoperative Diagnosis of Metastatic Cervical Lymph Nodes on Contrast-Enhanced Computed Tomography in Patients with Oral Squamous Cell Carcinoma. *Cancers (Basel)*, 2021;13(4):600-600.
- 23) Tomita Hayato, Yamashiro Tsuneo, Iida Gyo, Tsubakimoto Maho, Mimura Hidefumi, Murayama Sadayuki. Unenhanced CT texture analysis with machine learning for differentiating between nasopharyngeal cancer and nasopharyngeal malignant lymphoma. *Nagoya Journal of Medical Science*, 2021;83(1):135-149.
- 24) Masashi Shimohira, Hiroshi Kondo, Yukihisa Ogawa, Hiroshi Kawada, Masamichi Koganemaru, Osamu Ikeda, Akira Yamamoto, Tomohiro Komada, Shuichi Tanoue, Noriaki Muraoka, Masato

Tanikake, Sadao Hayashi, Satoshi Yamamoto, Takeshi Sato, Kimiyoshi Mizunuma, Fumikiyo Ganaha, Yu Murakami, Tsuneo Ishiguchi.

Natural history of enraptured visceral artery aneurysms due to segmental arterial mediolysis and efficacy of trans catheter arterial embolization: A retrospective multi institutional study in Japan. *American Journal of Roentgenology*, 2021;216(3):691-697.

- 25) Tomita Hayato, Yamashiro Tsuneo, Heianna Joichi, Nakasone Toshiyuki, Kimura Yusuke, Mimura Hidefumi, Murayama Sadayuki. Nodal-based radiomics analysis for identifying cervical lymph node metastasis at levels I and II in patients with oral squamous cell carcinoma using contrast-enhanced computed tomography. *European Radiology*, 2021; doi-10.1007/s00330-021-07758-4. Online ahead of print.
- 26) Kubota H, Nakamura N, Shikama N, Tonari A, Wada H, Harada H, Nagakura H, Heianna J, Ito K, Nozaki M, Tago M, Fushiki M, Uchida N, Araki N, Sekii S, Kosugi T, Takahashi T, Kawamoto T, Saito T, Yamada K. Practice patterns for postoperative radiation therapy in patients with metastases to the long bones: a survey of the Japanese Radiation Oncology Study Group. *Journal of Radiation Research*, 2021;62(2):356-363.
- 27) Yoshida Nobukiyo, Kotani Yasunori, Ohgami Yoshimi, Kunimatsu Akira, Inoue Yusuke, Kiryu Shigerue, ©Okada Yukinori. Effects of negativity bias on amygdala and anterior cingulate cortex activity in short and long emotional stimulation paradigms. *NeuroReport*, 2021;March : ahead-ahead.
- 28) ©Yukinori Okada, Shoichiro Matsushita, Keiichiro Yamaguchi. Correlation between 99m TcO4- Thyroid Scintigraphy and Blood Test in Primary Hyperthyroidism. *Open Journal of Endocrine and Metabolic Diseases*, 2021;11:71-78.
- ② 総説又は症例解説
- 1) Yoshiko Y Kurihara, Astuko Fujikawa, Natsuki Tachizawa, Mamiko Takaya, Hirotaka Ikeda, Jay Starkey. Temporal Bone Trauma: Typical CT and MRI Appearances and Important Points for Evaluation. *Radiographics*, 2020;4(40):1148-1162.
- ③ 症例報告
- 1) Chiba Kiyohi, Ogawa Yukihiisa, Murakami Kenji, KIta Shota, Suzuki Hirotoshi, Komagamine Masahide, Nawata Kan, Chikada Masahide, Nishimaki Hiroshi, Miyairi Takeshi. Emergent Transcatheter Arterial Embolization via a Transspopliteal Approach for Internal Iliac Artery Injury during Lumbar Disk Surgery in the Prone Position. *Annals of Vascular Diseases*, 2020; 13(4):441-443.
- 2) Yukihiisa Ogawa, A. Claire Watkins, Anson Lee, Shinichi Iwakoshi, Anahita Dua, Albert J. Pedroza, Michael D. Dake, Jason T. Lee. Acute type A dissection causing impending rupture of abdominal aortic aneurysm previously treated with EVAR. *Annals of Vascular Surgery*, 2020;65 : 289.e7-289.e11.
- 3) Shinji Wada, Yukihiisa Ogawa, Kotaro Hosoi, Kazuki Hashimoto, Junji Moriya, Shingo Hamaguchi, Hidemichi Ito, Homare Nakamura, Hidefumi Mimura. Spinal cord infarction after trans catheter

embolization of pelvic arteriovenous malformation. *Annals of Vascular Diseases*, 2020;25(13):176-179.

- 4) Takayuki Yamada, Yasumoto Shinjo, Kunihiro Yagihashi, Kazuki Hashimoto, Shingo Hamaguchi. Endovascular retrieval of a Gunther-tulip vena cava filter migrated into the right atrium. *Radiology Case Reports*, 2020;15(7):1002-1005.
- 5) ○ Ryosuke Miyauchi, Takayuki Yamada, Reiko Kumano, Yoshio Aida, Masayuki Takagi. Recurrent hyperparathyroidism due to parathyroid and pulmonary tumors showing features of parathyroid adenoma. *Radiology Case Reports*, 2020;15(8):1289-1294.
- 6) Hiruma Hiromitsu, Kitsukawa Kaoru, Ogawa Yukihiisa, Mimura Hidefumi. Venous malformation of the foot: Spontaneous regression postpartum on MRI. *Radiology Case Reports*, 2020;16(1):62-65.
- 7) Ayako Doi, Hiroyuki Takeda, Kumiko Umemoto, Ryosuke Oumi, Shinji Wada, Shingo Hamaguchi, Hidefumi Mimura, Hiroyuki Arai, Yoshiki Horie, Takuro Mizukami, Naoki Izawa, Takashi Ogura, Takako Eguchi Nakajima, Yu Sunakawa. Inferior mesenteric arteriovenous fistula during treatment with bevacizumab in colorectal cancer patient: A case report. *World Journal of Gastrointestinal Oncology*, 2020;12(11):1364-1371.
- 8) Warisawa Takayuki, Kotoku Akiyuki, Miyauchi Ryosuke, Kobayashi Toshiya, Yamada Takayuki, Matsuda Hisao, Akashi Yoshihiro J. Pulmonary artery occlusion due to abrupt pinhole rupture of aortic arch aneurysm. *JACC Cardiovascular Interventions*, 2021;14(2): e15-e16.
- 9) Hiromitsu Hiruma, Yukihiisa Ogawa, Kiyoshi Chiba, Takaaki Maruhashi, Akiyuki Kotoku, Hidefumi Mimura, Takeshi Miyairi, MD, and Hiroshi Nishimaki. A Successful Endovascular Technique for Complete False Lumen Thrombosis in Chronic Abdominal Aortic Dissection. *Annals of Vascular Diseases*, 2021;14(1):75-78.
- 10) Hiroko Tagawa, Takayuki Yamada, Takashi Miyakawa, Yoshida Aida, Zenkichi Sekiguchi. A collision between vascular adrenal cyst and adrenocortical adenoma. *Radiology case reports*, 2021;16(6):1294-1299.

④ その他

- 1) Takaaki Maruhashi, Hiroshi Nishimaki, Yukihiisa Ogawa, Kiyoshi Chiba, Akiyuki Kotoku, Takeshi Miyairi. Preloading Coil in Plug Technique for Internal Iliac Artery Embolization During Endovascular Abdominal Aortic Aneurysm Repair. *Cardiovascular Interventional Radiology*, 2020;: DOI-10.1007/s00270-020-02653-9.

学会発表

① 国内学会

- 1) 中村尚生, 森谷淳二, 松下影一郎, 大出創, 三村秀文. 神経上皮細胞のグレード別のタリウムシンチグラフィー集積の比較. 第79回日本放射線学会総会, 2020.
- 2) ◎千葉清, 西巻博, 小川普久, 北翔太, 鈴木寛俊, 向後美沙, 駒ヶ嶺正英, 縄田寛, 近田正英, 宮入剛. 解離性大動脈瘤における Candy-plug を併用した TEVAR 中期成績. 第26回日本血管内治療学会総

会, 2020.

- 3) ◎小川普久, 西巻博, 千葉清, 丸橋孝昭, 小徳暁生, 三村秀文, 宮入剛. EVAR 前内腸骨動脈塞栓における preloading in plug 法の臨床的有用性. web 開催, 2020.
- 4) ◎小川普久, 西巻博, 千葉清, 丸橋孝昭, 小徳暁生, 駒ヶ嶺正英, 三村秀文, 宮入剛. 当院における腹部ステントグラフト内挿術の中期成績. 第 26 回日本血管内治療学会総会, 2020.
- 5) 中村直樹, 江島泰生. 放射線治療医から見た骨転移キャンサーボードで協議すべき病態. 緩和・支持・心のケア合同学術大会 2020, 2020.
- 6) 小徳暁生, 小川普久, 三村秀文. 大動脈自動抽出アプリケーションを用いた非造影 CT における TEVAR 術前の血管計測の実行可能性の評価
Clinical feasibility of vessel measurement on non-contrast CT using the semi-automatic aortic extraction application before TEVAR. The 49th Annual Meeting of the Japanese Society of Interventional Radiology, 2020.
- 7) 和田慎司, 蛭間弘光, 土屋洋輔, 富田隼人, 橋本一樹, 森谷淳二, 小川普久, 濱口真吾, 三村秀文. 小腸出血に対する TAE 当院における治療成績. 第 49 回日本 IVR 学会総会, 2020.
- 8) 土屋洋輔, 和田慎司, 蛭間弘光, 富田隼人, 橋本一樹, 森谷淳二, 小川普久, 小林慎二郎, 小泉哲, 三村秀文. 肝門部領域胆管癌術後の挙上空腸静脈瘤に対して経回結腸静脈的静脈瘤塞栓術で止血が得られた 1 例. 第 49 回日本 IVR 学会総会, 2020.
- 9) 水沼仁孝, 土屋洋輔, 和田慎司, 三浦剛史, 杉山宗弘, 苅安俊哉, 藤塚進司, 菅原俊祐, 森川和彦, 福田大記, 宗像浩司, 小原牧子, 加藤弘毅, 坂本学映. CV ポート抜去症例の検討. 第 49 回日本 IVR 学会総会, 2020.
- 10) 小川普久, 西巻博, 千葉清, 丸橋孝昭, 小徳暁生, 三村秀文, 宮入剛. Long-term outcomes of endovascular abdominal aortic aneurysm repair from a single center. 第 49 回日本 IVR 学会総会, 2020.
- 11) 細井康太郎, 森谷淳二, 島望, 土屋洋輔, 和田慎司, 富田隼人, 橋本一樹, 小川普久, 濱口真吾, 八木橋国博, 三村秀文. 腎血管筋脂肪腫に対する球状塞栓物質を用いた TAE の臨床的有用性についての検討. 第 49 回日本 IVR 学会総会, 2020.
- 12) 小川普久, 西巻博, 千葉清, 丸橋孝昭, 小徳暁生, 三村秀文, 宮入剛. EVAR の長期成績をさらに向上させる新たな試みー晩期タイプ Ia/IIIB エンドリークを防ぐ留置手技の工夫と対策ー. 第 49 回日本 IVR 学会総会, 2020.
- 13) 小川普久, 西巻博, 千葉清, 丸橋孝昭, 小徳暁生, 三村秀文, 宮入剛. Overhaul concept for the treatment of uncontrollable end-leaks after EVAR. 第 49 回日本 IVR 学会総会, 2020.
- 14) 橋本一樹, 濱口真吾, 土屋洋輔, 富田隼人, 和田慎司, 森谷淳二, 小川普久, 西尾美佐子, 三村秀文. 臍頭部領域における動脈性出血に対する TAE ～金属コイルと NBCA の比較～. 第 49 回日本 IVR 学会総会(神戸), 2020.
- 15) 小川普久, 西巻博, 千葉清, 丸橋孝昭, 小徳暁生, 三村秀文, 宮入剛. Clinical utility and technical aspects of the candy-plug technique in chronic type B dissection. 第 49 回日本 IVR 学会総会, 2020.
- 16) 藤川あつ子, 木村裕介, 小町詩織. CT で下大静脈周囲高濃度を活動性出血と見誤った 1 例. 第 56 回日本小児放射線学会学術集会, 2020.
- 17) 古田繁行, 藤川あつ子, 岡村隆徳, 小池淳樹, 長江秀樹, 大山慧, 北川博昭. 小児虫垂炎において超

音波による病理診断まで必要か?. 第 56 回日本小児放射線学会学術集会, 2020.

- 18) ◎森谷淳二, 中村尚生, 福地博史, 田中雄一郎, 三村秀文. 脳動脈瘤クリッピング術後経過観察における非造影 mUTE-MRA の有用性. 第 48 回日本磁気共鳴医学会大会, 2020.
- 19) 小川普久, 西巻博, 千葉清, 小徳暁生, 丸橋孝昭, 宮入剛. Candy-plug 法の功罪. 第 15 回 Japan Endovascular Symposium, 2020.
- 20) 小川普久, 西巻博, 千葉清, 小徳暁生, 丸橋孝昭, 宮入剛. 腕頭 chimney に in-situ fene をしてしまった 1 例. 第 15 回 Japan Endovascular Symposium, 2020.
- 21) 和田慎司, 森本毅, 濱口真吾, 三村秀文. 小腸出血に対する TAE の治療成績. 第 56 回日本腹部救急医学会総会, 2020.
- 22) ◎則武睦未, 印牧義英, 川本久紀, 清水康弘, 福田護, 三村秀文, 津川浩一郎, 小池淳樹. 乳癌転移診断における全身 PET と全身 DWIBS との対比. 第 28 回日本乳癌学会学術総会, 2020.
- 23) ◎大井涼子, 敦賀智子, 土居正知, 印牧義英, 津川浩一郎. Poland 症候群に発生した原発性乳癌の 1 例. 第 28 回日本乳癌学会学術総会, 2020.
- 24) ◎川本久紀, 酒巻香織, 瀧下茉莉子, 坂本菜央, 中野万理, 田雑瑞穂, 敦賀智子, 黒田貴子, 吉江玲子, 志茂彩華, 秋山恭子, 小島康幸, 志茂新, 都築麻紀子, 本吉愛, 白英, 河原太, 印牧義英, 福田護, 津川浩一郎. 限局した早期の乳癌に対する非切除超音波ガイド下凍結療法の安全性と有効性の検討. 第 28 回日本乳癌学会学術総会, 2020.
- 25) ◎黒田貴子, 酒巻香織, 喜多島美奈, 瀧下茉莉子, 坂本菜央, 田雑瑞穂, 中野万理, 敦賀智子, 志茂彩華, 川本久紀, 志茂新, 本吉愛, 白英, 小島康幸, 矢吹由香里, 福田護, 阿部達之, 岡田幸法, 小林真梨子, 津川浩一郎. 当院における高齢者乳癌患者の乳房温存術後放射線治療の現状と放射線治療省略の指標についての検討. 第 28 回日本乳癌学会学術総会, 2020.
- 26) ◎敦賀智子, 瀧下茉莉子, 黒田貴子, 志茂彩華, 白英, 志茂新, 本吉愛, 小島康幸, 川本久紀, 福田護, 印牧義英, 小池淳樹, 津川浩一郎. 術前化学療法における dose-dense EC 療法の治療成績. 第 28 回日本乳癌学会学術総会, 2020.
- 27) ◎古谷悠子, 後藤由香, 津川浩一郎, 印牧義英, 福田護. 2 メーカー間の DBT 搭載マンモグラフィ装置における合成 2D マンモグラフィと FFDM の視認性の違いと線量の比較. 第 28 回日本乳癌学会学術総会, 2020.
- 28) ◎石郷佳子, 古谷悠子, 後藤由香, 黒田貴子, 敦賀智子, 印牧義英. 乳房トモシンセシスによる生検時の位置精度の検討. 第 28 回日本乳癌学会学術総会, 2020.
- 29) ◎津川浩一郎, 印牧義英. DWIBS 法による全身 MRI 画像診断からみた乳癌転移パターンの検討. 第 28 回日本乳癌学会学術総会, 2020.
- 30) ◎小川普久, 西巻博, 千葉清, 小徳暁生, 丸橋孝昭, 八木橋国博, 三村秀文, 宮入剛. EVAR 後潜在性エンドリークに対する overhaul concept の臨床的有用性の検証. 第 61 回日本脈管学会総会, 2020.
- 31) 橘川薫, 木村裕介, 三村秀文, 仁木久照. 後脛骨筋腱機能不全 (PTTD) におけるバネ靭帯損傷と三角靭帯損傷の isotropic 3D MRI による検討. 第 35 回日本整形外科学会基礎学術集会, 2020.
- 32) 藤川あつ子. 小児救急領域における画像診断サバイバルノート. 第 30 回日本救急放射線研究会, 2020.
- 33) 橘川薫, 木村裕介, 仁木久照. 後脛骨筋腱機能不全 (PTTD) におけるバネ靭帯損傷と三角靭帯損傷

- の isotropic 3D MRI 所見：手術症例による検討. 第 45 回日本足の外科学会学術集会, 2020.
- 34) ◎松本博文, 菊池崇之, 柴田宗一郎, 土橋瑤子, 曾我海馬, 栗田千尋, 萩原悠太, 清水高弘, 秋山久尚, 長谷川泰弘, 山野嘉久, 葛西亨, 吉田篤弘, 飯沼雅央, 上野純, 鳥居良昭, 赤澤努, 仁木久照, 中村尚生, 三村秀文. 頸動脈エコーで診察し得た、胸部大動脈瘤を伴う頭蓋外感染性頸動脈瘤の一例. 第 23 回日本栓子検出を治療学会, 2020.
- 35) 小川普久, 西巻博, 千葉清, 小徳暁生, 三村秀文, 宮入剛. AFX の現況と当院での治療成績. Nara Endovascular eXperience and Technology symposium 2020 (NEXT2020), 2020.
- 36) ◎昆祐理, 濱口真吾, 松本純一, 原口貴史, 藤川あつ子, 森本毅, 三村秀文, 藤谷茂樹, 平泰彦. 新型コロナウイルス感染症疑い症例への遠隔画像診断支援サービスについて. 第 48 回日本救急医学会総会・学術総会, 2020.
- 37) 麻生健太郎, 中野茉莉恵, 桜井研三, 水野将徳, 小徳暁生, 藤川あつ子. 成人先天性心疾患患者の心臓 MRI 検査における心筋性状評価 遅延造影と T1 mapping との差異をどう解釈するか. 第 56 回日本小児循環器学会総会・学術集会, 2020.
- 38) ◎常見真吾, 方波見卓行, 月山秀一, 松葉 怜, 川名部新, 久保ゆい, 蜂巢賀智, 北島和樹, 山田隆之, 山崎有人, 笹野公伸, 曾根正勝. 識別困難だったカテコラミン軽度高値、サブクリニカクッシング症候群 (SCS) を伴った血管嚢胞合併副腎腺腫の 1 例. 第 31 回間脳・下垂体・副腎系研究会, 2020.
- 39) ◎中村学, 岩武桜子, 久保佑介, 笹野恭之, 荒井光太郎, 四戸達也, 佐藤卓夫, 瀬尾徹, 山田隆之, 肥塚泉. Philips 社製 Ingenia を用いた Gd 造影 MRI による内リンパ水腫可視化の試み. 第 79 回日本めまい平衡医学会総会・学術講演会, 2020.
- 40) 藤川あつ子, 大出創, 廣石篤司, 吉田繁行, 岡村隆徳. 経過で消失した新生児肺腫瘍の一例. 日本超音波医学会第 93 回学術集会, 2020.
- 41) 坪谷綾子, 八木橋国博, 山田健太郎, 小宮詠子, 浅見妥江, 伊藤由香, 野上葉子, 森田小百合, 坂下裕子. 肝細胞がんに対する肝動脈化学塞栓療法における抗がん剤曝露回避の取り組み. 第 18 回日本臨床腫瘍学会学術集会, 2021.
- 42) ◎岡田幸法, 三枝晋, 吉山繁幸, 井出正造, 浦谷亮, 毛利智美, 原文祐, 栗原眞行, 長谷川大, 八木典章, 中西丈比佐, 安岡遼, 池田正俊, 榎木一仁, 加藤孝太, 八尾隆治, 田中光司. 伊賀市立上野総合市民病院の時間外救急における急性腹症への取り組み. 日本消化器病学会近畿支部 114 回例会, 2021.
- 43) ◎込田みどり, 小川普久, 和田慎司, 森本毅, 加藤宗次郎, 福岡麻子, 三村秀文. 急性 B 型大動脈瘤解離に伴う SMA malperfusion に対し、血管内治療にて腸管壊死を回避できた 1 例. 第 57 回日本腹部救急医学会総会, 2021.
- 44) 濱崎樹里亜, 和田慎司, 込田みどり, 小川普久, 森本毅, 三村秀文. 内視鏡的胆管ステント留置後の肝仮性動脈瘤に対し TAE を施行した 2 例. 第 57 回日本腹部救急医学会総会, 2021.
- 45) 蛭間弘光, 浅田達徳, 森川松次郎, 大出創, 八木橋国博, 畠山慎也. 当初からエキノコックス症が疑われるも速やかな確定診断に至らなかった単包性エキノコックス症の 1 例. 日本医学放射線学会関東地方会, 2021.
- 46) 森川松次郎, 大出創, 蛭間弘光, 浅田達徳, 八木橋国博, 丹波和也, 四万村司, 朝倉武士, 有泉泰. 前立腺癌の直接浸潤により直腸狭窄を認めた一例. 第 457 回 日本医学放射線学会 関東地方会定期大会, 2021.

- 47) 田川寛子, 小徳暁生, 藤塚進司, 宮川天志, 熊野玲子, 山田隆之. 体幹部 CTA を用いた肋間動脈の解剖学的走行の検討. 第 457 回日本医学放射線学会関東地方会定期大会, 2021.
- 48) 宮川天志, 大島隆一, 相田芳夫, 山田隆之. 肝炎症性偽腫瘍と肝膿瘍を異時性に来し、S 状結腸慢性炎症が由来と考えられた 1 例. 第 457 回日本医学放射線学会関東地方会定期大会, 2021.
- 49) 古城香菜子, 森本毅, 大出創, 福岡麻子, 三村秀文. 胃全摘後の Roux-en-Y 吻合部に発生した逆行性腸重積の 1 例. 第 457 回日本放射線学関東地方会定期大会, 2021.
- 50) 小川普久, 西巻博, 千葉清, 丸橋孝昭, 小徳暁生, 八木橋国博, 駒ヶ嶺正英, 三村秀文, 宮入剛. Endotension を含めた潜在性エンドリークに対する画像的探索と治療. 第 79 回日本医学放射線学会総会, 2020.
- ② 国際学会
- 1) Kazuki Hashimoto, Shinji Wada, Junji Moriya, Shingo Hamaguchi, Misako Nishio, Hidefumi Mimura. Transarterial embolization for the arterial bleeding surrounding pancreatic head: comparison of coils and cyanoacrylate. CIRSE 2020 (Munich, Germany), 2020.
- 2) ©Shinya Tajima, Nobuhiko Matsumoto, Motohiro Chosokabe, Akira Endo, Saeko Naruki, Doi Masatomo, Keiko Kishimoto, Koichiro Tsugawa, Masayuki Takagi, Junki Koike. Nuclear Inverse Polarity Papillary Lesions with Lack Myoepithelial Cells:A Report of Two Cases. International Congress on Biotechnology and Food Sciences, 2020.
- ③ その他
- 1) ©松下彰一郎. 肺高血圧症の画像診断. 第 3 回神奈川県次世代肺高血圧症を考える会, 2020.
- 2) 小川普久. EVAR Embolization Case Discussion. NEXT2020 Online Refresher, 2020.
- 3) 富田隼人, 藤川あつ子, 木村裕介, 大出創, 栗原宜子. 第 33 回頭頸部放射線研究会 IIS ①-3 解説. 第 33 回頭頸部放射線研究会, 2020.
- 4) 小川普久, 西巻博, 千葉清, 丸橋孝昭, 小徳暁生, 駒ヶ嶺正英, 三村秀文, 宮入剛. EVAR 後 Late iliac dilatation によるタイプ 1b エンドリークの診断と治療. 第 29 回東京血管外科画像診断治療研究会, 2021.
- 5) ©小川普久, 西巻博, 千葉清, 和田慎司, 森谷淳二, 橋本一樹, 三村秀文, 宮入剛. 「え、Viabahn ってこんなことが起きるの?」. 第 19 回川崎大動脈ステントグラフト研究会, 2021.
- 6) 小川普久, 西巻博, 千葉清, 小徳暁生, 丸橋孝昭, 谷川和好, 三村秀文, 宮入剛. 当院における EVAR 成績と AFX の位置づけ. JLL Forum in Kanagawa, Shizuoka, 2021.
- 7) ©割澤高行, 鈴木規雄, 小徳暁生, 中山由衣, 笠原みづほ, 奥山和明, 水越慶, 松田央郎, 水野幸一, 明石嘉浩. 右室留置カテーテルと静脈路からの同時造影による CT で、特殊な病態での心肺停止の診断に至る事が出来た一例. Beyond Angiography Japan XXV, 2021.
- 8) ©岡田幸法. DWIBS の使用拡大について-自験例に文献的考察を交えて. 第 2 回 放射線治療分科会 (BodyDWI 研究会) , 2021.

		和文	英文
著 書		5	
論 文	原著	3	28
	解説又は総説	4	1
	症例報告	3	10
	その他	4	1
学会発表	国内学会	49	1
	国際学会		2
	その他	8	

麻酔学

著書

- 1) 永納和子. 第114回医師国家試験問題解説書 2020;1(1):1-607.
- 2) 井上莊一郎. 最新主要文献とガイドラインでみる 麻酔科学レビュー 2020 2020;(1):254-258.
- 3) 井上莊一郎. VI帝王切開術の麻酔 2 術後鎮痛 3)全身投与 麻酔科プラクティス 1 産科麻酔 All in One 2020;(1):212-217.
- 4) 坂本三樹. VII産科合併症を持つ母体の管理と麻酔 3 常位胎盤早期剥離 麻酔科プラクティス 1 産科麻酔 All in One 2020;(1):244-247.
- 5) 日野博文. 筋強直性ジストロフィー診療ガイドライン 2020 2020;(1):127-136.
- 6) 井上莊一郎, 小幡由美. 急性腎障害 (AKI) 周術期管理チームテキスト 2020;(4):645-653.
- 7) 日野博文. Q36 麻酔や鎮静を受けるときに気をつけることは何ですか
Q37 帝王切開術に対する注意点はなんのでしょうか 知っておきたい筋強直性ジストロフィー
—患者さん, ご家族, 支援者のための手引き— 2021;(1):97-100.

学術論文[和文]

① 原著

- 1) 濱田悠佑, 森澤健一郎, 吉田徹, 五十嵐義浩, 清水徹, 井上莊一郎, 平泰彦, 藤谷茂樹. ICUにおける持続的腎機能代替療法の予期せぬ回路交換についての検討. 日本急性血液浄化学会雑誌, 2020;11(2):138-142.

② 総説又は症例解説

- 1) 信岡祐彦, 望月篤, 黄世捷, 藤原多鶴子, 伊野美幸, 井上莊一郎. シミュレーション教育の充実に必要なもの 質的統合法(KJ法)による検討. 新しい医学教育の流れ, 2021;20(3):135-138.

学術論文[英文]

① 原著

- 1) Saori Morita, Takeshi Tateda, Soichiro Inoue. Perioperative Acute Kidney Injury Leading to Chronic Kidney Disease Following Major Abdominal Surgery: A Propensity Score-Matched Analysis. Journal of St. Marianna University, 2020;11(1):9-19.
- 2) Yoshisuke Naito, Hirofumi Hino, Miyuna Kimura, Hirokiyo Nomura, Hiroataka Okuda, Takanari Yoshikawa, and Soichiro Inoue. Deterioration of Myofibrils Affected by Experimental Partial Immobilization in a Septic Rat Model. Journal of St. Marianna University, 2020;11(2):61-72.
- 3) Takanari Yoshikawa, Soichiro Inoue, Shoichiro Takehara, Toru Shimizu, Kosuke Hamabe, Yoshisuke Naito, Miyuna Kimura, and Hirokiyo Nomura. Comparison of Head Movements and Gaze Distribution during Tracheal Intubation between Experts and Novices at Tracheal Intubation. Journal of St. Marianna University, 2020;11(2):43-52.

② 総説又は症例解説

- 1) Ryota Yanaizumi, Yusuke Nagamine, Shinsuke Harada, Keiko Kojima, Toshiharu Tazawa,

Takahisa Goto. Prevalence of neuropathic pain in terminally ill patients with cancer admitted to a general ward: a prospective observational study. The Journal of international medical research, 2021;49(1) : 1-10.

③ 症例報告

- 1) Yumi Obata, Satoshi Arimura, Takashi Kunihara, Takeshi Tateda, Soichiro Inoue. Aortic Valvuloplasty Performed for Residual Aortic Regurgitation after Ascending Aortic Graft Replacement in a Case of Acute Aortic Dissection. Journal of St.Marianna University, 2020;11(1):31-36.

学会発表

① 国内学会

- 1) ◎吉川昂成, 井上莊一郎, 大井智, 奥田紘隆, 石垣摩衣, 清水ゆり子. 気管挿管時の熟練者と非熟練者の視線動態の違い. 日本麻酔科学会第 67 回学術集会, 2020.
- 2) ◎小幡由美, 奥田紘隆, 染村悠, 吉川昂成, 内藤善介, 井上莊一郎. 経カテーテル的大動脈弁留置後慢性腎障害に関与する因子の検討. 日本麻酔科学会第 67 回学術集会, 2020.
- 3) ◎浜辺宏介, 井上莊一郎, 小林博之, 宮川秀俊, 川名由樹, 永納和子. 気管挿管時の身体動作の分析熟練者と非熟練者の比較. 日本麻酔科学会第 67 回学術集会, 2020.
- 4) ◎酒井寛貴, 木村祐之, 宮澤知行, 丸島秀樹, 小島宏司, 奥田紘隆, 坂本三樹, 佐治久. 先天性肺動脈欠損による肺低形成のため、代償的に拡大した健側肺の自然気胸手術の一例. 第 43 回日本呼吸器内視鏡学会学術集会, 2020.
- 5) ◎染村悠, 虻川由紀, 奥田紘隆, 小幡由美, 坂本三樹, 井上莊一郎. 経カテーテル大動脈弁留置後に発症した超急性期脳梗塞に対し血栓回収を行い良好な神経学的予後を得た 2 例. 日本心臓血管麻酔学会第 25 回学術大会, 2020.
- 6) ◎奥田紘隆, 坂本三樹, 染村悠, 虻川由紀, 小幡由美, 井上莊一郎. 心房細動に対するアブレーション治療後の合併症により左房食道瘻をきたした症例の周術期管理. 日本心臓血管麻酔学会第 25 回学術大会, 2020.
- 7) ◎山浦綾子, 天野江里子, 杉毬那, 横塚牧人, 佐藤祐, 坂本三樹, 日野博文, 井上莊一郎. 脊髄くも膜下硬膜外併用麻酔で管理した重症筋無力症患者の開腹手術 2 症例. 日本臨床麻酔学会第 40 回大会, 2020.
- 8) ◎野村浩清, 内藤善介, 加藤篤子, 永田美和, 升森泰, 舘田武志, 井上莊一郎. 硬膜外カテーテル留置後の血栓溶解療法中に硬膜外血腫を発症した一例. 日本臨床麻酔学会第 40 回大会, 2020.
- 9) ◎杉山泰朗, 横塚牧人, 奥田紘隆, 石垣摩衣, 田澤利治, 井上莊一郎. 先天性無痛無汗症患者の全身麻酔下外顆骨折整復手術の麻酔管理. 日本臨床麻酔学会第 40 回大会, 2020.
- 10) ◎木村未祐奈, 天野江里子, 虻川由紀, 宮川秀俊, 中山知沙香, 小幡由美, 坂本三樹, 井上莊一郎. 長期血液維持透析患者における褐色細胞腫摘出術の周術期管理経験. 日本臨床麻酔学会第 40 回大会, 2020.
- 11) ◎清水ゆり子, 浜辺宏介, 木村未祐奈, 吉川昂成, 小林博之, 川名由樹, 森田さおり, 永納和子. 急速に進行する大脳皮質基底核変性症患者の人工肛門増設術を、全身麻酔を避け、区域麻酔で管理し

た 1 例. 日本臨床麻酔学会第 40 回大会, 2020.

- 12) ◎岡本翔, 小松沙貴, 松井俊樹, 栗原健, 山口克司 三橋祥二, 小林俊也, 永納和子. 体外循環中における鼻翼微小循環血流量測定の有効性の検討. 第 58 回日本人工臓器学会大会, 2020.
- 13) ◎井上莊一郎. 腹部外科手術に対する硬膜外麻酔, 術後硬膜外鎮痛. 日本臨床麻酔学会第 40 回大会, 2020.
- 14) ◎濱田悠佑, 吉田徹, 内藤貴基, 五十嵐義浩, 清水徹, 井上莊一郎, 藤谷茂樹. ナファモスタット投与で ECMO 回路寿命を延長できたと考えられる COVID-19 肺炎 4 例の経験. 第 48 回日本救急医学会総会・学術総会, 2020.
- 15) ◎横塚恵理子, 佐々木亮介, 玉城瑛信, 大川修, 森英輝, 藤井暁, 餅田裕太, 岩田湧斗, 丸山悟, 清水徹, 後藤哲哉, 田中雄一郎, 赤澤努, 井上莊一郎. 運動誘発電位(MEP)経頭蓋定電圧刺激における刺激電流値の検討. 日本臨床神経生理学会学術大会 第 50 回記念大会, 2020.
- 16) ◎酒井寛貴, 小島宏司, 木村祐之, 宮澤知行, 丸島秀樹, 坂本三樹, 佐治久. COVID-19 疑似症例に対する下降性壊死性縦隔洞炎の緊急手術の 1 例. 第 184 回日本胸部外科学会関東甲信越地方会, 2020.
- 17) ◎井上莊一郎. 術後痛治療ガイドライン作成に向けて. 第 42 回日本疼痛学会, 2020.
- 18) ◎内藤善介, 日野博文, 野村浩清, 吉川昂成, 奥田紘隆, 井上莊一郎. 敗血症ラットモデルにおける実験的無動化の影響. 第 42 回日本呼吸療法医学会, 2020.
- 19) ◎渡邊智生, 五十嵐義浩, 大野俊夫, 中島礼, 川口裕正, 大胡田駿, 永井琴子, 田中心, 藤谷茂樹, 井上莊一郎. 人工呼吸管理中に発生する吸気努力の評価における P0.1 の可能性. 第 48 回日本集中治療医学会学術総会, 2021.
- 20) ◎五十嵐義浩, 濱田悠佑, 渡邊智生, 川口裕正, 大胡田駿, 永井琴子, 中島礼, 大野敏夫, 佐藤賢治, 大川修, 井上莊一郎, 吉田徹, 藤谷茂樹. COVID-19 患者に対し、モルヒネと経肺圧・P0.1 測定が有用であった 1 症例. 第 48 回日本集中治療医学会学術総会, 2021.
- 21) ◎五十嵐義浩, 濱田悠佑, 渡邊智生, 川口裕正, 中島礼, 佐藤賢治, 大川修, 清水徹, 井上莊一郎, 吉田徹, 藤谷茂樹. COVID-19 に対する呼吸管理の実際と課題. 第 48 回日本集中治療医学会学術総会, 2021.

② 国際学会

- 1) ◎Kuwata Shingo, Izumo Masaki, Kamijima Ryo, Nishikawa Haruka, Sato Yukio, Kaihara Toshiki, Koga Masashi, Watanabe Mika, Okuyama Kazuaki, Sakamoto Miki, Miyairi Takeshi, Tanabe Yasuhiro, Higuma Takumi, Ishibashi Yuki, Akashi Yoshihiro. The impact of small left ventricle for transcatheter mitral valve repair. 第 84 回日本循環器学会学術集会, 2020.

③ その他

- 1) ◎坂本三樹. 聖マリアンナ医科大学病院中央手術部における COVID-19 症例への対応 ―疑似症を含めた手術症例の感染・周術期管理について―. 川崎市外科医会学術講演会, 2020.
- 2) ◎坂本三樹. AS とどう関わるか? 併存疾患と全身麻酔管理 ～聖マリアンナでの経験を踏まえて～ (仮). 埼玉北西部弁膜症 Web 連携会, 2020.
- 3) ◎井上莊一郎. 神経障害性疼痛の治療. Pharmacist Seminar, 2020.
- 4) ◎坂本三樹. AS とどう関わるか? ～併存疾患と全身麻酔～. NEW ERA 麻酔 WEB セミナー, 2020.
- 5) ◎井上莊一郎. 痛みと向き合う. Pain Management Seminar, 2021.

- 6) ◎坂本三樹. 脳合併症を来した症例からみる脳モニタリング -RootR with SedLineR and O3R Regional Oximetry の使用症例提示-. 第 33 回経食道心エコー講習会, 2021.
- 7) ◎井上莊一郎. 麻酔科医が行う計画的な高齢者の周術期管理. セミナー, 2021.

		和文	英文
著 書		7	
論 文	原著	1	3
	解説又は総説	1	1
	症例報告		1
	その他		
学会発表	国内学会	21	
	国際学会		1
	その他	7	

救急医学

著書

- 1) Saito Hiroki. GLOBAL REPORT ON THE EPIDEMIOLOGY AND BURDEN OF SEPSIS 2020;6.

学術論文[和文]

① 原著

- 1) 土田知也, 山崎行敬, 國島広之, 廣瀬雅宣, 藤谷茂樹, 松田隆秀. 新型コロナウイルス陽性患者の臨床経過自験 6 例の肺炎像の有無と PCR 陰性化時期について. 感染症学雑誌, 2020;94(4):514-519.
- 2) 櫻本秀明, 卯野木健, 白坂雅子, 田本光弘, 佐藤智夫, 大内玲, 佐土根岳, 藤谷茂樹. 鎮静・鎮痛・せん妄・睡眠管理、ICU diary に関する実態 Web アンケート調査の結果から. 日本集中治療医学会雑誌, 2020;27(5):429-432.
- 3) 石井賢二, 吉田英樹, 森川大樹, 川口剛史, 藤谷茂樹. 早期 ECMO 導入により救命し得たインフルエンザ肺炎による重症 ARDS3 症例の検討. 人工呼吸, 2020;37(2):222-228.
- 4) 濱田悠佑, 森澤健一郎, 吉田徹, 五十嵐義浩, 清水徹, 井上莊一郎, 平泰彦, 藤谷茂樹. ICU における持続的腎機能代替療法の予期せぬ回路交換についての検討. 日本急性血液浄化学会雑誌, 2020;11(2):138-142.
- 5) 森内麻美, 北野夕佳, 岩井俊介, 栗栖美由希, 堤健, 若竹春明, 吉田徹, 榊井良裕, 小竹徹, 村澤昌, 白井小百合, 平泰彦, 藤谷茂樹. 血栓性微小血管障害症(TMA)と可逆性後部白質脳症(PRES)をきたした悪性高血圧症の 1 例. 日本救急医学会関東地方会雑誌, 2020;41(4):470-474.
- 6) 高橋佳子, 小林敦子, 伊藤雄介, 齋藤浩輝, 土手健太郎, 林淑朗, 牧野淳, 松田直之, 森兼啓太, 志馬伸朗, 藤谷茂樹, 日本集中治療医学会感染管理委員会. ICU における抗菌薬使用状況調査. 日本集中治療医学会雑誌, 2021;28(1):60-70.
- 7) 金子さつき, 下澤信彦. 当 MC 地区内で発生した多数傷病者事案の検証;どのようなステップで振り返りを行ったか. 日本病院前救急診療医学会雑誌, 2021;1(1):in press.
- 8) 福田俊輔, 遠藤拓郎, 大河原啓文, 深堀浩樹, 吉井肇, 安藤大吾, 小波本直也, 吉田徹, 平泰彦, 藤谷茂樹. 有料老人ホームの介護・看護職員を対象とした急変時対応教育プログラムの効果. 日本臨床救急医学会雑誌, 2021;24(1):1-8.

② 総説又は症例解説

- 1) 田邊翔太, 吉田英樹. 集中治療に関する最新厳選 20 論文. INTENSIVIST, 2020;12(2):445-452.
- 2) 下澤信彦, 森川大樹, 藤谷茂樹. ICU と災害・テロ・事件の歴史 川崎市登戸通り魔事件と ICU 小児の生理学的特性とトリアージシステム. INTENSIVIST, 2020;12(2):426-429.
- 3) 田北無門, 北野夕佳. 新興感染症への対応 救急医の視点から. J-COSMO, 2020;2(2):284-291.
- 4) 田北無門, 北野夕佳. 災害. J-COSMO, 2020;2(3):470-475.
- 5) 田邊翔太, 吉田英樹. 集中治療に関する最新厳選 20 論文. INTENSIVIST, 2020;12(3):623-631.
- 6) 田北無門. 夏の救急 熱中症とヘビ咬傷. J-COSMO, 2020;2(4):700-706.
- 7) 内藤貴基. 総論 成人教育の概要 若手医師教育について知っておくべき 3 つのこと. 地域医学,

2020;34(8):587-590.

- 8) 齋藤浩輝. 国際機関における国際貢献・国際交流 WHO, JICA など. 救急医学, 2020;44(9):1113-1119.
- 9) 齋藤浩輝. 日本の手指衛生をさらに向上させるために—WHO とその協力施設ジュネーブ大学病院との連携を中心に—. INFECTION CONTROL, 2020;29(9):86-90.
- 10) 松本純一, 昆祐理, 濱口真吾. 新型コロナウイルス感染症(COVID-19)における画像診断の役割 臨床報告 COVID-19 と画像診断 当院での経験から. INNERVISION, 2020;35(11):32-33.
- 11) 田邊翔太, 吉田英樹. 集中治療に関する最新厳選 20 論文. INTENSIVIST, 2020;12(4):846-853.
- 12) 田北無門. CBRNE 災害. J-COSMO, 2020;2(5):881-886.
- 13) 藤谷茂樹. 【新型コロナウイルス感染症の最前線-学んだこと、そしてこれからへ-】大学病院の対応重症者の治療現場から. 地域医学, 2020;34(10):767-773.
- 14) 田北無門. 救急医の視点[第 11 章]外傷診療(解説). J-COSMO, 2020;2(26):1070-1077.
- 15) 藤井修一. 各論(症状編) 意識障害の診かた 脳ヘルニアなど緊急を要する病態の診断ポイント. Medicina, 2020;57(13):2280-2282.
- 16) 田邊翔太, 吉田英樹. 集中治療に関する最新厳選 20 論文. INTENSIVIST, 2021;13(1):192-198.
- 17) 齋藤浩輝. 私を変えたあの一言 “Life is not a rehearsal.” 「人生はリハーサルではない」. INFECTION CONTROL, 2021;3月号:1.
- 18) 津久田純平. ICU での心房細動の管理はこうしよう ABC パスウェイに基づいた step up メソッド. レジデントノート, 2021;22(18):3365-3373.

③ 症例報告

- 1) 大槻拓矢, 家研也, 奥瀬千晃, 榎渕滯, 相原茉里, 高野知憲, 黒須絵莉, 本橋伊織, 酒井翼, 薩田洋輔, 中野弘康, 石郷岡晋也, 田中拓, 有泉泰, 松田隆秀. 先行して顕性化した結節性紅斑により診断された潰瘍性大腸炎の 1 例. 日本病院総合診療医学会雑誌, 2020;16(6):437-443.

④ その他

- 1) 吉田稔, 吉田徹, 齋藤浩輝, 川畑亜加里, 松嶋真哉, 森佑紀, 森みさ子, 小野寺英孝, 梶井良裕. 神奈川県内の ICU における栄養療法に関する多施設横断研究. 学会誌 JSPEN, 2020;2(2):158-162.
- 2) 齋藤浩輝, 内藤貴基, 日本版敗血症診療ガイドライン 2020 特別委員会. 日本版敗血症診療ガイドライン 2020. 日本集中治療医学会雑誌, 2021;28(Supplement):S10.
- 3) Alice Y. Guh, Preeta K. Kutty (監修: 齋藤浩輝, 國島広之). In the Clinic® Clostridioides difficile 感染症. Clostridioides difficile Infection (Japanese Version), 2021::DOI-10.7326/IsTranslatedFrom_AITC201810020_Japanese.
- 4) 神代和明, 一原直昭, 齋藤浩輝, 鎌田一宏, 藤谷茂樹. 最善の治療をいち早く見つけ出せ!パンデミック対応型国際臨床研究プラットフォーム:REMAP-CAP. 週刊医学界新聞, 2021;(3412):4-5.

学術論文[英文]

① 原著

- 1) Endo T, Yoshida T, Shinozaki T, Motohashi T, Hsiang-Chin H, Fukuda S, Tsukuda J, Naito T, Morisawa K, Shimozawa N, Taira Y, Fujitani S. Efficacy of prehospital National Early Warning Score to predict outpatient disposition at an emergency department of a Japanese tertiary

- hospital: a retrospective study. *BMJ Open*, 2020;10(6): DOI-10.1136/bmjopen-2019-034602.
- 2) Robby Markwart, Saito Hiroki, Thomas Harder, Sara Tomczyk, Alessandro Cassini, Carolin Fleischmann-Struzek, Felix Reichert, Tim Eckmanns, Benedetta Allegranzi. *Epidemiology and Burden of Sepsis Acquired in Hospitals and Intensive Care Units: A Systematic Review and Meta-Analysis*. *Intensive Care Medicine*, 2020; DOI-10.1007/s00134-020-06106-2.
 - 3) Liesbet De Bus, Pieter Depuydt, Johan Steen, Sofie Dhaese, Ken De Smet, Alexis Tabah, Murat Akova, Menino Osbert Cotta, Gennaro De Pascale, George Dimopoulos, Shigeki Fujitani, Jose Garnacho-Montero, Marc Leone, Jeffrey Lipman, Marlies Ostermann, José-Artur Paiva, Jeroen Schouten, Fredrik Sjövall, Jean-François Timsit, Jason A. Roberts, Jean-Ralph Zahar, Farid Zand, Kapil Zirpe, Jan J. De Waele & DIANA study group. *Antimicrobial De-Escalation in the Critically Ill Patient and Assessment of Clinical Cure: The DIANA Study*. *Intensive Care Medicine*, 2020;46(7):1404-1417.
 - 4) Yoshida Minoru, Izawa Junichi, Wakatake Haruaki, Saito Hiroki, Kawabata Chizu, Matsushima Shinya, Suzuki Aya, Nagatomi Akiyoshi, Yoshida Toru, Masui Yoshihiro, Fujitani Shigeki. *Mortality associated with new risk classification of developing refeeding syndrome in critically ill patients: A cohort study*. *Clinical Nutrition*, 2020; DOI-10.1016/j.clnu.2020.07.034.
 - 5) Hideaki Kato, Hiroyuki Shimizu, Yasushi Shibue, Tomohiro Hosoda, Keisuke Iwabuchi, Kotaro Nagamine, Hiroki Saito, Reimin Sawada, Takayuki Oishi, Jun Tsukiji, Hiroyuki Fujita, Ryosuke Furuya, Makoto Masuda, Osamu Akasaka, Yu Ikeda, Mitsuo Sakamoto, Kazuya Sakai, Munehito Uchiyama, Hiroki Watanabe, Nobuhiro Yamaguchi, Ryoko Higa, Akiko Sasaki, Katsuaki Tanaka, Yukitoshi Toyoda, Shinsuke Hamanaka, Naoki Miyazawa, Atsuko Shimizu, Fumie Fukase, Shunsuke Iwai, Yuko Komase, Tsutomu Kawasaki, Isao Nagata, Yusuke Nakayama, Tetsuhiro Takei, Katsuo Kimura, Reiko Kunisaki, Makoto Kudo, Ichiro Takeuchi, Hideaki Nakajima. *Clinical course of 2019 novel coronavirus disease (COVID-19) in individuals present during the outbreak on the Diamond Princess cruise ship*. *Journal of infection and chemotherapy : official journal of the Japan Society of Chemotherapy*, 2020;26(8):865-869.
 - 6) Yamagishi Takuya, Ohnishi Makoto, Matsunaga Nobuaki, Kakimoto Kensaku, Kamiya Hajime, Okamoto Kiyoko, Suzuki Motoi, Yoshiaki Gu, Sakaguchi Mikiyo, Tajima Taichi, Takaya Saho, Ohmagari Norio, Takeda Makoto, Matsuyama Syutoku, Shirato Kazuya, Nao Naganori, Hasegawa Hideki, Kageyama Tsutomu, Takayama Ikuyo, Takayama Shinji, Wada Koji, Fujita Retsu, Saito Hiroki, Okinaka Keiji, Mathew Griffith, Amy Elizabeth Parry, Brenda Barnetson, James Leonard, Wakita Takaji. *Environmental sampling for severe acute respiratory syndrome coronavirus 2 during COVID-19 outbreak in the Diamond Princess cruise ship*. *The Journal of Infectious Diseases*, 2020;222(7):1098-1102.
 - 7) Unoki Takeshi, Tamoto Mitsuhiro, Ouchi Akira, Sakuramoto Hideaki, Nakayama Asami, Katayama Yukiko, Miyazaki Satoko, Yamada Toru, Fujitani Shigeki, Nishida Osamu, Alexis Tabah, and PPE - SAFE in Japan Project, International Exchange Committee, the Japan Society of Intensive Care Medicine. *Personal Protective Equipment Use by Healthcare Workers in*

Intensive Care Unit During the COVID-19 Pandemic in Japan: Comparative Analysis With the PPE-SAFE Survey. *Acute Medicine & Surgery*, 2020;7(1): e584.

- 8) Kitano Yuka, Hsu HC, Saito Hiroki, Wakatake Haruaki, Yoshida Hideki, Umekawa Sari, Tsutsumi Ken, Yoshida Toru, Masui Yoshihiro, Taira Yasuhiko, Fujitani Shigeki. CTX-M group distribution and positivity of extended-spectrum β -lactamase (ESBL)-producing enterobacteriaceae in urinary tract infections in a tertiary metropolitan hospital in Japan. *Journal of St. Marianna University*, 2020;11(2):133-141.
- 9) Kamata Kazuhiro, Jindai Kazuaki, Ide Kazuhiko, Funaki Takanori, Saito Hiroki, Takeshita Nozomi, Ohmagari Norio, Hinoshita Eiji, Asanuma Kazunari. The Flight Evacuation Mission for COVID-19 from Wuhan, China to Tokyo, Japan from 28 January to 17 February 2020. *Japanese Journal of Infectious Diseases*, 2020;: DOI-10.7883/yoken.JJID.2020.938.
- 10) Takamatsu Yuka, Yoshida Toru, Hsiang-Chin Hsu, Tsukuda Junpei, Yanai Machi, Morisawa Kenichiro, Shimozawa Nobuhiko, Taira Yasuhiko, Fujitani Shigeki. Rapid Response System in a University Hospital: A Five-Year Trend. *Journal of St. Marianna University*, 2020;11(2):123-131.
- 11) Yamasaki Yukitaka, Ooka Seido, Tsuchida Tomoya, Nakamura Yuta, Hagiwara Yuta, Naitou Yoshiyuki, Ishibashi Yuki, Ikeda Hiroki, Sakurada Tsutomu, Handa Hiroshi, Nishine Hiroki, Takita Mumon, Morikawa Daiki, Yoshida Hideki, Fujii Shuichi, Morisawa Kenichiro, Takemura Hiromu, Fujitani Shigeki, Kunishima Hiroyuki. The peripheral lymphocyte count as a predictor of severe COVID-19 and the effect of treatment with ciclesonide. *Virus Research*, 2020;290 : 198089.
- 12) Tomoya Tsuchida, Kenya Ie, Chiaki Okuse, Masanori Hirose, Hisashi Nishisako, Keito Torikai, Taku Tanaka, Hiroyuki Kunishima, Takahide Matsuda. Determining the factors affecting serum presepsin level and its diagnostic utility: A cross-sectional study. *Journal of Infection and Chemotherapy*, 2021;27:585-591.
- 13) Doi Shunichi, Izumo Masaki, Shiokawa Noriko, Teramoto Kanako, Ishibashi Yuki, Higuma Takumi, Fujitani Shigeki, Akashi Yoshihiro J. McConnell's sign assessed by point-of-care cardiac ultrasound associated with in-hospital mortality of COVID-19 patients with respiratory failure. *Journal of Echocardiography*, 2021;19(1):67-69.

② 症例報告

- 1) Yoshida Minoru, Taira Yasuhiko, Ozaki Masayuki, Saito Hiroki, Kurisu Miyuki, Matsushima Shinya, Naito Takaki, Yoshida Toru, Masui Yoshihiro, Fujitani Shigeki. Independent lung ventilation with use of a double-lumen endotracheal tube for refractory hypoxemia and shock complicating severe unilateral pneumonia: A case report. *Respiratory Medicine Case Reports*, 2020;30: DOI-10.1016/j.rmcr.2020.101084.
- 2) Tomoya Tsuchida, Yukitaka Yamasaki, Hiroyuki Kunishima, Kentaro Sato, Minoru Kanazawa, Asami Moriuchi, Daiki Morikawa, Mumon Takita, Yoshiyuki Naito, Shuichi Fujii, Shigeki Fujitani, Takahide Matsuda. Treatment of two cases of COVID-19 with ciclesonide resulted in amelioration of pneumonia symptoms. *THE JAPANESE JOURNAL OF ANTIBIOTICS*,

2020;73(2):35-44.

- 3) Doi Shunichi, Akashi Yoshihiro J, Takita Mumon, Yoshida Hideki, Morikawa Daiki, Ishibashi Yuki, Higuma Takumi, Fujitani Shigeki.
Preventing thrombosis in a COVID-19 patient by combinatorial therapy with nafamostat and heparin during extracorporeal membrane oxygenation. *Acute Medicine & Surgery*, 2020;7(1): e585.
- 4) Ayako Doi, Hiroyuki Takeda, Kumiko Umemoto, Ryosuke Oumi, Shinji Wada, Shingo Hamaguchi, Hidefumi Mimura, Hiroyuki Arai, Yoshiki Horie, Takuro Mizukami, Naoki Izawa, Takashi Ogura, Takako Eguchi Nakajima, Yu Sunakawa. Inferior mesenteric arteriovenous fistula during treatment with bevacizumab in colorectal cancer patient: A case report. *World Journal of Gastrointestinal Oncology*, 2020;12(11):1364-1371.
- 5) Tsutsumi Ken, Saito Hiroki, Kitano Yuka, Wakatake Haruaki, Masui Yoshihiro, Fujitani Shigeki. Herpes simplex virus type 2 myelitis mimicking ICU acquired weakness as a complication of meningococcal meningitis: A case report. *International Journal of Infectious Diseases*, 2021;103 : 173-175.
- 6) Tomoya Tsuchida, Yuko Nitahara, Shotaro Suzuki, Yuko Komase, Katherine Candray, asutoshi Kido, Yu Nakagama, Yukitaka Yamasaki, Mitsuru Imamura, Kimito Kawahata, Hiroyuki Kunishima, Shigeki Fujitani, Masamichi Mineshita, Takahide Matsuda. Back to Normal; Serological Testing for COVID-19 Diagnosis Unveils Missed Infections. *Journal of Medical Virology*, 2021;93(7):4549-4552.

③ その他

- 1) Tomoya Tsuchida, Shigeki Fujitani, Yukitaka Yamasaki, Hiroyuki Kunishima, Takahide Matsuda. Development of a Protective Device for RT-PCR Testing SARS-CoV-2 in COVID-19 Patients. *Infect Control Hosp Epidemiol*, 2020::1-2.
- 2) Numata Kenji, Matsubara Tomoyasu, Kobayashi Daiki. Improvement of physician's confidence in handling minor emergencies before/after triage and action minor emergency course. *Acute Medicine & Surgery*, 2021;8(1): e624.
- 3) Tomoya Tsuchida, Yukitaka Yamasaki, Masanori Hirose, Hiroyuki Kunishima, Shigeki Fujitani, Takahide Matsuda. A Hand Shield for Healthcare Workers -A Brief Report of New Type of Personal Protective Equipment. *JOURNAL OF HOSPITAL GENERAL MEDICINE*, 2021;3(1) : 40-41.

学会発表

① 国内学会

- 1) ◎篠崎勇輔, 檜田直也, 駒瀬裕子, 斉藤浩輝, 村岡弘海, 粒来崇博. ロピナビル/リトナビル合剤が有効であったと考えられた COVID-19 関連肺炎の一例. 日本感染症学会 新型コロナ感染症緊急症例報告, 2020.
- 2) ◎遠藤渉, 平野貴章, 秋山唯, 三井寛之, 軽辺朋子, 佐藤健太郎, 金澤実, 仁木久照. 初期臨床研修か

らみた一次急患センターでの整形外科診療. 第 93 回日本整形外科学会学術総会, 2020.

- 3) ◎吉田英樹, 藤谷茂樹, 箕浦安祐. 自動多項目遺伝子解析機器による脳脊髄感染症の迅速診断に関する review. 第 94 回日本感染症学会総会・学術講演会, 2020.
- 4) ◎清野奈々恵, 内田将司, 伊藤英道, 藤谷茂樹, 田中雄一郎. 脳血管内治療における診療看護師の役割. 第 45 回日本脳卒中学会学術集会, 2020.
- 5) ◎伊藤竜彦, 遠藤拓郎, 安藤大吾, 金子さつき, 滝澤章太, 下澤信彦, 森澤健一郎, 平泰彦, 藤谷茂樹. 救急応需後に即日の下り転院を円滑に実現するために～専属調整員による支援症例の時間解析～. 第 23 回日本臨床救急医学会総会・学術集会, 2020.
- 6) ◎高倉永治, 佐藤優, 佐藤友基, 宅間洸士郎, 高橋智, 昆祐理, 松本純一, 下澤信彦, 藤谷茂樹, 平泰彦. 川崎市登戸でおきた多数傷病者(外傷)受け入れの事例を診療放射線技師の立場より報告する. 第 23 回日本臨床救急医学会総会・学術集会, 2020.
- 7) ◎遠藤拓郎, 森澤健一郎, 下澤信彦, 藤谷茂樹, 平泰彦. Medical Priority Dispatch System に準じた主訴別解析～搬送時 NEWS が偽陽性/偽陰性となる症例について～. 第 23 回日本臨床救急医学会総会・学術集会, 2020.
- 8) ◎安藤大吾, 遠藤拓郎, 伊藤竜彦, 金子さつき, 田北無門, 川口剛史, 森澤健一郎, 下澤信彦, 平泰彦, 藤谷茂樹. ドクターカー緊急走行への市民車両協力についての探索～重症患者への早期接触の実現を目指して～. 第 23 回日本臨床救急医学会総会・学術集会, 2020.
- 9) ◎中藪健一, 勝綾香, 堤健, 吉田徹, 榊井良裕. 外傷性脾損傷に対する薬剤師主導の脾摘後ワクチンスケジュール. 第 23 回日本臨床救急医学会総会・学術集会, 2020.
- 10) ◎永富彰仁, 吉田徹, 栗栖美由希, 岩井俊介, 橋元由紀子, 若竹春明, 北野夕佳, 榊井良裕, 山本佳穂, 平泰彦, 藤谷茂樹. 慢性硬膜下血腫急性増悪を合併したインフルエンザ A による劇症型心筋炎の 1 例. 第 23 回日本臨床救急医学会総会・学術集会, 2020.
- 11) ◎清野奈々恵, 内田将司, 伊藤英道, 藤谷茂樹, 田中雄一郎. 脳血管撮影・脳血管内治療における穿刺困難例の検討: 診療看護師の試行. 第 18 回 NPO 法人日本脳神経血管内治療学会関東地方会学術集会, 2020.
- 12) ◎藤谷茂樹. 重症新型コロナウイルス肺炎に対しての air hunger の対応. 日本集中治療医学会第 4 回関東甲信越支部学術集会, 2020.
- 13) ◎箕浦安祐, 吉田英樹, 藤谷茂樹. BD バクテックシステムの導入による血液培養ボトルの充填までの時間がもたらす影響. 日本集中治療医学会第 4 回関東甲信越支部学術集会, 2020.
- 14) ◎本鍋田由美子, 松下和彦, 田中拓, 大熊克彰, 安藤歩, 桐生久美子, 池谷真実, 長島梧郎. 当院事例の対応から見えた課題ー産科外来癌クリニックでの病理検体取り違い事例からー. 第 18 回日本臨床医学リスクマネジメント学会学術集会, 2020.
- 15) 古田繁行, 小泉哲, 小林慎二郎, 長江秀樹, 大山慧, 西谷友里, 小倉佑太, 藤谷茂樹, 平泰彦, 北川博昭. 重傷肝損傷に対する Damage Control Surgery. 第 57 回日本小児外科学会学術集会, 2020.
- 16) 長江秀樹, 島秀樹, 古田繁行, 大山慧, 脇坂宗親, 平泰彦, 藤谷茂樹, 北川博昭. 当院における小児外傷疾患の検討. 第 57 回日本小児外科学会学術集会, 2020.
- 17) ◎内藤純行, 土田知也, 山崎行敬, 紺野千穂, 小波本直也, 水野晴貴, 金澤実, 三上翔平, 吉田英樹, 田北無門, 森川大樹, 藤谷茂樹, 平泰彦, 大坪毅人, 北川博昭, 松田隆秀. 新型コロナウイルス感染

重症例における患者・医師関係の構築および倫理的課題-自験例を通じて. 第 21 回日本病院総合診療医学会学術総会, 2020.

- 18) ◎佐藤健太郎, 平野貴章, 遠藤渉, 飯沼雅央, 金澤実, 仁木久照. 整形外科緊急手術における入室遅延の律速因子は?. 第 35 回日本整形外科学会基礎学術集会, 2020.
- 19) ◎楠潤滯, 家研也, 相原茉里, 奥瀬千晃, 平間千絵, 玉井勇人. 原因不明の浮腫で来院した MDS による二次性血管漏出症候群も 1 例. 第 663 回日本内科学会関東地方会, 2020.
- 20) ◎松本純一. COVID-19 肺炎の遠隔画像コンサルテーションサービス: 放射線科医の臨床への関与の重要性. 第 56 回日本医学放射線学会 秋季臨床大会, 2020.
- 21) ◎三上翔平, 吉田英樹, 金澤実, 森川大樹, 田北無門, 森澤健一郎, 吉田徹, 藤谷茂樹, 平泰彦. COVID19 肺炎加療中に肺結核の reactivation を来した一例. 第 48 回日本救急医学会総会・学術総会, 2020.
- 22) ◎森澤健一郎, 藤谷茂樹, 田北無門, 吉田英樹, 森川大樹, 吉田徹, 平泰彦. COVID-19 診療における IT 技術の運用経験. 第 48 回日本救急医学会総会・学術総会, 2020.
- 23) ◎箕浦安祐, 吉田徹, 昆祐理, 濱口真吾, 松本純一, 下澤信彦, 森澤健一郎, 平泰彦, 藤谷茂樹. 院外心停止死亡例での死因推定における冠動脈石灰化スコアの有効性. 第 48 回日本救急医学会総会・学術総会, 2020.
- 24) ◎吉田英樹, 藤谷茂樹, 吉田徹, 内藤貴基, 津久田純平, 森川大樹, 田北無門, 三上翔平, 金澤実, 平泰彦. 重症 COVID19 患者 26 例の臨床経過報告. 第 48 回日本救急医学会総会・学術総会, 2020.
- 25) ◎吉田稔, 平泰彦, 齋藤浩輝, 栗栖美由希, 岡本翔, 佐藤恵, 尾崎将之, 吉田徹, 岩澤孝昌, 榊井良裕, 藤谷茂樹. 重症呼吸・循環不全を有する片側肺炎への分離肺換気を用いた治療戦略:2 症例. 第 48 回日本救急医学会総会・学術総会, 2020.
- 26) ◎昆祐理, 濱口真吾, 松本純一, 原口貴史, 藤川あつ子, 森本毅, 三村秀文, 藤谷茂樹, 平泰彦. 新型コロナウイルス感染症疑い症例への遠隔画像診断支援サービスについて. 第 48 回日本救急医学会総会・学術総会, 2020.
- 27) ◎濱田悠佑, 吉田徹, 内藤貴基, 五十嵐義浩, 清水徹, 井上莊一郎, 藤谷茂樹. ナファモスタット投与で ECMO 回路寿命を延長できたと考えられる COVID-19 肺炎 4 例の経験. 第 48 回日本救急医学会総会・学術総会, 2020.
- 28) ◎森川大樹, 藤谷茂樹, 平泰彦, 森澤健一郎, 下澤信彦, 藤井修一, 内藤貴基, 田北無門, 吉田英樹, 吉田徹, 川口剛史. 人工呼吸器離脱困難な重症コロナ肺炎に対してモルヒネ使用で呼吸器離脱に成功した 2 例報告. 第 48 回日本救急医学会総会・学術総会, 2020.
- 29) ◎斉藤岳史, 内藤貴基, 吉田徹, 藤谷茂樹. Modified early warning score に基づいた診療看護師 (Nurse Practitioner) によるラウンドの有用性. 第 48 回日本救急医学会総会・学術総会, 2020.
- 30) ◎尾上梨郁, 津久田純平, 金子さつき, 清水剛治, 内藤貴基, 濱口真吾, 下澤信彦, 森澤健一郎, 吉田徹, 平泰彦, 藤谷茂樹. 新型コロナウイルス感染症が疑われる救急搬送における労働力負荷についての検討. 第 48 回日本救急医学会総会・学術総会, 2020.
- 31) ◎水野晴貴, 吉田徹, 金澤実, 三上翔平, 清水剛治, 吉田英樹, 森川大樹, 田北無門, 内藤貴基, 藤谷茂樹, 平泰彦. COVID-19 に対し長期 VV-ECMO 管理後人工呼吸器離脱が可能であった一例. 第 48 回日本救急医学会総会・学術総会, 2020.

- 32) ◎金澤実, 吉田英樹, 川口剛史, 平泰彦, 藤谷茂樹. 短時間の同室管理にも関わらず、気道管理を契機とした水平感染により侵襲性 A 群溶連菌感染を発症したと考えられる 1 例. 第 48 回日本救急医学会総会・学術総会, 2020.
- 33) ◎清水剛治, 津久田純平, 水野晴貴, 金澤実, 三上翔平, 吉田英樹, 森川大樹, 田北無門, 藤谷茂樹. COVID19 肺炎にて入院中にリネゾリドによる薬剤性高乳酸血症を来し鑑別に苦慮した一例. 第 48 回日本救急医学会総会・学術総会, 2020.
- 34) ◎佐藤健太郎, 吉田英樹, 森川大樹, 津久田純平, 内藤貴基, 川口剛史, 藤井修一, 平泰彦, 藤谷茂樹. 迅速な診断、治療介入及び集学的治療により股関節離断を回避できた壊死性筋膜炎の 1 例. 第 48 回日本救急医学会総会・学術総会, 2020.
- 35) ◎内藤純行, 内藤貴基, 金澤実, 水野晴貴, 三上翔平, 吉田英樹, 田北無門, 森川大樹, 森澤健一郎, 平泰彦, 藤谷茂樹. COVID19 診療における遠隔モニターの有用性の検討. 第 48 回日本救急医学会総会・学術集会, 2020.
- 36) ◎吉田徹, 藤谷茂樹, 田北無門, 吉田英樹, 森川大樹, 清水剛治, 箕浦安祐, 三上翔平, 下澤信彦, 森澤健一郎, 平泰彦. 当院における入院時軽症～中等症 COVID-19 患者の Early warning score による重症化予測. 第 48 回日本救急医学会総会・学術総会, 2020.
- 37) ◎川口剛史, 津久田純平, 菅原誠太郎, 森川大樹, 田北無門, 内藤貴基, 藤井修一, 森澤健一郎, 吉田徹, 平泰彦, 藤谷茂樹. 近赤外線分光法を用いた非侵襲脳酸素モニタ tNIRS-1 による院外心停止の蘇生率の予測. 第 48 回日本救急医学会総会・学術総会, 2020.
- 38) ◎堤健, 斎藤浩輝, 北野夕佳, 若竹春明, 榊井良裕, 細谷美鈴, 佐野文明, 平泰彦, 藤谷茂樹. 当院に起こった国内最大級の COVID-19 院内感染事例の検討. 第 48 回日本救急医学会総会・学術総会, 2020.
- 39) ◎下澤信彦, 昆祐理, 田北無門, 森川大樹, 吉田英樹, 藤井修一, 川口剛史, 森澤健一郎, 吉田徹, 平泰彦, 藤谷茂樹. COVID-19 対応災害対策本部の設置と感染対策の成功が病院全体を One Team にした. 第 48 回日本救急医学会総会・学術総会, 2020.
- 40) ◎池谷真実, 本鍋田由美子, 長島梧郎, 松下和彦, 田中拓. 持ち歩きたくなる！！～活用できるポケットマニュアルを目指して～. 第 15 回医療の質・安全学会学術集会, 2020.
- 41) ◎川畑菜々美, 高倉永治, 佐藤優, 吉川達生, 吉田英樹, 昆祐理, 下澤信彦, 松本純一, 藤谷茂樹, 平泰彦. 多数傷病者受け入れに対する診療放射線技師としての在り方を考える 川崎市登戸殺傷事件を経験して. 日本外傷学会, 2020.
- 42) ◎下澤信彦, 森川大樹, 遠藤拓郎, 昆祐理, 松本純一, 大嶽康介, 菊池広子, 森澤健一郎, 藤谷茂樹, 小泉哲, 小林慎二郎, 松田潔, 平泰彦. 川崎市登戸連続殺傷事件において当地域で実施した搬送調整の検討. 第 34 回日本外傷学会総会・学術集会, 2020.
- 43) ◎昆祐理, 高倉永治, 松本純一, 三村秀文, 藤谷茂樹, 平泰彦. 災害時・多数傷病者発生時における画像診断の有用性. 第 34 回日本外傷学会総会・学術集会, 2020.
- 44) ◎昆祐理, 吉田英樹, 遠藤拓郎, 下澤信彦, 森澤健一郎, 松本純一, 藤谷茂樹, 平泰彦. 川崎登戸連続殺傷事件：トラウマコードを使用した院内参集・活動報告. 第 34 回日本外傷学会総会・学術集会, 2020.
- 45) ◎藤谷茂樹. 急性重篤出血におけるワルファリンによる凝固抑制の緊急是正. 第 34 回日本外傷学

会総会・学術集会, 2020.

- 46) ◎佐藤健太郎, 森澤健一郎, 遠藤渉, 下澤信彦, 平泰彦, 藤谷茂樹. 整形外科緊急手術における入室遅延の律速因子は?. 第 34 回日本外傷学会総会・学術集会, 2020.
- 47) ◎堅田紘頌, 横山仁志, 中田秀一, 葦澤光太郎, 佐々木信幸, 森澤健一郎, 平泰彦, 藤谷茂樹. COVID-19 にて ECMO 管理となった症例へのリハビリテーションが有効と考えられた 1 例. 第 48 回日本集中治療医学会学術総会, 2021.
- 48) ◎川口剛史, 津久田純平, 内藤貴基, 吉田英樹, 藤井修一, 田北無門, 森澤健一郎, 下澤信彦, 藤谷茂樹, 平泰彦. 脳死症例の脳組織酸素飽和度. 第 48 回日本集中治療医学会学術総会, 2021.
- 49) ◎内藤貴基. 効果のある RRS のための条件についての文献的考察. 第 48 回日本集中治療医学会学術総会, 2021.
- 50) ◎吉田徹, 藤谷茂樹, 田北無門, 森川大樹, 清水剛治, 箕浦安祐, 遠藤拓郎, 下澤信彦, 森澤健一郎, 平泰彦. 当院における入院時軽症～中等症 COVID-19 患者の Early warning score による重症化予測. 第 48 回日本集中治療医学会学術総会, 2021.
- 51) ◎山崎さつき, 清水剛治, 清水宏康, 谷井梨美, 藤井修一, 川口剛史, 田北無門, 吉田徹, 森澤健一郎, 藤谷茂樹. 抗悪性腫瘍薬投与中患者の心原性ショック、肺水腫に対し IABP と VV-ECMO を併用し救命した一例. 第 48 回日本集中治療医学会学術総会, 2021.
- 52) ◎森川大樹, 下澤信彦, 森澤健一郎, 平泰彦, 藤谷茂樹. 重症コロナ肺炎による AIR HUNGER に対してモルヒネ使用で肺障害を軽減した 1 例報告. 第 48 回日本集中治療医学会学術総会, 2021.
- 53) ◎森澤健一郎. COVID-19 に血液浄化療法は有効か? 終息の見えない COVID-19 診療において CRRT は 明確な目的をもって使用されるべきである. 第 48 回日本集中治療医学会学術総会, 2021.
- 54) ◎箕浦安祐, 吉田徹, 昆祐理, 濱口真吾, 松本純一, 下澤信彦, 森澤健一郎, 平泰彦, 藤谷茂樹. 院外心停止死亡例での死因推定における冠動脈石灰化スコア・TIMI スコアの有効性. 第 48 回日本集中治療医学会学術総会, 2021.
- 55) ◎中田秀一, 横山仁志, 堅田紘頌, 葦澤光太郎, 佐々木信幸, 森澤健一郎, 平泰彦, 藤谷茂樹. 複数の合併症を併発した重症 COVID-19 患者へのリハビリテーション経験. 第 48 回日本集中治療医学会学術総会, 2021.
- 56) ◎五十嵐義浩, 濱田悠佑, 渡辺智生, 川口裕正, 大胡田駿, 永井琴子, 中島礼, 大野敏夫, 佐藤賢治, 大川修, 井上莊一郎, 吉田徹, 藤谷茂樹. COVID-19 患者に対し、モルヒネと経肺圧・P0.1 測定が有用であった 1 症例. 第 48 回日本集中治療医学会学術総会, 2021.
- 57) ◎橋元由紀子, 堤健, 割澤高行, 野田和里, 松葉怜, 森内麻美, 内藤貴基, 北野夕佳, 方波見卓行, 藤谷茂樹. 造影剤投与を契機として心原性ショックを呈したが、IABP 補助のみで救命し得た甲状腺クリーゼの一例. 第 48 回日本集中治療医学会学術総会, 2021.
- 58) ◎川原千香子, 藤谷茂樹, RRS 検討委員会. RRS の現状—日本臨床救急医学会、日本集中治療医学会評議員施設への調査. 第 48 回日本集中治療医学会学術総会, 2021.
- 59) ◎渡邊智生, 五十嵐義浩, 大野俊夫, 中島礼, 川口裕正, 大胡田駿, 永井琴子, 田中心, 藤谷茂樹, 井上莊一郎. 人工呼吸中管理中に発生する吸気努力の評価における P0.1 の可能性. 第 48 回日本集中治療医学会学術総会, 2021.
- 60) ◎横山仁志, 堅田紘頌, 中田秀一, 葦澤光太郎, 佐々木信幸, 森澤健一郎, 平泰彦, 藤谷茂樹. 重症

COVID 19 患者におけるリハビリテーション介入の実施報告. 第 48 回日本集中治療医学会学術総会, 2021.

- 61) ◎佐藤健太郎, 齋藤浩輝, 金子さつき, 栗栖美由希, 堤健, 北野夕佳, 若竹春明, 榊井良裕, 平泰彦, 藤谷茂樹. 国内最大規模のクラスター発生から再スタートした救命救急センターの役割と今後のクラスター発生予防. 第 48 回日本集中治療医学会学術総会, 2021.
- 62) ◎吉田英樹, 藤谷茂樹, 平泰彦, 吉田徹, Jan De Waele, Liesbet De Bus, DIANA study group in Japan. DIANA study の日本参加施設データ解析による本邦 ICU での de-escalation の現状. 第 48 回日本集中治療医学会学術総会, 2021.
- 63) ◎仙頭佳起, 新井正康, 山森祐治, 藤原紳祐, 玉城正弘, 川本英嗣, 内藤貴基, 安宅一晃, 藤谷茂樹, 大佐賀智, 祖父江和哉, In-Hospital Emergency Study Group. RRS の介入を必要とした術後患者の解析. 第 48 回日本集中治療医学会学術総会, 2021.
- 64) ◎藤谷茂樹. RRS オンラインレジストリからわかった現状とこれから. 第 48 回日本集中治療医学会学術総会, 2021.
- 65) ◎栗田健郎, 中田孝明, 内藤貴基, 安宅一晃, 藤谷茂樹, IHER-J collaborators. 病院規模・RRS 要請頻度と患者転帰の関連. 第 48 回日本集中治療医学会学術総会, 2021.
- 66) ◎升田好樹, 安宅一晃, 松嶋麻子, 内藤貴基, 森安恵実, 峰松祐輔, 川村雄介. Sepsis Treatment System. 第 48 回日本集中治療医学会学術総会, 2021.
- 67) ◎吉田英樹. SARS-CoV-2、そして多剤耐性菌との戦い。現場では何が起きたか。一患者と医療者を守る ICU 感染制御一。第 48 回日本集中治療医学会学術総会, 2021.
- 68) ◎藤原紳祐, 小野原貴之, 中田孝明, 藤谷茂樹, 師岡誉也, 戸部賢, 高場章宏. 本邦の RRS オンラインレジストリによる敗血症症例の解析. 第 48 回日本集中治療医学会学術総会, 2021.
- 69) ◎青山剛士, 恒吉勇男, 大竹孝尚, 大内一夫, 川瀬雄太, 新井正康, 柴田尚明, 藤原紳祐, 藤谷茂樹. RRS オンラインレジストリからみた外来部門における Rapid Response System. 第 48 回日本集中治療医学会学術総会, 2021.
- 70) ◎川上大裕, 藤谷茂樹. 本邦における Post-intensive care syndrome 発症に関する多施設前向きコホート研究: J-PICS study. 第 48 回日本集中治療医学会学術総会, 2021.
- 71) ◎藤谷茂樹. ICU における抗菌薬適正使用の潮流. 第 48 回日本集中治療医学会学術総会, 2021.
- 72) ◎五十嵐義浩, 濱田悠佑, 渡辺智生, 川口裕正, 中島礼, 佐藤賢治, 大川修, 清水徹, 井上莊一郎, 吉田徹, 藤谷茂樹. COVID-19 に対する呼吸管理の実際と課題. 第 48 回日本集中治療医学会学術総会, 2021.
- 73) ◎内藤貴基, 藤谷茂樹, In-Hospital Emergency Study Group. レジストリからみた我が国の rapid response system の現状. 第 48 回日本集中治療医学会学術総会, 2021.
- 74) ◎金澤実. COVID19 診療における呼吸器グラフィックの遠隔共有. 第 38 回川崎市医師会医学会, 2021.
- 75) ◎松本純一. 「画像診断は生鮮食料品」2021 ポータブル胸部単純 X 線写真の調理法. 第 40 回日本画像医学会, 2021.
- 76) ◎齋藤浩輝. 【市民講座】敗血症対策における WHO との連携. 第 48 回日本集中治療医学会学術総会, 2021.

- 77) ◎清野奈々恵, 内田将司, 伊藤英道, 藤谷茂樹, 田中雄一郎. 診療看護師参入による AIS 診療における時間短縮効果の検討. 第 46 回日本脳卒中学会学術集会, 2021.
- 78) ◎下澤信彦, 石上智嗣, 大坪毅人. 当院の COVID-19 対応災害対策本部. 第 26 回日本災害医学会総会・学術集会, 2021.
- 79) ◎土井駿一, 鈴木規雄, 佐藤如雄, 貝原俊樹, 出雲昌樹, 石橋祐記, 樋熊拓未, 藤谷茂樹, 明石嘉浩. Lower visceral to subcutaneous fat ratio is associated in-hospital death in patients with severe COVID-19 pneumonia receiving mechanical ventilation. 第 85 回日本循環器学会学術集会, 2021.
- ② 国際学会
- 1) ◎Saito Hiroki. COVID-19 "unprecedented" response in Japan: Experience from Diamond Princess cruise ship, and fight evacuation mission from Wuhan. Society for Healthcare Epidemiology of America, International Coffee Talk, 2021.
- ③ その他
- 1) ◎松本純一. 今夜から使える!多発鈍的外傷における頭頸部外傷の効率的評価法. 第 33 回 頭頸部放射線研究会, 2020.
- 2) ◎齋藤浩輝. ICU で新興感染症を見る際の危機管理. 第 351 回 ICD 講習会, 2021.

		和文	英文
著 書			1
論 文	原著	8	13
	解説又は総説	18	
	症例報告	1	6
	その他	4	3
学会発表	国内学会	79	
	国際学会		1
	その他	2	

臨床腫瘍学

学術論文[和文]

① 総説又は症例解説

- 1) 水上拓郎. 消化器がんの病態と治療. 消化器ナーシング, 2020;(5):0.
- 2) 水上拓郎. 胃がん一次治療 HER2 以外の分子標的薬の開発. オンコロジークリニカルガイド 消化器癌化学療法改訂 5 版, 2020;:218-221.
- 3) 伊澤直樹, 小倉孝氏. ラムシルマブ、下痢. YORi-SOU がんナーシング, 2020;:00-00.
- 4) 伊澤直樹, 中島貴子. 上部消化管がん治療 State of the art. 腫瘍内科, 2020;25(6):604-612.
- 5) 堀江良樹. 診断時からの緩和ケア—本当の意味. 医学のあゆみ, 2020;274(8):655-659.
- 6) 伊澤直樹. 口内炎、下痢・便秘、嘔吐・悪心、味覚障害. Clinical nursing Skills ひとりだちできるがん化学療法看護, 2021;:0-0.
- 7) 伊澤直樹. 大腸癌三次治療以降. オンコロジークリニカルガイド 消化器癌化学療法改定 5 版, 2021;5:280-287.
- 8) 新井裕之, 中島貴子. がん化学療法の薬はや調べノート 2020・2021 年版. "がんナーシング 別冊", 2021;2020/2021:182-183.
- 9) 伊澤直樹, 小倉孝氏. がん化学療法の薬はや調べノート 2020・2021 年版. がんナーシング 別冊, 2021;2020/2021:70-71.
- 10) 新井裕之, 中島貴子. がん化学療法の薬はや調べノート 2020・2021 年版. がんナーシング 別冊, 2021;2020/2021:168-175.
- 11) 伊澤直樹, 武田弘幸. パクラムニボ論文の英訳と監修. 消化器病の広場, 2021;0(0):0-0.

学術論文[英文]

① 原著

- 1) Takako Eguchi Nakajima, Narikazu Boku, Ayako Doi, Hiroyuki Arai, Takuro Mizukami, Yoshiki Horie, Naoki Izawa, Mami Hirakawa, Takashi Ogura, Takashi Tsuda, Yu Sunakawa. Phase I study of the anti-heparin-binding epidermal growth factor-like growth factor antibody U3-1565 with cetuximab in patients with cetuximab- or panitumumab-resistant metastatic colorectal cancer. Investigational New Drugs, 2020;38(2):410-418.
- 2) Daisuke Sakai, Hiroya Taniguchi, Naotoshi Sugimoto, Takao Tamura, Tomohiro Nishina, Hiroki Hara, Taito Esaki, Tadamichi Denda, Takeshi Sakamoto, Hiroyuki Okuda, Taroh Satoh, Takahiro Tsushima, Akitaka Makiyama, Takashi Tsuda, Ayumu Hosokawa, Hidekazu Kuramochi, Shinya Tokunaga, Toshikazu Moriwaki, Hisateru Yasui, Hiroyasu Ishida, Akihito Tsuji, Satoshi Otsu, Hozumi Shimokawa, Eishi Baba, Mikio Sato, Shigemi Matsumoto, Yukinori Ozaki, Katsunori Shinozaki, Hiroshi Tamagawa, Masahiro Goto, Shigenori Kadowaki, Hirofumi Fujii, Yasuhiro Koh, Kentaro Yamazaki, Shuichi Hironaka, Junji Kishimoto, Narikazu Boku, Ichinosuke Hyodo, Kei Muro. Randomised phase II study of panitumumab plus irinotecan versus cetuximab plus irinotecan in patients with KRAS wild-type metastatic colorectal cancer refractory to

fluoropyrimidine, irinotecan and oxaliplatin (WJOG 6510G). *European Journal of Cancer*, 2020; 2020(135):11-21.

- 3) Naohiro Okano, Chigusa Morizane, Shogo Nomura, Hideaki Takahashi, Hidetaka Tsumura, Hironaga Satake, Nobumasa Mizuno, Kunihiro Tsuji, Kazuhiko Shioji, Akinori Asagi, Kohichiroh Yasui, Sho Kitagawa, Tomomi Kashiwada, Atsushi Ishiguro, Masashi Kanai, Makoto Ueno, Takashi Ogura, Satoshi Shimizu, Tobimatsu Kazutoshi, Masayo Motoya, Koji Nakashima, Masafumi Ikeda, Takuji Okusaka, Junji Furuse. Phase II clinical trial of gemcitabine plus oxaliplatin in patients with advanced pancreatic adenocarcinoma with a family history of pancreatic/breast/ovarian/prostate cancer or personal history of breast/ovarian/prostate cancer (FABRIC study). *International Journal of Clinical Oncology*, 2020;25(6):1835-1843.
- 4) Akitaka Makiyama, Yasutaka Sukawa, Tomomi Kashiwada, Junji Kawada, Ayumu Hosokawa, Yoshiki Horie Akihito Tsuji, Toshikazu Moriwaki, Hiroaki Tanioka, Katsunori Shinozaki, Keita Uchino, Hirofumi Yasui, Hiroshi Tsukuda, Kazuhiro Nishikawa, Hiroyasu Ishida, Takeharu Yamanaka, Kentaro Yamazaki, Shuichi Hironaka, Taito Esaki, Narikazu Boku, Ichinosuke Hyodo, Kei Muro. Randomized, Phase II Study of Trastuzumab Beyond Progression in Patients With HER2-Positive Advanced Gastric or Gastroesophageal Junction Cancer: WJOG7112G (T-ACT Study). *Journal of Clinical Oncology*, 2020;38(17):1919-1927.
- 5) Yosuke Kito, Hironaga Satake, Hiroya Taniguchi, Takeshi Yamada, Yoshiki Horie, Taito Esaki, Tadamichi Denda, Hisateru Yasui, Naoki Izawa, Toshiki Masuishi, Toshikazu Moriwaki, Keita Mori, Kentaro Yamazaki.
Phase Ib study of FOLFOXIRI plus ramucirumab as first-line treatment for patients with metastatic colorectal cancer. *Cancer Chemotherapy and Pharmacology*, 2020;86(2020):277-284.
- 6) Yu Sunakawa, Masato Nakamura, Masahiro Ishizaki, Masato Kataoka, Hironaga Satake, Masaki Kitazono, Hideyuki Yanagisawa, Yasuyuki Kawamoto, Hidekazu Kuramochi, Hisatsugu Ohori, Michio Nakamura, Fumiyo Maeda, Chihiro Komeno, Tomoko Sonezaki, Masahiro Takeuchi, Masashi Fujii, Takayuki Yoshino, Akihito Tsuji, and Wataru Ichikawa. RAS Mutations in Circulating Tumor DNA and Clinical Outcomes of Rechallenge Treatment With Anti-EGFR Antibodies in Patients With Metastatic Colorectal Cancer. *JCO presion oncology*, 2020;4(2020) : 898-911.
- 7) Naoki Izawa, Kohei Shitara, Kimio Yonesaka, Takeharu Yamanaka, Takayuki Yoshino, Yu Sunakawa, Toshiki Masuishi, Tadamichi Denda, Kentaro Yamazaki, Toshikazu Moriwaki, Hiroyuki Okuda, Chihiro Kondoh, Tomohiro Nishina, Akitaka Makiyama, Hideo Baba, Hironori Yamaguchi, Masato Nakamura, Ichinosuke Hyodo, Kei Muro, Takako Eguchi Nakajima. Early tumor shrinkage and depth of response in the second-line treatment for KRAS exon2 wild-type metastatic colorectal cancer: An exploratory analysis of the randomized phase 2 trial comparing panitumumab and bevacizumab in combination with FOLFIRI (WJOG6210G). *Targeted Oncology*, 2020;2020(15):623-633.
- 8) Volz NB, Hanna DL, Stintzing S, Zhang W, Yang D, Cao S, Ning Y, Matsusaka S, Sunakawa Y,

- Berger MD, Cremolini C, Loupakis F, Falcone A, Lenz HJ. Polymorphisms within Immune Regulatory Pathways Predict Cetuximab Efficacy and Survival in Metastatic Colorectal Cancer Patients. *Cancers (Basel)*, 2020;2(10):2947.
- 9) Hiroya Taniguchi, Yasuhiro Koh, Naotoshi Sugimono, Tomohiro Nishina, Takao Tamura, Hiroki Hara, Taito Esaki, Tadamichi Denda, Akitaka Makiyama, Aya Sakai, Hiroyuki Okuda, Naoki Izawa, Takayuki Ando, Kentaro Yamazaki, Shinya Tokunaga, Toshikazu Moriwaki, Akihito Tsuji, Hidekazu Kuramochi, Katsunori Shinozaki, Yukinori Ozaki, Hironori Yamaguchi, Hisateru Yasui, Satoshi Otsu, Mio Ikeda, Junji Kishimoto, Taroh Satoh, Daisuke Sakai, and Kei Muro. Biomarker Analysis in A Randomized Phase 2 Study of Panitumumab Versus Cetuximab in Colorectal Cancer (WJOG6510GTR). *J Cancer Sci Clin Ther*, 2020;4(4):499-510.
- 10) Takeuchi Masashi, Imamura Chiyo, Booka Eisuke, Takeuchi Hiroya, Mizukami Takuro, Kawakami Takeshi, Funakoshi Taro, Wakuda Kazushige, Aoki Yu, Hamamoto Yasuo, Kitago Minoru, Kawakubo Hirofumi, Boku Narikazu, Tanigawara Yusuke, Kitagawa Yuko. Prospective evaluation and refinement of an S-1 dosage formula based on renal function for the clinical application. *Cancer Science*, 2020;111(2):751-759.
- 11) Hasegawa Hiroko, Taniguchi Hiroya, Nakamura Yoshiaki, Kato Takeshi, Fujii Satoshi, Ebi Hiromichi, Shiozawa Manabu, Yuki Satoshi, Masuishi Toshiiki, Kato Ken, Izawa Naoki, Moriwaki Toshikazu, Oki Eiji, Kagawa Yoshinori, Denda Tadamichi, Nishina Tomohiro, Tsuji Akihito, Hara Hiroki, Esaki Taito, Nishida Naohiro, Kawakami Hisato, Sakamoto Yasumasa, Miki Izumi, Okamoto Wataru, Yamazaki Kentaro, Yoshino Takayuki. FMS-like tyrosine kinase 3 (FLT3) amplification in patients with metastatic colorectal cancer. *Cancer science*, 2020;112(1) : 314-322.
- 12) Ryuma Tokunaga, Joanne Xiu, Richard M Goldberg, Philip A Philip, Andreas Seeber, Francesca Battaglin, Hiroyuki Arai, Jae Ho Lo, Madiha Naseem, Alberto Puccini, Martin D Berger, Shivani Soni, Wu Zhang, Sting Chen, Jimmy J Hwang, Anthony F Shields, John L Marshall, Hideo Baba, W Michael Korn, Heinz-Josef Lenz. The impact of ARID1A mutation on molecular characteristics in colorectal cancer. *Eur J Cancer*, 2020;140:119-129.
- 13) Masakazu Yamamoto, Masahiro Yoshida, Junji Furuse, Keiji Sano, Masayuki Ohtsuka, Shingo Yamashita. Toru Beppu, Yukio Iwashita, Keita Wada, Nakajima Eguchi Takako, Katsunori Sakamoto, Koichi Hayano, Yasuhisa Mori, Koji Asai, Ryusei Matsuyama, Teijiro Hirashita, Taizo Hibi, Nozomu Sakai, Tsutomu Tabata, Hisato Kawakami, Hiroyuki Takeda, Takuro Mizukami, Masato Ozaka, Makoto Ueno, Yoichi Naito, Naohiro Okano, Takayuki Ueno, Susumu Hijioka, Satoru Shikata, Tomohiko Ukai, Steven Strasberg, Michael G. Sarr, Palepu Jagannath, Tsann - Long Hwang, Ho - Seong Han, Yoo - Seok Yoon, Hee Jung Wang, Shao - Ciao Luo, Rene Adam, Mariano Gimenez, Olivier Scatton, Do - Youn Oh, Tadahiro Takada.. Clinical practice guidelines for the management of liver metastases from extrahepatic primary cancers 2021. *J Hepatobiliary Pancreat Sci.*, 2020;28(1):1-25.
- 14) Hiroyuki Arai, Yi Xiao, Fotios Loupakis, Natsuko Kawanishi, Jingyuan Wang, Francesca

- Battaglin, Shivani Soni, Wu Zhang, Christoph Mancao, Bodour Salhia, Shannon M Mumenthaler, Daniel J Weisenberger, Gangning Liang, Chiara Cremolini, Alfredo Falcone, Joshua Millstein, Heinz-Josef Lenz. Immunogenic cell death pathway polymorphisms for predicting oxaliplatin efficacy in metastatic colorectal cancer. *Journal for Immunotherapy of Cancer*, 2020;8(2): e001714.
- 15) Takako Eguchi Nakajima, Shigenori Kadowaki, Keiko Minashi, Tomohiro Nishina, Takeharu Yamanaka, Yuichiro Hayashi, Naoki Izawa, Kei Muro, Shuichi Hironaka, Takeshi Kajiwara, Yutaka Kawakami. Multicenter phase I/II study of nivolumab combined with paclitaxel plus ramucirumab as second-line treatment in patients with advanced gastric cancer. *Clin Cancer Res*, 2020;27(4):1029-1036.
- 16) Hiroyuki Arai, Yasmine Baca, Francesca Battaglin, Natsuko Kawanishi, Jingyuan Wang, Shivani Soni, Wu Zhang, Joshua Millstein, Curtis Johnston, Richard M Goldberg, Philip A Philip, Andreas Seeber, Joanne Xiu, Jimmy J Hwang, Anthony F Shields, John L Marshall, W Michael Korn, Heinz-Josef Lenz. Molecular characterization of appendiceal goblet cell carcinoid. *Molecular Cancer Therapeutics*, 2020;19(12):2634-2640.
- 17) Hiroyuki Arai, Shu Cao, Francesca Battaglin, Jingyuan Wang, Natsuko Kawanishi, Ryuma Tokunaga, Fotios Loupakis, Sebastian Stintzing, Shivani Soni, Wu Zhang, Christoph Mancao, Bodour Salhia, Shannon M Mumenthaler, Chiara Cremolini, Volker Heinemann, Alfredo Falcone, Joshua Millstein, Heinz-Josef Lenz. RNA-Binding Protein Polymorphisms as Novel Biomarkers to Predict Outcomes of Metastatic Colorectal Cancer: A Meta-analysis from TRIBE, FIRE-3, and MAVERICC. *Molecular Cancer Therapeutics*, 2021;20(6):1153-1160.
- 18) Hiroyuki Arai, Masahiro Kawahira, Hirofumi Yasui, Toshiki Masuishi, Kei Muro, Takako Eguchi Nakajima. Second-line chemotherapy using taxane in patients with advanced gastric cancer who presented with severe peritoneal metastasis: a multicenter retrospective study. *Int J Clin Oncol*, 2021;26(2):355-363.
- 19) Hiroyuki Arai, Andrew Elliott, Joanne Xiu, Jingyuan Wang, Francesca Battaglin, Natsuko Kawanishi, Shivani Soni, Wu Zhang, Joshua Millstein, Davendra Sohal, Richard M. Goldberg, Michael J. Hall, Aaron J. Scott, Moh'd Khushman, Jimmy J. Hwang, Emil Lou, Benjamin A. Weinberg, John L. Marshall, Albert C. Lockhart, Phillip Stafford, Jian Zhang, Roberto Moretto, Chiara Cremolini, W. Michael Korn and Heinz-Josef Lenz. The Landscape of Alterations in DNA Damage Response Pathways in Colorectal Cancer. *Clinical Cancer Research*, 2021;27(11):3234-3242.
- 20) Takuro Mizukami, Koki Hamaji, Risa Onuki, Ayako Yokomizo, Yoshie Nagashima, Hiroyuki Takeda, Kumiko Umemoto, Ayako Doi, Hiroyuki Arai, Mami Hirakawa, Yoshiki Horie, Naoki Izawa, Takashi Ogura, Takashi Tsuda, Yu Sunakawa, Michi Shibata, Tsuneaki Tanaka, Shinya Mikami, Takako Eguchi Nakajima. Impact of Body Weight Loss on Survival in Patients with Advanced Gastric Cancer Receiving Second-Line Treatment. *Nutrition and Cancer*, 2021;(23):1-14.

② 総説又は症例解説

- 1) Hiroyuki Arai, Takako Eguchi Nakajima. Recent Developments of Systemic Chemotherapy for Gastric Cancer. *Cancers (Basel)*, 2020;12(5):1100.
- 2) Hiroyuki Takeda, Yu Sunakawa. Management of BRAF Gene Alterations in Metastatic Colorectal Cancer: From Current Therapeutic Strategies to Future Perspectives. *Front. Oncol.*, 2021;11 : 602194.

③ 症例報告

- 1) Ayako Doi, Hiroyuki Takeda, Kumiko Umemoto, Ryosuke Oumi, Shinji Wada, Shingo Hamaguchi, Hidefumi Mimura, Hiroyuki Arai, Yoshiki Horie, Takuro Mizukami, Naoki Izawa, Takashi Ogura, Takako Eguchi Nakajima, Yu Sunakawa. Inferior mesenteric arteriovenous fistula during treatment with bevacizumab in colorectal cancer patient: A case report. *World Journal of Gastrointestinal Oncology*, 2020;12(11):1364-1371.

④ その他

- 1) Narita Y, Shoji H, Kawai S, Mizukami T, Nakamura M, Moriwaki T, Yamanaka T, Sunakawa Y, Kawakami H, Nishina T, Misumi T, Muro K. REVIVE study: a prospective observational study in chemotherapy after nivolumab therapy for advanced gastric cancer. *Future Oncol.*, 2020;17(8) : 0-0.
- 2) Hiroko Minatogawa, Naoki Izawa, Takashi Kawaguchi, Tempei Miyaji, Kazuhiro Shimomura, Honda Kazunori, Hirotoshi Iihara, Yasushi Ohno, Yusuke Inada, Hitoshi Arioka, Hajime Morita, Naoya Hida, Mitsuhiro Sugawara, Chikatoshi Katada, Shuichi Nawata, Hiroo Ishida, Ayako Tsuboya, Takashi Tsuda, Takuhiro Yamaguchi, Takako Eguchi Nakajima. Study protocol for SPARED trial: randomised non-inferiority phase III trial comparing dexamethasone on day 1 with dexamethasone on days 1–4, combined with neurokinin-1 receptor antagonist, palonosetron and olanzapine (5mg) in patients receiving cisplatin-based chemotherapy. *BMJ Open*, 2020;10(12): e041737.

学会発表

① 国内学会

- 1) 砂川優, 的場亮, 佐藤慶治, 西山光恵, 森原元彦, 寺内淳, 市川度, 藤井雅志. "胃がん患者を対象とした腸内細菌叢の大規模臨床研究における採便に関するアンケート調査". 第 24 回腸内細菌学会学術集会 (誌上開催), 2020.
- 2) 采野優, 堀江良樹, 森田達也, 内藤明美, 小山田隼佑, 陶山久司, 小島康幸, 野里洵子, 森雅紀, 中島貴子, 清水千佳子, 恒藤暁, 武藤学. 「がんと診断されたときからの緩和ケア」の推進に関わる厚生労働行政への提言の策定. *JASCC 緩和・支持・心のケア合同学術大会 2020*, 2020.
- 3) 内藤明美, 采野優, 森田達也, 堀江良樹, 小山田隼佑, 野里洵子, 小島康幸, 陶山久司, 森雅紀, 中島貴子, 清水千佳子, 恒藤暁, 武藤学. がん診断時からの緩和ケアを提供するための患者のアンメットニーズに関する研究. *JASCC 緩和・支持・心のケア合同学術大会 2020*, 2020.
- 4) ©土井綾子, 近江亮介, 梅本久美子, 新井裕之, 伊澤直樹, 小倉孝氏, 津田享志, 中島貴子. 血管新生

阻害薬による化学療法中に下腸間膜動静脈瘻を合併した大腸癌症例. 第 106 回日本消化器病学会総会, 2020.

- 5) Doi Ayako, Takeda Hiroyuki, Umemoto Kumiko, Arai Hiroyuki, Horie Yoshiki, Mizukami Takuro, Izawa Naoki, Ogura Takashi, Oguri Tomoyo, Sunakawa Yu. 高齢者胃癌に対する治療の工夫. 第 58 回日本癌治療学会学術集会, 2020.
- 6) 水上拓郎. Practical situations of the clinical trial using digital scales and devices. 第 17 回 DIA 日本年会 2020, 2020.
- 7) M. Nakamura, T. Funakoshi, S. Kataoka, T. Horimatsu, Y. Nishikawa, T. Matsubara, T. Mizukami, T. Goto, K. Tsuchihashi, E. Baba, T. Tsumura, Y. Mihara, T. Hamaguchi, M. Yanagita, M. Muto. Anti-VEGF inhibitors and Renal Safety in Onco-Nephrology consortium -Urinary Protein/Creatinine ratio [VERSiON UP study]. 第 18 回日本臨床腫瘍学会学術集会, 2021.
- 8) 塩川尚恵, 伊澤直樹, 森川慶, 大橋洋之, 早川望, 春日井滋, 武田弘幸, 梅本久美子, 新井裕之, 土井綾子, 堀江良樹, 平川麻美, 水上拓郎, 小栗知世, 小倉孝氏, 田中恒明, 砂川優. 進行固形がん患者における免疫チェックポイント阻害薬導入前の抗体検査と免疫関連有害事象との関連性. 第 18 回日本臨床腫瘍学会学術集会, 2021.
- 9) Tomohiro Nishina, Takuro Mizukami, Keiko Minashi, Hiroki Hara, Yusuke Amanuma, Naoki Takahashi, Akio Nakasha, Masaki Takahashi, Takako Eguchi Nakajima. A phase I/II trial of trifluridine/tipiracil in combination with irinotecan in patients with advanced gastric cancer refractory to fluoropyrimidine, platinum, and taxane. 第 18 回日本臨床腫瘍学会学術集会, 2021.
- 10) Naoki Izawa, Kazuto Nishio, Toshiki Masuishi, Naoki Takahashi, Hirokazu Shoji, Yoshiyuki Yamamoto, Toshihiko Matsumoto, Keiji Sugiyama, Takeshi Kajiwara, Hiroyuki Okuda, Naoki Aomatsu, Hisato Kawakami, Taito Esaki, Yukiya Narita, Hiroki Hara, Yu Sunakawa, Narikazu Boku, Toshikazu Moriwaki, Takako Eguchi Nakajima, and Kei Muro. Gene profiling of circulating tumor DNA (ctDNA) in RAS wild-type mCRC patients who are refractory to anti-EGFR antibody. 第 18 回日本臨床腫瘍学会学術集会, 2021.
- 11) 水上拓郎, 高張大亮, 高島淳生, 石塚直樹, 大橋学, 片井均, 民上真也, 佐野武, 朴成和, 山口研成. 進行胃癌に対する TAS-118 とオキサリプラチンを用いた周術期化学療法. 第 93 回日本胃癌学会総会, 2021.
- 12) Takeda Hiroyuki, Imoto Kiyomi, Umemoto Kumiko, Doi Ayako, Arai Hiroyuki, Horie Yoshiki, Mizukami Takuro, Izawa Naoki, Ogura Takashi, Oguri Tomoyo, Sunakawa Yu. Multi-gene panel testing in patients with gastro-intestinal cancers: A retrospective study. 第 58 回日本癌治療学会学術集会, 2020.
- 13) Naoki Izawa, Mitsugu Kochi, Shigenori Kadowaki, Ryohei Kawabata, Takao Takahashi, Akihito Tsuji, Hiroki Hara, Masato Nakamura, Toshikazu Moriwaki, Yu Sunakawa, Wataru Ichikawa, and Masashi Fujii. Bi-weekly nab-paclitaxel and ramucirumab therapy for advanced gastric cancer: JACCRO GC-09 trial. 第 93 回日本胃癌学会総会, 2021.

② 国際学会

- 1) Nozomu Machida, Takehiro Okumura, Junji Kishimoto, Narikazu Boku, Tomohiro Nishina,

Koichi Suyama, Yasuhisa Ohde, Katsunori Shinozaki, Hideo Baba, Shinya Tokunaga, Hisato Kawakami, Takashi Tsuda, Masahito Kotaka, Hiroyuki Okuda, Hisateru Yasui, Tadamichi Denda, Kentaro Yamazaki, Shuichi Hironaka, Kei Muro, Ichinosuke Hyodo. Phase II trial of adjuvant mFOLFOX6 after metastasectomy for pulmonary metastasis of colorectal cancer: WJOG5810G. ASCO 2020 Virtual, 2020.

- 2) Yoshiaki Nakamura, Hiroya Taniguchi, Hideaki Bando, Taito Esaki, Yoshito Komatsu, Ken Kato, Naoki Takahashi, Yoshinori Kagawa, Takeshi Kato, Tomohiro Nishina, Taroh Satoh, Eiji Oki, Yu Sunakawa, Manabu Shiozawa, Yoshiyuki Yamamoto, Hisato Kawakami, Tadamichi Denda, Atsushi Ohtsu, Takayuki Yoshino. Utility of circulating tumor DNA (ctDNA) versus tumor tissue genotyping for enrollment of patients with metastatic colorectal cancer (mCRC) to matched clinical trials: SCRUM-Japan GI-SCREEN and GOZILA combined analysis. ASCO 2020 Virtual, 2020.
- 3) Masataka Yagisawa, Yoshiaki Nakamura, Takayuki Yoshino, Yoshito Komatsu, Shigenori Kadowaki, Kei Muro, Yu Sunakawa, Taroh Satoh, Tomohiro Nishina, Taito Esaki, Satoshi Fujii, Hiromi Ono, Daiki Tomita, Noriko Fujishiro, Nami Hirano, Nozomu Fuse, Akihiro Sato, Gakuto Ogawa, Shogo Nomura, Hiroya Taniguchi. A basket trial of trastuzumab deruxtecan, a HER2-targeted antibody-drug conjugate, for HER2-amplified solid tumors identified by circulating tumor DNA analysis (HERALD trial). ASCO 2020 Virtual, 2020.
- 4) Ryohei Kawabata, Yasuhiro Sakamoto, Eisuke Inoue, Atsushi Ishiguro, Yusuke Akamaru, Yosuke Kito, Masazumi Takahashi, Jin Matsuyama, Hiroshi Yabusaki, Akitaka Makiyama, Takahisa Suzuki, Masahiro Tsuda, Hisateru Yasui, Hisato Kawakami, Ryo Matoba, Kei Muro, Takako Eguchi Nakajima, Wataru Ichikawa, Masashi Fujii, and Yu Sunakawa. Tumor response and growth rate of nivolumab treatment in advanced gastric cancer: real-world data from a large observational/translational study, JACCRO GC-08 (DELIVER trial). ASCO 2020 Virtual, 2020.
- 5) ©Takahari Daisuke, Takashima Atsuto, Nakajima Takako, Ohashi Manabu, Mikami Shinya, Ishizuka Naoki. Feasibility of TAS-118+oxsliplation as perioperaive chemotherapy for gastric cancer. 92nd Annual Meeting of the Japanese Gastric Cancer Association, 2020.
- 6) ©Yu Sunakawa, Yasuhiro Sakamoto, Eisuke Inoue, Ryohei Kawabata, Atsushi Ishiguro, Yusuke Akamaru, Yosuke Kito, Masazumi Takahashi, Jin Matsuyama, Hiroshi Yabusaki, Akitaka Makiyama, Takahisa Suzuki, Masahiro Tsuda, Hisateru Yasui, Naoki Hirabayashi, Atsushi Takeno, Hisato Kawakami, Ryo Matoba, Kei Muro, Takako Eguchi Nakajima, Wataru Ichikawa, and Masashi Fujii. Updated analysis of DELIVER trial (JACCRO GC-08): A large observational/translational study of nivolumab treatment in advanced gastric cancer. WCGC Virtual, 2020.
- 7) ©Naoki Izawa, Shigeki Ohta, Shigenori Kadowaki, Takeshi Kajiwarra, Keiko Minashi, Yu Sunakawa, Kei Muro, Tomohiro Nishina, Shuichi Hironaka, Takeharu Yamanaka, Takako Eguchi Nakajima, Yutaka Kawakami. 104P Angiogenesis-related factors and clinical outcomes in combination therapy with paclitaxel (PTX), ramucirumab (RAM) plus nivolumab (Nivo) for

advanced gastric cancer (AGC). ESMO VIRTUAL CONGRESS 2020, 2020.

- 8) M. Nakamura, T. Funakoshi, S. Kataoka, T. Horimatsu, Y. Nishikawa, T. Matsubara, T. Mizukami, T. Goto, K. Tsuchihashi, E. Baba, T. Tsumura, Y. Mihara, T. Hamaguchi, M. Yanagita, M. Muto. Anti-VEGF inhibitors and Renal Safety in Onco-Nephrology consortium -Urinary Protein/Creatinine ratio [VERSiON UP study]. ESMO ASIA, 2020.
- 9) ©Takahari Daisuke, Ohashi Manabe, Takashima Atsuo, Mizukami Takuro, Ishizuka Naoki, Katai Hitoshi, Mikami Shinya, Wakatsuki Takeru, Chin Keisho, Ida Satoshi, Kumagai Koshi, Nunobe Souya, Iwasa Satoru, Ito Miki, Wada Takeyuki, Yamagata Yikinori, Ogura Takashi, Sano Takeshi, Boku Narikazu, Yamaguchi kensei. Feasibility study of TAS-118 plus oxaliplatin as perioperative chemotherapy for patients with advanced gastric cancer (APOLLO-11). ASCO GI 2021, 2021.
- 10) ©Imamura Yu, Chin Keisho, Tsushima Takahito, Tsubosa Yasuhiro, Hara Hiroki, Fukuda Takashi, Nomura Motoo, Tsunoda Shigeru, Ogata Takashi, Hayashi Tsutomu, Nabeya Yoshihiro, Minashi Keiko, Kuramochi Hidekazu, Hamano Mie, Doi Ayako, Mikami Shinya, Mine Shinji, Ishizuka Naoki, Ichimura Takashi. Phase II study of systemic chemotherapy with S-1 plus oxaliplatin followed by surgery in patients with cT3-T4a and/or node-positive advanced adenocarcinoma of the esophagogastric junction: Primary endpoint results of the ESOX trial. ASCO GI 2021, 2021.
- 11) Hiroki Hara, Takuro Mizukami, Keiko Minashi, Tomohiro Nishina, Naoki Takahashi, Yusuke Amanuma, Akio Nakashima, Masaki Takahashi, Takako Eguchi Nakajima. A phase III trial of trifluridine/tipiracil in combination with irinotecan in patients with advanced gastric cancer refractory to fluoropyrimidine, platinum, and taxane. ASCO GI 2021 Virtual, 2021.
- 12) ©Ayako Doi, Kumiko Umemoto, Tomoyo Oguri, Hiroyuki Takeda, Yoshiki Horie, Takashi Ogura, Takuro Mizukami, Naoki Izawa, Sungmok Jung, Byung Chul Kim, Yu Sunakawa. A translational study to evaluate genomic markers and concordance with circulating-tumor DNA and circulating tumor cells to predict clinical outcomes in gastrointestinal and pancreatobiliary cancers: Valor trial. ASCO GI 2021 Virtual, 2021.
- 13) Yu Sunakawa, Ryo Matoba, Eisuke Inoue, Yoshikazu Takahashi, Ryohei Kawabata, Atsushi Ishiguro, Yusuke Akamaru, Yosuke Kito, Masazumi Takahashi, Jin Matsuyama, Hiroshi Yabusaki, Akitaka Makiyama, Takahisa Suzuki, Masahiro Tsuda, Hisateru Yasui, Hisato Kawakami, Kei Muro, Takako Eguchi Nakajima, Wataru Ichikawa, and Masashi Fujii. Genomic pathway of gut microbiome to predict efficacy of nivolumab in advanced gastric cancer: DELIVER trial (JACCRO GC-08). ASCO GI 2021 Virtual, 2021.

		和文	英文
著 書			
論 文	原著		20
	解説又は総説	11	2
	症例報告		1
	その他		2
学会発表	国内学会	11	2
	国際学会		13
	その他		

リハビリテーション医学

著書

- 1) 山田尚基, 佐々木信幸. EBM 上肢ボツリヌス療法とリハビリテーション医療 2020;:84-91.
- 2) 佐々木信幸. 1. 脳血管障害 1) 急性期 最新 リハビリテーション医学 2020;(3):220-228.
- 3) 佐々木信幸. 第 2 部各論 9.呼吸疾患 総合力がつくりハビリテーション医学・医療テキスト 2021;(1):472-485.

学術論文[和文]

① 総説又は症例解説

- 1) 佐々木信幸. 【回復期で知っておきたい!ここが分かれ道!!症状から引く検査値と画像】回復期リハビリテーション病棟におけるてんかん発作. *Medical Rehabilitation*, 2020;(250):27-32.
- 2) 佐々木信幸. 【多職種による痙縮治療】片麻痺患者の痙縮治療. *総合リハビリテーション*, 2020;48(7):623-629.
- 3) 佐々木信幸. 【リハビリテーションにおけるロボット技術の最近の進歩】反復性経頭蓋磁気刺激 (rTMS) を用いたリハビリテーション治療. *脊椎脊髄ジャーナル*, 2020;33(8):799-805.
- 4) 佐々木信幸, 横山仁志, 樫田紘頌, 中田秀一, 葦澤光太郎. 重症 COVID-19 肺炎患者のリハビリテーション治療. *CLINICAL REHABILITATION*, 2020;29(13):1333-1340.
- 5) 佐々木信幸. 脳卒中患者に対する反復性経頭蓋磁気刺激(rTMS)療法. *老年内科*, 2021;3(2):145-152.
- 6) 佐々木信幸. 急性期脳卒中における反復性経頭蓋磁気刺激 (rTMS) の有効性と役割. *聖マリアンナ医科大学雑誌*, 2021;48(4):177-182.

② その他

- 1) 佐々木信幸. 急性期から障害の改善にこだわり続ける. *総合リハビリテーション*, 2021;49(2):111-111.

学会発表

① 国内学会

- 1) ◎佐々木信幸. 急性期リハビリテーションと医学的妥当性. 第 57 回日本リハビリテーション医学会 学術集会, 2020.
- 2) ◎佐々木信幸. 痙縮の軽減で終わらせないリハビリテーション治療. 第 57 回日本リハビリテーション医学会学術集会, 2020.
- 3) ◎佐々木信幸. 脳卒中麻痺と痙縮に対する治療戦略. 第 45 回日本脳卒中学会学術集会, 2020.
- 4) ◎佐々木信幸. 急性期脳卒中リハビリテーションにおける磁気刺激の役割～急性期に求められる機能改善とは?慢性期とは意義の異なる急性期 rTMS～. 第 2 回日本スティミュレーションセラピー学会, 2020.
- 5) ◎佐々木信幸. ボツリヌス療法は痙縮治療の第一歩、しかし第一歩にすぎない. 第 7 回日本ボツリヌス治療学会学術集会, 2020.
- 6) ◎中田秀一, 横山仁志, 堅田紘頌, 葦澤光太郎, 佐々木信幸, 森澤健一郎, 平泰彦, 藤谷茂樹. 複数の

合併症を併発した重症 COVID-19 患者へのリハビリテーション経験. 第 48 回日本集中治療医学会学術総会, 2021.

- 7) ◎堅田紘頌, 横山仁志, 中田秀一, 菫澤光太郎, 佐々木信幸, 森澤健一郎, 平泰彦, 藤谷茂樹. COVID-19 にて ECMO 管理となった症例へのリハビリテーションが有効と考えられた 1 例. 第 48 回日本集中治療医学会学術総会, 2021.
 - 8) ◎横山仁志, 堅田紘頌, 中田秀一, 菫澤光太郎, 佐々木信幸, 森澤健一郎, 平泰彦, 藤谷茂樹. 重症 COVID 19 患者におけるリハビリテーション介入の実施報告. 第 48 回日本集中治療医学会学術総会, 2021.
- ② その他
- 1) ◎佐々木信幸. 回復期リハビリテーションに必要な評価. 第 8 回医師のための総合リハビリテーション講座, 2020.
 - 2) ◎佐々木信幸. 脳卒中後遺症はもっと治せる～新たな脳卒中治療戦略～. 地域連携 web セミナー, 2020.
 - 3) ◎佐々木信幸. 復職のための麻痺・高次脳機能治療. 埼玉県医師会産業医研修会, 2020.
 - 4) ◎佐々木信幸. 急性期脳卒中のリハビリテーション. 急性期病院でのリハビリテーション処方作成法研修会, 2020.
 - 5) ◎佐々木信幸. 痙縮治療のその先に. 痙縮エキスパートミーティング, 2020.
 - 6) ◎佐々木信幸. 呼吸器リハビリテーション. 総合力のつくりハビリテーション専門職研修, 2020.
 - 7) ◎佐々木信幸. 医学的に正しく麻痺を治す. 第 1 回地域リハビリテーション講習会, 2021.
 - 8) ◎佐々木信幸. 中枢神経症状に対する新たな治療戦略. 第 79 回聖マリアンナ医科大学医学会学術集会, 2021.
 - 9) ◎佐々木信幸. 脳卒中麻痺・痙縮への新たな治療戦略. 脳卒中後遺症麻痺治療連携セミナー, 2021.

		和文	英文
著 書		3	
論 文	原著		
	解説又は総説	6	
	症例報告		
	その他	1	
学会発表	国内学会	8	
	国際学会		
	その他	9	

感染症学

著書

- 1) 國島広之. C. difficile 感染での治療方針,新しい治療薬についても教えてください AST 虎の巻:日常の疑問に答える! 2020;(1):61-67.

学術論文[和文]

① 原著

- 1) 土田知也, 山崎行敬, 國島広之, 廣瀬雅宣, 藤谷茂樹, 松田隆秀. 新型コロナウイルス陽性患者の臨床経過自験 6 例の肺炎像の有無と PCR 陰性化時期について. 感染症学雑誌, 2020;94(4):514-519.

② 総説又は症例解説

- 1) 國島広之. 類鼻疽(メリオイドーシス). 臨床と微生物, 2020;47(3):33-37.
- 2) 高野知憲, 山崎行敬, 國島広之. 訪日外国人の感染症治療における empiric therapy. 診断と治療, 2020;108(67):887-891.
- 3) 中谷佳子, 國島広之, 徳田浩一. ビュッフエスタイルレストランの汚染リスクとその対策～新型コロナウイルス感染症とともに生活するために～. 環境感染誌, 2020;2(36):89-91.
- 4) 山崎行敬, 高野知憲, 國島広之. 日本の COVID-19 診療の指針 -これまでの経験から見えてきた診療の在り方. 感染と抗菌薬, 2021;24(1):1-8.

③ その他

- 1) Alice Y. Guh, Preeta K. Kutty (監修: 斎藤浩輝, 國島広之). In the Clinic® Clostridioides difficile 感染症. Clostridioides difficile Infection (Japanese Version), 2021:: DOI-10.7326/IsTranslatedFrom_AITC201810020_Japanese.

学術論文[英文]

① 原著

- 1) Daisuke Yoneoka, Takayuki Kawashima, Yuta Tanoue, Shuhei Nomura, Keisuke Ejima, Shoi Shi, Akifumi Eguchi, Toshibumi Taniguchi, Haruka Sakamoto, Hiroyuki Kunishima, Stuart Gilmour, Hiroshi Nishiura, Hiroaki Miyata. Early SNS-based monitoring system for the COVID-19 outbreak in Japan: a population-level observational study. J-stage, 2020::DOI-10.2188/jea.JE20200150.
- 2) Toshinori Hara, Hiromichi Suzuki, Tadatomo Oyanagi, Norito Koyanagi, Akihito Ushiki, Naoki Kawabata, Miki Goto, Yukio Hida, Yuji Yaguchi, Kiyoko Tamai, Shigeyuki Notake, Yosuke Kawashima, Akio Sugiyama, Keiichi Uemura, Seiya Kashiya, Toru Nanmoku, Satoshi Suzuki, Hiroshi Yamazaki, Hideki Kimura, Hiroyuki Kunishima, Hiroki Ohge. Clinical Evaluation of a Non-Purified Direct Molecular Assay for the Detection of Clostridioides Difficile Toxin Genes in Stool Specimens. PLOS ONE, 2020:: DOI-10.1371/journal.pone.0234119.
- 3) Shuhei Nomura, Daisuke Yoneoka, Shoi Shi, Yuta Tanoue, Takayuki Kawashima, Akifumi Eguchi, Kentaro Matsuura, Koji Makiyama, Keisuke Ejima, Toshibumi Taniguchi, Haruka Sakamoto,

Hiroyuki Kunishima, Stuart Gilmour, Hiroshi Nishiura, Hiroaki Miyata. An assessment of self-reported COVID-19 related symptoms of 227,898 users of a social networking service in Japan: Has the regional risk changed after the declaration of the state of emergency?. *The Lancet Regional Health - Western Pacific*, 2020; DOI:10.1016/j.lanwpc.2020.100011.

4) Daisuke Yoneoka, Yuta Tanoue, Takayuki Kawashima, Shuhei Nomura, Shoi Shi, Akifumi Eguchi, Keisuke Ejima, Toshibumi Taniguchi, Haruka Sakamoto, Hiroyuki Kunishima, Stuart Gilmour, Hiroshi Nishiura, Hiroaki Miyata. Large-scale epidemiological monitoring of the COVID-19 epidemic in Tokyo.

The Lancet Regional Health - Western Pacific, 2020; DOI:10.1016/j.lanwpc.2020.100016.

5) Satta Yusuke, Yamashita Masaki, Matsuo Yasumasa, Kiyokawa Hirohumi, Sato Yoshinori, Takemura Hiromu, Kunishima Hiroyuki, Yasuda Hiroshi, Itoh Fumio. Non-tuberculous Mycobacterial Pseudo-outbreak of an Intestinal Culture Specimen Caused by a Water Tap in an Endoscopy Unit. *Internal Medicine*, 2020;59(22):2811-2815.

6) Daisuke Yoneoka, Shoi Shi, Shuhei Nomura, Yuta Tanoue, Takayuki Kawashima, Akifumi Eguchi, Kentaro Matsuura, Koji makiyama, Shinya Uryu, Keisuke Ejima, Haruka Sakamoto, Toshibumi Taniguchi, Hiroyuki Kunishima, Stuart Gilmour, Hiroshi Nishiura, Hiroaki Miyata. Assessing the regional impact of Japan's COVID-19 state of emergency declaration: a population-level observational study using social networking services. *British Medical journal*, 2020; DOI : 10.1136/bmjopen-2020-042002.

7) Yamasaki Yukitaka, Ooka Seido, Tsuchida Tomoya, Nakamura Yuta, Hagiwara Yuta, Naitou Yoshiyuki, Ishibashi Yuki, Ikeda Hiroki, Sakurada Tsutomu, Handa Hiroshi, Nishine Hiroki, Takita Mumon, Morikawa Daiki, Yoshida Hideki, Fujii Shuichi, Morisawa Kenichiro, Takemura Hiromu, Fujitani Shigeki, Kunishima Hiroyuki. The peripheral lymphocyte count as a predictor of severe COVID-19 and the effect of treatment with ciclesonide. *Virus Research*, 2020;290 : 198089.

8) Tomoya Tsuchida, Kenya Ie, Chiaki Okuse, Masanori Hirose, Hisashi Nishisako, Keito Torikai, Taku Tanaka, Hiroyuki Kunishima, Takahide Matsuda. Determining the factors affecting serum presepsin level and its diagnostic utility: A cross-sectional study. *Journal of Infection and Chemotherapy*, 2021;27:585-591.

② 症例報告

1) Tomoya Tsuchida, Yukitaka Yamasaki, Hiroyuki Kunishima, Kentaro Sato, Minoru Kanazawa, Asami Moriuchi, Daiki Morikawa, Mumon Takita, Yoshiyuki Naito, Shuichi Fujii, Shigeki Fujitani, Takahide Matsuda. Treatment of two cases of COVID-19 with ciclesonide resulted in amelioration of pneumonia symptoms.

THE JAPANESE JOURNAL OF ANTIBIOTICS, 2020;73(2) : 35-44.

2) Tomoya Tsuchida, Yuko Nitahara, Shotaro Suzuki, Yuko Komase, Katherine Candray, asutoshi Kido, Yu Nakagama, Yukitaka Yamasaki, Mitsuru Imamura, Kimito Kawahata, Hiroyuki Kunishima, Shigeki Fujitani, Masamichi Mineshita, Takahide Matsuda. Back to Normal;

Serological Testing for COVID-19 Diagnosis Unveils Missed Infections. *Journal of Medical Virology*, 2021;93(7):4549-4552.

③ その他

- 1) Tomoya Tsuchida, Shigeki Fujitani, Yukitaka Yamasaki, Hiroyuki Kunishima, Takahide Matsuda. Development of a Protective Device for RT-PCR Testing SARS-CoV-2 in COVID-19 Patients. *Infect Control Hosp Epidemiol*, 2020;:1-2.
- 2) Tomoya Tsuchida, Yukitaka Yamasaki, Masanori Hirose, Hiroyuki Kunishima, Shigeki Fujitani, Takahide Matsuda. A Hand Shield for Healthcare Workers -A Brief Report of New Type of Personal Protective Equipment. *JOURNAL OF HOSPITAL GENERAL MEDICINE*, 2021;3(1) : 40-41.

学会発表

① 国内学会

- 1) ◎石田健佑, 古屋直樹, 西田皓平, 柿沼一隆, 萩原悠太, 石橋祐記, 山崎行敬, 土田知也, 國島広之, 峯下昌道. LAMP 陰性かつ PCR 陰性でも隔離解除できなかった COVID-19 疑似症肺炎の一例. 第 78 回聖マリアンナ医科大学 内科合同勉強会, 2020.
- 2) ◎國島広之. 新型コロナウイルス感染症. 第 23 回日本臨床腸内微生物学会総会 教育講演 2, 2020.
- 3) ◎竹村弘, 寺久保繁美, 山崎行敬, 竹内萌, 國島広之. 当院におけるカルバペネム耐性腸内細菌科細菌の分離状況. 第 68 回日本化学療法学会総会, 2020.
- 4) ◎國島広之. 再発による弊害. 第 68 回日本化学療法学会総会 スポンサーシンポジウム C. *difficile* 感染症において再発を考慮した治療戦略, 2020.
- 5) ◎國島広之. 感染症診療におけるプロバイオティクス. 第 68 回日本化学療法学会総会 スポンサーシンポジウム Microbiota, 2020.
- 6) ◎松井秀仁, 福地邦彦, 大塚喜人, 國島広之, 吉田耕一郎, 鈴木克典, 花木秀明. 血液由来 MRSA における β -lactam antibiotic-induced vancomycin resistant MRSA の分離率調査. 第 68 回日本化学療法学会総会 ブドウ球菌-2 : MRSA, 疫学, 2020.
- 7) ◎高田啓介, 井上純樹, 廣瀬直樹, 倉田武徳, 南雲史雄, 石井淳一, 内田仁樹, 佐村優, 國島広之. *Streptococcus agalactiae* による内因性眼内炎を認めた一例. 第 68 回日本化学療法学会総会 レンサ球菌/腸球菌, 2020.
- 8) ◎南雲史雄, 高田啓介, 倉田武徳, 井上純樹, 廣瀬直樹, 石井淳一, 内田仁樹, 佐村優, 國島広之. Antimicrobial stewardship 活動を通じ *Streptococcus dysgalactiae* による心内膜炎を救命しえた一例. 第 68 回日本化学療法学会総会 感染性心内膜炎, 2020.
- 9) ◎國島広之. 医師から抗菌化学療法認定薬剤師への期待. 第 68 回日本化学療法学会総会 抗菌化学療法認定薬剤師制度 10 周年企画, 2020.
- 10) ◎山田優也, 内田圭一郎, 木村裕子, 小塩智康, 國島広之. *Candida orthopsilosis* によるカテーテル関連血流感染症の 1 例. 第 68 回日本化学療法学会総会 真菌, 2020.
- 11) ◎内田仁樹, 高田啓介, 南雲史雄, 倉田武徳, 廣瀬直樹, 石井淳一, 井上純樹, 佐村優, 國島広之. 当院におけるテジゾリドの使用実態調査. 第 68 回日本化学療法学会総会 ブドウ球菌-4 : MRSA,

MRCNS 治療, 2020.

- 12) ◎國島広之. 『糖尿病患者の注射療法に関する感染マネジメントバンドル』を使ってみよう!. 第 25 回 日本糖尿病教育・看護学会学術集会 交流集会, 2020.
 - 13) ◎内藤純行, 土田知也, 山崎行敬, 紺野千穂, 小波本直也, 水野晴貴, 金澤実, 三上翔平, 吉田英樹, 田北無門, 森川大樹, 藤谷茂樹, 平泰彦, 大坪毅人, 北川博昭, 松田隆秀. 新型コロナウイルス感染重症例における患者・医師関係の構築および倫理的課題-自験例を通じて. 第 21 回日本病院総合診療医学会学術総会, 2020.
 - 14) ◎國島広之. With コロナ時代に医療従事者が知っておくべき感染対策. 第 18 回 日本臨床医療福祉学会 ランチョンセミナー, 2020.
 - 15) ◎國島広之. 地域で育てる抗菌薬適正使用支援チーム(AST). 第 30 回日本医療薬学会年会 シンポジウム 63 自施設を飛び出せ! 薬剤師が如何に地域の感染対策に関わっていくのか?, 2020.
 - 16) ◎國島広之. COVID-19 up to date. 第 90 回日本感染症学会西日本地方会学術集会 第 63 回日本感染症学会中日本地方会学術集会 第 68 回日本化学療法学会西日本支部総会, 2020.
 - 17) ◎國島広之. C. difficile 感染症. 第 33 回日本外科感染症学会総会学術集会 外科感染症入門講座 7, 2020.
 - 18) ◎國島広之. CDI 診療の課題と対策. 第 33 回日本外科感染症学会総会学術集会 ランチョンセミナー 8, 2020.
 - 19) ◎國島広之. with コロナ時代における感染症診療と感染対策. 第 41 回日本臨床薬理学会学術総会 シンポジウム 8 グローバルな視点から見た感染の課題と対策, 2020.
 - 20) ◎山崎行敬. 膝の疼痛を訴えた慢性関節リウマチ通院中の 70 代男性. 第 32 回日本臨床微生物学会 総会・学術集会 医師を感激させた微生物検査 version6.0, 2021.
 - 21) ◎小野元, 安心院康彦, 渥美生弘, 稲田眞治, 國島広之, 嶋津岳士, 横堀将司, 吉川美喜子, 水谷敦史, 横田裕行, 江川裕人. COVID-19 感染症における新しい臓器提供体制の構築. 第 26 回日本脳神経外科救急学会, 2021.
 - 22) ◎國島広之. COVID-19 の最新状況. 日本内科学会東海支部第 79 回生涯教育講演会, 2021.
- ② その他
- 1) ◎國島広之. 新型コロナウイルス(COVID-19)感染症の疫学及び病態. ミヤリサン製薬株式会社中央研究所 WEB 研修会, 2020.
 - 2) ◎國島広之. COVID-19 罹患しないために ~皆さんはどのようにすべきか~. ミヤリサン製薬株式会社社内 WEB 講演会, 2020.
 - 3) ◎國島広之. COVID-19 の疫学と病態. 第 1 回 消化器内科医として知っておきたい COVID-19 Web 講演会, 2020.
 - 4) ◎國島広之. COVID-19 の疫学と病態. 第 2 回 消化器内科医として知っておきたい COVID-19 Web 講演会, 2020.
 - 5) ◎國島広之. COVID-19 の疫学と病態. 第 3 回 消化器内科医として知っておきたい COVID-19 Web 講演会, 2020.
 - 6) ◎國島広之. COVID-19 の疫学と病態. 第 4 回 消化器内科医として知っておきたい COVID-19 Web 講演会, 2020.

- 7) ◎國島広之. ウィズコロナ時代における呼吸器感染症について. WEB キョーリン in KAWASAKI, 2020.
- 8) ◎國島広之. With コロナ時代における感染症対策：糖尿病患者への注意点を交えて. TAISHO Web Seminar ～糖尿病×感染症～, 2020.
- 9) ◎國島広之. 医療現場における COVID-19 対策と今後の向き合い方. Janssen Web Seminar, 2020.
- 10) ◎國島広之. 新型コロナウイルスにおける最新知見. Medical Web Seminar in Kanagawa これからの感染症対策に、新たな提言を, 2020.
- 11) ◎國島広之. 新型コロナウイルス感染症に関する講演会. 盛岡市医師会内科医会(廿日会)特別講演会, 2020.
- 12) ◎國島広之. 新型コロナウイルス感染症の予防策. 令和 2 年度参議院政策担当秘書研修, 2020.
- 13) ◎國島広之. 新型コロナウイルス感染症にかからないためにできること. 地域医療連携 WEB セミナー, 2020.
- 14) ◎國島広之. AMR アクションプラン CDI ガイドラインを含めて. ミヤリサン製薬社内 Web 講演会, 2020.
- 15) ◎國島広之. 新型コロナウイルス感染症～現状と今後の対応～. 緑区民のための公開講演会, 2020.
- 16) ◎國島広之. 新型コロナウイルス-疫学と病態-. 第 26 回東海地区感染制御研究会学術講演会, 2020.
- 17) ◎國島広之. 薬剤耐性(AMR)とワンヘルス(One health)～院内肺炎を中心に～. 感染症インターネット講演会, 2020.
- 18) ◎國島広之. 新型コロナウイルス感染症拡大防止のための対策について. 神奈川県神道青年会 研修会, 2020.
- 19) ◎國島広之. COVID-19 とインフルエンザの最新知見. 第 134 回江戸川区小児科医会学術講演会, 2020.
- 20) ◎國島広之. COVID-19 診断、治療、予防・わかってきたこと. 相模原市プライマリ・ケア研究会, 2020.
- 21) ◎國島広之. COVID-19 とインフルエンザの最新知見. 世田谷区医師会学術講演会, 2020.
- 22) ◎國島広之. COVID-19 への対応～平時・アウトブレイク時・ポストアウトブレイク時～. 感染制御ソーシャルネットワーク コビット・マルシェ-新型コロナウイルス感染症のこれまでとこれから-第 3 回「感染制御のエビデンスと将来展望」, 2020.
- 23) ◎國島広之. 耐性グラム陰性菌感染症の最近の話題～院内肺炎を中心に～. 感染症インターネット講演会-東海地区感染制御研究会-, 2020.
- 24) ◎國島広之. インフルエンザの最新知見. 第 35 回近畿 ID カンファレンス, 2020.
- 25) ◎國島広之. COVID-19 とインフルエンザの最新知見. 埼玉西部 新型コロナ・インフルエンザセミナー, 2020.
- 26) ◎國島広之. COVID-19 とインフルエンザの最新知見. 釧路インフルエンザ感染症セミナー, 2020.
- 27) ◎國島広之. COVID-19 とインフルエンザの最新知見. 秋田感染症セミナー2020, 2020.
- 28) ◎國島広之. 針刺し切創における感染対策 up to date. 令和 2 年度第 4 回愛知県実践感染対策カンファレンス, 2020.
- 29) ◎國島広之. COVID-19 とインフルエンザの最新知見. 川口市医師会学術講演会, 2020.

- 30) ◎國島広之. 新型コロナウイルス感染症～現状と今後の対応～. 緑区霧が丘地区住民のための講演会, 2020.
- 31) ◎國島広之. COVID-19 とインフルエンザの最新知見. Influenza Web Seminar in Fukushima, 2020.
- 32) ◎國島広之. 医療現場下での COVID-19 と冬場の感染症対策. 神奈川県精神神経科診療所協会・神奈川県精神科病院協会合同 ゼプリオン TRI 新発売記念 WEB 講演会, 2020.
- 33) ◎國島広之. COVID-19 とインフルエンザの同時流行における対応～日本感染症学会の提言を踏まえて～. 船橋市医師会公衆衛生 Web 講習会, 2020.
- 34) ◎國島広之. 新型コロナウイルス～最新の知見～. 第 52 回 東海抗菌化学療法研究会, 2020.
- 35) ◎國島広之. COVID-19 とインフルエンザの最新知見. COVID-19 とインフルエンザを考える会 onWEB, 2020.
- 36) ◎國島広之. COVID-19 とインフルエンザの最新知見. Influenza Web Conference, 2020.
- 37) ◎國島広之. 糖尿病治療に関する針刺し・切創ゼロを目指して～糖尿病患者の注射療法に関する感染マネジメントバンドル～. BD 主催 Webinar1, 2020.
- 38) ◎國島広之. 針刺し損傷防止機能付きペン型注入器用注射針の導入による医療従事者の効果. BD 主催 Webinar2, 2020.
- 39) ◎國島広之. COVID-19 とインフルエンザの最新知見. 川崎市外科医会学術講演会, 2020.
- 40) ◎國島広之. COVID-19 とインフルエンザの最新知見. 第 66 回江東区小児科医会学術講演会, 2020.
- 41) ◎國島広之. セプシスの最近の話題. 感染症特別講演会 2021, 2021.
- 42) ◎國島広之. 新型コロナウイルス感染症の最近の話題. 令和 2 年度相模原市重症心身障害児者・医療的ケア児等看護研修, 2021.
- 43) ◎國島広之. COVID-19 流行下における感染対策に関して. リコモジュリンオンライン社内講演会, 2021.
- 44) ◎國島広之. 新型コロナウイルス感染症の最新情報. かわさき救急フォーラム・かわさき災害医療ネットワーク合同学術講演会, 2021.
- 45) ◎國島広之. COVID-19 関連と感染症の最新トピックスについて. 感染症 Live Seminar in 鶴岡, 2021.
- 46) ◎國島広之. 新型コロナウイルス-疫学と病態-. 第 18 回北大阪感染症研究会, 2021.
- 47) ◎國島広之. 腹腔内感染症の診断と治療. 日本病院薬剤師会 令和 2 年度感染制御専門薬剤師講習会, 2021.
- 48) ◎國島広之. COVID-19 に対するワクチン接種アンケート結果と今後の展望. 研究開発本部全体研修, 2021.
- 49) ◎國島広之. 真菌症治療の知識向上のため. 神奈川感染症オンラインセミナー, 2021.
- 50) ◎國島広之. COVID-19 の治療薬に関する最近の話題. 第 3 回 COVID-19 臨床懇談会「COVID-19 治療薬-直接効果が期待される薬剤-」, 2021.
- 51) ◎國島広之. 新型コロナウイルス感染症の現状と今後. 公益社団法人東京都専修学校各種学校協会 新型コロナウイルス感染防止対策研修会, 2021.
- 52) ◎國島広之. COVID-19 流行下における呼吸器感染症とラスクフロキサシンへの期待. 感染症

Expert Meeting, 2021.

53) ◎國島広之. コロナ禍における感染対策. Taisho Virtual Seminar, 2021.

		和文	英文
著 書		1	
論 文	原著	1	8
	解説又は総説	4	
	症例報告		2
	その他	1	2
学会発表	国内学会	22	
	国際学会		
	その他	53	

医学教育文化部門(語学系)

著書

- 1) 内藤麻緒, 渋谷和郎, 野村忠夫, 女鹿喜治, 土居峻, その他. 第 III 部 英米文学 今さら聞けない 英語学・英語教育学・英米文学 2020::198-201.
- 2) 内藤麻緒, 萩原明子, 小林薫, 権蛇千香, 星野裕子, Andrea D. Little. ライフサイエンスのための英語 I. 基本スキル編 2021::1-170.

		和文	英文
著 書		2	
論 文	原著		
	解説又は総説		
	症例報告		
	その他		
学会発表	国内学会		
	国際学会		
	その他		

医学教育文化部門(人文・社会科学)

学術論文[和文]

① その他

- 1) 小田武彦, 櫛島次郎, 三浦靖彦, 西智弘, 井川裕覚, 井野元勤, 江口一彦, 荏原太, 長谷川修, 高見沢重隆, 金森晃. 安楽死を考える - 医師による死の幫助・医療措置の中止・最期まで延命措置、私たちの選択は? - . 新薬と臨床, 2021;70(2):81-118.

学会発表

① その他

- 1) ◎小田武彦, 櫛島次郎, 三浦靖彦, 西智弘, 井川裕覚. 悲哀 (アガペー) に抱かれて生きる. 神奈川県内科医学会 健康長寿社会を目指す委員会 パネルディスカッション, 2020.

		和文	英文
著 書			
論 文	原著		
	解説又は総説		
	症例報告		
	その他	1	
学会発表	国内学会		
	国際学会		
	その他	1	

医学教育文化部門(医学情報学)

学術論文[英文]

① 原著

- 1) Nagasaka M, Yamagishi M, Yagishita N, Araya N, Kobayashi S, Makiyama J, Kubokawa M, Yamauchi J, Hasegawa D, Coler-Reilly ALG, Tsutsumi S, Uemura Y, Arai A, Takata A, Inoue E, Hasegawa Y, Watanabe T, Suzuki Y, Uchimaru K, Sato T, Yamano Y. Mortality and risk of progression to adult T-cell leukemia/lymphoma in HTLV-1-associated myelopathy/tropical spastic paraparesis. *Proceedings of the National Academy of Sciences of the United States of America*, 2020;117(21):11685-11691.
- 2) Yamakawa N, Yagishita N, Matsuo T, Yamauchi J, Ueno T, Inoue E, Takata A, Nagasaka M, Araya N, Hasegawa D, Coler-Reilly A, Tsutsumi S, Sato T, Araujo A, Casseb J, Gotuzzo E, Jacobson S, Martin F, Puccioni-Sohler M, Taylor GP, Yamano Y: Japan Clinical Research Group on HAM/TSP. Creation and validation of a bladder dysfunction symptom score for HTLV-1-associated myelopathy/tropical spastic paraparesis. *Orphanet J Rare Dis*, 2020;15(1):175.
- 3) Osako K, Shibagaki Y, Inoue E, Sakurada T. Effects of age and sex on the relationship between body fat area and kidney events in patients with chronic kidney disease. *Therapeutic Apheresis and Dialysis*, 2020;online(ahead):of-print.

学会発表

① 国内学会

- 1) ◎早川智絵, 稲山久美子, 干川晶弘, 井村穰二, 宇杉美由紀, 半田留美子, 上野隆彦, 有泉泰, 小池淳樹. EUS-FNA におけるコンタミ細胞の特徴像と臍病変との鑑別. 第 61 回日本臨床細胞学会総会, 2020.
- 2) ◎上野隆彦. 仮説検定の考え方～導入の一例～. 第 18 回統計教育の方法論ワークショップ/理数系教員授業力向上研修オンライン, 2020.
- 3) ◎吉村加代, 勝田友博, 立浪忍, 清水直樹. 両親が子どものコロナウイルス感染症 2019 ワクチン開発の治験参加を了承する要因についての検討. 第 24 回日本ワクチン学会学術集会, 2020.

		和文	英文
著 書			
論 文	原著		3
	解説又は総説		
	症例報告		
	その他		
学会発表	国内学会	3	
	国際学会		
	その他		

医学教育文化部門(医学教育研究)

著書

- 1) 伊野美幸. 設問 5.リサーチマインドの涵養 2019 年度 (令和元年度) 医学教育カリキュラムの現状 2020;:172.
- 2) 伊野美幸. 設問 6.臨床実習入門 2019 年度 (令和元年度) 医学教育カリキュラムの現状 2020;:185.

学術論文[和文]

① 原著

- 1) 望月篤, 田嶋ティナ宏子, 東郷建, 信岡祐彦, 伊野美幸. 聖マリアンナ医科大学における入学時宿泊研修の初年次教育への導入効果. 聖マリアンナ医科大学雑誌, 2020;48(1):31-36.
- 2) 春田淳志, 後藤道子, 野呂瀬崇彦, 村岡千種, 伊野美幸, 石川さと子, 内山靖, 大槻眞嗣, 加藤博孝, 後藤亮平, 内藤知佐子, 前野貴美, 吉見憲二, 安井浩樹. オンラインでの多職種連携教育実践報告 第 1 報 初年次学生を対象とした教育的なインタラクションを促すオンラインの工夫. 医学教育, 2021;52(1):53-57.
- 3) 黄世捷, 伊佐早健司, 望月篤, 伊野美幸, 明石嘉浩, 信岡祐彦. 医学部卒前教育における ICT を利用した実践型 Problem-Based Learning の開発と導入. 聖マリアンナ医科大学雑誌, 2021;48(4):197-210.

② 総説又は症例解説

- 1) 望月篤, 田嶋ティナ宏子, 明石嘉浩, 伊野美幸. 臨床実習後客観的臨床能力試験に向けて求められる医学教育上の変化と工夫. 聖マリアンナ医科大学雑誌, 2020;48(1):1-6.
- 2) 信岡祐彦, 望月篤, 黄世捷, 藤原多鶴子, 伊野美幸, 井上莊一郎. シミュレーション教育の充実に必要なもの 質的統合法(KJ法)による検討. 新しい医学教育の流れ, 2021;20(3):35-138.

③ その他

- 1) 日本医学教育学会 医学教育専門家・業績 FD 委員会 (伊野美幸 他). 第 46 回医学教育者のためのワークショップ (富士研ワークショップ) の記録 (第 2 報). 医学教育, 2020;51(2):155-165.

学術論文[英文]

① 原著

- 1) Mochizuki Atsushi, Tajima Tina Hiroko, Asano Takayuki, Ino Miyuki. Comparison of Two Methods Used for Final Internship Evaluation at St. Marianna University Hospital. Journal of St. Marianna University, 2020;11(2):103-108.

学会発表

① 国内学会

- 1) ◎黄世捷, 明石嘉浩, 土田知也, 伊佐早健司, 望月篤, 伊野美幸, 信岡祐彦. AI 問診アプリは臨床推論教育の敵か味方か. 第 52 回日本医学教育学会大会, 2020.
- 2) ◎大泉京子, 伊野美幸, 信岡祐彦, 望月篤, 近藤昭子, 田中恒明, 佐野政子. リーダー養成研修アドバ

ンスの受講者がとらえる多職種連携コンピテンシー. 第 52 回日本医学教育学会大会, 2020.

② その他

- 1) 伊野美幸. プログラム責任者の業務と役割. 令和 2 年度プログラム責任者養成講習会, 2020.
- 2) 伊野美幸. 研修医・指導医のストレス. 令和 2 年度プログラム責任者養成講習会 (2020 年 11 月 1 日), 2020.
- 3) 伊野美幸. 研修医・指導医のストレス. 令和 2 年度プログラム責任者養成講習会 (2020 年 11 月 3 日), 2020.
- 4) 伊野美幸. プログラム責任者の業務と役割. 令和 2 年度プログラム責任者養成講習会, 2020.
- 5) 伊野美幸. アイスブレイキング. 第 16 回北里大学病院初期臨床研修指導医養成ワークショップ, 2020.
- 6) 伊野美幸. 研修医へのフィードバック (コーチング). 第 16 回北里大学病院初期臨床研修指導医養成ワークショップ, 2020.

		和文	英文
著 書		2	
論 文	原著	3	1
	解説又は総説	2	
	症例報告		
	その他	1	
学会発表	国内学会	2	
	国際学会		
	その他	6	

難病治療研究センター

著書

- 1) 山野嘉久. HTLV-1 関連脊髄症 (HAM) の新たな診療ガイドライン Annual Review 神経 2020 2020;:131-136.
- 2) 杉下陽堂, 鈴木直. がんサバイバー 生殖と周産期のリエゾン 2020;(1):64-72.
- 3) 杉下陽堂, 鈴木直. 第3章 内科的・外科的疾患における妊孕性と周産期予後の問題 5.がんサバイバー 生殖と周産期のリエゾン～生殖医が知っておくべきこと、産科医ができること～ 2020;:64-72.
- 4) Sugishita Y, Kawahara T, Horage Y, Takae S, Igarashi S, Suzuki N.. Chapter24 Cryopreservation of ovarian tissue by Vitrification Fertility Preservation principles and practice 2021;(2):273-279.
- 5) Kazuo Yudoh, Naoko Yui, Ko Terauchi, Hajime Kobayashi, Takanori Kumai, Shu Somemura. CHAPTER 21: Sirtuins in bone and cartilage biology SIRTUIN BIOLOGY IN MEDICINE 2021;:341-351.

学術論文[和文]

① 原著

- 1) 佐藤知雄, 山野嘉久. 免疫性神経疾患 update —基礎・臨床研究の最新知見— HAM に対する治療薬の現況と展望. 日本臨床, 2020;78(11):1939-1944.
- 2) 長谷川大輔, 長谷川高志, 酒巻哲夫, 山野嘉久. 難病 HTLV-1 関連脊髄症 (HAM) 患者を対象としたオンライン診療等の医療ニーズに関する患者意識調査結果について. 日本遠隔医療学会雑誌, 2020;16(2):75-82.
- 3) 竹中基記, 古井辰郎, 高江正道, 杉下陽堂, 川原泰, 重松幸佑, 木村文則, 堀江昭史, 原鐵晃, 加藤雅志, 西山博之, 鈴木達也, 宮城充, 金西賢治, 久保恒明, 中山理, 梶山広明, 高井泰, 鈴木直. がん・生殖医療連携未整備地域 24 か所の現状と課題—地域格差を解消するための施策—. 癌と化学療法, 2020;47(12):1691-1696.
- 4) 曾我海馬, 清水高弘, 飯島直樹, 鷹尾直誠, 土橋瑤子, 柴田宗一郎, 小倉英, 萩原悠太, 栗田千尋, 佐々木直, 秋山久尚, 長谷川泰弘, 山野嘉久. 頸動脈狭窄患者において血清 MMP-9 濃度は頭蓋内主幹動脈狭窄リスクと関連する. 聖マリアンナ医科大学雑誌, 2020;48(3):101-108.
- 5) 白石絵莉子, 洞下由記, 高江正道, 鈴木由妃, 澤田紫乃, 岩端秀之, 杉下陽堂, 岡本愛光, 鈴木直. 妊孕性温存胚を用いたがん・生殖医療の有効性と安全性に関する検証. 関東連合産科婦人科学会誌, 2021;58(1):141-144.

② 総説又は症例解説

- 1) 山野嘉久. HTLV-1 関連脊髄症 (HAM) の患者参加型の研究と創薬. Neuroinfection, 2020;25(1):87-91.
- 2) 山野嘉久. HAM/TSP の診断指針 HTLV-1 関連脊髄症 (HAM) 診察ガイドライン 2019 を踏まえて. 脊椎脊髄ジャーナル, 2020;33(4):498-503.
- 3) 長谷川大輔. 第4回 IoMT サミットを振り返って. Journal of Internet of Medical Things, 2020;3(1):64-67.

- 4) 山内淳司, 山野嘉久. HTLV-1 関連脊髄症. CLINICAL NEUROSCIENCE, 2020;38(10):1270-1271.
 - 5) 杉下陽堂. 【周産期キーワード 30 アップデート 最新&レベルアップの知識で助産力を磨く】妊娠不妊症・不育症. ペリネイタルケア, 2020;39(10):1014-1015.
 - 6) 山内淳司, 山野嘉久. HTLV-1 関連脊髄症 (HAM) の発症メカニズム. 周産期医学, 2020;50(10):1695-1698.
 - 7) 山野嘉久. HTLV-1 関連脊髄症 (HAM) の研究進展からみえる診療の未来像. 宝函, 2020;41(3):21-30.
 - 8) 山内淳司, 山野嘉久, 湯沢賢治. 臓器移植における HTLV-1 感染への対応. 日本臨床腎移植学会雑誌, 2020;8(1):42-51.
 - 9) 八木下尚子, 山野嘉久. HTLV-1 関連脊髄症. 生体の科学, 2020;71(5):422-423.
 - 10) 新谷奈津美, 山野嘉久. HTLV-1 関連脊髄症 (HAM)の病態. 別冊 BIO Clinica, 2020;9(2):29-33.
 - 11) 小松梨恵, 仁木久照, 遊道和雄, 藤井亮爾. SPACIA1/SAAL1 の遺伝子欠損. 整形外科, 2021;1(72):74.
- ③ 症例報告
- 1) 鷹尾直誠, 櫻井謙三, 日野栄絵, 山野嘉久. 再発性細菌性髄膜炎の原因として鼻汁を契機に鼻性髄液漏の診断に至った一例. 臨床神経, 2020;61(3):177-181.
 - 2) 萩原悠太, 菊池崇之, 赤須友香利, 松本博文, 鍋木 圭, 柴田宗一郎, 笹野恭之, 齋藤善光, 清水高弘, 山野嘉久. 扁桃周囲膿瘍に対する経口腔咽頭超音波ガイド下排膿穿刺術—経口腔頸動脈超音波の応用—. Neurosonology, 2020;33(2):45-49.
- ④ その他
- 1) 遊道和雄. 大学院に求められる事. 川崎市医師会会報, 2020;372:72-73.
 - 2) 山野嘉久. Pick-up 脳卒中 スーパードクターに教わる最新治療 2021. 文藝春秋, 2021::AD.
 - 3) 山野嘉久. HTLV-1 関連脊髄症の診察環境が前進 根本的治療の研究も進行中. メディカルトリビューン, 2021::1-5.

学術論文[英文]

① 原著

- 1) Nagasaka M, Yamagishi M, Yagishita N, Araya N, Kobayashi S, Makiyama J, Kubokawa M, Yamauchi J, Hasegawa D, Coler-Reilly ALG, Tsutsumi S, Uemura Y, Arai A, Takata A, Inoue E, Hasegawa Y, Watanabe T, Suzuki Y, Uchimaru K, Sato T, Yamano Y. Mortality and risk of progression to adult T-cell leukemia/lymphoma in HTLV-1-associated myelopathy/tropical spastic paraparesis. Proceedings of the National Academy of Sciences of the United States of America, 2020;117(21):11685-11691.
- 2) Takeda R, Ishigaki T, Ohno N, Yokoyama K, Kawamata T, Fukuyama T, Araya N, Yamano Y, Uchimaru K, Tojo A.
Immunophenotypic analysis of cerebrospinal fluid reveals concurrent development of ATL in the CNS of a HAM/TSP patient. International Journal of Hematology, 2020;111(6):891-896.
- 3) Yamakawa N, Yagishita N, Matsuo T, Yamauchi J, Ueno T, Inoue E, Takata A, Nagasaka M, Araya N, Hasegawa D, Coler-Reilly A, Tsutsumi S, Sato T, Araujo A, Casseb J, Gotuzzo E, Jacobson S, Martin F, Puccioni-Sohler M, Taylor GP, Yamano Y; Japan Clinical Research Group on HAM/TSP.

Creation and validation of a bladder dysfunction symptom score for HTLV-1-associated myelopathy/tropical spastic paraparesis. *Orphanet J Rare Dis*, 2020;15(1):175.

- 4) Mohd Faizal Ahmad, Yodo Sugishita, Yuki Suzuki-Takahashi, Shino Sawada Hideyuki Iwahata, Eriko Shiraishi, Seido Takae, Yuki Horage-Okutsu, Nao Suzuki. Oncofertility Treatment Among Breast Cancer Women: A Paradigm Shift of Practice After a Decade of Service. *Journal of Adolescent and Young Adult Oncology*, 2020;9(4):496-501.
- 5) Okuma K, Kuramitsu M, Niwa T, Taniguchi T, Masaki Y, Ueda G, Matsumoto C, Sobata R, Sagara Y, Nakamura H, Satake M, Miura K, Fuchi N, Masuzaki H, Okayama A, Umeki K, Yamano Y, Sato T, Iwanaga M, Uchimarui K, Nakashima M, Utsunomiya A, Kubota R, Ishitsuka K, Hasegawa H, Sasaki D, Koh KR, Taki M, Nosaka K, Ogata M, Naruse I, Kaneko N, Okajima S, Tezuka K, Ikebe E, Matsuoka S, Itabashi K, Saito S, Watanabe T, Hamaguchi I. Establishment of a novel diagnostic test algorithm for human T-cell leukemia virus type 1 infection with line immunoassay replacement of western blotting: a collaborative study for performance evaluation of diagnostic assays in Japan. *Retrovirology*, 2020;17(1):26.
- 6) Shimizu J, Yamano Y, Kawahata K, Suzuki N. Elucidation of predictors of disease progression in patients with relapsing polychondritis at the onset: potential impact on patient monitoring. *BMC rheumatology*, 2020;4(41): doi: 10.1186/s41927-020-00141-8.
- 7) Takao N, Hagiwara Y, Shimizu T, Soga K, Tsuchihashi Y, Otsubo H, Tatsuno K, Takaishi S, Usuki N, Yoshie T, Takada T, Ueda T, Hasegawa Y, Yamano Y.
Preprocedural Carotid Plaque Echolucency as a Predictor of In-stent Intimal Restenosis after Carotid Artery Stenting. *J Stroke Cerebrovasc Dis*, 2020;29(12):105339.
- 8) Tsuchihashi Y, Shimizu T, Akiyama H, Hagiwara Y, Soga K, Takao N, Uchino K, Yanagisawa T, Yamauchi J, Sato T, Hasegawa Y, Yamano Y. The Risk Factors for Death within 6 months after Ischemic Stroke in Patients with Cancer. *Journal of Stroke & Cerebrovascular Diseases*, 2020;29(12):105365.
- 9) Imuta H, Fujita D, Oba S, Kiyosue A, Nishimatsu H, Yudo K, Suzuki E. Histone methylation and demethylation are implicated in the transient and sustained activation of the interleukin-1 β gene in murine macrophages. *Heart and Vessels*, 2020;35:1746-1754.
- 10) Soga K, Shimizu T, Hagiwara Y, Ogura H, Akiyama H, Yamauchi J, Sato T, Hanzawa K, Hasegawa Y, Yamano Y. Soleal vein dilatation in the early-phase of hospitalization is associated with a subsequent development of deep vein thrombosis in patients with acute stroke. *Journal of Medical Ultrasonics*, 2021;(48):97-104.
- 11) Yamauchi J, Araya N, Yagishita N, Sato T, Yamano Y. An update on human T-cell leukemia virus type I (HTLV-1)-associated myelopathy/tropical spastic paraparesis (HAM/TSP) focusing on clinical and laboratory biomarkers. *Pharmacology & Therapeutics*, 2021;(218):107669.
- 12) Penova M, Kawaguchi S, Yasunaga J, Kawaguchi T, Sato T, Takahashi M, Shimizu M, Saito M, Tsukasaki K, Nakagawa M, Takenouchi N, Hara H, Matsuura E, Nozuma S, Takashima H, Izumo S, Watanabe T, Uchimarui K, Iwanaga M, Utsunomiya A, Tabara Y, Paul R, Yamano Y, Matsuoka

M, Matsuda F. Genome wide association study of HTLV-1 associated myelopathy/tropical spastic paraparesis in the Japanese population. Proceedings of the National Academy of Sciences of the United States of America, 2021;118(11): e2004199118.

- 13) Iwata Teppei, Sedukhina S Anna, Kubota Manabu, Oonuma Shigeko, Maeda Ichiro, Yoshiike Miki, Usuba Wataru, Minagawa Kimino, Hames Eleina, Meguro Rei, Cho Sunny, Chien H H Stephen, Urabe Shiro, Pae Sookhee, Palanisamy Kishore, Kumai Toshio, Yudo Kazuo, Kikuchi Eiji, Sato Ko. A new bioinformatics approach identifies overexpression of GRB2 as a poor prognostic biomarker for prostate cancer. Scientific Reports, 2021;11(11):5696.
- 14) Yatabe K, Muroi R, Kumai T, Kotani T, Somemura S, Yui N, Murofushi Y, Terawaki F, Kobayashi H, Yudoh K, Sakurai H, Miyano H, Fujiya H. Effects of Different Exercise Conditions on Antioxidant Potential and Mental Assessment. Sports, 2021;9(3):36:e1-e8.

② 症例報告

- 1) Sakurai K, Shinohara K, Imai T, Yamano Y, Hasegawa Y. A Case of Severe Multiple Sclerosis Manifesting upon GnRH Agonist Therapy for Uterine Fibroids: A Case Report. Internal Medicine, 2020;59(23):3093-3096.

学会発表

① 国内学会

- 1) ◎澤田紫乃, 五十嵐豪, 杉下陽堂, 洞下由記, 長谷川潤一, 鈴木直. 当院における原発性無月経に対する骨密度の評価と管理について. 第 72 回日本産科婦人科学会学術講演会, 2020.
- 2) ◎鈴木由妃, 杉下陽堂, 孟令博, 戸澤晃子, 長谷川潤一, 鈴木直. 妊孕性温存療法における未受精卵子凍結の改善策を探る—成熟卵子および未成熟卵子のミトコンドリア動態を解明する—. 第 72 回日本産科婦人科学会学術講演会, 2020.
- 3) ◎岩端秀之, 高江正道, 阿部恭子, 白石絵莉子, 鈴木由妃, 澤田紫乃, 杉下陽堂, 洞下由記, 長谷川潤一, 鈴木直. Cancer survivor の妊孕性改善を志向した卵巣組織移植治療成績に関する検証. 第 72 回日本産科婦人科学会学術講演会, 2020.
- 4) ◎洞下由記, 白石絵莉子, 鈴木由妃, 澤田紫乃, 岩端秀之, 杉下陽堂, 高江正道, 長谷川潤一, 鈴木直. 乳がん治療後に生殖医療を行った患者における ART 成績の検討. 第 72 回日本産科婦人科学会学術講演会, 2020.
- 5) ◎杉下陽堂. 共催セミナー22 GSM (閉経関連泌尿生殖器症候群) に対する炭酸ガスフラクショナル膣外陰レーザー療法の現状評価と今後の検証 1) 膣外陰レーザー療法の最新レビュー. 第 72 回日本産科婦人科学会学術講演会, 2020.
- 6) ◎太田有紀, 小林司, 大滝正訓, 武半優子, 木田圭亮, 渡辺実, 飯利太朗, 松本直樹, 武永美津子. 下肢筋委縮モデルに対する脂肪組織由来幹細胞エクソソーム投与の効果. 第 19 回日本再生医療学会総会, 2020.
- 7) ◎白石絵莉子, 洞下由記, 高江正道, 鈴木由妃, 澤田紫乃, 岩端秀之, 杉下陽堂, 岡本愛光, 鈴木直. 妊孕性温存胚を用いた生殖医療の有効性と安全性に関する検証. 第 139 回関東連合産科婦人科学会総会・学術集会, 2020.

- 8) ◎鈴木由妃, 杉下陽堂, 小澤南, 本吉愛, 久我麻美, 富永果林, 右田王介, 鈴木直, 津川浩一郎. 早発卵巣不全患者における染色体異常の状況. 第 44 回日本遺伝カウンセリング学会, 2020.
- 9) ◎本吉愛, 小澤南, 鈴木由妃, 杉下陽堂, 久我亜沙美, 富永果林, 右田王介, 津川浩一郎. 若年性乳癌を発症し、遺伝カウンセリングが治療の受容に有効であった Peutz-Jeghers 症候群の一例. 第 44 回日本遺伝カウンセリング学会学術大会, 2020.
- 10) ◎杉下陽堂, 鈴木由妃, 本吉愛, 小澤南, 久我亜沙美, 富永果林, 右田王介, 鈴木直, 津川浩一郎. トリプル X 症候群にて統合失調症および早発卵巣不全を呈した患者に対する遺伝カウンセリングの重要性. 第 44 回日本遺伝カウンセリング学会学術集会, 2020.
- 11) ◎小澤南, 右田王介, 富永果林, 阿部友嘉, 鈴木由妃, 杉下陽堂, 本吉愛, 長谷川潤一, 鈴木直, 清水直樹, 津川浩一郎. 単一施設における NIPT の経験. 第 44 回日本遺伝カウンセリング学会学術集会, 2020.
- 12) 藤井亮爾, 小松梨恵, 青野浩之, 仁木久照, 遊道和雄, 中島利博. 関節リウマチ滑膜細胞における SPACIA1 と TNF α による協調的細胞周期因子発現制御. 第 64 回日本リウマチ学会, 2020.
- 13) ◎本吉愛, 黒田貴子, 敦賀智子, 志茂新, 小島康幸, 白英, 川本久紀, 福田護, 小澤南, 鈴木由妃, 杉下陽堂, 右田王介, 富永果林, 久我亜沙美, 津川浩一郎. 治療選択目的の遺伝学的検査 (BRCA analysis) 導入における当院の取り組みとオラパリブ使用経験. 第 26 回日本遺伝性腫瘍学会学術集会, 2020.
- 14) ◎玉木慶子, 米良英和, 竹下翔, 藤岡伸助, 山野嘉久, 坪井義夫. 急速進行を呈した HTLV-1 関連脊髄症 (HAM) 3 症例の検討. 第 61 回日本神経学会学術大会, 2020.
- 15) ◎佐藤知雄. リアルワールドエビデンスを活用した「HAM 診療ガイドライン 2019」について. 第 61 回日本神経学会学術大会, 2020.
- 16) ◎岩端秀之, 洞下由記, 出田莉央, 松山夏美, 中嶋真理子, 古山紗也子, 鈴木由妃, 白石絵莉子, 澤田紫乃, 杉下陽堂, 高江正道, 鈴木直. 高容量アルキル化剤を用いたがん治療後に ART によって妊娠が成立した小児がんサバイバーの 1 例—移行医療への産婦人科医師参画の重要性について. 第 38 回日本受精着床学会総会・学術講演会, 2020.
- 17) ◎洞下由記, 岩端秀之, 出田莉央, 松山夏美, 中嶋真理子, 古山紗也子, 鈴木由妃, 澤田紫乃, 杉下陽堂, 高江正道, 鈴木直. AYA 世代がん患者に対する妊孕性温存凍結胚による妊娠成績の検証. 第 38 回日本受精着床学会総会・学術講演会, 2020.
- 18) ◎佐藤知雄, 山内淳司, 新谷奈津美, 高橋克典, 國友康夫, 八木下尚子, 山野嘉久. HAM 診療ガイドラインの活用実態および内容の評価に関する全国調査. 第 32 回日本神経免疫学会学術集会, 2020.
- 19) ◎杉下陽堂. 閉鎖型デバイスを用いた卵巣組織凍結 Vitrification 法の実際. 第 61 回日本卵子学会学術集会, 2020.
- 20) ◎澤田紫乃, 五十嵐豪, 杉下陽堂, 鈴木直. 当院における原発性無月経 4 例に対する DEXA 法による骨密度の評価と早期管理について. 日本骨粗鬆学会学術集会, 2020.
- 21) ◎秋山恭子, 志茂彩華, 志茂新, 小島康幸, 本吉愛, 白英, 川本久紀, 福田護, 白石絵莉子, 杉下陽堂, 高江正道, 洞下由記, 鈴木直, 津川浩一郎. 当院における AYA 世代の乳癌患者支援への取り組み. 第 28 回日本乳癌学会学術総会, 2020.
- 22) ◎藤井亮爾, 小松梨恵, 仁木久照, 遊道和雄. TNF α 誘導性リウマチ滑膜線維芽細胞におけるサイ

- クリンDキナーゼの発現と細胞増殖に関する検討. 第35回日本整形外科学会基礎学術集会, 2020.
- 23) ◎熊井隆智, 遊道和雄, 染村嵩, 谷田部かなか, 小谷貴史, 仁木久照, 藤谷博人. 骨芽細胞における光感受応答機構の解明と光刺激による骨形成能の誘導. 第35回日本整形外科学会基礎学術集会, 2020.
- 24) ◎寺内昂, 遊道和雄, 仁木久照, 藤谷博人. 変形性関節症の軟骨細胞においてNAD依存性脱アセチル化酵素 Sirtuin-1 は細胞エネルギー代謝調節因子および軟骨細胞活性を抑制する. 第35回日本整形外科学会基礎学術集会, 2020.
- 25) ◎小松梨恵, 仁木久照, 遊道和雄, 藤井亮爾. コラーゲン誘導関節炎モデルマウスにおけるCDK6阻害剤の関節炎抑制効果. 第35回日本整形外科学会基礎学術集会, 2020.
- 26) ◎染村嵩, 遊道和雄, 熊井隆智, 谷田部かなか, 佐々木千鶴子, 藤谷博人, 仁木久照. 三次元培養下における骨芽細胞と軟骨細胞の力学的ストレス応答能の比較解析. 第35回日本整形外科学会基礎学術集会, 2020.
- 27) ◎染村嵩, 遊道和雄, 熊井隆智, 谷田部かなか, 佐々木千鶴子, 藤谷博人, 仁木久照. 骨芽細胞の力学的ストレス応答と細胞エネルギー代謝調節機構との関連. 第35回日本整形外科学会基礎学術集会, 2020.
- 28) ◎寺内昂, 遊道和雄, 染村嵩, 熊井隆智, 村上賢一, 藤谷博人, 仁木久照. 変形性関節症の軟骨細胞においてNAD依存性脱アセチル化酵素 Sirtuin-1 は細胞エネルギー代謝調節因子および軟骨細胞活性を制御する. 第35回日本整形外科学会基礎学術集会, 2020.
- 29) ◎伊佐早健司, 菊池崇之, 佐々木直, 長谷川泰弘, 山野嘉久. 異常姿勢で発症し卵巣腫瘍による傍腫瘍性運動ニューロン疾患に対し卵巣腫瘍摘出術が著効した85歳女性例. 第38回日本神経治療学会学術集会, 2020.
- 30) ◎菊池崇之, 伊佐早健司, 佐々木直, 長谷川泰弘, 山野嘉久. 小脳失調と一過性構音障害を呈しパーキンソン症候群・ラクナ塞栓を疑った神経サルコイドーシスの59歳男性例. 第38回日本神経治療学会学術集会, 2020.
- 31) ◎鷹尾直誠, 櫻井謙三, 日野栄絵, 山野嘉久. 多量の鼻汁を契機に鼻性髄液漏の診断に至った再発性細菌性髄膜炎の一例. 第38回日本神経治療学会学術集会, 2020.
- 32) ◎楠木圭, 伊佐早健司, 鈴木祐, 佐々木直, 長谷川泰弘, 山野嘉久. 脳梗塞、末梢神経障害を伴った顕微鏡的多発血管炎に対し、リツキシマブで寛解導入した72歳女性例. 第38回日本神経治療学会学術集会, 2020.
- 33) ◎伊佐早健司, 秋山久尚, 赤須友香里, 貫井咲希, 柳澤俊之, 長谷川泰弘, 山野嘉久. 右眼痛にて発症し、右内外転障害を呈した64歳男性例. 第58回日本神経眼科学会, 2020.
- 34) ◎秋山久尚, 萩原悠太, 山野嘉久. 新型コロナウイルス感染症(COVID-19)の頭痛に関する検討. 第48回日本頭痛学会総会, 2020.
- 35) ◎秋山久尚, 山野嘉久. 頭痛を呈し他院へ入院した新型コロナウイルス感染症(COVID-19)の1例. 第48回日本頭痛学会総会, 2020.
- 36) ◎本吉愛, 右田王介, 小澤南, 鈴木由妃, 杉下陽堂, 小島康幸, 久我亜沙美, 富永果林, 津川浩一郎. 姉妹で若年性癌を発症したBloom症候群の一家系. 日本人類遺伝学会第65回大会, 2020.
- 37) ◎澤田紫乃, 五十嵐豪, 杉下陽堂, 鈴木直. 当院における婦人科がん患者における外科的閉経後の

- 骨密度異常の現状. 第 35 回日本女性医学学会学術集会, 2020.
- 38) ◎古山紗也子, 洞下由記, 出田 莉央, 松山夏美, 中嶋真理子, 白石絵莉子, 鈴木由妃, 澤田紫乃, 岩端秀之, 杉下陽堂, 高江正道, 鈴木直. 妊孕性温存療法における IVM の有用性. 第 65 回日本生殖医学会学術講演会・総会, 2020.
- 39) ◎小泉智恵, 湯村寧, 西山博之, 岡田弘, 杉下陽堂, 山崎一恭, 古城公佑, 鈴木由妃, 竹島徹平, 杉本公平, 鈴木直. 若年成人未婚男性がん患者における精子凍結後の心理社会的状況に関する観察研究. 第 65 回日本生殖医学会学術講演会・総会, 2020.
- 40) ◎杉下陽堂, 鈴木由妃, 古山紗也子, 鈴木直. 卵巣組織凍結における融解卵巣組織内の遺残凍結保護剤が組織に与える影響について. 第 65 回日本生殖医学会学術講演会・総会, 2020.
- 41) ◎鏑木真弓, 水上平祐, 松本博文, 白石眞, 山野嘉久, 菱田吉明, 韓蔚, 緒方聖友. 免疫チェックポイント阻害剤のペムブロリズマブにより Parkinsonism を認めた一例. 第 235 回日本神経学会関東・甲信越地方会, 2020.
- 42) ◎曾我海馬, 清水高広, 小倉英, 萩原悠太, 秋山久尚, 榛沢和彦, 長谷川泰弘, 山野嘉久. 急性期脳卒中患者における下肢深部静脈血栓症とヒラメ静脈径の検討. 第 39 回日本脳神経超音波学会, 2020.
- 43) ◎原田賢, 洞下由記, 岩端秀之, 鈴木由妃, 澤田紫乃, 杉下陽堂, 高江正道, 鈴木直. 当院における自己免疫疾患患者の妊孕性温存外来受診者の内訳. 第 11 回日本がん・生殖医療学会学術集会, 2021.
- 44) ◎岩端由里子, 高江正道, 金森玲, 白石絵莉子, 鈴木由妃, 岩端秀之, 杉下陽堂, 洞下由記, 鈴木直. 小児卵巣組織凍結症例に関する安全性と適切性の検証. 第 11 回日本がん・生殖医療学会学術集会, 2021.
- 45) ◎杉下陽堂, 鈴木直. 卵巣組織凍結の工夫. 第 11 回日本がん・生殖医療学会学術集会, 2021.
- 46) ◎出田莉央, 古山紗也子, 中嶋真理子, 松山夏美, 岩端秀之, 杉下陽堂, 高江正道, 洞下由記, 鈴木直. 妊孕性温存目的の精子凍結における禁欲期間による精液所見に関する検討. 第 11 回日本がん・生殖医療学会学術集会, 2021.
- 47) ◎鈴木由妃, 孟令博, 杉下陽堂, 鈴木直. 未受精卵子凍結におけるミトコンドリア動態の検討. 第 11 回日本がん・生殖医療学会学術集会, 2021.
- 48) ◎山谷佳子, 洞下由記, 岩端秀之, 鈴木由妃, 杉下陽堂, 高江正道, 鈴木直. がん・生殖医療外来における告知:妊孕性温存を試みたが、正常授精胚が少ないことに衝撃を受け、心理支援を要した女性に対する関わり. 第 18 回日本生殖心理学会学術集会, 2021.
- 49) ◎杉下陽堂, 右田王介, 鈴木由妃, 本吉愛, 岩端秀之, 高江正道, 洞下由記, 菅沼真樹, 津川浩一郎, 鈴木直. 当院で診断した早発卵巣不全を呈したトリプル X 症候群 5 症例における心理学カウンセリングの意義の検討. 第 18 回日本生殖心理学会学術集会, 2021.
- 50) ◎内野賢治, 大熊壮尚, 篠原健介, 今井健, 山野嘉久. 長期間にわたり診断し得なかった Paramyotonia congenita の 30 歳女性例. 第 236 回日本神経学会関東・甲信越地方会, 2021.
- 51) ◎赤須友香利, 伊佐早健司, 曾我海馬, 栗田千尋, 小池春樹, 勝野雅央, 山野嘉久. 両下肢疼痛、左下垂足より発症しシクロフォスファミドパルス療法 (IVCY) が有効であった非全身性血管炎性ニューロパチー (NSVN) の一例. 第 236 回日本神経学会関東・甲信越地方会, 2021.
- 52) ◎秋山久尚, 山野嘉久. 片頭痛例における睡眠時無呼吸症候群 (SAS) の合併に関する検討. 第 83 回神奈川県内科医学会集談会, 2021.

- 53) ©鷹尾直誠, 秋山久尚, 赤須友香利, 飯島直樹, 栗田千尋, 深野崇之, 萩原悠太, 清水高広, 山野嘉久. One-and-a-half 症候群呈した両側延髄内側梗塞の一例. 第 83 回神奈川県内科医学会集談会, 2021.
- 54) ©Ohta Yuki, Kobayashi Tsukasa, Takeba Yuko, Ootaki Masanori, Kida Keisuke, Watanabe Minoru, Iiri Taroh, Takenaga Mitsuko, Matsumoto Naoki. Effect of adipose tissue-derived stem/stromal cells on muscle atrophy. 第 94 回日本薬理学会年会, 2021.
- 55) ©太田有紀, 小林司, 武半優子, 大滝正訓, 木田圭亮, 渡辺実, 飯利太朗, 武永美津子, 松本直樹. 座骨神経障害誘発萎縮筋組織に対する脂肪組織由来幹細胞の効果. 第 20 回日本再生医療学会総会, 2021.
- 56) ©鏑木圭, 清水高弘, 秋山久尚, 萩原悠太, 飯島直樹, 曾我海馬, 鷹尾直誠, 柴田宗一郎, 栗田千尋, 佐々木直, 長谷川泰弘, 山野嘉久. 急性期脳梗塞における頸部血管エコーによる主幹動脈病変の診断についての検討. 第 46 回日本脳卒中学会学術集会, 2021.
- 57) ©飯島直樹, 清水高弘, 土橋瑤子, 曾我海馬, 鷹尾直誠, 柴田宗一郎, 萩原悠太, 栗田千尋, 秋山久尚, 長谷川泰弘, 山野嘉久. 担癌患者の脳梗塞発症後の予後予測因子に関する検討: 拡散協調画像所見 (Three territory sign) の有用性. 第 46 回日本脳卒中学会学術集会, 2021.
- 58) ©伊佐早健司, 土橋瑤子, 鈴木祐, 星野俊, 鏑木圭, 清水高弘, 伊藤英道, 内田将司, 木村慶子, 伊藤杏子, 山下雄輔, 秋山久尚, 長谷川泰弘, 山野嘉久. 院内発症脳卒中症例における tPA 静注療法の効果. 第 46 回日本脳卒中学会学術集会, 2021.
- 59) ©秋山久尚, 栗田千尋, 萩原悠太, 清水高広, 山野嘉久, 鈴木知美, 栗田慎吾, 出雲昌樹, 田邊康宏, 明石嘉浩. 当院での卵円孔開存に対する経皮的カテーテル PFO 閉鎖機器 (Amplazer PFO オクルーダー) 治療. 第 46 回日本脳卒中学会学術集会, 2021.
- 60) ©洞下由記, 岩端秀之, 出田莉央, 松山夏美, 中嶋真理子, 古山紗也子, 鈴木由妃, 澤田紫乃, 杉下陽堂, 高江正道, 鈴木直. 妊孕性温存目的の精子・卵子・胚・卵巣組織凍結におけるその後の利用率と妊娠成績に関する検討. 第 3 回 AYA がんの医療と支援のあり方研究会学術集会, 2021.
- 61) ©秋山恭子, 洞下由記, 高江正道, 杉下陽堂, 神蔵奈々, 濱口賀代, 古川尚美, 吉岡千恵子, 山田陽子, 山本志奈子, 津川浩一郎, 鈴木直. 当院における乳がん患者の妊孕性温存に対する取り組み. 第 3 回 AYA がんの医療と支援のあり方研究会学術集会, 2021.
- 62) ©Yodo Sugishita, Yuki Suzuki, Lingbo Meng, Atsushi Uekawa, Akiko Tozawa, Junichi Hasegawa, Nao Suzuki. The analysis of residual cryoprotectants in the thawed ovarian tissue for ovarian tissue transplantation. 第 72 回日本産科婦人科学会学術講演会, 2020.
- 63) ©Reiko Suzuki, Yuki Horage, Tai Kawahara, Kentaro Nakamura, Eriko Shiraishi, Yuki Suzuki, Shino Sawada, Hideyuki Iwahata, Yodo Sugishita, Seido Takae, Junichi Hasegawa, Nao Suzuki. The outcome of random-start ovarian stimulation with or without aromatase inhibitor for oocyte cryopreservation in cancer patients. 第 72 回日本産科婦人科学会学術講演会, 2020.
- 64) ©Seido Takae, Eriko Shiraishi, Yuriko Iwahata, Kaori Uwajima, Yasuko Abe, Yuki Suzuki, Shino Sawada, Hideyuki Iwahata, Yodo Sugishita, Yuki Horage, Junichi Hasegawa, Nao Suzuki. What barriers intervene the prevalence of fertility preservation for child and adolescent cancer patients? On perspectives of Asian countries. 第 72 回日本産科婦人科学会学術講演会, 2020.

- 65) ©Lingbo Meng, Yodo Sugishita, Yuki Suzuki-Takahashi, Sandy Nishimura, Shino Sawada, Hideyuki Iwahata, Seido Takae, Yuki Horage-Okutsu, Nao Suzuki. I am aspired to the wider world --- from China to Japan. 第 140 回関東連合産科婦人科学会総会・学術集会, 2020.
- 66) ©Seido Takae, Yuriko Iwahata, Eriko Shiraishi, Hideyuki Iwahata, Yodo Sugishita, Yuki Horage, Shigeyuki Furuta, Tetsuya Mori, Hiroaki Kitagawa, Nao Suzuki. Variety of child cases who underwent ovarian tissue cryopreservation as fertility preservation treatment. 第 62 回日本小児血液・がん学会学術集会, 2020.
- ② 国際学会
- 1) ©Nao Suzuki, Tomoe Koizumi, Yodo Sugishita, Tatsuro Furui, Manabu Futamura, Yasushi Takai, Kohei Sugimoto, Hiroko Nogi, Hiroshi Matsumoto, Hideko Yamauchi, Akemi Kataoka, Shinji Ohno, Koichiro Tsugawa, Kiyotaka Kawai, Eisuke Fukuma. An intervention RCT-study aimed at improving mental health and increasing understanding of fertility preservation with Oncofertility! Psycho-Education And Couple Enrichment (O!PEACE) therapy. 2020 ASCO Virtual Scientific Program, 2020.
- 2) ©Nakajima T, Yoshifuji H, Yamano Y, Handa H, Ohmura K, Mimori T, Terao C. Detailed Profile of co-occurrence of Relapsing Polychondritis and Autoimmune Thyroid Disease. EULAR 2020 E-congress, 2020.
- 3) ©Matsumoto H, Shiraishi M, Tochimoto S, Tanaka K, Uchino K, Hasegawa Y, Yamano Y. Predictive factors of serious falls in Parkinson's disease. MDS Virtual Congress 2020, 2020.
- 4) ©Shiraishi M, Maki F, Morosawa Y, Takumi I, Isahaya K, Sasaki N, Hasegawa Y, Yamano Y. Indication and long-term outcome of device-aided therapies in advanced Parkinson's disease. MDS Virtual Congress 2020, 2020.
- 5) Sugishita Y, Suzuki N. Development and maturation of oocyte. Basics and Clinical Application of Human Oocytes Development and Invitro Maturation Seminars & the First IVM Clinical Demonstration and Laboratory Operation Training, 2020.
- 6) Sugishita Y, Suzuki N. Ovarian tissue cryopreservation. The First Session if the 4th Annual Conference of Reproductive Health Committee of Henan Maternal and Child Health Association, 2020.
- ③ その他
- 1) ©山野嘉久. これからの難病医療 ―難病領域データベースの活用と課題―. Rare Disease Day / 世界稀少・難治性疾患の日, 2020.
- 2) ©山野嘉久. HTLV-1 の基礎知識とキャリア妊産婦・患者への支援. 令和 2 年山梨県 HTLV-1 母子感染予防対策研修会, 2020.
- 3) ©山野嘉久. HAM の診察ガイドライン 2019 を踏まえた診断と治療. 神経疾患治療を考える会 2020, 2020.
- 4) ©鈴木由紀, 杉下陽堂, 孟玲伯, 西村サンディ, 澤田紫乃, 戸澤晃子, 鈴木直. 閉経ラットモデルを用いた膣外陰レーザー療法における治療効果の組織学的検討. 第 383 回四水会, 2020.
- 5) ©山野嘉久. 一医療薬学特論―Special Lecture Clinical Pharmaceutical Science 新薬開発における

患者レジストリの役割. 東京大学講義, 2020.

- 6) ◎山野嘉久. これからの難病医療 ～神経難病患者へのオンライン診察の実際～. Kanagawa Neurology Meeting, 2020.
- 7) ◎深野崇之, 萩原悠太, 清水高弘, 内田将司, 伊藤英道, 秋山久尚, 山野嘉久. 血管内治療医から見た急性期脳血管障害治療の最前線. 第 79 回内科合同勉強会, 2020.
- 8) ◎山岸誠, 長阪美沙子, 鈴木穰, 久世裕太, 八木下尚子, 新谷奈津美, 山内淳司, 渡邊俊樹, 佐藤知雄, 山野嘉久. HAM 患者のゲノム異常とクローン構造の高感度解析による ATL 発症リスクの評価. 厚生労働省難治性疾患政策研究班 (神経免疫班) AMED 難治性疾患実用化研究班 令和 2 年度合同班会議, 2021.
- 9) ◎山野嘉久, 八木下尚子, 古澤嘉彦, 丹澤和雅, 山口泉, 川口喬久, 松田文彦. 難病プラットフォーム (Rare Disease Data Registry of Japan : RADDAR-J) について. 厚生労働省難治性疾患政策研究班 (神経免疫班) AMED 難治性疾患実用化研究班 令和 2 年度合同班会議, 2021.
- 10) ◎飯島直樹, 高田礼子, 八木下尚子, 田辺健一郎, 井上永介, 新谷奈津美, 山内淳司, 佐藤知雄, 山野嘉久. リアルワールドデータにより示された HAM の排尿障害に対するミラベクロンの有用性. 厚生労働省難治性疾患政策研究班 (神経免疫班) AMED 難治性疾患実用化研究班 令和 2 年度合同班会議, 2021.
- 11) ◎山野嘉久. HAM の治療薬開発を促進する代替エンドポイントとしてのバイオマーカーの実用化研究. HTLV-1 関連疾患研究領域研究班合同発表会, 2021.
- 12) ◎山野嘉久. HAM ならびに類縁疾患の患者レジストリを介した診療連携モデルの構築によるガイドラインの活用促進と医療水準の均てん化に関する研究. HTLV-1 関連疾患研究領域研究班合同発表会, 2021.
- 13) ◎山野嘉久. HAM・HTLV-1 陽性難治性疾患の診察ガイドラインに資する統合的レジストリの構築によるエビデンスの創出. HTLV-1 関連疾患研究領域研究班合同発表会, 2021.
- 14) ◎山野嘉久. HAM の革新的治療となる抗 CCR4 抗体製剤のコンパッションネートユースによる長期的投与試験. HTLV-1 関連疾患研究領域研究班合同発表会, 2021.
- 15) ◎山野嘉久. 新規 HTLV-1 感染モデルを用いた HAM の発症予防法・治療法の開発. HTLV-1 関連疾患研究領域研究班合同発表会, 2021.
- 16) ◎小澤南, 右田王介, 瓜生英尚, 上條千賀子, 鈴木由妃, 杉下陽堂, 本吉愛, 清水直樹, 津川浩一郎. 機械学習モデルの応用によるファブリー病スクリーニングの検討. 聖マリアンナ医科大学第 79 回医学会学術集会, 2021.
- 17) ◎白石眞, 山野嘉久, 三上恭平, 加茂力. パーキンソン病における姿勢異常の評価. 第 1 回 メトロポリタン PD カンファレンス, 2021.

		和文	英文
著 書		3	2
論 文	原著	5	14
	解説又は総説	11	
	症例報告	2	1
	その他	3	
学会発表	国内学会	61	5
	国際学会		6
	その他	17	

アイソトープ研究施設

学術論文[和文]

① 原著

- 1) 佐藤知雄, 山野嘉久. 免疫性神経疾患 update —基礎・臨床研究の最新知見— HAM に対する治療薬の現況と展望. 日本臨床, 2020;78(11):1939-1944.

学術論文[英文]

① 原著

- 1) Nagasaka M, Yamagishi M, Yagishita N, Araya N, Kobayashi S, Makiyama J, Kubokawa M, Yamauchi J, Hasegawa D, Coler-Reilly ALG, Tsutsumi S, Uemura Y, Arai A, Takata A, Inoue E, Hasegawa Y, Watanabe T, Suzuki Y, Uchimaru K, Sato T, Yamano Y. Mortality and risk of progression to adult T-cell leukemia/lymphoma in HTLV-1-associated myelopathy/tropical spastic paraparesis. *Proceedings of the National Academy of Sciences of the United States of America*, 2020;117(21):11685-11691.
- 2) Yamakawa N, Yagishita N, Matsuo T, Yamauchi J, Ueno T, Inoue E, Takata A, Nagasaka M, Araya N, Hasegawa D, Coler-Reilly A, Tsutsumi S, Sato T, Araujo A, Casseb J, Gotuzzo E, Jacobson S, Martin F, Puccioni-Sohler M, Taylor GP, Yamano Y: Japan Clinical Research Group on HAM/TSP. Creation and validation of a bladder dysfunction symptom score for HTLV-1-associated myelopathy/tropical spastic paraparesis. *Orphanet J Rare Dis*, 2020;15(1):175.
- 3) Okuma K, Kuramitsu M, Niwa T, Taniguchi T, Masaki Y, Ueda G, Matsumoto C, Sobata R, Sagara Y, Nakamura H, Satake M, Miura K, Fuchi N, Masuzaki H, Okayama A, Umeki K, Yamano Y, Sato T, Iwanaga M, Uchimaru K, Nakashima M, Utsunomiya A, Kubota R, Ishitsuka K, Hasegawa H, Sasaki D, Koh KR, Taki M, Nosaka K, Ogata M, Naruse I, Kaneko N, Okajima S, Tezuka K, Ikebe E, Matsuoka S, Itabashi K, Saito S, Watanabe T, Hamaguchi I. Establishment of a novel diagnostic test algorithm for human T-cell leukemia virus type 1 infection with line immunoassay replacement of western blotting: a collaborative study for performance evaluation of diagnostic assays in Japan. *Retrovirology*, 2020;17(1):26.
- 4) Tsuchihashi Y, Shimizu T, Akiyama H, Hagiwara Y, Soga K, Takao N, Uchino K, Yanagisawa T, Yamauchi J, Sato T, Hasegawa Y, Yamano Y. The Risk Factors for Death within 6 months after Ischemic Stroke in Patients with Cancer. *Journal of Stroke & Cerebrovascular Diseases*, 2020;29(12):105365.
- 5) Soga K, Shimizu T, Hagiwara Y, Ogura H, Akiyama H, Yamauchi J, Sato T, Hanzawa K, Hasegawa Y, Yamano Y. Soleal vein dilatation in the early-phase of hospitalization is associated with a subsequent development of deep vein thrombosis in patients with acute stroke. *Journal of Medical Ultrasonics*, 2021;(48):97-104.
- 6) Yamauchi J, Araya N, Yagishita N, Sato T, Yamano Y. An update on human T-cell leukemia virus type I (HTLV-1)-associated myelopathy/tropical spastic paraparesis (HAM/TSP) focusing on

clinical and laboratory biomarkers. *Pharmacology & Therapeutics*, 2021;(218):107669.

- 7) Penova M, Kawaguchi S, Yasunaga J, Kawaguchi T, Sato T, Takahashi M, Shimizu M, Saito M, Tsukasaki K, Nakagawa M, Takenouchi N, Hara H, Matsuura E, Nozuma S, Takashima H, Izumo S, Watanabe T, Uchimaru K, Iwanaga M, Utsunomiya A, Tabara Y, Paul R, Yamano Y, Matsuoka M, Matsuda F. Genome wide association study of HTLV-1 associated myelopathy/tropical spastic paraparesis in the Japanese population. *Proceedings of the National Academy of Sciences of the United States of America*, 2021;118(11):e2004199118.

学会発表

① 国内学会

- 1) ◎佐藤知雄. リアルワールドエビデンスを活用した「HAM 診療ガイドライン 2019」について. 第 61 回日本神経学会学術大会, 2020.
- 2) ◎佐藤知雄, 山内淳司, 新谷奈津美, 高橋克典, 國友康夫, 八木下尚子, 山野嘉久. HAM 診療ガイドラインの活用実態および内容の評価に関する全国調査. 第 32 回日本神経免疫学会学術集会, 2020.
- 3) ◎桧垣正吾, 久下裕司, 志水陽一, 富田悟, 廣井朋子, 古澤哲. 「放射線事故が発生した際の放射線施設の緊急時対応の調査と提言」WG 中間報告. 日本放射線安全管理学会 第 19 回学術大会, 2020.
- 4) ◎Ootaki Masanori, Hiroi Tomoko, Ohta Yuki, Takeba Yuko, Kida Keisuke, Matsui Hiroaki, Naoki Matsumoto. Structure prediction of the N-terminal regulatory domain of the human tryptophan hydroxylase 2. 第 94 回日本薬理学会年会, 2021.

② その他

- 1) ◎飯島直樹, 高田礼子, 八木下尚子, 田辺健一郎, 井上永介, 新谷奈津美, 山内淳司, 佐藤知雄, 山野嘉久. リアルワールドデータにより示された HAM の排尿障害に対するミラベクロンの有用性. 厚生労働省難治性疾患政策研究班 (神経免疫班) AMED 難治性疾患実用化研究班 令和 2 年度合同班会議, 2021.
- 2) ◎山岸誠, 長阪美沙子, 鈴木穰, 久世裕太, 八木下尚子, 新谷奈津美, 山内淳司, 渡邊俊樹, 佐藤知雄, 山野嘉久. HAM 患者のゲノム異常とクローン構造の高感度解析による ATL 発症リスクの評価. 厚生労働省難治性疾患政策研究班 (神経免疫班) AMED 難治性疾患実用化研究班 令和 2 年度合同班会議, 2021.

		和文	英文
著 書			
論 文	原著	1	7
	解説又は総説		
	症例報告		
	その他		
学会発表	国内学会	3	1
	国際学会		
	その他	2	

実験動物飼育管理研究施設

学術論文[和文]

① 原著

- 1) 渡辺実, 田中政巳, 武半優子, 太田有紀, 大滝正訓, 小林司, 松本直樹. 新しい小人症モデル動物, CCI ラットにおける骨化異常と遺伝子発現の解析. 聖マリアンナ医科大学雑誌, 2020;48(1):15-30.

学術論文[英文]

① 原著

- 1) Nakamura Yuki, Takeba Yuko, Kobayashi Tsukasa, Ootaki Masanori, Ohta Yuki, Kida Keisuke, Sakurai Kenzo, Gen Keishi, Watanabe Minoru, Iiri Taroh, Matsumoto Naoki. Yap contributes to cardiomyocyte proliferation in the fetal rat heart epicardium with antenatal glucocorticoid administration. *Journal of St. Marianna University*, 2020;11(2):109-122.
- 2) Fujita Y, Ichikawa D, Sugaya T, Ohata K, Tanabe J, Inoue K, Hoshino S, Togo T, Watanabe M, Kimura K, Shibagaki Y, Kamijo-Ikemori A. Angiotensin II type 1a receptor loss ameliorates chronic tubulointerstitial damage after renal ischemia reperfusion. *Scientific reports*, 2021;11(1): 982.

学会発表

① 国内学会

- 1) ◎太田有紀, 小林司, 大滝正訓, 武半優子, 木田圭亮, 渡辺実, 飯利太郎, 松本直樹, 武永美津子. 下肢筋萎縮モデルに対する脂肪組織由来幹細胞エクソソーム投与の効果. 第 19 回日本再生医療学会総会, 2020.
- 2) ◎小林司, 武半優子, 太田有紀, 大滝正訓, 渡辺実, 桜井研三, 元圭史, 中村悠城, 木田圭亮, 飯利太郎, 松本直樹. 出生前グルココルチコイド投与におけるラット胎仔肝臓の成熟並びに細胞増殖への影響. 第 41 回日本臨床薬理学会学術総会, 2020.
- 3) ◎武半優子, 中村悠城, 小林司, 大滝正訓, 太田有紀, 木田圭亮, 桜井研三, 長田洋資, 渡辺実, 飯利太郎, 松本直樹. 出生前グルココルチコイド投与におけるラット心外膜の心筋細胞増殖に関わる Yap の役割. 第 41 回日本臨床薬理学会学術総会, 2020.
- 4) ◎大滝正訓, 太田有紀, 武半優子, 渡辺実, 小林司, 中村悠城, 木田圭亮, 飯利太郎, 松本直樹. CYP2C19 の活性化における分子動力学・量子化学計算を用いた検討. 第 41 回日本臨床薬理学会学術総会, 2020.
- 5) ◎Takeba Yuko, Kobayashi Tsukasa, Ootaki Masanori, Ohta Yuki, Kida Keisuke, Watanabe Minoru, Iiri Taroh, Matsumoto Naoki. Prenatal glucocorticoid administration accelerates glomeruli and renal tubules development in the fetal rats. 第 94 回日本薬理学会年会, 2021.
- 6) ◎Ohta Yuki, Kobayashi Tsukasa, Takeba Yuko, Ootaki Masanori, Kida Keisuke, Watanabe Minoru, Iiri Taroh, Takenaga Mitsuko, Matsumoto Naoki. Effect of adipose tissue-derived stem/stromal cells on muscle atrophy. 第 94 回日本薬理学会年会, 2021.

- 7) ©Kobayashi Tsukasa, Takeba Yuko, Ootaki Masanori, Kida Keisuke, Watanabe Minoru, Iiri Taroh, Matsumoto Naoki. Expression of the growth -related factors in the liver of fetal rats. 第 94 回日本薬理学会年会, 2021.
- 8) ©太田有紀, 小林司, 武半優子, 大滝正訓, 木田圭亮, 渡辺実, 飯利太朗, 武永美津子, 松本直樹. 座骨神経障害誘発萎縮筋組織に対する脂肪組織由来幹細胞の効果. 第 20 回日本再生医療学会総会, 2021.
- 9) ©小林司, 武半優子, 太田有紀, 大滝正訓, 元圭史, 中村悠城, 渡辺実, 木田圭亮, 飯利太朗, 松本直樹. 出生前デキサメタゾンが胎仔ラット肝臓並びに正常肝 RLN-B2 細胞の増殖と成熟因子に及ぼす影響. 聖マリアンナ医科大学 医学会 第 79 回学術集会 (オンライン) , 2021.

		和文	英文
著 書			
論 文	原著	1	2
	解説又は総説		
	症例報告		
	その他		
学会発表	国内学会	9	
	国際学会		
	その他		

先端医学研究施設

学術論文[英文]

① 原著

- 1) Yatabe K, Muroi R, Kumai T, Kotani T, Somemura S, Yui N, Murofushi Y, Terawaki F, Kobayashi H, Yudoh K, Sakurai H, Miyano H, Fujiya H. Effects of Different Exercise Conditions on Antioxidant Potential and Mental Assessment. *Sports*, 2021;9(3):36:e1-e8.

		和文	英文
著 書			
論 文	原著		1
	解説又は総説		
	症例報告		
	その他		
学会発表	国内学会		
	国際学会		
	その他		

応用分子腫瘍学

学術論文[和文]

① 総説又は症例解説

- 1) 太田智彦. 7. BRCA 変異診断、ゲノム診断. 乳腺腫瘍学, 2020;:157-160.
- 2) 郷田敦史, 呉文文, 太田智彦. BRCA 遺伝子変異による臓器特異的な発がん. 医学のあゆみ, 2020;274(12):1194-1198.

学術論文[英文]

① 原著

- 1) Johmura Y, Harris A, Ohta T, Nakanishi M. FBXO22, an epigenetic multiplayer coordinating senescence, hormone signaling and metastasis. *Cancer Science*, 2020;111(8):2718-2725.
- 2) Zhu M, Wu W, Togashi Y, Liang W, Miyoshi Y, Ohta T. HERC2 inactivation abrogates nucleolar localization of RecQ helicases BLM and WRN. *Scientific Reports*, 2021;11(1):-.
- 3) Suzuki N, Joumura Y, Wang TW, Migita T, Wu W, Noguchi R, Yamaguchi K, Furukawa Y, Nakamura S, Miyoshi I, Yoshimori T, Ohta T, Nakanishi M. TP53/p53-FBXO22-TFEB controls basal autophagy to govern hormesis. *Autophagy*, 2021;:1-18.

学会発表

① 国内学会

- 1) ◎太田智彦. DNA 修復脆弱性を標的としたがん治療. 第 79 回日本癌学会学術総会, 2020.
- 2) ◎鈴木友菜, 豊澤大地, 呉文文, 丹羽俊文, 太田智彦, 林慎一. CDK4/6 阻害薬耐性細胞は DNA 修復機構に異常をきたし PARP 阻害薬に反応する. 第 28 回日本乳癌学会学術総会, 2020.
- 3) ◎中川紗紀, 宮下穰, 江幡明子, 佐藤章子, 原田成美, 濱中洋平, 甘利正和, 平川久, 大井恭代, 太田智彦, 多田寛, 石田孝宣. エストロゲン受容体の発現を制御する Fbxo22 は浸潤性小葉癌の予後因子となりうるか. 第 28 回日本乳癌学会学術総会, 2020.
- 4) ◎太田智彦. BRCA1 N 末端の変異と PARP 阻害剤感受性: E3 リガーゼ活性についての再考. 第 18 回日本臨床腫瘍学会学術集会, 2021.

② 国際学会

- 1) ◎Tomohiko Ohta. Challenges to overcome PARPi resistance. Best of San Antonio Breast Cancer Symposium® Kyoto 2021, 2021.

③ その他

- 1) ◎太田智彦. PARP 阻害剤耐性とその克服戦略. Scientific Exchange Meeting -Basic Research for PARP Inhibitor-, 2020.
- 2) ◎太田智彦. 乳がんの治療抵抗性獲得機序とその克服戦略. 第 24 回文京乳腺研究会, 2020.
- 3) ◎太田智彦. PARP 阻害剤耐性とその克服戦略. Scientific Exchange Meeting ~Basic Research for PARP Inhibitor~, 2020.
- 4) 太田智彦. エストロゲン受容体シグナル制御メカニズムの解明に基づく子宮内膜がん発がん機序の

解明. 東京大学医科学研究所 2020 年度成果報告会, 2021.

		和文	英文
著 書			
論 文	原著		3
	解説又は総説	2	
	症例報告		
	その他		
学会発表	国内学会	4	
	国際学会		1
	その他	4	

難治性疾患病態制御学

著書

- 1) Kazuo Yudoh, Naoko Yui, Ko Terauchi, Hajime Kobayashi, Takanori Kumai, Shu Somemura. CHAPTER 21: Sirtuins in bone and cartilage biology SIRTUIN BIOLOGY IN MEDICINE 2021;:341-351.

学術論文[和文]

① 総説又は症例解説

- 1) 小松梨恵, 仁木久照, 遊道和雄, 藤井亮爾. SPACIA1/SAAL1 の遺伝子欠損. 整形外科, 2021;1(72):74.

② その他

- 1) 遊道和雄. 大学院に求められる事. 川崎市医師会会報, 2020;372:72-73.

学術論文[英文]

① 原著

- 1) Imuta H, Fujita D, Oba S, Kiyosue A, Nishimatsu H, Yudo K, Suzuki E. Histone methylation and demethylation are implicated in the transient and sustained activation of the interleukin-1 β gene in murine macrophages. Heart and Vessels, 2020;35:1746-1754.
- 2) Iwata Teppei, Sedukhina S Anna, Kubota Manabu, Oonuma Shigeko, Maeda Ichiro, Yoshiike Miki, Usuba Wataru, Minagawa Kimino, Hames Eleina, Meguro Rei, Cho Sunny, Chien H H Stephen, Urabe Shiro, Pae Sookhee, Palanisamy Kishore, Kumai Toshio, Yudo Kazuo, Kikuchi Eiji, Sato Ko. A new bioinformatics approach identifies overexpression of GRB2 as a poor prognostic biomarker for prostate cancer. Scientific Reports, 2021;11(11):5696.
- 3) Yatabe K, Muroi R, Kumai T, Kotani T, Somemura S, Yui N, Murofushi Y, Terawaki F, Kobayashi H, Yudoh K, Sakurai H, Miyano H, Fujiya H. Effects of Different Exercise Conditions on Antioxidant Potential and Mental Assessment. Sports, 2021;9(3):36:e1-e8.

学会発表

① 国内学会

- 1) 藤井亮爾, 小松梨恵, 青野浩之, 仁木久照, 遊道和雄, 中島利博. 関節リウマチ滑膜細胞における SPACIA1 と TNF α による協調的細胞周期因子発現制御. 第 64 回日本リウマチ学会, 2020.
- 2) 呉詩星, 吉森真由美, 立石萌, 大橋彩香, 清水則夫, 西尾美和子, 新井文子. 慢性活動性 EB ウイルス感染症におけるウイルス由来 miRNA の標的の解明. 第 82 回日本血液学会学術集会, 2020.
- 3) 立石萌, 吉森真由美, 大橋彩香, 呉詩星, 清水則夫, 西尾美和子, 新井文子. EBV 陽性 NK 腫瘍細胞の産生するサイトカインは単球の凝固活性を高め DIC を引き起こす. 第 82 回日本血液学会学術集会, 2020.
- 4) 吉森真由美, 立石萌, 大橋彩香, 呉詩星, 今留謙一, 清水則夫, 西尾美和子, 新井文子. EBV 陽性 NK 腫瘍細胞は単球からマクロファージへの分化を誘導し、HLH の原因となり得る. 第 82 回日本血液

学会学術集会, 2020.

- 5) ◎熊井隆智, 遊道和雄, 染村嵩, 谷田部かなか, 小谷貴史, 仁木久照, 藤谷博人. 骨芽細胞における光感受応答機構の解明と光刺激による骨形成能の誘導. 第 35 回日本整形外科学会基礎学術集会, 2020.
- 6) ◎小松梨恵, 仁木久照, 遊道和雄, 藤井亮爾. コラーゲン誘導関節炎モデルマウスにおける CDK6 阻害剤の関節炎抑制効果. 第 35 回日本整形外科学会基礎学術集会, 2020.
- 7) ◎藤井亮爾, 小松梨恵, 仁木久照, 遊道和雄. TNF α 誘導性リウマチ滑膜線維芽細胞におけるサイクリン D キナーゼの発現と細胞増殖に関する検討. 第 35 回日本整形外科学会基礎学術集会, 2020.
- 8) ◎寺内昂, 遊道和雄, 仁木久照, 藤谷博人. 変形性関節症の軟骨細胞において NAD 依存性脱アセチル化酵素 Sirtuin-1 は細胞エネルギー代謝調節因子および f 軟骨細胞活性を抑制する. 第 35 回日本整形外科学会基礎学術集会, 2020.
- 9) ◎染村嵩, 遊道和雄, 熊井隆智, 谷田部かなか, 佐々木千鶴子, 藤谷博人, 仁木久照. 三次元培養下における骨芽細胞と軟骨細胞の力学的ストレス応答能の比較解析. 第 35 回日本整形外科学会基礎学術集会, 2020.
- 10) ◎染村嵩, 遊道和雄, 熊井隆智, 谷田部かなか, 佐々木千鶴子, 藤谷博人, 仁木久照. 骨芽細胞の力学的ストレス応答と細胞エネルギー代謝調節機構との関連. 第 35 回日本整形外科学会基礎学術集会, 2020.

② 国際学会

- 1) Yoshimori M, Tateishi M, Ohashi A, Wu S, Imadome K, Shimizu N, Nishio M, Arai A. Products of EBV-Positive Neoplastic NK-Cells Induce Differentiation into Macrophages and Procoagulant Activity of Monocytes, which Leads to HLH. 25th Annual Congress of EHA, 2020.

		和文	英文
著 書			1
論 文	原著		3
	解説又は総説	1	
	症例報告		
	その他	1	
学会発表	国内学会	10	
	国際学会		1
	その他		

臨床再生組織工学

学術論文[和文]

① 原著

1) 宮澤知行, 酒井寛貴, 木村祐之, 丸島秀樹, 小島宏司, 佐治久. 当科における胸腺上皮性腫瘍の治療経験. 聖マリアンナ医科大学雑誌, 2020;(48):43-47.

② 総説又は症例解説

1) 佐治久, 丸島秀樹, 宮澤知行, 木村祐之, 酒井寛貴, 小島宏司. 高齢者肺癌の外科治療. 肺癌, 2020;60(4):298-304.

③ 症例報告

1) 加藤宗次郎, 宮澤知行, 酒井寛貴, 木村祐之, 丸島秀樹, 小島宏司, 佐治久, 土居正知, 小池淳樹, 高木正之. 同時性多発肺腺癌における PD-L1 発現の検討. 肺癌, 2020;60(2):135-136.

学術論文[英文]

① 症例報告

1) Furuya Naoki, Kojima Koji, Marushima Hideki, Kakinuma Kazutaka, Tsunoda Akihito, Koda Eriko, Tsuruoka Hajime, Nishida Kohei, Inoue Takeo, Saji Hisashi, Mineshita Masamichi. Successful treatment with nivolumab in a patient with lung adenocarcinoma complicated by pulmonary aspergilloma. Thoracic Cancer, 2020;Nov11(11):3391-3395.

学会発表

① 国内学会

1) ◎酒井寛貴, 木村祐之, 宮澤知行, 丸島秀樹, 小島宏司, 奥田絃隆, 坂本三樹, 佐治久. 先天性肺動脈欠損による肺低形成のため、代償的に拡大した健側肺の自然気胸手術の一例. 第 43 回日本呼吸器内視鏡学会学術集会, 2020.

2) ◎小島宏司, 丸島秀樹, 宮澤知行, 木村祐之, 酒井寛貴, 佐治久. PGA シートに犬軟骨細胞を播種して作製した気管チューブの実験的検討. 第 43 回日本呼吸器内視鏡学会学術集会, 2020.

3) ◎木村祐之, 小島宏司, 酒井寛貴, 宮澤知行, 丸島秀樹, 佐治久, 遠藤陽, 小池淳樹. 左肺下葉原発の Ciliated Muconodular Papillary Tumor の一切除例. 第 174 回日本呼吸器内視鏡学会関東支部会, 2020.

4) ◎梅澤早織, 丸島秀樹, 酒井寛貴, 木村祐之, 宮澤知行, 小島宏司, 小池淳樹, 佐治久. 上皮筋上皮癌に対して気管環状切除術を施行した一例. 第 174 回日本呼吸器内視鏡学会関東支部会, 2020.

5) ◎小島宏司. 呼吸器外科領域における再生医療の最前線—PGA シートへの期待—. 第 37 回日本呼吸器外科学会学術集会, 2020.

6) ◎酒井寛貴, 木村祐之, 宮澤知行, 丸島秀樹, 小島宏司, 佐治久. 肺腺癌における Mini-Chromosome Maintenance2 の臨床病理学的意義. 第 37 回日本呼吸器外科学会学術集会, 2020.

7) ◎佐治久, 酒井寛貴, 木村祐之, 宮澤知行, 丸島秀樹, 小島宏司. 27 歳女性の右肺尖部胸壁遺残巨大デスマモイド腫瘍の 1 手術例. 第 37 回日本呼吸器外科学会学術集会, 2020.

- 8) ◎小島宏司, 丸島秀樹, 宮澤知行, 木村祐之, 酒井寛貴, 佐治久. PGA シートにヒト気管支軟骨細胞を播種して作製した再生気管の検討. 第 37 回日本呼吸器外科学会学術集会, 2020.
- 9) ◎木村祐之, 酒井寛貴, 宮澤知行, 丸島秀樹, 小島宏司, 佐治久. 治療に難渋した術後肺瘻の 3 例. 第 37 回日本呼吸器外科学会学術集会, 2020.
- 10) ◎丸島秀樹, 酒井寛貴, 木村祐之, 宮澤知行, 小島宏司, 小池淳樹, 佐治久. 当院における気管腫瘍切除例の臨床病理学的特徴. 第 37 回日本呼吸器外科学会学術集会, 2020.
- 11) ◎木村祐之, 酒井寛貴, 宮澤知行, 丸島秀樹, 小島宏司, 佐治久. 周術期管理に難渋した左肺原発性巨大扁平上皮癌の 1 切除例. 第 184 回日本胸部外科学会関東甲信越地方会, 2020.
- 12) ◎木村祐之, 丸島秀樹, 酒井寛貴, 宮澤知行, 小島宏司, 大林樹真, 有泉泰, 佐治久. 閉塞性肺炎に対し右上葉切除術を行った気管支内異物の 1 例. 第 175 回日本呼吸器内視鏡学会関東支部会, 2020.
- 13) ◎増田哲之, 大坪莞爾, 酒井寛貴, 木村祐之, 宮澤知行, 丸島秀樹, 小島宏司, 成木佐瑛子, 小池淳樹, 佐治久. 組織型が異なる異時性多発肺癌の 1 症例. 第 189 回日本肺癌学会関東支部学術集会, 2021.
- 14) ◎酒井寛貴, 木村祐之, 宮澤知行, 丸島秀樹, 小島宏司, 佐治久. デスマイド腫瘍の術後に食道胸腔瘻を併発し難渋した一症例. 第 185 回日本胸部外科学会関東甲信越地方会, 2021.
- 15) ◎木村祐之, 酒井寛貴, 宮澤知行, 丸島秀樹, 小島宏司, 佐治久. 術前導入療法後に Grunenwald transmanibular osteomuscular sparing approach により切除しえた肺尖部胸壁浸潤肺癌の 1 例. 第 185 回日本胸部外科学会関東甲信越地方会, 2021.
- ② 国際学会
- 1) ◎Saji Hisashi, Marushima Hideki, Kimura Hiroyuki, Miyazawa Tomoyuki, Sakai Hiroki, Furuya Naoki, Kojima Koji, Nakamura Haruhiko. Adjuvant chemotherapy with modified Nab-paclitaxel and carboplatin for completely resected NSCLC: Survival analysis of FAST-Nab. 2020 World Conference on Lung Cancer Singapore, 2021.
- 2) ◎Kori Reiko, Ookawa Junko, Sakai Hiroki, Kimura Hiroyuki, Miyazawa Tomoyuki, Marushima Hideki, Kojima Koji, Hara Masatoshi, Saji Hisashi. Current status of a smoking cessation supportive program based on nurses' interventions: A single institutional experience. 2020 World Conference on Lung Cancer Singapore, 2021.

		和文	英文
著 書			
論 文	原著	1	
	解説又は総説	1	
	症例報告	1	1
	その他		
学会発表	国内学会	15	
	国際学会		2
	その他		

疾患バイオマーカー・標的分子制御学

学術論文[和文]

① 原著

- 1) Kazuki Omoteyama, Toshiyuki Sato, Masaaki Sato, Atsuhiko Tsutiya, Mitsumi Arito, Naoya Suematsu, Manae S. Kurokawa, Tomohiro Kato. Identification of novel substrates of a disintegrin and metalloprotease 17 by specific labeling of surface proteins. *Heliyon*, 2020;6(12): e05804.
- 2) Shu Ushimaru, Mitsumi Arito, Atsuhiko Tsutiya, Toshiyuki Sato, Kazuki Omoteyama, Masaaki Sato, Naoya Suematsu, Manae S. Kurokawa, Atsuko Kamijo-Ikemori, Yugo Shibagaki, and Tomohiro Kato. Roles of Layilin in Regulation of Low-Density Lipoprotein Receptor in Malignant Glioma Cells. *Journal of St. Marianna University*, 2020;11:53-59.

学会発表

① 国内学会

- 1) ◎佐藤利行, 佐藤政秋, 高桑由希子, 有戸光美, 大岡正道, 末松直也, 川畑仁人, 加藤智啓, 黒川真奈絵. 再発性多発軟骨炎における血清ペプチドの網羅的解析. 第 64 回日本リウマチ学会総会・学術集会, 2020.
- 2) ◎黒川真奈絵, 佐藤政秋, 佐藤利行, 高桑由希子, 永渕裕子, 有戸光美, 末松直也, 大岡正道, 川畑仁人, 加藤智啓. 顕微鏡的多発血管炎の新規血清バイオマーカー候補 AC13 定量系の開発. 第 64 回日本リウマチ学会総会・学術集会, 2020.
- 3) ◎佐藤利行, 佐藤政秋, 表山和樹, 土屋貴大, 有戸光美, 末松直也, 加藤智啓, 黒川真奈絵. 再発性多発軟骨炎における血清ペプチドプロファイルの解析. 第 93 回日本生化学会大会, 2020.
- 4) ◎黒川真奈絵, 佐藤利行, 佐藤政秋, 土屋貴大, 表山和樹, 有戸光美, 末松直也, 加藤智啓. 再発性多発軟骨炎のバイオマーカー候補となる血清ペプチドの検出. 第 71 回日本電気泳動学会総会, 2020.
- 5) ◎嶋崎孝輔, 有戸光美, 黒川真奈絵, 佐藤政秋, 表山和樹, 佐藤利行, 末松直也, 加藤智啓, 仁木久照. プロテオミクス法を用いたヒト滑膜線維芽細胞におけるライリンの機能解析. 第 35 回日本整形外科学会基礎学術集会, 2020.

		和文	英文
著 書			
論 文	原著		2
	解説又は総説		
	症例報告		
	その他		
学会発表	国内学会	5	
	国際学会		
	その他		

医療情報処理技術応用研究

著書

- 1) 小林泰之. 特別 Column1 AI時代の放射線科医 医療 AI とディープラーニングシリーズ 2020-2021 年版はじめての医用画像ディープラーニング-基礎・応用・事例- 2020;:248-251.

学術論文[和文]

① 原著

- 1) 瀬上航平, 大岡正道, 山田浩史, 朝野隆之, 阿部宏志, 穂山雅代, 村弘子, 梶ヶ谷和子, 内川隆子, 橘川薫, 小林泰之, 三村秀文, 安田宏, 峯下昌道, 大坪毅人. 放射線科読影レポート未確認に伴う Diagnostic Error への対策. 聖マリアンナ医科大学雑誌, 2020;48(3):61-66.

学術論文[英文]

① 原著

- 1) Atsuma Nishiwaki, Hitomi Kobayashi, Natsumi Ikumi, Yasuyuki Kobayashi, Isamu Yokoe, Kaita Sugiyama, Yoshihiro Matsukawa, Masami Takei, Noboru Kitamura. Salivary Gland Focus Score is Associated with Myocardial Fibrosis in Primary Sjögren's Syndrome Assessed by a Cardiac Magnetic Resonance Approach. The Journal of rheumatology, 2020;: DOI-10.3899/jrheum.200352.
- 2) Isamu Yokoe, Hitomi Kobayashi, Yasuyuki Kobayashi, Atsuma Nishiwaki, Kaita Sugiyama, Yousuke Nagasawa, Natsumi Ikumi, Hiromi Karasawa, Yasuo Okumura, Noboru Kitamura, Masami Takei. Impact of biological treatment on left ventricular dysfunction determined by global circumferential, longitudinal and radial strain values using cardiac magnetic resonance imaging in patients with rheumatoid arthritis. International Journal of Rheumatic Diseases, 2020;:DOI-10.1111/1756-185X.13942.
- 3) Noboru Kitamura, Hitomi Kobayashi, Masami Takei, Yasuyuki Kobayashi. Unique Cardiac Magnetic Resonance Imaging Findings of Progressing Myocardial Damage in a Patient With Polymyositis. The Archives of Rheumatology, 2020;: DOI-10.46497/ArchRheumatol.2021.8439.
- 4) Tomita Hayato, Yamashiro Tsuneo, Heianna Joichi, Nakasone Toshiyuki, Kobayashi Tatsuki, Mishiro Sono, Hirahara Daisuke, Takaya Eichi, Mimura Hidefumi, Murayama Sadayuki, Kobayashi Yasuyuki. Deep Learning for the Preoperative Diagnosis of Metastatic Cervical Lymph Nodes on Contrast-Enhanced Computed Tomography in Patients with Oral Squamous Cell Carcinoma. Cancers (Basel), 2021;13(4):600-600.

学会発表

① 国内学会

- 1) ◎小林泰之. 全身疾患における心血管病変の合併：膠原病における新病変. 第 79 回日本医学放射線学会総会, 2020.
- 2) ◎小林泰之. ポストコロナ時代の新たな次世代医療：人工知能はあなたに代われるか?. 第 23 回日

本臨床脳神経外科学会ランチョンセミナー, 2020.

3) ◎小林泰之. 診療における人工知能活用の最前線. 第40回日本画像医学会, 2021.

② 国際学会

1) Masaki Haraoka, Hitomi Kobayashi, Eichi Takaya, Isamu Yokoe, Yasuyuki Kobayashi. Prediction of myocardial abnormalities in systemic sclerosis, assessed in cardiac magnetic resonance imaging, by using artificial neural networks models. Asia Pacific League of Associations for Rheumatology (APLAR) 2020 Kyoto, Japan, 2020.

③ その他

1) ◎小林泰之. 医療における AI/ICT 概論 (I). 第1回医療 AI セミナー, 2020.

2) ◎小林泰之. 医療・ヘルスケアへの AI/ICT 活用と 10-20 年後の未来考察 ~アルターコロナ時代の AI/ICT を活用したビジネス戦略と考え方~. シルバー&ヘルスケア戦略特別セミナー, 2020.

3) ◎小林泰之. 医療における AI/ICT 概論 (II). 第2回医療 AI セミナー, 2020.

4) ◎小林泰之. AI の課題~AI 活用で知っておくべき知識. 第4回医療 AI セミナー, 2020.

5) ◎小林泰之. 医療における AI 活用を促進するための人材育成を考える. 第40回医療情報学連合大会, 2020.

6) ◎小林泰之. 医療における AI 活用. 第5回医療 AI セミナー, 2020.

7) ◎小林泰之. 医療 AI の現状と未来: これから求められる人材とは?. 中分子創薬に関わる次世代産業研究会第2回基礎講座, 2020.

8) ◎小林泰之/原口貴史. 医療における AI 活用. 第6回医療 AI セミナー, 2020.

9) ◎小林泰之/原口貴史. 医療系以外の領域における AI 活用. 第8回医療 AI セミナー, 2021.

10) ◎小林泰之. 放射線医学における AI の進歩: 画像診断. 第34回 JCR ミッドウィンターセミナー仙台, 2021.

11) ◎小林泰之. 医療における AI ビジネス戦略. 第9回医療 AI セミナー, 2021.

12) ◎小林泰之/植田琢也. TOPICS (国の施策など). 第10回医療 AI セミナー, 2021.

13) ◎小林泰之. AI/ICT を活用して未来の医療を創る人材の育成を考える. 医学会第79回学術集会, 2021.

14) ◎小林泰之. 総括. 第13回医療 AI セミナー, 2021.

		和文	英文
著書		1	
論文	原著	1	4
	解説又は総説		
	症例報告		
	その他		
学会発表	国内学会	3	
	国際学会		1
	その他	14	

分子神経科学

著書

- 1) 北岡康史. 神経保護を意識した緑内障点眼薬の使い分け 眼科スゴ技 緑内障の診断・治療・手術 2020;:141-144.

学術論文[和文]

① 原著

- 1) Kitaoka Y, Sase K, Tsukahara C, Fujita N, Tokuda N, Kogo J, Takagi H. Axonal protection by a small molecule SIRT1 activator, SRT2104, with alteration of autophagy in TNF-induced optic nerve degeneration. *Japanese Journal of Ophthalmology*, 2020;64(3):298-303.
- 2) Kitaoka Y, Sase K, Tsukahara C, Fujita N, Arizono I, Takagi H. Axonal Protection by Nicotinamide Riboside via SIRT1-Autophagy Pathway in TNF-Induced Optic Nerve Degeneration. *Molecular Neurobiology*, 2020;57(12):4952-4960.
- 3) Sase K, Tsukahara C, Fujita N, Arizono I, Takagi H, Kitaoka Y. Akebia Saponin D prevents axonal loss against TNF-induced optic nerve damage with autophagy modulation. *Molecular Biology Reports*, 2020;47(12):9733-9738.
- 4) JuJo T, Kogo J, Sasaki H, Sekine R, Sato K, Ebisutani S, Toyoda Y, Kitaoka Y, Takagi H. 27-gauge trocar-assisted sutureless intraocular lens fixation. *BMC Ophthalmology*, 2021;21(1):doi.org-10.1186/s12886-020-01758-6.
- 5) Fujita N, Sase K, Tsukahara C, Arizono I, Takagi H, Kitaoka Y. Pemafibrate prevents retinal neuronal cell death in NMDA-induced excitotoxicity via inhibition of p-c-Jun expression. *Molecular Biology Reports*, 2021;48(1):195-202.

② 総説又は症例解説

- 1) Klionsky DJ, Kitaoka Y (1218th)/total member2925. Guidelines for the use and interpretation of assays for monitoring autophagy (4th edition)1. *Autophagy*, 2021;17(1):1-382.

学会発表

① 国内学会

- 1) ◎吉村雅弘, 徳田直人, 塚本彩香, 豊田泰大, 山田雄介, 塚原千広, 佐瀬佳奈, 北岡康史, 高木均. アイケア ic200 手持眼圧計による異なる体位での眼圧測定. 第 124 回日本眼科学会総会, 2020.
- 2) ◎豊田泰大, 徳田直人, 山田雄介, 塚本彩香, 藤田直輝, 塚原千広, 佐瀬佳奈, 北岡康史, 高木均. 内方線維柱帯切開術時の線維柱帯除去の効果について(術後中期成績). 第 31 回日本緑内障学会, 2020.
- 3) ◎山田雄介, 徳田直人, 豊田泰大, 塚本彩香, 藤田直輝, 塚原千広, 佐瀬佳奈, 北岡康史, 高木均. 緑内障チューブシャント術(プレートのあるもの)の長期成績. 第 31 回日本緑内障学会, 2020.
- 4) ◎北岡康史. オートファジーと網膜神経節細胞死. 第 31 回日本緑内障学会 シンポジウム 5, 2020.
- 5) ◎藤田直輝, 塚原千広, 佐瀬佳奈, 北岡康史. NMDA 障害モデルラットにおけるペマフィブラート内服によるアポトーシス抑制効果. 第 26 回日本糖尿病眼学会総会, 2020.

- 6) ◎有菌生吹, 渡邊昂大, 佐藤圭司, 藤田直輝, 重城達哉, 向後二郎, 高木均. 中心窩硬性白斑に対し網膜下洗浄を施行した症例の10年後経過について. 第26回日本糖尿病眼学会総会, 2020.
- 7) ◎渡邊昂大, 徳田直人, 山田雄介, 藤田直輝, 豊田泰大, 塚本彩香, 塚原千広, 佐瀬佳奈, 中村芽衣子, 北岡康史, 高木均. 糖尿病網膜症続発血管新生緑内障に対する緑内障チューブシャント手術再建術. 第26回日本糖尿病眼学会総会, 2020.
- 8) ◎豊田泰大, 徳田直人, 山田雄介, 藤田直輝, 塚本彩香, 塚原千広, 佐瀬佳奈, 金成真由, 北岡康史, 高木均. 血管新生緑内障に対する緑内障チューブシャント術(プレートのあるもの)の長期成績. 第26回日本糖尿病眼学会総会, 2020.
- 9) ◎佐藤圭司, 重城達哉, 藤田直輝, 渡邊昂大, 向後二郎, 高木均. 増殖性糖尿病網膜症の重症度と血小板機能との関連についての院内検討. 第26回日本糖尿病眼学会総会, 2020.
- 10) ◎北岡康史. 興奮毒性による網膜神経細胞死の分子機構. 第26回日本糖尿病眼学会総会 シンポジウム3, 2020.
- 11) ◎北岡康史. オートファジーと視神経軸索. 第40回日本眼薬理学会学会 シンポジウム3, 2021.
- 12) ◎佐瀬佳奈, 塚原千広, 藤田直輝, 有菌生吹, 高木均, 北岡康史. TNF誘発視神経障害モデルにおけるp38阻害剤の視神経軸索保護作用. 第40回日本眼薬理学会, 2021.

		和文	英文
著書		1	
論文	原著		5
	解説又は総説		1
	症例報告		
	その他		
学会発表	国内学会	12	
	国際学会		
	その他		

形成外科・再生医療学寄附講座

学術論文[和文]

① 原著

- 1) 岩本承豪, 井上肇, 田邊雅祥. 当科で手術を行った粉瘤症例の検討. 日本形成外科学会誌, 2021;41(3): 117-121.

学術論文[英文]

① 原著

- 1) Mio Ichida, Chiharu Fujita, Rena Sumie, Ryotaro Miyano, Hajime Inoue. Simultaneous determination of minoxidil and minoxidil sulfate by high-performance liquid chromatography with UV-detection and its applications. *Medicine in Drug Discovery*, 2020; DOI: 100050.
- 2) Fumito Sugaya, Rena Sumie, Ryota Nabeshima, Ryotaro Miyano, Takayuki Takeuchi, Nagaoki Wakisaka, Kazuhiro Kobayashi, Hajime Inoue, Akiyoshi Kajikawa. Influence of Human Placenta Extracts on Prostanoids Production in Cultured Hair Follicle-Derived Keratinocytes: The Possibility of Pharmaceutical Regenerative Medicine. *Journal of St. Marianna University*, 2020;11:21-29.
- 3) Tilman Pfeffer, Ettore Lignelli, Hajime Inoue, Ivana Mižíková, David E. Surate Solaligue, Heiko Steenbock, Despoina Myti, István Vadász, Susanne Herold, Werner Seeger, Jürgen Brinckmann and Rory E. Morty. Minoxidil Cannot Be Used To Target Lysyl Hydroxylases during Postnatal Mouse Lung Development: A Cautionary Note. *Journal of pharmacology and Experimental Therapeutics*, 2020;375(5):478-487.

学会発表

① 国内学会

- 1) ◎友近真世, 梶川明義, 鍋島諒大, 宮野竜太郎, 菅谷文人, 住江玲奈, 脇坂長興, 小林一広, 井上肇. 培養毛乳頭細胞と毛包由来表皮細胞のクロストークに関する基礎検討. 第29回日本形成外科学会基礎学術集会, 2020.
- 2) ◎宮野竜太郎, 住江玲奈, 鍋島諒大, 友近真世, 小林一広, 脇坂長興, 梶川明義, 井上肇. ミノキシジルによる毛包内脱硫酸酵素誘導とその阻害ーより効果的な発毛治療への一考察ー. 第29回日本形成外科学会基礎学術集会, 2020.
- 3) ◎井上肇, 菅谷文人, 相原正記, 梶川明義, 島田賢一, 柳下幹男, 牧野輝彦, 清水忠道, 中西健史, 峯岸芳樹, 中井國博, 玉木毅. 多血小板血漿を用いた難治性皮膚潰瘍の治療ー先進医療技術Bからの保険収載ー. 第29回日本形成外科学会基礎学術集会, 2020.
- 4) ◎井上肇, 菅谷文人, 相原正記, 梶川明義, 島田賢一, 柳下幹男, 牧野輝彦, 清水忠道, 中西健史, 峯岸芳樹, 中井國博, 玉木毅. 再生医療技術の保険収載ー多血小板血漿を用いた難治性皮膚潰瘍の治療ー. 第50回日本創傷治癒学会, 2020.

- 5) ◎井上肇. 多血小板血漿を用いた難治性皮膚潰瘍の治療—先進医療技術 B からの保険収載—. 第 126 回関西形成外科学会学術集会, 2020.
- 6) ◎井上肇. 多血小板血漿療法の先進医療技術 B からの保険収載への挑戦. 第 12 回多血小板血漿 (PRP) 療法研究会, 2020.
- 7) ◎廣瀬嘉恵, 藤田千春, 鈴木みゆき, 巢瀬忠之, 青木晃, 井上肇. クリニック内 CPC による自己完結型再生医療の試み - 自家培養表皮を始めとする各種細胞加工物の院内調製 -. 第 20 回日本再生医療学会総会, 2021.
- 8) ◎井上肇, 増山達也, 宮野竜太郎. 多血小板血漿を用いた毛髪再生への新たな展望. 第 20 回日本再生医療学会総会, 2021.
- 9) ◎藤田千春, 廣瀬嘉恵, 須永敏行, 市田美緒, 鈴木みゆき, 井上肇. 細胞加工物の簡易輸送技術の開発 - 市中再生医療の普及へ -. 第 20 回日本再生医療学会総会, 2021.
- 10) ◎住江玲奈, 藤田千春, 鍋島諒大, 友近真世, 井上肇, 梶川明義. 整容的応用を視野に入れた再生医療技術の開発. 第 20 回日本再生医療学会総会, 2021.
- 11) ◎鍋島諒大, 梶川明義, 住江玲奈, 友近真世, 井上肇. 整容的応用を視野に入れた再生医療技術の開発 2- 色素細胞含有培養表皮の生着性について -. 第 20 回日本再生医療学会総会, 2021.
- 12) ◎井上肇. 多血小板血漿を用いた難治性皮膚潰瘍治療の保険収載. 第 20 回日本再生医療学会総会, 2021.

		和文	英文
著 書			
論 文	原著	1	3
	解説又は総説		
	症例報告		
	その他		
学会発表	国内学会	12	
	国際学会		
	その他		

先端生体画像情報研究講座

学術論文[英文]

① 原著

- 1) Tomita Hayato, Deguchi Yuki, Fukuchi Hirofumi, Fujikawa Atsuko, Kurihara Yoshiko, Kitsukawa Kaoru, Mimura Hidefumi, Kobayashi Yasuyuki. Combination of compressed sensing and parallel imaging for T2-weighted imaging of the oral cavity in healthy volunteers: comparison with parallel imaging. *European Radiology*, 2021;: doi-10.1007/s00330-021-07699-y. Online ahead of print.

学会発表

① 国内学会

- 1) ◎櫻井謙三, 飯島直樹, 柴田宗一郎, 小林泰之, 長谷川泰弘. 脳梗塞における AI による画像読影の可能性. 第 61 回日本神経学会学術大会, 2020.

② 国際学会

- 1) ◎Shibata S, Sakurai K, Iijima N, Kobayashi Y, Hasegawa Y. Development of a diagnostic algorithm to predict the final disease subtype of cerebral infarction using artificial intelligence (AI) based on initial assessments. *European Stroke Organisation and World Stroke Organization Conference (ESO-WSO 2020)*, 2020.

③ その他

- 1) ◎小林泰之. 医療画像 AI の開発と臨床応用を進めるために. 第 14 回 SCCT 研究会, 2020.
- 2) ◎小林泰之. 機器・ソフトの進歩 2/PACS. 第 5 回 Advanced Medical Imaging 研究会(SAMI 2020), 2020.

		和文	英文
著 書			
論 文	原著		1
	解説又は総説		
	症例報告		
	その他		
学会発表	国内学会	1	
	国際学会		1
	その他	2	

医療情報実用化マネジメント学寄附研究部門

学術論文[和文]

① 総説又は症例解説

- 1) 渡邊俊樹. ウイルスによる発がんリスク. 日本臨牀, 2020;78(3):30-35.
- 2) 渡邊俊樹. HTLV-1 感染の現状と将来. 周産期医学, 2020;50(10):1661-1666.

学術論文[英文]

① 原著

- 1) Nagasaka M, Yamagishi M, Yagishita N, Araya N, Kobayashi S, Makiyama J, Kubokawa M, Yamauchi J, Hasegawa D, Coler-Reilly ALG, Tsutsumi S, Uemura Y, Arai A, Takata A, Inoue E, Hasegawa Y, Watanabe T, Suzuki Y, Uchimaru K, Sato T, Yamano Y. Mortality and risk of progression to adult T-cell leukemia/lymphoma in HTLV-1-associated myelopathy/tropical spastic paraparesis. *Proceedings of the National Academy of Sciences of the United States of America*, 2020;117(21):11685-11691.
- 2) Okuma K, Kuramitsu M, Niwa T, Taniguchi T, Masaki Y, Ueda G, Matsumoto C, Sobata R, Sagara Y, Nakamura H, Satake M, Miura K, Fuchi N, Masuzaki H, Okayama A, Umeki K, Yamano Y, Sato T, Iwanaga M, Uchimaru K, Nakashima M, Utsunomiya A, Kubota R, Ishitsuka K, Hasegawa H, Sasaki D, Koh KR, Taki M, Nosaka K, Ogata M, Naruse I, Kaneko N, Okajima S, Tezuka K, Ikebe E, Matsuoka S, Itabashi K, Saito S, Watanabe T, Hamaguchi I. Establishment of a novel diagnostic test algorithm for human T-cell leukemia virus type 1 infection with line immunoassay replacement of western blotting: a collaborative study for performance evaluation of diagnostic assays in Japan. *Retrovirology*, 2020;17(1):26.
- 3) Saito M, Hasegawa H, Yamauchi S, Nakagawa S, Sasaki D, Nao N, Tanio M, Wada Y, Matsudaira T, Momose H, Kuramitsu M, Yamagishi M, Nakashima M, Nakahata S, Iha H, Ogata M, Imaizumi Y, Uchimaru K, Morishita K, Watanabe T, Miyazaki Y, Yanagihara K. A high-throughput detection method for the clonality of Human T-cell leukemia virus type-1-infected cells in vivo. *International Journal of Hematology*, 2020;112(3):4567-4580.
- 4) Kamoi K, Okayama A, Izumo S, Hamaguchi I, Uchimaru K, Tojo A, Watanabe T, Ohno-Matsui K. Tackling HTLV-1 infection in ophthalmology: a nationwide survey of ophthalmic care in an endemic country, Japan. *The British journal of ophthalmology*, 2020;104(12):1647-1651.
- 5) Imaizumi Y, Iwanaga M, Nosaka K, Ishitsuka K, Ishizawa K, Ito S, Amano M, Ishida T, Uike N, Utsunomiya A, Ohshima K, Tanaka J, Tokura Y, Tobinai K, Watanabe T, Uchimaru K, Tsukasaki K. Prognosis of patients with adult T-cell leukemia/lymphoma in Japan: A nationwide hospital-based study. *Cancer science*, 2020;111(12):4567-4580.
- 6) Nakahata S, Syahrul C, Nakatake A, Sakamoto K, Yoshihama M, Nishikata I, Ukai Y, Matsuura T, Kameda T, Shide K, Kubuki Y, Hidaka T, Kitanaka A, Ito A, Takemoto S, Nakano N, Saito M, Iwanaga M, Sagara Y, Mochida K, Amano M, Maeda K, Sueoka E, Okayama A, Utsunomiya A,

Shimoda K, Watanabe T, Morishita K. Clinical significance of soluble CADM1 as a novel marker for adult T-cell leukemia/lymphoma. *Haematologica*, 2021;106(2):532-542.

- 7) Nakano K, Chihara Y, Kobayashi S, Iwanaga M, Utsunomiya A, Watanabe T, Uchimaru K. Overexpression of aberrant Wnt5a and its effect on acquisition of malignant phenotypes in adult T-cell leukemia/lymphoma (ATL) cells. *Scientific Reports*, 2021;11(1):4114.
- 8) Penova M, Kawaguchi S, Yasunaga J, Kawaguchi T, Sato T, Takahashi M, Shimizu M, Saito M, Tsukasaki K, Nakagawa M, Takenouchi N, Hara H, Matsuura E, Nozuma S, Takashima H, Izumo S, Watanabe T, Uchimaru K, Iwanaga M, Utsunomiya A, Tabara Y, Paul R, Yamano Y, Matsuoka M, Matsuda F. Genome wide association study of HTLV-1 associated myelopathy/tropical spastic paraparesis in the Japanese population. *Proceedings of the National Academy of Sciences of the United States of America*, 2021;118(11): e2004199118.

② 総説又は症例解説

- 1) Itabashi K, Miyazawa T, Sekizawa A, Tokita A, Saito S, Moriuchi H, Nerome Y, Uchimaru K, Watanabe T. A Nationwide Antenatal Human T-Cell Leukemia Virus Type-1 Antibody Screening in Japan. *Frontiers in Microbiology*, 2020;11(595):1-12.
- 2) El Hajj H, Tsukasaki K, Cheminant M, Bazarbachi A, Watanabe T, Hermine O. Novel Treatments of Adult T Cell Leukemia Lymphoma. *Frontiers in Microbiology*, 2020;28(11): doi: 10.3389/fmicb.2020.01062.

学会発表

① 国内学会

- 1) ◎那須智博, 田部亜季, 渡邊俊樹, 内丸薫, 中野和民. HTLV-1 Rex による宿主 T 細胞スプライシング機構制御異常の生物学的影響の検討. 第 79 回日本癌学会学術総会, 2020.
- 2) ◎山岸誠, 鈴木穰, 窪川美雪, 久世裕太, 横溝明香里, 鈴木絢子, 小林誠一郎, 中島誠, 宇都宮與, 森島聡子, 福田隆浩, 渡邊俊樹, 内丸薫. 多層シングルセルプラットフォームによるクローン構造解析と TCR 経路変異の生物学的意義の検討. 第 79 回日本癌学会学術総会, 2020.
- 3) ◎廣内大成, 山岸誠, 中島誠, 小林誠一郎, 牧山純也, 宇都宮與, 渡邊俊樹, 鈴木穰, 内丸薫. 異所性に発現する異常型電位依存性 Ca²⁺チャネル Cav3.2 による細胞内 Ca²⁺シグナルへの影響. 第 79 回日本癌学会学術総会, 2020.
- 4) ◎横溝明香里, 山岸誠, 廣内大成, 久世裕太, 窪川美雪, 宇都宮與, 福田隆浩, 渡邊俊樹, 鈴木穰, 内丸薫. VAV1/PLCG1 の協調的変異による TCR シグナル伝達経路の異常な活性化. 第 79 回日本癌学会学術総会, 2020.
- 5) ◎水池潤, 山岸誠, 大高時文, 中嶋伸介, 小林誠一郎, 中島誠, 新谷奈津美, 牧山純也, 宇都宮與, 田中勇悦, 渡邊俊樹, 山野嘉久, 鈴木穰, 藤澤順一, 内丸薫. HTLV-1 感染前がんモデルにおけるエピジェネティックな MAPK/ERK 経路の活性化. 第 79 回日本癌学会学術総会, 2020.
- 6) ◎田中稀瑛, 内田弘毅, 渡邊俊樹, 内丸薫, 中野和民. 成人 T 細胞白血病・リンパ腫 (ATL) 細胞に対する新規治療薬 Darinaparsin の効果の検討とその作用機序解明の試み. 第 79 回日本癌学会学術総会, 2020.

7) ◎村上善則,松田浩一, 森崎隆幸, 桃沢幸秀, 渡邊俊樹, 醍醐弥太郎, 岩井建志. がんの精密医療の加速に必須な基盤としてのコホート・バイオバンク. 第79回日本癌学会学術総会, 2020.

② 国際学会

1) Watanabe Toshiki. HTLV-1 associated diseases and management. Launch of the WHO HTLV-1 Technical Report 2021: Webinar event, Global HIV, Hepatitis, STI Programmes, WHO, 2021.

③ その他

1) 渡邊俊樹. WHOによるHTLV-1感染症対策. 2020年世界HTLVデー記念講演会, 2020.

2) ◎山岸誠, 長阪美沙子, 鈴木穰, 久世裕太, 八木下尚子, 新谷奈津美, 山内淳司, 渡邊俊樹, 佐藤知雄, 山野嘉久. HAM患者のゲノム異常とクローン構造の高感度解析によるATL発症リスクの評価. 厚生労働省難治性疾患政策研究班(神経免疫班)AMED難治性疾患実用化研究班 令和2年度合同班会議, 2021.

3) 渡邊俊樹. HTLV-1総合対策の現状と今後について. 2021年長崎県ATLウイルス母子感染防止に関する講演会, 2021.

		和文	英文
著書			
論文	原著		8
	解説又は総説	2	2
	症例報告		
	その他		
学会発表	国内学会	7	
	国際学会		1
	その他	3	

———令和4年3月発行———

発行 聖マリアンナ医科大学 教学部 大学院・研究推進課
制作・印刷 株式会社 創栄企画